

I 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 歴史・伝統文化の保存と継承の中核的拠点としての収蔵品の整備と、次代への継承

1-(1) 収蔵品

1-(1)-① 収蔵品一覧表

(単位：件) 平成26年3月31日現在

	国立博物館			東京国立博物館			京都国立博物館			奈良国立博物館			九州国立博物館			
	計	国宝	重文	計	国宝	重文	計	国宝	重文	計	国宝	重文	計	国宝	重文	
合計	124,729	130	952	115,653	87	633	6,721	27	179	1,862	13	111	493	3	29	
絵画	13,510	34	201	11,148	20	101	1,988	9	54	290	4	42	84	1	4	
書跡	3,300	35	169	1,799	14	58	1,313	15	77	144	5	28	44	1	6	
彫刻	1,414	1	45	1,104	0	22	145	0	1	144	1	16	21	0	6	
建築	78	0	2	21	0	0	49	0	1	5	0	0	3	0	1	
金工	16,954	3	54	16,401	1	17	381	2	24	159	0	11	13	0	2	
刀剣	3,459	20	57	3,436	19	57				16	0	0	7	1	0	
陶磁	3,839	0	18	2,947	0	12	777	0	2	81	0	0	34	0	4	
漆工	4,244	6	30	3,791	4	20	197	0	2	99	2	5	157	0	3	
染織	4,727	2	26	3,696	0	19	907	1	6	92	1	1	32	0	0	
考古	30,095	4	76	28,638	4	55	682	0	11	731	0	8	44	0	2	
民族資料	1,307	0	0	1,197	0	0	0	0	0	101	0	0	9	0	0	
歴史資料	5,426	0	6	5,102	0	4	282	0	1	0	0	0	42	0	1	
和書	17,562	0	1	17,562	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	
東洋	絵画	685	4	31	685	4	31	/								
	書跡	1,693	10	12	1,693	10	12									
	彫刻	799	0	20	799	0	20									
	金工	1,032	0	0	1,032	0	0									
	陶磁	3,045	0	10	3,045	0	10									
	漆工	529	0	4	529	0	4									
	染織	588	0	1	588	0	1									
	考古	5,818	0	2	5,818	0	2									
	民族	3,483	0	0	3,483	0	0									
法隆寺献納宝物	321	11	183	321	11	183	/									
黒田記念館収蔵品	816	0	2	816	0	2										
準歴史資料(含和書)	2	0	2	2	0	2										

\* 東京国立博物館は、列品管理規程による「旧東洋課所掌分」あり。

京都国立博物館・奈良国立博物館・九州国立博物館は、東洋の作品も「日本」に含む

\* 列品に編入されていない資料については「準歴史資料(含和書)」の項目に記し、列品化整理中の資料とを分けて表示している。

\* 東京国立博物館、京都国立博物館では、国宝・重要文化財の数は文化庁の指定件数に合わせている。

(参考)

【奈良文化財研究所】

平成26年3月31日現在

○保管及び所蔵文化財・資料概要(主なもの)

保管及び所蔵文化財・資料名	数
[文化遺産部]	
国宝・重要文化財建造物保存図	約30,100枚
国宝・重要文化財建造物摺拓本	約26,000枚
国宝・重要文化財建造物写真乾板	約32,200枚
北浦定政関係資料(重要文化財)	約1,100点
棚田嘉十郎関係資料	26点
関野貞関係資料	54点
菅原大三郎関係資料	7箱
森蘆資料	約4,500点
村岡正資料	約3,000点
小林剛関係資料	約38箱
牛川喜幸関係資料	2,927点
塚原家寄贈資料(歴史資料)	3箱
[都城発掘調査部(平城地区)]	
平城宮跡大膳職推定地出土木簡(重要文化財)	39点
平城宮跡内裏北外郭官街出土木簡(重要文化財)	1,785点
興福寺旧境内土壌(一乘院殿跡下層)出土品(重要文化財)	一括
平城宮・京出土土器・土製品	29,933
平城宮・京出土木製品・金属製品・石製品	34,818
平城宮・京出土瓦類	998,450
平城宮・京出土木簡	209,176
塚原家寄贈資料(考古資料)	7箱
[都城発掘調査部(飛鳥・藤原地区)]	
軒丸瓦・軒平瓦	約35,575点
丸瓦・平瓦 土嚢袋	約167,843袋
丸瓦・平瓦 整理箱	約38,322箱
土器 整理箱	約16,168箱
土製品	約14,978点
木器・木製品	約33,950点
木簡	約355,155点
建築部材	約2,957点
金属製品	約19,800点
石器・石製品	約14,212点
漏刻復元模型	1点
幡幡復元模型(台付き)	一式
飛鳥大仏頭部複製(模刻)	1点
藤ノ木古墳鞍復元模型	1点
富本銭枝銭復元模型	一式
基盤復元模型	1点
鉄釜鑄造土坑復元模型	1点
[飛鳥資料館]	
高松塚古墳出土品(海獸葡萄鏡 銀製太刀金具 棺金具 ガラス小玉漆塗り木棺)(重要文化財)	一式
須弥山石	1点
石人像	1点
飛鳥寺塔跡出土舍利荘嚴具	一式
飛鳥寺出土瓦類	一式
山田寺跡出土品(重要文化財)	一括
和田麩寺鷗尾(都城発掘調査部(飛鳥・藤原地区所属))	1点
川原寺出土水波紋土磚	2点
岡出土車石	8点
飛鳥各地出土瓦類	一式
川原寺裏山出土三尊磚仏	2点
飛鳥川原宮出土唐居敷	1点
高松塚古墳壁面模写(前田青邨・平山郁夫等)	3面
高松塚古墳人物復元衣装	一式
石上神宮七枝刀レプリカ	1点
水落遺跡遺構1/20模型	1点
猿石模刻	一式
亀石模刻	1点
須弥山石復元模刻	1点
石人像復元模刻	1点
出水酒船石模刻	2点
阿武山古墳出土 玉枕 冠帽 復元模型	3点
川原寺伽藍1/50模型	1点
山田寺金堂復元	1点
飛鳥京復元模型	1点
山田寺発掘遺構1/100模型	1点

保管及び所蔵文化財・資料名	数
石舞台古墳1/20模型	1点
飛鳥寺発掘遺構1/100模型	1点
石のカラト古墳1/20模型	1点
野中寺銅造弥勒菩薩半伽像レプリカ	1点
銅造摩耶夫人及天人像レプリカ	4点
威奈大村骨蔵器レプリカ	1点
長谷寺法華説相図レプリカ	1点
諸陵周垣成就記並諸陵図譜	1点
鼓銅図録	1点
高松塚古墳木棺模造	1点
八釣マキト5号古墳石室	1点
十二支拓本(表装済み・収納箱あり)	一式
キトラ古墳模型	1点
山東省済南市解放橋北唐墓石棺 青龍・白虎・小口面拓本	各1点
近藤千尋関連資料	1式
武人復原	1点
山田寺灯籠復原	1点
具注歴木簡レプリカ	1点
天皇木簡	1点
壬申の乱ジオラマ	一式
牽牛子塚古墳ミニジオラマ	1点
[埋蔵文化センター]	
埼玉県真福寺貝塚資料	一式
岡山県福田貝塚資料	一式
埼玉県上福岡貝塚資料	一式
神奈川県田戸遺跡資料	一式
神奈川県子母口貝塚	一式
神奈川県大口坂貝塚資料	一式
能登縄文資料(15遺跡)	一式
千葉県曾谷貝塚資料	一式
長野県石小屋遺跡資料	一式
山形県蛭沢洞窟資料	一式
東京都小豆沢貝塚資料	一式
茨城県広畑貝塚資料	一式
中国・朝鮮瓦磚資料	一式
岡山地方陶棺資料	一式
下総国分寺・尼寺資料	一式
関東地方加曾利B式資料	一式
岩手県足沢遺跡資料	一式
茨城県浮島貝塚資料	一式
千葉県幸田貝塚資料	一式
滋賀県安土遺跡資料	一式
岡山県黒土遺跡資料	一式
神奈川県保土ヶ谷貝塚資料	一式
千葉県姥山貝塚資料	一式
宮城県川下り・響き資料	一式
大木田貝塚	
東貝塚	
室浜貝塚	
福浦島貝塚	
里浜貝塚	
東北縄文晩期末資料	一式
東北各地発見縄文資料	一式
北海道資料	一式
発見地不詳縄文資料	一式
発見地不詳須恵器資料	一式
発見地不詳石器・石斧資料	一式
愛知県西滋賀貝塚資料	一式
愛知県吉胡貝塚資料	一式
茨城県前浦遺跡資料	一式
関東地方埴輪資料	一式
静岡県登呂遺跡資料	一式
発見地不詳須恵器資料	一式
発見地不詳石器・石斧資料	一式
愛知県西滋賀貝塚資料	一式
愛知県吉胡貝塚資料	一式
茨城県前浦遺跡資料	一式
関東地方埴輪資料	一式
静岡県登呂遺跡資料	一式

1-(1)-① (参考)

収蔵品・寄託品件数合計(過去5カ年)

(単位:件) 平成26年3月31日現在

		平成21年度			平成22年度			平成23年度			平成24年度			平成25年度		
		計	国宝	重文												
収蔵品・ 寄託品 合計	国立博物館 計	133,415	313	2,128	134,077	315	2,128	134,668	316	2,126	135,044	317	2,136	136,215	323	2,143
	東京国立博物館	115,510	137	885	115,984	137	886	116,586	137	883	116,925	136	884	118,172	140	878
	京都国立博物館	12,483	108	787	12,589	110	789	12,634	110	787	12,622	112	789	12,613	114	801
	奈良国立博物館	3,769	65	427	3,774	65	423	3,776	66	425	3,785	66	431	3,856	66	432
	九州国立博物館	1,653	3	29	1,730	3	30	1,672	3	31	1,712	3	32	1,574	3	32
収蔵品	国立博物館 計	121,511	129	937	122,102	130	943	122,802	130	946	123,378	130	950	124,729	130	952
	東京国立博物館	112,776	87	624	113,258	87	629	113,897	87	631	114,362	87	631	115,653	87	633
	京都国立博物館	6,526	27	176	6,584	27	177	6,621	27	177	6,708	27	179	6,721	27	179
	奈良国立博物館	1,812	12	110	1,827	13	109	1,831	13	109	1,834	13	111	1,862	13	111
	九州国立博物館	397	3	27	433	3	28	453	3	29	474	3	29	493	3	29
寄託品	国立博物館 計	11,904	184	1,191	11,975	185	1,185	11,866	186	1,180	11,666	187	1,186	11,486	193	1,191
	東京国立博物館	2,734	50	261	2,726	50	257	2,689	50	252	2,563	49	253	2,519	53	245
	京都国立博物館	5,957	81	611	6,005	83	612	6,013	83	610	5,914	85	610	5,892	87	622
	奈良国立博物館	1,957	53	317	1,947	52	314	1,945	53	316	1,951	53	320	1,994	53	321
	九州国立博物館	1,256	0	2	1,297	0	2	1,219	0	2	1,238	0	3	1,081	0	3

1-(1)-② 平成25年度新収品一覧表

(単位：件)

平成26年3月31日現在

	国立博物館			東京国立博物館			京都国立博物館			奈良国立博物館			九州国立博物館		
	購入	寄贈	編入	購入	寄贈	編入	購入	寄贈	編入	購入	寄贈	編入	購入	寄贈	編入
合計	1,351			1,291			13			28			19		
計	23	513	815	5	471	815	0	13	0	3	25	0	15	4	0
絵画	6	11	28	1	5	28	0	5	0	1	0	0	4	1	0
書跡	2	12	1	0	11	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0
彫刻	2	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
建築	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金工	2	417	155	1	414	155	0	3	0	1	0	0	0	0	0
刀剣	0	2	38	0	2	38	0	0	0	0	0	0	0	0	0
陶磁	1	1	15	0	0	15	0	0	0	0	0	0	1	1	0
漆工	1	29	33	0	0	33	0	3	0	0	25	0	1	1	0
染織	3	5	65	0	4	65	0	1	0	0	0	0	3	0	0
考古	1	1	109	0	0	109	0	0	0	0	0	0	1	1	0
民族資料	0	0	7	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歴史資料	3	1	334	0	1	334	0	0	0	0	0	0	3	0	0
和書	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東洋	絵画	0	0	0	0	0	/								
	書跡	0	0	0	0	0									
	彫刻	0	1	0	0	1									
	金工	0	29	1	0	29									
	陶磁	0	0	4	0	0									
	漆工	0	0	0	0	0									
	染織	2	1	0	2	1									
	考古	0	0	10	0	0									
民族	0	0	15	0	0										
法隆寺献納宝物	0	0	0	0	0	0	/								
黒田記念館収藏品	0	2	0	0	2										

\* 東京国立博物館は、列品管理規程による「旧東洋課所掌分」あり。

付表・文化財収集件数の推移

5年間の新収集品一覧表

(単位：件)

	平成21年度			平成22年度			平成23年度			平成24年度			平成25年度		
	購入	寄贈	編入	購入	寄贈	編入	購入	寄贈	編入	購入	寄贈	編入	購入	寄贈	編入
合計	390			591			701			576			1,351		
小計	46	148	196	65	70	456	34	176	491	26	153	397	23	513	815
絵画	14	66	0	12	16	0	11	23	1	9	10	0	6	11	28
書跡	5	11	0	9	12	1	7	33	0	3	36	0	2	12	1
彫刻	2	12	0	1	2	1	2	0	0	1	2	0	2	1	0
建築	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金工	1	0	0	13	4	0	1	1	0	0	0	0	2	417	155
刀剣	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	38
陶磁	7	16	0	2	0	0	0	5	0	1	61	0	1	1	15
漆工	8	2	0	5	11	0	0	24	0	1	0	0	1	29	33
染織	0	2	0	13	7	0	5	7	0	1	1	0	3	5	65
考古	3	29	0	3	2	0	1	0	1	4	23	0	1	1	109
民族資料	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
歴史資料	4	0	196	6	2	453	7	0	489	6	1	397	3	1	334
和書	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東洋	絵画	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	書跡	0	0	0	0	0	0	44	0	0	1	0	0	0	0
	彫刻	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	金工	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	0	0	29	1
	陶磁	0	1	0	0	2	0	0	34	0	1	0	0	0	4
	漆工	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0
	染織	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0
	考古	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	10
民族	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	15	
法隆寺献納宝物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
黒田記念館収藏品	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	

## 1-(1)-③ 平成25年度新収品一覧

### 【東京国立博物館】(計1291件)

#### (1) 購入 (5件)

##### <絵画> (1件)

- 1 ○名称 文殊菩薩像 (もんじゅぼさつぞう)  
 ○作者等 伝霊彩筆  
 ○時代 室町時代・15世紀  
 ○品質 紙本着色  
 ○員数 1幅  
 ○寸法等 本紙 縦93.1cm 横40.4cm  
 ○作品概要 掛幅装。牙軸。文殊は頭飾・耳環・胸飾・臂釧をつけ、両手で経を持ち、雲中に立つ半身像に描かれ、頭光が表されている。

##### <彫刻> (1件)

- 2 ○名称 如意輪観音菩薩坐像 (によいりんかんのんぼさつぞう)  
 ○時代 鎌倉時代・13世紀  
 ○品質 木造、彩色、玉眼  
 ○員数 1軀  
 ○寸法等 像高 52.2cm  
 ○作品概要 六臂如意輪観音菩薩に通常の形の像。素地に現状黒色を帯びた色を着け切金文様を施す。針葉樹材の一木造。頭部と体部は別材。頭部は耳後ろを通る線で前後に矧ぎ、内割りを施して玉眼を嵌入する。体部は両肩、天衣の一部を含み一材から彫出し、像底から約5センチほど割り上げる。体部に首を挿しこむ穴を穿ち、頭部を接合する。脚部は右脚の大半(膝頭は別材)を含み横木一材で造る。このほか髻、各腕、手首を矧ぐ。銅製透彫りの臂釧、腕釧のほとんど、腹部の輪宝は像と同時のもの。X線透過撮影により、頭部内に小仏像2軀が納入されていることを確認。

##### <金工> (1件)

- 3 ○名称 (重要美術品)線刻千手観音鏡像 (せんこくせんじゅかんのんきょうぞう)  
 ○時代 平安時代・12世紀  
 ○品質 銅製  
 ○員数 1面  
 ○寸法等 径 24.2cm  
 ○作品概要 鏡胎は銅版製、周縁を裏側に折り返し覆輪状とする。鏡面には蓮華座に乗り頭光・身光を負う千手観音坐像を蹴彫で線刻する。画面向かって左に「上宮」、右に「女躰」と刻記する。上部2箇所円孔を穿つ。

##### <東洋染織> (2件)

- 4 ○名称 帯 銀地花卉段文様モール錦 (おび ぎんじかきだんもんようもーるにしき)  
 ○時代 サファヴィー朝時代・17世紀  
 ○品質 絹製  
 ○員数 1条  
 ○寸法等 長 390.0cm 幅 30.0cm  
 ○作品概要 経糸に絹糸、緯糸に銀モール糸を織り入れて、絵緯糸で花卉文様を段状に織り出したペルシャ産の錦。日本では「モール」と称され、茶人たちの間で愛好された。縦に半分に折って帯として腰に巻いて使用した後があることから、サファヴィー朝の貴族、あるいはインド・ムガル朝の貴族が使用したものと考えられる。
- 5 ○名称 帯 銀地花卉鱗文様モール錦 (おび ぎんじかきうろこもんようもーるにしき)  
 ○時代 サファヴィー朝時代・17世紀  
 ○品質 絹製  
 ○員数 1条  
 ○寸法等 長 357.0cm 幅 36.5cm  
 ○作品概要 経糸に絹糸、緯糸に銀モール糸を織り入れて、絵緯糸で縁と両端に花卉文様を、帯部分に鱗文様を織り出したペルシャ産の錦。日本では「モール」と称され、茶人たちの間で愛好された。縦に半分に折って帯として腰に巻いて使用した後があることから、サファヴィー朝の貴族、あるいはインド・ムガル朝の貴族が使用したものと考えられる。

#### (2) 寄贈 (471件)

##### <絵画> (5件)

- 1 ○名称 秋野美人図屏風 (あきののびじんずびょうぶ)  
 ○作者等 筆者不詳  
 ○時代 江戸時代・17世紀  
 ○品質 紙本着色  
 ○員数 6曲1隻  
 ○寸法等 本紙 縦52.2cm 横225.0cm  
 ○作品概要 屏風装。秋・薄・桔梗・女郎花・藤袴などの秋草の茂る野辺に銀色に輝く十三夜月の沈む景色と二人の女房装束の美人を描いた小屏風。
- 2 ○名称 紫式部図 (むらさきしきぶず)  
 ○作者等 伝谷文晁 (1763~1840) 筆  
 ○時代 江戸時代・19世紀  
 ○品質 絹本着色  
 ○員数 1幅  
 ○寸法等 本紙 縦128.6cm 横56.3cm  
 ○作品概要 掛幅装。牙軸。几帳を背にして硯箱と紙の置かれた文机を前にして上置に座る紫式部を描く。
- 3 ○名称 老松図 (ろうしょうず)  
 ○作者等 山本梅逸 (1783~1856) 筆  
 ○時代 江戸時代・19世紀  
 ○品質 絹本墨画  
 ○員数 1幅  
 ○寸法等 本紙 縦132.1cm 横60.1cm  
 ○作品概要 掛幅装。牙軸。笹の生えた水辺に、立ち上がる石の脇から画面を埋めるように枝を茂らせた松樹の伸びる様子を描いている。
- 4 ○名称 金華山真景 (きんかさんしんけい)  
 ○作者等 柴田是真 (1807~91) 筆

○時代 明治23年(1890)  
○品質 絹本墨画淡彩  
○員数 1幅  
○寸法等 本紙 縦152.2cm 横75.5cm  
○作品概要 掛幅装。牙軸。宮城県石巻市の牡鹿半島東南端にある金華山を描いたもの。金華山は島で、その全体が黄金山神社の神域である。鹿がたたずむなだらかな山丘の下に切り立った花崗岩の崖が立ち上がり、波濤が打ち寄せている。

5 ○名称 源氏物語図屏風(げんじものがたりずびょうぶ)  
○作者等 筆者不詳  
○時代 江戸時代・17世紀  
○品質 紙本着色  
○員数 6曲1双  
○寸法等 本紙 各 縦154.4cm 横345.4cm  
○作品概要 屏風装。『源氏物語』を1双に描いたもので、金雲と建物で場面を区切り、右隻には右上から「桐壺」、「花宴」、「初音」、「葵」、「空蟬」、が、左隻には、上段に「瀧標」、下段右に「紅葉賀」左に「末摘花」の場面が、右から左に四季の季節が巡るように配されている。

#### <書跡>(11件)

6 ○名称 和歌屏風「雪降れば」(わかびょうぶ ゆきふれば)  
○作者等 森田竹華(1908~77)筆  
○時代 昭和47年(1972)  
○品質 紙本墨書  
○員数 2曲1隻  
○寸法等 本紙 縦135.9cm 横138.4cm  
○作品概要 2曲屏風に『古今和歌集』巻第六の和歌を書く。

7 ○名称 万葉歌「夕月夜」(まんようか ゆうづくよ)  
○作者等 森田竹華(1908~77)筆  
○時代 昭和47年(1972)  
○品質 紙本墨書  
○員数 1面  
○寸法等 本紙 縦67.5cm 横97.5cm  
○作品概要 額装。『万葉集』巻八の歌を書く。

8 ○名称 俳句「柿くへば」(はいく かきくえば)  
○作者等 森田竹華(1908~77)筆  
○時代 昭和52年(1977)  
○品質 紙本墨書  
○員数 1幅  
○寸法等 本紙 縦135.5cm 横34.5cm  
○作品概要 条幅に正岡子規の句を書く。

9 ○名称 俳句「飛石も」(はいく とびいしも)  
○作者等 森田竹華(1908~77)筆  
○時代 昭和52年(1977)  
○品質 紙本墨書  
○員数 1幅  
○寸法等 本紙 縦135cm,3cm 横33.9cm  
○作品概要 条幅に与謝蕪村の句を書く。

10 ○名称 万葉歌「九月の」(まんようか ながつきの)  
○作者等 森田竹華(1908~77)筆  
○時代 昭和47年(1972)  
○品質 紙本墨書  
○員数 1幅  
○寸法等 本紙 縦15.8cm 横13.5cm  
○作品概要 色紙に『万葉集』巻十の歌を書く。

11 ○名称 旅愁(りよしゅう)  
○作者等 杉岡華邨(1913~2012)筆  
○時代 平成16年(2004)  
○品質 紙本墨書  
○員数 1面  
○寸法等 本紙 縦90.0cm 横167.0cm  
○作品概要 額装。『万葉集』巻十五より「かしふえに／鶴鳴きわたる／しかの／うら／に／おきつ白波／たちし／来ら／し／も」を書写する。

12 ○名称 扇面「一枝に」(せんめん ひとえだに)  
○作者等 烏丸光広(1579~1638)筆  
○時代 江戸時代・17世紀  
○品質 彩箋墨書  
○員数 1幅  
○寸法等 縦 最大長24.0cm 横 最大幅55.0cm  
○作品概要 金銀で装飾を施した扇面に、詞書と和歌を墨書する。

13 ○名称 風炉先屏風 会津八一書状(ふるさきびょうぶ あいづやいちしよじょう)  
○作者等 会津八一(1881~1956)筆  
○時代 昭和・20世紀  
○品質 紙本墨書  
○員数 2曲1隻  
○寸法等 本紙 縦20.0cm 横241.9cm 屏風全体 縦72.6cm 横172.0cm  
○作品概要 堀江知彦宛会津八一書状を貼り込んだ風炉先屏風。東京帝室博物館所蔵の「古今一陽集」を筆写してほしいこと、模写国宝展覧会を開催するため、国宝目録記載の情報を知らせてほしいこと等を記す。

- 14 ○名称 扁額「物皆春」(へんがく ものみなはる)  
 ○作者等 会津八一(1881~1956)筆  
 ○時代 昭和9年(1934)  
 ○品質 紙本墨書  
 ○員数 1面  
 ○寸法等 本紙 縦32.0cm 横100.8cm ; 額全体 縦45.2cm 横130.0cm  
 ○作品概要 (本文)「物皆春 甲戌正月秋艸道人題」
- 15 ○名称 書状 なほなほ不取敢云々(しよじょう なおなおとりあえずうんぬん)  
 ○作者等 会津八一(1881~1956)筆  
 ○時代 昭和・20世紀  
 ○品質 紙本墨書  
 ○員数 1幅  
 ○寸法等 本紙 縦38.8cm 横45.8cm  
 ○作品概要 取りあえず金千円を送ったので適宜使ってほしいこと、所持していた国宝目録を焼失してしまったために不便を生じているので、入手に尽力してほしいことを記す。第二次大戦後、新潟から堀江に宛てられたものか。
- 16 ○名称 書状 いろいろ御面倒を云々(二月十二日)(しよじょう いろいろごめんどうをうんぬん)  
 ○作者等 会津八一(1881~1956)筆  
 ○時代 昭和・20世紀  
 ○品質 紙本墨書  
 ○員数 1幅  
 ○寸法等 本紙 縦22.7cm 横38.4cm  
 ○作品概要 長島の追福についてはしばらく中止とすることと自身の土曜日以降の予定について記す。

<彫刻> (1件)

- 17 ○名称 天王立像(てんのうりゆうぞう)  
 ○時代 平安時代・10~11世紀  
 ○品質 木造、彩色  
 ○員数 1軀  
 ○寸法等 像高102.8cm  
 ○作品概要 髻を結う。三角形の頭飾、天冠台をいただく。眉を吊り上げ、両眼を強く見開く怒りの表情を示し、口を開いて歯を剥き出す。大袖の衣、鱧袖の衣、袴、裙を着た上に甲を着ける。沓を履く。左に腰を捻り、右脚を側方に踏み出して岩の上に立つ。現状の像全容を一材から彫出する一木造の像で、内割りはほどこさない。表面は白土下地の上に彩色。髪は墨、天冠台は漆箔。

<金工・東洋金工> (443件)

- 18 ○名称 鉄打出清模様花瓶(てつうちだしなみもようかへい)  
 ○作者等 山田宗美(1871~1916)作  
 ○時代 明治時代・19~20世紀  
 ○品質 鉄鍛造  
 ○員数 1口  
 ○寸法等 高34.1cm 口径13.3cm 胴径28.2cm 重量1886.0g  
 ○作品概要 1枚の鉄板を打ち絞って壺形の花瓶を成型するとともに、器の胴部全体に波瀾図を打ち出しで表す。内部には銅板製の受筒を落とし込む。底の中央に「宗美」方印を打印する。
- 19 ○名称 水滴(すいてき)  
 ○時代 平安時代~明治時代、中国・元~清時代、朝鮮・高麗~朝鮮時代など  
 ○品質 銅鑄造、彫金等  
 ○員数 442件  
 ○作品概要 動植物、器物、人物故事等の形をした水滴、水注、水盂など。

<刀剣> (2件)

- 20 ○名称 萌黄絨威胴丸具足(もえぎだんおどしどうまるぐそく)  
 ○時代 江戸時代・19世紀  
 ○員数 1領  
 ○寸法等 高150.0cm 最大幅57.0cm 奥行き70.0cm  
 ○作品概要 兜は鉄黒漆塗二十間二方白星鉢、頂辺の座は玉縁とも四重。眉庇、吹返は正平韋包み。(革+毎(しころ))は本札三段下り、一段白糸、二段萌黄糸威、耳糸亀甲打、畦目小石打、菱縫紅糸二段。吹返に金銅三扇丸紋を打つ。金銅三扇前立付。受張は紅縮緬百重刺、兜の緒は紅地縮緬新緒。胴は本札仕立、前立拳二段、後立拳三段、衝胴四段、草摺八間五段下り、萌黄絨威。後立拳一段中央に金銅枝菊文透彫の総角付の銀座を打つ。金具廻正平韋包。杏葉一双、金銅三扇丸紋を打つ。小具足は咽喉輪一懸、広袖一双、五本篠籠手一双、伊予佩盾一腰、五本篠脛当一双。
- 21 ○名称 紺糸威胴丸具足(こんいとおどしどうまるぐそく)  
 ○時代 江戸時代・19世紀  
 ○員数 1領  
 ○作品概要 兜は革黒漆塗二十八間筋兜鉢、頂辺の座は玉縁とも五重。眉庇、吹返は菱襷に獅子丸文章包み、小縁菖蒲葺。(革+毎(しころ))は本札四段下り、紺糸威、耳糸、畦目小石打、菱縫紅糸二段。吹返に金銅十文字紋を打つ。金銅鍬形、十文字紋前立付。受張は紅縮緬百重刺、兜の緒は丸打。胴は本札仕立、前立拳二段、後立拳三段、衝胴四段、草摺七間五段下り、紺糸威。後立拳二段中央に金銅菊座の総角付の銀座を打つ。金具廻菱襷に獅子丸文章包み、小縁菖蒲葺。杏葉一双、金銅十文字紋を打つ。小具足は目の下頬当一面、咽喉輪一懸、大袖一双、筒籠手一双、伊予佩盾一腰、五本篠脛当一双。

<染織> (4件)

- 22 ○名称 振袖 鶯色縮緬地桜藤菊尾長鳥模様(ふりそで ひわいろちりめんじさくらふじきくおながどりもよう)  
 ○時代 江戸時代・19世紀  
 ○品質 縮緬地に刺繍・友禅染  
 ○員数 1領  
 ○寸法等 丈108.9cm 衿48.0cm  
 ○作品概要 小裁(子ども用)の振袖である。袷仕立で裏地には紅絹を用い、中綿が薄く入る。前身頃の腰部分には共裂の帯紐が縫い付けられる。表地は鶯色に染めた縮緬地に桜、藤、菊といった四季折々の花や尾長鳥を丸文に意匠化した模様を刺繍で表わす。一部の草花は白く染め抜いた白上がりである。また、一部に分銅繋ぎ状の模様を所々に銀糸で刺繍する。四季の草花を折り枝状に表わし散らしたデザインは公家女性が江戸時代後期に着用した小袖の様式である。

- 23 ○名称 帷子 紅地鯉模様 (かたびら べにじこいもよう)  
 ○時代 江戸時代・19世紀  
 ○品質 麻地に描絵・刺繍  
 ○員数 1領  
 ○寸法等 丈113.0cm 桁50.6cm  
 ○作品概要 上質の麻地である上布を淡い紅地に染めた単仕立の振袖で、小裁であることから、夏に少女が着用した帷子である。白麻地の重ねが付属する。表地には、裾を中心に鯉・水草・葦・波などがデザインされる。鯉は一部は写生風に刺繍で表わされるが、ほとんどは描絵である。また、刺繍にも一部、彩色が加わる。五つ所紋には替わり木瓜紋が白く染め抜かれ、上絵が施される。デザインや帷子の形状から、武家階級の料と考えられる。
- 24 ○名称 単衣 鶯色緞地風景模様 (ひとえ ひわいろろじふうけいもよう)  
 ○時代 江戸時代・19世紀  
 ○品質 緞地に刺繍・友禅染  
 ○員数 1領  
 ○寸法等 丈163.0cm 桁58.0cm  
 ○作品概要 三越緞を単仕立にした夏の単衣である。友禅染による白上がりや刺繍で、桜が咲き誇る風景の中に、滝に鼓を組み合わせた模様やひょうたんに杯と柴束を組み合わせた模様を表わす。このような模様を「留守模様」と称し、謡曲や王朝文学を暗示する。留守模様は江戸時代後期における武家女性の衣料のデザイン様式である。尚、本品は腰模様となっており、五つ所紋に替わり木瓜紋が白上がりに上絵でつけられている。
- 25 ○名称 単衣 紫緞地柳鷺模様 (ひとえ むらさきろじやなぎさぎもよう)  
 ○時代 明治時代・19～20世紀  
 ○品質 緞地に友禅染・刺繍  
 ○員数 1領  
 ○寸法等 丈141.0cm 桁61.6cm  
 ○作品概要 五越緞を紫地に染め、裾にかけて淡い鼠色にぼかして染めた、いわゆる曙染の単衣である。裾を中心に模様を配した裾模様で、水辺に柳の枝が風に揺れ、その上を鷺が飛び交う景色を描絵友禅で表わしている。また、一部、蛇籠に金糸で駒織が施される。五つ所紋には三つ巴紋が施される。

#### <歴史資料> (1件)

- 26 ○名称 会津八一書簡類 堀江知彦宛 (あいづやいちしよかんるい ほりえともひこあて)  
 ○作者等 会津八一 (1881～1956) 筆  
 ○時代 昭和時代・20世紀  
 ○品質 紙本墨書・ペン書  
 ○員数 21点  
 ○作品概要 封書・葉書及び名刺。いずれも会津八一から堀江知彦宛。

#### <東洋彫刻> (1件)

- 27 ○名称 観音菩薩立像 (かんのんぼさつりゅうぞう)  
 ○時代 北齊時代・天統4年 (568)  
 ○品質 銅製鑄造鍍金  
 ○員数 1軀  
 ○寸法等 総高17.0cm 光背幅6.0cm  
 ○作品概要 両肩から垂下した天衣が正面でX字状に交叉し、左右の前膊から外に垂れる。右腕は屈臂して胸前で未敷蓮華を持ち、左腕は垂下して甲を正面に向ける。頭光 (中心は蓮華を浮彫り)、身光を表す。周縁部に火炎を陰刻する。台座は反花を刻まない伏鉢形。その下方は四脚台とする。

#### <東洋染織> (1件)

- 28 ○名称 ダッカ・モスリン ショール  
 ○時代 19世紀  
 ○品質 木綿・金糸  
 ○員数 1枚  
 ○寸法等 幅84.0cm 長1650.0cm  
 ○作品概要 極細い手紡ぎの木綿糸を平織りにして16mもの長さに織り上げた薄地の木綿布で、織始めから織留まで残っている。細い糸を用いながら打ち込みを甘くして透け感を出すという奇跡的な技術によって生まれた軽さから、産地名を冠して「ダッカ・モスリン」と称されて珍重された。本品には、両端に平銀糸で草葉の模様が刺繍されている。ショールとして使用されたものである。

#### <黒田記念館収蔵品> (2件)

- 29 ○名称 花 (はな)  
 ○作者等 黒田清輝 (1866～1924) 筆  
 ○時代 大正9年 (1920)  
 ○品質 板・油彩  
 ○員数 1面  
 ○寸法等 縦34.7cm 横26.0cm  
 ○作品概要 黒に近い色を背景に薄紅色のグラジオラスの花の部分を描いている。額に作品を納め、直接釘で止めてあり、作品裏には黒田清輝遺作展の折の出品ラベルが添付されている。『黒田清輝作品集』(1925年、審美書院)に「112 花 一九二〇 梅北由加君」として掲載されている作品である。
- 30 ○名称 グレーの原 (ぐれーのはら)  
 ○作者等 黒田清輝 (1866～1924) 筆  
 ○時代 明治23年 (1890) 頃  
 ○品質 カンヴァス・油彩  
 ○員数 1面  
 ○寸法等 縦29.2cm 横54.1cm  
 ○作品概要 パリ郊外の農村グレーに広がる緑野をとらえている。画面中央を水平に分割する線よりもやや上に水平線を設け、上部に薄紅に染まる空を、下部に2個の積み藁がある緑野を描く。画面右下に「S. K」とサインがあるが、制作年の記載はない。額に作品を納め、木製の留め具で止めている。額裏には隈元謙次郎の名刺が添付されている。1890年頃の黒田清輝の画風をよくあらわしている。

#### (3) 編入 (815件)

##### <歴史資料> (334件)

- 1 ○名称 歴史資料 (れきししりょう)  
 ○時代 江戸時代～昭和時代・18～20世紀  
 ○品質 卷子・掛軸・折仕立等／紙本墨書、紙本着色等

○員数 334件  
○作品概要

「歴史資料(P)」と称される分野は、昭和13年(1938)旧歴史部の解体に伴い、当時の列品から「学芸課資料」として再編成された資料群である。構成としては、江戸幕府からの引継ぎ資料や、当館の前身といえる書籍館、浅草文庫、内務省博覧会事務局収集資料も多く含まれ、その内容は多様である。今回編入分の中には寺社の建物や茶室の実測図、金石文の拓本類、画家の黒田清輝や金工家の加納夏雄に関する資料などが含まれる。

<絵画ほか>(481件)

2 ○名称 雪舟 祇園山図(模本)(せっしゅう ぎおんやまのずもほん)ほか  
○員数 481件  
○作品概要

過去に列品として登録されていたが、種々の事由により台帳から削除された作品のうち、平成21年度から平成25年度にかけて行った列品情報調査により存在が確認された作品で、所蔵品の適正な管理ならびに調査・研究・展示等での活用に資するべく、編入したものである。分野ごとの内訳は、絵画28件、書跡1件、金工155件、刀剣38件、陶磁15件、漆工33件、染織65件、考古109件、民族7件、東洋金工1件、東洋陶磁4件、東洋考古10件、東洋民族15件である。

【京都国立博物館】(計13件)

(1)購入(0件)

(2)寄贈(13件)

<絵画>(5件)

- 1 ○名称 福祿寿三星図(ふくろくじゅさんせいず)  
○作者等 谷文晁筆  
○時代 江戸時代寛政元年(1789)  
○品質 紙本墨画着色  
○員数 1幅  
○寸法等 本紙 縦147.8cm 横133.6cm  
○作品概要 もと衝立の大作。左上に「寛政元年己酉冬十月ノ谷文晁製」の署名と印があり、江戸後期、関東文人画界の重鎮である谷文晁(1763~1840)の作とみなせる。寛政元年(1789)、文晁は27歳。前年に田安家に出仕、5人扶持で仕えていた。最初期の作である。主題は、道教、とくに中国で明代以降ひろまった民間信仰「三星信仰」に関わる。「三星信仰」において「福祿寿」は、もともと福星・禄星・寿星の三星を、それぞれ神格した三体一組の神とされる。中央奥にいる官服姿が福星、向かって右、巻物を広げ、嬰兒ふたりを従えるのが禄星、左の禿げた長い頭と白ひげの老人が寿星とみなせる。車や寿星の手など、部分的にはまだ未成熟な描写が見られるものの、すでに十分な画技を備えていることが分かる。福星と禄星の姿勢を傾斜させ、三星と嬰兒・車により三角形をつくる安定した構図、身体の立体感は見事で、ややうろさいほど肥瘦をつけた衣紋線、輪郭線のきびきびした筆遣い、印影をつけた顔の描写が、円環状の動き、運動感を生むとともに、やや気味悪ささえ感じさせる独特の雰囲気を生み出している。文晁の最初期作品として注目され、大画面作品として展示効果も高い。
- 2 ○名称 やすらい祭図屏風(やすらいまつりずびょうぶ)  
○作者等 横山華山筆  
○時代 江戸時代後期(19世紀前半)  
○品質 紙本着色金泥  
○員数 2曲1双  
○寸法等 本紙 縦167.8cm 横183.4cm 総寸 縦171.3cm 横187.4cm  
○作品概要 「やすらい祭」は、京都市北区の今宮神社の毎年四月(旧暦の三月十日)に行われる大祭。白丁(はくちょう)による鉾、御幣(ごへい)、子鬼の後に、花傘を先頭に鉦や太鼓をたたく緋色の着物を着た大鬼が、長い髪を振り乱しながら「やすらい花や」の掛け声とともに踊り、練り歩き、さらに世話役ら踊りの一団が続くさまを描く。引手跡があり、元々は襖4面だったと思われる。横山華山(1781or1784-1837)は、はじめ岸駒に学び、のちに呉春に私淑した絵師で、円山派・四条派・岸派などの画風が混在した独特な画風を確立した。近世の京画壇の名ある絵師による京の祭りを描く作品として、展示での活躍が期待される。
- 3 ○名称 帯瓢拾句図 田能村竹田自画賛(たいひょうしゅうくず たのうむらちくでんじがさん)  
○時代 不詳  
○品質 絹本淡彩  
○員数 1幅  
○寸法等 本紙縦86.5cm 横32.6cm  
○作品概要 竹田の自賛によると、朝倉某という人物から手植えの瓢箪を贈られた礼に描いたという。画題は竹林七賢の一人で、大酒家として有名な詩人・劉伶の姿を捉えたもので、画のキー・ワードである瓢箪も添えられている。筆者の竹田は江戸後期の文人画家で、頼山陽・青木木米らとも交友があった。
- 4 ○名称 禅宗祖師図押絵貼屏風 海北友松筆(ぜんしゅうそしずおしえりびょうぶ)  
○時代 不詳  
○作者等 海北友松筆  
○品質 紙本墨画  
○員数 6曲1隻  
○寸法等 第1・6扇画面(各)縦110.6cm 横51.8cm  
第2~4扇画面(各)縦110.6cm 横53.2cm  
○作品概要 近江浅井家の家田の家に生まれ、のちに桃山画壇の巨匠となった海北友松の手になるもの。画題は「面壁達磨」や「玄沙白紙」、「靈雲觀桃」など禅宗の祖師たちの故事を描いたもので、各面に「友松」朱文方印があり、二面だけに「友松図之」の署名が施されている。流麗さの中に力強さを備えた、友松独特の略体人物表現が試みられている。
- 5 ○名称 厳島・近江八景図屏風(いつくしま・おうみはつけいずびょうぶ)  
○時代 不詳  
○作者等 不詳  
○品質 紙本金地着色  
○員数 6曲1双  
○寸法等 (各)縦155.3cm 横362.4cm  
○作品概要 江戸時代に入ると、わが国の名所を各隻に描き分けた屏風絵が数多く制作された。本図もその一つで、右隻に近江八景、左隻に厳島の威容があらわされている。作期は17世紀後半頃とみられるが、近江八景を主題としたものとしてはかなり早い時期の作例となる。細部表現も緻密で、保存状態もきわめて良好である。

<書跡>(1件)

6 ○名称 咏淀川十一景詩屏風(えいよどがわじゅういっけいしびょうぶ)

- 時代 不詳
- 作者等 中島棕陰筆
- 品質 紙本墨書
- 員数 6曲1双
- 寸法等 各縦166.5cm 各横377.4cm 本紙左右 各縦134.2cm 横49.4cm
- 作品概要 中島棕陰(1779~1855)は京都の儒者・文人で、名を徳規という。国学を伴蒿溪に学び、江戸に十年間滞在し、文化11年(1814)に京都へ帰った。詩歌にすぐれ、書をよくしたことで知られる。この屏風は、左隻第6扇に「右自伏水到浪華舟中、作十一首、書為大澤君、天保癸卯仲春棕陰記(印)(印)」とみえる。すなわち、天保14年(1843)に棕陰が伏見から大坂まで舟で下るさい、京都の豪商・大澤氏のため、みずからが目にした名所の風景を七言絶句の漢詩にあらわしたものと判明する。全部で十一首が記される。

#### <金工>(3件)

- 7 ○名称 刀 無銘(名物島津正宗)(かたな むめい(めいぶつしまづまさむね))
- 時代 鎌倉~南北朝時代(13~14世紀)
- 員数 1口
- 寸法等 長さ68.6cm 反り1.5cm
- 作品概要 『享保名物帳』所載の名物・島津正宗と伝える磨上無銘の刀。近代以降の所在が不明であったが、このたび再発見され当館に寄贈された。戦後まで近衛家に伝来。
  
- 8 ○名称 三鈷柄剣 無銘(さんこづかけん むめい)
- 時代 鎌倉時代(13世紀)
- 員数 1口
- 寸法等 長さ17.3cm
- 作品概要 室町時代の増補と思われる木製三鈷柄をともなった無銘の剣。いわゆる大和古剣と呼ばれるもので、全体的に研減りがあるものの、地刃共に過不足なく確認できる。京都市内の個人宅に伝わった。
  
- 9 ○名称 薙刀 無銘(なぎなた むめい)
- 時代 江戸時代(18~19世紀)
- 員数 1口
- 寸法等 長さ33.0cm 反り1.7cm
- 作品概要 祭事等に用いたと思われる、極薄造りの薙刀。当初から儀仗用に製作されたと思われ、焼き刃がほとんど確認できない。祇園祭の橋弁慶山町にも三品派の刀工の手による薄造りの祭事用刀剣が伝わっていることから、本品も同様の目的で製作されたものと考えられる。

#### <漆工>(3件)

- 10 ○名称 S. HAYASHI商店蒔絵看板(えす. はやししょうてんまきえかんばん)
- 時代 明治時代 19世紀
- 品質 木製、漆塗、蒔絵
- 員数 1枚
- 寸法等 縦65.0cm 横103.5cm 厚4.8cm
- 作品概要 明和年間(1764-72)から戦前まで京都で古物商を営んだ林新助家のもと思われる看板。木製、隅丸長方形の板に幅4cm、厚1.8cmの額縁をつけ、全体を黒漆で塗り、額縁の表面には金薄肉高蒔絵で七宝花菱を、看板には平蒔絵で各行異なるフォントを用いて「S. HAYASHI. /LACQUERS /BRONZES, & CROCKERIES /OF THE /ANCIENT AND MODERN /ART OF JAPAN. /FURUMONZEN KYOTO.」(S. 林. 漆. 銅器. 磁器製の食器など日本の新旧美術品。古門前、京都。)の文字を表す。背面中央上部に鉄製鏝を打つ。明治時代に外国人客向けに掲げたものだろう。
  
- 11 ○名称 S. HAYASHI漆器工房真鍮象嵌看板(えす. はやししきこうぼうしんちゅうざうざうがんかんばん)
- 時代 明治時代 19世紀
- 品質 木製、漆塗、真鍮象嵌
- 員数 1枚
- 寸法等 縦50.2cm 横88.4cm 厚5.8cm
- 作品概要 10番と同じく明治時代のおそらく林新助家の看板。三枚の木製板を並べ、左右にはしばみをかませて長方形とし、裏面左右に反り止めの棧を渡して棧の上下を面取とする丁寧な造り。全体を黒漆で塗り、真鍮板を象嵌して研ぎ出す方法で「S. Hayashi' s /FA C T RY OF GOLD LACQUER WARE /Inspection /is /Cordial l y invited」(S. 林の /金の漆器の工場 /ご自由にご覧ください)の文字を表す。10番と同じく外国人客向けに掲げたもの。10番とともに近代京都の工芸品輸出の歴史を説明するのに好都合な列品となるだろう。
  
- 12 ○名称 黒漆雲龍螺鈿琵琶(くろずみうんりゅうらせんびわ)
- 時代 清時代または琉球 17世紀
- 品質 木製、漆塗、螺鈿、象牙
- 員数 1面
- 寸法等 長87.5cm 幅31.7cm 奥行20.5cm
- 作品概要 木製、四弦の中国系の琵琶。頭部には唐木製半月形の柱を4つ並べ、腹板の上部に象牙製で左右幅の異なる細い柱を11本設けるが、現存は6本、うち1本は外れている。転手は唐木製、覆手は象牙製。桐材と思われる腹板には小さな半月を穿ち、撥面に獅子唐草文様の金唐革を張る。槽は黒漆地に螺鈿の剥出法で岩に波頭と五爪の龍を表す。徳川美術館蔵、推定琉球製の琵琶と文様が近似する。

#### <染織>(1件)

- 13 ○名称 納采踏襲結納儀礼品(のうさいとうしゅうゆいのうざれいひん)
- 時代 平成15年(2003)
- 品質 紙・水引・檜
- 員数 一式
- 寸法等 目録台: 縦24.0cm 横23.7cm 熨斗台: 縦33.9cm 横13.8cm  
末広台: 縦33.9cm 横13.8cm 御祝三品揃台: 縦24.8cm 横49.0cm
- 作品概要 目録、熨斗、末広、御祝三品(松魚料・柳樽料・帯地料)揃を、それぞれ片木台に載せた、結納儀礼品。皇室に水引などの儀礼品を奉仕する職家の製作にかかり、宮家の納采に用いられる儀礼品に準じた格式で製作されている。越前和紙、樹齢四百年ほどの国産檜など、最高級の材料を用いるが、一般に儀礼品は清浄なままお焚き上げで処分されるため、保存されない。

## 【奈良国立博物館】(計28件)

### (1)購入(3件)

#### <絵画>(1件)

- 1 ○名称 絹本着色弥勒菩薩来迎図 (みろくぼさつらいごうず)  
 ○時代 南北朝時代 14世紀  
 ○品質 絹本着色 掛幅装  
 ○員数 1幅  
 ○寸法等 本紙 縦117.9cm 横41.9cm 表具 縦207.8cm 横60.6cm  
 ○作品概要 弥勒菩薩が諸聖衆とともに来迎する様を山水の景のなかに描く。阿弥陀来迎図に比べて現存作例の少ない弥勒来迎図の希少な遺例。南都に継承された図像に基づくことが判明しており、中世の南都が生み出した仏教絵画の展開を示す貴重な作品。

<書跡>(1件)

- 2 ○名称 延長四年二月十三日民部省符 (えんちょうよねんにがつじゅうさんにちみんぶしょうふ)  
 ○時代 平安時代 延長4年(926)  
 ○品質 紙本墨書 掛幅装  
 ○員数 1幅  
 ○寸法等 本紙 縦29.6cm 横45.0cm 表具 縦112.0cm 横57.1cm  
 ○作品概要 わが国の古代律令政府の中心である太政官の下にある民部省から、大和国に宛てて出された符(上意下達文書)の原本。弘福寺(大和国高市郡)が不当に収公された寺田の返還を求めていたのに対し、それを認可する内容。同種の古文書はかつては多数現存したはずだが、現在に伝わる原本は数少なく、本文書は古文書学・古代史研究上の史料として著名かつ貴重なもの。

<金工>(1件)

- 3 ○名称 柄香炉 (えごうろ)  
 ○時代 平安時代 9~12世紀  
 ○品質 鍛鉄製  
 ○員数 1柄  
 ○寸法等 長38.8cm 幅11.4cm 火炉口径10.7cm  
 ○作品概要 僧侶が手にとって香を焚き、仏を供養するために用いる仏具。通常は銅製であり、鉄製のものは珍しい。火炉が浅く朝顔形に口縁が大きく広がり、脚柱が短い安定感ある形状を示す。このような特徴から、平安時代にさかのぼる遺品と目される。

(2)寄贈(25件)

<工芸>(25件)

- 1 ○名称 洞声印蒔絵肉池 木内喜八作 (かんせいいんまきえにくち きうちきはちさく)  
 ○時代 明治時代 19~20世紀  
 ○品質 木製(コクタン) 銀蒔絵 漆塗  
 ○員数 1合  
 ○寸法等 径8.3cm 高2.3cm  
 ○作品概要 近代木工芸を代表する作家木内喜八の作品で、コクタン製の印籠蓋造の肉池。外面は木目を生かした素地仕上げとし、蓋・身の側面は鑿痕を残す。蓋表にある銀蒔絵による「洞声」の印文は尾形光琳の別号印を模したものの。
- 2 ○名称 網彫彫硯箱 木内半古作 (あじろぼりすずりばこ きうちはんこさく)  
 ○時代 明治~昭和時代 19~20世紀  
 ○品質 木製(キリ・ケヤキ) 漆塗  
 ○員数 1合  
 ○寸法等 縦25.1cm 横19.8cm 高4.3cm  
 ○作品概要 木内喜八を養父とし、宮内省正倉院御物整理掛に出仕した木内半古の作。逆印籠蓋造、隅丸の長方形の箱。身の側面から合口部にかけて網彫文が彫刻されている。
- 3 ○名称 和歌色紙象嵌硯箱 木内半古作 (わかしきしぞうがんすずりばこ きうちはんこさく)  
 ○時代 大正時代 大正4年(1915)  
 ○品質 硯箱:木製(クワ・ツゲ)、水滴:銀製 筆 木製  
 ○員数 1合  
 ○寸法等 縦23.3cm 横17.5cm 高4.4cm  
 ○作品概要 大正4年、木内半古の作。硯箱は蓋・身とも錫の置口を用いた被蓋造、長方形隅丸の箱。蓋甲から側面にかけて斜めに色紙形を金線の象嵌で表し、中に本阿弥光悦の書いた前大僧正覚忠の和歌を四分一銀の象嵌で表す。高い木工技術を下敷きとする作品。
- 4 ○名称 風月象嵌短冊箱 木内半古作 (ふうげつぞうがんたんざくばこ きうちはんこさく)  
 ○時代 大正時代 大正4年(1915)  
 ○品質 木製(スギ)  
 ○員数 1合  
 ○寸法等 縦39.1cm 横7.9cm 高3.8cm  
 ○作品概要 大正4年、木内半古の作。スギの柁目材を素木のまま使用した、長方形、被蓋造の箱で、太鼓橋のように盛り上がる形状を示す。蓋表の上方に「風月」の二文字を銀象嵌で表す。素木の美しさを追求した作品。
- 5 ○名称 初音葦手象嵌裁縫箱試作 (はつねあしでぞうがんさいほうばこしさく)  
 ○時代 大正~昭和時代 大正13年(1924)~昭和3年(1928)  
 ○品質 木製(キリ)  
 ○員数 1合  
 ○寸法等 長33.3cm 幅24.2cm 高10.8cm  
 ○作品概要 キリ製の長方形の箱。身の内部に懸子を入れる。宮内庁三の丸尚蔵館が所蔵する『源氏物語』初音の帖の和歌を主題とした初音葦手象嵌裁縫箱の試作品。完成品は昭和3年に昭和天皇、香淳皇后に献上された「御飾品」の一品で、木工は木内半古が担当した。この試作品もこの経緯から半古が担当している可能性が高い。
- 6 ○名称 長花形煙草盆 木内半古作 (ちようはながたばこぼん きうちはんこさく)  
 ○時代 昭和時代 昭和6年(1931)  
 ○品質 盆・合子:木製(ケヤキ) 漆塗、灰入:銀製  
 ○員数 1具  
 ○寸法等 盆 長32.7cm 幅21.9cm 高2.2cm 合子 長15.2cm 幅9.0cm 灰入 径7.4cm 高7.7cm  
 ○作品概要 木内半古の作。六曲盆、十二曲合子、八花形灰入からなる煙草盆のセット。六曲盆、十二曲合子ともに正倉院宝物を模した形状を示し、正倉院御物整理掛に出仕した半古ならではの着想に基づく作品。
- 7 ○名称 撥鏤折尺試作 (ばちるおりじゃくしさく)  
 ○時代 大正~昭和時代(20世紀)  
 ○品質 象牙製

- 員数 1枚  
○寸法等 長14.1cm 幅0.9~1.2cm 厚0.5cm  
○作品概要 象牙を赤色や青色に染め、表面を彫り窪めて文様を表す撥鍍作品。一端に支点となる材を嵌めるための孔を設ける構造や、意匠・文様の近似から、宮内庁三の丸尚蔵館所蔵の初音葦手象嵌裁縫箱の中に含まれる撥鍍折尺の試作品と思われる。
- 8 ○名称 戴勝文木画合子 木内省古作（やつがしらもんもくがごうす きうちょうこさく）  
○時代 昭和時代 昭和7年（1932）  
○品質 木製（シタン）  
○員数 1合  
○寸法等 径6.95cm 高2.9cm  
○作品概要 シタン材を用いた円形、印籠蓋造の合子。轆轤挽きによって成形。底裏の刻銘により、木内半古の子、省古の作とわかる。蓋表の木画の意匠は、正倉院宝物の木画紫檀双六局の床脚側面の戴勝文を反転させたもの。木内省古は木画紫檀双六局の模造を三度制作している。
- 9 ○名称 花文木画合子 木内省古作（かもんもくがごうす きうちょうこさく）  
○時代 明治～昭和時代 19～20世紀  
○品質 木製（シタン）  
○員数 1合  
○寸法等 径7.2cm 高2.7cm  
○作品概要 シタン材を用いた扁平な円形合子。印籠蓋造で、轆轤挽きによって成形されている。蓋表中央に花文を木画技法で表す。蓋表の木画の意匠は、正倉院宝物の木画紫檀双六局の盤面に見える花文と同じもの。模造制作の過程で得た技法的知見に基づく作品とみられる。
- 10 ○名称 花文木画合子 木内省古作（かもんもくがごうす きうちょうこさく）  
○時代 明治～昭和時代 19～20世紀  
○品質 木製（ヒノキ）  
○員数 1合  
○寸法等 径5.5cm 高2.7cm  
○作品概要 ヒノキ製の円形合子。蓋甲は甲盛とし、中央に六弁花文を木画で表す。底裏の刻銘により木内省古の作と判明する。蓋表の木画の意匠は、正倉院宝物の木画紫檀双六局の盤面に見える六花文と同じもの。
- 11 ○名称 木画筒形合子（もくがつがつがごうす）  
○時代 明治～昭和時代 19～20世紀  
○品質 木製（シタン）  
○員数 1合  
○寸法等 径3.2cm 高6.95cm  
○作品概要 筒形の合子で、胴部はシタンを割りぬいて成形する。木画技法で、蓋表に花文、胴の側面上部に七曜文を表す。銘文はないが、側面に認められる七曜文は、正倉院宝物の木画紫檀双六局の畳摺側面の木画と同意匠であり、本品も木内省古の作である可能性が高い。
- 12 ○名称 木画手板（もくがていた）  
○時代 明治～昭和時代 20世紀  
○品質 木製（シタン）  
○員数 1枚  
○寸法等 縦12.0cm 横18.2cm 厚1.86cm  
○作品概要 シタン材の一枚板に、象牙、緑色に染めた鹿角、コクタン、ツゲ、カリン、銀、ヤコウガイなどの小片を組み合わせさせて象嵌する。正倉院宝物を範として木画の試作を行ったものとみられ、作者は木内省古かと推測される。
- 13 ○名称 木画紫檀双六局手板（もくがしたんのすごろくきよくていた）  
○時代 明治～昭和時代 20世紀  
○品質 木製（シタン）  
○員数 1枚  
○寸法等 縦3.3cm 横22.7cm 厚0.73cm  
○作品概要 シタン材の一枚板に、象牙、緑色に染めた鹿角または象牙、コクタン、ツゲなどの小片を組み合わせさせて象嵌する。正倉院宝物の木画紫檀双六局に範を求めた3種の花唐草文様を表しており、やはり木内省古の作かと推測される。
- 14 ○名称 木画手板（もくがていた）  
○時代 明治～昭和時代 20世紀  
○品質 木製（シタン）  
○員数 2枚  
○寸法等 甲：縦10.6cm 横6.0cm 厚0.66cm、乙：縦10.6cm 横6.0cm 厚0.69cm  
○作品概要 シタン材の一枚板に、象牙、緑色に染めた鹿角、コクタン、シタン、ツゲ、カリン、錫、タイマイなどの小片を組み合わせさせて象嵌する。文様は矢羽根文や整文、亀甲文、単花文、複合花文など。様々な幾何学文木画や絵画文木画を試みているもので、元来はさらに複数の手板が存在した可能性が高い。
- 15 ○名称 木画手板 木内省古作（もくがていた きうちょうこさく）  
○時代 明治時代 明治38年（1905）  
○品質 木製（シタン）  
○員数 1枚  
○寸法等 縦10.5cm 横5.8cm 厚0.72cm  
○作品概要 シタン材に、象牙、染めた鹿角または象牙、タケ、ツゲ、シタンなどの小片を組み合わせさせて象嵌する。長方形の一枚板に、鳥や蝶、小花文などを絵画文木画の技法で表した。背面に「木画試作／明治三十八年十一月省古作」と記される。
- 16 ○名称 木画軸試作 木内省古作（もくがじくしきく きうちょうこさく）  
○時代 明治～昭和時代 20世紀  
○品質 木製（ヒノキ）  
○員数 1本  
○寸法等 長19.8cm 軸首長3.0cm 軸首最大径1.84cm  
○作品概要 ヒノキ材製の丸棒にツゲ材製の撥形の軸首を納差しする。軸首の頭に鹿角、コクタン、錫の小片を組み合わせさせて象嵌する。円柱形の軸の一端に撥形の軸首を取り付け、軸頭に六弁花を木画技法で表す。箱蓋裏に「省古作」の墨書がある。
- 17 ○名称 菊桐文象嵌硯箱 木内省古作（きくきりもんぞうがんすずりばこ きうちょうこさく）  
○時代 昭和時代 昭和15年（1940）  
○品質 硯箱：木製（スギ）、水滴：銀、刀子・銚・筆・筆枕：木製（クワ）

- 員数 1合  
○寸法等 硯箱 縦24.4cm 横19.7cm 高4.9cm  
○作品概要 硯箱は印籠蓋造で、スギ材製、漆塗り。蓋表は乱れ菊をツゲ、象牙の象嵌で、桐文をクロチョウガイとシロチョウガイの螺鈿で表す。水滴は肩の丸い薄い円筒形。硯は風字硯風。刀子は把が「く」の字形に屈曲する。全体に奈良時代を意識した造形である。硯箱底裏刻銘「省古作」
- 18 ○名称 瓜文手箱 木内省古作（うりもんてばこ きうちょうこさく）  
○時代 昭和時代 昭和22年（1947）  
○品質 木製（クワ） 漆塗  
○員数 1合  
○寸法等 縦25.7cm 横19.1cm 高9.1cm  
○作品概要 長方形、隅丸、印籠蓋造の箱。身底裏に「省古作」の陰刻銘がある。省古の父半古もほぼ同形の作品を作っており、省古はその図様を手本にしてこの手箱を製作したと思われる。ただし半古の作品では瓜文を象嵌で表すが、本品はこれを浮彫りとしている。
- 19 ○名称 撥鏤草花文帯留（ばちるそうかもんおびどめ）  
○時代 明治～昭和時代 20世紀  
○品質 象牙 銀  
○員数 1箇  
○寸法等 径3.0cm  
○作品概要 淡紅色に染めた象牙の表面を彫る撥鏤技法で、甲盛りのある円形の胎に一株の草花を表す。正倉院宝物の献物箱や調度品に類似する文様のものがあり、それらを翻案した作品とみられる。作者は木内省古である可能性が高い。
- 20 ○名称 花文象嵌簪 木内省古作（かもんぞうがんかんざし きうちょうこさく）  
○時代 昭和時代 昭和5年（1930）  
○品質 タイマイ  
○員数 1枚  
○寸法等 長12.0cm 幅6.6cm  
○作品概要 タイマイの黒い部分を用いて作った簪。脚部に「省古作」の刻銘がある。木内省古は正倉院宝物の修理等を通じて得たタイマイ細工の技法についても造詣が深く、本品の製作につながったものと思われる。
- 21 ○名称 鳶文蒔絵櫛・筭（つたもんまきえくし・こうがい）  
○時代 明治～昭和時代 19～20世紀  
○品質 タイマイ  
○員数 1枚・1本  
○寸法等 櫛 縦3.5cm 横8.5cm 筭 長14.3cm 径1.0cm  
○作品概要 櫛はタイマイの一枚から34歯を作り出し、峰には色漆を塗って竹に擬し、節を表す。表面には金高蒔絵で鳶文を表す。筭は両端が広がる杵形で、両端を色漆を用いて竹に擬している。本品は、明治時代にも流行した黒龍甲に金高蒔絵の櫛・筭のセット。
- 22 ○名称 萩象嵌雲板 木内省古作（はぎぞうがんうんぱん きうちょうこさく）  
○時代 昭和時代 昭和35年（1960）  
○品質 木製（キリ）  
○員数 1面  
○寸法等 径39.4cm 厚1.8cm  
○作品概要 雲板（雲版）は本来、色紙や短冊などを入れて壁に掛けるための額の種類だが、本品は雲版に見立てた円形の板に象嵌で文様を表した壁掛。キリの丸板一枚に、シタン、ツゲ、象牙、タイマイ、銀等を象嵌して萩文を表す。裏面の刻銘から、木内省古の78歳の作とわかる。
- 23 ○名称 籬菊薄象嵌火鉢（まがききくすすきぞうがんひばち）  
○時代 明治～昭和時代 20世紀  
○品質 本体 木製（キリ） 落とし 銅製  
○員数 1口  
○寸法等 径33.3cm 高21.1cm 口径24.7cm  
○作品概要 胴張りのある円筒形の火鉢。側面のやや下寄りの部分に籬を浅く浮彫りする。また一方の面に菊と薄をシロチョウガイとツゲとみられる木材を象嵌して表す。口縁は内側に小さな張り出しを作り、ここに銅製打出しの落としを入れる。木目を文様として生かした巧みな作りに特徴がある。
- 24 ○名称 図案（ずあん）  
○時代 明治～昭和時代 20世紀  
○品質 紙本着色 紙本墨画ほか  
○員数 16枚 2幅  
○寸法等 -  
○作品概要 木内省古作の香炉や雲版、裁縫箱などの図案や、木内省古の筆になる着色画など。
- 25 ○名称 玩具図色紙 木内省古筆（がんぐずしきし きうちょうこひつ）  
○時代 昭和時代 20世紀  
○品質 紙本着色 色紙  
○員数 2面  
○寸法等 犬張子図 縦27.2cm 横24.1cm 鶯と蘇民将来図 縦24.1cm 横27.2cm  
○作品概要 犬張子をはじめ小さな玩具類を描いた色紙が1枚と、鶯の木彫民芸品と「蘇民将来」の木彫護符を描いた色紙1枚。

（参考）奈良国立博物館は、新規寄贈品 25 件（上記）のほか、下記 1 件を受入れたが、平成 10 年度に寄贈された「正倉院宝物模造（撥鏤尺）付 制作過程資料 一括（物品番号 1236）」の内訳として追加登録のため、収蔵品の件数としては計上しない。

- 名称 撥鏤工程見本（ばちるこうていみほん）  
○時代 平成時代 21世紀  
○品質 象牙製  
○員数 3枚  
○寸法等 (1) 縦4.3cm 横2.6cm 厚0.8cm (2) 縦3.6cm 横3.25cm 厚1.05cm (3) 縦3.1cm 横2.45cm 厚0.65cm  
○作品概要 (1)と(2)は紅牙撥鏤、(3)は紺牙撥鏤の工程見本。(1)は長方形に切り出した象牙をコチニール（コチニールカイガラムシ）で30分間染めたもの。(2)は一面に丸みのある方形の象牙片を西洋茜で60分間染めたもの。(3)は藍染めの後、文様を彫刻し、さらにラックダイ（ラックカイガラムシの分泌物）で染めたもの。

## 【九州国立博物館】(計 19 件)

### (1) 購入 (15 件)

#### <絵画> (4 件)

- 1 ○名称 紙本着色病草紙断簡(瘧のある女)(しほんちやくしよくやまいのそうしだんかん あざのあるおんな)  
○時代 平安～鎌倉時代・12世紀  
○品質 紙本着色  
○員数 1面  
○寸法等 縦25.9cm 横45.3cm  
○作品概要 瘧というのは誰しもあるもので、見えない部分にあれば苦しみはないが、顔などにあると人と交わることもできず、不都合であるという。絵を見ると、豪華な衣装を身に着けた女性が瘧のある自分の顔を見つめ鬱々とした表情を浮かべている。その顔貌や衣文などは、「地獄草紙」(国宝、東京国立博物館所蔵)や「餓鬼草紙」(国宝、京都国立博物館所蔵)にきわめて近く、画家の卓越した描写力が見てとれる。これらは12世紀末に後白河法皇(1127-92)のもとで活躍した宮廷絵師・常盤光長の制作と考えられていることから、本図も同時期に後白河法皇や光長の関与により制作されたものと推測される。平安時代を代表する優品。
- 2 ○名称 絹本着色摩尼誕生図(けんぼんちやくしよくまにたんじょうず)  
○時代 中国 元時代末～明時代初・14世紀  
○品質 絹本着色  
○員数 1幅  
○寸法等 縦35.6cm 横56.9cm  
○作品概要 マニ教の開祖・マニの誕生の様子を描く。3世紀、ペルシアに生まれたマニが創始したマニ教は、ユーラシア大陸全域に広がり、その影響は中国・唐にも及んだ。中国では、仏教や道教に同化しながら布教を行った結果、思想的にも造形的にも仏教と混交した。本図は、仏教の開祖である釈迦の誕生を描いた、釈迦誕生図の図像に近似しており、仏教の影響が明らかに見てとれる。なお、その作風から、寧波周辺で描かれた仏画(寧波仏画)と多くの共通点が認められ、制作年代については元時代末～明時代初と推測される。数少ないマニ教絵画の一作例として、また、当該期の思想的、造形的な文化交流のあとを示す意義深い作例といえる。
- 3 ○名称 紙本着色隠元隆琦像 喜多元規筆 隠元隆琦賛(しほんちやくしよくいんげんりゅうきぞう きたげんきひつ いんげんりゅうきさん)  
○作者等 喜多元規筆 隠元隆琦賛  
○時代 江戸時代・寛文11年(1671)賛  
○品質 紙本着色  
○員数 1幅  
○寸法等 縦119.3cm 横48.8cm  
○作品概要 隠元隆琦(1592-1673)80歳の姿を描いた、喜多元規(生没年不詳)初期の新出作例である。隠元隆琦は、福建省福州出身の禅僧。興福寺住持・逸然性融(1601-1668)らの招きに応じて承応3年(1654)に長崎に来航し、日本における臨済宗黄檗派(現・黄檗宗)の開祖となった。本図は、黄檗宗の肖像画通有の写実性を備えた、典型的な作例である。筆者の喜多元規は、最も名の知れた黄檗肖像画家。200点余りの現存作例のうち、本作は、像主の生氣ある表情を細緻に描いた、画家前期、つまり寛文10年頃まで遡る可能性のある、出色の作品である。賛文は、隠元の語録に一致するものはないが、前半部分は『黄檗和尚扶桑語録』『宝蔵院の請』により制作された自賛像賛文と重複する。
- 4 ○名称 紙本着色虎図 熊斐筆(しほんちやくしよくとらず ゆうひひつ)  
○作者等 熊斐筆  
○時代 江戸時代・宝暦12年(1762)  
○品質 紙本着色  
○員数 1幅  
○寸法等 縦133.0cm 横47.6cm  
○作品概要 力強い筆線で虎の迫力を見事に表した、熊斐(1712-1772)の基準作。熊斐は、長崎に来航した中国人画家・沈南蘋らに師事して、鮮麗な色の写実的な花鳥画を習得した。本作品においても、薄く藍を塗った背景などに南蘋風の表現が看取できるが、その一方で、虎には江戸以前からの伝統的な虎図や朝鮮絵画からの影響を考えるべきであろう。その表現は細部に丁寧な彩色を施しながら、リズムカナルで力強い筆線で虎の躍動感を生み出しており、熊斐作品のなかでも優れた出来映えを示す。また、熊斐には年記のある作品が少なく、それも宝暦4年前後に集中している。宝暦12年に描かれた本作は、画家の後半期の基準作であり、画風変遷を理解する上でも極めて貴重な作例である。

#### <書跡> (1 件)

- 5 ○名称 紙本墨書月江正印墨蹟 識語(しほんぼくしよげつこうしょういんぼくせき しきご)  
○作者等 月江正印筆  
○時代 元時代・至正3年(1343)  
○品質 紙本墨書  
○員数 1幅  
○寸法等 縦35.5cm 横74.7cm  
○作品概要 中国・元時代の禅僧として名高い月江正印が、北宋の大慧宗杲を筆頭に南宋の癡絶道冲らに至る、今は亡き禅僧たちの遺墨集を拝見して執筆した識語である。高僧の遺墨に接し、仰慕の感慨を抱いたことを記す。その書は、楮紙と推定される素紙に松煙墨を用いて楷書体に近い謹厳な行書体で揮毫される。全16行。本紙奥に印章2顆(「沙門正印」「松月翁」)を捺す。表装は織部好みの掛幅装で、江戸時代中期に遡ると推考される。なお、重要文化財「雲峰妙高墨蹟 大慧墨蹟跋」(北村文華財団所蔵)は、本作品に遡る59年前に、同遺墨集を拝見した禅僧の雲峰妙高が記した識語で、先学により本作品との関連が指摘されている。日本から渡海した多くの禅僧が師と仰いだ月江正印の77歳の筆として貴重である。

#### <彫刻> (1 件)

- 6 ○名称 女神坐像(によしんざぞう)  
○時代 平安時代・12世紀  
○品質 木造 彩色  
○員数 1躯  
○寸法等 像高40.7cm  
後屏:高60.8cm 幅36.6cm 厚1.6cm  
牀座:幅39.6cm 奥行16.8cm 高4.7cm  
○作品概要 頭頂で髪束を蝶結びに結び、髪を左右に振り分け、長く背面に垂らす。大袖衣、鱧袖付き★(衣+蓋)襦衣、裳を着ける。両手は大袖衣の袖内に包み隠して拱手する(持物亡失)。後屏を背にして牀座(後補)上に坐す。ヒノキの一枚材から彫出し、両膝外側に別材を矧ぐ。胴長で像奥が薄い、膝張が狭いなど12世紀頃の神像の特徴が顕著である。面長で下膨れの顔に、目尻が吊り上がった半眼の目や上唇が突き出た口を表しており、神威に満ちている。当初のものと思われる後屏はヒノキの一枚材製で、屏面には山水が軽快に描かれており、平安後期の絵画資料としても貴重。なお、本像と面貌が近似する重要文化財「男神坐像」(個人蔵、像高50.9cm)もあり、一具だったと考えられる。

#### <陶磁> (1 件)

- 7 ○名称 色絵花鳥文六角壺(柿右衛門様式)(いろえかちようもんろつかくつぼ かきえもんようしき)

- 作者等 有田(伊万里)  
 ○時代 江戸時代・17世紀後半  
 ○品質 磁器  
 ○員数 1対  
 ○寸法等 1.口径11.0×9.5cm 身高31.8cm(総高36.5cm) 底径13.0×11.5cm  
 2.口径11.0×9.5cm 身高32.0cm(総高36.5cm) 底径13.3×11.3cm  
 ○作品概要 17世紀後半の西欧向け輸出用に伊万里(有田)で作られた柿右衛門様式の色絵磁器を代表する作品である。柿右衛門様式の色絵磁器を多数収集し、欧州におけるその流行の牽引役となったイングランド・スコットランド・アイルランド女王・メアリー2世(1662-1694、在位1689-1694)の居城ハンプトン・コート宮殿に類似品が伝来することから「ハンプトン・コート壺」と呼ばれるタイプに属する。このタイプの壺は柿右衛門様式の中でもとりわけ評価が高く、その特徴は、濁手と呼ばれる乳白色の素地、板作り成形、輪郭線に黒と赤を使い分けること、素描の筆致が巧みなことにあり、柿右衛門窯(南川原山)の作品であると考えられる。

<漆工>(1件)

- 8 ○名称 春字彫彩漆合子(しゅんじちようさいしつごうす)  
 ○時代 中国 明時代・16世紀  
 ○品質 木製漆塗  
 ○員数 1合  
 ○寸法等 径35.5cm 高12.7cm  
 ○作品概要 さまざまな吉祥文を組み合わせて飾った大型の合子である。とりわけ「春」字が大きくあらわされるが、このように吉祥文字や吉祥句を器物にあらわすことが盛んになるのは明時代・嘉靖年間(1522-66)からである。また、多色の漆を塗り重ねて薄めの堅い層をつくり、そこに細緻に文様を彫りあらわすのも嘉靖期彫彩漆にみられる典型的な特色であり、そのすぐれた作行から推して官営工房製の作品と考えてよい。同趣の作品としては「剔彩春壽寶盒」(「大明嘉靖年製」銘、台北・国立故宮博物院所蔵)があげられる。

<染織>(3件)

- 9 ○名称 茜地花丸花唐草文更紗(あかねじはなまるはなからくさもんさらさ)  
 ○作者等 インド・グジャラート地方  
 ○時代 18世紀  
 ○品質 木綿単糸平織。糸密度(経:Z・17本/cm 緯:Z・16本/cm)。片面染め、型染め、媒染。  
 ○員数 1枚  
 ○寸法等 縦259.0cm 横171.4cm  
 ○作品概要 インド更紗。太い木綿糸を紡いで織った木綿2枚を接ぎ合わせた双幅の布一面に、木型捺染で花文様を基調とした幾何学文様と花唐草文様を充填した「鬼手更紗」である。主文は中心に置かれた大輪の多弁花を表した花丸文で、中央部四隅には主文の4分の1にあたる扇形を配す。縁回しには花唐草文がめぐらされている。裏面の一隅には「VOC」印、もう一隅には「24」の数字が捺されている。双幅の大きな木綿の中心に大輪の花丸文、中心区画の四隅に花丸文の4分の1形をそれぞれ配する鬼手更紗は、祇園祭南観音山見送り、祇園祭鯉山胴掛として日本に伝存しており、その用途においても儀礼用という本来のかたちを今に伝えている。
- 10 ○名称 格子緋更紗間着(こうしがすりさらさあいぎ)  
 ○作者等 日本(仕立て)／インド・コロマンデル海岸(布地)  
 ○時代 江戸時代・18～19世紀(仕立て)／18世紀(布地)  
 ○品質 木綿双糸斜子織。糸密度(双糸を1本として数えた場合。経:Z・18本/cm 緯:Z・18本/cm)。両面染め、描き染め、蠟防染。  
 ○員数 1領  
 ○寸法等 文143.9cm 桁65.5cm 袖丈53.0cm  
 ○作品概要 間着。現状は単衣だが、もとは袷仕立て。生地は紺糸と白糸の格子文様が中心部となり、周りは唐草文、房飾り様の火焰形花卉文を表した更紗。彦根更紗(東京国立博物館所蔵T1-392)中にも格子と更紗をあわせた類例が見られ、「緋手更紗」として知られる。格子部分を身頃や袖とし、更紗部分を、袖口、襟先、衿、裾にあてる。裏地が外れた状態で、衿は縫い代が解かれて広衿になっている。袖は袖下に丸みをつけた袂袖で、袖口を比較的広く取り(28cm)袖下を縫い詰める。袂の内側には身八つ口の開口部分をつくらない。両袖の袂の内側には本生地とは異なる方形の更紗裂(茜地鳥獸文更紗)を、襟の中心、腰部には単糸格子織の裂を縫い付けている。
- 11 ○名称 紅型・琉球衣裳(びんがた・りゅうきゆういしょう)  
 ○作者等 琉球  
 ○時代 第二尚氏時代～大正時代・19～20世紀  
 ○品質 苧麻、木綿、絹、平織、経緯緋、紅型(片面/両面)、先染、摺込捺染  
 ○員数 一括  
 ○作品概要 本資料は明治38年(1905)から昭和4年(1929)に収集された琉球資料のうち、染織資料17領2枚。大きく分けて、①琉球・第二尚氏時代から明治期にかけて作られた紅型衣裳および裂、②琉球の王都・首里の織物衣裳、③明治期以降の八重山、宮古の衣裳から構成される。本資料のうち①紅型衣裳12領は、袖付や衿に一部改変や仕立ての変化が見られるが、多くは琉服の特徴を残している。白地両面紅型衣裳は、布地の質、染技術ともに優れ、首里の上級士族が着用した紅型衣裳であったと考えられる。紅型裂2枚は一度仕立てたものを解いた布地の一部。②朱地経縞衣裳1領は、芭蕉の芯から採取する極細の繊維を精練し染色した煮総芭蕉で織られ、色糸には絹が用いられる。③宮古、八重山の貢納布(上布)は、主に苧麻を原料とした布で絹糸のように艶やかで美しいことで知られる。男性物の着物3領は、宮古、八重山で製作された。琉球は廃藩置県に伴い、日本的な風習が急激に取り入れられる中で、衣裳形態も変化し和装化した。

<考古>(1件)

- 12 ○名称 (重要美術品)伝三上山下古墳出土 獸帯鏡(でんみかみやましたこふんしゅつど じゅうたいきょう)  
 ○時代 古墳時代・6世紀  
 ○品質 青銅鑄造  
 ○員数 2面  
 ○寸法等 1.径23.2cm 2.径22.4cm  
 ○作品概要 鏡・銅鐸の収集家として知られる山川七左衛門旧蔵の資料で、明治23年近江野洲郡三上山下の古墳から出土したものとされる。主文様区に四葉座付乳を7個配置し、それにより分割された各区に半肉彫の獸形を配置する獸帯鏡で、直径約23cmを測る古墳時代後期の大形鏡である。2面の鏡は同じ型からつくられた、いわゆる同型鏡で、韓国百済武寧王陵や群馬県綿貫観音山古墳と同型であることが知られており、日本と百済との密接なつながりを物語る資料として重要である。なお、1面の鏡の鏡面には金銅製双魚佩の残片が付着している。これは国内において出土例が少ないものであり、被葬者像を考える上で貴重な研究資料である。

<歴史資料>(3件)

- 13 ○名称 紙本墨刷阿佐井野版医書大全(しほんぼくさつあさいのぼんいしよたいぜん)  
 ○作者等 熊宗立(均)著、阿佐井野宗瑞出版  
 ○時代 室町時代・16世紀  
 ○品質 紙本墨刷  
 ○員数 10冊  
 ○寸法等 縦26.9cm 横17.4cm  
 ○作品概要 室町時代後期の医学においては、明の医学が尊重された。なかでも熊宗立(均)(1409-82)著『医書大全』は当時最新の中国伝来の医学書の一

つである。病気が明確に分類され、症状に応じた処方薬が記された便利な手引書であった。本書は、堺の商人・医師であった阿佐井野宗瑞（1473-1532）が明・正統11年（1446）に出版された原版『医書大全』を復刻出版したもの。日本で最初に印刷出版された医学書として著名である。『阿佐井野版医書大全』の初版発行は大永8年（1528）であるが、便利な手引書だったため、以後200年余りにわたり版を重ねた。本書は初版ではないが、中世末頃のものとして推定される。古典籍収集家として著名なフランク・ホーレー旧蔵。

- 14 ○名 称 紙本墨書細川忠興（三斎）書状（しほんぼくしよほそかわただおき（さんさい）しよじょう）  
 ○時 代 江戸時代・寛永11年（1634）  
 ○品 質 紙本墨書  
 ○員 数 1通  
 ○寸 法 等 縦15.7cm 横257.7cm  
 ○作品概要 肥後熊本藩の旧藩主（隠居）細川忠興（1563-1645、法名宗立・号三斎）が、家臣志水次兵衛・蒲田賢斎（堅斎）に宛てた書状。全7条と追而書からなり、江戸幕府が西国大名と長崎来航の唐人との直接取引を禁止したこと（第1条）、長崎奉行による大名の監視が強化されていること（第7条）などが記される。他の関係史料に照らせば、本書状の年次は寛永11年（1634）に比定される。寛永8年、幕府の奉書船制度の導入にともない、朱印船貿易を絶たれた西国大名は、長崎の唐人貿易に比重を移した。これに対し、幕府が西国大名と唐人との直接取引を禁止したのが寛永10年の第1次鎖国令である。本書状は、「鎖国」成立過程における西国大名細川氏の対応を如実に示す好史料である。
- 15 ○名 称 東大寺等関係文書（とうだいじとうかんけいもんじょ）  
 ○時 代 卷子 平安時代・天曆8年（954）～長保4年（1002）  
 一紙文書（各）平安時代・久安4年（1148）、鎌倉時代・宝治3年（1249）、文永8年（1271）  
 ○品 質 紙本墨書  
 ○員 数 1巻3通  
 ○寸 法 等 卷子：縦29.1cm 横758.6cm  
 久安4年文書：縦32.2cm 横52.5cm  
 宝治3年文書：縦34.3cm 横53.0cm  
 文永8年文書：縦30.8cm 横52.7cm  
 ○作品概要 卷子は、大和国添上郡檜中郷五条五里一坪（現在の奈良県天理市檜町に鎮座する檜神社付近）の土地を売買した際の売券16通を貼り継いだ手継証文。平安時代以降、土地を売買する際には、土地の権利が移動するたびに作成された証拠文書を貼り継いで、土地の所有権を示す証文とし、これを手継証文と称した。3通ある一紙文書のうち、久安4年（1148）文書は、興福寺東院の建物や荘園を信慶大律師が覚長大法師に譲る際に作成された譲状。宝治3年（1249）文書は能登国が納めた封物に対する東寺の受領書。文永8年（1271）文書は、比叡社の祭礼の御馬を飼うための米を借り進めるべきことを命じた文書。なお、紙背に聖經を書写する。

#### 寄贈（4件）

##### <絵画>（1件）

- 1 ○名 称 紙本墨画山水図押絵貼 六曲屏風 福原五岳筆（しほんぼくががさんすいずおしえばり ろつきよくびょうぶ ふくはらごかくひつ）  
 ○作 者 等 福原五岳筆  
 ○時 代 江戸時代・18世紀（絵画）、19世紀（着賛）  
 ○品 質 紙本墨画  
 ○員 数 1隻  
 ○寸 法 等 縦113.8cm 横51.9cm（第1扇、6扇） 縦cm113.8 横56.3cm（第2～5扇）  
 ○作品概要 18世紀後半の大坂における文人画興隆に寄与し、当時高く評価された画家・福原五岳（1730-1799）の作。五岳は備後尾道に生まれ、上京後は池大雅（1723-1776）に師事した。30代半ばで大坂に移り師風を広めたことで知られる。本作品は、主題・構図ともに典型的な山水図と位置づけられ、幅広の筆で軽やかに描いた遠山は、五岳の中年以降の様式を示す。賛文は、佐藤一斎（第1扇）、滝松隠（第2扇）、赤松翼（第3扇）、近藤篤山（第4扇）、貫名海屋（第5扇）、篠崎小竹（第6扇）がそれぞれ着賛する。第1扇に「八十八老人」とあり、これが一斎が88歳で没する安政6年（1859）と考えられること、また第4扇に「巳丑重陽」とあり、文政12年（1829）9月と推測されることから、作画の時期と、各扇の着賛の年代が異なる可能性が高い。

##### <陶磁>（1件）

- 2 ○名 称 藁灰釉沓形茶碗（わらばいゆうくつがたちやわん）  
 ○作 者 等 高取・内ヶ磯窯  
 ○時 代 江戸時代・17世紀  
 ○品 質 陶器  
 ○員 数 1口  
 ○寸 法 等 口径13.0cm 高7.4cm 底径5.4cm  
 ○作品概要 意図的に三方にたわませる器形から、桃山様式の影響を強く受けた内ヶ磯窯の作品といえる。また、「王」字銘を高台内に残し、高台を割高台にする。さらに全体に藁灰釉を施すことにも内ヶ磯窯の特徴が認められる。王字窯印をもつ類例として、「朝鮮唐津茶碗 銘深山路」（東京国立博物館所蔵、G-5846）や「朝鮮唐津茶碗」（福岡市美術館所蔵）などが知られるほか、京都三条遺跡からも出土しており、畿内での茶の湯の隆盛にあわせて作られた茶碗との位置づけができる。

##### <漆工>（1件）

- 3 ○名 称 布袋堆朱香合（ほていついしゅこうごう）  
 ○時 代 江戸時代・19世紀  
 ○品 質 木製漆塗  
 ○員 数 1合  
 ○寸 法 等 径5.1cm 横2.7cm  
 ○作品概要 円形、印籠蓋造の合子。やや胴を張らせた太鼓形で、合口は浅く、身の立ち上がりも小さい。文様は、蓋表に座した布袋をあらわし、蓋裏・身の側面に雷文をめぐらしている。中国製の堆朱合子を模して制作された、いわゆる和物堆朱で、漆が良質なため塗り重ねが木目状に見える。なお、X線CT撮影および蛍光X線分析調査により、蓋と身に鉛の薄片が埋められていることが判明した。

##### <考古>（1件）

- 4 ○名 称 福島県寺脇貝塚出土 石冠（ふくしまけんてらわきかいづかしくつど せっかん）  
 ○作 者 等 不明  
 ○時 代 縄文時代・前20世紀-前4世紀  
 ○品 質 石製  
 ○員 数 1点  
 ○寸 法 等 高6.5cm 幅8.7cm 奥4.7cm  
 ○作品概要 石冠は縄文時代を代表する呪術具である。山形を基本として多様な形態を持つものが知られているが、本品のように線刻のあるものは、稀少である。その分布は、岐阜県北部を中心とし、北陸に展開、東日本にも広がっている。数は少ないながらも九州や南西諸島でも出土している。一部の石冠に類似した形態を持つ三角壙形土製品は、主に新潟県南部に分布するものであるが、西日本では鹿児島県市ノ原遺跡で出土した石製のものが唯一である。これら各地に分布する石冠や類似の石製品・土製品の関係性は明らかでは無い部分も多いが、今後、縄文時代の文化交流を考えていくにあたって重要な資料である。

1-(1)-④ 寄託品一覧表

(単位:件) 平成26年3月31日現在

	国立博物館			東京国立博物館			京都国立博物館			奈良国立博物館			九州国立博物館		
	計	国宝	重文	計	国宝	重文	計	国宝	重文	計	国宝	重文	計	国宝	重文
合計	11,486	193	1,191	2,519	53	245	5,892	87	622	1,994	53	321	1,081	0	3
絵画	3,201	56	414	392	12	62	2,003	29	247	592	15	105	214	0	0
書跡	1,670	66	270	378	11	28	890	42	203	322	13	37	80	0	2
彫刻	799	11	205	147	1	38(*1)	255	1	64	374	9	103	23	0	0
建築	4	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0
金工	1,026	13	88	168	5(*1)	18	529	1	39	238	7	31	91	0	0
刀剣	246	10	68	210	8	55(*1)				34	2	13	2	0	0
陶磁	1,220	1	6	134	0	2	792	1	3	11	0	0	283	0	1
漆工	701	13	50	84	6(*1)	13(*1)	461	4	15	107	3	22	49	0	0
染織	724	7	36	69	2	4	496	3	31	49	2	1	110	0	0
考古	911	12	31	157	4	12	427	6	10	230	2	9	97	0	0
民族資料	121	0	0	5	0	0	0	0	0	6	0	0	110	0	0
歴史資料	87	0	10	1	0	0	35	0	10	29	0	0	22	0	0
和書	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
東洋	絵画	149	2	11	149	2	11								
	書跡	24	1	0	24	1	0								
	彫刻	11	0	0	11	0	0								
	金工	1	0	1	1	0	1								
	陶磁	70	1	0	70	1	0								
	漆工	25	0	1	25	0	1								
	染織	9	0	0	9	0	0								
	考古	485	0	0	485	0	0								
	民族	0	0	0	0	0	0								

\* 東京国立博物館は、列品管理規定による「旧東洋課所掌分」あり。京都国立博物館・奈良国立博物館・九州国立博物館は、東洋の寄託品も「日本」に含む。

\* 東京国立博物館では、国宝・重要文化財の数は文化庁の指定件数に合わせている。

\* (\*1)の項目については、件数再確認の結果、件数が変更になった(東博 国宝 金工4→5 漆工3→6 重文 彫刻41→38 刀剣57→55 漆工16→13)。本表の記載は、この修正を踏まえたものである。

1-(1)-⑤ 寄託品増減表

(単位:件) 平成26年3月31日現在

	国立博物館			東京国立博物館			京都国立博物館			奈良国立博物館			九州国立博物館							
	24年度		25年度	24年度		25年度	24年度		25年度	24年度		25年度	24年度		25年度					
	計	新規	返却	計	新規	返却	計	新規	返却	計	新規	返却	計	新規	返却					
合計	11,666	154	334	11,486	2,563	20	64	2,519	5,914	70	92	5,892	1,951	49	6	1,994	1,238	15	172	1,081
絵画	3,235	45	79	3,201	406	2	16	392	2,013	25	35	2,003	587	7	2	592	229	11	26	214
書跡	1,744	15	89	1,670	394	2	18	378	918	2	30	890	311	11	0	322	121	0	41	80
彫刻	768	36	5	799	138	10	1	147	254	2	1	255	353	24	3	374	23	0	0	23
建築	4	0	0	4	0	0	0	0	4	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0
金工	1,022	15	11	1,026	169	0	1	168	526	12	9	529	237	2	1	238	90	1	0	91
刀剣	245	1	0	246	210	0	0	210				34	0	0	34	1	1	0	0	2
陶磁	1,319	22	121	1,220	139	0	5	134	784	20	12	792	11	0	0	11	385	2	104	283
漆工	712	5	16	701	95	3	14	84	463	0	2	461	105	2	0	107	49	0	0	49
染織	719	9	4	724	73	0	4	69	488	8	0	496	48	1	0	49	110	0	0	110
考古	914	1	4	911	157	0	0	157	429	1	3	427	230	0	0	230	98	0	1	97
民族資料	121	0	0	121	5	0	0	5	0	0	0	6	0	0	6	110	0	0	110	
歴史資料	87	0	0	87	1	0	0	1	35	0	0	35	29	0	0	29	22	0	0	22
和書	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0
東洋	絵画	146	3	0	149	146	3	0	149											
	書跡	24	0	0	24	24	0	0	24											
	彫刻	11	0	0	11	11	0	0	11											
	金工	1	0	0	1	1	0	0	1											
	陶磁	74	0	4	70	74	0	4	70											
	漆工	25	0	0	25	25	0	0	25											
	染織	9	0	0	9	9	0	0	9											
	考古	486	0	1	485	486	0	1	485											
	民族	0	0	0	0	0	0	0	0											

1-(1)-⑥ 登録美術品一覧表

(単位:件) 平成26年3月31日現在

	国立博物館			東京国立博物館			京都国立博物館			奈良国立博物館			九州国立博物館		
	計	国宝	重文	計	国宝	重文	計	国宝	重文	計	国宝	重文	計	国宝	重文
合計	23	0	2	23	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
絵画	3	0	2	3	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
書跡	16	0	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
彫刻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
陶磁	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
染織	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金工	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東洋	陶磁	3	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

1-(2) 収蔵品の管理・保存

1-(2)-① 保存カルテ作成件数

【東京国立博物館】

平成26年3月31日現在

合計		1,492		
計	列品貸与時	本格修理調査時	応急修理時	
	786	298	408	
絵画	189	10	177	
書跡	40	6	0	
彫刻	45	3	2	
建築	0	0	0	
金工	29	0	0	
刀剣	29	196	0	
陶磁	12	4	0	
漆工	30	3	2	
染織	19	1	12	
考古	205	16	2	
歴史資料	17	2	4	
民族資料	0	0	0	
和書	29	1	4	
東洋	絵画	34	3	68
	書跡	33	0	3
	彫刻	7	2	1
	金工	0	0	0
	陶磁	21	2	0
	漆工	0	1	1
	染織	0	1	51
	考古	37	0	3
民族	0	0	4	
法隆寺献納宝物	0	36	0	
その他(黒田含)	10	11	74	

【京都国立博物館・奈良国立博物館・九州国立博物館】

計	京都国立博物館	奈良国立博物館	九州国立博物館
	253	120	94
絵画	56	53	17
書跡	34	4	5
彫刻	28	17	1
建築	0	1	0
金工	} 17	4	1
刀剣		6	2
陶磁	53	0	0
漆工	27	13	0
染織	6	10	5
考古	29	12	0
民族資料	0	0	0
歴史資料	3	0	3
和書	0	0	0
その他	0	0	60

1-(2)-② 各収蔵庫、展示場の温湿度

【東京国立博物館】

会場等		空調実施時間	温度(年間)	湿度(年間)
本館	展示会場	09:00~17:00	11~27℃	23~83%
	収蔵庫	09:30~17:00	14~26℃	22~70%
平成館	展示会場	09:00~17:00	20~25℃	40~65%
	収蔵庫	09:30~17:00	21~26℃	50~60%
東洋館	展示会場	09:30~17:00	16~27℃	32~61%
	収蔵庫	09:30~17:00	11~30℃	42~68%
宝物館	展示会場	24時間運転	22~26℃	51~56%
	収蔵庫	24時間運転	22~23℃	50~56%

【京都国立博物館】

会場等		空調実施時間	温度(年間)	湿度(年間)
明治古都館 (特別展示館)	展示会場	09:00~18:00	18~25℃	57~60%
	収蔵庫	09:00~17:30	18~22℃	55~60%
平成知新館 (新平常展示館)	展示会場	—	—	—
	収蔵庫	—	—	—
北収蔵庫		—	—	—
東収蔵庫		09:00~17:30	18~22℃	55~60%
文化財保存修理所		09:00~17:30	22~24℃	57~60%

【奈良国立博物館】

会場等		空調実施時間	温度(年間)			湿度(年間)
			冬	夏	中	
なら仏像館	展示会場	24時間運転	20±2℃	24±2℃	22±2℃	60±5%
青銅器館	展示会場	24時間運転	20±2℃	24±2℃	22±2℃	60±5%
西新館	展示会場	24時間運転	20±2℃	24±2℃	22±2℃	60±5%
東新館	展示会場	24時間運転	20±2℃	24±2℃	22±2℃	60±5%
	収蔵庫	24時間運転	21±2℃	21±2℃	21±2℃	60±2%
地下回廊	収蔵庫	24時間運転	21±2℃	21±2℃	21±2℃	60±2%

【九州国立博物館】

会場等		空調実施時間	温度(年間)	湿度(年間)
3階展示会場		7:00~21:00	22~26℃	55±5%
4階展示会場		7:00~21:00	22~26℃	55±5%
収蔵庫		8:30~21:30	22~24℃	材質別に50±2%、 55±2%、 60±2%

### 1-(3) 収蔵品の修理

#### 1-(3)-① 本格修理件数

平成26年3月31日現在

	計	東京国立博物館	京都国立博物館	奈良国立博物館	九州国立博物館
合計	133	93 (25)	15	8	17
絵画	23	11	3	4	5
書跡	3	0	0	1	2
彫刻	1	0	1	0	0
建築	0	0	0	0	0
金工	8	2	5	0	1
刀剣	4	2	0	0	2
陶磁	3	3	0	0	0
漆工	2	1	1	0	0
染織	39	29	4	1	5
考古	31	28 (25)	1	2	0
歴史資料	2	0	0	0	2
和書	2	2	0	0	0
民族資料	0	0	0	0	0
東洋	絵画	3	3		
	書跡	2	2		
	彫刻	2	2		
	金工	0	0		
	陶磁	3	3		
	漆工	1	1		
	染織	1	1		
	考古	2	2		
	民族	0	0		
法隆寺献納宝物	0	0			
黒田記念館収蔵品	0	0			
館史資料(収蔵品外)	1	1			

※東京国立博物館( )内は考古相互貸借経費、内数。

1-(3)-② 修理概況

【東京国立博物館】 (93件)

《絵画》(11件)

- 1 ○列品番号 A-10  
○名称 先徳図像(せんとくずざう)  
○指定 重要文化財  
○時代 平安  
○年代世紀 12c  
○品質 紙本墨画淡彩  
○員数 1巻  
○寸法等 31.7×1323.3 cm  
○施工会社 榎半田九清堂  
○修理内容 1. 解体する。2. 裏打ちなど補強を施す。3. 表装裂、軸首を新調し、卷子装に仕立てる。4. 桐製保存箱、桐製太巻添軸、包裂、布貼帙等を新調する。
- 2 ○列品番号 A-122  
○名称 藤・牡丹・楓図(ふじ ぼたん かえです)  
○時代 江戸  
○年代世紀 17c  
○品質 絹本着色  
○員数 3幅  
○寸法等 109.0×37.8 cm  
○施工会社 榎半田九清堂  
○修理内容 1. 表装を解体する。2. 剥落止めを施し、汚れを除去する。3. 旧裏打紙を除去し、本紙の欠損部の補綴を行なう。4. 新規裏打ちを行ない、折れ伏せを入れる。5. 新規補綴部分に補彩を施す。6. 表装裂、軸首は可能な限り再使用し、掛軸装に仕立てる。7. 桐製太巻添軸、包裂、桐製保存箱を新調する。(平成25年度は2まで)
- 3 ○列品番号 A-1069  
○名称 檜図屏風(ひのきずびょうぶ)  
○指定 国宝  
○指定年月 昭和32年(1957)2月19日  
○時代 安土桃山-江戸  
○年代世紀 16-17c  
○品質 紙本金地着色  
○員数 8曲1隻  
○寸法等 170.3×460.5 cm  
○施工会社 アソシエイトフェロー、国宝修理装こう師連盟関東支部  
○修理内容 1. 修理前の状態を調査し、記録する。2. 屏風装を解体し、本紙を下地から取り外す。解体の前後に剥落止めを施す。3. 部分表打ちを施して画面を保護し、旧裏打紙と旧補紙を除去する。4. 補紙を施し、肌裏打ち、増裏打ちを行う。5. 仮張りをし、補紙に補彩を施す。6. 骨下地を新調し、下張りを施し、蝶番を付ける。本紙を仮張りから外し、新調した下地に貼り込み、裏面には裏張紙を張り込む。7. 新調した表装裂、尾背紙、縁木、金具を取り付け、屏風装に仕立てる。8. 旧裏打紙、旧下地、旧金具などのための保存箱を作成する。
- 4 ○列品番号 A-1459  
○名称 花車図屏風(はなぐるまずびょうぶ)  
○時代 江戸  
○年代世紀 17c  
○品質 紙本金地着色  
○員数 6曲1双  
○寸法等 各154.5×364.2 cm  
○施工会社 アソシエイトフェロー  
○修理内容 1. 修理前の状態を調査し、記録する。2. 屏風装を解体し、本紙を下地から取り外す。解体の前後に剥落止めを施す。3. ろ過水を表面から噴霧し、下に敷いた吸い取り紙に汚れを吸収させる。4. 表打ちを施して画面を保護し、旧裏打紙と旧補紙を除去する。5. 補紙を施し、肌裏打ち、増裏打ちを行う。6. 仮張りをし、補紙に補彩を施す。7. 骨下地を新調し、下張りを施し、蝶番を付ける。本紙を仮張りから外し、新調した下地に貼り込み、裏面には裏張紙を張り込む。8. 新調した表装裂、尾背紙、縁木、金具を取り付け、屏風装に仕立てる。9. 旧裏打紙、旧下地、旧金具などのための保存箱を作成する。
- 5 ○列品番号 A-9972  
○名称 鷹見泉石像(たかみせんせきざう)  
○指定 国宝  
○指定年月 昭和26年(1951)6月9日  
○時代 江戸  
○年代世紀 天保8年(1837)  
○品質 絹本着色  
○員数 1幅  
○寸法等 本紙 縦115.0 横57.2、表具 縦190.7 横69.2 cm  
○施工会社 榎半田九清堂  
○修理内容 1. 表装を解体する。2. 剥落止めを施し、汚れを除去する。3. 旧裏打紙を除去する。4. 新規裏打ちを行ない、折れ伏せを入れる。5. 表装裂、軸首は可能な限り再使用し、掛軸装に仕立てる。6. 桐製太巻添軸、包裂、桐製保存箱を新調する。(平成25年度は2まで)
- 6 ○列品番号 A-10933  
○名称 四季山水図(しきさんすいず)  
○指定 重要文化財  
○指定年月 昭和11年(1936)5月6日  
○時代 室町  
○年代世紀 15c  
○品質 絹本墨画淡彩  
○員数 4幅  
○寸法等 各149.0×75.8 cm  
○施工会社 榎半田九清堂  
○修理内容 1. 解体する。2. 剥落止めを施し、汚れを除去する。3. 旧裏打紙を除去し、本紙の欠損部の補綴を行なう。4. 新規裏打ちを行ない、折れ伏せを入れる。5.

補絹に補彩を施す。 6. 表装裂、軸首を再使用し、掛幅装に仕立てる。 7. 現在の保存箱等を使用して収める。

- 7 ○列品番号 A-12087  
○名称 坪内老大人像画稿(つぼうちろうたいじんぞうがこう)  
○時代 江戸  
○年代世紀 文政元年(1818)  
○品質 紙本墨画淡彩  
○員数 1幅  
○寸法等 本紙 縦82.0 横74.4、表具 縦145.0 横82.5 cm  
○施工会社 アソシエイトフェロー  
○修理内容 1. 表装を解体する。 2. 剥落止めを施し、汚れを除去する。 3. 旧裏打ち紙を除去し、本紙の欠損部の補紙を行なう。 4. 新規裏打ちを行ない、折れ伏せを入れる。 5. 補絹に補彩を施す。 6. 表装裂、軸首を新調し、掛幅装に仕立てる。 7. 桐製太巻添軸、包裂、桐製保存箱を新調する。(平成25年度は2まで)
- 8 ○列品番号 A-12336  
○名称 坪内老大人像(つぼうちろうたいじんぞう)  
○時代 江戸  
○年代世紀 19c  
○品質 絹本着色  
○員数 1幅  
○寸法等 本紙 縦149.7 横73.3、表具 縦196.8 横76.7 cm/ 附本紙 縦136.3 横62.4、附表具 縦191.8 横73.0 cm  
○施工会社 アソシエイトフェロー  
○修理内容 1. 表装を解体する。 2. 剥落止めを施し、汚れを除去する。 3. 旧裏打ち紙を除去し、本紙の欠損部の補絹を行なう。 4. 新規裏打ちを行ない、折れ伏せを入れる。 5. 新規補絹部分に補彩を施す。 6. 表装裂、軸首を新調し、掛幅装に仕立てる。 7. 桐製太巻添軸、包裂、桐製保存箱を新調する。(平成25年度は2まで)
- 9 ○列品番号 A-12105  
○名称 釈迦三尊像(しゃかさんぞんぞう)  
○時代 南北朝~室町  
○年代世紀 14~15c  
○品質 絹本着色  
○員数 1幅  
○寸法等 135.7×60.4 cm  
○施工会社 榎岡墨光堂  
○修理内容 1. 表装を解体する。 2. 剥落止めを施し、汚れを除去する。 3. 旧裏打ち紙を除去し、料絹の欠損部に補絹を行なう。 4. 新規裏打ちを行ない、折れ伏せを入れる。 5. 新規補絹部分に補彩を施す。 6. 表装裂、軸首を新調し、掛幅装に仕立てる。 7. 桐製太巻添軸、包裂、桐製保存箱を新調する。(平成25年度は2まで)
- 10 ○列品番号 未決  
○名称 応挙館障壁画のうち竹園壁貼付(一之間違棚中央)(おうきょかんしょうへきがのうちたけずかべはりつけ(いちのまちがしげだなちゅうおう))  
○時代 江戸  
○年代世紀 天明4年(1784)  
○品質 紙本墨画  
○員数 1面(54面のうち)  
○寸法等 124.5×214.0 cm  
○施工会社 榎半田九清堂  
○修理内容 1. 肌裏紙以外の旧裏打ち紙を除去する。 2. 洗浄する。 3. 剥落止めを施す。 4. 本紙に表打ちを施して保護し、肌裏紙を除去する。 5. 裏打ちを行い、欠損部に補彩する。 6. 下地を新調し、本紙・裏張り紙を張り込み、展示用椽木を新調して取り付ける。
- 11 ○列品番号 未決  
○名称 応挙館障壁画のうち竹園壁貼付(一之間違棚右)(おうきょかんしょうへきがのうちたけずかべはりつけ(いちのまちがしげだなみぎ))  
○時代 江戸  
○年代世紀 天明4年(1784)  
○品質 紙本墨画  
○員数 1面(54面のうち)  
○寸法等 167.5×75.7 cm  
○施工会社 榎半田九清堂  
○修理内容 1. 肌裏紙以外の旧裏打ち紙を除去する。 2. 洗浄する。 3. 剥落止めを施す。 4. 本紙に表打ちを施して保護し、肌裏紙を除去する。 5. 裏打ちを行い、欠損部に補彩する。 6. 下地を新調し、本紙・裏張り紙を張り込み、展示用椽木を新調して取り付ける。
- 〈東洋絵画〉(3件)
- 12 ○列品番号 TA-160  
○名称 二菩薩立像(にぼさつりゅうぞう)  
○時代 五代~北宋  
○年代世紀 10c  
○品質 麻本着色  
○員数 1面  
○寸法等 153.0×126.1 cm  
○施工会社 榎テラ  
○修理内容 1. 作品を額装から外す。 2. クリーニングを行なう。 3. 変形修正を行なう。 4. アクリル板付の額を新調し「プレッシャーマウント方式」で作品を固定し、額装する。(平成25年度は4.の途中まで) 1. 作品を額装から外す。 2. クリーニングを行なう。 3. 変形修正を行なう。 4. アクリル板付の額を新調し「プレッシャーマウント方式」で作品を固定し、額装する。(平成25年度は4.の途中まで)
- 13 ○列品番号 TA-363  
○名称 五龍図巻(ごりゅうずかん)  
○指定 重要文化財  
○指定年月 昭和39年(1964)1月28日 絵第1567号  
○時代 南宋  
○年代世紀 13c  
○品質 紙本墨画淡彩  
○員数 1巻  
○寸法等 本紙 縦45.2 横299.5 cm  
○施工会社 榎岡墨光堂  
○修理内容 1. 解体する。 2. 裏打ち等補強を施す。 3. 表装裂等を新調し、卷子装に仕立てる。 4. 桐製保存箱、桐製太巻添軸、包裂等を新調する。

- 14 ○列品番号 TA-642  
 ○名称 雪景山水図(せつけいさんすいず)  
 ○指定 国宝  
 ○指定年月 平成19年(2007)6月8日  
 ○時代 南宋～元  
 ○年代世紀 13～14c  
 ○品質 紙本墨画淡彩  
 ○員数 1幅  
 ○寸法等 本紙 縦110.3 横49.7 cm  
 ○施工会社 榎岡墨光堂  
 ○修理内容 1. 解体する。2. 裏打ち等補強を施す。3. 表装裂、軸首を再使用し、掛幅装に仕立てる。4. 桐製保存箱、桐製太巻添軸、包裂、布貼帙等を新調する。(平成25年度は2の途中まで)

〈東洋書跡〉(2件)

- 15 ○列品番号 TB-1173  
 ○名称 与無相居士尺牘(むそうこじにあたうせきとく)  
 ○指定 国宝  
 ○指定年月 昭和25年(1950)8月25日 書第2号  
 ○時代 南宋  
 ○年代世紀 12c  
 ○品質 紙本墨書  
 ○員数 1幅  
 ○寸法等 縦37.9 横65.5 cm  
 ○施工会社 榎岡墨光堂  
 ○修理内容 1. 解体する。2. 裏打ち等補強を施す。3. 表装裂、軸首を再使用し、掛幅装に仕立てる。4. 桐製保存箱、桐製太巻添軸、包裂、布貼帙等を新調する。

- 16 ○列品番号 TB-1445  
 ○名称 楷書四字額「丹宸冊府」(かいいしよよじがくたんしんさつぷ)  
 ○時代 清  
 ○年代世紀 19c  
 ○品質 紙本墨書  
 ○員数 1面  
 ○寸法等 本紙 縦56.3 横159.5 cm  
 ○施工会社 榎岡墨光堂  
 ○修理内容 1. 額装を解体する。2. 剥落止めを施し、汚れを除去する。3. 旧裏打ち紙を除去し、本紙料絹の欠損部の補綴を行なう。4. 新規裏打ちを行ない、折れ伏せを入れる。5. 補綴に補彩を施す。6. 縁木を新調し、額装に仕立てる。7. 中性紙保存箱を新調する。(平成25年度は2まで)

〈東洋彫刻〉(2件)

- 17 ○列品番号 TC-391  
 ○名称 シンヴァ半身像(しばはんしんぞう)  
 ○時代 アンコール  
 ○年代世紀 9c  
 ○品質 砂岩  
 ○員数 1軀  
 ○寸法等 総高68.2 cm  
 ○施工会社 文化財修復工房明舎  
 ○修理内容 1. 亀裂部分へ接着剤を含浸させる。2. 心棒を抜き取る。3. クリーニングする。4. 再接合する。5. 充填及び補彩を施す。6. 安定台を製作する。

- 18 ○列品番号 TC-515  
 ○名称 塑造破片(そぞうはへん)  
 ○年代世紀 7-8c  
 ○品質 塑造、彩色  
 ○員数 9個  
 ○寸法等 右足 長12.5 長16.5 長21.9、合掌手 長12.2 長14.7 長16.0、左下腕 長26.5、腕 長19.0、肉髻 高5.0 幅8.0 奥行8.5 cm  
 ○施工会社 独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所  
 ○修理内容 1. 事前調査(X線CTスキャナーなど)を行う。2. 表面を養生する。3. 表面の養生を除去した後、最小限のクリーニングを行う。4. 彩色層の剥落止めを行う。5. 塑土の崩落が進行する部分に新たな塑土を充填する。6. 展示台及び保存箱を製作する。

〈金工〉(2件)

- 19 ○列品番号 E-14970  
 ○名称 白磁合子(はくじごうす)  
 ○時代 平安  
 ○年代世紀 12c  
 ○品質 磁製  
 ○員数 1個  
 ○寸法等 高4.2 口径8.1 cm  
 ○施工会社 榎東都文化財保存研究所  
 ○修理内容 1. 解体する。2. クリーニングする。3. 接合する。4. 補填、復元する。5. 補填箇所に補彩する。(平成25年度は2まで)

- 20 ○列品番号 E-15159  
 ○名称 白磁合子蓋(はくじごうすふた)  
 ○時代 平安  
 ○年代世紀 12c  
 ○品質 磁製  
 ○員数 1個  
 ○寸法等 高1.7 口径8.3 cm  
 ○施工会社 藤山隆司  
 ○修理内容 1. 解体する。2. クリーニングする。3. 接合する。4. 補填、復元する。5. 補填箇所に補彩する。(平成25年度は2まで)

〈刀剣〉(2件)

- 21 ○列品番号 F-17053  
○名称 短刀 銘 備州長船住長義 正平十七年十月日(たんとう めい)  
○時代 南北朝  
○年代世紀 正平17年(1362)  
○品質 鍛鉄製  
○員数 1口  
○寸法等 刃長27.6 反り0.2 cm  
○施工会社 本阿弥道弘  
○修理内容 1. 全身を研磨する。2. 白鞘を製作する。(平成25年度は1の途中まで)
- 22 ○列品番号 F-20094-2  
○名称 脇指 銘 筒井越中守藤原輝邦入道紀充 南無妙法蓮華經行年七十七歳(わきざし めい なんぶにすまうかなぼうひょうえのじょうまさつぐ)  
○時代 江戸  
○年代世紀 18c  
○品質 鍛鉄製  
○員数 1口  
○寸法等 刃長43.1 反1.0 cm  
○施工会社 本阿弥道弘  
○修理内容 1. 全身を研磨する。2. 白鞘の搔き入れを行う。(平成25年度は1の途中まで)

〈陶磁〉(3件)

- 23 ○列品番号 G-32  
○名称 銚絵観鵬図角皿(さびえかんおうずかくざら) 尾形光琳・深省合作  
○指定 重要文化財  
○指定年月 昭和58年(1983)6月6日 工第2487号  
○時代 江戸  
○年代世紀 18c  
○品質 陶製  
○員数 1枚  
○寸法等 高2.9 径22.2 cm  
○施工会社 蘭山隆司  
○修理内容 1. オーバーペイントを除去し、破損箇所を解体する。2. 破損箇所を接合する。3. 欠失部分がある場合は補填する。4. 接合および補填箇所に最低限の色合わせを行なう。(平成25年度は1まで)
- 24 ○列品番号 G-214  
○名称 瑠璃地金彩唐草文仙蓋瓶(るりじきんさいからくさもんせんさんびん) 四代高橋道八作  
○時代 明治  
○年代世紀 明治6年(1873)  
○品質 磁製  
○員数 2口の内1口  
○寸法等 高27.9 口径5.8 底径8.6 cm  
○施工会社 陶磁器修復たま工房  
○修理内容 1. オーバーペイントを除去し、折損箇所を解体する。2. 折損箇所を再接合する。3. 欠失がある場合は補填する。4. 接合および補填箇所に最低限の色合わせを行なう。
- 25 ○列品番号 G-5101  
○名称 色絵花鳥文大深鉢(いろえかちょうもんおおふかみばち) 伊万里(柿右衛門様式)  
○指定 重要文化財  
○指定年月 昭和27年(1952)3月29日 工第517号  
○時代 江戸  
○年代世紀 17c  
○品質 磁製  
○員数 1口  
○寸法等 高21.4 口径30.3 高台径16.5 cm  
○施工会社 ますぶち工房  
○修理内容 1. 全体をクリーニングする。2. 入を補強し、最小限の色合わせをする。

〈東洋陶磁〉(3件)

- 26 ○列品番号 TG-959  
○名称 青花龍文大皿(せいかりゅうもんおおざら) 景德鎮窯  
○時代 明  
○年代世紀 嘉靖年間(1522~66年)  
○品質 磁製  
○員数 1枚  
○寸法等 高10.5 径52.9 高台径30.9 cm  
○施工会社 ますぶち工房  
○修理内容 1. クリーニングする。2. 破損箇所を接合する。3. 破損箇所に欠失がある場合は補填する。4. 接合および補填箇所に最低限の色合わせを行なう。(平成25年度は2の途中まで)
- 27 ○列品番号 TG-1014  
○名称 粉彩牡丹文大瓶(ふんさいぼたんもんたいへい) 景德鎮窯  
○時代 清  
○年代世紀 雍正年間(1723~35年)  
○品質 磁製  
○員数 1口  
○寸法等 高51.1 口径12.0 底径16.2 cm  
○施工会社 ますぶち工房  
○修理内容 1. 旧修理のオーバーペイントを除去する。2. 解体する。3. 再接合する。4. 欠失部分へ状況に応じて補填する。5. 接合・補填部分に補彩する。(平成25年度は2の途中まで)

- 28 ○列品番号 TG-2402  
 ○名称 青花牡丹唐草文壺(せいかにぼたんからくさもんつぼ) 景德鎮窯  
 ○時代 元  
 ○年代世紀 14c  
 ○品質 磁製  
 ○員数 1口  
 ○寸法等 高27.2 口径21.4 底径19.4 cm  
 ○施工会社 ますぶち工房  
 ○修理内容 1. オーバーペイントを除去し、破損箇所を解体する。2. 破損箇所を再接合する。3. 欠失がある場合は補填する。4. 破損および補填箇所に最低限の色合わせを行なう。

〈漆工〉(1件)

- 29 ○列品番号 H-438  
 ○名称 蓬萊沈金手箱(ほうらいちんきんてぼこ)  
 ○時代 室町  
 ○年代世紀 16c  
 ○品質 木製漆塗  
 ○員数 1合  
 ○寸法等 総高24.5 幅34.0 奥行22.8 cm  
 ○施工会社 株小西美術工藝社  
 ○修理内容 1. クリーニングする。2. 塗膜の浮きをおさえる。3. 亀裂箇所に補填、補彩を施す。(平成25年度は2の途中まで)

〈東洋漆工〉(1件)

- 30 ○列品番号 TH-439  
 ○名称 朱漆化粧筆筒(しゅうりしけしょうだんす)  
 ○時代 朝鮮  
 ○年代世紀 19~20c  
 ○品質 木製漆塗  
 ○寸法等 高27.0 幅23.0 奥行32.5 cm  
 ○員数 1基  
 ○施工会社 株小西美術工藝社  
 ○修理内容 1. クリーニングする。2. 脚部の欠失部分を木材で復元し、色合わせをする。3. 虫損、亀裂箇所を補填、補強し、塗膜の浮きをおさえる。4. 外れた部材を元に戻す。5. 保存箱、包装を新調する。(平成25年度は3まで)

〈染織〉(29件)

- 31 ○列品番号 I-336-1  
 ○名称 赤地鹿文描繪綾天蓋垂飾(あかじしかもんかきえあやてんがいすいしよく)  
 ○時代 飛鳥  
 ○年代世紀 7c  
 ○品質 絹製、描繪、綾  
 ○員数 1枚  
 ○寸法等 27.4×15.5 cm  
 ○施工会社 澤田むつ代、アソシエイトフェロー  
 ○修理内容 1. ガラスを外して裂を取り出す。2. 汚れなどを除去する。3. 糸目を揃えながら、文様を合わせて形を整える。4. マット装にする。
- 32 ○列品番号 I-336-2  
 ○名称 淡茶地白虎文描繪綾天蓋垂飾(うすちやじびやっこもんかきえあやてんがいすいしよく)  
 ○時代 飛鳥  
 ○年代世紀 7c  
 ○品質 絹製、描繪、綾  
 ○員数 1枚  
 ○寸法等 31.0×13.7 cm  
 ○施工会社 澤田むつ代、アソシエイトフェロー  
 ○修理内容 1. ガラスを外して裂を取り出す。2. 汚れなどを除去する。3. 糸目を揃えながら、文様を合わせて形を整える。4. 小麦粉澱粉糊を用いて和紙で裏打ちする(検討を要する)。5. マット装にする。
- 33 ○列品番号 I-336-3a  
 ○名称 茶地蝶文摺繪平絹(ちやじちようもんすりえへいけん)  
 ○時代 奈良  
 ○年代世紀 8c  
 ○品質 絹製、摺繪、平絹  
 ○員数 1枚  
 ○寸法等 38.0×9.5 cm  
 ○施工会社 澤田むつ代、アソシエイトフェロー  
 ○修理内容 1. ガラスを外して裂を取り出す。2. 汚れなどを除去する。3. 糸目を揃えながら、文様を合わせて形を整える。4. 小麦粉澱粉糊を用いて和紙で裏打ちする。5. マット装にする。
- 34 ○列品番号 I-336-3b  
 ○名称 茶地花卉鳥文摺繪平絹(ちやじかきとりもんすりえへいけん)  
 ○時代 奈良  
 ○年代世紀 8c  
 ○品質 絹製、摺繪、平絹  
 ○員数 1枚  
 ○寸法等 38.0×20.0 cm  
 ○施工会社 澤田むつ代、アソシエイトフェロー  
 ○修理内容 1. ガラスを外して裂を取り出す。2. 汚れなどを除去する。3. 糸目を揃えながら、文様を合わせて形を整える。4. 小麦粉澱粉糊を用いて和紙で裏打ちする。5. マット装にする。
- 35 ○列品番号 I-336-4  
 ○名称 黄地小円花文金銀摺繪羅(きじしょうえんかもんきんぎんすりえら)  
 ○時代 奈良

- 年代世紀 8c  
○品 質 絹製、摺絵、羅  
○員 数 1 枚  
○寸 法 等 22.8×18.6 cm  
○施工会社 澤田むつ代、アソシエイトフェロー  
○修理内容 1. ガラスを外して裂を取り出す。2. 汚れなどを除去する。3. 糸目を揃えながら、文様を合わせて形を整える。4. 小麦粉澱粉糊を用いて和紙で裏打ちする。5. マット装にする。
- 36 ○列品番号 I-336-22  
○名 称 青緑地綾・紫地綾縫い合わせ（あおみどりじあや・むらさきじあやぬいあわせ）  
○時 代 飛鳥～奈良  
○年代世紀 7～8c  
○品 質 絹製、綾  
○員 数 2 枚  
○寸 法 等 ①27.9×44.0、②27.9×1.3 cm  
○施工会社 澤田むつ代、アソシエイトフェロー  
○修理内容 1. ガラスを外して裂を取り出す。2. 汚れなどを除去する。3. 糸目を揃えながら、文様を合わせて形を整える。4. 小麦粉澱粉糊を用いて和紙で裏打ちする。5. マット装にする。
- 37 ○列品番号 I-336-57  
○名 称 赤地鳥獸連珠円文錦（あかじちようじゆうれんじゆえんもんにしき）  
○時 代 飛鳥～奈良  
○年代世紀 7～8c  
○品 質 絹製、錦  
○員 数 1 枚  
○寸 法 等 33.0×21.8 cm  
○施工会社 澤田むつ代、アソシエイトフェロー  
○修理内容 1. ガラスを外して裂を取り出す。2. 汚れなどを除去する。3. 糸目を揃えながら、文様を合わせて形を整える。4. 小麦粉澱粉糊を用いて和紙で裏打ちする。5. マット装にする。
- 38 ○列品番号 I-336-64  
○名 称 赤地花入連珠円文錦天蓋垂飾（あかじはないりれんじゆえんもんにしきてんがいすいしよく）  
○時 代 飛鳥～奈良  
○年代世紀 7～8c  
○品 質 絹製、錦  
○員 数 1 枚  
○寸 法 等 16.3×8.7 cm  
○施工会社 澤田むつ代、アソシエイトフェロー  
○修理内容 1. ガラスを外して裂を取り出す。2. 汚れなどを除去する。3. 糸目を揃えながら、文様を合わせて形を整える。4. 小麦粉澱粉糊を用いて和紙で裏打ちする。5. マット装にする。
- 39 ○列品番号 I-336-65  
○名 称 赤地鳥入連珠円文錦（あかじとりいりれんじゆえんもんにしき）  
○時 代 飛鳥～奈良  
○年代世紀 7～8c  
○品 質 絹製、錦  
○員 数 1 枚  
○寸 法 等 16.5×3.8 cm  
○施工会社 澤田むつ代、アソシエイトフェロー  
○修理内容 1. ガラスを外して裂を取り出す。2. 汚れなどを除去する。3. 糸目を揃えながら、文様を合わせて形を整える。4. 小麦粉澱粉糊を用いて和紙で裏打ちする。5. マット装にする。
- 40 ○列品番号 I-336-66  
○名 称 赤地花入連珠円文錦（あかじはないりれんじゆえんもんにしき）  
○時 代 飛鳥～奈良  
○年代世紀 7～8c  
○品 質 絹製、錦  
○員 数 1 枚  
○寸 法 等 13.3×4.7 cm  
○施工会社 澤田むつ代、アソシエイトフェロー  
○修理内容 1. ガラスを外して裂を取り出す。2. 汚れなどを除去する。3. 糸目を揃えながら、文様を合わせて形を整える。4. 小麦粉澱粉糊を用いて和紙で裏打ちする。5. マット装にする。
- 41 ○列品番号 I-336-69  
○名 称 淡茶地双鳳連珠円文錦（うすちやじそうほううれんじゆえんもんにしき）  
○時 代 飛鳥～奈良  
○年代世紀 7～8c  
○品 質 絹製、錦  
○員 数 2 枚  
○寸 法 等 ①14.3×20.3、②7.1×12.0 cm  
○施工会社 澤田むつ代、アソシエイトフェロー  
○修理内容 1. ガラスを外して裂を取り出す。2. 汚れなどを除去する。3. 糸目を揃えながら、文様を合わせて形を整える。4. 小麦粉澱粉糊を用いて和紙で裏打ちする。5. マット装にする。
- 42 ○列品番号 I-336-74  
○名 称 赤茶地花獅子連珠文錦（あかちやじはなしれんじゆもんにしき）  
○時 代 飛鳥～奈良  
○年代世紀 7～8c  
○品 質 絹製、錦  
○員 数 1 枚  
○寸 法 等 33.0×15.8 cm

- 施工会社 澤田むつ代、アソシエイトフェロー  
○修理内容 1. ガラスを外して裂を取り出す。 2. 汚れなどを除去する。 3. 糸目を揃えながら、文様を合わせて形を整える。 4. 小麦粉澱粉糊を用いて和紙で裏打ちする。 5. マット装にする。
- 43 ○列品番号 I-336-84  
○名称 連珠円文綴織 (れんじゅえんもんつづれおり)  
○時代 飛鳥～奈良  
○年代世紀 7～8c  
○品質 絹製、綴織  
○員数 1枚  
○寸法等 13.8×15.4 cm  
○施工会社 澤田むつ代、アソシエイトフェロー  
○修理内容 1. ガラスを外して裂を取り出す。 2. 汚れなどを除去する。 3. 糸目を揃えながら、文様を合わせて形を整える。 4. 小麦粉澱粉糊を用いて和紙で裏打ちする。 5. マット装にする。
- 44 ○列品番号 I-336-85  
○名称 連珠円文綴織 (れんじゅえんもんつづれおり)  
○時代 飛鳥～奈良  
○年代世紀 7～8c  
○品質 絹製、綴織  
○員数 1枚  
○寸法等 13.0×13.9 cm  
○施工会社 澤田むつ代、アソシエイトフェロー  
○修理内容 1. ガラスを外して裂を取り出す。 2. 汚れなどを除去する。 3. 糸目を揃えながら、文様を合わせて形を整える。 4. 小麦粉澱粉糊を用いて和紙で裏打ちする。 5. マット装にする。
- 45 ○列品番号 I-336-89  
○名称 赤地広東裂 (あかじかんとうんぎれ)  
○時代 飛鳥～奈良  
○年代世紀 7～8c  
○品質 絹製、経緋、平織  
○員数 1枚  
○寸法等 25.3×14.5 cm  
○施工会社 澤田むつ代、アソシエイトフェロー  
○修理内容 1. ガラスを外して裂を取り出す。 2. 汚れなどを除去する。 3. 糸目を揃えながら、文様を合わせて形を整える。 4. 小麦粉澱粉糊を用いて和紙で裏打ちする。 5. マット装にする。
- 46 ○列品番号 I-336-92  
○名称 天寿国續帳 (てんじゅこくしゅうちょう)  
○時代 飛鳥  
○年代世紀 推古30年(622)  
○品質 絹製、刺繍  
○員数 1枚  
○寸法等 7.6×20.4 cm(台裂法量)  
○施工会社 澤田むつ代、アソシエイトフェロー  
○修理内容 1. ガラスを外して裂を取り出す。 2. 汚れなどを除去する。 3. マット装にする。
- 47 ○列品番号 I-336-93  
○名称 緋地竜文刺繍 (しまじりゅうもんししゅう)  
○時代 飛鳥  
○年代世紀 7c  
○品質 絹製、刺繍  
○員数 1枚  
○寸法等 30.3×7.2 cm  
○施工会社 澤田むつ代、アソシエイトフェロー  
○修理内容 1. ガラスを外して裂を取り出す。 2. 汚れなどを除去する。 3. 糸目を揃えながら、文様を合わせて形を整える。 4. 小麦粉澱粉糊を用いて和紙で裏打ちする。 5. マット装にする。
- 48 ○列品番号 I-336-94  
○名称 刺繍残片 (ししゅうざんぺん)  
○時代 飛鳥  
○年代世紀 7c  
○品質 絹製、刺繍  
○員数 1枚  
○寸法等 14.3×4.2 cm  
○施工会社 澤田むつ代、アソシエイトフェロー  
○修理内容 1. ガラスを外して裂を取り出す。 2. 汚れなどを除去する。 3. 糸目を揃えながら、文様を合わせて形を整える。 4. 小麦粉澱粉糊を用いて和紙で裏打ちする。 5. マット装にする。
- 49 ○列品番号 I-336-95  
○名称 天寿国續帳 (てんじゅこくしゅうちょう)  
○時代 鎌倉  
○年代世紀 建治元年(1275)  
○品質 絹製、刺繍  
○員数 1枚  
○寸法等 6.3×26.5 cm  
○施工会社 澤田むつ代、アソシエイトフェロー  
○修理内容 1. ガラスを外して裂を取り出す。 2. 汚れなどを除去する。 3. 糸目を揃えながら、文様を合わせて形を整える。 4. 小麦粉澱粉糊を用いて和紙で裏打ちする。 5. マット装にする。
- 50 ○列品番号 I-336-96

- 名称 刺繍残片 (ししゅうざんぺん)  
 ○時代 飛鳥  
 ○年代世紀 7c  
 ○品質 絹製、刺繍  
 ○員数 2枚  
 ○寸法等 ①8.3×5.0、②2.1×1.1 cm  
 ○施工会社 澤田むつ代、アソシエイトフェロー  
 ○修理内容 1. ガラスを外して裂を取り出す。2. 汚れなどを除去する。3. 糸目を揃えながら、文様を合わせて形を整える。4. 小麦粉澱粉糊を用いて和紙で裏打ちする。5. マット装にする。
- 51 ○列品番号 I-336-97  
 ○名称 刺繍残片 (ししゅうざんぺん)  
 ○時代 飛鳥  
 ○年代世紀 7c  
 ○品質 絹製、刺繍  
 ○員数 1枚  
 ○寸法等 9.8×5.2 cm  
 ○施工会社 澤田むつ代、アソシエイトフェロー  
 ○修理内容 1. ガラスを外して裂を取り出す。2. 汚れなどを除去する。3. 糸目を揃えながら、文様を合わせて形を整える。4. 小麦粉澱粉糊を用いて和紙で裏打ちする。5. マット装にする。
- 52 ○列品番号 I-336-98  
 ○名称 繡仏裂 (しゅうぶつぎれ)  
 ○時代 飛鳥  
 ○年代世紀 7c  
 ○品質 絹製、刺繍、緞  
 ○員数 1枚  
 ○寸法等 12.5×5.8 cm  
 ○施工会社 澤田むつ代、アソシエイトフェロー  
 ○修理内容 1. ガラスを外して裂を取り出す。2. 汚れなどを除去する。3. 糸目を揃えながら、文様を合わせて形を整える。4. 小麦粉澱粉糊を用いて和紙で裏打ちする。5. マット装にする。
- 53 ○列品番号 I-336-99  
 ○名称 繡仏裂 (しゅうぶつぎれ)  
 ○時代 飛鳥  
 ○年代世紀 7c  
 ○品質 絹製、刺繍、緞  
 ○員数 2枚  
 ○寸法等 ①15.7×7.0、②8.0×4.6 cm  
 ○施工会社 澤田むつ代、アソシエイトフェロー  
 ○修理内容 1. ガラスを外して裂を取り出す。2. 汚れなどを除去する。3. 糸目を揃えながら、文様を合わせて形を整える。4. 小麦粉澱粉糊を用いて和紙で裏打ちする。5. マット装にする。
- 54 ○列品番号 I-336-100  
 ○名称 繡仏裂 (しゅうぶつぎれ)  
 ○時代 飛鳥  
 ○年代世紀 7c  
 ○品質 絹製、刺繍、緞  
 ○員数 1枚  
 ○寸法等 6.7×4.8 cm  
 ○施工会社 澤田むつ代、アソシエイトフェロー  
 ○修理内容 1. ガラスを外して裂を取り出す。2. 汚れなどを除去する。3. 糸目を揃えながら、文様を合わせて形を整える。4. 小麦粉澱粉糊を用いて和紙で裏打ちする。5. マット装にする。
- 55 ○列品番号 I-336-101  
 ○名称 繡仏裂 (しゅうぶつぎれ)  
 ○時代 飛鳥  
 ○年代世紀 7c  
 ○品質 絹製、刺繍、緞  
 ○員数 2枚  
 ○寸法等 ①9.5×5.3、②8.5×5.5 cm  
 ○施工会社 澤田むつ代、アソシエイトフェロー  
 ○修理内容 1. ガラスを外して裂を取り出す。2. 汚れなどを除去する。3. 糸目を揃えながら、文様を合わせて形を整える。4. 小麦粉澱粉糊を用いて和紙で裏打ちする。5. マット装にする。
- 56 ○列品番号 I-336-109  
 ○名称 糸総付垂飾残欠 (いとふさつきすいしよくざんけつ)  
 ○時代 飛鳥～奈良  
 ○年代世紀 7～8c  
 ○品質 絹製、錦、糸総  
 ○員数 1枚  
 ○寸法等 31.0×10.8 cm  
 ○施工会社 澤田むつ代、アソシエイトフェロー  
 ○修理内容 1. ガラスを外して裂を取り出す。2. 汚れなどを除去する。3. 糸目を揃えながら、糸総部分も形を整える。4. マット装にする予定であるが、修理方法は要検討。
- 57 ○列品番号 I-336-110  
 ○名称 白茶地緞 (しろちゃじしじら)  
 ○時代 飛鳥～奈良  
 ○年代世紀 7～8c  
 ○品質 絹製、緞

- 員数 1枚  
○寸法等 8.5×9.2 cm  
○施工会社 澤田むつ代、アソシエイトフェロー  
○修理内容 1. ガラスを外して裂を取り出す。2. 汚れなどを除去する。3. 糸目を揃えながら、文様を合わせて形を整える。4. 小麦粉澱粉糊を用いて和紙で裏打ちする。5. マット装にする。
- 58 ○列品番号 I-336-111  
○名称 赤地ホラ羅 (あかじほらら)  
○時代 飛鳥～奈良  
○年代世紀 7～8c  
○品質 絹製、ホラ羅  
○員数 1枚  
○寸法等 9.0×8.8 cm  
○施工会社 澤田むつ代、アソシエイトフェロー  
○修理内容 1. ガラスを外して裂を取り出す。2. 汚れなどを除去する。3. 糸目を揃えながら、文様を合わせて形を整える。4. 小麦粉澱粉糊を用いて和紙で裏打ちする。5. マット装にする。
- 59 ○列品番号 I-336-112  
○名称 黄緑地緞 (きみどりじしじら)  
○時代 飛鳥～奈良  
○年代世紀 7～8c  
○品質 絹製・緞  
○員数 1枚  
○寸法等 13.0×12.2 cm  
○施工会社 澤田むつ代、アソシエイトフェロー  
○修理内容 1. ガラスを外して裂を取り出す。2. 汚れなどを除去する。3. 糸目を揃えながら、文様を合わせて形を整える。4. 小麦粉澱粉糊を用いて和紙で裏打ちする。5. マット装にする。
- 〈東洋染織〉(1件)**
- 60 ○列品番号 TI-418-3  
○名称 コート 金茶色縹子地花唐草文様刺繍(きんちやいろしゆすじはなからくさもんようししゅう)  
○年代世紀 19c  
○品質 絹、襦子地に絹糸と金銀モール糸で刺繍  
○員数 1着  
○寸法等 丈88.5 肩幅34.5 袖長49.5 cm  
○施工会社 株染技連  
○修理内容 1. 部分的に解体する。2. 損傷箇所に補修裂をあてて縫いとめる。3. 可能な箇所についてシミ抜きをする。4. 刺繍のほつれをとめる。5. しわをのめます。6. 保存箱、包装(羽二重)、布団を新調する。(平成25年度は1まで)
- 〈考古〉(28件)**
- 61 ○列品番号 J-36506  
○名称 注口土器(ちゆうこうどき)  
○時代 縄文 晩期  
○年代世紀 前1000～前400年  
○品質 土製  
○員数 1個  
○寸法等 高12.5 口径13.0 cm  
○施工会社 (有)武蔵野文化財修復研究所  
○修理内容 1. 解体する。2. クリーニングする。3. 接合する。4. 補填・復元する。5. 補填箇所に補彩する。(注口部は別個体の可能性があるため、解体後方針を検討する。)
- 62 ○列品番号 J-36555  
○名称 香炉形土器(こうろがたどき)  
○時代 縄文 晩期  
○年代世紀 前1000～前400年  
○品質 土製  
○員数 1個  
○寸法等 高8.5 幅14.0 cm  
○施工会社 (有)武蔵野文化財修復研究所  
○修理内容 1. 解体する。2. クリーニングする。3. 接合する。4. 補填・復元する。5. 補填箇所を補彩する。
- 63 ○列品番号 J-36531  
○名称 台付深鉢形土器(だいつきふかばちがたどき)  
○時代 縄文 晩期  
○年代世紀 前1000～前400年  
○品質 土製  
○員数 1個  
○寸法等 高13.0 口径12.5 cm  
○施工会社 (有)武蔵野文化財修復研究所  
○修理内容 1. 解体する。2. クリーニングする。3. 接合する。4. 補填・復元する。5. 補填箇所に補彩する。
- 64 ○列品番号 J-21831  
○名称 壺形土器(つぼがたどき)  
○時代 縄文 前期  
○年代世紀 前2～前1c  
○品質 土製  
○員数 1個  
○寸法等 高36.0 口径11.0 cm  
○施工会社 (有)武蔵野文化財修復研究所  
○修理内容 1. 解体する。2. クリーニングする。3. 接合する。4. 補填・復元する。5. 補填箇所に補彩する。
- 65 ○列品番号 J-14068

- 名称 須恵器 広口壺 (すえき ひろくちつぼ)  
○時代 古墳  
○年代世紀 5c  
○品質 陶製  
○員数 1個  
○寸法等 器高20.9 口径15.4 cm  
○施工会社 株式会社 榎東都文化財保存研究所  
○修理内容 1. 解体する。 2. クリーニングする。 3. 接合する。 4. 補填・復元する。 5. 補填箇所を補彩する。
- 66 ○列品番号 J-20292-2  
○名称 須恵器 ハソウ (すえき はそう)  
○時代 古墳  
○年代世紀 6c  
○品質 陶製  
○員数 1個  
○寸法等 高13.0 口径13.6 cm  
○施工会社 株式会社 藤山隆司  
○修理内容 1. 解体する。 2. クリーニングする。 3. 接合する。 4. 補填・復元する。 5. 補填箇所を補彩する。
- 67 ○列品番号 J-20292-3  
○名称 須恵器 ハソウ (すえき はそう)  
○時代 古墳  
○年代世紀 6c  
○品質 陶製  
○員数 1個  
○寸法等 高13.4 口径13.4 cm  
○施工会社 株式会社 藤山隆司  
○修理内容 1. 解体する。 2. クリーニングする。 3. 接合する。 4. 補填・復元する。 5. 補填箇所を補彩する。
- 68 ○列品番号 J-6114  
○名称 刀子 (とうず)  
○時代 古墳  
○年代世紀 6c  
○品質 鉄製  
○員数 1本  
○寸法等 長13.3 幅1.7 cm  
○施工会社 株式会社 榎東都文化財保存研究所  
○修理内容 1. クリーニングする。 2. 脱塩処理する。 3. 強化する。 4. 補填・復元する。 5. 補填箇所を補彩する。
- 69 ○列品番号 J-6115  
○名称 鉄鏃 (てつぞく)  
○時代 古墳  
○年代世紀 6~7c  
○品質 鉄製  
○員数 6本  
○寸法等 現存長9.4~17.4 cm  
○施工会社 株式会社 榎東都文化財保存研究所  
○修理内容 1. クリーニングする。 2. 脱塩処理する。 3. 強化する。 4. 補填・復元する。 5. 補填箇所を補彩する。
- 70 ○列品番号 J-6788  
○名称 土師器 把手付鉢 (はじき とってつきはち)  
○時代 古墳  
○年代世紀 5c  
○品質 土製  
○員数 1個  
○寸法等 高13.7 口径15.0 cm  
○施工会社 株式会社 榎東都文化財保存研究所  
○修理内容 1. クリーニングする。 2. 補填・復元する。 3. 補填箇所を補彩する。
- 71 ○列品番号 J-1540  
○名称 深鉢形土器 (ふかばちがたどき)  
○時代 縄文 後期  
○年代世紀 前2000~前1000年  
○品質 土製  
○員数 1本  
○寸法等 高21.0 口径13.0 cm  
○施工会社 株式会社 南武蔵野文化財修復研究所  
○修理内容 1. 解体する。 2. クリーニングする。 3. 接合する。 4. 補填・復元する。 5. 補填箇所を補彩する。 (平成25年度は2まで)
- 72 ○列品番号 J-12002  
○名称 注口付壺形土器 (ちゅうこうつきつぼがたどき)  
○時代 縄文 後期  
○年代世紀 前2000~前1000年  
○品質 土製  
○員数 1個  
○寸法等 高24.0 cm  
○施工会社 株式会社 榎東都文化財保存研究所  
○修理内容 1. 解体する。 2. クリーニングする。 3. 接合する。 4. 補填・復元する。 5. 補填箇所を補彩する。 (平成25年度は2まで)
- 73 ○列品番号 J-8054  
○名称 内耳土器 (ないじどき)

- 年代世紀 14～16c  
 ○品 質 土製  
 ○員 数 1個  
 ○寸法等 高10.0 口径17.5×25.0 cm  
 ○施工会社 榎東都文化財保存研究所  
 ○修理内容 1. 解体する。2. 付着物を保護しながらクリーニングする。3. 接合する。4. 補填、復元する。5. 補填箇所に補彩する。(平成25年度は2まで)
- 74 ○列品番号 J-8057  
 ○名 称 鉢形土器 (はちがたどき)  
 ○時 代 オホーツク文化併行期  
 ○年代世紀 6～8c  
 ○品 質 土製  
 ○員 数 1個  
 ○寸法等 高12.5 口径11.0 cm  
 ○施工会社 榎東都文化財保存研究所  
 ○修理内容 1. 解体する。2. 付着面を保護しながらクリーニングする。3. 接合する。4. 補填、復元する。5. 補填箇所に補彩する。(平成25年度は2まで)
- 75 ○列品番号 J-1991  
 ○名 称 壺形土器 (つぼがたどき)  
 ○時 代 弥生 後期  
 ○年代世紀 1～3c  
 ○品 質 土製  
 ○員 数 1個  
 ○寸法等 高17.7 口径11.0 cm  
 ○施工会社 南武蔵野文化財修復研究所  
 ○修理内容 1. 解体する。2. クリーニングする。3. 接合する。4. 補填、復元する。5. 補填箇所に補彩する。(平成25年度は2まで)
- 76 ○列品番号 J-20  
 ○名 称 須恵器 ハソウ (すえき はそう)  
 ○時 代 古墳  
 ○年代世紀 6c  
 ○品 質 陶製  
 ○員 数 1個  
 ○寸法等 高21.0 口径17.8 cm  
 ○施工会社 榎東都文化財保存研究所  
 ○修理内容 1. 解体する。2. クリーニングする。3. 接合する。4. 補填、復元する。5. 補填箇所に補彩する。(平成25年度は2まで)
- 77 ○列品番号 J-21  
 ○名 称 須恵器 ハソウ (すえき はそう)  
 ○時 代 古墳  
 ○年代世紀 6c  
 ○品 質 陶製  
 ○員 数 1個  
 ○寸法等 高14.0 口径12.1 cm  
 ○施工会社 榎東都文化財保存研究所  
 ○修理内容 1. 解体する。2. クリーニングする。3. 接合する。4. 補填、復元する。5. 補填箇所に補彩する。(平成25年度は2まで)
- 78 ○列品番号 J-43  
 ○名 称 須恵器 脚付長頸壺 (すえき きやくつきちようけいこ)  
 ○時 代 古墳  
 ○年代世紀 6c  
 ○品 質 陶製  
 ○員 数 1個  
 ○寸法等 高25.9 胴径14.0 口径8.8 cm  
 ○施工会社 南武蔵野文化財修復研究所  
 ○修理内容 1. 解体する。2. クリーニングする。3. 接合する。4. 補填、復元する。5. 補填箇所に補彩する。(平成25年度は2まで)
- 79 ○列品番号 J-57  
 ○名 称 須恵器 平瓶 (すえき ひらべ)  
 ○時 代 古墳  
 ○年代世紀 6c  
 ○品 質 陶製  
 ○員 数 1個  
 ○寸法等 高13.1 長15.0 口径5.7 cm  
 ○施工会社 南武蔵野文化財修復研究所  
 ○修理内容 1. 解体する。2. クリーニングする。3. 接合する。4. 補填、復元する。5. 補填箇所に補彩する。(平成25年度は2まで)
- 80 ○列品番号 J-36788  
 ○名 称 鉄戈 (てつか)  
 ○時 代 弥生 中期  
 ○年代世紀 前2～前1c  
 ○品 質 鉄製  
 ○員 数 1本  
 ○寸法等 長23.6 胡幅6.5 cm  
 ○施工会社 南武蔵野文化財修復研究所  
 ○修理内容 1. クリーニングする。2. 脱塩処理する。3. 強化する。4. 補填、復元する。5. 補填箇所に補彩する。(平成25年度は2まで)
- 81 ○列品番号 J-4136  
 ○名 称 罽 (つば)  
 ○時 代 古墳  
 ○年代世紀 6c

- 品 質 鉄製  
○員 数 2個  
○施工会社 有武蔵野文化財修復研究所  
○修理内容 1. クリーニングする。2. 脱塩処理する。3. 強化する。4. 補填、復元する。5. 補填箇所を補彩する。(平成25年度は2まで)
- 82 ○列品番号 J-597  
○名 称 刀子(とうす)  
○時 代 古墳  
○年代世紀 5~6c  
○品 質 鉄製  
○員 数 1本  
○寸 法 等 長10.7 幅1.6 cm  
○施工会社 榊東都文化財保存研究所  
○修理内容 1. クリーニングする。2. 脱塩処理する。3. 強化する。4. 補填、復元する。5. 補填箇所を補彩する。
- 83 ○列品番号 J-38  
○名 称 須恵器 有蓋脚付長頸壺(すえき ゆうがいきやくつきちようけいこ)  
○時 代 古墳  
○年代世紀 6c  
○品 質 陶製  
○員 数 1個  
○寸 法 等 高28.5 胴径15.0 cm  
○施工会社 藤山隆司  
○修理内容 1. 解体する。2. クリーニングする。3. 接合する。4. 補填、復元する。5. 補填箇所を補彩する。(平成25年度は2まで)
- 84 ○列品番号 J-22931  
○名 称 触角式柄頭銅剣(しよつかくしきつかがしらどうけん)  
○時 代 弥生 中期  
○年代世紀 前2~前1c  
○品 質 青銅製  
○員 数 1本  
○寸 法 等 長48.6 柄頭幅8.6 cm  
○施工会社 飛鳥工房  
○修理内容 1. クリーニングする。2. 強化する。3. 接合する。4. 補填、復元する。5. 補填箇所を補彩する。(平成25年度は2まで)
- 85 ○列品番号 J-7878-1~4  
○名 称 鉄鏃(てつぼこ)  
○時 代 古墳  
○年代世紀 6c  
○品 質 鉄製  
○員 数 4個  
○寸 法 等 長21.0~29.0 幅2.9~4.0 cm  
○施工会社 榊東都文化財保存研究所  
○修理内容 1. クリーニングする。2. 脱塩処理する。3. 強化する。4. 接合する。5. 補填、復元する。6. 補填箇所を補彩する。
- 86 ○列品番号 J-7878-5  
○名 称 鉄石突(てつしづき)  
○時 代 古墳  
○年代世紀 6c  
○品 質 鉄製  
○員 数 1本  
○寸 法 等 長24.0 幅3.5 cm  
○施工会社 榊東都文化財保存研究所  
○修理内容 1. クリーニングする。2. 脱塩処理する。3. 強化する。4. 接合する。5. 補填、復元する。6. 補填箇所を補彩する。
- 87 ○列品番号 J-7879-1~3  
○名 称 鉄石突(てつしづき)  
○時 代 古墳  
○年代世紀 6c  
○品 質 鉄製  
○員 数 1個  
○寸 法 等 長3.7~15.9 幅2.5~3.2 cm  
○施工会社 榊東都文化財保存研究所  
○修理内容 1. クリーニングする。2. 脱塩処理する。3. 強化する。4. 接合する。5. 補填、復元する。6. 補填箇所を補彩する。
- 88 ○列品番号 J-7882・78827  
○名 称 轡残欠(くつわざんけつ)  
○時 代 古墳  
○年代世紀 6  
○品 質 鉄製  
○員 数 2個  
○寸 法 等 ①鏡板 長径6.7、②素環鏡板 長径8.2 cm  
○施工会社 榊東都文化財保存研究所  
○修理内容 1. クリーニングする。2. 強化する。3. 接合する。4. 補填、復元する。5. 補填箇所を補彩する。
- 《東洋考古》(2件)
- 89 ○列品番号 TJ-2209  
○名 称 鉄鍔(てつえつげき)  
○時 代 漢  
○年代世紀 前2~後3c  
○品 質 鉄鍛造

- 員数 1本
- 寸法等 長43.3 幅15.3 cm
- 施工会社 株式会社 榎東都文化財保存研究所
- 修理内容 1. クリーニングする。2. 脱塩処理する。3. 強化する。4. 補填、復元する。5. 補填箇所に補彩する。(平成25年度は2まで)

- 90 ○列品番号 TJ-2224
- 名称 鉄剣(てっけん)
  - 時代 前漢
  - 年代世紀 前2~前1c
  - 品質 鉄製、格:青銅製
  - 員数 1本
  - 寸法等 長106.9 幅4.8 cm
  - 施工会社 株式会社 榎東都文化財保存研究所
  - 修理内容 1. クリーニングする。2. 脱塩処理する。3. 強化する。4. 補填、復元する。5. 補填箇所に補彩する。(平成25年度は2まで)

《和書》(2件)

- 91 ○列品番号 QA-4244
- 名称 撰津国図(せっつのくにず)
  - 時代 江戸
  - 年代世紀 19c
  - 品質 紙本着色、折仕立
  - 員数 1鋪
  - 寸法等 134.7×129.8 cm
  - 施工会社 株式会社 榎墨仁堂
  - 修理内容 1. 本紙の剥落止めを行った後、裏打ち紙を除去する。2. 本紙の紙質に合わせた補修紙を作成し、欠損箇所に補紙を施す。3. 美濃紙にて裏打ちを行う。4. 表紙は補修して再使用する。5. もとの折り目で畳んで、表紙を取り付け、折り畳み装に仕立てる。

- 92 ○列品番号 QA-4261
- 名称 石見国図(いぢみのくにず)
  - 時代 江戸
  - 年代世紀 19c
  - 品質 紙本着色、折仕立
  - 員数 1鋪
  - 寸法等 148.7×137.5 cm
  - 施工会社 株式会社 榎墨仁堂
  - 修理内容 1. 本紙の剥落止めを行った後、裏打ち紙を除去する。2. 本紙の紙質に合わせた補修紙を作成し、欠損箇所に補紙を施す。3. 美濃紙にて裏打ちを行う。4. 表紙は補修して再使用する。5. もとの折り目で畳んで、表紙を取り付け、折り畳み装に仕立てる。

《館資》(1件)

- 93 ○列品番号 館資 678
- 名称 重要雑録(じゅうようざつろく)
  - 時代 明治
  - 年代世紀 明治16~17年(1883~84)
  - 品質 紙本墨書・インク・鉛筆
  - 員数 1冊
  - 施工会社 株式会社 榎東京修復保存センター
  - 修理内容 1. 冊子本を解装する。2. 各頁ごとに折れや皺をのぼす。3. 劣化が著しい箇所には両面より典具帖紙による補強を行う。4. 欠失部分に漉ぎ嵌めにて補紙を施す。5. 表紙は新調し、題簽、ラベルなどは再用する。6. 封筒や付箋は、補紙等を施し、元の場所に貼り付ける。7. 冊子本に仕立てる。

【京都国立博物館】(15件)

《絵画》(3件)

- 1 ○名称 病草紙(やまいのそうし)
- 指定 国宝
  - 品質 紙本着色
  - 員数 10面
  - 寸法等 縦25.9~26.0cm 横25.3~49.3cm
  - 施工会社 株式会社 岡墨光堂
  - 修理内容 1. 写真撮影を行い、本紙の状態を調査する。2. 台紙貼り装の解体を行う。3. 膠水溶液にて絵具層の剥落止を行う。4. 浄化水にて本紙の汚れを除去する。5. 布海苔を用い、養生紙にて表打ちを行う。6. 旧肌裏紙及び旧補紙を除去する。7. 調査に基づいて補修紙を作成し、料紙欠失箇所に補紙を行う。8. 染薄美濃紙にて肌裏打ちを行い、表打ちの養生紙を除去する。9. 軸首を5巻分新調する。10. 美濃紙にて増裏打ちを行う。11. 折れ伏せを入れ、折れを直す。12. 美濃紙にて中裏打ちを行う。13. 混合紙にて総裏打ちを行い、仮張りし乾燥させる。14. 軸首を4巻分新調し、表紙裂、見返し紙を新調する。15. 補紙の箇所に補彩を行う。16. 隔及び軸巻紙を本紙料紙に合わせて作成し、本紙同様の裏打ちを施す。17. 表紙裂及び見返しは、肌裏を打ち、合わせて表紙の形に仕立てる。18. 本紙に、隔、軸巻紙、表紙を継ぎ、新調した軸首、中軸、紐等を取り付け卷子装に仕上げる。19. 桐製太巻添軸、桐製屋郎箱を新調し、本紙を納入する。(24年度より・4ヶ年事業)
- 2 ○名称 若狭国鎮守神人絵系図(わかさのくにちんじゅしんじんえいけいず)
- 指定 重要文化財
  - 時代 鎌倉時代
  - 品質 紙本着色
  - 員数 1巻
  - 寸法等 縦31.2cm 長1406.7cm
  - 施工会社 株式会社 松鶴堂
  - 修理内容 1. 損傷状態について調査し、写真撮影を行う。2. 解体作業に耐えるよう絵の具の剥落箇所に剥落止めを行う。3. 解体し、中軸、表装裂を取り外す。4. 浄化水によって料紙表面の汚れを除去する。5. 剥落止めを十分に施す。6. 養生紙によって表打ちを行う。7. 旧肌裏紙及び旧補紙を除去する。8. 新規補修紙を作成し、料紙欠失箇所に補紙を補填する。9. 新規肌裏を打つ。10. 増裏打ちを行う。11. 折れ伏せを施し、補強する。12. 中裏を打つ。13. 総裏を打つ。14. 全ての裏打ちが完了した料紙を継ぎ合わせる。15. 仮張りに表張りを行い、充分乾燥させる。16. 新規補紙に補彩を行う。17. 表張りをを行い、充分乾燥させる。18. 表紙、見返しは新調する。19. 軸首、軸木、八双、紐、軸巻紙を新調し、表紙を取り付け、卷子装に仕立てる。20. 桐製太巻添軸、2巻入桐製屋郎箱、漆塗桐製外箱を新調し、料紙を包裂に包み収納する。(24年度より・2ヶ年事業)

- 3 ○名称 地藏菩薩像(じぞうぼさつぞう)  
○時代 南北朝時代(14世紀)  
○品質 絹本着色  
○員数 1幅  
○寸法等 本紙縦 105.4cm 本紙横 56.6cm 総縦 186.5cm 総横 74.0cm  
○施工会社 株式会社 松鶴堂  
○修理内容 1 損傷状態について調査・撮影記録を行う。2 顔料剥落箇所を剥落止めを行う。3 表装を解装し、表装裂と本紙を外す。4 クリーニングを行う。5 折伏・旧肌裏紙の除去を行う。6 旧補綴を除去する。7 本紙欠失箇所を補綴を施す。8 薄美濃紙にて本紙に肌裏打を施す。9 美洒紙にて増裏打を施す。10 本紙の折損脆弱箇所を折伏せによる補強補修を施す。11 美洒紙にて2度目の増裏打を施す。12 補綴箇所に補彩を行う。13 表装裂地については相応しいものに新調する。14 表装裂地に肌裏打、増裏打を施し、一時仮張り乾燥させる。15 本紙・表装裂地を仮張りから外し、付廻しを行う。16 美洒紙にて中裏打ち、宇陀紙で総裏打を施し、上巻絹を施す。17 仮張を行い、十分に乾燥させる。18 紐・軸木(上下一組)は新調、軸首は清淨にし再用し、軸装に仕立てる。19 包裂・桐太軸巻(木口詰)・桐屋郎箱・紙帙を新調する。20 完成後の写真撮影・記録を行い、修理報告書を作成する。(24年度より・3ヶ年事業)

#### <彫刻> (1件)

- 4 ○名称 伎楽面(ぎがくめん)  
○時代 奈良時代 8世紀  
○員数 1面  
○寸法等 面長 38.2cm 面巾 22.0cm 面高 22.8cm  
○施工会社 財団法人 美術院  
○修理内容 (本取)1 表面漆層及び彩色は、適切な素材を用いて剥落止めを行う。2 各所に見られる朽損あるいは割損による小穴損部は現状のままとし、損傷が進まないよう安定化をはかる。3 各所の虫蝕孔は、適切な充填材によって虫穴詰めを行う。4 鶏冠及び左耳後の虫蝕朽損部は材質強化も視野にいれながら、あらたに損傷が進むことのないように留意して充填保護を行う。5 面裏木芯部付近の木屑の粉状化は、適切な素材を用いて安定化をはかる。6 後補部分は現状のままとし、当初部分との繋ぎ目は適切な修整を行う。7 面裏に貼付されている蔵品番号を記した古い紙は、取り外し別保存とする。  
(保存箱)8 新たな桐箱を作成し、面の出し入れと保存の安全をはかる。9 面裏に貼付されている蔵品番号を記した古い紙・面を包んでいれたと思われる絹布は、整理し新調保存箱に入れ保存をはかる。10 以上の修理箇所にはすべて適切な仕上げをほどこし、修理記録を将来にわたって失われない形で残す。(24年度より・2ヶ年事業)

#### <金工> (5件)

- 5 ○名称 刀 銘 帝室技藝員月山貞一七十八歳謹作(花押)大正二年十一月日 以鎌倉古傳 為永田敏夫君守護(かたな めい ていしつぎげいいんがっさんさだかずななじゅうはっさいきんさく(かおう)たいしようにねんじゅういちがつひ かまくらこでんをもってす ながけたとしおくんしゅごのため)  
○時代 大正2年(1913)  
○品質 鉄・鍛造  
○員数 1口  
○寸法等 刃長: 67.3cm  
○施工会社 (有)藤代  
○修理内容 ・刀身の研磨のみを行う。  
・刀身の研磨は古式に則った差込研ぎにて行う。  
・差込研ぎは現在の研磨技法の中では非主流の古式技法であるため、これを行える研師は少なく、修理にあたって業者の選定に慎重を要する。  
1 研磨作業前に記録写真の撮影を行う。2 下地研磨 3 仕上げ研磨。4 研磨作業後に記録写真の撮影を行う。
- 6 ○名称 刀 銘 帝室技藝員月山貞一七十八歳謹作(花押)大正二年十二月日 以備前一文字傳 為永田龜雄君守護(かたな めい ていしつぎげいいんがっさんさだかずななじゅうはっさいきんさく(かおう)たいしようにねんじゅういちがつひ びぜんいちもんじでんをもってす ながけたかめおくんしゅごのため)  
○時代 大正2年(1913)  
○品質 鉄・鍛造  
○員数 1口  
○寸法等 刃長: 68.2cm  
○施工会社 (有)藤代  
○修理内容 ・刀身の研磨のみを行う。  
・刀身の研磨は古式に則った差込研ぎにて行う。  
・差込研ぎは現在の研磨技法の中では非主流の古式技法であるため、これを行える研師は少なく、修理にあたって業者の選定に慎重を要する。  
1 研磨作業前に記録写真の撮影を行う。2 下地研磨。3 仕上げ研磨。4 研磨作業後に記録写真の撮影を行う。
- 7 ○名称 太刀 銘 助久(たち めい すけひさ)  
○時代 鎌倉時代・13世紀  
○品質 鉄・鍛造  
○員数 1口  
○寸法等 刃長: 71.0cm  
○施工会社 (有)藤代  
○修理内容 ・切先部分に対して部分研磨を施し、全体との調和をはかり、保存のための白鞘を新調する。  
・刀身の研磨は現状が江戸時代の差込研ぎであるため、同じく差込研ぎにて行う。差込研ぎは現在の研磨技法の中では非主流の古式技法であるため、これを行える研師は少なく、修理にあたって業者の選定に慎重を要する。  
・また、部分研磨は極めて高度な技術が必要とされる研磨技法であるため、この点でも注意が必要である。  
1 研磨作業前に記録写真の撮影を行う。2 白鞘の作製。3 下地研磨。4 仕上げ研磨。5 研磨作業後に記録写真の撮影を行う。
- 8 ○名称 刀 無銘(名物島津正宗)(かたな むめい(めいぶつしまづまさむね))  
○時代 鎌倉時代・13~14世紀、相模国  
○品質 鉄・鍛造  
○員数 1口  
○寸法等 刃長 68.7cm  
○施工会社 本阿彌道弘  
○修理内容 ・刀身を研磨し、保存箱の役目を果たす白鞘を新調する。現在の白鞘はツナギをいれて別途保存する。  
・研磨作業前と完了後、写真撮影を行う。  
・長大な太刀を短くした大磨上の刀だが、製作当初の状態を比較的良好に保っている。地鉄も精良で、肉置きも磨耗していないため、現状の美点を損なわずに表面の錆のみを除去するためには極めて高度な研磨技術が必要とする。  
・本作品は古刀期の鎌倉で製作されたものであり、前回の研磨を重要無形文化財保持者の故・本阿彌日洲氏が施しているため、今回の修理でも同門・同系統の研磨技術を主とする工房にて施工したい。具体的には仕上げ研磨に「金肌式」の技法を用い、国宝・重要文化財の研磨経験豊富な本阿彌系の工房が望ましい。また、保存箱の役目を果たす白鞘も経年劣化が進んでいるため、これを新たに新調する。  
1 刀身の状況に応じて、研磨作業の方針を定める。2 白鞘より解体し、全体を洗浄する。3 名倉砥で小さな錆を除去し、細名倉砥で、砥石目を一層細かくする。4 内曇砥(刃砥・地砥)を用い、細名倉砥の砥石目を完全に除去し、地肌と刃文の動きを整え、下地研磨を終える。5 白鞘作成を鞘師に依頼する。  
6 刀工の独自色が発揮される地肌を現すために、柔らかめ地艶砥から始め、順次堅めの地艶砥を用いる。7 刃艶砥を用い、内曇砥の砥石目を除去する。本修

理の要である「金肌拭い」を施す。8 この間、刃文部が黒くなるので刃氈砥も用いて、刃文と地肌を整える。錆地も同様に整える。9 帽子部分のなるめ作業を行う。竹の定規とヘラを用い、厚めの刃氈砥で横手線を定める。帽子部分を、なるめ台に載せた薄い刃氈砥でなるめ、帽子部分を完成させる。10 棟と錆地部分は、磨きヘラと磨き棒を用いて、磨き仕上げを行う。11 以上の作業を終えた後、全体の様子を確認し、研磨作業を終える。12 修理前は全身のカット、修理後は全身・部分（刃文）・なかご両面などのカットを撮影する。

- 9 ○名称 三鉢柄剣 無銘（さんこづかけん むめい）  
 ○時代 鎌倉時代・13世紀  
 ○品質 鉄・鍛造、木彫  
 ○員数 1口  
 ○寸法等 刃長 17.3cm  
 ○施工会社 真澄庵  
 ○修理内容  
 ・刀身を研磨し、保存箱の役目を果たす白鞘を新調する。現在の白鞘はツナギをいれて別途保存する。  
 ・研磨作業前と完了後、写真撮影を行う。  
 ・経年による錆が発生しており保存維持のための研磨が必要である。本来の用途が仏具であるため、現状では美術刀剣に用いられる種類の研磨が施されていない。本品の性質を考えると、過剰な美術刀剣向きの研磨を施すことは本意ではなく、保存を目的として錆の進行を食い止めるための研磨を施工する。現状の美点を損なわずに表面の錆のみを除去するためには極めて高度な研磨技術が必要とする。実施工房については、大和鍛冶の作品であることも鑑み、関西圏で大和古剣の研磨実績を持つ工房を選定したい。また、保存箱の役目を果たす白鞘も経年劣化が進んでいるため、これを新たに新調する。  
 1 刀身の状況に応じて、研磨作業の方針を定める。2 刀身の錆に応じて改正砥で錆の除去を始め、錆線を修正し、刀身の姿を整える。3 名倉砥でより小さな錆を除去し、細名倉砥で、砥石目を一層細かくする。4 最後に内曇砥を用い、細名倉砥の砥石目を完全に除去し、地肌と刃文がきちんと見えるようにし、下地研磨を終える。5 なかごの表層の赤錆ひきは、竹ヘラなどを用いて除去する。6 健全な状態のため差込仕上げ研ぎで行う。7 刃氈砥を用い、内曇砥の砥石目を除去する。地肌を現すために、柔らかめ地氈砥から始め、順次堅めの地氈砥を用いる。8 この間、刃文部が黒くなるので刃氈砥も用いて、刃文と地肌を整える。錆地も同様に整える。仏具であることを鑑み、過剰な装飾は控える。9 帽子部分のなるめ作業を行う。竹の定規とヘラを用い、厚めの刃氈砥で横手線を定める。帽子部分を、なるめ台に載せた薄い刃氈砥でなるめ、帽子部分を完成させる。10 以上の作業を終えた後、全体の様子を確認し、研磨作業を終える。11 修理前は全身のカット、修理後は全身・部分（刃文）・なかご両面などのカットを撮影する。

<漆工> (1件)

- 10 ○名称 花鳥蒔絵螺鈿書筆筒（かちょうまきえらでんたんす）  
 ○時代 桃山時代・16世紀  
 ○品質 木造、漆塗、蒔絵、螺鈿、金銅製金具  
 ○員数 1基  
 ○寸法等 幅 60.8cm 奥行 34.7cm 高 43.3cm  
 ○施工会社 北村繁  
 ○修理内容  
 ・クリーニングに先立ち、剥落のおそれのある螺鈿や塗膜を保護する。  
 ・西洋塗料のクリーニングを行い、後世の補彩のうち調和を損ねている部分を可能な範囲で除去する。  
 ・剥離した螺鈿や漆塗膜の細かな隙間に、膠や麦漆を注入してひとつひとつ圧着する。  
 ・漆塗の表面は漆固めで強化し、螺鈿の欠失部の周囲は際錆を施し、引っ掛かりをなくす。  
 ・漆塗膜の欠失部は刻芋や漆下地で補う。  
 ・別保存されている螺鈿や漆塗膜の剥落片は、元の位置を特定できるかぎり本体に戻す。  
 ・木地の亀裂や釘穴周辺、また前扉の螺鈿金具の周辺は、刻芋漆、檜材の埋め木、漆下地を用いて形状を整える。  
 ・前扉の本体側螺鈿金具を、所定の位置に打ち込んで扉を固定する。  
 ・以上の工程は、いずれも繊細かつ高度な技術と豊富な経験が必要とし、業者の選定には慎重を期さなければならない。  
 ・他館からの借用希望も多く寄せられる作品であり、蒔絵としての全体の調和を整えて、安全に取り扱えるようにしたい。  
 1 修理前の写真撮影を行う。2 作業中に剥落の恐れがある螺鈿や漆塗膜を和紙片で養生する。3 クリーニングを行う。4 剥離した螺鈿や漆塗膜を圧着する。  
 5 漆塗の表面を漆固めで強化する。6 螺鈿の欠失部の周囲は際錆を施す。7 漆塗膜の欠失部は刻芋や漆下地で補う。8 木地の欠失部は刻芋漆、檜材の埋め木、漆下地で補う。9 前扉の本体側螺鈿金具を、所定の位置に打ち込んで扉を固定する。10 修理後の写真撮影を行う。(25年度より3ヶ年事業)

<染織> (4件)

- 11 ○名称 唐織 紅白濃茶段枝垂桜文様（からおり こうはくこいちゃだんしだれざくらもんよう）  
 ○時代 江戸時代 18～19世紀  
 ○品質 表地：絹・唐織 裏地：絹・平織  
 ○員数 1領  
 ○寸法等 身丈 151.0cm 裄 76.0cm 袖丈 55.0cm 袖幅 32.0cm 裱幅 11.0cm  
 ○施工会社 株式会社 染技連  
 ○修理内容  
 1 解体前に全体像・各部分を安全な方法で撮影し、寸法・破損箇所などを記録・撮影する。続く作業工程についても適切な記録・撮影を行う。2 作品に対するなじみなどを考慮して使用材料を選定し、適切な色に染色する。3 縫い目をはずし解体する。4 可能な範囲で表地を整える。5 鉄媒染部分およびそれ以外の部分を適切な方法で補修する。6 必要な場合には全体の補強を行う。7 裏地を新調し、適切に仕立てる。8 保存に適した素材による台紙つきの畳紙あるいは畳裂を新調する。9 仕立後の全体像を撮影し、すべての作業にわたる修理報告書を作成する。(24年度より2ヶ年事業)
- 12 ○名称 萌葱石畳金襴（もえぎいしだたみきんらん）  
 ○時代 中国・明時代 16世紀  
 ○品質 絹・地絡全通織金襴  
 ○員数 1裂  
 ○寸法等 長 15.6cm 幅 11.0cm  
 ○施工会社 株式会社 染技連  
 ○修理内容  
 ・乱れた金糸の整形には、高度な技術を必要とする。  
 ・作品はクリーニングを行う。  
 ・本作品のみを収納する中性紙製の新しい台紙に取り替える。  
 ・台紙は作品部分に圧力がかからない構造とし、旧畳紙・名称小札をともに収納できる形状とする。  
 1 全体像を安全な方法で撮影し、寸法・破損箇所などを記録・撮影する。続く作業工程についても適切な記録・撮影を行う。2 作品および旧畳紙・名称小札を台紙および表紙から取り外す。3 可能な範囲で裂地のクリーニングを行う。4 乱れた金糸は布海苔を用いて整形する。5 保存に適した素材および構造による台紙を新調し、作品と旧畳紙を収納する。6 保存に適した素材による台紙収納袋を作成し、適切な場所に作品番号を付ける。7 修理後の全体像を撮影し、すべての作業にわたる修理報告書を作成する。
- 13 ○名称 二人静紫地古金襴（ふたりしずかむらさきじこきんらん）  
 ○時代 中国・元～明時代 14～15世紀  
 ○品質 絹・地絡全通織金襴  
 ○員数 1裂  
 ○寸法等 長 8.0cm 幅 9.0cm  
 ○施工会社 株式会社 染技連

- 修理内容
- ・乱れた金糸の整形には、高度な技術を必要とする。
  - ・作品はクリーニングを行ってから、右辺に裏から補強裂をあてて繕う。
  - ・本作品のみを収納する中性紙製の新しい台紙に取り替える。
  - ・台紙は作品部分に圧力がかからない構造とし、旧畳紙・名称小札をともに収納できる形状とする。
- 1 全体像を安全な方法で撮影し、寸法・破損箇所などを記録・撮影する。続く作業工程についても適切な記録・撮影を行う。 2 作品および旧畳紙・名称小札を台紙および表紙から取り外す。 3 可能な範囲で裂地のクリーニングを行う。 4 乱れた金糸は布海苔を用いて整形する。 5 裂地にクレブリンを用いて補修糸で繕い、部分補修する。 6 保存に適した素材および構造による台紙を新調し、作品と旧畳紙を収納する。 7 保存に適した素材による台紙収納袋を作成し、適切な場所に作品番号を付ける。 8 修理後の全体像を撮影し、すべての作業にわたる修理報告書を作成する。

- 14 ○名称 鶏頭裂金襴 (けいとうきれきんらん)  
○時代 中国・元～明時代 14～15世紀  
○品質 絹・地絡全通織金襴  
○員数 1裂  
○寸法等 m長 23.2cm 幅 14.7cm  
○施工会社 株式会社 染技連  
○修理内容
- ・乱れた金糸の整形には、高度な技術を必要とする。
  - ・作品はクリーニングを行う。
  - ・本作品のみを収納する中性紙製の新しい台紙に取り替える。
  - ・台紙は作品部分に圧力がかからない構造とし、旧畳紙・名称小札をともに収納できる形状とする。
- 1 全体像を安全な方法で撮影し、寸法・破損箇所などを記録・撮影する。続く作業工程についても適切な記録・撮影を行う。 2 作品および旧畳紙・名称小札を台紙および表紙から取り外す。 3 可能な範囲で裂地のクリーニングを行う。 4 乱れた金糸は布海苔を用いて整形する。 5 保存に適した素材および構造による台紙を新調し、作品と旧畳紙を収納する。 6 保存に適した素材による台紙収納袋を作成し、適切な場所に作品番号を付ける。 7 修理後の全体像を撮影し、すべての作業にわたる修理報告書を作成する。

#### <考古> (1件)

- 15 ○名称 変形方格規矩鏡 (京都府向日市物集女恵美須山古墳出土) (へんけいほうかくききょう(きょうとらむこくしもづめえびすこふんしゅつど))  
○時代 古墳時代  
○品質 青銅  
○員数 1面  
○寸法等 直径 24.0cm  
○施工会社 公益財団法人元興寺文化財研究所  
○修理内容
- ・本体鏡面に付着した小型獸文鏡を本体鏡から分離する。この2面は昭和初期に一度別々に分かれた経緯が確認されており、現状では2面が接着剤で接合されていることが明らかである。
  - ・2面の分離には、青銅遺物の修理経験と高度な技術が不可欠である。
  - ・この状態の現状変更に関しては平成25年1月の文化財保護審議委員会で承認を得ている。
- 1 保存修理前の撮影など、調査記録を作成する。 2 2面を分離し、付着した土、錆等の除去を行う。 3 洗浄および乾燥させる。 4 防錆処置を施す。 5 樹脂を含浸させる。 6 接合・復元作業を行う。 7 樹脂を塗布する。 8 古色に仕上げる。 9 修理後の状態を撮影するなどして記録を残す。

### 【奈良国立博物館】(8件)

#### <絵画> (4件)

- 1 ○名称 絹本着色十王像 (陸仲淵筆) (けんぼんちゃくしよくじゅうおうぞう)  
○指定 重要文化財  
○員数 3幅  
○時代 元時代(中国) 14世紀  
○品質 絹本着色  
○寸法等 各 縦 85.8cm 横 50.6cm  
○施工会社 (株)文化財保存  
○修理内容 解体修理。多数ある横折れや料絹の欠失に、折れ伏せや剥落止めなど、適切な処置を施し、掛軸装としてのしなやかさを回復させるため、裏打紙を全て取り替える。本品には肌裏紙上への補筆や旧補絹への補筆が見られることから、詳細な損傷地図を作成し、除去及び再使用の検討を行う。旧肌裏紙の取り替えに際しては、裏面の状態を確認しながら作業を行える乾式肌上げ法を採用する。表装裂、軸木はいたみがあるため新調し、軸首は再使用する。各幅に桐材太巻添軸を新調する。箱は三幅入りの二重箱に改め、外側を黒漆塗桐台差箱、中箱は桐印籠蓋箱とする。なお、修理過程では、必要に応じて高精細デジタルカメラや蛍光エックス線分析器等の光学機器を用いた調査を実施し、当館研究員と密に情報を共有しながら修理方針を決定する。また調査や修理の過程で得られたデータを報告書の形で提出する。(継続3か年事業のうちの最終年度)
- 2 ○名称 絹本着色普賢延命像 (けんぼんちゃくしよくふげんえんめいぞう)  
○指定 重要文化財  
○員数 1幅  
○時代 鎌倉時代 13世紀  
○品質 絹本着色  
○寸法等 縦 91.0cm 横 41.8cm  
○施工会社 (株)文化財保存  
○修理内容 解体修理。修理実施前に光学機器等を用いた材料などの分析調査を当館研究員と共同で行い、その成果を随時当館研究員に報告して修理方針を確認する。濾過水を用いて汚れを除去し、旧肌裏紙の除去に際しては乾式肌上げ法を採用する。本紙料絹欠失箇所にて電子線劣化絹を用いて補絹を施す。表装裂・軸首は再使用し、鏝、上下軸、啄木のみ新調する。桐材太巻添軸、桐材印籠箱、裂貼四方帙を新調する。(継続2か年事業のうちの最終年度)
- 3 ○名称 絹本着色六字経曼荼羅 (けんぼんちゃくしよくろくじきょうまんたら)  
○員数 1幅  
○時代 鎌倉時代 13世紀  
○品質 絹本着色  
○寸法等 縦 79.5cm 横 38.6cm  
○施工会社 (株)文化財保存  
○修理内容 解体修理。経年による硬化で失われた掛軸装としてのしなやかさの回復を図り、本品観賞の妨げになっている旧肌裏紙を張り替えるため、表装を解体し裏打紙を全て取り替える。旧肌裏紙の除去に際しては乾式肌上げ法を採用する。過去の修理で施された伏裏絹や補絹は、折りの組織が異なるため、全て除去して、欠失箇所に本紙料絹の織り組織に合わせた電子線劣化絹を新たに補い、補填箇所に地色補彩を行う。全面に発生した折れは、それを軽減するために折れ伏せを施す。太巻添軸、表装裂、上下軸、軸首、桐製保存箱、裂貼四方帙は新調する。(継続2か年事業のうちの第1年目)
- 4 ○名称 絹本着色安東円惠像 (けんぼんちゃくしよくあんどうえんえぞう)  
○指定 重要文化財  
○員数 1幅  
○時代 鎌倉時代 14世紀 元徳二 (1330)年

- 品 質 絹本着色
- 寸法等 縦119.5cm 横57.9cm
- 施工会社 (株)文化財保存
- 修理内容 解体修理。経年により画面各所に折れが生じており、更に本紙料絹の剥離・欠失に至っている。それらの構造的な不具合を改善するため、表装を解体し裏打紙を全て取り替える。旧肌裏紙の除去に際しては乾式肌上げ法採用する。折り組織が異なる旧補絹は全て除去して、欠失箇所に本紙料絹の織り組織に合わせた電子線劣化絹を新たに補い、補填箇所に地色補彩を行う。全面に発生した折れは、それを軽減するために折れ伏せを施す。表装については一文字裂、中縁裂、軸首を元使いとし、上下裂、上下軸、啄木を新調。太巻添軸、桐製保存箱、裂貼四方帙を新調する。

<書跡>(1件)

- 5 ○名 称 紙本墨書立川流儀軌残巻(しほんぼくしょたちかわりゆうぎざんかん)
- 員 数 1巻
- 時 代 鎌倉時代 13世紀 正応五(1292)年
- 品 質 紙本墨書墨画著色
- 寸法等 縦31.0cm 横358.4cm
- 施工会社 (株)文化財保存
- 修理内容 解体修理。觀賞の妨げになる本紙付着物等汚れを除去し、墨書・彩色等の状態を確認した上で、折れによる浮きなどの必要な箇所に剥落止めを施す。過去の修理でずれた紙継ぎの修整や、折れによる剥離進行を抑えるため、紙継ぎを外した後、濾過水を用いてクリーニングを行い、折れ・皺をプレスにより整える。損傷進行の恐れのある箇所については、本紙の紙質を調査した上で、適した補修紙を作製し、欠落箇所の補填、脆弱な箇所の補強を行う。表紙・巻頭などを欠失しているため、表紙、八双、巻緒、隔て紙、軸巻紙、軸木、軸頭を新調して卷子装に仕立て直す。保管箱を新造する。

<染織>(1件)

- 6 ○名 称 刺繍釈迦如来説法図(ししゅうしゃかによらいせっぽうず)
- 指 定 国宝
- 員 数 1面
- 時 代 奈良または中国・唐時代 8世紀
- 品 質 絹製 刺繍
- 寸法等 縦207.0cm 横157.0cm
- 施工会社 (株)文化財保存
- 修理内容 解体修理。過去の修理や経年・構造による損傷の軽減を図るため、装丁を解体する。装丁は全て復元新調するが、床に接する下端には薄い浅縁を付ける。額装扉が刺繍面に直接当たらないように、本紙周囲に厚みを付ける。現行の縁まわしをめくり、刺繍面を全てあらわす。縁まわし裂は現行のものを復元した裂を新調する。剥落の危険がある箇所を接着し、剥落止めを施す。旧補修箇所は表から剥落止めし、オリジナル部分との高低差をなくす処置を施しつつ、現行より刺繍になじむ色となるよう調整する。裂けている部分や画面全体の安定のため裏打ち紙を打ち替える。銘文は現行に準じた箇所に貼り付ける。取り扱い及び収納用の木枠を作製し、木枠ごと収納する箱を作製する。箱は作品を立てて保管する仕様とする。(継続4か年事業のうちの第2日目)

<考古>(2件)

- 7 ○名 称 陶棺(奈良市西大寺出土)(とうかん[ならしさいだいじしゅつど])
- 員 数 1点
- 時 代 古墳時代 6~7世紀
- 品 質 陶製(素焼き) 朱塗り
- 施工会社 公益財団法人元興寺文化財研究所
- 修理内容 過去補修材の劣化や、自重による損傷移行を抑えるため、旧補修材を除去し、再接合を行う。欠落部分には軽量かつ強度の高い樹脂を充填。必要に応じて自重に耐える補強材を付加する。追補表面に違和感のない着色を施す。既存の框および展示台を移動・保管に適したものに作り替える。(継続2か年事業のうちの最終年度)
- 8 ○名 称 鉄製品(二塚古墳出土)(てつせいひん[ふたつかこふんしゅつど])
- 員 数 一括
- 時 代 古墳時代 6世紀
- 品 質 鉄製
- 施工会社 公益財団法人元興寺文化財研究所
- 修理内容 鉄錆の進行による脆弱化を軽減するため、過去修理時に樹脂が塗布されているものは、その古い樹脂を除去する。遺存している有機質を損傷しないよう、錆などのクリーニングを行い、脱塩処理と樹脂含浸処置を施す。その後、接合及び形状復元の為に樹脂補填する。錆化を止めるための樹脂を塗布して仕上げる。(継続2か年事業のうちの第1日目)

【九州国立博物館】(17件)

<絵画>(5件)

- 1 ○名 称 絹本着色仏涅槃図 命尊筆(けんぼんちやくしよくぶつねはんず みょうそんひつ) 1幅(22年度より継続・4ヶ年計画)
- 所 蔵 者 九州国立博物館
- 時 代 鎌倉時代・元亨3年(1323)
- 品 質 絹本着色、書表装、軸：蓮華唐草文金軸、箱：椀棧蓋箱
- 寸法等 本紙 縦261.0cm 横212.6cm
- 施工会社 一般社団法人国宝修理装演師連盟九州支部
- 修理内容 1. 写真撮影を行い、本紙の状態を調査する。 2. 絵具層の剥落止めを行う。 3. 表装の解体を行う。 4. 浄化水を表面から噴霧し、浸透させる方法で汚れを除去する。 5. 絵具層の剥落止めを行う。 6. 本紙表面より料絹欠失箇所に劣化絹にて補綴を行う。 7. 布海苔を用い、養生紙にて表打を行う。 8. 旧肌裏紙及び旧補絹を除去する。 9. 本紙裏面より料絹欠失箇所に劣化絹にて補綴を行う。 10. 本紙の色合いに合わせて、染薄美濃紙にて肌裏を打つ。 11. 表打の養生紙を除去する。 12. 美洒紙にて増裏打を行い、仮張りをする。 13. 折れ伏せを入れ、折れを直す。 14. 本紙両端に金箔押し紙にて覆輪を施す。 15. 美洒紙にて増裏打を行い、仮張りをする。 16. 美洒紙にて中裏打を行い、仮張りをする。 17. 宇陀紙にて総裏打を行い、仮張りし充分な乾燥期間をおく。 18. 補綴の箇所に補彩をする。 19. 新調した軸木、発装、啄木等と軸首・座環を取り付け軸装に仕立てる。 20. 桐木巻添軸、桐屋郎箱を新調し、羽二重の包装に包み納入する。平成25年度は10~20を施工
- 2 ○名 称 扇面画帖(七十二図)(せんめんがちょう) 1帖(24年度より3ヶ年計画)
- 所 蔵 者 九州国立博物館
- 時 代 室町時代・15-16世紀
- 品 質 絹本着色、画帖、表紙：白茶地二重蔓牡丹唐草文金欄
- 寸法等 本紙 縦30.2cm 横51.0cm 高7.0cm
- 施工会社 一般社団法人国宝修理装演師連盟九州支部
- 修理内容 1. 写真撮影を行い、本紙の状態を調査する。 2. 現装の解体を行う。 3. 膠などの接着剤を用い剥落止めを施す。 4. 浄化水を表面から噴霧し、浸透させる方法で汚れを除去する。 5. 布海苔を用い、養生紙にて表打を行う。 6. 旧肌裏紙および旧補紙を除去する。 7. 本紙裏面より料絹欠失箇所に補綴を行う。 8. 本紙の色合いに合わせて、染薄美濃紙にて肌裏を打つ。 9. 表打の養生紙を除去する。 10. 折れ伏せを入れ、折れを直す。 11. 和紙を新糊にて

重ね厚みを調整し台紙を作成する。12. 和紙を新糊にて重ね厚みを調整しマットを新調する。13. マット表面、台紙裏面貼付の装飾紙（金砂子・切箔散し）、見返しを作成する。14. マットを両面の形にくり抜き、台紙に本紙を貼り、重ねて接着する。15. 本紙を貼り込んだ台紙を36帖毎に蝶番紙で繋ぎ、天地に縁紙を取り付ける。16. 表紙を新調する。17. 表紙背表紙を、繋いだ台紙に取り付け上下2帖の画帖に仕上げる。18. 下底板桐野郎箱を新調し、包裂に包み納める。平成25年度は7~11を施工

- 3 ○名称 唐人物図屏風（とうじんぶつずびょうぶ） 6曲1双  
○所蔵者 東京国立博物館  
○時代 江戸時代・17世紀末-18世紀初  
○品質 紙本金地着色、屏風装  
○寸法等 縦160.8cm 横352.0cm  
○施工会社 一般社団法人国宝修理装潢師連盟九州支部  
○修理内容 1. 写真撮影を行い、本紙の状態を調査する。2. 屏風装を解体し、本紙の旧裏打紙を、肌裏紙を残して除去する。3. 膠水溶液にて絵具層の剥落止を行う。4. 旧肌裏紙及び旧補紙を除去する。5. 本紙繊維に類似した補修紙を製作する。6. 本紙裏面より料紙欠失箇所上記補修紙にて補紙を行う。7. 本紙の色合いに合わせて、染薄美濃紙にて肌裏を打つ。8. 美濃紙にて2回目の裏打ちを行う。9. 杉材を用い縦糸細隅止めとした下地を12枚新調する。10. 両面に8度下貼りを施し、よく乾燥させる。11. 補紙の箇所補彩を行う。12. 下地に本紙及び支給の縁紙を上貼りする。裏には新調の唐紙を貼る。13. 元の金物を洗い調整し、欠失の鉾を新調する。14. 龔木を新調し、屏風装に仕立てる。

- 4 ○名称 紙本墨画布袋図（しほんぼくがひまていず） 1幅（25年度より継続・2ヶ年計画）  
○指定 重要文化財  
○所蔵者 九州国立博物館  
○時代 中国 南宋～元 13世紀  
○品質 紙本墨画  
○寸法等 （本紙） 縦96.5cm 横41.3cm（表具） 縦191.0cm 軸長62.6cm（外箱） 縦70.0cm 横13.4cm 高さ13.5cm  
○施工会社 一般社団法人国宝修理装潢師連盟九州支部  
○修理内容 1. 写真撮影を行い、本紙の状態を調査する。2. 本紙の旧裏打紙を、肌裏紙を残して除去する。3. 詳細な本紙料紙の損傷（欠失）図面を作成する。この調査結果によっては共裏を除去する可能性がある（共裏除去は別途費用が必要）。4. 作業中に移動する恐れのある汚れを出来る限り除去する。5. 旧肌裏紙及び旧補紙を除去する。6. 本紙裏面より欠失箇所補紙を行う。7. 本紙の色合いに合わせて、染薄美濃紙にて肌裏を打つ。8. 表装裂地は元使いし、肌裏を打つ。9. 美濃紙にて増裏打を行い、仮張りをする。10. 折れ伏せを入れ、折れを直す。11. 仮張りされた本紙と表装裂地を軸装の形に付け廻しをする。12. 美濃紙にて中裏打を行い、仮張りをする。13. 宇陀紙にて総裏打を行い、仮張りし十分な乾燥期間をおく。14. 補紙の箇所補彩をする。15. 中軸、発装、打込銀、啄木等を新調し軸装に仕立てる。なお、表装裂、軸首は元の物を使用することを基本方針とするが、修理の過程で裂の再使用に支障があると判断した時は九州国立博物館支給の裂を使用する。風袋の裏裂は後補のものであり、九州国立博物館支給の裂にて新調する。16. 桐太巻添軸・桐印籠箱を新調し、羽二重の包裂に包み納入する。平成25年度は1~3を施工

- 5 ○名称 両界曼荼羅（りょうがいまんだら） 2幅（25年度より継続・3ヶ年計画）  
○所蔵者 奈良国立博物館  
○時代 室町時代・応永4年(1397)  
○品質 絹本着色  
○寸法等 縦169.0cm 横134.4cm  
○施工会社 一般社団法人国宝修理装潢師連盟九州支部  
○修理内容 1. 写真撮影を行い、本紙の状態を調査する。2. 本紙の旧裏打紙を肌裏紙を残して除去する。3. 膠水溶液にて絵具層の剥落止を行う。4. 浄化水を表面から噴霧し、浸透させる方法で汚れを出来る限り除去する。5. 布海苔を用い、養生紙にて表打を行う。6. 旧肌裏紙及び旧補紙を除去する。7. 本紙裏面より料紙欠失箇所劣化絹にて補紙を行う。8. 本紙の色合いに合わせて、染薄美濃紙にて肌裏を打つ。9. 表打の養生紙を除去する。10. 美濃紙にて増裏打を行い、仮張りをする。11. 折れ伏せを入れ、折れを直す。12. 九州国立博物館支給の裂に肌裏打ち、増し裏打ちを行い仮張りをする。13. 本紙と裂を表装の形態に付け廻しを行う。14. 美濃紙にて2層の中裏打を行う。15. 宇陀紙にて総裏打を行い、仮張りし十分な乾燥期間をおく。16. 補紙の箇所補彩をする。17. 軸首は再使用し、中軸、発装、紐等を新調し軸装に仕立てる。18. 桐太巻添軸2本、桐印籠箱1合を新調し、羽二重の包裂に包み納入する。平成25年度は1~5を施工

#### <書跡> (2件)

- 6 ○名称 栄花物語（えいがものがたり） 17帖（24年度より継続・3ヶ年計画）  
○指定 国宝  
○所蔵者 九州国立博物館  
○時代 鎌倉時代 13世紀  
○品質 紙本墨書  
○寸法等 （大型本） 縦30.6cm 横24.2cm（小型本） 縦16.3cm 横14.9cm  
○施工会社 一般社団法人国宝修理装潢師連盟九州支部  
○修理内容 1. 写真撮影を行い、本紙の状態を調査する。2. 必要に応じて冊子を解体する。3. 本紙の汚れをクリーニングする。4. 本紙繊維に類似した補修紙を製作する。5. 本紙欠失箇所、上記補修紙にて補紙を行う。6. 本紙の折れ・シワを伸ばす。7. 本紙をプレス乾燥する。8. 本紙を元の冊子装に縫直しする。9. 箱帙を新調して本紙を納め、新調した桐印籠箱2号に納入する。平成25年度は冊子番号5-10を施工

- 7 ○名称 孤峯覺明墨蹟与保樹大姉法語（こほうかくみょうぼくせき ヨホジュダイシホウゴ） 1幅（25年度より・2ヶ年計画）  
○指定 重要文化財  
○所蔵者 九州国立博物館  
○時代 南北朝時代 14世紀  
○品質 紙本墨書  
○寸法等 （本紙） 縦31.2cm 横87.3cm（表装） 縦120.0cm 横89.0cm  
○施工会社 一般社団法人国宝修理装潢師連盟九州支部  
○修理内容 1. 写真撮影及び赤外線調査を行い、本紙の状態を調査する。各紙ごとに紙質調査を行う。2. 軸装を解体後、本紙の旧裏打紙を除去し、仮裏打ちによるクリーニングを行う。3. 必要に応じて、本紙欠失箇所、本紙料紙に類似した補修紙を用いて補修を行う。4. 本紙の色合いに合わせて、染薄美濃紙にて肌裏を打つ。5. 元の表装裂地に補修調整を行い、肌裏を打つ。6. 美濃紙にて増裏打を行い、仮張りをする。7. 折れ伏せを入れ、折れを直す。8. 仮張りされた本紙と表装裂地を軸装の形に付け廻しをする。9. 美濃紙にて中裏打を行い、仮張りをする。10. 宇陀紙にて総裏打を行い、仮張りし十分な乾燥期間をおく。11. 補修箇所補彩をする。12. 軸首、打込銀は再用し、中軸、発装、啄木等を新調し軸装に仕立てる。13. 桐太巻添軸、桐印籠箱を新調し、羽二重の包裂に包み納入する。平成25年度は1-5を施工

#### <金工> (1件)

- 8 ○名称 朱漆花鳥草樹螺鈿二層（しゅううるしかちょうそうじゅらでんにそう） 1基（25年度より・2ヶ年計画）  
○所蔵者 九州国立博物館  
○時代 朝鮮 近代・20世紀前半  
○品質 木製漆塗  
○寸法等 幅46.1cm 横91.3cm 高150.5cm  
○施工会社 株式会社 目白漆芸文化財研究所

○修理内容	1. 修理前撮影・記録。2. クリーニング・剥落止め。3. 内貼り紙の除去。国宝修理装飾師連盟施工。4. 隅金具の取り外し。構造安定等の作業に必要な箇所のみ取り外しを行う。5. 構造安定処置。充填接着用に調合した麦漆を溶剤で希釈して流し入れる。6. 塗膜接着。亀裂部より塗膜接着用に調合した麦漆を溶剤で希釈し、塗膜下に流し入れ、溶剤が揮発し麦漆が締まった状態で圧着固定する。7. 蝶鈿接着。膠で圧着固定をする。8. 刻字。木地の割れや木地構造接合部の隙間には刻字を充填する。打損等による欠損部は刻字で形態を復元する。9. 下地付け。10. 際錆。刻字の肌面を整え、復元箇所と漆塗膜との段差部に極少量の下地を付ける。11. 支え棒制作。下段扉の開閉を改善するため、箆管内に上段箆管の重量を受けるための取り外し可能な支え棒を制作する。12. 台の調整。箆管と台の間に薄板を入れ安定させる。13. 受け台制作。箆管の重量を支えるための受け台座を作成する。14. 隅金具、取付け。15. 内貼り新補。内張りの紙は九州国立博物館支給の紙を用いる。16. 修理後撮影。17. 報告書作成 平成25年度は1~7の30%を施工
<b>&lt;刀剣&gt; (2件)</b>	
9 ○名称	刀 銘肥前国住人忠吉作 (かたな めいひぜんのくにじゅうにんただよしさく) 1振
○所蔵者	九州国立博物館
○時代	江戸時代・17世紀
○品質	鉄
○寸法等	刃長73.6cm 反1.6cm
○施工会社	有限会社 藤代
○修理内容	1. 修理前撮影。2. 下地研磨。3. ハバキと白鞘の作成。4. 仕上げ研磨。差し込み仕上げの研磨を行う。5. 修理後撮影。
10 ○名称	刀 無銘伝備前光忠 (かたな むめいでんびぜんみつただ) 1振
○所蔵者	九州国立博物館
○時代	鎌倉時代・14世紀
○品質	鉄
○寸法等	刃長71.5cm 反2.1cm
○施工会社	有限会社 藤代
○修理内容	1. 修理前撮影。2. 下地研磨。3. ハバキと白鞘の作成。4. 仕上げ研磨。差し込み仕上げの研磨を行う。5. 修理後撮影。
<b>&lt;染織&gt; (5件)</b>	
11 ○名称	ショール 縞格子文様金糸織 (しよーる しまこうしもんようきんしもんおり) 1枚 (24年度より3ヵ年計画)
○所蔵者	九州国立博物館
○時代	20世紀前半
○品質	絹、捻銀糸、平織、銀糸浮紋織
○寸法等	幅56.5cm 長さ204.0cm
○施工会社	一般社団法人国宝修理装飾師連盟九州支部
○修理内容	1. 写真撮影を行い、生地、縁、房の状態を調査する。2. 破損状況や今後の保存活用を検討し、補修裂や補修糸の作製調達をする。3. 補修裂や補修糸を生地の色味に合わせて馴染む色味を検討して染色をする。4. 旧補修糸の補修効果や性質などの検討をする。生地に負荷をかけている場合は生地優先。5. 生地感や損傷状況を観察すると全体的な補修裂あても考えられるが、今回は裏面も考慮して可能な限り最小限の部分補修とする。生地の欠失箇所の裏面から部分的、あるいは、帯状に補修裂(薄地平絹)をあてて補修糸(極細絹糸)で縫い綴じ、端口の補修をする。6. 房を可能な限り整える。縁位置から帯状補修裂をあて縫い綴じ、房の付け際と縁の補修補強をする。平成25年度は3~4を施工
12 ○名称	ショール 緋地花文様両面刺繍 (しよーる かすりじはなもんようりょうめんししゅう) 1枚 (24年度より3ヵ年計画)
○所蔵者	九州国立博物館
○時代	20世紀前半
○品質	絹、スパンコール、平織、緯緋、刺繍(平織・サテンステッチ)。
○寸法等	幅93.0cm 長さ203.8cm
○施工会社	一般社団法人国宝修理装飾師連盟九州支部
○修理内容	1. 写真撮影を行い、生地、刺繍、スパンコール、付着物の状態を調査する。2. 破損状況や今後の保存活用を検討し、補修裂や補修糸の作製調達をする。3. 補修裂や補修糸を生地の色味に合わせて馴染む色味を検討して染色をする。4. 生地に負荷をかけている場合は生地優先付着物はピンセットで小さくするなどして生地の損傷に繋がらない範囲で除去をする。5. 生地を整え、裏面から全体的、あるいは、刺繍・スパンコールのある四辺の全体的に補強裂(薄地平絹)をあて補修糸(極細絹糸)で縫い綴じ、欠損端口の補修をする。あてる範囲については生地の状態と見え方とを検討して決定する。6. 金糸の大きな浮きは補強裂を支えにして補修糸(極細絹糸)で縫い綴じる。7. スパンコールは欠けたものはそのままとする。留め糸は弱っているので全て補修糸(極細絹糸)を入れ留める。平成25年度は3~4を施工
13 ○名称	ショール 縞緋幾何学文様浮紋織 (しよーる しまかすりきかかくもんよううきもんおり) 1枚 (24年度より3ヵ年計画)
○所蔵者	九州国立博物館
○時代	19-20世紀
○品質	木綿、平織、経緋、経浮、緯浮、両端カードウィーブ
○寸法等	幅87.0cm 長さ265.0cm
○施工会社	一般社団法人国宝修理装飾師連盟九州支部
○修理内容	1. 写真撮影を行い、生地、房、くすみ、付着物の状態を調査する。2. 破損状況や今後の保存活用を検討し、補修裂や補修糸の作製調達をする。3. 補修裂や補修糸を生地の色味に合わせて馴染む色味を検討して染色をする。4. 旧補修糸の補修効果や性質などの検討をする。生地に負荷をかけている場合は生地優先で取り外す。5. 付着物はピンセットで小さくするなどして生地の損傷に繋がらない範囲で除去をする。6. 生地の折り皺を伸ばす。次のくすみ処置にも連動するので現状では決定ではないが、まずは湿り気を利用し整え紙と重しで押しをする仕方を想定している。7. 生地のくすみの状態を観察の上、その軽減処置の検討をする。水の使用が想定されるが、その使い方、加減については生地の状態と染色との兼ね合いになる。8. 生地の裏面から部分的に補修裂(薄地綿布)をあて補修糸(極細絹糸)で縫い綴じ、欠損端口の補修をする。耳のほつれは補修糸で留める。9. 房の絡まりを直し整える。平成25年度は4~8を施工
14 ○名称	装飾布 茜地花葉文様更紗 (そうしよくふ あかねじかようもんようさらさ) 1枚 (24年度より3ヵ年計画)
○所蔵者	九州国立博物館
○時代	19世紀
○品質	木綿、平織、手描糊染、両面染
○寸法等	幅98.0cm 長さ324.0cm
○施工会社	一般社団法人国宝修理装飾師連盟九州支部
○修理内容	1. 写真撮影を行い、生地、旧補修、汚れの状態を調査する。2. 破損状況や今後の保存活用を検討し、補修裂や補修糸の作製調達をする。3. 補修裂や補修糸を生地の色味に合わせて馴染む色味を検討して染色をする。4. 旧補修糸の補修効果や性質などの検討をする。生地に負荷をかけている場合は生地優先で取り外す。5. 付着物はピンセットで小さくするなどして生地の損傷に繋がらない範囲で除去をする。6. 生地の折り皺を伸ばす。次のくすみ処置にも連動するので現状では決定ではないが、まずは湿り気を利用し整え紙と重しで押しをする仕方を想定している。7. 生地の汚れの状態を観察の上、その軽減処置の検討をする。水の使用が想定されるが、その使い方、加減については生地の状態と染色との兼ね合いになる。8. 生地の裏面から部分的、または、帯状に補修裂(極薄地)をあて補修糸(極細絹糸)で縫い綴じ、欠損端口の補修をする。平成25年度は4~7を施工
15 ○名称	ショール 赤緋地金銀鋳文様縫取織 (しよーる あかがすりじきんぎんきよしもんようぬいとり) 1枚 (24年度より3ヵ年計画)

○所蔵者 九州国立博物館  
 ○時代 20世紀  
 ○品質 絹、平織、緯緋、金糸紋織  
 ○寸法等 幅 42.0 cm 長さ 260.0 cm  
 ○施工会社 一般社団法人国宝修理装飾師連盟九州支部  
 ○修理内容 1. 写真撮影を行い、生地、旧補修の状態を調査する。2. 破損状況や今後の保存活用を検討し、補修裂や補修糸の作製調達をする。3. 補修裂や補修糸を生地の色味に合わせて馴染む色味を検討して染色をする。4. タブリのあるままでは生地に影響するので、旧補修糸を短く切りながら取り外す。5. 生地の折れ皺を伸ばす。湿り気を利用して整え紙と重しで押しをする仕方を想定している。6. 解体後の生地の状態を観察して脆弱度によって補修の範囲を決める。裂けやすい生地と思われるので、生地の裏面から全体的に補修裂（薄地平絹）をあて補修糸（極細絹糸）で縫い縫じ、補強し、欠損端口の補修を想定する。7. 両端の房を整える。平成25年度は3～5を施工

<歴史資料> (2件)

- 16 ○名称 対馬宗家関係資料（つしまそうけかかけいしりょう）21箱19巻（20年度より継続・6ヶ年計画）  
 ○指定 重要文化財  
 ○所蔵者 九州国立博物館  
 ○時代 江戸時代・19世紀  
 ○品質 紙本墨書  
 ○寸法等 縦 17.6-34.5 cm 横 45.7-57.2 cm  
 ○施工会社 一般社団法人国宝修理装飾師連盟九州支部  
 ○修理内容 21箱19巻  
 1. 写真撮影を行い、本紙の状態を調査する。2. 卷子装を解体する。3. 本紙の汚れ等を取り去る。4. 本紙の旧裏打紙を除去し、継ぎを外し、シワ等を伸ばして整形する。5. 本紙と類似した補修紙を作成する。6. 本紙欠失箇所に上記補修紙にて補紙を施し、上下には足し紙をつける。7. 旧裏打紙と同様の色調に染色した薄美濃紙にて肌裏打を施す。8. 将来折れが予想される箇所に折れ伏せを入れる。9. 混合紙にて総裏打を施す。10. 仮張りし、充分な乾燥期間をおく。11. 各料紙を継ぎ、巻末に新調の軸巻紙を取り付ける。12. 表紙、軸首、紐、中軸、八双は元のものを用い、卷子装に仕立てる。13. 羽二重の包み裂に包み納入する。14. 桐太巻添軸を施工巻数分製作する。15. 施工巻数分を納入できる紙箱を新調する。平成25年度は巻16～19を施工
- 17 ○名称 紙本墨書島津氏等文書集（しほんぼくしよしまつしとうもんじょしゅう）1巻（10通）  
 ○所蔵者 九州国立博物館  
 ○時代 鎌倉-江戸時代 14-17世紀  
 ○品質 紙本墨書。卷子装。  
 ○寸法等 (卷子) 縦 38.9 cm 横 565.7 cm (表紙) 縦 38.9 cm 横 28.7 cm  
 ○施工会社 一般社団法人国宝修理装飾師連盟九州支部  
 ○修理内容 1. 写真撮影を行い、本紙の状態を調査する。2. 卷子装を解体し、本紙の旧裏打紙を除去する。3. 本紙縦縫いに類似した補修紙を製作する。4. 本紙欠失箇所に、上記補修紙にて補紙を行う。5. 本紙の色合いに合わせて、薄美濃紙にて肌裏打ちを行う。6. 美洒紙にて増裏打ちを行う。7. 折れ伏せを入れ、折れを直す。8. 混合紙にて総裏打ちを行う。9. 表紙、見返を新調し、薄美濃紙にて裏打ちを行い、それぞれを合わせる。10. 本紙周囲の足紙を新調し、裏打ちを行う。11. 本紙、表紙、見返を仮張りし充分な乾燥期間をおく。12. 必要に応じて補紙箇所に補彩をする。13. 仮張りされた本紙、足紙、および表紙、見返を継ぐ。14. 軸巻紙、軸木、発装、紐等を新調し卷子装に仕立てる（軸首は再使用する）。15. 桐印籠箱1台、桐太巻添軸を新調し、羽二重の包裂に包み納入する。

1-(3)-③ 文化財修理データのデータベース化件数

単位：件 平成26年3月31日現在

	計	東京国立博物館	京都国立博物館	奈良国立博物館
合計	258	84	101 (4460)	73 (609)
絵画	80	3	48 (1784)	29 (210)
書跡	41	2	23 (1009)	16 (144)
彫刻	44	0	22 (1231)	22 (168)
建築	0	0	0 (15)	0 (0)
金工	0	0	0 (1)	0 (1)
刀剣	2	2	0 (0)	0 (0)
陶磁	2	2	0 (1)	0 (0)
漆工	7	2	0 (39)	5 (50)
染織	42	37	4 (168)	1 (2)
考古	23	23	0 (13)	0 (0)
歴史資料	5	3	2 (173)	0 (31)
和書	0	0	0 (0)	0 (0)
民族資料	0	0	0 (3)	0 (2)
その他	2	0	2 (23)	0 (1)
東洋	絵画	2	2	/
	書跡	3	3	
	彫刻	1	1	
	金工	0	0	
	陶磁	1	1	
	漆工	2	2	
	染織	1	1	
	考古	0	0	
	民族	0	0	
法隆寺献納宝物	0	0		
黒田記念館収蔵品	0	0		
館史資料(収蔵品外)	0	0		

※ 東京国立博物館は、列品管理規程による「旧東洋課所掌分」あり。

※ 記載の件数は当年度新規入力件数、( )内は当年度までの新規入力件数の累計。

※ 京都国立博物館の( )内の記載については、24年度統計表まで、追加・更新件数を含む当年度のデータ入力の件数を記載していたが、今回より上記に統一した。

## 2 文化財を活用した歴史・伝統文化の国内外への発信

### 2-(1) 展示の充実

#### 2-(1)-① 来館者数推移（入館料別）

（後述の資料に記載）◎共通資料a-①

#### 2-(1)-② 来館者数推移（展覧会別）

（後述の資料に記載）◎共通資料a-②

#### 2-(1)-③ 入場料収入

（後述の資料に記載）◎共通資料a-③

#### 2-(1)-④ 展示テーマ毎にその時代背景等を説明した外国語パネル等の設置

平成26年3月31日現在

東京国立博物館	京都国立博物館	奈良国立博物館	九州国立博物館
100%	—%	91%	85%
132件(外国語)	—件(外国語)	43件(外国語)	40件(外国語)
132件(日本語)	—件(日本語)	47件(日本語)	47件(日本語)

パネル等（パネルと同内容の配布資料・音声ガイドを含む）

【東京国立博物館】計132件(外国語)/132件(日本語)

- ・総合文化展（特集陳列を除く） 99件(外国語) / 99件(日本語) 含国宝室
- ・特集陳列 33件(外国語) / 33件(日本語)
- ・黒田記念館は閉館中（平成27年1月開館予定）

※参考 本館2階陳列「日本美術の流れ」案内・解説パンフレットを作成・配布した。

【京都国立博物館】

（平常展示館建替工事に伴い平常展示休止中）

【奈良国立博物館】計43件(外国語)/47件(日本語)

- ・名品展（なら仏像館） 19件(外国語) / 19件(日本語)
- ・名品展（青銅器館） 12件(外国語) / 12件(日本語)
- ・特別陳列「おん祭と春日信仰の美術」 3件(外国語) / 3件(日本語)
- ・特集展示「新たに修理された文化財」 6件(外国語) / 6件(日本語)
- ・特別陳列「お水取り」 2件(外国語) / 2件(日本語)
- ・特集展示「いにしえの東北～豊岡遺跡と平泉～」 0件(外国語) / 2件(日本語)
- ・特別展示「正倉院宝庫の瓦」 0件(外国語) / 2件(日本語)
- ・パネル展示 地下回廊（国宝十一面観音像の光学調査） 1件(外国語) / 1件(日本語)

【九州国立博物館】計 40 件(外国語)/ 47 件(日本語)

- ・文化交流展示（トピック展示・特別公開を除く） 27 件(外国語)/33 件(日本語)
- ・文化交流展示 音声ガイド 3 件(外国語)/0 件(日本語)
- ・文化交流展示 トピック展示・特別公開
  - うち「江戸のモダニズム 古武雄～まぼろしの九州のやきもの～」 1 件(外国語)/1 件(日本語)
  - 「江戸のサイエンス—武雄蘭学の軌跡—」 1 件(外国語)/1 件(日本語)
  - 「国宝 琉球国王尚家関係資料修理完成記念特別公開」 0 件(外国語)/1 件(日本語)
  - 「視覚革命！異国と出会った江戸絵画—神戸市立博物館名品展—」 1 件(外国語)/1 件(日本語)
  - 「特別公開 国宝・神戸市桜ヶ丘出土銅鐸」 1 件(外国語)/1 件(日本語)
  - 「特別公開 国宝「西光寺梵鐘」」 0 件(外国語)/1 件(日本語)
  - 「館蔵名品展—更紗」 1 件(外国語)/1 件(日本語)
  - 「茶の湯を楽しむVI 特別編 煎茶の世界」 1 件(外国語)/1 件(日本語)
  - 「山の神々—九州の霊峰と神祇信仰—」 1 件(外国語)/1 件(日本語)
  - 「特集陳列「江上波夫の眼 ことばとかたち」」 1 件(外国語)/1 件(日本語)
  - 「ロシアが見たアイヌ文化」 1 件(外国語)/1 件(日本語)
  - 「発掘された日本列島 2013」 0 件(外国語)/1 件(日本語)
  - 「新春特別公開 「天神さまの宝もの」」 0 件(外国語)/1 件(日本語)
  - 「館蔵近世絵画名品展」 1 件(外国語)/1 件(日本語)

#### 2-(1)-⑤ 平常展・特別展・海外展

（後述の資料に記載）◎共通資料a-④

2-(2) 教育活動の充実

2-(2)-① 学習機会の提供 (過去5カ年)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
○キャンパスメンバーズ					
東京国立博物館	35校	35校	37校	38校	43校
京都国立博物館	30校	29校	30校	30校	29校
奈良国立博物館	27校	28校	28校	27校	26校
九州国立博物館	29校	27校	28校	24校	24校
○講演会等の回数					
東京国立博物館					
講演会等 実施回数	153回	126回	112回	126回	131回
講演会等 参加者数	12,546人	13,319人	12,664人	13,193人	15,777人
①講演会	24回	39回	32回	31回	30回
	5,600人	9,290人	8,224人	6,952人	7,184人
アンケート結果	87%	91%	91%	82%	84%
(内訳)					
・月例講演会等	12回	11回	13回	12回	12回
	1,887人	1,637人	2,457人	1,791人	1,951人
アンケート結果	87%	89%	91%	82%	80%
・記念講演会	11回	12回	15回	12回	11回
	3,516人	3,467人	4,669人	3,682人	3,368人
アンケート結果	85%	91%	89%	85%	88%
・テーマ別講演会	1回	1回	3回	4回	6回
	197人	180人	775人	1,051人	1,709人
アンケート結果	90%	92%	—	77%	84%
・その他講演会	—	15回	1回	3回	1回
	—	4,006人	323人	428人	156人
アンケート結果	—	—	—	78%	83%
②列品解説 (ギャラリートーク等)	126回	83回	76回	90回	98回
	6,550人	3,659人	3,963人	5,805人	8,205人
③連続講座	1回 (3日)				
	320人	278人	380人	303人	354人
アンケート結果	82%	81%	89%	75%	95%
④公開講座	2回	3回	3回	4回	2回
	76人	92人	97人	133人	34人
アンケート結果	93%	100%	97%	94%	97%
京都国立博物館					
講演会等 実施回数	21回	17回	15回	19回	21回
講演会等 参加者数	3,002人	2,313人	1,450人	3,150人	2,062人
①土曜講座	19回	15回	13回	16回	10回
	2,791人	2,076人	1,199人	2,682人	1,257人
アンケート結果	80%	81%	77%	84%	87%
②特別展記念講演会	—	—	—	1回	1回
	—	—	—	215人	190人
アンケート結果	—	—	—	89%	88%
③夏期講座	1回 (3日)				
	179人	205人	193人	213人	219人
アンケート結果	94%	92%	78%	92%	91%
④社会科教員のための向上講座	1回	1回	1回	1回	1回
	32人	32人	58人	40人	30人
⑤ギャラリートーク	—	—	—	—	8回
	—	—	—	—	366人
奈良国立博物館					
講演会等 実施回数	33回	28回	28回	29回	26回
講演会等 参加者数	3,421人	3,349人	3,006人	3,454人	3,219人
①特別展等講座	16回	15回	15回	16回	13回
	2,043人	2,172人	1,839人	2,172人	1,682人
アンケート結果	96%	93%	87%	85%	85%
②夏期講座	1回 (3日)				
	391人	556人	522人	438人	587人
アンケート結果	92%	95%	90%	95%	95%
③サンデートーク	11回	12回	12回	12回	12回
	584人	621人	645人	844人	950人
アンケート結果	91%	88%	88%	85%	85%
④大学との合同公開講座	4回	—	—	—	—
	353人	—	—	—	—
アンケート結果	86%	—	—	—	—
⑤世界遺産学習特別勉強会の共同開催	1回	—	—	—	—
	50人	—	—	—	—
アンケート結果	—	—	—	—	—
九州国立博物館					
講演会等 実施回数	73回	64回	89回	102回	90回
講演会等 参加者数	6,806人	3,996人	7,833人	8,354人	7,276人
①特別展記念講演会	6回	9回	7回	5回	5回
	1,622人	1,410人	1,500人	966人	1,108人
アンケート結果	—	—	—	—	—
②講演及びシンポジウム	25回	11回	39回	45回	38回
	3,899人	1,266人	4,592人	4,918人	4,450人
アンケート結果	—	—	—	—	—
③ミュージアムトーク	42回	44回	43回	52回	47回
	1,285人	1,320人	1,741人	2,470人	1,718人
○大学等との連携事業					
奈良国立博物館					
①放送大学の面接授業	1回	1回	0回	0回	0回
	98人	—	—	—	—
②奈良女子大学との連携講座	3人	7人	7人	10人	9人
③神戸大学との連携講座	10人	10人	10人	7人	8人
九州国立博物館					
①放送大学の面接授業	2回	2回	1回	1回	1回
	50人	50人	50人	50人	50人

2-(2)-② キャンパスメンバーズ

平成26年3月31日現在

東京国立博物館	京都国立博物館	奈良国立博物館	九州国立博物館
43校	29校 (※)	26校 (※)	24校

※うち京都国立博物館・奈良国立博物館共通加入21校

【東京国立博物館】

①加入校数 (43校)

	学校名	学生数	入会日	備考
1	桜美林大学	9,819人	20年4月1日	
2	武蔵野美術大学	8,696人	20年4月1日	
3	文化学園(文化学園大学, 文化ファッション大学院大学, 文化学園大学短期大学部, 文化服装学院, 文化服装学院広島校, 文化外国語専門学校)	8,356人	20年4月1日	
4	東京学芸大学	6,806人	20年4月1日	
5	東京藝術大学	4,475人	20年4月1日	
6	東京大学	34,364人	20年4月1日	
7	お茶の水女子大学	3,729人	20年4月1日	
8	杉野学園(杉野服飾大学, 杉野服飾大学短期大学部, ドレスメーカー学院)	1,478人	20年4月1日	
9	大正大学	4,911人	20年4月1日	
10	東海大学	33,053人	20年4月1日	
11	青山学院大学・青山学院女子短期大学	24,041人	20年4月1日	
12	ハリウッド大学院大学・ハリウッドビューティ専門学校	835人	20年4月1日	
13	多摩美術大学	5,277人	20年4月1日	
14	立教大学	23,594人	20年4月1日	
15	首都大学東京	10,077人	20年4月1日	
16	女子美術大学・女子美術大学短期大学部	4,169人	20年4月1日	
17	東京造形大学	1,989人	20年4月1日	
18	法政大学	39,158人	20年4月1日	
19	筑波大学	20,635人	20年4月1日	
20	昭和女子大学・昭和女子大学短期大学部	6,035人	20年4月1日	
21	実践女子大学・実践女子短期大学	4,630人	20年5月1日	
22	東洋大学	33,244人	20年6月1日	
23	東洋美術学校	1,155人	20年6月1日	
24	日本大学(芸術学部)	4,520人	20年6月1日	
25	文教大学	9,486人	20年7月1日	
26	上智学院(上智大学, 上智短期大学部, 上智社会福祉専門学校, 聖母大学)	14,814人	20年10月1日	
27	国際基督教大学	3,241人	21年4月1日	
28	了徳寺大学	1,212人	21年4月1日	
29	学習院女子大学	1,936人	21年11月1日	
30	獨協大学	9,577人	22年4月1日	
31	学習院大学	9,430人	22年4月1日	
32	東京工業大学	11,788人	22年7月1日	
33	日本女子大学	8,912人	23年4月1日	
34	二松学舎大学	3,357人	23年5月1日	
35	東京家政大学・東京家政大学短期大学部	6,099人	23年6月1日	
36	神奈川大学	20,168人	24年6月1日	
37	日本工業大学	4,984人	24年7月1日	
38	東京女子大学	4,309人	24年8月1日	
39	尚美学園大学	3,420人	25年4月1日	
40	中央大学	33,312人	25年6月1日	
41	麗澤大学	2,705人	25年6月1日	
42	慶応義塾大学文学部・文学研究科	3,911人	25年8月1日	
43	一橋大学	6,792人	25年11月1日	

②キャンパスメンバーズを対象とした事業

事業名：キャンパスメンバーズ博物館セミナー	
期 間	8月13・14日(計5回実施)
開催場所	平成館大講堂
参加者数	137人
担当研究員数	5人
事業内容	キャンパスメンバーズ加入校の学生を対象に、博物館の歴史、保存修復、博物館情報、教育普及事業等について当館の職員が実例を交えた解説を実施。
事業名：キャンパスメンバーズ教育連携事業	
期 間	8月13～18日(6日間)
開催場所	全館
参加者数	15人
担当研究員数	10人
事業内容	キャンパスメンバーズ加入校の学芸員志望学生を対象として、作品の取り扱いを含む博物館実務全般について演習・実習の形式により体験的講座を実施。

【京都国立博物館】

① 加入校数 (29校)

	学校名	学生数	入会日	入会内容	申請場所	備考
1	佛光大学	20,331人	19年4月1日	奈良博との2館併用	京博	通信教育部含む
2	奈良教育大学	1,424人	18年4月1日	奈良博との2館併用	奈良博	
3	就実大学人文科学部	1,100人	20年4月1日	奈良博との2館併用	京博	
4	学校法人同志社	38,909人	19年4月1日	奈良博との2館併用	奈良博	
5	奈良大学	4,227人	19年5月1日	奈良博との2館併用	奈良博	通信教育部含む

	学校名	学生数	入会日	入会内容	申請場所	備考
6	学校法人 関西大学	32,959人	23年6月1日	奈良博との2館併用	奈良博	
7	実践女子大学・実践女子短期大学	4,438人	20年5月1日	奈良博との2館併用	奈良博	
8	学校法人 京都産業大学	14,586人	24年8月1日	京博のみ	京博	
9	帝塚山大学・附属高等学校	4,268人	18年6月1日	奈良博との2館併用	奈良博	
10	奈良女子大学	2,765人	18年6月1日	奈良博との2館併用	奈良博	
11	京都造形芸術大学	8,730人	18年6月1日	京博のみ	京博	通信教育部含む
12	京都工芸繊維大学	4,022人	19年6月1日	奈良博との2館併用	京博	
13	京都嵯峨芸術大学・京都嵯峨芸術大学短期大学	910人	18年7月1日	奈良博との2館併用	京博	
14	京都精華大学	3,867人	18年7月1日	奈良博との2館併用	京博	
15	龍谷大学・龍谷短期大学	19,841人	18年7月1日	奈良博との2館併用	京博	
16	京都女子大学・京都女子短期大学	7,364人	18年7月1日	京博のみ	京博	高等学校含む
17	京都橘大学	3,467人	18年7月1日	奈良博との2館併用	京博	正規生のみ
18	京都教育大学・附属高等学校	2,500人	20年7月1日	奈良博との2館併用	京博	
19	成安造形大学	845人	18年8月1日	京博のみ	京博	正規生のみ
20	京都市立芸術大学	1,081人	20年8月1日	京博のみ	京博	正規生及び研究生等
21	京都大学	23,330人	18年9月1日	奈良博との2館併用	京博	京都アメリカ大学コンソーシアムより受入の学生を含む
22	近畿大学文芸学部	2,205人	18年9月1日	奈良博との2館併用	奈良博	
23	花園大学	2,221人	18年11月1日	京博のみ	京博	
24	奈良先端科学技術大学院大学	1,099人	19年12月1日	奈良博との2館併用	奈良博	正規生及び研究生等
25	大谷大学・大谷短期大学	3,878人	18年12月1日	京博のみ	京博	
26	大阪大学	24,713人	20年12月1日	奈良博との2館併用	奈良博	
27	京都文教大学	2,902人	21年6月1日	奈良博との2館併用	奈良博	
28	京都外国語大学・京都外国語短期大学	4,928人	21年8月1日	奈良博との2館併用	京博	
29	京都府立大学	2,227人	23年7月1日	京博のみ	京博	

【奈良国立博物館】

①加入校数 (26校)

	学校名	学生数	入会日	入会内容	備考
1	奈良産業大学 (奈良文化高等学校、奈良学園高等学校、奈良文化女子短期大学、奈良学園登美ヶ丘高等学校)	2,179人	18年10月1日	奈良博のみ	
2	奈良佐保短期大学	352人	18年11月29日	同上	
3	天理大学	3,403人	20年7月1日	同上	
4	奈良県立大学	679人	21年4月1日	同上	
5	奈良工業高等専門学校	1,118人	23年7月1日	同上	
6	奈良教育大学	1,424人	18年4月4日	京博との2館併用	
7	帝塚山大学	4,268人	18年5月8日	同上	
8	奈良女子大学	2,765人	18年5月15日	同上	
9	京都嵯峨芸術大学・京都嵯峨芸術大学短期大学部	910人	18年6月9日	同上	
10	京都精華大学	3,867人	18年6月28日	同上	
11	京都橘大学	3,467人	18年6月30日	同上	
12	龍谷大学・龍谷大学短期大学部	19,841人	18年6月30日	同上	
13	京都大学	23,330人	18年8月22日	同上	
14	近畿大学 文芸学部、近畿大学大学院文芸学研究所	2,205人	18年8月24日	同上	
15	佛敎大学	20,331人	19年4月1日	同上	
16	奈良大学	4,227人	19年5月2日	同上	
17	京都工芸繊維大学	4,022人	19年6月1日	同上	
18	学校法人 同志社 (同志社大学、同志社女子大学、同志社高等学校、同志社香里高等学校、同志社女子高等学校、同志社国際高等学校)	38,909人	19年6月1日	同上	
19	奈良先端科学技術大学院大学	1,099人	19年11月7日	同上	
20	就実大学 人文科学部	1,100人	20年4月1日	同上	
21	実践女子大学 実践女子短期大学	4,438人	20年5月1日	同上	
22	京都教育大学	2,500人	20年7月1日	同上	
23	大阪大学	24,713人	20年12月1日	同上	
24	京都文教大学、京都文教短期大学	2,902人	21年6月1日	同上	
25	京都外国語大学、京都外国語短期大学	4,928人	21年8月1日	同上	
26	関西大学、関西大学第一高等学校、関西大学北陽高等学校、関西大学高等部	32,959人	23年6月1日	同上	

②キャンパスメンバーズを対象とした事業

事業名: キャンパスメンバーズカード	
内 容	キャンパスメンバーズ加入大学の学生のレポート来館を促すことを目的にキャンパスメンバーズカードを作成、来館毎にスタンプを押印し、3回目と6回目に当館のオリジナルグッズを進呈するスタンプラリーを実施。キャンパスメンバーズカードと併せて、告知のポスターとカード立てを作成しキャンパスメンバーズ加入大学に配布。

【九州国立博物館】

①加入校数 (24校)

	学校名	学生数	入会日	備考
1	九州産業大学	11,279人	25年4月1日	
2	九州情報大学	644人	25年4月1日	
3	九州大学	19,395人	23年4月1日	
4	久留米大学	7,460人	25年4月1日	
5	西南学院大学	8,209人	25年4月1日	
6	筑紫女学園大学	2,684人	24年4月1日	
7	日本赤十字九州国際看護大学	486人	23年4月1日	
8	福岡教育大学	5,808人	23年6月1日	
9	福岡国際大学	445人	25年4月1日	
10	福岡女子大学	847人	24年4月1日	
11	福岡大学	20,790人	25年4月1日	
12	放送大学福岡学習センター	2,147人	23年4月1日	
13	早稲田大学大学院情報生産システム研究科（北九州キャンパス）	517人	23年4月1日	
14	九州造形短期大学	244人	25年4月1日	
15	筑紫女学園大学短期大学部	402人	24年4月1日	
16	東海大学福岡短期大学	187人	23年10月1日	
17	福岡女子短期大学	391人	25年4月1日	
18	久留米大学医学部附属臨床検査専門学校	152人	25年4月1日	
19	久留米大学附設高等学校	608人	25年4月1日	
20	西南学院高等学校	1,297人	25年4月1日	
21	筑紫女学園高等学校	1,743人	24年4月1日	
22	筑紫台高等学校	1,508人	24年4月1日	
23	福岡大学附属大濠高等学校	1,963人	25年4月1日	
24	福岡大学附属若葉高等学校	1,032人	25年4月1日	

## ②キャンパスメンバーズを対象とした事業

事業名：筑紫女学園大学文学部アジア文化学科必修科目「体験-ミュージアムで学ぶアジア」	
開催日	5月22日、5月29日、6月26日、7月3日（計4日）
開催場所	筑紫女学園大学、九州国立博物館文化交流展示室、体験型展示室「あじっば」
出席校	筑紫女学園大学
参加者数	100人
事業内容	キャンパスメンバーズ加入校の学生を対象に、博物館の概要について講義、博物館展示見学、博物館体験型展示室での異文化体験を実施。

2-(2)-③ 講座・講演会等の開催実績

平成26年3月31日現在

	東京国立博物館	京都国立博物館	奈良国立博物館	九州国立博物館
回数・人数	<b>131回・15,777人</b> 講演会 30回・7,184人 列品解説(ギャラリートーク等) 98回・8,205人 連続講座 1回(3日)・354人 公開講座 2回・34人	<b>21回・2,062人</b> 土曜講座10回・1,257人 記念講演会1回・190人 夏期講座1回(3日)・219人 社会科教員のための向上講座 1回・30人 ギャラリートーク 8回 366人	<b>26回・3,219人</b> 特別展等講座 13回・1,682人 (公開講座 11回・1,341人、シンポジウム2回・341人) 夏季講座 1回(3日)・587人 サンデートーク12回・950人	<b>90回・7,276人</b> 特別展記念講演会 5回・1,108人 講演及びシンポジウム 38回・4,450人 ミュージアムトーク 47回・1,718人
	その他展示に関連する事業 1回・27人	その他展示に関連する事業 2回・68人	その他展示に関連する事業 15回・3,443人	その他展示に関連する事業 19回・43,199人

【東京国立博物館】

1) 講演会 30回 参加者数 7,184人

①月例講演会 計12回 参加者数1,951人

開催日	テーマ・講師等	参加者数(人)	担当研究員数(人)	“良い”の割合
4月6日	桜花礼賛—国宝・花下遊楽図屏風の諸相— 講師：小野真由美(貸与特別観覧室主任研究員)	118	2	70.8%
5月18日	東洋館の彫刻 講師：小泉恵英(九州国立博物館)	231	2	88.0%
6月8日	和鏡を楽しむ 講師：伊藤信二(教育普及室長)	114	2	82.3%
7月27日	東京国立博物館の西洋画コレクション 講師：土屋裕子(保存修復室主任研究員)	117	2	75.5%
8月24日	絵巻物残欠愛惜の譜 講師：土屋貴裕(平常展調整室研究員)	201	2	95.1%
9月14日	縄文時代の人と動物の造形 講師：品川欣也(考古室研究員)	143	2	80.2%
10月12日	中国絵画史の正統と異端—上海博物館の名品から— 講師：塚本慶充(東洋室研究員)	246	2	86.8%
11月23日	聖徳太子絵伝の世界 講師：沖松健次郎(絵画・彫刻室主任研究員)	190	2	44.4%
12月7日	江戸城築城400年—発掘成果にみる江戸城の姿— 講師：富坂賢(九州国立博物館学芸部企画課長) 後藤宏樹(千代田図書・文化館主査)	231	2	89.6%
26年1月18日	美術に見るウマ 講師：勝木言一郎(情報資料室長)	123	2	64.9%
26年2月8日	日本古代彫刻の表現方法 講師：丸山士郎(教育講座室長)	57	2	90.0%
26年3月22日	書の楽しみ 講師：島谷弘幸(副館長)	180	2	95.5%

②記念講演会 計11回 参加者数3,368人

開催日	テーマ・講師等	参加者数(人)	担当研究員数(人)	“良い”の割合
4月27日	大神社展「神社と日本人」 講師：田中恒清氏(神社本庁総長・石清水八幡宮宮司)	350	2	91.0%
5月11日	大神社展「古神宝の装束と武具」 講師：池田宏(上席研究員)	270	2	74.8%
7月20日	和様の書「和様の書」 講師：島谷弘幸(副館長)	380	2	91.4%
8月10日	和様の書「かなから見た和様の書」 講師：高木厚人(読売書法会常任理事/大東文化大学教授)	354	2	94.7%
10月12日	上海博物館 中国絵画の至宝「唐寅山水画の視覚形成—『春游女几山図』を例に—」 講師：李維琨(上海博物館書画部副主任研究員)	247	2	86.8%
10月19日	京都展「Forward to the Past—400年前の京都に遊ぶ」 講師：松嶋雅人(特別展室長)	303	2	83.3%
11月3日	京都展「舟木本洛中洛外図—浮世絵は京都で生まれた」 講師：佐藤康宏(東京大学文学部教授)	341	2	79.9%
1月19日	クリーブランド展「日本絵画のABC—物語世界にあそぶ—」 講師：土屋貴裕(平常展調整室研究員)	237	2	95.8%
26年1月25日	人間国宝展「日本工芸の21世紀を考える」 講師：ドナルド・キーン(コロンビア大学名誉教授) ニコル・クーリジ・ルーマニエル (大英博物館 アジア部日本セクションキュレーター) 深澤直人(デザイナー・日本民藝館 館長) 内田篤典(MOA美術館 副館長) 室瀬和美(日本工芸会 副理事長 重要無形文化財「蒔絵」保持者)	336	2	88.7%
26年2月1日	人間国宝展「日本の工芸を語る」 講師：中田英寿(一般財団法人TAKE ACTION FOUNDATION 代表理事) 隈研吾(建築家) 金子賢治(茨城県陶芸美術館 館長)	296	2	86.4%
26年2月2日	クリーブランド展「笑う美術館館長—名画を語る」 講師：河野元昭(秋田県立近代美術館館長)	254	2	94.7%

③テーマ別講演会 計6回 参加者数1,709人

開催日	テーマ・講師等	参加者数(人)	担当研究員数(人)	“良い”の割合
5月17日	大神社展開連講演会「神々のまつり」 第1講「日本の祭りとおまつり」 講師：河合真如（神宮司庁広報室室長、神宮禰宜） 第2講「神さまをおもてなしして」 講師：吉田茂穂（神社本庁常務理事、鶴岡八幡宮宮司） 神楽 「宮人の舞」「其駒」 鶴岡八幡宮御神楽	370	2	85.0%
8月27日	和様の書展開連講演会「世界記憶遺産 御堂関白記と和様の書」 講師：青柳正規（文化庁長官） 島谷弘幸（東京国立博物館副館長） 栗原祐司（国立文化財機構事務局長・東京国立博物館総務部長）	335	2	90.1%
9月28日	秋の特別公開開連講演会「酒井抱一筆「夏草図屏風」の魅力」 講師：本田光子（絵画・彫刻室研究員）	558	2	—%
10月13日	特集陳列「清時代の書」開連講演会「清時代の書—日本と中国の交流—」 講師：伊東淳（東京国立博物館列品管理課長） 鍋島稲子（台東区立書道博物館主任研究員） 戸張泰子（台東区立朝倉彫塑館研究員）	175	2	80.2%
12月14日	日本考古学会共催講演会 「山口県綾羅木郷遺跡の保存と活用—弥生時代前期における歴史的意義を巡って—」 講師：伊東照雄（元下関市教育委員会文化課主幹） 金関 恕（大阪府立弥生文化博物館名誉館長）	121	2	85.7%
26年3月29日	桜セミナー「春だ、桜だ、上野公園へ行こう！—動物博士とみる美術のなかの動物たち」 講師：神辺知加（博物館教育課教育講座室主任研究員） 小泉祐里（（公財）東京動物園協会恩賜上野動物園） 川田伸一郎（国立科学博物館動物研究部研究員）	150	2	80.6%

④その他講演会 計1回 参加者数156人

実施日	内容	参加者数(人)	担当研究員(人)	“良い”の割合
11月23日	上野の山文化ゾーンフェスティバル 講演会シリーズ 「増山雪斎の虫豸帖とファープルの昆虫記」 講師：奥本大三郎 （日本アンリ・ファープル会理事長、虫の詩人の館館長、フランス文学者、作家）	156	2	82.8%

2) 列品解説（ギャラリートーク等）98回 参加者総数 8,205人

①列品解説 54回 参加者総数 5,562人

開催日	テーマ・講師等	参加者数(人)	担当研究員数(人)
4月2日	16世紀 西洋とつながった日本 講師：浅見龍介（東洋室長）・デービッドジェームズミラー（国際交流室研究員）	82	2
4月3日	国宝 花下遊楽図屏風 講師：伊藤信二（教育普及室長）	27	2
4月3日	絵に咲く桜 講師：田沢裕賀（絵画・彫刻室長）	36	2
4月9日	国宝 花下遊楽図屏風 講師：小野真由美（貸与特別観覧室主任研究員）	147	2
4月10日	国宝 花下遊楽図屏風 講師：伊藤信二（教育普及室長）	52	2
4月10日	キモノに咲く桜 講師：小山弓弦葉（工芸室主任研究員）	58	2
4月12日	中国の個性的な画家たち—浙派絵画入門— 講師：富田淳（列品管理課長）	52	2
4月16日	金製首飾—小さな作品に見る古代ペルシア人の神— 講師：後藤健（特認研究員）	63	2
4月23日	屋外展示の文官と羊 講師：白井克也（平常展調整室）	73	2
4月30日	宝慶寺の三尊仏龕 講師：浅見龍介（東洋室長）	75	2
4月30日	生まれ変わった東洋館のデザイン 講師：木下史青（デザイン室長）	45	2
5月14日	花生を愉しむ 講師：横山梓（特別展室研究員）	90	2
5月21日	中国の石刻画芸術 講師：川村佳男（保存修復室研究員）	75	2
5月28日	東京国立博物館の中国陶磁 横河コレクションと広田コレクション 講師：三笠景子（保存修復室研究員）	130	2
6月4日	猿の美術入門 講師：小島有紀子（教育講座室任期付研究員）	62	2
6月11日	よみがえった馬遠「寒江独釣図」と日本絵画 講師：塚本麿充（東洋室研究員）	80	2
7月2日	マテリアルからみる展示デザイン 講師：矢野賀一（デザイン室主任研究員）	41	2
7月19日	高麗の石棺 講師：白井克也（平常展調整室長）	95	2
7月23日	本願寺本三十六人家集と石山切 講師：島谷弘幸（副館長）	166	2

開催日	テーマ・講師等	参加者数(人)	担当研究員数(人)
7月30日	縄文土器に飾られた人物と動物 講師:井出浩正(考古室研究員)	132	2
8月6日	日本美術の作り方IV 講師:伊藤信二(教育普及室長)	32	2
8月20日	近現代の和様の書 講師:恵美千鶴子(書跡・歴史室アソシエイト・フェロー)	103	2
9月3日	宗達派「扇面散屏風」を読み解く 講師:本田光子(絵画・彫刻室研究員)	128	2
9月10日	大谷探検隊-大谷光瑞と西域探検の時代- 講師:佐々木佳美(登録室アソシエイト・フェロー)	107	2
9月18日	秋の特別公開 酒井抱一と夏秋管図屏風 講師:金井裕子(特別展室研究員)	232	2
9月19日	秋の特別公開 インドネシアのワヤン 講師:白井克也(平常展調整室長)	40	2
9月19日	秋の特別公開 西域美術入門 講師:勝木言一郎(出版企画室長)	104	2
9月19日	秋の特別公開 梁山夫妻塚の白樺製冠帽 講師:白井克也(平常展調整室長)	50	2
9月25日	秋の特別公開 酒井抱一と夏秋草図屏風 講師:金井裕子(特別展室研究員)	165	2
10月1日	描かれた考古遺物-日本美術と近代考古学のあいだ- 講師:鈴木希帆(登録室アソシエイト・フェロー)	78	2
10月8日	近世・近代の描かれた考古遺物-古物・好古と考古学- 講師:古谷毅(列品管理課主任研究員)	82	2
10月22日	洛中洛外図を味わう 講師:金井裕子(特別展室研究員)	247	2
10月29日	清時代の書-碑学派- 講師:富田淳(列品管理課長)	103	2
11月1日	古典の日 聖徳太子絵伝について 講師:沖松健次郎(絵画・彫刻室主任研究員)	65	2
11月1日	古典の日 日本陶磁の展開 講師:齊藤孝正(上席研究員)	111	2
11月1日	古典の日 国宝 良源遺告 講師:田良島哲(調査研究課長)	86	2
11月1日	古典の日 法隆寺献納宝物と聖徳太子伝承 講師:三田覚之(工芸室研究員)	120	2
11月12日	浮世絵に描かれた風景 講師:田沢裕賀(絵画・彫刻室長)	107	2
11月15日	運慶と快慶の大日如来坐像 講師:浅見龍介(東洋室長)	252	2
11月26日	国宝・観楓図屏風 講師:遠藤栄子(出版企画室研究員)	168	2
12月3日	列品解説にみる東京国立博物館庭園の歴史 講師:三輪紫都香(登録室アソシエイトフェロー)	118	2
12月10日	古墳時代の装飾大刀 講師:橋本英将(考古室研究員)	71	2
26年1月7日	松林図屏風について 講師:田沢裕賀(絵画・彫刻室長)	240	2
26年1月21日	馬の鞍と漆芸 講師:竹内奈美子(工芸室長)	84	2
26年1月28日	国宝 秋冬山水図 雪舟筆 講師:救仁郷秀明(登録室長)	190	2
26年2月4日	近畿の弥生文化 講師:品川欣也(考古室研究員)	80	2
26年2月18日	東京国立博物館 大日如来坐像について 講師:鷲塚麻季(調査研究課主任研究員)	120	2
26年2月25日	江戸狩野の画風 講師:山下善也(絵画・彫刻室主任研究員)	140	2
26年3月4日	東京国立博物館コレクションの保存と修理 講師:土屋裕子(保存修復室長)	106	2
26年3月11日	東洋書画の修復と保存 講師:鈴木晴彦(保存修復課アソシエイトフェロー)	86	2
26年3月18日	伝藤原光能像と中世の肖像画 講師:土屋貴裕(平常展調整室研究員)	110	2
26年3月25日	展示を支える修復技術-マウント、書見台、保存箱 講師:米倉乙世(保存修復課アソシエイトフェロー)	58	2
26年3月19日	絵画に咲く桜 講師:本田光子(絵画・彫刻室任期付研究員)	100	2
26年3月26日	着物に咲く桜 講師:佐々木佳美(登録室アソシエイトフェロー)	98	2

②特別展関連ギャラリートーク 15回 参加者総数 1694人

開催日	テーマ・講師等	参加者数(人)	担当研究員数(人)
10月11日	上海展リレートーク「上海博物館の中国名画、私の見方①」 講師:湊信幸(東洋室研究員)	153	2
10月25日	上海展リレートーク「上海博物館の中国名画、私の見方②」 講師:宮崎法子(実践女子大学教授)	121	2

開催日	テーマ・講師等	参加者数(人)	担当研究員数(人)
11月8日	上海展リレートーク「上海博物館の中国名画、私の見方③」 講師：塚本磨充(東洋室研究員)	173	2
11月22日	上海展リレートーク「上海博物館の中国名画、私の見方④」 講師：板倉聖哲(東京大学東洋文化研究所教授)	325	2
1月15日	人間国宝展 現役人間国宝によるギャラリートーク 講師：中島宏(陶芸/重要無形文化財「青磁」保持者)	70	2
1月16日	人間国宝展 現役人間国宝によるギャラリートーク 講師：増村紀一郎(漆芸/重要無形文化財「髹漆」保持者)	90	2
1月17日	人間国宝展 現役人間国宝によるギャラリートーク 講師：鈴木蔵(陶芸/重要無形文化財「志野」保持者)	91	2
1月21日	人間国宝展 現役人間国宝によるギャラリートーク 講師：佐々木苑子(染織/重要無形文化財「紬織」保持者)	81	2
1月22日	人間国宝展 現役人間国宝によるギャラリートーク 講師：室瀬和美(漆芸/重要無形文化財「蒔絵」保持者)	120	2
1月23日	人間国宝展 現役人間国宝によるギャラリートーク 講師：森口邦彦(染織/重要無形文化財「友禅」保持者)	90	2
1月24日	人間国宝展 現役人間国宝によるギャラリートーク 講師：村山明(木竹工/重要無形文化財「木工芸」保持者)	80	2
1月28日	人間国宝展 現役人間国宝によるギャラリートーク 講師：奥山峰石(金工/重要無形文化財「鍍金」保持者)	50	2
1月29日	人間国宝展 現役人間国宝によるギャラリートーク 講師：原清(陶芸/重要無形文化財「鉄釉陶器」保持者)	70	2
1月30日	人間国宝展 現役人間国宝によるギャラリートーク 講師：林駒夫(人形/重要無形文化財「桐壺人形」保持者)	70	2
1月31日	人間国宝展 現役人間国宝によるギャラリートーク 講師：伊勢崎淳(陶芸/重要無形文化財「備前焼」保持者)	110	2

### ③東京芸術大学大学院インターンシップによるギャラリートーク 29回 参加者総数 949人

実施日	回数	テーマ	氏名	参加者(人)
12月11日、12月18日、26年1月15日、1月25日、2月2日、2月9日	6	狛犬の世界 - 犬?ライオン-不思議な守護獣-	篠原 英里	210
26年1月8日、1月10日、1月22日、1月26日、2月5日、2月11日	6	「止利派の半跏像—金銅仏鑑賞の楽しみ方—」	任佳英	169
26年1月12日、1月21日、1月24日、1月29日、2月14日	5	「秋篠寺『十一面観音菩薩立像』のみかた—より強い救いを求めるかたち—」	猪狩智子	226
26年1月16日、1月23日、1月28日、1月31日、2月6日、2月12日	6	「甲冑の美術—『黒韋肩妻取威胴丸』—」	武田侑子	166
26年1月19日、2月1日、2月4日、2月13日、2月19日、2月23日	6	「『揺籃樹』銭なる樹と大きな羊—古代四川文化の洗練、快活、多様性—」	吉野利幸	178

### 3) 連続講座「和様の書」 計1回(3日) 参加者総数 354人

開催日	テーマ・講師等	参加者数(人)	担当研究員数(人)	“良い”の割合
8月2日	第1講「世尊寺流の書」 講師：島谷弘幸(副館長) 第2講「これからの『和様の書』」 講師：土橋靖子(読売書法会常任理事)	354	2	94.8%
8月3日	第3講「和様の書と料紙について」 講師：高橋裕次(博物館情報課長) 第4講「装丁と修理」 講師：岡泰央(株岡墨光堂 代表取締役)			
8月4日	第5講「『和様の書』鑑賞の歴史」 講師：恵美千鶴子(書跡・歴史室アソシエイトフェロー) 第6講「信仰と書」 講師：田良島哲(調査研究課長)			

### 4) 公開講座 計2回 参加者総数34人

開催日	テーマ・講師等	参加者数(人)	担当研究員数(人)	“良い”の割合
26年3月13・14日	見学ツアー 保存と修理の現場へ行く 講師：保存修復課長 神庭信幸、保存修復室長 富坂賢、保存修復室主任研究員 土屋裕子、環境保存室主任研究員 荒木臣紀、環境保存室主任研究員 和田浩、特任研究員 澤田むつ代、保存修復室研究員 三笠景子、保存修復室研究員 川村佳男	34	2	97%

### 5) その他展示に関連する事業 計1回 参加者総数 27人

実施日	内容	会場	参加者数(人)	担当研究員(人)
5月19日	恩賜上野動物園・国立科学博物館連携事業 上野の山でサルめぐり	恩賜上野動物園・国立科学博物館・東京国立博物館	27	2

## 【京都国立博物館】

### 1) 土曜講座10回 参加者総数 1,257人

全て特別展覧会関連講座

開催日	テーマ	講師	参加者数(人)
4月6日	山雪の受難、そして「雪汀水禽図」の画想	大阪大学教授 奥平俊六	128
4月13日	山楽・山雪と九条家	兵庫県立歴史博物館学芸員 五十嵐公一	147

開催日	テーマ	講師	参加者数(人)
4月27日	京都ミュージアムズ・フォー連携講座 山雪からのメッセージはじめてこれを画くー	連携協力室長 山下善也	157
7月13日	遊びのコレクションー展覧会のみどころー	主任研究員 永島明子	120
7月20日	京都国立博物館の人物	教育室長 山川暁	80
7月27日	こんなにおもしろい近世彫刻	保存修理指導室長 浅湊毅	89
10月26日	清朝陶磁と江戸時代後期の茶道具	根津美術館副館長 西田宏子	178
11月9日	煎茶と清朝陶磁	大阪市立美術館学芸課長 守屋雅史	118
11月30日	出土資料からみた清朝陶磁器の国内需要	東京大学埋蔵文化財調査室准教授 堀内秀樹	88
12月7日	清朝陶磁と日本人	工芸室長 尾野善裕	152

2) 記念講演会 1回 190人

実施日	テーマ	講師	参加者数(人)
4月21日	特別展「狩野山楽・山雪」関連 特別講演会「山楽・山雪と京狩野」	京都教育大学名誉教授 脇坂 淳	190

3) 夏期講座 1回 (3日) 219人

開講日	テーマ	講師	参加者数(人)
7月31日	第1講「大和路の古寺を巡って…わたしの調査遍歴…」	学芸部長 村上隆	219
	第2講「宝物から文化財へ」	列品管理室長 鬼原俊枝	
	第3講「中部イタリヤの大聖堂—信仰と美術—」	尚美学園大学総合政策学部准教授 金原由紀子	
8月1日	第1講「流転する文化財—古社寺に伝わる仏具を中心に—」	研究員 末兼俊彦	219
	第2講「名古屋七寺阿弥陀三尊像とその周辺」	和歌山県立博物館長 伊東史朗	
	第3講「四川省安岳臥仏院の涅槃大仏と刻経窟」	早稲田大学文学学術院教授 肥田路美	
8月2日	第1講「寺院と障壁画」	連携協力室長 山下善也	219
	特別展観「遊び展」見学会	引率:連携協力室長 山下善也、主任研究員 永島明子	

4) 社会科教員のための向上講座 1回 30人

開講日	テーマ	講師	参加者数(人)
10月22日	講演「魅惑の清朝陶磁展にちなんで」 館内実地研修「魅惑の清朝陶磁」展	工芸室長 尾野善裕	30

5) 特別展覧会「魅惑の清朝陶磁」ギャラリートーク 8回 366人

実施日	内容	会場	参加者数(人)
10月18日	「魅惑の中国七宝」(講師:末兼研究員)	京都国立博物館特別展示館	32
10月25日	「清朝皇帝の愛した蒔絵」(講師:永島主任研究員)	京都国立博物館特別展示館	35
11月8日	「吉祥の図案」(講師:呉研究員)	京都国立博物館特別展示館	47
11月15日	「坂本龍馬と長崎」(講師:宮川室長)	京都国立博物館特別展示館	45
11月22日	「清朝の宮廷衣裳」(講師:山川室長)	京都国立博物館特別展示館	55
11月29日	「清朝陶磁の吉祥文様」(講師:尾野室長)	京都国立博物館特別展示館	59
12月6日	「坂本龍馬と下関」(講師:宮川室長)	京都国立博物館特別展示館	50
12月13日	「江戸時代の唐物趣味」(講師:末兼研究員)	京都国立博物館特別展示館	43

6) その他展示に関連する事業 2回 68人

実施日	内容	会場	参加者数(人)
8月6日	小中学生向け鑑賞会「びじゅつで遊ぼう！」(講師:水谷研究員)	京都国立博物館特別展示館	38
8月9日	小中学生向け鑑賞会「びじゅつで遊ぼう！」(講師:水谷研究員)	京都国立博物館特別展示館	30

【奈良国立博物館】

1) 特別展等講座 13回 参加者総数 1,682人

開催日	テーマ	講師	参加者数(人)
4月20日	「當麻曼荼羅と中将姫説話の諸相」	神戸学院大学人文学部人文学科専任講師 日沖敦子	108
4月27日	「當麻曼荼羅の不思議」	元奈良国立博物館長 濱田隆	149
	「綴織當麻曼荼羅の図像解釈」	佛教学部准教授 大西磨希子	
	「浄土信仰史上の當麻曼荼羅」	京大文学部人文科学研究科准教授 稲本泰生	
	「綴織當麻曼荼羅の染織技法」	宮内庁正倉院事務所保存課整理室主任研究員 田中陽子	
	「當麻寺における綴織當麻曼荼羅」	学芸部研究員 北澤菜月	
	パネルディスカッション	濱田隆、大西磨希子、稲本泰生、田中陽子、北澤菜月	
5月4日	「<寺史>のなかの役行者 一當麻寺は役行者の旧跡に建つ」	就実大学人文学部表現文化学科教授 川崎剛志	133
5月18日	「當麻曼荼羅の信仰史」	学芸部研究員 北澤菜月	120
5月25日	「當麻寺の彫像」	学芸部長補佐 岩田茂樹	120
8月3日	「曼荼羅の見方・考え方」	大正大学教授 小峰彌彦	194
9月7日	「かたちに見る仏像の諸相」	学芸部教育室長 岩井共二	194
10月26日	「聖武朝における歌舞の隆盛と和琴」	新潟大学人文学部教授 荻美津夫	112
10月27日	「鑑真和上坐像について—平成お身代わり像制作で得られた新知見—」	美術院国宝修理所研究部長 木下成通	192
	「正倉院宝物の僧衣について」	宮内庁正倉院事務所保存課整理室主任研究員 田中陽子	
	「唐招提寺金堂と正倉院宝物にみる彩色文様」	奈良教育大学教授 大山明彦	
	「鑑真和上の書状」	学芸部長 西山厚	
	パネルディスカッション	木下成通、田中陽子、大山明彦、西山厚、内藤栄	
11月2日	「慶長櫃が語る正倉院の歴史」	宮内庁正倉院事務所保存課整理室員 佐々田悠	93
11月3日	「正倉と正倉院宝物—守る・伝える—」	宮内庁正倉院事務所保存課長 成瀬正和	114
11月9日	「香印坐と天平の彩り」	学芸部保存修理指導室長 谷口耕生	108
12月8日	「おん祭と大和土」	天理大学おやさと研究所研究員 幡鎌一弘	45

2) 夏季講座 第42回「仏教美術へのいざない」 1回 (3日間)

開講日	テーマ	講師	参加者数(人)
8月20日	「彫刻史研究の六十年」	公益財団法人美術院国宝修理所理事長 西川杏太郎	587
	「インドから日本まで—半跏思惟像の成立と展開—」	名古屋大学名誉教授 宮治昭	
8月21日	「仏像に見る奈良様と和様」	和歌山県立博物館長 伊東史朗	
	「マンダラと密教の仏たち」	金沢大学人間社会学域教授 森雅秀	
	「仏教説話の美術」	奈良女子大学文学部教授 加須屋誠	
	「仏像の内部に内部に籠められた祈り —像内納入品の世界—」	岡山大学大学院社会文化科学研究科准教授 佐々木守俊	
8月22日	「仏の荘厳」	学芸部研究員 永井洋之	
	「仏像の心とかたち」	学芸部長 西山厚	
	「仏像に会う—展覧会案内—」	学芸部教育室長 岩井共二	

3) サンデートーク 12回 参加者総数 950人

実施日	テーマ	解説者	参加者数(人)
4月21日	「飛鳥仏の源流をたどる」	学芸部教育室長 岩井共二	111
5月19日	「幸せの国ブータンの仏教美術」	学芸部研究員 岩戸晶子	78
6月16日	「図像から彫像へ—宋本図像と二軀の文殊菩薩像—」	学芸部研究員 山口隆介	85
7月21日	「ハコ、いろいろ」	学芸部主任研究員 清水健	61
8月18日	「国語と日本語—近代の国語施策を振り返る—」	副館長 清水功	84
9月15日	「描かれた仏像—靈験仏のかたち」	学芸部保存修理指導室長 谷口耕生	73
10月20日	「第4回 茶室・八窓庵をのぞいてみませんか」	学芸部情報サービス室長 吉澤悟	20
11月17日	「怨霊とタタリ—歴史学」	学芸部研究員 斎木涼子	108
12月15日	「附属品」	学芸部研究員 原瑛莉子	40
26年1月19日	「文化財を撮る—写真が語り継ぐもの—」	学芸部資料室員 佐々木香輔	63
26年2月16日	「装飾文様のかたち」	学芸部研究員 永井洋之	80
26年3月16日	「女性と仏教」	学芸部長 西山厚	147

4) その他展示に関連するイベント 15回 参加者総数 3,443人

実施日	内容	会場	参加者数(人)
4月7日	當麻寺による出張イベント@奈良博「中将姫と當麻曼荼羅 絵解き拝礼式とともに」(講話と実演)	講堂	132
4月14日	當麻寺による出張イベント@奈良博「當麻寺聖衆來迎練供養会式と菩薩講」(講話と実演)	仏教美術資料研究センター	180
4月29日	當麻寺による出張イベント@奈良博「極楽浄土へのあこがれ」(講話)	講堂	166
5月3日	當麻寺による出張イベント@奈良博「當麻寺の雑学」(講話)	講堂	163
7月20日 ~9月1日	夏休み 子供企画 「ほとけさまに会おう!ならはくスタンプラリー」	展示室・なら仏像館	2,020
7月27日	夏休み親子企画「ほとけさまの絵をかいてみよう!」	地下回廊	34
7月28日	夏休み子ども教室「香木のフシギ!?」—クイズで学ぶくみほとけのかおり>!香木の香り体験も!!—	地下回廊	60
8月17日	奈良トライアングルミュージアムズ ワークショップなら「仏像切り絵体験」	地下回廊	40
8月18日	奈良トライアングルミュージアムズ ワークショップなら「写仏散華体験」	地下回廊	53
8月25日	トークセッション「仏像模刻にかける青春群像!」	講堂	110
10月26日 ~11月11日	正倉院展作文コンクール入賞作品展示	地下回廊	—
10月27日	正倉院学術シンポジウム2013「鑑真和上と正倉院宝物」	奈良県新公会堂	194
11月3日	第65回正倉院展 親子鑑賞会	講堂、展示室	182
12月17日	「おん祭と春日信仰の美術」茶会	茶室、庭園、西新館ピロティ	71
2月16日	お水取り「講話」と「粥」の会	講堂、展示室、茶室控室、東大寺二月堂	38

【九州国立博物館】

1) 特別展記念講演会 5回 参加者総数 1,108人

開催日	テーマ	講師	参加者数(人)
4月21日	特別展「大ベトナム展」関連 特別講演会「日越関係が示す新しい世界史像」 「近現代の日越関係史と今後の展望」	大阪大学教授 桃木至朗 東京大学教授 古田元夫	123
5月12日	特別展「大ベトナム展」関連 特別講演会「ベトナム・ホイアン日本町跡を発掘する」 「ベトナムの『元寇』を探る~予備調査の結果からわかること」  「安南文書の世界」 「陶磁器から見た海のシルクロードとベトナム」	昭和女子大学教授 菊池誠一 テキサスA&M大学海事考古学研究所 ランドール・ササキ 前博物館科学課保存修復室長 藤田励夫 展示課研究員 遠藤啓介	190
8月3日	特別展「中国 王朝の至宝」関連 特別講演会「皇帝たちの中国—ファースト・エンペラーからラスト・エンペラーまで—」	早稲田大学教授 稲畑耕一郎	280
10月12日	特別展「尾張徳川家の至宝」関連 特別講演会「“殿”文化を語る—国宝『源氏物語絵巻』を伝えた系譜」	徳川美術館館長 徳川義崇	260
26年 1月26日	特別展「国宝 大神社展」関連 特別講演会「鎮守の社(もり)と日本人」	神社本庁総長・石清水八幡宮宮司 田中恒清	255

2) 講演及びシンポジウム等 38回 参加者数 4,450人

開催日	テーマ	講師	参加者数(人)
4月20日	トピック展示「江戸のモダニズム 古武雄」関連 特別講演会「古武雄の美と魅力について」	根津美術館副館長兼学芸部長 西田宏子 重要無形文化財保持者(人間国宝) 中島宏 館長 三輪嘉六	220
4月26日	特別展「大ベトナム展」関連 解説講座 しっとこ九博!「大ベトナム展」(筑紫野市)	前博物館科学課保存修復室長 藤田励夫	41
5月25日	トピック展示「江戸のサイエンス -武雄蘭学の軌跡-」関連 講演会「武雄蘭学の世界」 「蘭学史上の武雄蘭学」 「武雄蘭学資料にみる江戸のモノづくり」 「歴史資料としてみる武雄蘭学資料」 「武雄鍋島家と鍋島茂義」	大分大学教授 鳥井裕美子 国立科学博物館科学技術史研究グループ長 鈴木一義 文化庁主任文化財調査官 岡部幹彦 武雄市図書館・歴史資料館学芸員 川副義敦 司会:九州大学名誉教授・文化功労者 中野三敏	190
6月15日	トピック展示「江戸のサイエンス-武雄蘭学の軌跡」関連 ミュージアム講座「江戸のサイエンス」展の楽しみ方-武雄蘭学資料の魅力にせまる-	文化財課研究員 荒木和憲	13
7月12日	特別展「中国 王朝の至宝」関連 解説講座 しっとこ九博!「中国 王朝の至宝 三〇〇〇年にわたる美の興亡、そのダイナミズムを体感する!」(筑紫野市)	企画課特別展室主任研究員 市元壘	60
7月13日	特別展「中国 王朝の至宝」関連 リレー講座「中国王朝 栄華を極めたのは誰だ」	学芸部長 谷豊信	150
7月20日	特別展「中国 王朝の至宝」関連 リレー講座「中国 王朝の至宝を10倍楽しく見る方法」	企画課特別展室主任研究員 市元壘	130
7月28日	特別展「中国 王朝の至宝」関連 地域講演会「中国 王朝の至宝でよみとく3000年」(岡垣町)	企画課特別展室主任研究員 市元壘	294
8月4日	特別展「中国 王朝の至宝」関連 地域講演会「中国王朝 栄華を極めたのは誰だ」(篠栗町)	学芸部長 谷豊信	135
8月4日	トピック展示「視覚革命!異国と出会った江戸絵画」関連 記念講演会「奥行きを発見 18~19世紀の日本の洋風表現」	神戸市立博物館展示企画部長 岡泰正	31
8月17日	特別公開「国宝・神戸市桜ヶ丘出土銅鐸」関連 記念講演会『銅鐸絵画から弥生社会に迫る』 「謎の青銅器-銅鐸に迫る-」 「絵画に見る弥生人の精神世界」 「原始絵画からみた九州と近畿」	東京国立博物館 井上洋一 奈良県立橿原考古学研究所 橋本裕行 福岡市文化財部 常松幹雄	100
8月20日	トピック展示「視覚革命!異国と出会った江戸絵画」関連 ミュージアムトーク特別編「舶載蘭書と洋風画」	神戸市立博物館学芸員 勝盛典子	32
8月20日	特別展「中国 王朝の至宝」関連 特別展セミナー 「中国 王朝の至宝」の魅力に迫る -学芸員が語る「歴史」と「文化」- (九州経済調査会)	企画課特別展室主任研究員 市元壘	15
8月23日	特別展「中国 王朝の至宝」関連 特別展出張講演 「比べて分かる 中国 王朝の至宝」 (西日本新聞エリアセンター姪浜)	企画課特別展室主任研究員 市元壘	20
8月25日	特別展「中国 王朝の至宝」関連 地域講演会「中国王朝 栄華を極めたのは誰だ」(柳川市)	学芸部長 谷豊信	115
10月5日	国際シンポジウム 「ベトナムに恋して」 講演1「日越外交関係樹立40周年を迎えて」 講演2「ベトナムでの日本文化紹介」 講演3「ベトナム・ハノイにおける文化庁海外展について」  トークセッション「Let's talk about Vietnam」 留学生パフォーマンス「Live Vietnam from APU」 スペシャルライブ「The Winds from Vietnam」	在日福岡ベトナム社会主義共和国総領事館副領事 グェン ヴェト ドク 国際交流基金ベトナム日本文化交流センター所長 稲見和己 九州国立博物館展示課主任研究員 岸本圭	207
10月10日	文化庁招へい事業 (対象:職員・ボランティア等) 「トブカブ宮殿の至宝とイスタンブールの象徴ブルーモスクについて」	トルコ・トブカブ宮殿美術館主任研究員 オミュル・トゥファン	36

開催日	テーマ	講師	参加者数(人)
10月12日	公開シンポジウム「市民と共に ミュージアムIPM」(一橋大学 一橋講堂) 第1部 基調講演: ミュージアムとIPM 「わが国における資料の保存公開施設のIPM-美術館・博物館から文書館・図書館まで」 「IPMは日常のことに一これまで、いま、そしてこれから」 第2部 基調報告: ミュージアムIPMと市民活動 「愛知県美術館のIPMプログラムとサポート組織」 「九州国立博物館のIPMと市民による支援活動」 「地元NPO法人でスタートした支援活動」 「ボランティア活動からNPO法人活動へ」 「気付きと見守りのIPMボランティア」 「紙芝居やカルタで伝えるIPM」 第3部 事例報告: ミュージアムIPMの導入と成果 「小規模複合文化施設のIPM-課題と取り組み」 「ユネスコ世界記憶遺産登録で始まった地方博物館のIPM」 「IPM導入とそれからの4年間-その背景、これまでの取組み、今後の展望-」 「小さな博物館のIPM-考古資料収蔵の★ひなれ!-」	九州国立博物館館長 三輪嘉六 九州国立博物館副館長 森田稔 九州国立博物館特任研究員 本田光子 公益財団法人文化財虫害研究所理事長 三浦定俊 愛知県美術館館長 村田眞宏 愛知県美術館 長屋菜津子 九州国立博物館 秋山純子 株式会社タクト 下川可子 第1期ボランティア・NPO法人ミュージアムIPMサポートセンター 新原茂春 第2期ボランティア 内田祥乃 第3期ボランティア 伊藤幸子・内田成美・楠原圭子・東浦京子 太宰府市文化ふれあい館 井上理香 田川市石炭・歴史博物館 藤本和美・福本寛・中川恭子 熊本市現代美術館 富澤治子・杉谷和泉・蔵座江美・芦田彩葵・岡田直幸 奈良文化財研究所飛鳥資料館 成田聖	116
10月19日	大宰府学講座「太宰府ゆかりの和様の書」(太宰府市)	文化財課資料登録室主任研究員 丸山 猶計	30
10月20日	特別展「尾張徳川家の至宝」関連 アクロス・文化学ひ塾 特別展「尾張徳川家の至宝」について	企画課文化交流展室主任研究員 川畑恵子	70
10月26日	トピック展示「山の神々」関連 第34回日本山岳修験学会 太宰府・宝満山学術大会 公開シンポジウム「大宰府をめぐる山々と海彼」 基調講演「東アジアの中の大宰府をめぐる山岳信仰」 「<海彼>を望む女神たち-日韓の山岳宗教と女神信仰-」 「背振山系と肥前霊山の諸相」 「山の神仏と海-北部九州と造形遺品に見る-」 「首羅山・油山と東アジア」	九州大学名誉教授 西谷正 司会 福岡県文化財保護審議会委員・博士(人間環境学)・日本山岳修験学会開催地担当理事 森弘子 コメンテーター 慶応義塾大学教授・文学博士・日本山岳修験学会会長 鈴木正崇 元駒沢大学教授・文学博士・日本山岳修験学会顧問 長野野 パネラー 九州産業大学准教授 須永敬 袋井市歴史文化館主幹 山本義孝 九州歴史資料館学芸員 井形進 山口県立大学准教授 伊藤幸司	267
10月30日	講演 平成25年度文化庁地域と共働した美術館・歴史博物館支援事業 「墨魅〜忠岡町から墨の魅力を地域・全国・世界に発信!」 ワークショップ「みんなで筆を持とう「国宝を書く!」」 (公益財団法人正木美術館)	文化財課資料登録室主任研究員 丸山 猶計	50
11月1日	特別展「尾張徳川家の至宝」関連 解説講座「御三家筆頭 尾張徳川家の至宝展」(筑紫野市)	展示課展示調整室主任研究員 酒井芳司	32
11月2日	特別展「尾張徳川家の至宝」関連 ここが見どころ! 徳川展連続講座 「殿様の教養-尾張徳川家の名筆と典籍-」 「絵になる源氏物語」	展示課主任研究員 酒井芳司 企画課特別展室研究員 鷲頭桂	102
11月9日	特別展「尾張徳川家の至宝」関連 ここが見どころ! 徳川展連続講座 「天下人のあかし-信長・秀吉・家康の遺愛品-」 「国宝 初音の調度の魅力」	文化財課資料登録室主任研究員 荒木和憲 企画課文化交流展室主任研究員 川畑恵子	75
11月9日	歴史講座「誓願寺「孟蘭盆縁起」の魅力」	文化財課資料登録室主任研究員 丸山 猶計	40
11月28日	第2回ふるさとセミナー(春日市奴国の丘歴史資料館)	企画課長 壺信祐爾	30
26年 1月18日	特別展「国宝 大神社展」関連 連続講座「国宝 大神社展」の壺 「神像のみかた」 「神話と『古事記』『日本書紀』」	展示課主任研究員 楠井隆志 展示課主任研究員 酒井芳司	256
26年 1月18日	トピック展示「ロシアが見たアイヌ文化」関連 講演会「アイヌコレクション-遙かなる時空の民族文化」	千葉大学名誉教授、ロシアアイヌ資料調査団団長 萩原眞子	36
26年 1月19日	特別展「国宝 大神社展」関連 地域講演会「国宝 大神社展」への誘い 「日本人はいかに表現したか。」(久留米市)	展示課主任研究員 楠井隆志	186
26年 1月25日	特別展「国宝 大神社展」関連 連続講座「国宝 大神社展」の壺 「古神宝の調度」 「神々のすがた」	企画課文化交流展室主任研究員 川畑恵子 企画課特別展室研究員 森貫久美子	80
26年1月31日	特別展「国宝 大神社展」関連 解説講座 しっかりと九博! 「国宝 大神社展」(筑紫野市)	展示課主任研究員 楠井隆志	80
26年 2月2日	特別展「国宝 大神社展」関連 地域講演会「国宝 大神社展」への誘い 「天の岩戸と神の島〜古代人の世界観」(福津市)	企画課文化交流展室長 河野一隆	234

開催日	テーマ	講師	参加者数(人)
26年 2月8日	特別展「国宝 大神社展」関連講演会&トークショー 式年遷宮について語る夕べ 「伊勢神宮と式年遷宮」  トークセッション	伊勢神宮式年遷宮広報本部副本部長、神宮禰宜 広報室長 河合真如 出演 女優 鶴田真由・河合真如 コーディネーター 伊勢神宮式年遷宮広報本部部長、神社本庁総長、石清水八幡宮宮司 田中恒清	280
26年 2月9日	特別展「国宝 大神社展」関連 地域講演会「国宝 大神社展」への誘い 「よみがえった宮地嶽古墳黄金の太刀」(福岡市)	展示課長 赤司善彦	92
26年 2月9日	トピック展示「発掘された日本列島2013」関連 「陵墓の歴史変遷大要—その変遷を中心に—」	宮内庁書陵部 福尾正彦	80
26年 2月27日	平成25年度 九州国立博物館文化財保存交流セミナー 文化財保存と絵画資料「中国美術における梅について」	中国科学院自然科学史研究所大学資料編纂所協同研究員 黄栄光	25
26年 3月2日	地域講演会「よみがえった宮地嶽古墳黄金の太刀」(福岡市アクロス福岡)	展示課長 赤司善彦	500

3) ミュージアムトーク 47回 参加者総数 1,718人

- ・担当研究員数 延べ 47人
- ・事業内容 文化交流展示室にて担当の研究員が作品に関する解説を行った。  
(原則として毎週火曜日の午後3時より15~30分間)

実施日	テーマ	解説者	参加者数(人)
4月2日	涅槃図の見方	企画課特別展室研究員 森寛久美子	35
4月9日	年代をはかる(1)	企画課文化交流展室長 河野一隆	30
4月16日	文化財を科学する	文化財課資料登録室主任研究員 鳥越俊行	40
4月19日	江戸のモダニズム 古武雄の魅力(1)	展示課研究員 遠藤啓介	20
4月23日	江戸のサイエンス 武雄蘭学の奇跡(1)	文化財課主任研究員 荒木和憲	50
4月30日	琉球王国尚家関係資料の保存修理	博物館科学課アソシエイトフェロー 渡部史之	30
5月10日	江戸のモダニズム 古武雄の魅力(2)	展示課研究員 遠藤啓介	40
5月14日	年代をはかる(2) 発掘された古代の暦	展示課主任研究員 酒井芳司	35
5月21日	江戸のサイエンス 武雄蘭学の奇跡(2)	文化財課資料登録室主任研究員 荒木和憲	45
5月28日	伊都王国のアンティーク	企画課特別展室主任研究員 市元壘	30
6月4日	年代をはかる(3)	展示課長 赤司善彦	50
6月11日	江戸のサイエンス 武雄蘭学の奇跡(3)	武雄市歴史資料館 川副義敦	40
6月18日	巴形銅器の話	展示課主任研究員 進村真之	30
6月25日	海の正倉院 沖ノ島	展示課主任研究員 岸本圭	30
7月2日	年代をはかる(4) 年輪年代に挑戦した研究者	博物館科学課長 今津節生	40
7月9日	輸出漆器について	企画課文化交流展室主任研究員 川畑憲子	25
7月23日	梵鐘の魅力	文化財課アソシエイトフェロー 望月規史	45
7月30日	視覚革命・異国と出会った江戸絵画(1)	企画課特別展室研究員 鷲頭桂	30
8月6日	視覚革命・異国と出会った江戸絵画(2)	企画課特別展室主任研究員 畑靖紀	40
8月13日	国宝・桜ヶ丘銅鐸	展示課主任研究員 進村真之	75
8月20日	船載蘭書と洋風画	神戸市立博物館学芸員 勝盛典子	30
9月3日	更紗の魅力	文化財課主任研究員 原田あゆみ	60
9月10日	観世音寺の塑像木心について 不空羂索観音像	展示課主任研究員 楠井隆志	45
9月19日	博物館の環境について	博物館科学課環境保全室研究員 秋山純子	20
9月26日	天皇陵のたからもの	企画課文化交流展室長 河野一隆	35
10月4日	煎茶の世界	展示課研究員 遠藤啓介	20
10月17日	考古学の年代を決める	文化財課資料登録室主任研究員 鳥越俊行	20
10月22日	田能村直入煎茶道具にみる縄文土器について	博物館科学課保存修復室主任研究員 志賀智史	40
10月29日	ササン朝ペルシャ銀器について	企画課長 臺信祐爾	55
11月6日	山の神々	展示課主任研究員 酒井芳司	80
11月12日	江戸の喫茶文化	文化財課アソシエイトフェロー 望月規史	25
11月26日	漢王朝と弥生社会	企画課特別展室主任研究員 市元壘	25
12月3日	新収蔵品・マニ誕生図の見方	企画課特別展室研究員 森寛久美子	50
12月10日	海の正倉院 沖ノ島	展示課主任研究員 岸本圭	25
12月17日	青銅器の色	博物館科学課環境保全室研究員 秋山純子	15
26年1月7日	天神さまの宝もの	展示課長 赤司善彦	25
26年1月16日	ロシアが見たアイヌ文化	交流課主任研究員 池内一誠	48
26年1月21日	発掘された日本列島2013	展示課主任研究員 進村真之	40
26年1月28日	江上波夫の眼	企画課長 臺信祐爾	35
26年2月4日	アイヌのムックリとアジアの口琴	交流課主任研究員 池内一誠	40
26年2月13日	琉球と薩摩・江戸	文化財課長 冨坂賢	20
26年2月18日	異国人から見た日本	博物館科学課アソシエイトフェロー 渡部史之	35
26年2月25日	大分県姫島の黒曜石について	博物館科学課保存修復室主任研究員 志賀智史	25
26年3月4日	南部家ゆかりの婚札調度について	企画課文化交流展室主任研究員 川畑憲子	45
26年3月11日	近世絵画名品展①	企画課特別展室研究員 鷲頭桂	35
26年3月18日	近世絵画名品展②	企画課特別展室主任研究員 畑靖紀	35
26年3月25日	新羅古墳資料から見た古墳文化	博物館科学課長 今津節生	30

4) その他展示に関連するイベント 19回 参加者数 43,199人

展覧会名等	期間	内容	会場	参加者数(人)
文化交流展	6月4日～ 26年2月2日	世界遺産 高句麗 壁画古墳写真展	文化交流展示室 南側ギャラリー通路	—
	8月11日	特別公開「国宝・神戸市桜ヶ丘出土銅鐸」関連 夏休み特別企画ワークショップ「銅鐸を作ろう！」	研修室	11
	10月26日～27日	トピック展示「山の神々」関連 パネル展示	エントランス・研修室	—
	12月14日	トピック展示「ロシアが見たアイヌ文化」関連 アイヌ文様刺しゅう体験ワークショップ	研修室	22
	12月17日～ 26年1月13日	東京オリンピック1964展	エントランスホール	38,571
	26年1月12日	トピック展示「ロシアが見たアイヌ文化」関連 アイヌミュージアムフェアin九博	ミュージアムホール	350
特別展「大ベトナム展」	4月27日～5月6日	ベトナムグルメ天国	屋外	—
	5月19日	ライブベトナム	ミュージアムホール	600
	6月1日	ベトナム民族楽器トルンの演奏によるさわやかなひととき	ミュージアムホール	250
特別展「朝の至宝」	8月10日	こどもイベント「跪射俑（きしゃよう）に変身!!～段ボールで鎧づくり～」	研修室	50
特別展「尾張徳川家の至宝」	11月1日～4日	名古屋めしフェア	屋外	—
	11月3日	ファッションショー「KIMONO夢物語」～源氏物語絵巻への誘い～	ミュージアムホール	350
特別展「大神社展」	26年1月15日	「国宝 大神社展」神いざなう 歌と舞（岐神楽・高千穂神楽）	ミュージアムホール	500
	26年1月19日	「国宝 大神社展」神いざなう 歌と舞（白鬚神社の田楽・御嶽神楽）	ミュージアムホール	440
	26年1月22日	「神々と日本伝統文化 狂言と古典落語の世界」	ミュージアムホール	255
	26年2月2日	「国宝 大神社展」神いざなう 歌と舞（竹の曲・高原神舞）	ミュージアムホール	400
	26年2月8日	トークショー「式年遷宮について語る夕べ」	ミュージアムホール	500
	26年2月28日	「国宝 大神社展」神いざなう 歌と舞（石清水八幡宮 御神楽）	ミュージアムホール	400
文化庁主催海外展「日本文化展」	26年1月18日	ワークショップ	ベトナム国立歴史博物館	500

2-(2)-④ 児童生徒を対象とした教育普及事業

平成26年3月31日現在

【東京国立博物館】

1) みどりのライオンプロジェクト

開催期間	4月1日～3月31日
開催場所	本館特別4室、本館地下教育普及スペース、東洋館6室オアシス
入場者数	38,009人 (※東洋館6室オアシスで実施した体験型プログラム参加者数を計数)
担当研究員数	7人
事業内容	みんなで楽しむ教育普及スペース「みどりのライオン」を運営。パネル展示により館全体のガイダンス機能をもたせるとともに、各種レクチャーや体験型プログラムなどを児童生徒から一般まで幅広い層に向けて展開。博物館へのアプローチから作品の鑑賞を深めるためのプログラムまで、伝統文化の理解促進に寄与するさまざまな教育普及活動を実施した。また、総合文化展鑑賞の手引きとして、ワークシート3種を制作し、通年配布した。 本館の教育普及スペース「みどりのライオン」改修工事に伴い、25年12月より体験型プログラムは東洋館6室オアシスにて、体験型プログラム「アジアの古い体験」のみを継続した。

2) 「親と子のギャラリー」

「日本美術のつくり方Ⅳ」	
開催期間	7月17日～8月25日(49日間)
開催場所	本館特別2室
入場者数	61,923人 (※本館入館者数を計数)
担当研究員数	3人
事業内容	家族での来館のきっかけ、および、総合文化展鑑賞の一助となることを目的に、わかりやすいテーマ設定のもと時代やジャンルを超えた作品を展示する教育普及的展示を夏休みにあわせて実施。本館に展示されている日本の伝統的な工芸作品を「つくり方」という切り口でわかりやすく伝えることを目指した。作者の技術の豊かさに触れ、その技術を生かして作られた「ほんもの」の作品の鑑賞を通して、歴史のなかで培われてきた日本文化のすばらしさを伝える。関連ギャラリートークも実施。
関連事業	・ファミリーワークショップ「きらきら光る唐紙を摺ろう！」 8月11日・24日 (※詳細は 2-(2)-④ 3)③ワークショップを参照)

3) 体験型プログラムの実施 参加者数計41,862人、

① 平常展示関連体験型プログラム 参加者数計 40,293人

ハンズオン 体験型展示	総合文化展(東洋館)関連「アジアの古い体験」
	期 間 4月1日～12月22日
	開催場所 東洋館6室オアシス
	参加者数 38,009人
アクティビティ	特集陳列「博物館に初もうで」(本館特別1・特別2室)関連「東博ウマ三昧」
	期 間 26年1月2日～1月3日
	開催場所 東洋館エントランス
	参加者数 2,284人

② 平常展示関連 ワークショップ及び関連事業 回数 23回 参加者数計 802人

ワークショップ及び 関連事業	総合文化展(東洋館)関連 子どもツアー「トーハク探検ツアー アジアの動物??編」
	期 間 5月3日 ①10時～、②14時～ 5月4日 ③10時～、④14時～
	開催場所 東洋館3・11・12・13室
	参加者数 ①20人、②7人、③15人、④5人
	担当研究員数 3人
ワークショップ及び 関連事業	総合文化展(本館)関連 中高生のためのワークショップ「学芸員に挑戦！」(事前申込制)
	期 間 7月28日
	開催場所 本館地下教育普及スペース
	参加者数 14人
ワークショップ及び 関連事業	総合文化展(本館)関連 おとなのためのワークショップ「学芸員に挑戦！」(事前申込制)
	期 間 7月28日
	開催場所 本館地下教育普及スペース
	参加者数 14人
ワークショップ及び 関連事業	特集陳列「親と子のギャラリー 日本美術のつくり方」(本館特別2室)関連 ファミリーワークショップ「きらきら光る唐紙を摺ろう！」(事前申込制)
	期 間 ①8月11日、②8月24日
	開催場所 本館地下教育普及スペース
	参加者数 ①26人 ②16人
ワークショップ及び 関連事業	総合文化展「日本の考古」(平成館考古展示室)関連 ファミリーワークショップ「考古学者に挑戦！」(事前申込制) ※小学校低・中学年対象
	期 間 10月5日
	開催場所 平成館小講堂
	参加者数 19人
	担当研究員数 5人

ワークショップ及び関連事業	総合文化展「日本の考古」(平成館考古展示室)関連 小中学生のためのワークショップ「考古学者に挑戦！」(事前申込制) ※小学校高学年～中学生対象	
	期 間	10月5日
	開催場所	平成館小講堂
	参加者数	14人
ワークショップ及び関連事業	特集陳列「清時代の書—碑学派—」(平成館企画展示室)関連 ファミリーワークショップ「清時代の書に挑戦！」(事前申込制)	
	期 間	10月20日
	開催場所	本館地下教育普及スペース
	参加者数	8人
ワークショップ及び関連事業	総合文化展「屏風と襖絵」(本館7室)関連 ファミリーワークショップ「屏風体験！」(事前申込制)	
	期 間	11月2日 ①10時～、②14時～
	開催場所	応挙館
	参加者数	①24人 ②26人
ワークショップ及び関連事業	特集陳列「日本の仮面 能面 是閑と河内」関連 実演「面打」	
	期 間	11月24日
	開催場所	平成館大講堂
	参加者数	112人
ワークショップ及び関連事業	特集陳列「日本の仮面 能面 是閑と河内」関連 トークショー「面打」	
	期 間	11月24日
	開催場所	平成館大講堂
	参加者数	123人
ワークショップ及び関連事業	総合文化展「金工」(本館13室)関連 ファミリーワークショップエビを作ってみよう	
	期 間	①1月18日、②1月19日
	開催場所	平成館小講堂
	参加者数	①23人、②22人
ワークショップ及び関連事業	総合文化展法隆寺宝物館関連 トーク探検ツアー法隆寺のたからもの編	
	期 間	①2月8日、②2月9日
	開催場所	法隆寺宝物館
	参加者数	①14人、②20人
ワークショップ及び関連事業	総合文化展法隆寺宝物館関連 みんなでみる法隆寺献納宝物入門	
	期 間	①2月8日、②2月9日
	開催場所	法隆寺宝物館
	参加者数	①3人、②13人
ワークショップ及び関連事業	桜ワークショップ めり絵 日本のデザイン、色づかい	
	期 間	①3月29日、②3月30日
	開催場所	平成館ラウンジ
	参加者数	①135人、②129人
ワークショップ及び関連事業	担当研究員数	
	期 間	3人
	開催場所	
	参加者数	

### ③特別展開連 ワークショップおよび関連事業 回数 5回 参加者数計 767人

ワークショップ及び関連事業	特別展「和様の書」関連 ワークショップ「唐紙の魅力、料紙の魅力」	
	期 間	①8月11日 ②8月24日
	開催場所	本館地下教育普及スペース
	参加者数	①23人 ②23人
ワークショップ及び関連事業	特別展「和様の書」関連 ファミリーワークショップ「親子書道教室 三跡に挑戦！」	
	期 間	8月17日
	開催場所	平成館小講堂
	参加者数	30人
ワークショップ及び関連事業	特別展「和様の書」関連 席上揮毫会	
	期 間	8月25日
	開催場所	平成館大講堂
	参加者数	①342人 ②349人

### 4) 東博スクールプログラム

期 間	年間
開催場所	全館対象
参加者数	小学校28校1,512人/中学校 112校3,518人/高校56校 1,418人/中高一貫2校27名 計198校6,475人 ※児童・生徒のみを計数。その他引率教員が572人 ※特別支援学校、特別支援学級で「盲学校のスクールプログラム」以外を受講した場合も計数
	盲学校のためのスクールプログラム 20校 57名

担当研究員数	3人
事業内容	総合的な学習などでより充実した見学ができるよう、ガイダンスや対話形式の伝統文化理解のための鑑賞教育プログラムを児童・生徒に実施した。スクールプログラムのパンフレットは近隣県の学校へ配布し、全国で閲覧・ダウンロードできるよう、ウェブサイトにも掲載した。 視覚障害者の鑑賞支援プログラムとして今年度より「盲学校のためのスクールプログラム」の受入実施を開始した。

### 5) 職場体験の受入

期 間	年間
開催場所	全館対象
参加者数	中学校 18校62人／高校 5校20人、計23校82人
担当研究員数	2名
事業内容	学校教育活動の一環として実施される職場体験の受入を行った。生涯学習ボランティアとともに、お客様案内やアクティビティの補助等、お客様サービスに関わる業務の体験をする。要項は近隣学校へ配布し、全国で閲覧・ダウンロードできるよう、ウェブサイトにも掲載した。

### 6) 教員を対象とした事業の実施

#### ① 教員鑑賞会の実施

期 間	①4月19日（「大神社展」）、②7月26日（特別展「和様の書」）、③8月21日（スクールプログラム）、④10月11日（特別展「京都」・特別展「上海美術館展」）
開催場所	平成館大講堂
参加者数	①81人、②119人、③116人、④117人 計433人
担当研究員数	5人
事業内容	学校との連携を考慮した教員を対象のプログラム「スクールプログラム」を中心とした博物館利用方法、特別展観覧の手引きとして作成したジュニアガイドの活用方法の説明とともに、展示の解説を行った上で実際に展示を観覧することで、博物館利用についての興味関心、理解を深める。また、指導要領と関連した授業案を提案した。

#### ② 全国高等学校美術・工芸教育研究会との連携事業の実施（共催：東京藝術大学）

期 間	7月31日～8月2日
開催場所	本館地下教育普及スペース、展示室、会議室／東京藝術大学
参加者数	39人
担当研究員数	3人
事業内容	全国の高等学校で美術、工芸の授業を担当している教員を対象とした研修会。研修を通じて伝統美術や工芸に対する理解を深めることを目指す。今年度は第9回目として「日本の絵巻」をテーマに博物館では歴史に関する講義と鑑賞、大学では実技研修を実施した。

#### ③ 台東区教員10年経験者研修の受入

期 間	7月23日～8月23日
参加者数	5人
担当研究員数	3人
事業内容	台東区連携事業のひとつとして、10年経験者研修の受入を行った。博物館の立場から、学校対応や教育普及プログラム、展示を見ることで、博物館に対する理解を深め、学校での指導に活かすことを目指す。

#### ④ 教員による研究会の受入

期 間	4月1日～3月31日
受入回数	3回36名
担当研究員数	3人
事業内容	教科別等で教員が行っている研究会の研修として、展示の解説やスクールプログラムのデモ実施などののち観覧し、指導での活用方法を検討する。文化や博物館に対する理解を深め、学校での指導に活かすことを目指す。

## 【京都国立博物館】

### 1) 少年少女博物館くらぶ

事業名	小・中学生向け鑑賞会「びじゅつで遊ぼう！」
実施日	8月6日、9日
対象	小学生から中学生
参加者数	小中学生42人、保護者26人

### 2) 博物館Dictionaryの発行 2回

- ・発行部数 7,000部
- ・配布先 館内観覧者等

### 3) 特別展観「遊び」 小中学生の入場料を無料

### 4) 特別展観「遊び」こども向けワークシート作成

- ・発行部数 20,000部
- ・配布先 館内観覧者

### 5) 京都市内の小中学校への訪問授業

事業名：文化財に親しむ授業「松鷹図」（二条城）	
実施日	6月5日 10:45～11:30
場所	京都市立朱雀第六小学校
対象	京都市立朱雀第六小学校 6年生
参加者数	24名
事業内容	NPO法人京都文化協会、京都市教育委員会との連携事業。高精細複製を教材とした訪問授業を実施。講師は、文化財ソムリエ（京都国立博物館 文化財に親しむ授業講師）が担当した。
主催	京都国立博物館、NPO法人京都文化協会
事業名：文化財に親しむ授業「風神雷神図屏風」 俵屋宗達筆	
実施日	7月9日 10:30～11:55
場所	京都市立第三錦林小学校
対象	京都市立第三錦林小学校 6年生
参加者数	47人
事業内容	同上
主催	京都国立博物館、NPO法人京都文化協会
事業名：文化財に親しむ授業「八橋図屏風」 尾形光琳筆	
実施日	9月4日 9:40～12:15
場所	京都市立安祥寺中学校
対象	京都市立安祥寺中学校 1年生
参加者数	110人
事業内容	同上
主催	京都国立博物館、NPO法人京都文化協会
事業名：文化財に親しむ授業「八橋図屏風」 尾形光琳筆	
実施日	10月30日 9:45～12:25
場所	京都市立納所小学校
対象	京都市立松納所小学校 5年生、6年生
参加者数	105人
事業内容	同上
主催	京都国立博物館、NPO法人京都文化協会
事業名：文化財に親しむ授業「風神雷神図屏風」 俵屋宗達筆	
実施日	11月8日 9:35～11:25
場所	京都市立美豆小学校
対象	京都市立美豆小学校 6年生
参加者数	62人
事業内容	同上
主催	京都国立博物館、NPO法人京都文化協会
事業名：文化財に親しむ授業「風神雷神図屏風」 俵屋宗達筆	
実施日	11月22日 10:35～12:00
場所	京都市立松ヶ崎小学校
対象	京都市立松ヶ崎小学校 6年生
参加者数	46人
事業内容	同上
主催	京都国立博物館、NPO法人京都文化協会
事業名：文化財に親しむ授業「八橋図屏風」 尾形光琳筆	
実施日	12月4日 10:50～12:25
場所	京都市立南大内小学校
対象	京都市立南大内小学校 5年生、6年生
参加者数	41人
事業内容	同上
主催	京都国立博物館、NPO法人京都文化協会

## 6) 社会科教員のための向上講座

実施日	10月22日
開催場所	管理棟3階研修室及び特別展示館
参加者数	30人
担当研究員数	1人
事業内容	京都市教育委員会との連携事業。研究員による講義のあと、特別展覧会ギャラリートークと質疑応答を実施した。小中学校社会科教員と総合支援学校全教員を対象とする。（詳細は2(2)③講座・講演会等の開催実績を参照）

## 【奈良国立博物館】

### 1) 修学旅行生等を対象とした文化財の案内・説明資料等の作成と解説

- ・期間 事前申し込み制
- ・場所 展示会場・講堂等
- ・学校団体案内数 28件、計2,251名
- ・担当職員数 3人（ボランティア室）
- ・事業内容 当館ボランティアによるスライド学習と展示会場での作品の解説

### 2) 世界遺産学習への対応

- ・期間 4月～12月 事前申し込み制
- ・対応実績 奈良市内の小中学校33校（5年生の全クラスを対象） 計2,199名
- ・担当職員数 3人（ボランティア室）
- ・事業内容 奈良市教育委員会との共同で、市内の全小中学校5年生を対象に、世界遺産「奈良」を通して歴史や文化への愛着を育み、未来に伝え残すことの重要性を学んでもらう。  
当館ボランティアによる「世界遺産学習」プログラム（スライド解説と実際の仏像を前にした観賞など）を1時間程度で実施する。

3) 展示の子ども向け質問対応

- ・期間 7月23日～9月1日 会期中随時
- ・場所 展示会場入口
- ・担当職員数 3人(ボランティア室)
- ・事業内容 特別展「みほとけのかたちー仏像に会う」の会期中(夏休み期間)、子ども向けに質問デスクを設置した。デスクに常置する当館ボランティアが展示品に関する様々な質問に答え、展示を楽しく見学することを目的とした。

4) 子ども向け音声ガイドの制作

- ・特別展「第65回正倉院展」で制作、計908台の利用があった。

5) 子ども向けイベントの実施

実施日	内 容	会 場	参加者数
7月20日 ～9月1日	夏休み 子供企画 「ほとけさまに会おう!ならはくスタンプラリー」。展覧会は自由観覧。	西新館 なら仏像館	2,020
7月27日	夏休み親子企画「ほとけさまの絵をかいてみよう!」(体験イベント)	地下回廊 なら仏像館	30
7月28日	特別展「みほとけのかたち」開催記念企画 夏休み子ども教室『香木のフシギ!?』 —クイズで学ぶみほとけのかおり! 香木の香り体験も!—(体験イベント)	地下回廊	58
10月26日 ～11月11日	正倉院展作文コンクール入賞作品展示	地下回廊	—
11月3日	第65回正倉院展 親子鑑賞会 小学生とその保護者を対象に正倉院展の見所を解説。展覧会を自由観覧。 講師:清水 健(奈良国立博物館学芸部主任研究員)	講堂	182

6) 職場体験の受入

期 間	年間
開催場所	全館対象
参加者数	中学校3校9名(2年生)
担当職員数	1名
事業内容	学校教育活動の一環として実施される職場体験の受入を行った。券売業務や監視業務、ミュージアムショップや館内レストラン等に関わる業務の体験をする。

【九州国立博物館】

1) 博物館における体験型事業の充実

① 教育普及ゾーン(体験型展示室「あじっば」)で活用する様々な教育キットの開発

体験型キットの開発・展開	
内容	「あじっば」の展示に関する理解を促進するための体験型キット・プログラムの開発 新規開発キット、プログラム:「銅鐸をつくってみよう」「銅鏡をつくってみよう」「アイヌのボードゲーム ウコニロシキ」「アイヌのシカ笛をつくってみよう」
対象	こどもおよび親子連れを中心とした来館者全般
人数	定員なし
実施	開館時は常時開放

② 幅広い層に向け体験活動の促進を図るため、教育活動の場を提供

夏休み子ども向けイベント「いこうよ!あじっば夏祭り」	
内容	「あじっば」の資料・コンテンツを活用して夏休みに博物館を訪れた子ども、および親子連れに対して博物館体験の場を提供するとともに、ボランティア活動の活性化を図る。平成25年度は、「花に花を咲かせよう」「BooBooペット」「ウズベキスタンの帽子をつくろう」「まき巻きファッシュとぬり絵」「うもれ木くんってなんだろう?」のコンテンツを提供した。
対象	こどもおよび親子連れを中心とした来館者全般
人数	定員なし
実施	7月27日(土)、28日(日)
九博子どもフェスタ	
内容	“博物館っておもしろいところ”をテーマに楽しいものづくりや色々な体験ができるイベント
対象	子どもおよび親子連れを中心とした来館者全般
人数	九博ボランティア 115名、愛する会 約50名、香岐市立一支国博物館 6名、参加者のべ 2,230名
実施	26年2月23日
茶道体験(「親子で茶道体験」、「はじめての茶道体験」)	
内容	茶室にて茶道初心者に対して茶道体験を実施
対象	「親子で茶道体験」小・中・高校生とその保護者、「はじめての茶道体験」高校生以上
人数	「親子で茶道体験」30名程度、「はじめての茶道体験」10名程度
実施	毎月1回実施

③ アジア諸国の文化を理解する様々な体験学習プログラムの開発

体験型展示室「あじっば」の運営	
内容	日本と古くから交流のあるアジア・ヨーロッパ7カ国の文物を屋台風に展示、資料を実際に使用する・制作する等の体験をととして素材やデザイン、用途などにおける国相互の類似性や相違性を体感する。 「あじっば」における特集展示 ①「あじ庵」:「桃の節句」「ベトナム」「中国の吉祥文様」「インドネシアのワヤン」 ②「あじぎやら」:「はらのなかのはらっぱで」「やきもの動物園」「郷土人形-うそ・天神さま・午」

	③ディスプレイ:「ベトナム」「中国の日常生活」「アジアの午」 ④あじっば屋台展示替え:7回(日本3回、中国1回、インドネシア1回、ベトナム1回、ポルトガル1回)
対象	こどもおよび親子連れを中心とした来館者全般
人数	最大収容可能人数約80人
実施	開館時は常時開放

#### ④ 博物館の諸活動を体験できるプログラムの開発

なりきり学芸員体験、なりきり考古学者体験	
内容	①なりきり学芸員体験:作品の扱い方、展示の方法を通して学芸員の仕事を紹介する。 ②なりきり考古学者体験:作品の調書の作成、拓本体験を通して考古学者の仕事を紹介する。
対象	小学校中学年以上
人数	1回につき最大6名
実施	9月28日午前・午後、10月19日午前・午後、11月16日午前・午後、12月7日午前・午後(計8回)

## 2) 学校教育との連携事業の実施

### ① 職場体験の受け入れ

中学生の職場体験	
内容	中学校・高等学校で実施される「総合的な学習」に対応し、働く現場での体験を提供することで、自らの進路や職業について考える機会を提供するとともに、博物館への理解を促進する。
人数	1校につき最大6名
実施	17校(のべ38日間)を受け入れ(受け入れ校:太宰府市立太宰府中学校、筑紫野市立筑山中学校、太宰府市立学業院中学校、福岡県立輝翔館中等教育学校、小郡市立三国中学校、福岡雙葉中学校、宇美町立宇美南中学校、飯塚市立筑穂中学校、大野城市立大野東中学校、太宰府市立太宰府東中学校、大野城市立大野中学校、春日市立春日野中学校、筑紫野市立二日市中学校、筑紫野市立筑紫野中学校、宇美町立宇美中学校、春日市立春日南中学校、筑紫野市立筑紫野南中学校)

### ② ジュニア学芸員(高校生)による教育プログラムの開発

ジュニア学芸員活動	
内容	高校生を対象に、学芸業務体験を通して博物館に親しむ機会を提供する。博物館の活動を高校生と学校に理解してもらうことで、今後の博学連携に向けての布石とする。今年度は体験型展示室「あじっば」における未就学児向けの新規BOXキットを企画した。
人数	7校23名
実施	11月～3月の日曜日に全7回(参加校:福岡県立筑紫中央高等学校、福岡大学附属若葉高等学校、久留米大学附設高等学校、筑紫台高等学校、西南学院高等学校、筑陽学園高等学校、福岡県立太宰府高等学校) ※今年度から対象にキャンパスメンバー校を追加し、13校に希望生徒の推薦を依頼した。

### ③ 教員研修の受け入れ

社会体験研修	
内容	教員を対象に社会貢献等の体験の場を提供し、教員の資質向上を支援しつつ、博物館活動への理解促進を図る。
人数	9名
実施	8月10日～12日(初任者6名)、8月17日・18日(経験10年経過者3名)

### ④ 教員を対象としたプログラムの実践

内容	教員を対象に博物館機能や展示内容、学校貸出キットなどについて解説し、博物館活動への理解を深め、学校による博物館利用を促進する。
人数	105名
実施	8月1日 大野城市立大野北小学校一般研修「博物館を活用した社会科」(25名) 8月20日 太宰府市立太宰府小学校一般研修「太宰府のことをもっと知ろう!!」(40名) 8月29日 福岡県教育センターキャリアアップ講座「博物館を活用した社会科授業づくり」(40名)

### ⑤ 学校貸出キット「きゅうぱっく」の貸し出し

学校貸出キット「きゅうぱっく」	
内容	博物館の展示に関連するハンズオン資料をバック化して貸し出し、学校教育および社会教育を支援する。
対象	学校、社会教育団体等
実施	計72件(小学校32件、中学校24件、高等学校5件、特別支援学校5件、その他6件)

### ⑥ 出前講座・授業実践支援事業への対応

出前講座への対応	
内容	学校で実施される「総合的な学習」等に対応し、学校に向向いて博物館の機能やアジア各地・日本の歴史・文化についての講義を行う。また、学校貸出キット「きゅうぱっく」を活用した授業に関して、交流課職員がチーム・ティーチングなどで活動のサポートを行う。
対象	研究員による出前講座・授業実践支援事業を希望した学校
実施	計5校 5月28日 春日市立須玖小学校(「きゅうぱっく」を活用した授業支援) 5月29日 太宰府市立太宰府中学校(連続出前講座のガイダンス) 6月26日 太宰府市立太宰府中学校(連続出前講座の一環として「きゅうぱっく」を活用した授業支援) 10月30日 大野城市立大利中学校(講義 および 九博のガイダンス) 26年2月27日 嘉麻市立千手小学校(「きゅうぱっく」を活用した授業支援)

### ⑦ 来館学校団体への対応

来館学校団体への対応	
内容	体験プログラムやバックヤード見学等を提供する。
対象	来館した学校団体のうち、体験や支援等を希望した学校
実施	計20校 4月17日 筑紫野市立原田小学校(「きゅうぱっく」を活用したハンズオン体験)

4月22日	宇美町立井野小学校（「きゅうぱっく」を活用したハンズオン体験）
5月24日	鹿児島盲学校（展示室観覧支援、展示室における資料触察支援）
5月31日	筑紫野市立筑紫野中学校（九博敷地内でのスケッチ大会 および 展示見学）
6月13日	福岡県立柳河特別支援学校（展示見学・あじっば体験の支援）
7月10日	太宰府市立太宰府中学校（連続出前講座の一環としてバックヤード見学）
7月11日	北九州視覚障害特別支援学校（展示室観覧支援、展示室における資料触察支援）
7月17日	太宰府市立太宰府中学校（連続出前講座の一環として展示見学）
8月1日	福岡県立小倉高等学校（博物館機能と学芸業務についての講義、見学<文科省スーパーサイエンスハイスクール事業>）
9月11日	太宰府市立太宰府小学校（九州国立博物館のバリアフリー施設に関する調査活動）
10月5日	福岡県立香椎高等学校（博物館機能と学芸業務についての講義、見学）
10月12日	福岡チャレンジャーズクラブ（「きゅうぱっく」を活用したハンズオン体験）
10月22日	福岡県立古賀特別支援学校（展示見学・あじっば体験の支援）
10月23日	筑陽学園中学校（博物館機能と学芸業務についての講義、見学）
10月30日	大野城市立大利中学校（ふるさと学習の一環としての展示見学）
11月1日	大野城市立大利中学校（ふるさと学習の一環としての展示見学）
11月5日	福岡県立香椎高等学校（博物館機能と学芸業務についての講義、見学）
11月27日	福岡市適応指導教室（見学を中心とした博物館機能と学芸業務についての紹介）
26年2月26日	福岡県立太宰府高等学校芸術科（博物館実習として博物館機能と学芸業務についての講義、見学）
26年2月27日	佐賀県立中原特別支援学校（学芸体験ワークショップの提供）
※展示解説を希望した学校団体への対応は含まない（別項ボランティアの欄に含む）	

### 3) 文化交流展、特別展に関連した教育普及事業の実施

特別展「大ベトナム展」解説パネル「ゾウと行く 大ベトナム展ツアー」	
内容	一般的にはなじみが薄いと思われるベトナムの歴史について、わかりやすく解説したパネルを設置。
開催場所	特別展示室
実施	4月16日～6月9日
特別展「中国 王朝の至宝」展 解説パネル・体験コーナー（猿ベルト装着体験・玉「ぎよく」を触る体験）・ジュニアガイド「夏休みの朋友」	
内容	夏休み期間中であつたため、夏休みの宿題冊子風ジュニアガイド「夏休みの朋友」を作成。理科、算数など展示物に関係した問題を出題。また、中国王朝の文化についての理解を深めるため、理科、算数などジュニアガイドと連動した解説パネルを設置し、展示物についてわかりやすく解説した。出品作品である猿形帯鉤（猿形のバックル）の実寸大複製（三次元立体測量データを三次元立体プリンターで出力）を作成し、会場内で猿ベルトの装着できる体験コーナー、及び、玉の原石に触れる体験コーナーを設置した。
開催場所	特別展示室
実施	7月9日～9月16日
特別展「中国 王朝の至宝」展 こどもイベント「跪射俑（きしゃよう）に変身!!～段ボールで鑑づくり～」	
内容	跪射俑の鑑の仕組みを理解し、跪射俑の鑑をダンボールで作るワークショップ。
開催場所	研修室
人数	26組50名（対象：小学5・6年生とその保護者）
実施	8月10日（2回開催）
特別展「尾張 徳川家の至宝」展 解説パネル	
内容	作品の見所や時代背景などについて紹介するパネルを設置。
開催場所	特別展示室
実施	10月12日～12月8日
特別展「大神社展」展 配布物「おみくじ風まめちしき」	
内容	神社に関するまめちしきや作品鑑賞の手助けとなる内容の配布物を作成し、おみくじコーナーを設置した。
開催場所	特別展示室
実施	1月15日～3月9日
特別展「大神社」展 関連企画「狛犬情報募集」	
内容	大神社展を盛り上げ、神社に親しみを持ってもらうため、ホームページで狛犬情報を募集した。情報は、当館ホームページと、館内に掲示した。
開催場所	当館ホームページ、1階エントランス
実施	12月20日～3月9日
トピック展示「ロシアが見たアイヌ文化」展 ワークショップ「アイヌ文様刺しゅう体験ワークショップ」	
内容	アイヌ文様の刺しゅうに挑戦してコースターをつくる
人数	22名
開催場所	研修室
実施	12月14日午前・午後（計2回実施）
特別公開「国宝・神戸市桜ヶ丘出土銅鐸」 ワークショップ「銅鐸をつくってみよう」	
内容	砂鋳型を使用して文様を彫り込み、錫を流し込んで自分だけのミニ銅鐸をつくる
開催場所	研修室
人数	27名
実施	8月11日

### 4) 高等教育との連携

#### ① 筑紫女学園大学の指導によるガムランワークショップ

内容	筑紫女学園大学の指導によるガムランワークショップの定期的な開催 (筑紫女学園大学准教授と学生、卒業生の指導で、ジャワの伝統的な楽器であるガムランの演奏を体験するワークショップ。)
実施期間	5月26日(土)、6月15日(土)、7月6日(土)、11月23日(土)、12月15日(日)、26年2月15日(土)、3月8日(土)
開催場所	1階ミュージアムホール
参加者数	毎回28人

### 5) 館外の文化施設等における体験型ワークショップ

内容	館への理解促進・生涯学習支援の活動として館外の文化施設等において体験型ワークショップを実施した。
対象	子どもおよび親子連れを中心とした一般の方
実施	計 12件（参加総数 約1,501人） 実施箇所等は以下のとおり(人数は当館担当ブースの体験者数)

6月8日(土):仙台市農業園芸センター(参加約200人)
6月9日(日):福島市子どもの夢を育む施設こむこむ館(参加約200人)
6月29(土)~30日(日):岩手県立博物館(参加約300人)
8月3日(土):香崎市立一支国博物館(参加約50人)
10月5日(土):大宰府政庁まつり(参加約150人)
10月12日(土):熊本市現代美術館(参加約200人)
11月2日(土):兵庫県立考古博物館(参加21人)
11月4日(月):兵庫県立人と自然の博物館(参加約50人)
11月9日(土):福岡県立北九州視覚特別支援学校(参加8人)
11月23日(土):福岡県立玄海少年自然の家(参加約100人)
12月14日(土):柳川市三橋公民館(参加22人)
12月22(日)~23日(月):せんだいミュージアムストリート(参加約200人)

2-(2)-⑤ 大学生・大学院生を対象とした教育事業

平成26年3月31日現在

1) 大学等との連携事業

【京都国立博物館】

内 容	京都大学大学院人間・環境学研究科の歴史文化社会論講座
実施日	通年
開催場所	京都国立博物館
受入人数	6人
担当研究員数	6人

内 容	保存修復技術を専攻する大学院生のための研修会
実施期間	9月6日
開催場所	京都国立博物館
参加者数	18人
担当研究員数	2人

【奈良国立博物館】

内 容	奈良女子大学大学院人間文化研究科との連携講座
実施期間	前期、後期
開催場所	奈良女子大学、奈良国立博物館
参加者数	前期 5人、後期 4人
担当研究員数	1人

内 容	神戸大学大学院人文学研究科との連携講座
実施期間	通年
開催場所	神戸大学、奈良国立博物館
参加者数	8人
担当研究員数	2人

【九州国立博物館】

内 容	放送大学の面接授業 「文化財の保存と修復」
実施期間	12月7日～8日
開催場所	九州国立博物館1階研修室
参加者数	50人

内 容	筑紫女学園大学文学部アジア文化学科必修科目「ミュージアムで学ぶアジア」 (博物館の概要について講義、博物館展示見学、博物館体験型展示室での異文化体験)
実施期間	5月22日、5月29日、6月26日、7月3日(計4日)
開催場所	筑紫女学園大学、九州国立博物館文化交流展示室、体験型展示室「あじっば」
参加者数	100人

内 容	博物館実習生の受け入れ
実施期間	8月22日～9月2日の間、延べ10日間実施
参加者数	20人(14大学)

内 容	カフェコンサート(福岡女子短期大学の学生による演奏)
実施期間	4月26日、5月24日、6月21日、7月19日、7月26日、8月16日、8月23日、10月18日、11月22日、12月13日、26年1月24日、3月6日
開催場所	九州国立博物館1階エントランス(オープンカフェ)

2) インターンシップ

【東京国立博物館】

受入期間	7月17日～26年3月31日
受入部署	学芸企画部 デザイン室、教育普及室、教育講座室、情報管理室、情報資料室、広報室 学芸研究部 東洋室、保存修復課
参加者数	17人(12大学)
担当研究員数	のべ20人
事業内容	博物館学芸員を目指す学生の学習意欲の喚起、高い職業意識の育成を目的とした就業体験プログラム。学生は受入部署において、10～30日間の活動を行った。

【京都国立博物館】

受入期間	8月19日～9月2日、9月9日～20日
開催場所	文化財保存修理所
参加者数	4人(2大学)
担当研究員数	2人
事業内容	文化財修復大学院生インターンシップ協議会より推薦を受けた学生について、文化財修復に関わる加盟大学院生4名のインターンを受け入れた。11月8日には事務棟研修室にて4名による報告会を行った。

【奈良国立博物館】 ※25年度は受入なし

受入期間	
受入部門	総務課
参加者数	0人(0大学)
担当職員数	1人(総務係)

事業概要	※例年、立命館大学から数名の学生をインターンシップとして受け入れているが、25年度は大学側の事情により受け入れがなかった。）
------	--

### 【九州国立博物館】

受入期間	8月19日～23日の5日間
受入部署	博物館科学課
参加者数	8人（4大学）
担当研究員数	2人
事業内容	当館の文化財保存修復施設の機能と利点を生かし、西日本地域の大学で装こう技術による文化財保存修復を学ぶ学部生・大学院生を対象とした研修を実施した。

### 3) 学生ボランティア

#### 【東京国立博物館】

実施日	①ギャラリートーク（研究発表）班 12月11日、12月18日、26年1月8日、1月10日、1月12日、1月15日、1月16日、1月19日、1月21日、1月22日、1月23日、1月24日、1月25日、1月26日、1月28日、1月29日、1月31日、2月1日、2月2日、2月4日、2月5日、2月6日、2月9日、2月11日、2月12日、2月13日、2月14日、2月19日、2月23日 ②調査研究班（通年）
開催場所	①本館5室、11室、東洋館5室、法隆寺宝物館第2室 ②東京芸術大学構内、東京国立博物館ボランティア室ほか
参加者数	①インターン5人 聴講者949人 ②インターン12人
担当研究員数	①5人 ②5人
事業内容	①東京芸術大学大学院生ギャラリートーク班により入館者に対する総合文化展でのギャラリートークを実施。 ②東京芸術大学大学院インターンシップ調査研究班により「突起装飾坏（TJ-5401）」の調査研究および工程見本の制作を実施。

#### 【京都国立博物館】

実施日	平成25年4月22日、5月20日、5月27日、6月3日、6月17日、7月1日、7月22日、8月5日、9月2日、9月30日、10月7日、10月28日、11月11日、11月18日、12月2日、12月9日、平成26年1月20日、2月24日（計18回）
開催場所	京都国立博物館
参加者数	13人
担当研究員数	2人
内容	京都市内の小中学校で訪問授業を行う「文化財ソムリエ」養成のためのスクーリングを実施した。 参加者は、京都市内の大学で日本文化を専門に学ぶ大学生、大学院生。

実施日	平成25年6月5日、7月9日、9月4日、10月30日、11月8日、11月22日、12月4日、（計7回）
開催場所	京都市内の小中学校
参加者数	ボランティア13人、聴講者435人 （小学校6校 聴講者325人、中学校1校 聴講者110人）
担当研究員数	2人
内容	「文化財ソムリエ」として登録している大学生・大学院生が、研究員によるスクーリングを受けたのち、京都市内で訪問授業等を実施した。

### 4) 見学対応

#### 【東京国立博物館】

期 間	年間
開催場所	全館対象
参加者数	18件439人（大学14件、277人／専門学校2件86人／その他2件76人）
担当研究員数	3人
事業内容	鑑賞の手助け、文化財・博物館への理解促進のため、大学生や大学院生、専門学校生を対象に、東京国立博物館の展示や事業についての解説を含めたガイダンスを実施した。

#### 【九州国立博物館】

期 間	年間
開催場所	全館対象
参加者数	5件（大学4件、79人／短期大学1件、18人 計97人）
担当研究員数	1人
事業内容	大学生等を対象に、九州国立博物館の概要についての講義、博物館施設・展示室等の見学を実施した。

## 2-(2)-⑥ ボランティア受入れ実績

（後述の資料に記載）◎共通資料b

2-(2)-⑦ 友の会

1) 会員数

友の会 平成26年3月31日現在

館名	区分	友の会会員数 (年会費 10,000 円)
東京国立博物館		1,586 人
九州国立博物館		141 人

パスポート

平成26年3月31日現在

分館名	区	パスポート 会員数	パスポート会員 (一般) (年会費 4,000 円)	パスポート会員 (一般) (年会費 3,000 円)	パスポート会員 (学生) (年会費 2,500 円)	パスポート会員 (学生) (年会費 2,000 円)	パスポート会員 (家族) (年会費 6,000 円)
東京国立博物館		16,474 人	15,656 人	—	818 人	—	—
京都国立博物館		2,295 人	—	2,243 人	—	52 人	—
奈良国立博物館		2,598 人	—	2,504 人	—	73 人	21 人
九州国立博物館		4,633 人	—	2,654 人	—	1,979 人	—

2) 友の会会員を対象とした事業

【東京国立博物館】

『東京国立博物館ニュース』、東大寺講演会開催案内送付、コンサートの鑑賞割引、当館ミュージアムショップの商品の一部割引、レストラン・カフェでの飲食料金の割引、入会時の記念品プレゼント。

【九州国立博物館】

季刊情報誌「アジアージュ」、トピック展示ちらし、特別展連続講座等イベント案内送付、当館ミュージアムショップ・レストラン・カフェでの割引、入会時の記念品プレゼント。

## 2-(2)-⑧賛助会

### 1) 会員数

平成26年3月31日現在

館名	東京国立博物館	京都国立博物館		奈良国立博物館
		(社団法人清風会)	(ミュージアム・パートナー)	
件数	379件	336人	0件	70件
内訳	特別会員：20団体 維持会員(団体)：44団体 維持会員(個人)：315人	賛助会員：30人 特別会員：58人 普通会員：248人	団体会員：0件	特別支援会員：5団体 特別会員：4団体 一般会員(団体)：20団体 一般会員(個人)：41人

### 2) 賛助会員を対象とした事業

#### 【東京国立博物館】

- ①当館総合文化展、特別展(展覧会毎に1回)の無料観覧
- ②各特別展開会式へのご招待
- ③各特別展につき1回の特別鑑賞会へのご招待
- ④『東京国立博物館ニュース』(年6回)の配布
- ⑤当館ミュージアムショップの商品の一部割引
- ⑥当館レストラン、カフェでの飲食料金の割引

#### 【京都国立博物館】

- ①『京都国立博物館だより』(年4回)の配布
- ②当館平常展、特別展の無料観覧
- ③清風会が行う鑑賞会、見学会、会報に協力
- ④当館ミュージアムショップの商品の一部割引
- ⑤国際シンポジウム(年1回)案内の発送

#### 【奈良国立博物館】

- ①当館平常展、特別展の無料観覧
- ②各特別展開会式へのご招待
- ③展覧会図録の1冊贈呈
- ④『奈良国立博物館だより』(年4回)の配布
- ⑤当館ミュージアムショップでの展覧会図録の割引
- ⑥当館レストランでの飲食料金の割引
- ⑦当館研究員による解説付きの賛助会員特別鑑賞会を実施
  - 4月9日(火) 特別展「當麻寺 一極楽浄土へのあこがれ」  
特別鑑賞会 参加人数36名
  - 7月24日(水) 特別展「みほとけのかたち 一仏像に会う」  
特別鑑賞会 参加人数31名
  - 10月28日(月) 特別展「第65回正倉院展」  
特別鑑賞会 参加人数91名

2-(2)-⑨ 渉外活動

平成 26 年 3 月 31 日現在

【東京国立博物館】

1) 会場提供 9 件

期間	種類	イベント等の概要	会場	出席者数 (人)
4 月 2 日	懇談会	「FENDI UN ART, AUTRE」作品展示会レセプションパーティー	平成館ラウンジ	約 80
4 月 14 日	懇談会	Directions Mitre 10 Incentive 2013, Gala Dinner	法隆寺宝物館 平成館ラウンジ	約 80
4 月 15 日	懇談会	米国プルデンシャル保険本社の幹部が集うレセプション	法隆寺宝物館	約 60
9 月 24 日	発表会	クリスタル商品新作発表会	法隆寺宝物館	約 200
10 月 7 日	懇談会	「BREGUET, THE INNOVATOR」作品展示会レセプションパーティー	法隆寺宝物館	約 150
10 月 21 日	講演会	第 7 回資料保存シンポジウム	平成館	約 250
11 月 11 日 ～11 月 18 日	展示会	台東区主催によるイベント (伝統工芸職人展)	平成館ラウンジ	—
11 月 13 日	展示会	MICHAEL KORS in JAPAN	法隆寺宝物館	約 150
11 月 18 日	展示会	FURLA SS14 COLLECTION PRESENTATION	法隆寺宝物館	約 150

2) 館主催・協カイベント 23 件

期間	種類	タイトル	会場	出席者数 (人)	備考
4 月 4 日	音楽会	東京・春・音楽祭 2013「加藤えりな (ヴァイオリン)」	法隆寺宝物館	216	東京・春・音楽祭実行委員会共催
4 月 5 日	音楽会	東京・春・音楽祭 2013「Vive! サクソフォーン・カルテット」	正門内池前	189	東京・春・音楽祭実行委員会共催
4 月 5 日	音楽会	東京・春・音楽祭 2013「東博でパッハ vol. 14」川本嘉子	平成館ラウンジ	194	東京・春・音楽祭実行委員会共催
4 月 9 日	音楽会	東京・春・音楽祭 2013「東博でパッハ vol. 15」寺神戸亮	法隆寺宝物館	120	東京・春・音楽祭実行委員会共催
4 月 10 日	音楽会	東京・春・音楽祭 2013「東博でパッハ vol. 16」池上英樹	法隆寺宝物館	119	東京・春・音楽祭実行委員会共催
4 月 13 日	イベント	「スーフール」パフォーマンス	本館前庭、庭園他	—	東京演劇集団風、レ・スーフール・コマンド・ポエティック共催
6 月 9 日	音楽会	東京国立博物館 初夏のコンサート	平成館ラウンジ	246	サロン・ド・ソネット共催
7 月 7 日	音楽会	ファミリーコンサート	平成館ラウンジ	606 (2 回)	東京クワリネット・クワイ-共催 上野のれん会、東京国立博物館協力会協賛
7 月 28 日	音楽会	夏休み子ども音楽会 2013	東京文化会館他	244	東京文化会館他主催 当館協力 (総合文化展無料入館の協力)
9 月 22 日	イベント	初秋東博寄席	平成館大講堂	284	当館主催
9 月 28 日	音楽会	Music Weeks in TOKYO 2013 まちなかコンサート	表慶館	397 (2 回)	東京文化会館他共催
9 月 28 日	音楽会	ジャワガムランと舞踊コンサート	平成館ラウンジ	716 (2 回)	当館主催
9 月 29 日	音楽会	東京国立博物館 秋のコンサート	平成館ラウンジ	157	サロン・ド・ソネット共催
10 月 30 日	講演会	東大寺講演会	平成館大講堂	296	東大寺共催
11 月 1 日～ 11 月 3 日	イベント	創エネ・あかりパーク 2013 に伴うライトアップ	本館前庭	—	「創エネ・あかりパーク 2013」実行委員会共催
11 月 9 日	講演会	上野の山文化ゾーンフェスティバル「増山雪斎の虫巻帖とファーブルの昆虫記」	平成館大講堂	156	上野の山文化ゾーン連絡協議会
12 月 8 日	音楽会	東京国立博物館 クリスマスコンサート	平成館ラウンジ	232	サロン・ド・ソネット共催
26 年 1 月 13 日	イベント	新春東博寄席	平成館大講堂	356	当館主催
26 年 3 月 15 日	音楽会	東京・春・音楽祭 2014「東博でパッハ vol. 17」福田進一	平成館ラウンジ	225	東京・春・音楽祭実行委員会共催
26 年 3 月 18 日	音楽会	東京・春・音楽祭 2014「Vive! サクソフォーン・カルテット」	本館エントランス	139	東京・春・音楽祭実行委員会共催
26 年 3 月 19 日	音楽会	東京・春・音楽祭 2014「東博でパッハ vol. 18」三浦文彰	法隆寺宝物館	114	東京・春・音楽祭実行委員会共催
26 年 3 月 25 日	音楽会	東京・春・音楽祭 2014「加藤えりな (ヴァイオリン)」	法隆寺宝物館	183	東京・春・音楽祭実行委員会共催
26 年 3 月 26 日	音楽会	東京・春・音楽祭 2014「東博でパッハ vol. 19」山崎伸子 & 小林道夫	法隆寺宝物館	100	東京・春・音楽祭実行委員会共催

【京都国立博物館】

1) 会場提供 32 件

期間	種類	イベント等の概要	会場	出席者 (人)	備考
4 月 21 日	茶席	茶会	茶室	50	今井悦子
4 月 28 日	茶席	茶会	茶室	30	河野千恵子
5 月 5 日	茶席	茶会	茶室	8	松浦萌子
5 月 9 日	茶席	茶会	茶室	6	江見司
5 月 19 日	茶席	茶会	茶室	2	小野由起乃
6 月 25 日	庭園等の撮影	授業番組用映像の撮影 (放送大学学園)	本館前広場その他構内通路等	10	株式会社 NHK エデュケーション
7 月 5 日	試験	資格試験の開催	管理棟研修室	10	国宝修理装こう師連盟

期間	種類	イベント等の概要	会場	出席者(人)	備考
7月18日	庭園等の撮影	株式会社ワコール通販カタログ用写真撮影	南門レストラン、本館前広場その他構内通路等	12	小林陽一
7月21日	講演	講演会	管理棟研修室	40	京都歴史回廊協議会
8月22日	茶席	茶会	茶室	10	安藤史緒
9月27日	試験	資格試験の開催	管理棟研修室	20	国宝修理装こう師連盟
10月13日	茶席	茶会	茶室	5	山茶花社 西島真森
10月14日	茶席	茶会	茶室	80	山茶花社 西島真森
10月25日	試験	資格試験の開催	管理棟研修室	20	国宝修理装こう師連盟
10月31日	茶席	茶会	茶室	5	京都府立すばる高等学校
11月1日	茶席	茶会	茶室	39	京都府立すばる高等学校
11月2日	茶席	茶会	茶室	3	洛菟会 山本喜久子
11月3日	茶席	茶会	茶室	80	洛菟会 山本喜久子
11月3日	茶席	撮影会	茶室	3	菊井里沙
11月9日	茶席	作品展	茶室	50	井上さおり
11月10日	茶席	作品展	茶室	50	井上さおり
11月16日	茶席	茶会	茶室	10	多門みどり会 多門宗粒
11月17日	茶席	茶会	茶室	100	多門みどり会 多門宗粒
11月30日	茶席	茶会	茶室	100	多門みどり会 多門宗粒
12月7日	茶席	作品展	茶室	20	今岡三四郎
12月8日	茶席	作品展	茶室	20	今岡三四郎
12月11日	茶席	茶会	茶室	8	吉田市蔵
12月15日	茶席	撮影会	茶室	2	安澤亜恵
26年2月7日	茶席	茶会	茶室	5	五条坂・茶わん坂ネットワーク
26年2月8日	茶席	茶会	茶室	50	五条坂・茶わん坂ネットワーク
26年3月25日	庭園等の撮影	ポカリスウェットテレビCM撮影	噴水前広場、明治古都館前広場	30	(有)ケイズブリュ
26年3月29日	茶席	番組撮影	茶室	7	(株)プロデュース

## 2) 館主催・協カイベント 16件

期間	種類	タイトル	会場	出席者(人)	備考
4月7日	茶会	京博で愉しむ花見	茶室	66	
4月19日	落語	京都・らくご博物館(春)～新緑寄席～	ハイアット・リージェンシー京都 ドローイングルーム	160	米朝事務所共催
6月1日	音楽会	音燈華 vol.4 ～DEPAPEPE コンサート～	庭園	481	特別協賛:京阪電気鉄道株式会社 協力:日本香堂
7月19日	映画上映会	野外映画上映会	庭園	20	
7月26日	映画上映会	野外映画上映会	庭園	45	
10月13日	茶会	文化財保護基金チャリティ茶会	茶室	80	
10月13日	音楽会	二胡コンサート	明治古都館中央室	250	
10月18日	落語	京都・らくご博物館(秋)～紅葉寄席～	ハイアット・リージェンシー京都 ドローイングルーム	149	米朝事務所共催
10月20日	茶会	ミュージアム茶会	茶室	151	
10月27日	音楽会	中国琵琶コンサート	明治古都館中央室	280	
11月1日	講演	能のお話と講演 佐々木館長スペシャルトーク	明治古都館中央室	220	
11月3日	音楽会	中国琵琶コンサート	明治古都館中央室	280	
11月24日	音楽会	中国琵琶コンサート	明治古都館中央室	270	
11月29日	茶会	文化財保護基金チャリティ茶会	茶室	39	
12月1日	音楽会	二胡コンサート	明治古都館中央室	427	
12月8日	音楽会	中国琵琶コンサート	明治古都館中央室	420	

## 【奈良国立博物館】

### 1) 会場提供 51件

期間	種類	イベント等の概要	会場	出席者(人)	備考
4月6日	結婚式	結婚式	仏教美術資料研究センター	30	オーシャンフロント
4月20日	公演	「中将姫物語」の公演	仏教美術資料研究センター	107	五穀邦楽
4月21日	茶会	茶会	茶室	40	小林順子
5月12日	結婚式	結婚式	仏教美術資料研究センター	30	オーシャンフロント
5月21日	見学	デザイン・設計の参考	講堂・茶室	2	松井正
5月21日	講義・観覧	特別展鑑賞のための講義・観覧	講堂・展示室	28	読売新聞大阪本社
5月21日	講義・観覧	特別展鑑賞のための講義・観覧	会議室・展示室	15	クラブ関西
5月30日	講談・対談	「中将姫物語」の講談・対談	講堂・会議室	180	NPOなら・きらめきサポート
5月28日	特別観覧	なら仏像館夜間貸切観覧	なら仏像館	98	静岡市立美和中学校
6月6日	特別観覧	なら仏像館夜間貸切観覧	なら仏像館	97	目黒区立第四中学校
7月11日～14日	上映会	映画上映会・トークショー等	講堂・会議室・応接室	423	NPO法人なら国際映画祭実行委員会
7月14・17～19日	茶会	茶会	茶室	33	佐藤宗圭

期間	種類	イベント等の概要	会場	出席者(人)	備考
8月2日	実習	博物館学実習	講堂	31	佛教大学
8月3日	講義	小学生を対象にした「奈良の歴史に学ぶ」講演	講堂	60	NPO 法人まほろば教育事業団
8月8日	セミナー	世阿弥忌セミナー	講堂・会議室	102	能楽学会
8月10日	コンサート	音燈華 ジュスカ・グランパール (ギター・バイオリンの演奏)	茶室・西新館南側ピロティ	250	寧屋工房
8月11日	コンサート	音燈華 AUNクラックオーケストラ (三味線、太鼓、尺八、竜笛)	茶室・西新館南側ピロティ	250	寧屋工房
8月26日	説明会	国用品修理説明会	会議室	25	文化庁文化財部美術学芸課
8月27日	研修	奈良市教職員研修講座「世界遺産に学ぶ(6)博物館で学ぶ」	講堂	150	奈良市教育センター
9月11日	特別観覧	夜間貸切鑑賞会	展示室	43	榊日本香堂
9月14日	講演	美術史学会西支部大会開催	講堂	34	美術史学会西支部
9月24日~25日	見学	建築計画に理解を深める	仏教美術資料研究センター	44	兵庫県立大学
10月2日	茶会	茶会	茶室	30	学校法人 吉川学園
10月4日	講演	奈良公園 奈良のく本当の魅力>発見!講演	会議室	10	奈良青年会議所
10月4日~10月5日	敷地提供	日本青年会議所第62回全国大会奈良大会タクシー乗車用地	なら仏像館東側敷地	—	奈良青年会議所
10月26日~11月11日	茶席	正倉院展「野点のお茶席」	西新館南側ピロティ庭園	16,395	結の会
10月26日~11月11日	休憩所	休憩所及び甘味の販売	新館西側敷地	—	榊鶴屋吉信
10月26日~11月11日	休憩所	休憩所及び喫茶の販売	新館西側敷地	—	(有)日本クリーンシステムズ
10月26日~11月11日	キャンペーン	奈良県特産品の物販	新館西側敷地	—	校倉な会
10月26日~11月11日	キャンペーン	奈良県特産品の物販	新館西側敷地	—	なら和み館
10月26日~11月11日	キャンペーン	記念切手の販売	新館西側敷地	—	郵政事業株式会社
10月26日~11月11日	キャンペーン	奈良県特産品の物販	地下回廊	—	奈良県農林部マーケティング課
11月7日	検討会	奈良国立博物館修理所寄託品の修理検討会	会議室	12	愛知県立美術館
11月12日	特別観覧	なら仏像館夜間貸切観覧	なら仏像館	62	東海大学山形高等学校
11月14日	特別観覧	なら仏像館夜間貸切観覧	なら仏像館	169	秋田県立西目高等学校
11月17日	茶会	茶会	茶室	14	松岡 一生
11月23日	コンサート	TANTANAKYU フォルクレールコンサート	講堂・応接室	158	福田 晴久
11月30日	茶会	茶会	茶室	6	小林順子
12月7日	結婚式	結婚式	仏教美術資料研究センター	28	オーシャンフロント
12月8日	敷地提供	奈良マラソン2013バス駐車用地	なら仏像館西側敷地	—	奈良マラソン実行委員会
12月11日	特別観覧	なら仏像館夜間貸切観覧	なら仏像館	168	東京都立桜修館中等教育学校
12月14日	茶会	茶会	茶室	103	NAIST 茶道会
12月15日	特別観覧	なら仏像館夜間貸切観覧	なら仏像館	67	EMC Compo 2013
12月17日	敷地提供	春日若宮おん祭執行に係る敷地提供	一の鳥居付近の敷地	—	春日大社
26年1月21日	講演	第5回中高校部会世界遺産学習の勉強会	講堂	50	奈良市PTA連合会
26年2月13日	茶会	珠光茶会	茶室・ピロティ	95	奈良市
26年2月15日	コンサート	音燈華 ジュスカ・グランパール in Museum	仏教美術資料研究センター	160	寧屋工房
26年2月26日	講演	東大寺の大仏についての講演	講堂	57	奈良教育大学附属幼稚園
26年3月3日	講演	わいず倶楽部 特別陳列鑑賞のための講演	講堂	37	読売新聞大阪本社
26年3月7日	特別観覧	なら仏像館夜間貸切観覧	なら仏像館	220	日本フットケア学会
26年3月9日	講演	わいず倶楽部 特別陳列鑑賞のための講演	講堂	33	読売新聞大阪本社

2) 館主催・協カイベント 53件

期間	種類	イベント等の概要	会場	出席者(人)	備考
4月7日	イベント	當麻寺による出張イベント@奈良博「中将姫と當麻曼荼羅 絵解き拝礼式とともに」(講和と実演)	講堂	132	
4月9日	鑑賞会	賛助会員特別鑑賞会	講堂・展示室	36	
4月10日	観賞会	わいず倶楽部 解説付き小ツアー	なら仏像館	第1回 20 第2回 20 第3回 20 第4回 19	
4月10日 4月11日	鑑賞会	タクシー・ホテル等関係者特別鑑賞会	講堂・展示室	67	
4月14日	イベント	當麻寺による出張イベント@奈良博「當麻寺聖衆來迎練供養会式と菩薩講」(講和と実演)	仏教美術資料研究センター	180	
4月28日	イベント	第2回庭園・茶室案内ツアー	庭園・茶室	第1回 20 第2回 30	

期間	種類	イベント等の概要	会場	出席者(人)	備考
4月29日	イベント	當麻寺による出張イベント@奈良博「極楽浄土へのあこがれ」(講話)	講堂	166	
5月2日	イベント	第2回庭園・茶室案内ツアー	庭園・茶室	第1回 20 第2回 26	
5月3日	イベント	當麻寺による出張イベント@奈良博「當麻寺の雑学」(講話)	講堂	163	
5月6日	イベント	第2回庭園・茶室案内ツアー	庭園・茶室	第1回 20 第2回 17	
6月15日	コンサート	ムジークフェストなら2013 古都に響く王の舞曲 ～宮廷音楽と宮廷舞踏のひととき～	仏教美術資料研究センター	100	主催：ムジークフェストなら2013実行委員会
6月30日	コンサート	ムジークフェストなら2013 フルートの世界 ～国宝のほほえむ回廊で～	地下回廊	1900	主催：ムジークフェストなら2013実行委員会
7月20日 ～9月1日	イベント	夏休み 子供企画 「ほとけさまに会おう！ならはくスタンプラリー」	展示室・なら仏像館	2,020	
7月24日	講演会	賛助会員特別鑑賞会	講堂・展示室	31	
7月25日 7月26日	鑑賞会	タクシー・ホテル等関係者特別鑑賞会	講堂・展示室	76	
7月27日	イベント	夏休み親子企画 「ほとけさまの絵をかいてみよう！」	地下回廊	30	
7月28日	イベント	夏休み子ども教室『香木のフシギ！？』	地下回廊	58	主催：日本香堂 後援：奈良国立博物館
8月5日～14日	観光 イベント	「なら燈花会」カブ、オビヅ等を配置	新館周辺	—	主催：なら燈花会の会
8月10日	イベント	仏像を10倍楽しく見る方法を教えます！～ ～親子で奈良の世界遺産と仏像に会う～	講堂	47	主催：奈良市教育委員会
8月17日	体験 イベント	奈良トライアングルミュージアムズ 3館リレーワークショップ 仏像切り絵体験	地下回廊	40	主催：奈良トライアングルミュージアムズ
8月18日	体験 イベント	奈良トライアングルミュージアムズ 3館リレーワークショップ 写仏散華体験	地下回廊	53	主催：奈良トライアングルミュージアムズ
8月24日 ～9月8日	観光 イベント	光のオルゴール in ライトアッププロムナード	仏教美術資料研究センター前	—	主催：ならファンタジー実行委員会
8月25日	イベント	トークセッション「仏像模刻にかける青春群像！」	講堂	110	
9月7日	イベント	仏教美術資料研究センター案内ツアー	仏教美術資料研究センター	第1回 40 第2回 42	
9月21日	イベント	ライトアップコンサート 「言霊と音霊の夜会-第五章-」	仏教美術資料研究センター	150	主催：ライトアッププロムナード・なら実行委員会
9月28日	イベント	奈良トライアングルミュージアムズ 神戸シンポジウム「奈良の仏像の楽しみ方」	兵庫県立美術館	250	主催：奈良トライアングルミュージアムズ
10月14日	体験 イベント	奈良トライアングルミュージアムズ 外国人専用ワークショップなら 「写仏散華体験」	仏教美術資料研究センター	100	主催：奈良トライアングルミュージアムズ
10月25日	観光 イベント	「柿の日」に因み、奈良県特産物である柿を配布し「奈良の柿」をPR	新館前広場	—	主催：奈良県農林部 奈良県農業協同組合
10月26日 ～11月11日	観光 イベント	正倉院展「あるくん奈良スタンプラリー」	正倉院展読売新聞ブース	—	主催：はじまりは正倉院展実行委員会
10月26日 ～11月11日	展示	正倉院展「いけばな展示」 法華寺小池御流のいけばな展示	西新館1階ロビー	—	
10月26日 ～11月11日	展示	正倉院展作文コンクール入賞作品展示	地下回廊	—	主催：奈良国立博物館 読売新聞社
10月26日	セミナー	正倉院展特別セミナー	仏教美術資料研究センター	110	
10月27日	シンポジウム	正倉院学術シンポジウム2013 「鑑真和上と正倉院宝物」	奈良県新公会堂	194	
10月28日	鑑賞会	賛助会員特別鑑賞会	講堂・展示室	91	
10月29日 10月30日	鑑賞会	タクシー・ホテル等関係者特別鑑賞会	講堂・展示室	283	
11月1日	イベント	古典の日フォーラム「古典の魅力を堪能する」	仏教美術資料研究センター	133	
11月1日	特別観覧	留学生の日	展示室・なら仏像館	92	
11月3日	鑑賞会	第65回正倉院展 親子鑑賞会	講堂・展示室	182	
11月16日～17日	特別観賞	関西文化の日	なら仏像館	1日目 2,385 2日目 2,488	
11月23日～24日	イベント	第3回庭園・茶室案内ツアー	庭園・茶室	1日目 38 2日目 49	
11月24日	事業報告会	文化財保存修理所事業成果報告 「雄勝法印神楽神楽復興に生きた文化財修理のわざ」	講堂	71	共催：国立民族学博物館

期間	種類	イベント等の概要	会場	出席者(人)	備考
12月15日	イベント	奈良トライアングルミュージアムズ 東京セミナー ～また冬の奈良へ行こう～	奈良まほろば館	71	主催:奈良トライアングルミュージアムズ
12月17日	茶会	おん祭と春日信仰の美術「茶会」	茶室・庭園、西新館南側ピロティ	71	主催:裏千家 泉本宗悠
12月26日	特別鑑賞会	奈良国立博物館文化財修復プレミアム・ミュージアム・ビューイング	講堂・展示室・茶室・庭園・仏教美術資料研究センター	26	
26年2月8日～14日	観光イベント	第5回しあわせ回廊 なら瑠璃絵 ウォーターアートプロジェクト(新館北側の池噴水にプロジェクターによる画像投影)	新館北側の池(噴水)	—	主催:なら瑠璃絵実行委員会
26年2月8日	体験イベント	奈良トライアングルミュージアムズ 3館リレーワークショップ 仏像切り絵体験	地下回廊	51	主催:奈良トライアングルミュージアムズ
26年2月9日	体験イベント	奈良トライアングルミュージアムズ 3館リレーワークショップ 写仏散華体験	地下回廊	45	主催:奈良トライアングルミュージアムズ
26年2月10日	講演会	第5回しあわせ回廊 なら瑠璃絵 特別講演会「古都奈良の演劇的空間」	講堂	160	主催:なら瑠璃絵実行委員会
26年2月13日	特別公開	文化財保存修理所特別公開 文化財修理の工程を、具体的作品を通して解説 修理所の工房を見学(ガラス越)	講堂・修理所	第1回 41 第2回 38 第3回 38	
26年2月16日	講演特別観賞体験	お水取り「講話」と「粥」の会	講堂・展示室・茶室控室・東大寺二月堂	38	
26年3月4日	講演体験	お水取り展鑑賞とお松明	講堂・展示室 東大寺本坊・二月堂	128	主催:結の会
26年3月29日	イベント	春の庭園散策ツアー	庭園・茶室	28	
26年3月29日	イベント	仏教美術資料研究センター建物公開	仏教美術資料研究センター	753	

【九州国立博物館】

1) 会場提供 10件

期間	種類	イベント等の概要	会場	出席者(人)	備考
8月7日	貸館	一支国産公演	ミュージアムホール	150	主催:一支国産
8月17日	貸館	エレキット夏休み工作教室 in 太宰府 2013	研修室	39	主催:(株)イーケイジャパン
11月6日～8日	貸館	日本職人會秋の工芸展	ミュージアムホール	—	主催:日本職人會
11月24日	貸館	第4回太宰府市民茶会	茶室・研修室・和室	350	主催:太宰府茶道文化連盟
12月21日	貸館	水城築造 1350年プレ記念講演会「水城築造 1350年—ここまでわかった水城の構造—」	ミュージアムホール	200	主催:太宰府市/太宰府市教育委員会
26年1月1日～5日	貸館	九州女子大学卒業書作展	ミュージアムホール	3,000	主催:九州女子大学
26年2月11日	貸館	香蘭女子短期大学ファッション総合学科 2014卒業記念ショーテーマ:繋ぐ—AINU&KORAN—	ミュージアムホール	820	主催:香蘭女子短期大学
26年3月11日～14日	貸館	京仏師 伝承の世界	ミュージアムホール	—	主催:雅音
26年3月22日	貸館	太宰府市景観・市民遺産会議	ミュージアムホール	50	主催:太宰府市
26年3月22日	貸館	もうそ保存会シンポジウム	ミュージアムホール	80	主催:もうそ保存会

2) 館主催・協カイベント 105件

期間	種類	イベント等の概要	会場	出席者(人)	備考
4月14日	共催	スプリングコンサート「子供たちとアンサンブル Piuの音楽会」	ミュージアムホール	120	主催:九州国立博物館振興財団
4月26日	主催	きゅーはくカフェコンサート	エントランス	60	主催:九州国立博物館/福岡女子短大
4月27日	主催	第22回 はじめての茶道体験	茶室	8	主催:九州国立博物館
4月29日	主催	第107回 きゅーはくミュージアムコンサート	ミュージアムホール	321	主催:九州国立博物館
5月5日	主催	ボランティア企画イベント蒔絵螺鈿	エントランス	74	主催:九州国立博物館
5月6日	主催	ボランティア企画イベント九博かるた大会	エントランス	29	主催:九州国立博物館
5月8日～19日	共催	「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」写真展	エントランス	30,654	主催:NPO法人世界遺産長崎チャータートラスト
5月18日	主催	第28回 親子で茶道体験	茶室	57	主催:九州国立博物館
5月18日	主催	第108回 きゅーはくミュージアムコンサート	ミュージアムホール	218	主催:九州国立博物館
5月19日	主催	第23回 はじめての茶道体験	茶室	8	主催:九州国立博物館
5月19日	主催	ライブベトナム	ミュージアムホール	600	主催:九州国立博物館
5月24日	主催	きゅーはくカフェコンサート	エントランス	70	主催:九州国立博物館/福岡女子短大
5月26日	主催	第1回 ガムランワークショップ	ミュージアムホール	30	主催:九州国立博物館
6月1日	共催	ベトナム民俗楽器トルンによる「さわやかなひととき」	ミュージアムホール	250	主催:九州国立博物館振興財団
6月4日～9日	共催	北九州市制50周年記念「北九州市PRブース」	エントランス	23,162	主催:北九州市制50周年記念事業実行委員会

期間	種類	イベント等の概要	会場	出席者(人)	備考
6月8日	主催	第109回 きゅーはくミュージアムコンサート	ミュージアムホール	150	主催：九州国立博物館
6月8日	主催	第29回 親子で茶道体験	茶室	43	主催：九州国立博物館
6月15日	主催	第2回 ガムランワークショップ	ミュージアムホール	38	主催：九州国立博物館
6月21日	主催	きゅーはくカフェコンサート	エントランス	20	主催：九州国立博物館／福岡女子短大
6月22日	主催	第24回 はじめての茶道体験	茶室	19	主催：九州国立博物館
7月6日	主催	第3回 ガムランワークショップ	ミュージアムホール	18	主催：九州国立博物館
7月7日	主催	太宰府市民吹奏楽団まほろばコンサート	ミュージアムホール	570	主催：太宰府市民吹奏楽団／九州国立博物館
7月15日	主催	第110回 きゅーはくミュージアムコンサート	ミュージアムホール	240	主催：九州国立博物館
7月15日	主催	第25回 はじめての茶道体験	茶室	3	主催：九州国立博物館
7月19日	主催	きゅーはくカフェコンサート	エントランス	70	主催：九州国立博物館／福岡女子短大
7月23日～28日	共催	『九州国立博物館、北九州市立自然史・歴史博物館連携・交流事業展示』	エントランス	11,873	主催：北九州市立自然史・歴史博物館
7月26日	主催	きゅーはくカフェコンサート	エントランス	40	主催：九州国立博物館／福岡女子短大
7月27日	主催	講演会「青銅彝器からみた夏王朝と商王朝の興亡」	研修室	80	主催：九州シルクロード協会
7月27日～28日	主催	いこうよ！あじっば夏祭り2013	ミュージアムホール	600	主催：九州国立博物館
7月27日	主催	第30回 親子で茶道体験	茶室	31	主催：九州国立博物館
7月28日	主催	第31回 親子で茶道体験	茶室	47	主催：九州国立博物館
8月4日	主催	第111回 きゅーはくミュージアムコンサート	ミュージアムホール	100	主催：九州国立博物館
8月9日～11日	主催	ボランティア企画イベント七夕飾り・浴衣体験	エントランス、屋外	400	主催：九州国立博物館
8月11日	共催	ふくおか歴史の散歩道①「博多・太宰府 歴史のこぼれ話」	ミュージアムホール	72	主催：NPO法人 鴻臚館・福岡城歴史・観光・市民の会
8月11日	主催	第26回 はじめての茶道体験	茶室	13	主催：九州国立博物館
8月16日	主催	きゅーはくカフェコンサート	エントランス	100	主催：九州国立博物館／福岡女子短大
8月23日	主催	きゅーはくカフェコンサート	エントランス	60	主催：九州国立博物館／福岡女子短大
8月24日～25日	共催	吉野ヶ里 Days in 九博	ミュージアムホール	512	主催：佐賀県教育委員会／吉野ヶ里歴史公園マネジメント共同企業体／国営吉野ヶ里歴史公園事務所／吉野ヶ里公園管理センター
8月24日	主催	第32回 親子で茶道体験	茶室	21	主催：九州国立博物館
8月25日	主催	第33回 親子で茶道体験	茶室	25	主催：九州国立博物館
8月27日～30日	共催	京築神楽写真展	エントランス	9,806	主催：京築連帯アメニティ都市圏推進会議／京築神楽の里づくり推進会議
9月3日～8日	共催	第8回海外福岡県人会世界大会記念「海外福岡県人会写真展」	エントランス	17,148	主催：第8回海外福岡県人会世界大会実行委員会
9月8日	主催	第27回 はじめての茶道体験	茶室	11	主催：九州国立博物館
9月8日	主催	第112回 きゅーはくミュージアムコンサート	ミュージアムホール	330	主催：九州国立博物館
9月10日～16日	協力	2013年日中青少年書画交流展	エントランス	30,114	主催：九州国立博物館振興財団
9月10日～16日	共催	日中未来の子ども100人の写真展覧会	ミュージアムホール	2,490	主催：「日中未来の子ども100人の写真展覧会」福岡おとなの会
9月18日～29日	共催	第12回太宰府の香り・風景写真コンテスト入賞作品展	エントランス	16,317	主催：太宰府観光協会
9月25日	後援	『太宰府 古都の光』	屋外	—	主催：太宰府ブランド創造協議会
10月12日	協力	アサヒ緑健スポーツメセナ 第11回ふれあい健康ウォーク	屋外	1,673	主催：西日本新聞社
10月13日	共催	ふくおか歴史の散歩道②「大宰府を結ぶハイウェイを探る～古代官道ロマン」	ミュージアムホール	115	主催：NPO法人 鴻臚館・福岡城歴史・観光・市民の会
10月13日	主催	ボランティアイベント学生会 秋の陣 能装束・すごろく・貝合わせ	エントランス／研修室	50	主催：九州国立博物館
10月13日	主催	第28回 はじめての茶道体験	茶室	3	主催：九州国立博物館
10月14日	主催	第34回 親子で茶道体験	茶室	55	主催：九州国立博物館
10月14日	主催	第113回 きゅーはくミュージアムコンサート	ミュージアムホール	260	主催：九州国立博物館
10月16日～20日	協力	日本風景街道九州ルートパネル展	エントランス	800	主催：国土交通省九州地方整備局
10月18日	主催	きゅーはくカフェコンサート	エントランス	50	主催：九州国立博物館／福岡女子短大
10月19日	主催	8周年イベント「日本とタイの伝統人形劇」	ミュージアムホール	444	主催：九州国立博物館
10月27日	協力	「いいな、いい歯。」週間普及啓発事業	屋外	1,000	主催：(社)筑紫歯科医師会
10月29日～11月10日	共催	神話のふるさとみやざき神楽展(御神屋再現、パネル展示、DVD上映)	エントランス	56,574	主催：宮崎県
11月3日	主催	第29回 はじめての茶道体験(留学生限定)	茶室	25	主催：九州国立博物館
11月3日	主催	国際文化交流ツアーin 九博	第一会議室	23	主催：九州国立博物館
11月4日	主催	第35回 親子で茶道体験	茶室	58	主催：九州国立博物館
11月4日	共催	神話のふるさとみやざき神楽展(高千穂神楽公演・講演会)	ミュージアムホール	449	主催：宮崎県
11月10日	主催	第114回 きゅーはくミュージアムコンサート	ミュージアムホール	190	主催：九州国立博物館
11月15日～17日	共催	第8回九州地域ブランドフォーラム	エントランス、屋外	3,000	主催：日本イベントプロデューズ協会九州本部
11月22日	主催	きゅーはくカフェコンサート	エントランス	170	主催：九州国立博物館／福岡女子短大

期間	種類	イベント等の概要	会場	出席者(人)	備考
11月23日	主催	第4回 ガムランワークショップ	ミュージアムホール	28	主催:九州国立博物館
11月30日	共催	キャンパスフェスタ	エントランス	4,990	主催:太宰府キャンパスネットワーク会議
12月1日	主催	第30回 はじめての茶道体験	茶室	13	主催:九州国立博物館
12月1日	主催	第115回 きゅーはくミュージアムコンサート	ミュージアムホール	210	主催:九州国立博物館
12月7日	共催	日本アートマネジメント学会第15回全国大会記念フォーラム	ミュージアムホール	125	主催:日本アートマネジメント学会、テレビ西日本、西日本新聞社
12月8日	共催	ふくおか歴史の散歩道③「黒田如水と福岡城・太宰府」	ミュージアムホール	126	主催:NPO法人 鴻臚館・福岡城歴史・観光・市民の会
12月13日	主催	きゅーはくカフェコンサート	エントランス	30	主催:九州国立博物館/福岡女子短大
12月14日	共催	奄美群島21世紀の可能性ー復帰60周年記念ー	ミュージアムホール	220	主催:筑紫女学園
12月14日	主催	第36回 親子で茶道体験	茶室	32	主催:九州国立博物館
12月15日	主催	第5回 ガムランワークショップ	ミュージアムホール	28	主催:九州国立博物館
26年1月5日	主催	ボランティアイベント書き初め	エントランス	150	主催:九州国立博物館
26年1月11日	主催	第116回 きゅーはくミュージアムコンサート	ミュージアムホール	220	主催:九州国立博物館
26年1月12日	主催	トピック展「ロシアが見たアイヌ文化」関連ミュージアムフェア in 九博	ミュージアムホール	350	主催:九州国立博物館
26年1月15日~26日	共催	~淡窓に二度会える~国史跡「広瀬淡窓旧宅及び墓」指定記念巡回展『淡窓生家と廣瀬家展』	エントランス	29,756	主催:廣瀬家/公益財団法人廣瀬資料館/廣瀬淡窓旧宅指定記念展示会実行委員会
26年1月15日~26日	共催	ひなの国九州フェスタ2014	エントランス	29,756	主催:九州ひなまつり広域振興協議会
26年1月19日	主催	第31回 はじめての茶道体験	茶室	12	主催:九州国立博物館
26年1月24日	主催	きゅーはくカフェコンサート	エントランス	50	主催:九州国立博物館/福岡女子短大
26年1月26日	主催	第37回 親子で茶道体験	茶室	51	主催:九州国立博物館
26年1月28日	共催	神楽の故郷 京築神楽展	ミュージアムホール・エントランス	12,812	主催:神楽の里づくり推進協議会
26年2月4日	共催	水城築造1350年パネル展	エントランス	16,848	主催:水城・大野城・基肄城築造1350年実行委員会
26年2月9日	主催	第32回 はじめての茶道体験	茶室	7	主催:九州国立博物館
26年2月11日	共催	「宗像・沖ノ島と関連遺産群」展	エントランス	23,807	主催:「宗像・沖ノ島と関連遺産群」世界遺産推進会議、「福岡県近代化産業遺産」世界遺産登録連絡会議
26年2月14日	共催	「宗像・沖ノ島と関連遺産群」展公開講座	ミュージアムホール	202	主催:「宗像・沖ノ島と関連遺産群」世界遺産推進会議、「福岡県近代化産業遺産」世界遺産登録連絡会議
26年2月15日	主催	第6回ガムランワークショップ	ミュージアムホール	14	主催:九州国立博物館
26年2月16日	共催	ふくおか歴史の散歩道④「太宰府天満宮 曲水の宴に寄せて」	ミュージアムホール	60	主催: NPO法人 鴻臚館・福岡城歴史・観光・市民の会
26年2月18日	主催	筑紫地区児童画展	エントランス	29,939	主催:九州国立博物館を愛する会
26年2月23日	主催	第38回 親子で茶道体験	茶室	58	主催:九州国立博物館
26年2月23日	主催	第117回 きゅーはくミュージアムコンサート	エントランス	300	主催:九州国立博物館
26年2月25日~3月1日	共催	第8回福岡県景観大会「景観文化展作品等展示」	エントランス	22,354	主催:福岡県・福岡県美しいまちづくり協議会
26年3月1日	共催	第8回福岡県景観大会「表彰式」「まちづくり団体活動発表会」	ミュージアムホール	150	主催:福岡県・福岡県美しいまちづくり協議会
26年3月2日	主催	第118回 きゅーはくミュージアムコンサート	ミュージアムホール	320	主催:九州国立博物館
26年3月4日~16日	共催	筑紫地区文化財写真展「古代の筑紫へタイムトリップ」	エントランス	40,012	主催:筑紫地区社会教育振興協議会
26年3月6日	主催	きゅーはくカフェコンサート	エントランス	130	主催:九州国立博物館/福岡女子短大
26年3月8日	主催	第7回 ガムランワークショップ	ミュージアムホール	28	主催:九州国立博物館
26年3月18日~23日	共催	太宰府市景観・市民遺産会議パネル展	エントランス	10,743	主催:太宰府市
26年3月21日	主催	第18回九博デー「エコ・環境から見た博物館と地域」	ミュージアムホール	80	主催:九州国立博物館を愛する会
26年3月21日	主催	第33回 はじめての茶道体験	茶室	18	主催:九州国立博物館
26年3月23日	主催	第39回 親子で茶道体験	茶室	59	主催:九州国立博物館
26年3月29日	共催	博多にわか笑演会 in 九州国立博物館	ミュージアムホール	60	主催:博多仁和加振興会

2-(2)-⑩ 「留学生の日」

館名・日程	内容	アンケート結果概要
東京国立博物館 9月21日(土) 9:30~18:00	○参加者数 663人《736人》 留学生 568人《682人》 同伴者 95人《54人》  ・無料観覧(総合文化展のみ) ・ボランティアによる茶会 参加者数:36人(2回計) ・ボランティアによる英語ガイド 参加者数:320人 ・ボランティアによるガイドツアー 参加者数:324人	・留学生アンケート回答者数249人 回収率 38% ・出身国および地域:中国41%、台湾10%、韓国3%、アメリカ5% 他 ・認知経路:ポスター59%(掲示場所:学校134件、その他10件)友人23%、インターネット10%、学校関係者8% ・参加したイベント:観覧のみ50%、お茶会6%、本館ハイライトガイドツアー9%、英語ガイド16%
京都国立博物館 11月1日(金) 9:30~18:30	○参加者数 128人《63人》 留学生 124人《60人》 同伴者 4人《3人》  ・特別展覧会「魅惑の清朝陶磁」、 古典の日記念イベント「能のお話と実演」 「佐々木丞平館長によるスペシャルトーク」 無料観覧	・留学生アンケート回答者数30人 (回収率23%) ・初めて来館した人が83% ・40%がポスター・チラシで知り、30%が先生・友達から聞き、12%がウェブサイトを見て来館 ・出身国:回答者のうち77%がアジア出身 ・特別展の満足度 84%
奈良国立博物館 11月1日(金) 9:00~18:00 (正倉院展会期中のため9:00開館)	○来館者数 15,158人《13,452人》 留学生 92人《125人》  ・「正倉院展」(特別展)及び名品展の無料観覧	・アンケート実施せず (正倉院展開催中につき実施困難)
九州国立博物館 11月3日(日・祝) 9:30~17:00	○来館者数 文化交流展(平常展) 2,528人《2,490人》 留学生 29人《185人》 ※同伴者のカウントはなし ・文化交流展(平常展)のみ無料観覧 ・国際文化交流ツアーIN九博 ・留学生限定 はじめての茶道体験	・留学生アンケート回答者数 40人 ・出身国:中国47%、台湾24%、インドネシア12%、ドイツ5% 他 ・来館頻度:初めて62%、2回目17% 他 ・認知経路(複数回答):学校関係者から24人、友達から9人、ウェブサイト7人 他 ・来館理由(複数回答):日本文化や歴史をもっと知りたいから31人、博物館に来るのが好きだから10人 他 ・参加イベント:国際文化交流ツアー45%、茶道体験67% ・文化交流展満足度:70% ・国際交流文化ツアー参加者 23人 ・留学生限定茶道体験参加者 25人

\* 来館者数、参加者数等:《 》内は平成24年度

2-(3) 快適な観覧環境の提供

2-(3)-① 高齢者、障がい者等に配慮した設備等

平成26年3月31日現在

	東京国立博物館	京都国立博物館	奈良国立博物館	九州国立博物館
障がい者用トイレ	14カ所 (本館5、平成館2、東洋館1、法隆寺宝物館1、資料館1、黒田記念館2、表慶館2(要介添え))	8カ所 (平成知新館4、明治古都館1、南門施設1(乳児ベッド併設)、屋外トイレ1、文化財保存修理所1)	3カ所 (東新館1、地下回廊2)	6カ所 (本体建物)
障がい者用エレベータ	11基 (本館1、平成館1、東洋館4、法隆寺宝物館1、黒田記念館2、表慶館1)	4基 (平成知新館4) 昇降装置1基 (管理棟1)	4基 (なら仏像館1、なら仏像館附属棟1、東新館1、西新館1)	2基 (本体建物)
スロープ	4カ所 (本館、東洋館、法隆寺宝物館、表慶館)	4カ所 (平成知新館1、明治古都館1、南門施設1、文化財保存修理所1)	3カ所 (なら仏像館1、なら仏像館附属棟1、西新館1)	—
ハンディキャップ優先駐車	2台	2台	足の不自由な方に対して有	3台
車椅子	27台 (正門3、本館4、東洋館2、平成館15、法隆寺宝物館2、資料館1)	17台	12台	28台
乳幼児用設備	○ベビーカー 2台 ○ベビーシート 14カ所 ○ベビーカーチェア 11カ所	○ベビーカー 6台 ○ベビーシート 10カ所 ○ベビーカーチェア 10カ所	○ベビーシート 2カ所 ○ベビーカー 1カ所 ○おむつ交換台 1カ所	○ベビーカー 9台 ○ベビーシート 15カ所 ○ベビーカーチェア 6カ所
25年度整備事項			・多目的トイレにオストメイト用設備を整備した。	・「ほじょ犬」専用トイレを整備した。

2-(3)-② 音声ガイド実施状況

東京国立博物館	京都国立博物館	奈良国立博物館	九州国立博物館
25年度計：150,214台	25年度計：17,202台	25年度計：46,953台	25年度計：55,611台
「国宝 大神社展」 37,449台	・特別展 「狩野山楽・山雪」 12,496台	・特別展 「當麻寺—極楽浄土へのあこがれ—」 (日本語版・一般向け) 4,697台	・文化交流展示 5,341台 (英語版 1,473台) (中国語版 920台) (韓国語版 2,948台)
・特別展 「和様の書」 21,553台	・特別展観 「遊び」 1,596台	・特別展 「みほとけのかたち—仏像に会う—」 (日本語版・一般向け) 2,919台	・特別展 「大ベトナム」展 7,205台
・特別展 「上海博物館 中国絵画の至宝」 2,709台	・特別展 「魅惑の清朝陶磁」 3,110台	・特別展 「第65回正倉院展」 (日本語版・一般向け) 38,216台	・特別展 「中国 王朝の至宝」展 11,385台
・特別展 「京都 洛中洛外図と障壁画の美」 63,447台		(英語版・一般向け) 213台	・特別展 「尾張徳川家の至宝」展 18,787台
・特別展 「クリーブランド美術館展 名画でたどる日本の美」 12,797台		(日本語版・子供向け) 908台	・特別展 「国宝 大神社」展 12,893台
・特別展 「人間国宝展 生み出された美、伝えゆくわざ」 12,259台			
(参考) 今年度ダウンロード件数			
・「トーハクナビ」 Android版1,775件 iOS版2,928件			
・「法隆寺宝物館30分ナビ」 iOSアプリ1,603件			

## 2-(4) 文化財情報の発信と広報の充実

### 2-(4)-① 収蔵品写真（フィルム）等のデジタル化件数

東京国立博物館	京都国立博物館	奈良国立博物館	九州国立博物館
画像550,305件	画像 2,682 件 文字 5,323 件	画像 7,615件 文字 9,093件	画像 62件

### 2-(4)-② 収集した情報資料数（総数）

	東京国立博物館		京都国立博物館		奈良国立博物館		九州国立博物館		
	25年度新規	総数	25年度新規	総数	25年度新規	総数	25年度新規	総数	
写真原板(フィルム)	22件	321,037件	1,406件	257,124件	87件	361,481件	822件	23,618件	
デジタル撮影	9,843件	45,897件	3,119件	3,834件	4,561件	26,088件	690件	7,617件	
資料	模造						0	0	
	模写						0	0	
	その他						0	0	
	計						0	0	
図書	和書	4,038冊	182,546冊	2,303冊	128,855冊	2,003冊	77,650冊	3,792冊	81,732冊
	漢書	854冊	39,152冊	74冊	21,569冊	85冊	5,101冊	0冊	0冊
	洋書	97冊	12,665冊	126冊	4,382冊	37冊	(*1)1,729冊	103冊	2,366冊
	計	4,989冊	234,363冊	2,503冊	154,806冊	2,125冊	84,480冊	3,895冊	84,098冊
映画フィルム	0巻	0巻	0巻	24巻	0巻	30巻	0巻	0巻	
スライド	0本	0本	0本	26本	0本	21本	0本	0本	
	0コマ	0コマ	0コマ	2,779コマ	0コマ	2,192コマ	0コマ	12コマ	
マイクロフィルム	0巻	3,657巻	0巻	359巻	0巻	68巻	0巻	515巻	

※(\*1)の項目については、総数再確認の結果、平成24年度年報に記載の24年度総数が修正となった(〈奈良博〉洋書1,682冊→1,692冊)。本表の記載は、この修正を踏まえたものである。

### 東京国立博物館資料館の利用者数（過去5年間）

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
利用者数	2,898人	2,796人	3,385人	4,828人	5,661人
閉架図書（閲覧）	7,527件	3,138件	3,032件	3,571件	3,909件
マイクロフィルム（閲覧）	577件	994件	573件	603件	466件
レファレンスサービス	2,973件	3,339件	2,783件	6,249件	6,802件
コピーサービス	22,438枚	26,210枚	19,983枚	25,419枚	23,801枚

※23年9月1日より、従来からの西門入館利用に加え、正門からの来館者に対し資料館東口からの利用を開始した。以後の利用者数はこれを含む。

2-(4)-③ 特別観覧件数

申請件数

平成26年3月31日現在

区 分	国立博物館			東京国立博物館			京都国立博物館			奈良国立博物館			九州国立博物館		
	合計	有料	無料	合計	有料	無料	合計	有料	無料	合計	有料	無料	合計	有料	無料
合 計	351	13	338	142	3	139	70	5	65	68	2	66	71	3	68
写 真 撮 影	77	1	76	4	0	4	16	1	15	27	0	27	30	0	30
映 画 撮 影	14	11	3	3	3	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
テ レ ビ 撮 影							3	3	0		2	2	0	5	3
ビ デ オ 撮 影							0	0	0	0	0	0	1	0	1
模 写	8	0	8	3	0	3	0	0	0	3	0	0	2	0	2
模 造							0	0	0		0	0	0	0	0
熟 覧	252	1	251	132	0	132	51	1	50	36	0	36	33	0	33

点数

平成26年3月31日現在

区 分	国立博物館			東京国立博物館			京都国立博物館			奈良国立博物館			九州国立博物館		
	合計	有料	無料	合計	有料	無料	合計	有料	無料	合計	有料	無料	合計	有料	無料
合 計	1,757	40	1,717	880	12	868	294	10	284	192	10	182	391	8	383
写 真 撮 影	306	1	305	5	0	5	51	1	50	79	0	79	171	0	171
映 画 撮 影	47	38	9	12	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
テ レ ビ 撮 影							8	8	0	10	10	0	11	8	3
ビ デ オ 撮 影							0	0	0	0	0	0	6	0	6
模 写	18	0	18	4	0	4	0	0	0	7	0	0	7	0	7
模 造							0	0	0		0	0	0	0	
熟 覧	1,386	1	1,385	859	0	859	235	1	234	96	0	96	196	0	196

2-(4)-④ 画像利用件数（フィルムを含む）

申請件数

平成26年3月31日現在

区 分	国立博物館			東京国立博物館			京都国立博物館			奈良国立博物館			九州国立博物館		
	合計	有料	無料	合計	有料	無料	合計	有料	無料	合計	有料	無料	合計	有料	無料
画 像 利 用	フィルムでの提供	モノクロ	0	0	0	(画像提供業務を外部へ委託)	/			/			0	0	0
		カラー	6	3	3								6	3	3
	デジタルデータ提供	モノクロ	1,162	858	304		705	588	117	345	221	124	1	0	1
		カラー					0	0	0	111	49	62			
	プリントでの提供	モノクロ	86	72	14		86	72	14	0	0	0	/		
カラー		2	1	1	0	0	0	2	1	1					
画像再利用	161	109	52	/			149	100	49	12	9	3			

点数

平成26年3月31日現在

区 分	国立博物館			東京国立博物館			京都国立博物館			奈良国立博物館			九州国立博物館		
	合計	有料	無料	合計	有料	無料	合計	有料	無料	合計	有料	無料	合計	有料	無料
画 像 利 用	フィルムでの提供	モノクロ	0	0	0	(画像提供業務を外部へ委託)	/			/			0	0	0
		カラー	53	4	49								53	4	49
	デジタルデータ提供	モノクロ	5,531	3,193	2,338		2,864	2,200	664	2,092	860	1,232	1	0	1
		カラー					0	0	0	574	133	441			
	プリントでの提供	モノクロ	935	150	785		935	150	785	0	0	0	/		
カラー		27	19	8	0	0	0	27	19	8					
画像再利用	427	213	214	/			368	192	176	59	21	38			

## 2-(4)-⑤ 広報実績一覧

### 【東京国立博物館】

#### (1) 総合文化展（平常展）

##### ・特別企画

##### 「博物館でお花見を」

会期：平成25年3月19日（火）～4月14日（日）

ターゲット：一般の美術愛好家、家族連れ、日本人および外国人観光客

重点項目：広く一般のマスコミを通じた情報提供。

特記事項：イベント広報を通じて、まだ博物館に来たことのない人の来館を促進。家族づれや外国人観光客向けの媒体へのプロモートを実施。

種類	設置場所・件数等
ポスター・チラシ・DM送付	約1,239件(博物館・美術館・学校・ホール・大使館・ギャラリー・ホテル・旅館・カルチャーセンター等)
交通広告	駅貼り(JR山手シングル 15駅 30面、JR上野、鶯谷、横浜、大宮4駅 8面、東京メトロ上野、浅草、稲荷町、六本木、竹橋、表参道、東京など16駅 22面、京王電鉄 約10駅 100面、京成電鉄14駅 14面)
新聞・雑誌広告	朝日新聞1回、読売新聞2回、毎日新聞1回、ジャパントイムズ1回、デイリーヨミウリ1回
テレビ広告	—
新聞掲載	読売新聞、毎日新聞、東京新聞 他
テレビなど	めざましテレビ(フジテレビ)、情報7daysニュースキャスター(テレビ朝日) 他
雑誌掲載	クロワッサン(マガジンハウス)、ノジュール(JTBパブリッシング)、日経おとなのOFF(日経BP)、東京ウォーカー(カドカワマガジズ)、週刊朝日(朝日新聞出版) 他
博物館ニュース	特集2回
インターネット	当館ウェブサイトでの紹介、ブログ関連記事1回、メールマガジンでの情報配信

##### 「秋の特別公開」

会期：平成25年9月18日（水）～9月29日（日）

ターゲット：一般の美術愛好家、家族連れ、国内外からの観光客、留学生

重点項目：広く一般のマスコミを通じた情報提供

特記事項：期間中に留学生の日を開催

リリースの配信(約280件)。

特別夜間開館・コンサートを開催。イベントをきっかけとした露出を図った。

種類	設置場所・件数等
ポスター・チラシ・DM送付	約1654件(1都3県博物館・美術館・高校・中学・小学校(台東・墨田・文京)・ギャラリー・ホテル・旅館・カルチャーセンター等)
交通広告	駅貼り(JRベンチ広告〈上海美術館展と各2分の1〉6駅：浜松町、田町、神田、上野、鶯谷、東京メトロ上野・浅草・上野広小路 3駅5面、京王 大学のある駅 20面)
新聞・雑誌広告	朝日新聞1回
テレビ広告	—
新聞掲載	東京新聞 ほか
テレビなど	—
雑誌掲載	—
博物館ニュース	特集1回
インターネット	当館ウェブサイトでの紹介、ブログ関連記事4回、メールマガジン・SNSでの情報配信

##### ・特集陳列「清時代の書」

会期：平成25年10月8日（火）～12月1日（日）

ターゲット：書道愛好家

重点項目：新聞及び書・美術専門雑誌に向けてのプロモート

特記事項：台東区立書道博物館、朝倉彫塑館との連携企画。

リリースを配信(約280件)

2館連携報道内覧会の実施(10月7日、9人出席)

種類	設置場所・件数等
ポスター・チラシ・DM送付	台東区書道博物館から送付
交通広告	駅貼り広告(JR上野、鶯谷、日暮里、秋葉原、品川など11駅22面、東京メトロ上野、浅草、表参道、六本木、大手町、銀座など11駅22面)
新聞・雑誌広告	朝日半5段 1回
テレビ広告	—
新聞掲載	毎日新聞 ほか
テレビなど	—
雑誌掲載	「月刊書道界」 ほか
博物館ニュース	注目の特集掲載 1回
インターネット	当館ウェブサイトでの紹介、ブログ関連記事4回、メールマガジン・SNSでの情報配信

##### ・特別企画

##### 「留学生の日」

会期：平成25年9月21日（土）

ターゲット：留学生

重点項目：学校を通じた広報

特記事項：リリースの配信(約280件)、ポスター・チラシの制作、学校へのDM

種類	設置場所・件数等
ポスター・チラシ・DM送付	約500件(大学、語学専門学校等)
交通広告	—
新聞・雑誌広告	—
テレビ広告	—
新聞掲載	—
テレビ・ラジオなど	—
雑誌掲載	—
博物館ニュース	告知2回
インターネット	当館ウェブサイトでの紹介、ブログ関連記事1回、メールマガジン・SNSでの情報配信

・特別企画

「博物館に初もうで」

会期：平成26年1月2日（木）～26日（日）

ターゲット：一般の美術愛好家、20～40代女性、家族連れ、国内外からの観光客

重点項目：おめでたい作品イメージによるビジュアル展開。北斎筆「七福神」を使った新聞広告・SNSによる初夢プレゼント企画の展開  
リリースの配信（約280件）。

種類	設置場所・件数等
ポスター・チラシ・DM送付	約1,077件(博物館・美術館・学校・大使館・ギャラリー・カルチャーセンター等)
交通広告	駅貼り（JR上野駅8面、JR鶯谷駅2面、山手単貼セット上野、秋葉原、東京、有楽町、新橋、恵比寿、渋谷、原宿、新宿、池袋ほか15駅30面、東京メトロ、上野、六本木、根津、銀座、表参道、竹橋ほか13駅16面、京王 主要駅50面、京成上野、日暮里、成田ほか5駅10面）
新聞・雑誌広告	朝日新聞夕刊15段カラー1回、読売新聞夕刊15段カラー1回、毎日新聞夕刊15段カラー1回、産経新聞朝刊5段カラー1回、ジャパントイムズ1/16 2回、ジャパンニュース1/16 1回
テレビ広告	—
新聞掲載	朝日新聞、産経新聞、読売新聞、毎日新聞 ほか
テレビ・ラジオなど	—
雑誌掲載	メトロポリス、Time Out Tokyo、フジサンケイビジネスアイ ほか
博物館ニュース	特集1回
インターネット	当館ウェブサイトでの紹介、ブログ関連記事初もうで1回、メールマガジン・SNSでの情報配信

・特別企画

「博物館でお花見を」

+会期：平成26年3月18日（火）～4月13日（日）

ターゲット：一般の美術愛好家、家族連れ、日本人および外国人観光客

重点項目：広く一般のマスコミを通じた情報提供。

特記事項：イベント広報を通じて、まだ博物館にきたことのない人の来館を促進。家族づれや外国人観光客向けの媒体へのプロモートを実施。

種類	設置場所・件数等
ポスター・チラシ・DM送付	—
交通広告	—
新聞・雑誌広告	—
テレビ広告	—
新聞掲載	—
テレビなど	—
雑誌掲載	Time Out Tokyo 他
博物館ニュース	特集2回
インターネット	当館ウェブサイトでの紹介、ブログ関連記事1回、メールマガジン・SNSでの情報配信

・長期的な交通広告

JR上野駅公園口 ADビジョン デジタルサイネージ 7面 15秒枠 平成24年4月～26年3月  
羽田空港 京成新国際ターミナル駅 上下線ホームビラー、可動柵広告平成22年12月～26年3月

・プレスリリース「定期情報」の配信 7回

・記者懇談会の開催

11月20日（水）18:00～20:00 懇談会16名、交流会12名参加  
対象：新聞各紙文化・美術担当記者ならびに文科省記者クラブメンバー

(2) 特別展・共催展等(海外展・巡回展を含む)

**展覧会名：「国宝 大神社展」**

会期：平成25年4月9日（火）～6月2日（日）

ターゲット：広く一般の歴史及び美術ファン、神社好き

重点項目：マスコミ及び交通広告、新聞広告等による広く一般への情報提供。

特記事項：小学館「日本美術全集」とのタイアップしおり設置と、「神社検定」関連の神社神道フェア内でのポップ掲出を全国書店にて展開、博物館近隣神社マップ作成、ブロガー内覧会の実施

① 広報媒体

種類	設置場所・件数等
ポスター・チラシ・DM送付 ジュニア用ワークシートDM送付	約7,500件(博物館・美術館・学校(小・中・高・大)、ギャラリー、図書館等) ジュニア用ワークシート:東京近郊小中学校に送付、ウェブサイトからのダウンロード、会場内にて配布
交通広告	JR・私鉄/アルファボード(20駅22面)、山の手ベストボード(19駅25面)、SWボード(35駅39面) ポスター駅貼り・車内吊等(京王、京成、東京メトロ等 多数)、電飾看板(20駅20面)、上野商店街フラッグ
新聞・雑誌広告	朝日新聞、読売新聞
テレビ広告	—
新聞掲載	朝日新聞(行幸啓報道)ほか
テレビ/ラジオ	日曜美術館本編(NHK)、新日本風土記(NHK)、ひるまほっと(NHK)、首都圏ニュース(NHK)、やじうまテレビ(テレビ朝日)、Nスタ(TBS)、台東かわらばん(J:COM)、ラベンダークルーズ(調布エフエム放送) ほか
雑誌掲載	家庭画報(世界文化社)、歴史読本(新人物往来社)、きものサロン(世界文化社)、皇室(扶桑社)、Discover Japan(エイ出版社)、クロワッサン(マガジンハウス)、Pen、婦人画報(アシェット婦人画報社)、UOMO(集英社)、マリソル(集英社)、Tokyo Walker(角川書店)、GLOW(宝島社)、月刊美術(実業之日本社)、和楽(小学館)、美術手帳(美術出版ホールディングス)、月刊ギャラリー(ギャラリーステーション)、メトロガイド(日刊工業新聞社) ほか
博物館ニュース	告知1回、特集1回
インターネット	当館ウェブサイトでの紹介、ブログ関連記事11回、メールマガジンでの情報配信、公式ホームページ、共催者(NHK、NHKプロモーション)ウェブサイトでの紹介 インターネットミュージアム(丹青社)、WEDGE Infinity(ウェッジ)、Yahoo!ニュース(ヤフー)、MSN産経ニュース(産経デジタル) ほか

②パブリシティー情報掲載・放映

新聞 241件、雑誌 161件、テレビ/ラジオ 9件、インターネット 27件

③報道発表会 平成24年11月20日 平成館大講堂にて (91人出席)

④報道内覧会 平成25年4月23日 (110人出席)

⑤教員内見会 平成25年4月19日 (81人出席)

⑥ブロガー内覧会 平成25年4月23日 (58人出席)

**展覧会名：特別展「和様の書」**

会期：平成25年7月13日(土)～9月8日(日)

ターゲット：書道愛好者、広く一般の美術ファン

重点項目：マスコミ及び交通広告、新聞広告等による広く一般への情報提供

特記事項：書団体・書道展を対象にDMやチラシ配布

美文字ブームを機に、新規らしい感想の獲得を図った

親子書道教室、席上揮毫などのイベントをきっかけとした周知

① 広報媒体

種類	設置場所・件数等
ポスター・チラシ・DM送付 ジュニア用ワークシートDM送付	約7,300件(博物館・美術館・学校(小・中・高・大)、ギャラリー、書団体、古美術商、ホール、会館、書店、図書館等) ジュニア用ワークシート:1都3県小中学校に送付
交通広告	駅ボード/JR:NT(87駅94面)、山手ステーションボード(17駅20面)、上野駅3×4 ポスター駅貼り・車内吊等(京王、京成 多数) 電飾看板(20駅20面)
新聞・雑誌広告	読売新聞 6回、朝日新聞 4回、日経新聞 2回、毎日新聞 2回、産経新聞 1回
テレビ広告	スポット広告(NHK) 26回
新聞掲載	読売新聞(特集記事 行啓記事など 計90件)、日本経済新聞、朝日新聞、毎日新聞 ほか
テレビ/ラジオ	ニュース(NHK)、プレマップ(NHK)、トーハク女子高夏期講習(NHK)、日曜美術館アートシーン(NHK)、皇室アルバム(TBS)、「出光佐知子の美術館探訪 夜の博物館から国宝をニコ生！」(シアターTV・ニコニコ生放送)、シューイチ(日テレ) ほか
雑誌掲載	BRUTUS(マガジンハウス)、和楽(小学館)、日経おとなのOFF(日経BP) ほか
博物館ニュース	告知2回、特集2回
インターネット	当館ウェブサイトでの紹介、ブログ関連記事19回、メールマガジン・SNSでの情報配信、公式ホームページ、共催者(NHK、NHKプロモーション、読売新聞社)ウェブサイトでの紹介 インターネットミュージアム(丹青社) ほか

②パブリシティー情報掲載・放映

新聞 515件、雑誌 123件、テレビ/ラジオ 12件、インターネット 38件

③報道発表会 平成25年3月12日 平成館大講堂にて (57人出席)

④報道内覧会 平成25年7月12日(143人出席)

⑤教員内見会 平成25年7月26日(119人出席)

**展覧会名：特別展「上海博物館 中国絵画の至宝」**

会期：平成25年10月1日(火)～11月24日(日)

ターゲット：広く一般の歴史及び美術ファン、中国美術・東洋美術ファン

重点項目：マスコミ及び交通広告、新聞広告等による広く一般への情報提供。  
 特記事項：報道説明会「これぞ中国絵画の楽しみかた！」実施

① 広報媒体

種類	設置場所・件数等
ポスター・チラシ・DM送付 ジュニア用ワークシートDM送付	約1,787件(博物館・美術館・学校(小・中・高・大)、ギャラリー、図書館等) ジュニア用ワークシート：なし
交通広告	JR SWボード(6駅6面)、秋の特別公開との合同展開(2駅2面)、 ポスター駅貼り等(京王、京成、東京メトロ、東急等 多数)、チラシラック付きポスター掲出 元 町・中華街駅・京王線(2駅2面) ほか
新聞・雑誌広告	毎日新聞(連載、広告各2回)、日経新聞(1回)
テレビ広告	—
新聞掲載	朝日新聞、読売新聞、毎日新聞 ほか
テレビ/ラジオ	muse Amuse (FMサルス)
雑誌掲載	月刊書道界(藤樹社)、アートナビ(美術出版社)、書21(匠出版)、中文導報(中文産業株式会社)、 美術の窓(生活の友社)美術手帳(美術出版ホールディングス)、朝日新聞マリオン(朝日新聞社)、 東京ウォーカー(角川書店)、ちいき新聞(地域新聞社)、いけ花龍生(龍生派) ほか
博物館ニュース	告知1回、特集1回
インターネット	当館ウェブサイトでの紹介、ブログ関連記事10回、メールマガジンでの情報配信 インターネットミュージアム(丹青社)、美術の窓WEB(生活の友社)、マイナビニュース(マイナビ)、 CREA WEB(文藝春秋)、Tokyo Art Beat (GADAGO)、レッツエンジョイトーキョー(株式会社ぐるなび)、 展覧会へ行こう!(有限会社アルカ) ほか

②パブリシティ情報掲載・放映

新聞 6件、雑誌 13件、テレビ/ラジオ 1件、インターネット 8件

- ③報道発表会 平成25年8月20日(火) 東洋館シアターにて (39人出席)
- ④報道内覧会 平成25年9月30日 (61人出席)
- ⑤教員内見会 平成25年10月11日 (117人出席)

**展覧会名：特別展「京都—洛中洛外図と障壁画の美」**

会期：平成25年10月8日(火)～12月1日(日)

ターゲット：広く一般の歴史及び美術ファン

重点項目：マスコミ及び交通広告、新聞広告等による広く一般への情報提供。

特記事項：洛中洛外図木本アプリの配信により、作品への興味喚起と理解促進を図った。

日本橋三越の創立340周年祭プロモートとのタイアップ。

プロジェクトマッピングなど、話題のイベントや宝探しゲームによる、新規来館者層の獲得

EXILE ATSUSHI & 久石譲によるテーマソング

① 広報媒体

種類	設置場所・件数等
ポスター・チラシ・DM送付	約170件(博物館・美術館・書店・学校(大学、専門学校など)、百貨店、ホテルほか)
交通広告	駅ボード/JR：NTII(87駅101面)、JR+私鉄：SSボード(91駅91面)、東京メトロUボード(13駅21 面)私鉄：PLボード(東急、京急、京王、小田急、東武、西武、相模)18駅22面)、京王ニューボ ード(新宿駅16面) ポスター駅貼り・車内吊等(JR、京王、西武 多数) 東急ドア横、JR品川駅大型フラッグ、西武池袋駅フラッグ
新聞・雑誌広告	朝日新聞 広告2回、パノラマ折込1回、読売新聞 広告6回、パノラマ折込1回、休刊日折込チラシ1 回、エクラ特集企画15ページ、ぶらぶら美術・博物館アートブック表4
テレビ・ラジオ広告	日テレ地上派：15秒224本、12秒 88本、3秒 38本、BS日テレ/CS日テレ：15秒 209本、30秒301 本、ラジオ日本・文化放送：約900本
新聞掲載	読売新聞(特集記事、行啓報道)、ほか
テレビ/ラジオ	東京暇人(日テレ)、すっきり!!京都っす(日テレ)、PON!(日テレ)、ぶらり途中下車の旅(日テ レ)、NEWS ZERO(日テレ)、ぶらぶら美術・博物館(BS日テレ)、めざましテレビ(日テレ)な ど 日テレ系列総計76件、日曜美術館アートシーン(NHKEテレ)、ひるまえほっと(NHK)、めざし テレビ(フジ)週刊EXILE(TBS)、サンケイエクスプレス(産経新聞)
雑誌掲載	anan(マガジンハウス)、いきいき(いきいき)、おとなの秋びあ(ぴあ)、クロワッサン(間は仁 ハウス)、月刊オーケストラ(読売新聞)、日経おとなのOFF(日経BP)、ノジュール(JTBパブリッ シング)、サライ(小学館) ほか
博物館ニュース	告知2回、特集2回
インターネット	当館ウェブサイトでの紹介、ブログ関連記事5回、メールマガジン/SNSでの情報配信、公式ホームペ ージでの紹介 インターネットミュージアム(丹青社) ほか

②パブリシティ情報掲載・放映

新聞 111件、雑誌 222件、テレビ/ラジオ 93件、インターネット 97件

- ③報道発表会 平成25年6月13日 日テレホールにて (201人出席)
- ④報道内覧会 平成25年10月7日(185人出席)
- ⑤教員内見会 平成25年10月11日(117人出席)
- ⑥各種表彰

30回ATP賞特別賞 (龍安寺石庭4K映像)

第65回全国カレンダー展 第3部門銀賞 (龍安寺石庭四季カレンダー2014(グッズ))  
 第55回全国カタログ・ポスター展 カタログ部門 [E] 図録部門 奨励賞 (展覧会図録)  
 第2回VFX-JAPAN アワード2014イベント・LIVE映像部門 優秀賞 (3Dプロジェクションマッピング)

**展覧会名：日本伝統工芸展60回記念「人間国宝展—生み出された美、伝えゆくわざ—」**

会期：平成26年1月15日(水)～2月23日(日)  
 ターゲット：広く一般の歴史及び美術ファン  
 重点項目：マスコミ及び交通広告、新聞広告等による広く一般への情報提供。  
 特記事項：「日本美術の祭典」(東京都美術館と東博で開催する3つの展覧会を結ぶプロジェクト)3展合同の広告展開等実施、「読者鑑賞会」美しいキモノ(ハースト婦人画報社)との広報タイアップイベント

① 広報媒体

種類	設置場所・件数等
ポスター・チラシ・DM送付 ジュニア用ワークシートDM送付	約8,000件(博物館・美術館・学校(小・中・高・大)、ギャラリー、図書館等) ジュニア用ワークシート：東京近郊小中学校に送付、ウェブサイトからのダウンロード、会場内にて配布
交通広告	JR・私鉄/NTボード(64駅64面、内訳は3展合同7、人間国宝28)、池袋ビッグボード(人間国宝)フレコミボード(43駅43面、3展合同)、新宿・渋谷クワトロボード など、ポスター駅貼り・車内吊等(西武、京王、京成、東京メトロ等 多数)
新聞・雑誌広告	朝日新聞 8回
テレビ広告	NHK など(街頭ビジョン含む)
新聞掲載	朝日新聞 13回) ほか
テレビ/ラジオ	日曜美術館本編(NHK)、ひるまえほっと(NHK)、首都圏ニュース(NHK)、TOKYO FASHION EXPRESS(NHK WORLD TV) ほか
雑誌掲載	美しいキモノ(ハースト婦人画報社)、美術手帳(美術出版ホールディングス)、炎芸術(阿部出版)、毎日が発見(角川グループパブリッシング)、秋びあ(びあ株式会社)、男の隠れ家(朝日新聞出版)、美術の窓(生活の友社)、陶説(日本陶磁協会)、週刊現代(講談社) ほか
博物館ニュース	告知1回、特集1回
インターネット	当館ウェブサイトでの紹介、ブログ関連記事4回、メールマガジンでの情報配信、公式ホームページ、共催者(NHK、NHKプロモーション、朝日新聞社)ウェブサイトでの紹介) ほか

②パブリシティー情報掲載・放映

- 新聞 69件、雑誌 62件、テレビ/ラジオ 8件、インターネット 37件  
 ③日本美術の祭典3展合同報道発表会 平成25年7月17日 東京都美術館講堂にて (55人出席)  
 ④東京国立博物館開催2展合同報道発表会 平成25年10月15日 東洋館シアターにて (30人出席)  
 ⑤報道内覧会 平成26年1月14日 (140人出席)

**展覧会名：「クリーブランド美術館展—名画でたどる日本の美」**

会期：平成26年1月15日(水)～2月23日(日)  
 ターゲット：広く一般の歴史及び美術ファン  
 重点項目：マスコミ及び交通広告、新聞広告等による広く一般への情報提供。  
 特記事項：「日本美術の祭典」(東京都美術館と東博で開催する3つの展覧会を結ぶプロジェクト)3展合同の広告展開等実施

① 広報媒体

種類	設置場所・件数等
ポスター・チラシ・DM送付 ジュニア用ワークシートDM送付	約8,000件(博物館・美術館・学校(小・中・高・大)、ギャラリー、図書館等) ジュニア用ワークシート：東京近郊小中学校に送付、ウェブサイトからのダウンロード、会場内にて配布
交通広告	駅ボード/JR：NT(88駅98面)、私鉄各線(43駅)、バナー(2駅3面) ポスター駅貼り・車内吊等(京王、京成、東京メトロ 多数) 電飾看板(20駅20面) ほか
新聞・雑誌広告	朝日新聞 など
テレビ広告	NHK など(街頭ビジョン含む)
新聞掲載	朝日新聞「美の履歴書」ほか
テレビ/ラジオ	日曜美術館本編(NHK)、首都圏ニュース(NHK) ほか
雑誌掲載	和楽(小学館)、美術手帳(美術出版ホールディングス)、秋びあ(びあ株式会社) ほか
博物館ニュース	告知1回、特集1回
インターネット	当館ウェブサイトでの紹介、ブログ関連記事4回、メールマガジンでの情報配信、公式ホームページ、共催者(NHK、NHKプロモーション、朝日新聞社)ウェブサイトでの紹介) ほか

②パブリシティー情報掲載・放映

- 新聞 62件、雑誌 72件、テレビ/ラジオ 7件、インターネット 40件  
 ③日本美術の祭典3展合同報道発表会 平成25年7月17日 東京都美術館講堂にて (55人出席)  
 ④東京国立博物館開催2展合同報道発表会 平成25年10月15日 東洋館シアターにて (30人出席)  
 ⑤報道内覧会 平成26年1月14日 (140人出席)

**展覧会名：特別展「支倉常長像と南蛮美術—400年前の日欧交流—」**

会期：平成26年2月11日（火・祝）～3月23日（日）

ターゲット：広く一般の歴史及び美術ファン

重点項目：マスコミ及び交通広告、新聞広告等による広く一般への情報提供。絵画作品、主に「支倉常長像」をメイン作品として

① 広報媒体

種類	設置場所・件数等
ポスター・チラシ	チラシはリーフレットと兼用とし館内にて3万枚を配布
交通広告	ポスター駅貼り（JR、東京メトロ、京王、京成）
新聞・雑誌広告	朝日新聞1回、朝日新聞1回、日経新聞1回
テレビ広告	—
新聞掲載	毎日新聞・船橋よみうり新聞、信濃毎日新聞ほか
テレビ/ラジオ	—
雑誌掲載	定年時代、サンデー世界日報
博物館ニュース	告知1回
インターネット	当館ウェブサイトでの紹介、ブログ関連記事 回、メールマガジンでの情報配信、公式ホームページほか

②パブリシティ情報掲載・放映

新聞 7件、雑誌 2件、テレビ/ラジオ 1件、インターネット 1件

**【京都国立博物館】**

(1) 平常展

平常展示館建て替え工事に伴い、平常展示休止中。

(2) 特別展等・共催展等

展覧会名：特別展覧会「狩野山楽・山雪」

会 期：25年3月30日～5月12日（39日間）

広報媒体：ポスター、ちらし、情報誌、ホームページ、新聞等

記者発表会：24年12月5日、25年3月29日に実施

展覧会名：特別展観「遊び」

会 期：25年7月13日～8月25日（38日間）

広報媒体：ポスター、ちらし、情報誌、ホームページ、新聞等

記者発表会：7月12日に実施

展覧会名：特別展覧会「魅惑の清朝陶磁」

会 期：25年10月12日～12月15日（56日間）

広報媒体：ポスター、ちらし、情報誌、ホームページ、新聞等

記者発表会：10月11日に実施

展覧会名：特別展「いとうるわし。日本の美 京都国立博物館名品展」

会 場：香川県立ミュージアム

会 期：25年4月20日～5月26日（33日間）

広報媒体：ポスター、ちらし、情報誌、ホームページ、新聞、ラジオ、公共放送等

**【奈良国立博物館】**

(1) 名品展（平常展）

広報媒体：博物館だより、新聞、テレビ等

(2) 特別展・共催展等

**展覧会名：當麻曼荼羅完成1250年記念特別展「當麻寺 一極楽浄土へのあこがれ—」**

会期：平成25年4月6日～6月2日

広報媒体：ポスター、ちらし、博物館だより、新聞、テレビ特集番組等

**展覧会名：特別展「みほとけのかたち —仏像に会う—」**

会期：平成25年7月20日～9月16日

広報媒体：ポスター、ちらし、博物館だより、新聞、テレビ等

**展覧会名：特別展「第65回正倉院展」**

会期：平成25年10月26日～11月11日

広報媒体：ポスター、ちらし、博物館だより、新聞、駅構内看板、テレビ特集番組等

**【九州国立博物館】**

(1) 文化交流展（平常展）

① 広報媒体

種類	設置場所・件数等
ポスター・チラシ等送付	約 430 件（学校・公共施設・旅行会社等）
交通広告	ポスター駅貼り等（西鉄）、チラシの設置（西鉄）、車内窓広告（文化交流展室展示替 300 回以上、年間パス

	ポート) (西鉄)
雑誌掲載	太宰府市の広報誌に博物館コラムを毎月掲載、九州国立博物館&太宰府天満宮フリーペーパーに掲載(年4回)、九州王国、飛翔(西日本シティ銀行広報誌)、西日本リビング新聞に掲載(年3回)
テレビ	CMを制作・放映(トピック展示「山の神々」10月23日~10月27日)
季刊情報誌「アジアージュ」	年4回発行(4月1日、7月1日、10月1日、26年1月1日) 文化交流展示室解説、トピック展示特集、博物館ニュース、イベントスケジュール等を掲載。
ウェブサイト	当館ウェブサイトでの紹介、メールマガジンでの情報配信
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化交流展示室にてトピック展示のスタンプラリーを開催した。</li> <li>・ガイドブック「きゅーはく攻略本」を刊行し、館内等で配付した。またウェブサイトでダウンロードや電子カタログが見られるように整備した。</li> <li>・スマートフォンを使った情報発信を行った。文化庁補助事業で福岡県と太宰府市が連携して、若年層をターゲットに文化情報発信サイト「太宰府市イベントガイド」を開設。(11月15日~)</li> <li>・年末年始の広報 <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化交流展示室マップのチラシを作成し、館内等で配布</li> <li>・福岡近郊のイオンシネマズでシネアドを行った。(12月21日~26年1月3日)</li> <li>・天神、太宰府ほか西鉄電車主要6駅にポスター掲示。(1月1日~1月7日)</li> <li>・シネアドのCMを天神の大型ビジョンで放映。</li> </ul> </li> </ul>

・トピック展示「江戸のモダニズム 古武雄~まぼろしの九州のやきもの~」

会期：25年3月19日(火)~5月6日(月・祝)

①広報媒体

種類	設置場所・件数等
ポスター・チラシ等送付	約260件(博物館・美術館・図書館・文化施設等)
新聞掲載	西日本新聞、読売新聞、毎日新聞、朝日新聞、日経新聞 記事掲載
雑誌掲載	九州国立博物館&太宰府天満宮フリーペーパー、リビング新聞に掲載
季刊情報誌「アジアージュ」	特集1回
ウェブサイト	当館ウェブサイトでの紹介、メールマガジンでの情報配信
マスコミ内覧会の開催	11社出席

・トピック展示「江戸のサイエンス ー武雄蘭学の軌跡ー」

会期：25年4月16日(火)~7月7日(日)

①広報媒体

種類	設置場所・件数等
ポスター・チラシ等送付	約200件(友の会)
新聞掲載	読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、長崎新聞、大分合同新聞 記事掲載
雑誌掲載	九州国立博物館&太宰府天満宮フリーペーパーに掲載
季刊情報誌「アジアージュ」	特集1回
ウェブサイト	当館ウェブサイトでの紹介、メールマガジンでの情報配信
マスコミ内覧会の開催	12社出席
西鉄電車中吊り広告	5日間、1回

・国宝 琉球国王尚家関係資料修理完成記念特別公開

会期：25年4月23日(火)~6月2日(日)

①広報媒体

種類	設置場所・件数等
ウェブサイト	当館ウェブサイトでの紹介、メールマガジンでの情報配信

・世界遺産 高句麗 壁画古墳写真展

会期：25年6月4日(火)~26年2月2日(日)

①広報媒体

種類	設置場所・件数等
新聞掲載	朝日新聞、西日本新聞 記事掲載
季刊情報誌「アジアージュ」	特集1回
ウェブサイト	当館ウェブサイトでの紹介、メールマガジンでの情報配信

・トピック展示「視覚革命! 異国と出会った江戸絵画ー神戸市立博物館名品展ー」

会期：25年7月17日(水)~9月23日(月・祝)

①広報媒体

種類	設置場所・件数等
ポスター・チラシ等送付	約250件(友の会、太宰府市内公民館)
新聞掲載	西日本新聞、毎日新聞、産経新聞、日本経済新聞、朝日新聞、読売新聞、熊本日日新聞、大分合同新聞 記事掲載
雑誌掲載	九州国立博物館&太宰府天満宮フリーペーパー、リビング新聞に掲載
季刊情報誌「アジアージュ」	特集1回
ウェブサイト	当館ウェブサイトでの紹介、メールマガジンでの情報配信
マスコミ内覧会の開催	8社出席
映画館CM放映	3館、2週間

・特別公開 国宝・神戸市桜ヶ丘出土銅鐸

会期：25年7月17日(水)~9月29日(日)

①広報媒体

種類	設置場所・件数等
----	----------

新聞掲載	西日本新聞、毎日新聞、朝日新聞、読売新聞 記事掲載
雑誌掲載	九州国立博物館&太宰府天満宮フリーペーパーに掲載
季刊情報誌「アジアージュ」	特集1回
ウェブサイト	当館ウェブサイトでの紹介、メールマガジンでの情報配信
マスコミ内覧会の開催	8社出席

・特別公開 国宝「西光寺梵鐘」

会期：25年7月23日(火)～12月8日(日)

①広報媒体

種類	設置場所・件数等
ウェブサイト	当館ウェブサイトでの紹介、メールマガジンでの情報配信

・トピック展示「館蔵名品展—更紗」

会期：25年9月3日(火)～10月14日(月・祝)

①広報媒体

種類	設置場所・件数等
ポスター・チラシ等送付	約50件(太宰府市内公民館)
新聞掲載	西日本新聞、毎日新聞、日本経済新聞、産経新聞、熊本日日新聞、大分合同新聞 記事掲載
雑誌掲載	九州国立博物館&太宰府天満宮フリーペーパーに掲載
季刊情報誌「アジアージュ」	特集1回
ウェブサイト	当館ウェブサイトでの紹介、メールマガジンでの情報配信

・トピック展示「煎茶の世界 茶の湯を楽しむVI」

会期：25年10月1日(火)～12月1日(日)

①広報媒体

種類	設置場所・件数等
ポスター・チラシ等送付	約50件(太宰府市内公民館)
新聞掲載	西日本新聞 記事掲載
雑誌掲載	九州国立博物館&太宰府天満宮フリーペーパーに掲載
季刊情報誌「アジアージュ」	特集1回
ウェブサイト	当館ウェブサイトでの紹介、メールマガジンでの情報配信

・トピック展示「山の神々 —九州の霊峰と神祇信仰—」

会期：25年10月22日(火)～12月1日(日)

①広報媒体

種類	設置場所・件数等
ポスター・チラシ等送付	約200件(友の会、太宰府市内公民館)
新聞掲載	西日本新聞、毎日新聞、大分合同新聞、佐賀新聞 記事掲載
雑誌掲載	九州国立博物館&太宰府天満宮フリーペーパー、リビング新聞に掲載
季刊情報誌「アジアージュ」	特集1回
ウェブサイト	当館ウェブサイトでの紹介、メールマガジンでの情報配信
マスコミ内覧会の開催	11社出席
テレビCM放映	8日間、2社
西鉄電車中吊り広告	5日間、1回

・特集陳列「江上波夫の眼 ことばとかたち」

会期：25年11月14日(木)～26年2月2日(日)

①広報媒体

種類	設置場所・件数等
季刊情報誌「アジアージュ」	特集1回
ウェブサイト	当館ウェブサイトでの紹介、メールマガジンでの情報配信

・トピック展示「ロシアが見たアイヌ文化 ロシア科学アカデミー・ピョートル大帝記念人類学民族学博物館のコレクションより」

会期：25年12月10日(火)～26年2月16日(日)

①広報媒体

種類	設置場所・件数等
ポスター・チラシ等送付	約200件(友の会、太宰府市内公民館)
新聞掲載	西日本新聞 記事掲載
雑誌掲載	九州国立博物館&太宰府天満宮フリーペーパー、リビング新聞に掲載
季刊情報誌「アジアージュ」	特集1回
ウェブサイト	当館ウェブサイトでの紹介、メールマガジンでの情報配信
マスコミ内覧会の開催	7社出席

・「東京オリンピック1964展」

会期：12月17日(火)～26年1月13日(月・祝)

①広報媒体

種類	設置場所・件数等
新聞掲載	読売新聞、西日本新聞、毎日新聞、朝日新聞 記事掲載
季刊情報誌「アジアージュ」	特集1回
ウェブサイト	当館ウェブサイトでの紹介、メールマガジンでの情報配信
マスコミ内覧会の開催	9社出席(12月16日)

・トピック展示「発掘された日本列島 2013」  
 会期：26年1月1日(水・祝)～2月16日(日)

①広報媒体

種類	設置場所・件数等
新聞掲載	朝日新聞、毎日新聞、西日本新聞 記事掲載
雑誌掲載	九州国立博物館&太宰府天満宮フリーペーパー、リビング新聞に掲載
季刊情報誌「アジアージュ」	特集1回
ウェブサイト	当館ウェブサイトでの紹介、メールマガジンでの情報配信

・新春特別公開「天神さまの宝もの」  
 会期：26年1月1日(水)～1月26日(日)

①広報媒体

種類	設置場所・件数等
ポスター・チラシ等送付	3件(太宰府天満宮、西鉄太宰府駅、太宰府市観光案内所)
雑誌掲載	九州国立博物館&太宰府天満宮フリーペーパー、リビング新聞に掲載
季刊情報誌「アジアージュ」	特集1回
ウェブサイト	当館ウェブサイトでの紹介、メールマガジンでの情報配信

・トピック展示「館蔵近世絵画名品展」  
 会期：前期：26年2月25日(火)～4月6日(日)  
 後期：26年4月8日(火)～5月18日(日)

①広報媒体

種類	設置場所・件数等
ポスター・チラシ等送付	約200件(友の会、太宰府市内公民館)
新聞掲載	毎日新聞、西日本新聞 記事掲載
雑誌掲載	九州国立博物館&太宰府天満宮フリーペーパーに掲載
季刊情報誌「アジアージュ」	特集1回
ウェブサイト	当館ウェブサイトでの紹介、メールマガジンでの情報配信

・長期的な広報  
 西鉄太宰府駅 広告ボードの設置 (平成21年～)  
 福岡空港 宣伝用看板(電照広告)の設置 (平成22年～)

(2)特別展・共催展等

展覧会名：特別展「大ベトナム展」

会期：25年4月16日(火)～6月9日(日) (49日間)

①広報媒体

種類	設置場所・件数等
ポスター・チラシ等送付	約1,200件(博物館・美術館・キャンパスメンバーズ・図書館・文化施設等)
交通広告	駅ボード(西鉄・JR)、ポスター駅貼り等(西鉄・JR)、ポスター車内(西鉄・JR)
新聞掲載	西日本新聞(展示解説を連載)、西日本新聞、読売新聞、朝日新聞、日本経済新聞、毎日新聞 記事掲載
雑誌掲載	九州国立博物館&太宰府天満宮フリーペーパー 特集1回
テレビ	CM放送(TVQ)
季刊情報誌「アジアージュ」	告知1回、特集1回、送付 約30,000件(博物館・美術館・キャンパスメンバーズ・友の会・図書館・文化施設・大学等)
ウェブサイト	当館ウェブサイトでの紹介、メールマガジンでの情報配信

②記者発表会 25年2月6日(17社出席)

③報道内覧会 4月15日(16社出席)

展覧会名：特別展「中国 王朝の至宝」

会期：25年7月9日(火)～9月16日(日) (62日間)

①広報媒体

種類	設置場所・件数等
ポスター・チラシ等送付	約1,100件(博物館・美術館・キャンパスメンバーズ・図書館・文化施設等)
交通広告	駅ボード(西鉄・JR)、ポスター駅貼り等(西鉄・JR)、ポスター車内(西鉄・JR)
新聞掲載	毎日新聞、西日本新聞(展示解説を連載)、西日本新聞、毎日新聞、産経新聞、日本経済新聞、朝日新聞、読売新聞 記事掲載
雑誌掲載	九州国立博物館&太宰府天満宮フリーペーパー 特集1回
テレビ	NHK
季刊情報誌「アジアージュ」	告知1回、特集1回、送付 約30,000件(博物館・美術館・キャンパスメンバーズ・友の会・図書館・文化施設・大学等)
ウェブサイト	当館ウェブサイトでの紹介、YouTubeで配信、メールマガジンでの情報配信

②記者発表会 5月8日(12社出席)

③報道内覧会 7月8日(11社出席)

展覧会名：特別展「尾張徳川家の至宝」

会期：25年10月12日(土)～12月8日(日) (50日間)

①広報媒体

種類	設置場所・件数等
ポスター・チラシ等送付	約1,200件(博物館・美術館・キャンパスメンバーズ・図書館・文化施設、太宰府市内公民館等)

交通広告	駅ボード（西鉄・JR）、ポスター駅貼り等（西鉄・JR）、ポスター車内（西鉄・JR）
新聞掲載	西日本新聞（展示解説を連載）、西日本新聞、読売新聞、朝日新聞、日本経済新聞、産経新聞 記事掲載
雑誌掲載	九州国立博物館&太宰府天満宮フリーペーパー 特集1回
テレビ	TNC、TVQにて告知CM、TNC、TVQの番組にて随時告知、展覧会告知CM（TNC、TVQ）
ラジオ	展覧会告知CM
季刊情報誌「アジアージュ」	告知1回、特集1回、送付 約30,000件（博物館・美術館・キャンパスメンバーズ・友の会・図書館・文化施設・大学等）
ウェブサイト	当館ウェブサイトでの紹介、メールマガジンでの情報配信、公式webサイト特別展『徳川家の至宝』展覧会ホームページ、facebook 周知活動
その他	看板等…大丸地下通路電照看板、博多駅地下ビジョン、地下鉄天神駅電照看板、大丸南側看板、西日本ビジョン 書店タイアップ

- ②記者発表会 7月18日（9社出席）
- ③報道内覧会 10月11日（12社出席）

**展覧会名：特別展「国宝 大神社展」**

会期：26年1月15日（水）～3月9日（日）（47日間）

①広報媒体

種類	設置場所・件数等
ポスター・チラシ等送付	約1,200件（博物館・美術館・キャンパスメンバーズ・図書館・文化施設、太宰府市内公民館等）
交通広告	駅ボード（西鉄・JR）、ポスター駅貼り等（西鉄・JR）、ポスター車内（西鉄・JR）
新聞掲載	西日本新聞（展示解説を連載）、西日本新聞、読売新聞、毎日新聞、日本経済新聞、産経新聞、朝日新聞 記事掲載
雑誌掲載	九州国立博物館&太宰府天満宮フリーペーパー 特集1回
テレビ	展覧会告知CM
季刊情報誌「アジアージュ」	告知1回、特集1回、送付 約30,000件（博物館・美術館・キャンパスメンバーズ・友の会・図書館・文化施設・大学等）
ウェブサイト	当館ウェブサイトでの紹介、メールマガジンでの情報配信
その他	関連番組 1/17「新日本風土記」

- ②記者発表会 10月21日（9社出席）
- ③報道内覧会 26年1月14日（17社出席）

**(3) 海外展**

**展覧会名：文化庁主催海外展「日本文化展」**

会期：26年1月16日（木）～3月9日（日）（51日間）

①広報媒体

種類	設置場所・件数等
新聞掲載	西日本新聞、日本経済新聞 記事掲載
ウェブサイト	当館ウェブサイトでの紹介

**(参考)**

**【平城宮跡資料館】**

**(1) 平常展**

広報媒体：チラシ、ホームページ、情報誌等

**(2) 特別展等**

**展覧会名：春期企画展「発掘速報展 平城2012」**

会期：25年3月16日（土）～6月2日（日）

広報媒体：ポスター・チラシ・ホームページ・新聞・情報誌等・奈文研ニュース

**展覧会名：夏期企画展「平城京どうぶつえん」**

会期：25年7月13日（土）～9月23日（月・祝）

広報媒体：ポスター・チラシ・ホームページ・ブログ・新聞・情報誌等・奈文研ニュース

**展覧会名：秋期特別展「地下の正倉院 木簡学ことはじめ」**

**「都城発掘調査部 平城宮・京発掘調査の50年」**

会期：25年10月19日（土）～12月1日（日）

広報媒体：ポスター・チラシ・ホームページ・新聞・情報誌等・奈文研ニュース

**【藤原宮跡資料室】**

**(1) 平常展**

広報媒体：チラシ、ホームページ、情報誌等

**・速報展**

- ①「東方官衙北地区の調査」
- ②「藤原宮朝堂院東第6堂の瓦」
- ③「石神遺跡の銅製人形」
- ④「写真でふりかえる発掘調査40年」

⑤「東日本大震災復興調査における奈文研の取り組み」

**【飛鳥資料館】**

**(1) 平常展**

広報媒体：チラシ、ホームページ、情報誌等

**(2) 特別展等**

展覧会名：春期特別展「飛鳥寺2013」

会 期：25年4月26日(金)～6月2日(日)

広報媒体：ポスター・ホームページ・新聞・情報誌等・奈文研ニュース

展覧会名：夏期企画展「飛鳥・藤原京を考古科学する」

会 期：25年8月1日(木)～9月1日(日)

広報媒体：ポスター・チラシ・ホームページ・新聞・情報誌等・奈文研ニュース

展覧会名：写真コンテスト展「飛鳥川の導」

会 期：25年9月7日(土)～10月6日(日)

広報媒体：ポスター・チラシ・ホームページ・新聞・情報誌等

展覧会名：秋期特別展「飛鳥・藤原京への道」

会 期：25年10月18日(金)～12月1日(日)

広報媒体：ポスター・チラシ・ホームページ・新聞・情報誌等・奈文研ニュース

展覧会名：「発見30周年記念 柵古墳壁画特別公開」

会 期：26年1月17日(金)～1月26日(日)

広報媒体：ポスター・チラシ・ホームページ・新聞・情報誌等・奈文研ニュース

展覧会名：冬期企画展「飛鳥の考古学 2013」

会 期：26年2月14日(金)～3月16日(日)

広報媒体：ポスター・チラシ・ホームページ・新聞・情報誌等・奈文研ニュース

2-(4)-⑥ 広報刊行物一覧  
【東京国立博物館】

刊行物名	発行部数	配布先
東京国立博物館ニュース719号～724号	隔月刊年6回 各30,000部	館内で来館者に無償配布 マスコミ媒体等に送付 定期郵送希望者 2,049件 寄贈 国内1,255件 海外88件(国内外の美術館・博物館・大学・研究所等) 賛助会 356件(キャンパスメンバーズ 43件含) 友の会 1,480件 (26年3月31日現在)
東京国立博物館「案内と地図」	日本語版 25.10 改訂 60,000部 英語版 25.10 改訂 20,000部 韓国語版 25.11 増刷 4,000部 仏語版 25.11 増刷 4,000部	館内で来館者に無償配布 マスコミ媒体、大使館、学校等に送付
東京国立博物館 展示・催しのご案内2014.4-2015.3	26.3 26年度版 35,000部	館内で来館者に無償配布 観光案内所、マスコミ媒体等に送付
東京国立博物館資料館利用案内	25.7 10,000部	25年度より館内で来館者に無償配布 都内及び近郊の博物館、美術館等に送付

【京都国立博物館】

刊行物名	発行時期	発行部数	配布先
京都国立博物館だより	4、7、10月、26年1月	178号(4・5・6月) 20,000部 179号(7・8・9月) 10,000部 180号(10・11・12月) 15,000部 181号(26年1・2・3月) 5,000部	観覧者、新聞・雑誌・放送局各社、学校・図書館・美術館・博物館ほか、郵送希望者にも発送
Kyoto National Museum Newsletter Vol.118～120 (英文)	4、7、10月	Vol.118-120 各3,000部	観覧者、京都市観光案内所
特別展観「遊び」関連 子ども向けワークシート	25年7月	20,000部	観覧者(小学・中学生対象)
博物館Dictionary No.170	25年7月	5,000部	観覧者(小学・中学生対象)
博物館Dictionary No.171	25年11月	2,000部	観覧者(小学・中学生対象)
平成25年度年間スケジュール(増刷)	5月	10,000部	観覧者、新聞・雑誌・放送局各社、学校・図書館・美術館・博物館ほか、郵送希望者にも発送
留学生の日ポスター・チラシ	10月	ポスター500部、チラシ10,000部	観覧者(関西圏の大学、専門学校へ送付)
京都国立博物館案内リーフレット(展示案内改訂版)	25年5月	(日本語・改訂版)5,000部	観覧者、京都市観光案内所
平成26年度年間スケジュール	26年3月	10,000部	観覧者、パスポート会員、新聞・雑誌・放送局各社、学校・図書館・美術館・博物館ほか、郵送希望者にも発送
文化財に親しむ授業ガイドブック	25年12月	1000部	市内の小中学校・教育機関などへ無償配布

【奈良国立博物館】

刊行物名	発行部数	配布先
奈良国立博物館だより(年4回)	春号 25,000部 夏号 20,000部 秋号 30,000部 冬号 15,000部	美術館・博物館・大学・研究所等 約120件
奈良国立博物館リーフレット	日本語版 15,000部	館内で来館者に配布
奈良国立博物館展示案内	35,000部	館内で来館者に配布
仏像を観る	日本語版 2,000部	館内で寄附いただいた来館者に配布
仏教美術資料研究センター利用案内	4,000部	館内で来館者に配布

【九州国立博物館】

刊行物名	発行部数	配布先
九州国立博物館案内リーフレット	日本語版 96,000部 中国語版 9,000部 韓国語版 16,000部 英語版 9,000部 ドイツ語版 5,000部 フランス語版 5,000部 スペイン語版 5,000部 合計 145,000部	・館内で来館者に配布 ・学校関係、旅行会社等へ郵送
文化交流展示室案内マップ	日本語版 25,000部 中国語版 6,000部 韓国語版 6,000部 英語版 6,000部	・館内で来館者に配布 ・学校関係、旅行会社等へ郵送
九州国立博物館概要	日本語版 3,000部 中国語版 300部 韓国語版 300部 英語版 500部	・視察者等に配布
季刊情報誌「アジアージュ」	春(28)号 50,000部 夏(29)号 50,000部	・館内で来館者に配布 ・美術館・博物館、近隣文化施設、

刊 行 物 名	発行部数	配 布 先
	秋(30)号 50,000部 冬(31)号 50,000部	近隣大学、太宰府市、友の会会員等へ郵送
九州国立博物館の展示並びにイベントのご案内	各号 13,000部	・館内で来館者に配布 ・郵便局、学校、病院、図書館、ホテル、公共施設、道の駅等に配布
九州国立博物館 展示スケジュールのご案内	20,000部	・館内で来館者に配布
九州国立博物館 わくわく通信	年5回毎回 136,000枚	・福岡市を含む博物館近隣14市町
九州国立博物館 きゅーはく攻略本	20,000部	・館内で来館者に配布

2-(4)-⑦ ウェブサイトアクセス件数  
(後述の資料に記載) ◎共通資料 d

### 3 我が国における博物館の中核としての機能の強化

#### 3-(1) 調査研究の成果の発信

##### 3-(1)-① 学会、研究会等発表実績一覧

(後述の資料に記載) ◎共通資料c-③

##### 3-(1)-② シンポジウム開催実績一覧

(後述の資料に記載) ◎共通資料c-④

##### 3-(1)-③ 論文等発表実績一覧

(後述の資料に記載) ◎共通資料c-⑤

##### 3-(1)-④ 調査研究刊行物一覧

(後述の資料に記載) ◎共通資料c-⑥

#### 3-(2) 海外研究者の招聘等研究交流の実施

##### 3-(2)-① 研究交流実績一覧

(後述の資料に記載) ◎共通資料c-①

### 3-(4) 収蔵品の貸与

#### 3-(4)-① 公私立博物館等への収蔵品・寄託品貸与件数

平成26年3月31日現在

	国立博物館計			東京国立博物館			京都国立博物館			奈良国立博物館			九州国立博物館		
	計	国内	海外	計	国内	海外	計	国内	海外	計	国内	海外	計	国内	海外
貸与先件数	272	264	8	123	117	6	82	81	1	35	35	0	32	31	1
合計	2,041	1,961	80	1,137	1,086	51	626	623	3	135	135	0	143	117	26
絵画	461	456	5	213	212	1	168	165	3	66	66	0	14	13	1
書跡	101	100	1	10	10	0	67	67	0	8	8	0	16	15	1
彫刻	183	179	4	131	127	4	35	35	0	14	14	0	3	3	0
建築	4	4	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	2	2	0
金工	63	54	9	23	14	9	28	28	0	9	9	0	3	3	0
刀剣	46	39	7	39	39	0	0	0	0	0	0	0	7	0	7
陶磁	250	239	11	25	15	10	220	220	0	0	0	0	5	4	1
漆工	121	120	1	48	48	0	52	52	0	18	18	0	3	2	1
染織	47	47	0	19	19	0	18	18	0	9	9	0	1	1	0
考古	324	311	13	238	236	2	33	33	0	9	9	0	44	33	11
民族資料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歴史資料	68	64	4	18	18	0	5	5	0	0	0	0	45	41	4
和書	13	13	0	12	12	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
東 洋	絵画	13	10	3	13	10	3								
	書跡	13	13	0	13	13	0								
	彫刻	9	7	2	9	7	2								
	金工	0	0	0	0	0	0								
	陶磁	37	37	0	37	37	0								
	漆工	0	0	0	0	0	0								
	染織	1	0	1	1	0	1								
	考古	47	28	19	47	28	19								
	民族	0	0	0	0	0	0								
法隆寺献納宝物	0	0	0	0	0	0									
黒田記念館収蔵品	240	240	0	240	240	0									

\*巡回展等で複数館に貸与する場合は、それぞれ館数と文化財件数をカウント。

#### 付表・貸与件数の推移

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
貸与先件数	249	301	266	311	272	
合計	1,729	1,936	1,571	1,814	2,041	
絵画	436	395	376	436	461	
書跡	78	89	75	91	101	
彫刻	124	198	146	224	183	
建築	3	2	3	5	4	
金工	98	100	61	84	63	
刀剣	121	24	42	13	46	
陶磁	103	117	98	99	250	
漆工	92	92	66	57	121	
染織	102	63	152	98	47	
考古	414	350	203	327	324	
民族資料	13	9	12	2	0	
歴史資料	11	95	24	44	68	
和書	12	4	21	14	13	
東 洋	絵画	23	27	15	12	13
	書跡	4	23	9	6	13
	彫刻	8	9	9	27	9
	金工	0	0	1	0	0
	陶磁	44	91	9	29	37
	漆工	0	2	6	3	0
	染織	0	2	0	0	1
	考古	21	53	30	49	47
	民族	0	0	0	0	0
法隆寺献納宝物	0	8	2	0	0	
黒田記念館収蔵品	22	183	211	194	240	

\*東京国立博物館は、列品管理規程による「旧東洋課所掌分」あり。

#### 3-(4)-② 公私立博物館等への収蔵品・寄託品貸与先別件数

##### ○収蔵品

平成26年3月31日現在

	国立博物館計		東京国立博物館		京都国立博物館		奈良国立博物館		九州国立博物館	
	貸与先件数	文化財件数	貸与先件数	文化財件数	貸与先件数	文化財件数	貸与先件数	文化財件数	貸与先件数	文化財件数
国内	204	1,451	113	1,030	49	296	22	58	20	67
国・国立	26	167	12	79	9	81	3	4	2	3
地方・公立	134	1,046	76	801	28	151	15	35	15	59
私立団体	44	238	25	150	12	64	4	19	3	5
海外	8	79	6	51	1	2	0	0	1	26

##### ○寄託品

平成26年3月31日現在

	国立博物館計		東京国立博物館		京都国立博物館		奈良国立博物館		九州国立博物館	
	貸与先件数	文化財件数	貸与先件数	文化財件数	貸与先件数	文化財件数	貸与先件数	文化財件数	貸与先件数	文化財件数
国内	107	510	20	56	48	327	22	77	17	50
国・国立	19	115	4	12	9	83	2	3	4	17
地方・公立	58	202	11	33	25	102	10	35	12	32
私立団体	30	193	5	11	14	142	10	39	1	1
海外	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0

3-(4)-③ 海外への列品貸与

【東京国立博物館】 海外貸与先 6件 海外貸与文化財 51件[うち寄託品 0件] 平成26年3月31日現在

展覧会名称	申請者【会場】	貸与期間	種別・員数
「THE INVITED WORK. JAPAN-SPAIN YEAR」	ブラド美術館【ブラド美術館(スペイン)】	25年6月11日～25年7月7日	絵画 1
「開館展」	梁山市遺物展示館【梁山市遺物展示館(大韓民国)】	25年10月7日～26年1月5日	東洋考古 19
「Masterpieces of Chinese Painting 700-1900」	ヴィクトリア・アンド・アルバート美術館【ヴィクトリア&アルバート美術館(イギリス)】	25年10月28日～26年1月19日	東洋絵画 3、東洋染織 1
常設展示(長期貸与)	フランス国立ギメ美術館【フランス国立ギメ美術館(フランス共和国パリ市)】	14年1月1日～25年12月31日	東洋彫刻 2
日本美術室常設展示(長期貸与)	ヒューストン美術館【ヒューストン美術館日本美術室(アメリカ合衆国)】	24年2月17日～26年2月16日	19件 彫刻 2、金工 5、陶磁 10、考古 2
文化庁主催海外展「日本文化」展	文化庁【ベトナム国立歴史博物館(ベトナム社会主義共和国)】	26年1月18日～26年3月9日	6件 彫刻 2、金工 4

【京都国立博物館】 海外貸与先 1件 海外貸与文化財 3件[うち寄託品 1件]

展覧会名称	申請者【会場】	貸与期間	種別・員数(件)
中国絵画名品展 700-1900	ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館【ヴィクトリア&アルバート美術館(イギリス)】	25年10月26日～26年1月19日	絵画 3

【奈良国立博物館】 海外貸与先 0件 海外貸与文化財 0件[うち寄託品 0件]

【九州国立博物館】 海外貸与先 1件 海外貸与文化財 26件[うち寄託品 0件]

展覧会名称	申請者【会場】	貸与期間	種別・員数(件)
文化庁主催海外展「日本文化」展	文化庁【ベトナム国立歴史博物館(ベトナム社会主義共和国)】	25年12月16日～26年3月21日	絵画 1、書跡 1、刀剣 7、陶磁 1、漆工 1、考古 11、歴史資料 4

3-(4)-④ 考古の相互貸借実績

【東京国立博物館】

貸与先名	貸与件数(件)	借用件数(件)
大阪府立弥生文化博物館	19	76
下関市立考古博物館	10	77

【奈良国立博物館】

貸与先名	貸与件数(件)	借用件数(件)
岩手県立博物館	1	20
平泉町(平泉文化遺産センター)	1	15

(参考)

その他(収藏品・寄託品以外)の貸与

【東京国立博物館】

区分	貸与件数(件)	貸与先件数(件)
館史資料	1	1
図書	5	1
古写真	4	2

### 3-(5) 公立博物館・美術館等に対する援助・助言の推進

#### 3-(5)-① 公立博物館等に対する援助・助言

平成26年3月31日現在

計	東京国立博物館	京都国立博物館	奈良国立博物館	九州国立博物館
292件	114件	43件	71件	64件

#### 【東京国立博物館】114件

	機 関	内 容	期 間	担 当 者
1	筆の里工房	筆の里工房 20 周年特別展の展示に関わる助言	5 月 21 日、26 年 1 月 29 日	副館長 島谷弘幸、調査研究課書跡・歴史室アソシエイトフェロー 恵美千鶴子
2	高知県	高知県新資料館建設会議	6 月 5 日	副館長 島谷弘幸
3	高梁市成羽美術館	特別展の展示に関わる助言	11 月 16 日	副館長 島谷弘幸
4	大阪市立美術館	日本書芸院と共催の書道展に関わる助言	12 月 6 日	副館長 島谷弘幸
5	さいたま歴史と民族の博物館	収蔵品に関わる助言	26 年 3 月 7 日	副館長 島谷弘幸
6	公益財団法人・陽明文庫	文庫運営に関わる助言	26 年 3 月 13 日	副館長 島谷弘幸
7	東京国立近代美術館	東京国立近代美術館評議委員会（美術・工芸部会）	6 月 28 日	学芸企画部長 松本伸之
8	九州国立博物館	国宝・神戸市桜ヶ丘出土銅鐸に関する意見交換	8 月 17 日	企画課長 井上洋一
9	野洲市歴史民俗博物館	開館 25 周年記念展「銅鐸－日本最大銅鐸の里帰り」に関する援助・助言	10 月 5 日～11 月 24 日	企画課長 井上洋一
10	文化庁	美術工芸品買取評価員	8 月 2 日	企画課特別展室長 松嶋雅人
11	ルーブル美術館	来館者数の推移と傾向に関わる助言	25 年 1 月～12 月	企画課出版企画室 遠藤楽子
12	渋谷区立松濤美術館	改修計画に係る照明等の技術指導	8 月～26 年 1 月	企画課デザイン室長 木下史青
13	那覇市立壺谷焼物博物館	展示照明の LED 照明への変更等改修についての電話問合せおよび東博での助言	8 月	企画課デザイン室長 木下史青
14	国立新美術館	特別展「バレエ・リュス」展の展示・照明デザインにかかわる指導・助言	11 月～12 月	企画課デザイン室長 木下史青
15	スペイン・プラド美術館	特別展の展示ケース製作、設置、照明等に関する協議・助言	4 月 16 日～4 月 19 日	企画課デザイン室長 木下史青、保存修復課保存修復室長 土屋裕子
16	愛知県陶磁美術館	愛知県陶磁美術館常設展示室改修にかかわる助言	9 月 13 日	企画課デザイン室主任研究員 矢野 賢一
17	福岡市美術館	寄贈候補作品の審査	12 月 13 日	博物館教育課長 小泉恵英
18	龍谷ミュージアム	購入候補作品の審査、評価	26 年 2 月 9 日	博物館教育課長 小泉恵英
19	九州国立博物館	ボランティア活動と運営についての助言、教育普及活動についての助言	5 月 29 日	博物館教育課ボランティア室長 鈴木みどり
20	小郡市立図書館	ボランティア活動と運営についての助言	7 月 5 日	博物館教育課ボランティア室長 鈴木みどり
21	横浜美術館	触図と障害者対応についての助言	11 月 10 日	博物館教育課ボランティア室長 鈴木みどり
22	日本博物館協会	ドイツ国立博物館学芸員への博物館教育の助言	11 月 12 日	博物館教育課ボランティア室長 鈴木みどり
23	福岡市美術館	盲学校用貸し出しツールと盲学校のスクールプログラムの助言	11 月 14 日	博物館教育課ボランティア室長 鈴木みどり
24	鹿児島水族館	触図と障害者対応についての助言	12 月 14 日	博物館教育課ボランティア室長 鈴木みどり
25	国立新美術館	教育普及国際シンポジウムの開催についての助言	26 年 2 月 8 日	博物館教育課ボランティア室長 鈴木みどり
26	成都市博物館	資料のデジタル化、データベース化および外部への画像提供に関わる助言	12 月 3 日	博物館情報課情報管理室長 村田良二
27	武蔵野美術大学美術資料図書館	文化財の三次元計測およびデータベース連携に関わる助言	12 月 10 日	博物館情報課情報管理室長 村田良二
28	東京大学附属図書館	特別授業「未来の本の未来」講師	26 年 1 月 10 日	博物館情報課長 高橋裕次、博物館情報課情報管理室長 村田良二
29	リュブリャナ大学（スロベニア）	デジタルアーカイブとデータベースに関する助言	26 年 2 月 12 日	博物館情報課情報管理室長 村田良二
30	内閣官房 知的財産戦略本部	アーカイブに関するタスクフォース（第 1 回）参考人	26 年 2 月 26 日	博物館情報課情報管理室長 村田良二
31	江戸東京博物館	周年事業に伴う広報活動についての助言	9 月 11 日	広報室長 小林牧
32	文化庁	美術工芸品買取鑑査会議委員	7 月 29 日	学芸研究部長 伊藤嘉章
33	東京都	東京都文化財保護審議会	12 月 20 日、26 年 1 月 27 日、26 年 2 月 14 日	学芸研究部長 伊藤嘉章
34	福島県	福島県被災文化財等救援本部 第 4 回幹事会	11 月 28 日	学芸研究部長 伊藤嘉章
35	可児市	可児市大萱古窯跡群調査・保存・整備指導委員会	6 月 23 日、9 月 20 日、12 月 23 日	学芸研究部長 伊藤嘉章
36	日本工芸会西部支部	西部工芸展審査	4 月 10 日～11 日	学芸研究部長 伊藤嘉章
37	町田市	(仮称)町田市立国際工芸美術館整備基本計画検討委員会	9 月 25 日、12 月 9 日	学芸研究部長 伊藤嘉章
38	台北・故宮博物院	買取鑑査委員	4 月 14 日～15 日	学芸研究部長 伊藤嘉章

機 関	内 容	期 間	担 当 者	
39	文化庁	文化審議会専門委員（文化財分科会）	26年2月27、28日	学芸研究部長 伊藤嘉章
40	日本学術振興会	科学研究費委員会専門委員	26年2月17、18日	学芸研究部長 伊藤嘉章
41	文化庁	伝統文化課 買取鑑査会議委員	26年3月15日	学芸研究部長 伊藤嘉章
42	一宮市博物館	仁王胴具足の調査	8月22日、10月22日	上席研究員 池田 宏
43	牛伏寺	頭形兜鉢、刀剣の調査、保存の助言	8月28、29日	上席研究員 池田 宏
44	國學院高等学校	文化史資料館の展示品の展示替、保存の助言	9月6日	上席研究員 池田 宏
45	文化庁、春日大社	春日大社所蔵古神宝類復元模造事業	11月11日	上席研究員 池田 宏
46	茨城県立歴史館	平成 25 年度特別展「はにわの世界ー茨城の形象埴輪とその周辺ー」展における当館列品展示への助言・指導	10月9日	列品管理課主任研究員 古谷 毅
47	伊勢崎市教育委員会	平成 25 年度伊勢崎市教育委員会 鉄器保存処理事業への助言・指導	26年2月12日	列品管理課主任研究員 古谷 毅
48	日本銀行金融研究所 貨幣博物館	海外への作品貸与の実務に関する助言	26年2月19日	列品管理課登録室長 救仁郷 秀明
49	国立ハンセン病資料館	収蔵庫増設に関する助言	4月12日	列品管理課登録室長 救仁郷 秀明
50	古代オリエント博物館	同館の特別展「ユーフラテスー文明を育んだ河と古代オリエント博物館の発掘調査ー」開催に関する意見交換	4月10日	列品管理課平常展調整室長 白井克也、特任研究員 後藤 健
51	梁山市遺物展示館	同館の閉館記念展に関し、助言と意見交換	7月24日	列品管理課平常展調整室長 白井克也
52	ブルックリン美術館	同館スーザン・ベニンソン氏による、同館元職員スチュワート・キューリンの業績調査に協力し、キューリンから東博への寄贈資料に関し情報交換	11月13日	列品管理課平常展調整室長 白井克也
53	ライプツィヒ民族学博物館	OAG ドイツ東洋文化研究協会より 1878 年に同館に寄贈された日本の考古資料に関し品に関し、その年代等を助言	11月21日～26年2月19日	列品管理課平常展調整室長 白井克也、調査研究課考古室 品川欣也、橋本英将
54	大阪狭山市教育委員会	指定品等列品管理の体制等に関する助言	26年3月7日	列品管理課平常展調整室長 白井克也、列品管理課登録室長 救仁郷秀明、保存修復課主任研究員 荒木臣紀
55	静嘉堂文庫美術館	「静嘉堂蔵 松浦武四郎コレクション」の展示に関わる助言	9月5日	列品管理課平常展調整室主任 研究員 川村佳男
56	常盤山文庫	展示に関わる助言	12月10日	列品管理課平常展調整室主任 研究員 川村佳男
57	(公社) 日本写真家協会	同協会が文化庁の委託を受けて運営する日本写真保存センターでの写真の保存についての助言	4月～26年3月	調査研究課長 田良島哲
58	ISO/TC 46 (国際標準化機構第 46 専門委員会: 情報とドキュメンテーション) 国内委員会	図書館・博物館等における情報管理の標準化について、日本博物館協会推薦による委員として検討に参画	4月～26年3月	調査研究課長 田良島哲
59	文京区立森鷗外記念館	同館運営協議会の委員として、館運営について指導・助言	4月～26年3月	調査研究課長 田良島哲
60	文化庁	「民族共生の象徴となる空間」における博物館の整備・運営に関する調査検討委員会専門部会委員として、意見を述べる	10月～26年3月	調査研究課長 田良島哲
61	スペイン・ブラド美術館	特別展の作品展示指導・記者発表出席	6月3日～6月13日、7月6日～7月13日	調査研究課絵画・彫刻室長 田沢裕賀
62	福島県立美術館	「プライスコレクションにみる江戸絵画の楽しみ」対談	7月27日	調査研究課絵画・彫刻室長 田沢裕賀
63	文化庁	美術工芸品買取鑑査会議委員	7月29日	調査研究課絵画・彫刻室長 田沢裕賀
64	(公財) 新宿未来創造財団 新宿歴史博物館	「栄西と建仁寺」特別展関連文化講演会講師	26年3月23日	調査研究課絵画・彫刻室長 田沢裕賀
65	第 36 回日本の象牙彫刻展組織委員会	第 36 回日本の象牙彫刻展審査委員	7月7日	調査研究課工芸室長 竹内奈美子
66	第 60 回日本伝統工芸展運営委員会	第 60 回日本伝統工芸展第 1 次鑑査委員	8月6日	調査研究課工芸室長 竹内奈美子
67	文化庁	無形文化財工芸技術資料の買取協議員	9月11日	調査研究課工芸室長 竹内奈美子
68	東京都生活文化局	東京都江戸東京博物館資料収蔵委員会(資料評価部会)臨時委員	10月30日	調査研究課工芸室長 竹内奈美子
69	国立歴史民俗博物館	平成 25 年度第 9 回鑑査委員会鑑査委員	26年2月21日	調査研究課工芸室長 竹内奈美子
70	貝桶制作実行委員会	第 11 回貝桶制作研究会における制作指導	26年3月25日～26日	調査研究課工芸室長 竹内奈美子
71	新潟県立歴史博物館	特別展「黄金の国々」における展示指導	4月18日	調査研究課工芸室主任研究員 小山弓弦葉
72	新潟県立歴史博物館	特別展「黄金の国々」における展示指導	5月13日	調査研究課工芸室主任研究員 小山弓弦葉
73	文化庁	文化庁文化財部調査委員として重要無形文化財保持者の現状調査	8月7日	調査研究課工芸室主任研究員 小山弓弦葉
74	静岡県教育委員会	静岡県文化財保護審議会委員として県指定文化財の新指定協議	26年2月21日	調査研究課工芸室主任研究員 小山弓弦葉
75	公益社団法人 日本工芸会	第 48 回日本伝統工芸染織展における鑑査委員	26年3月27日	調査研究課工芸室主任研究員 小山弓弦葉

	機 関	内 容	期 間	担 当 者
76	福井県立歴史博物館	作品の展示・保存環境についての調査・指導	25年1月10日～7月2日	保存修復課長 神庭信幸、保存修復課環境保存室長 和田浩
77	練馬区立美術館	作品の展示・保存環境についての調査・指導	25年1月11日～7月2日	保存修復課長 神庭信幸、保存修復課環境保存室長 和田浩
78	北九州市立小倉城庭園	作品の展示・保存環境についての調査・指導	4月10日～10月24日	保存修復課長 神庭信幸、保存修復課環境保存室長 和田浩
79	五島美術館	作品の展示・保存環境についての調査・指導	5月22日～7月25日	保存修復課長 神庭信幸、保存修復課環境保存室長 和田浩
80	岐阜県美術館	作品の展示・保存環境についての調査・指導	7月1日～8月8日	保存修復課長 神庭信幸、保存修復課環境保存室長 和田浩
81	三の丸尚三館	保存修復材料について、材質や購入先についての助言	12月16日～26年1月17日	保存修復課保存修復室長 土屋裕子
82	福岡県野田宇太郎文学資料館	写真資料の保存についての助言	7月19日	保存修復課主任研究員 荒木臣紀
83	横浜市歴史博物館	生物対策についての助言	11月18日	調査研究課課長 田良島哲、保存修復課主任研究員 荒木臣紀
84	学習院大学資料館	文化財収蔵施設環境についての助言	9月20日	保存修復課主任研究員 荒木臣紀
85	国立科学博物館	温湿度データ所得に関する助言	26年1月5日	保存修復課主任研究員 荒木臣紀
86	佐倉市教育委員会	生物対策についての助言	7月25日	保存修復課主任研究員 荒木臣紀
87	NPO 法人文化財保存支援機構	文化財保存修復専門家養成実践セミナー レベル2・A 講義「生物対策」講師	8月19日	保存修復課主任研究員 荒木臣紀
88	NPO 法人文化財保存支援機構	平成24年度文化財保存修復専門家養成実践セミナー <レベル1・Bコース> 講義「光学調査」講師	8月29日	保存修復課主任研究員 荒木臣紀
89	中国成都博物院	文化財収蔵施設環境についての助言	12月3日	保存修復課主任研究員 荒木臣紀
90	奈良国立博物館	エックス線撮影システム構築に関する助言	10月30日	保存修復課課長 神庭信幸、保存修復課主任研究員 荒木臣紀
91	国立科学博物館	染織品の展示に関する助言	9月3日	保存修復課主任研究員 荒木臣紀、調査研究課工芸室主任研究員 小山弓弦葉、調査研究課工芸室 三田覚之
92	大阪狭山市教育委員会	指定品等列品管理の体制等（温湿度管理記録、修理・貸出などの記録台帳の整備、日常管理システムに関する助言	26年3月7日	保存修復課主任研究員 荒木臣紀、列品管理課平常展室長 白井克也、列品管理課貸与特別観覧室長 救仁郷秀明
93	NPO 法人文化財保存支援機構	文化財保存修復専門家養成実践セミナー レベル2・A 陸前高田学校 講義「掛軸の安定化処理」講師	7月31日～8月1日	保存修復課保存修復室アソシエイトフェロー 鈴木晴彦
94	NPO 法人文化財保存支援機構	文化財保存修復専門家養成実践セミナー レベル1・A 講義「対症修理」講師	8月23日	保存修復課保存修復室アソシエイトフェロー 鈴木晴彦
95	双葉町歴史民俗資料館	レスキュー活動	9月5日～6日、9月26日～27日、10月3日～4日、10月30日～31日、	副館長 島谷弘幸、学芸研究部長 伊藤嘉章、総務部長 栗原祐司、総務企画課長 池野浩幸、調査研究課長 田良島哲、調査研究課絵画・彫刻室長 田沢裕賢、保存修復課保存修復室長 富坂賢、経理課長 菅原康宏、総務課長 竹之内勝典、保存修復課主任研究員 荒木 臣紀、企画課デザイン室主任研究員 矢野賀一、博物館教育課教育講座室長 丸山士郎、広報室長 小林牧、調査研究課工芸室長 竹内奈美子、調査研究課考古室 品川欣也、橋本英将、総務課室長 斉藤直樹、総務企画課主任（総務・人事担当） 武田卓、財務課室長 日高信二、企画課デザイン室長 木下史青、列品管理課登録室 安川政和、財務課監査・調査担当 安孫子卓史、経理課環境整備室長 大江信浩、総務課警備・お客様担当 石坪直紀、

機 関	内 容	期 間	担 当 者
96 富岡町歴史民俗資料館	レスキュー活動	10月30日～31日、	副館長 島谷弘幸、学芸研究部長 伊藤嘉章、調査研究課長 田良島哲、調査研究課絵画・彫刻室長 田沢裕賀、保存修復課保存修復室長 冨坂賢、経理課長 菅原康宏、総務課長 竹之内勝典、保存修復課主任研究員 荒木 臣紀、企画課デザイン室長 木下史青、列品管理課登録室 安川政和、財務課監査・調査担当 安孫子卓史
97 陸前高田市博物館	被災文化財の点検、安定化処置および保管方法について助言、指導、監修。	4月1日～26年3月31日	保存修復課長 神庭信幸、保存修復課環境保存室長 和田浩、保存修復課保存修復室長 冨坂賢、保存修復課保存修復室長 土屋裕子、保存修復課主任研究員 荒木臣紀、保存修復課保存修復室アシエイトフェロー 鈴木晴彦、米倉乙世、平河智恵、保存修復課有期雇用職員 實井香那子、佐多麻美、井上素子、加藤広樹
98 陸前高田市博物館	被災文化財の調査および修理見積りにあたっての調書作成	4月1日～12月31日	保存修復課保存修復室アシエイトフェロー 鈴木晴彦、米倉乙世、平河智恵
99 文化庁	文化財等災害対策委員会委員	6月28日、26年2月13日	総務部長 栗原 祐司
100 文化庁	「民族共生の象徴となる空間」における博物館の整備・運営に関する調査検討委員会委員・同組織運営専門部会委員	11月1日	総務部長 栗原 祐司
101 文化庁	米教育文化交流会議(カルコン) 美術対話委員会公開シンポジウム出席	10月21、22日	総務部長 栗原 祐司
102 観光庁	ユニークベニュー利用促進協議会委員	11月20日、12月11日、12月16日	総務部長 栗原 祐司
103 独立行政法人日本スポーツ振興センター	秩父宮記念スポーツ博物館・図書館在り方検討委員会委員	9月19日、10月23日	総務部長 栗原 祐司
104 滋賀県	アール・ブリュットネットワーク企画委員(滋賀県)	7月9日、10月26日	総務部長 栗原 祐司
105 札幌市	次世代型博物館計画検討委員会オブザーバー(札幌市)	7月23日、11月27日、26年3月26日	総務部長 栗原 祐司
106 舞鶴市	舞鶴市ユネスコ世界記憶遺産有識者会議副会長	5月24日、7月29日、26年1月25日、26年2月16日	総務部長 栗原 祐司
107 南九州市	知覧特攻平和会館世界記憶遺産登録準備委員会委員(南九州市)	7月25日	総務部長 栗原 祐司
108 田川市	田川市石炭・歴史博物館組織の整理に関する検討委員会委員	26年2月14日、26年2月26日、26年3月6日	総務部長 栗原 祐司
109 千代田区	千代田区ミュージアム協議会講演	26年3月5日	総務部長 栗原 祐司
110 上野の山文化ゾーン連絡協議会	上野の山文化ゾーン連絡協議会幹事	5月31日、8月30日	総務部長 栗原 祐司
111 公益財団法人日本博物館協会	諸外国における博物館政策に関する調査研究委員会委員・同作業部会委員(日本博物館協会)	10月2日、26年2月3日	総務部長 栗原 祐司
112 公益財団法人日本博物館協会	イコム大会招致準備委員会委員	8月1日、26年1月15日、26年3月27日	総務部長 栗原 祐司
113 一般財団法人デジタル文化財創出機構	「国立デジタル文化財文化情報保存センター(仮称)」設立構想具体化に向けた設立基本計画検討委員会委員・同「保存と公開」基盤検討委員会委員	26年2月5日、2月7日、3月4日、3月11日、3月19日、3月25日	総務部長 栗原 祐司
114 公益財団法人かながわ国際交流財団	第6回ミュージアム・サミット ファシリテータ	26年2月8、9日	総務部長 栗原 祐司

【京都国立博物館】 43 件

機 関	内 容	期 間	担 当 者
1 香川県立ミュージアム	名品展展示作業の指導	4月16日	教育室長 山川 暁
2 香川県立ミュージアム	名品展展示作業の指導	4月15日～18日	上席研究員 赤尾栄慶
3 野崎家塩業歴史館	所蔵品調査の指導	4月16日～17日	工芸室長 尾野善裕
4 香川県立ミュージアム	展示作業の指導	4月17日～18日	連携協力室長 山下善也
5 鳥根県立古代出雲歴史博物館	出雲大社展の作品調査の指導	4月26日	保存修理指導室長 浅瀬 毅 企画室研究員 羽田 聡 企画室研究員 末兼俊彦
6 香川県立ミュージアム	名品展展示替えの指導	5月6日	上席研究員 赤尾栄慶
7 国際仏教学大学院大学	公開研究会に参加	5月18日	上席研究員 赤尾栄慶
8 香川県立ミュージアム	名品展撤収作業の指導	5月26日～29日	上席研究員 赤尾栄慶
9 香川県立ミュージアム	名品展撤収作業の指導	5月27日	教育室長 山川 暁
10 仏光大学	シンポジウムに参加し研究発表	5月28日～30日	列品管理室研究員 呉 孟晋
11 国立台湾美術館	作品資料調査の指導	5月31日	列品管理室研究員 呉 孟晋
12 大田市	石見銀山遺跡調査活用委員会に出席し助言	7月9日	学芸部長 村上 隆

	機 関	内 容	期 間	担 当 者
13	故宮博物院	関西中国書画コレクション研究会に参加し助言	7月22日	列品管理室研究員 呉 孟晋
14	大津市教育委員会	大津曳山祭総合調査の指導	7月23日	企画室研究員 末兼俊彦
15	一宮市博物館	所蔵の甲冑の染織部分調査の指導	7月29日	教育室長 山川 暁
16	愛知県美術館	所蔵の仮面の調査の指導	7月30日～31日	保存修理指導室長 浅湫 毅
17	大津市教育委員会	大津曳山祭総合調査の指導	8月21日	企画室研究員 末兼俊彦
18	佐渡市	佐渡金銀山調査指導委員会に出席し助言	8月25日～27日	学芸部長 村上 隆
19	滋賀県	滋賀県文化財保護審議会に出席し助言	9月2日	教育室長 山川 暁
20	島根県立古代出雲歴史博物館	島根県文化財指定の調査の指導	9月9日	教育室長 山川 暁
21	ヴィクトリア&アルバート博物館	設営の指導	10月15日～18日	列品管理室長 泉原俊枝
22	中国絲綢博物館	国際シンポジウムに参加し研究発表	10月25日～29日	教育室長 山川 暁
23	ギメ東洋美術館	日本文化財保存センター構想海外実態調査の指導	11月2日～6日	学芸部長 村上 隆
24	滋賀県	滋賀県文化財保護審議会現地調査の指導	11月5日	教育室長 山川 暁
25	滋賀県	滋賀県文化財保護審議会にて点検・梱包の指導	11月6日	教育室長 山川 暁
26	国際仏教学大学院大学	第2回公開研究会に出席し助言	11月9日	上席研究員 赤尾栄慶
27	兵庫陶芸美術館	収蔵予定作品の評価	11月13日	工芸室長 尾野善裕
28	全国美術館会議	第42回教育普及研究部会へ出席し助言	11月14日～15日	教育室研究員 水谷亜希
29	滋賀県	滋賀県文化財保護審議会に出席し助言	11月19日	教育室長 山川 暁
30	国際仏教学大学院大学	古写経の調査の指導	11月21日	上席研究員 赤尾栄慶
31	大田市	第17回石見銀山遺跡整備検討委員会に出席し助言	11月27日	学芸部長 村上 隆
32	高知市浦戸城山坂本龍馬記念館	坂本龍馬記念館リニューアル基本構想検討委員会に出席し助言	12月3日	企画室長 宮川禎一
33	ヴィクトリア&アルバート博物館	展示換えの指導とシンポジウムで発表	12月4日～6日	列品管理室研究員 呉 孟晋
34	福井市愛宕坂茶道美術館	所蔵品調査の指導	12月9日	工芸室長 尾野善裕
35	大津市教育委員会	大津曳山祭総合調査の指導	12月10日	企画室研究員 末兼俊彦
36	日本博物館協会	「博物館とボランティアの新しい地平」へ出席し助言	26年1月16～17日	教育室研究員 水谷亜希
37	国立台湾文学館	ワークショップに参加し研究発表	26年1月18日	列品管理室研究員 呉 孟晋
38	大阪府教育委員会	文化財保護審議会へ出席し助言	26年1月20日	上席研究員 赤尾栄慶
39	ヴィクトリア&アルバート博物館	作品撤収の指導	26年1月22日	列品管理室研究員 呉 孟晋
40	岡山シティミュージアム	足守コレクションの調査の指導	26年1月27～28日	企画室研究員 末兼俊彦 列品管理室主任研究員 永島 明子
41	大津市教育委員会	大津曳山祭総合調査の指導	26年2月14日	企画室研究員 末兼俊彦
42	福井市愛宕坂茶道美術館	収蔵品調査の指導	26年2月19～20日	美術室長 山本英男 企画室主任研究員 羽田 聡
43	兵庫県立人と自然の博物館	全美連教育普及研究部会関西会合へ出席し助言	26年3月14日	教育室研究員 水谷亜希

## 【奈良国立博物館】71件

	機 関	内 容	期 間	担 当 者
1	国宝薬師寺展金沢展実行委員会・薬師寺・北國新聞社・石川県立美術館	学術協力「国宝 薬師寺展」出陳品点検・梱包作業	4月10日～12日	学芸部長補佐 岩田 茂樹 企画室長 野尻 忠 保存修理指導室長 谷口 耕生
2	葛城市	市民講座において「當麻寺展」に関する講演	4月13日	研究員 北澤 菜月
3	国宝薬師寺展金沢展実行委員会・薬師寺・北國新聞社・石川県立美術館	学術協力「国宝 薬師寺展」出陳品集荷・輸送作業	4月15日～17日	部長補佐 岩田 茂樹 研究員 岩戸 晶子
4	国宝薬師寺展金沢展実行委員会・薬師寺・北國新聞社・石川県立美術館	学術協力「国宝 薬師寺展」展示作業	4月20日～25日	学芸部長補佐 岩田 茂樹 企画室長 野尻 忠 保存修理指導室長 谷口 耕生 研究員 岩戸 晶子 研究員 北澤 菜月
5	橿原考古学研究所附属博物館	長期貸与中館蔵品に関して助言・指導	4月25日	研究員 岩戸 晶子
6	東京文化財研究所	保存修復科学センターPT会議に出席し助言	4月25日、6月24日	保存修理指導室長 谷口 耕生
7	けいはんな情報通信フェア2013実行委員会・情報通信研究機構・公益財団法人 関西化学術研究都市推進機構・(株) 交際電気通信基礎技術研究所・公益社団法人 関西経済連合会	海龍王寺所蔵彫刻作品の写真撮影・3D計測作業立会	5月16日～18日	学芸部長補佐 岩田 茂樹 研究員 山口 隆介
8	読売新聞社	読売新聞「あおによし賞」選考委員会委員として表彰式出席	5月26日	館長 湯山 賢一
9	公益財団法人冷泉家時雨亭文庫	冷泉家時雨亭文庫評議員選定委員会に出席し助言	6月3日	館長 湯山 賢一
10	福岡市美術館・静岡市美術館・岡崎市美術館・読売新聞大阪本社	学術協力「法隆寺展－聖徳太子と平和への祈り－」における出陳交渉	6月21日	学芸部長補佐 岩田 茂樹
11	国宝薬師寺展金沢展実行委員会・薬師寺・北國新聞社・石川県立美術館	学術協力「国宝 薬師寺展」展示撤収作業	6月24日～28日	学芸部長補佐 岩田 茂樹 企画室長 野尻 忠 保存修理指導室長 谷口 耕生 研究員 岩戸 晶子
12	東大寺図書館	東大寺経巻聖教目録刊行に係る調査	6月28日	館長 湯山 賢一
13	国宝薬師寺展金沢展実行委員会・薬師寺・北國新聞社・石川県立美術館	学術協力「国宝 薬師寺展」出陳品返却作業	7月1日～5日	学芸部長補佐 岩田 茂樹 企画室長 野尻 忠 保存修理指導室長 谷口 耕生 研究員 岩戸 晶子

	機 関	内 容	期 間	担当者
14	伝香寺	国指定文化財の移動作業における指導	7月22日、24日	学芸部長補佐 岩田 茂樹 研究員 山口 隆介
15	法隆寺	法隆寺夏季大学にて講演	7月27日	館長 湯山 賢一
16	土佐山内家宝物資料館	山内家文書料紙の調査	8月6日～9日	館長 湯山 賢一
17	京都大学人文科学研究所	「カラホト文物展（仮）」に関する助言	8月6日	企画室長 野尻 忠
18	九州国立博物館	長期貸与中館蔵品の修理監督	8月29日～30日	保存修理指導室長 谷口 耕生 研究員 北澤 菜月
19	福岡市美術館・静岡市美術館・岡崎市美術館・読売新聞大阪本社	学術協力「法隆寺展－聖徳太子と平和への祈り－」に関して指導・助言	9月2日	学芸部長補佐 岩田 茂樹
20	最上義光歴史館	貸与作品の展示について指導・助言	9月12日～14日	保存修理指導室長 谷口 耕生
21	読売新聞社、NHK大阪放送局	「正倉院フォーラム 2013 大阪」にて講演	9月16日	館長 湯山 賢一
22	奈良トライアングルミュージアムズ	神戸シンポジウムにて講演	9月28日	学芸部長 西山 厚
23	読売新聞大阪本社	京都美術工芸大学にて正倉院展に関する出前授業実施	10月1日	学芸部長補佐 内藤 栄
24	福岡市美術館・静岡市美術館・岡崎市美術館・読売新聞大阪本社	学術協力「法隆寺展－聖徳太子と平和への祈り－」に関する文化財撮影作業	10月3日～4日	学芸部長補佐 岩田 茂樹 研究員 北澤 菜月 資料室員 佐々木 香輔
25	読売新聞社	「正倉院展の楽しみ方～まほろばの集い IN 福岡～」にて講演	10月5日	学芸部長補佐 内藤 栄
26	岩手県立博物館	考古資料相互活用促進事業に関する打合せ及び文化財調査	9月18日～19日	研究員 岩戸 晶子
27	読売新聞大阪本社	奈良育英中学校にて正倉院展に関する出前授業実施	11月1日	主任研究員 清水 健
28	福岡市美術館・静岡市美術館・岡崎市美術館・読売新聞大阪本社	学術協力「法隆寺展－聖徳太子と平和への祈り－」に関する文化財調査	11月5日～6日	企画室長 野尻 忠 保存修理指導室長 谷口 耕生 研究員 北澤 菜月
29	サントリー美術館	貸与作品の展示について指導・助言	11月17日	学芸部長補佐 内藤 栄
30	平泉町	考古資料相互活用促進事業に関する打合せ及び文化財調査	11月27日～29日	研究員 岩戸 晶子
31	読売新聞大阪本社	正倉院展作文コンクール審査会に審査員として出席	12月4日	館長 湯山 賢一 学芸部長 西山 厚
32	福岡市美術館・静岡市美術館・岡崎市美術館・読売新聞大阪本社	学術協力「法隆寺展－聖徳太子と平和への祈り－」に関して指導・助言	12月5日～6日	学芸部長補佐 岩田 茂樹 研究員 北澤 菜月
33	福岡市美術館・静岡市美術館・岡崎市美術館・読売新聞大阪本社	学術協力「法隆寺展－聖徳太子と平和への祈り－」出陳品借用作業	12月9日	学芸部長補佐 内藤 栄 企画室長 野尻 忠 研究員 北澤 菜月
34	奈良トライアングルミュージアムズ	東京セミナーにて講演	12月15日	学芸部長 西山 厚
35	岩手県立博物館・平泉町(平泉文化遺産センター)	考古資料相互活用促進事業に伴う文化財輸送	26年1月20日～25日	研究員 岩戸 晶子
36	サントリー美術館	貸与作品の撤収について指導・助言	26年1月14日	学芸部長補佐 内藤 栄
37	サントリー美術館	貸与作品の返却立会	26年1月20日	学芸部長補佐 内藤 栄
38	福岡市美術館・静岡市美術館・岡崎市美術館・読売新聞大阪本社	学術協力「法隆寺展－聖徳太子と平和への祈り－」に関する文化財撮影作業	26年1月22日	学芸部長補佐 岩田 茂樹 教育室長 岩井 共二 研究員 北澤 菜月 研究員 山口 隆介 資料室員 佐々木 香輔
39	福岡市美術館・静岡市美術館・岡崎市美術館・読売新聞大阪本社	学術協力「法隆寺展－聖徳太子と平和への祈り－」出陳品点検・梱包作業	26年3月10日～13日	学芸部長補佐 岩田 茂樹 学芸部長補佐 内藤 栄 研究員 岩戸 晶子 研究員 北澤 菜月
40	一般社団法人 国宝修理装演師連盟	顧問として国宝修理装演師連盟の事業の円滑な推進に協力	4月1日～26年3月31日	館長 湯山 賢一
41	公益財団法人 ユネスコ・アジア文化センター	文化遺産保護協力事業運営審議会委員としてアジア太平洋地域の文化遺産保護協力を推進するための事業に関して協議及び助言	4月1日～26年3月31日	館長 湯山 賢一
42	公益財団法人 元興寺文化財研究所	評議員として同研究所が行う仏教民俗文化財等の文化財の保存・調査等の事業に関して助言	4月1日～26年3月31日	館長 湯山 賢一
43	公益社団法人 日本工芸会	日本伝統工芸展運営委員として日本伝統工芸展の運営に関して助言	4月1日～26年3月31日	館長 湯山 賢一
44	奈良フェスティバル実行委員会	委員として奈良フェスティバル実施に係る諸課題に関し審議	4月1日～26年3月31日	館長 湯山 賢一
45	公益財団法人 仏教美術協会	評議員として事業計画及び収支事項等について助言	4月1日～26年3月31日	館長 湯山 賢一
46	公益財団法人 松伯美術館	理事として法人の運営に関し助言	4月1日～26年3月31日	館長 湯山 賢一
47	公益財団法人 大和文華館	理事として法人の運営に関し助言	6月13日～26年3月31日	館長 湯山 賢一
48	公益財団法人 仏教美術研究上野記念財団	理事として法人の運営に関し助言	6月24日～26年3月31日	館長 湯山 賢一
49	奈良女子大学	経営協議会委員として経営に関する重要事項について審議・助言	4月1日～26年3月31日	館長 湯山 賢一
50	文化庁	文化審議会専門委員（文化財分科会）として文化財の保存及び活用に関する重要事項を調査審議	4月1日～26年3月18日	館長 湯山 賢一

機 関	内 容	期 間	担 当 者
51 春日大社境内整備委員会	春日大社境内整備委員会委員として境内の諸施設等の整備に関して助言	5月1日～26年3月31日	館長 湯山 賢一
52 米沢市教育委員会	米沢市上杉博物館資料収集委員会委員として資料の収集等に関し調査審議	4月1日～26年3月31日	館長 湯山 賢一
53 公益財団法人 日本博物館協会	参与として博物館振興のための調査及び研究開発等に関し助言	4月1日～26年3月31日	館長 湯山 賢一
54 文化庁文化財部伝統文化課	工芸技術記録映画製作委員会委員として製作者選定にあたり助言	4月1日～26年3月31日	館長 湯山 賢一
55 文化庁文化財部	国有文化財等(美術工芸品)保存修理事業協力者会議の協力者として事業の実施運営等について助言	11月～26年3月31日	館長 湯山 賢一 学芸部長補佐 岩田 茂樹 保存修理指導室長 谷口 耕生
56 巡る奈良実行委員会	委員として実行委員会が行う事業について審議	4月1日～26年3月31日	副館長 清水 功
57 公益財団法人 大和文華館	理事として法人の運営に関し助言	4月1日～26年3月31日	学芸部長 西山 厚
58 九州国立博物館	文化財保存修復施設運営委員会委員として文化財保存修復施設の管理運営に関する重要事項について審議・助言	4月1日～26年3月31日	学芸部長 西山 厚
59 奈良文化財研究所飛鳥資料館	飛鳥資料館運営に関する懇談会委員として飛鳥資料館の管理運営に関する重要事項について審議・助言	4月1日～26年3月31日	学芸部長 西山 厚
60 京都国立博物館	京都国立博物館文化財保存修理所運営委員会委員として文化財保存修理所の管理運営に関する重要事項について審議・助言	4月1日～26年3月31日	学芸部長 西山 厚
61 奈良文化財研究所	奈良文化財研究所飛鳥資料館ミュージアムショップ運営業務選定委員会委員として運営業務提案者を選定	26年2月7日	総務課長 中村 恵
62 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立曾爾青少年自然の家	平成25年度「ジャパン・マレーシア交流プロジェクト2013～見つける・ひろがる 世界と未来」に係る企画委員会委員として事業内容について協議及び成果を検証	6月～26年3月31日	総務課長 中村 恵
63 香芝市教育委員会	香芝市文化財保護審議会委員として文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査審議	4月1日～7月31日	学芸部長補佐 岩田 茂樹
64 河合町教育委員会	河合町文化財保護審議会委員として文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査審議	4月1日～26年3月31日	学芸部長補佐 岩田 茂樹
65 神戸市教育委員会	神戸市文化財保護審議会委員として文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査審議	7月15日～26年3月31日	学芸部長補佐 岩田 茂樹
66 奈良県教育委員会	奈良県文化財保護審議会委員として文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査審議	7月1日～26年3月31日	学芸部長補佐 内藤 栄
67 奈良県	奈良県伝統的工芸品指定委員会委員として、指定に関する事項等について審議・助言	4月1日～26年3月31日	学芸部長補佐 内藤 栄
68 文化財保存修復学会	理事として学会の運営に協力	4月1日～26年3月31日	保存修理指導室長 谷口 耕生
69 文化財保存修復学会	文化財保存修復学会第35回大会実行委員として仙台市で行われる同学会年次大会について助言	4月1日～7月21日	保存修理指導室長 谷口 耕生
70 天理市教育委員会	天理市文化財保護審議会委員として文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査審議	11月1日～26年3月31日	保存修理指導室長 谷口 耕生
71 徳島県教育委員会	徳島県文化財保護審議会として文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査審議	4月1日～26年3月31日	研究員 北澤 菜月

## 【九州国立博物館】64件

機 関	内 容	期 間	担 当 者
1 国立歴史民俗博物館	採用・昇任選考委員会	4月5日	博物館科学課長 今津節生
2 公益財団法人文化財保護・芸術研究助成財団	公益財団法人文化財保護・芸術研究助成財団第11回事業委員会	4月16日	館長 三輪嘉六
3 明治大学	虎塚古墳壁画公開に伴う点検・調査への助言	5月7日	学芸部特任研究員 本田光子
4 公益社団法人日本工芸会	第60回日本伝統工芸展運営委員会	4月25日	館長 三輪嘉六
5 太宰府市	大野城・基肄城・水城1350年記念事業実行委員会での助言	5月1日	展示課長 赤司善彦
6 唐津市教育委員会	唐津焼美術館(仮称)構想検討委員会での助言	5月15日・10月31日	展示課長 赤司善彦
7 島根県教育庁文化財課	石見銀山遺跡間歩調査指導会	5月23日	文化財課資料登録室主任研究員 鳥越俊行
8 公益財団法人文化財虫害研究所	平成25年度第1回評議委員会	5月16日	館長 三輪嘉六
9 熊本市現代美術館	現代東南アジアにおける生活文化の実態および体験プログラムの可能性について助言	5月21日	交流課主任研究員 池内一誠
10 文化庁	文化審議会文化財分科会第三専門調査会	5月23日～24日	学芸部特任研究員 本田光子
11 一般社団法人文化財保存修復学会	一般社団法人文化財保存修復学会平成25年度第1回理事会	5月31日	学芸部特任研究員 本田光子
12 文化庁	古墳壁画の保存活用に関する検討会 装飾古墳ワーキンググループ(第4回)	5月30日	博物館科学課長 今津節生
13 一般社団法人文化財保存修復学会	一般社団法人文化財保存修復学会平成25年度第1回理事会	5月31日	博物館科学課長 今津節生
14 秩父宮記念スポーツ博物館	博物館実習の実施方法について助言	6月13日	交流課主任研究員 池内一誠
15 公益財団法人文化財虫害研究所	第35回文化財の虫害・保存対策研修会講演	6月20日	学芸部特任研究員 本田光子
16 佐賀県庁	これからのまなびの場のビジョン第1回検討懇話会	6月26日	館長 三輪嘉六
17 文化庁	古墳壁画の保存活用に関する検討会 装飾古墳ワーキンググループ(第5回)	6月27日	博物館科学課長 今津節生
18 宮内庁	第37回宮内庁陵墓管理委員会	6月28日	館長 三輪嘉六
19 公益財団法人文化財虫害研究所	平成25年度文化財IPMコーディネータ委員会	7月4日	学芸部特任研究員 本田光子

機 関	内 容	期 間	担 当 者
20 独立行政法人日本芸術文化振興会	日本芸術文化振興会運営委員会	7月16日	館長 三輪嘉六
21 日本科学未来館	体験型展示室のあり方について助言	7月17日	交流課主任研究員 池内一誠
22 文化庁	「民族共生の象徴となる空間」における博物館の整備・運営に関する調査検討委員会	7月9日	副館長 森田稔
23 松浦市教育委員会	第1回鷹島神崎遺跡保存管理計画策定委員会	7月12日	博物館科学課長 今津節生
24 臼杵市立図書館、中国陶瓷美術館	臼杵市所蔵文化財の保存についての指導・助言	7月11日～12日	博物館科学課保存修復室長 藤田励夫
25 文化庁	水中遺跡調査検討委員会（第2回）	7月16日～17日	博物館科学課長 今津節生
26 文化庁	古墳壁画の保存活用に関する検討会装飾古墳ワーキンググループ（第7回）	7月24日	博物館科学課長 今津節生
27 吉崎市役所	吉崎市立一支国博物館の指定管理者選定委員会	7月24日	館長 三輪嘉六
28 文化庁	「民族共生の象徴となる空間」における博物館の整備・運営に関する調査検討委員会（第9回）	8月22日	副館長 森田稔
29 唐津市教育委員会	平成25年度第1回鶴殿石仏群保存対策調査委員会	8月19日	博物館科学課長 今津節生
30 佐賀県庁	これからのまなびの場のビジョン第2回検討懇話会	8月29日	館長 三輪嘉六
31 東京文化財研究所	文化財の放射線対策に関する調査研究ワーキンググループⅡ	8月28日	博物館科学課長 今津節生
32 高松市	屋嶋城調査整備会議での指導・助言	9月3日	展示課長 赤司善彦
33 大野城市	新博物館構想についての講義と助言	9月10日	展示課長 赤司善彦
34 大和文華館	特別企画展『水墨画名品展』特別講演	9月15日	企画課特別展室主任研究員 畑靖紀
35 文化庁	古墳壁画の保存活用に関する検討会 装飾古墳ワーキンググループ（第8回）	9月26日	博物館科学課長 今津節生
36 東京藝術大学	鳥取県立博物館所蔵の絵画の調査への助言	9月26日	博物館科学課環境保全室研究員 秋山純子
37 瑞浪市教育委員会	第1回瑞浪市櫻堂薬師調査指導委員会	10月3日	館長 三輪嘉六
38 東京文化財研究所	文化財の放射線対策に関する調査研究ワーキンググループⅡ	10月23日	博物館科学課長 今津節生
39 独立行政法人日本スポーツ振興センター	第5回秩父宮記念スポーツ博物館・図書館在り方検討委員会	10月23日	館長 三輪嘉六
40 文化庁	文化審議会文化財分科会第三専門調査会	10月24日～25日	学芸部特任研究員 本田光子
41 文化庁	文化財レスキュー	10月29日～31日	企画課特別展室主任研究員 市元壘
42 国立科学博物館	体験型展示室のあり方について助言	10月31日	交流課主任研究員 池内一誠
43 白石町教育委員会	佐賀県史跡龍王崎古墳群石室内環境調査における指導・助言	11月5日	博物館科学課長 今津節生
44 宮内庁書陵部	平成25年度宮内庁陵墓管理委員現地視察、工法検討会議	11月20日～21日	館長 三輪嘉六
45 松浦市	平成25年度第2回鷹島神崎遺跡保存管理計画策定委員会	11月30日	博物館科学課長 今津節生
46 南九州市	第1回知覧特攻平和会館保存検討委員会	12月12日	学芸部特任研究員 本田光子
47 日本学術会議	史学委員会文化財の保護と活用に関する分科会（第22期・第8回）	12月26日	学芸部特任研究員 本田光子
48 佐賀県庁	これからのまなびの場のビジョン第3回検討懇話会	12月19日	館長 三輪嘉六
49 松浦市教育委員会	海底出土遺物の形状調査への助言、平成25年度第1回松浦市鷹島海底遺跡調査指導委員会合同会議	12月27日	博物館科学課長 今津節生
50 練馬区立石神井公園ふるさと文化館	体験型展示室のあり方、博物館ボランティアのあり方について助言	26年1月15日	交流課主任研究員 池内一誠
51 国立民族学博物館	被災文化財の取り扱いについての指導・助言	26年1月18日～19日	学芸部特任研究員 本田光子
52 文化庁	水中遺跡調査検討委員会（第3回）	26年1月23日	博物館科学課長 今津節生
53 国立歴史民俗博物館	博物館ボランティアのあり方について助言	26年1月26日	交流課主任研究員 八尋智之
54 松浦市	平成25年度第3回松浦市鷹島海底遺跡調査指導委員会合同会議	26年1月27日	博物館科学課長 今津節生
55 公益財団法人文化財虫害研究所	平成25年度第2回評議員会	26年1月28日	館長 三輪嘉六
56 島根県教育庁	石見銀山遺跡間歩調査に伴う調査指導	26年1月29日～30日	文化財課資料登録室主任研究員 鳥越俊行
57 文化庁	文化審議会文化財分科会第三専門調査会埋蔵文化財委員会の現地視察	26年1月29日～30日	学芸部特任研究員 本田光子
58 東京国立博物館	漆塗棺研究會	26年1月30日	企画課特別展室主任研究員 市元壘
59 佐賀県庁	これからのまなびの場のビジョン第4回検討懇話会	26年2月5日	館長 三輪嘉六
60 奈良文化財研究所	保存科学研究集 2013	26年2月21日	博物館科学課長 今津節生
61 独立行政法人日本芸術文化振興会	平成26年度芸術文化振興基金運営委員会第1回文化財部会	26年3月7日	館長 三輪嘉六
62 一般社団法人文化財保存修復学会	文化財保存修復学会第36回大会プログラム作成委員会	26年3月7日	博物館科学課長 今津節生
63 文化庁	古墳壁画の保存活用に関する検討会装飾古墳ワーキンググループ（第12回）	26年3月10日	博物館科学課長 今津節生
64 文化庁	水中遺跡調査検討委員会（第4回）	26年3月14日	博物館科学課長 今津節生

## 4 文化財に関する調査及び研究の推進

### 4-(1) 文化財に関する基礎的・体系的な調査・研究の推進

- 4-(1)-① 調査研究テーマ一覧 (後述の資料に記載) ◎共通資料c-②
- 4-(1)-② 学会、研究会等発表実績一覧 (後述の資料に記載) ◎共通資料c-③
- 4-(1)-③ 論文等発表実績一覧 (後述の資料に記載) ◎共通資料c-⑤
- 4-(1)-④ 調査研究刊行物一覧 (後述の資料に記載) ◎共通資料c-⑥

### 4-(2) 文化財の研究に関する調査手法の研究・開発の推進

- 4-(2)-① 調査研究テーマ一覧 (後述の資料に記載) ◎共通資料c-②
- 4-(2)-② 学会、研究会等発表実績一覧 (後述の資料に記載) ◎共通資料c-③
- 4-(2)-③ 論文等発表実績一覧 (後述の資料に記載) ◎共通資料c-⑤
- 4-(2)-④ 調査研究刊行物一覧 (後述の資料に記載) ◎共通資料c-⑥

### 4-(3) 科学技術の活用等による文化財の保存科学や修復技術に関する中核的な支援拠点として、 先端的調査研究等の推進

- 4-(3)-① 調査研究テーマ一覧 (後述の資料に記載) ◎共通資料c-②
- 4-(3)-② 学会、研究会等発表実績一覧 (後述の資料に記載) ◎共通資料c-③
- 4-(3)-③ 論文等発表実績一覧 (後述の資料に記載) ◎共通資料c-⑤
- 4-(3)-④ 調査研究刊行物一覧 (後述の資料に記載) ◎共通資料c-⑥

### 4-(4) 国・地方公共団体の要請に応じた保存措置等のために必要な実践的な調査・研究の実施

- 4-(4)-① 調査研究テーマ一覧 (後述の資料に記載) ◎共通資料c-②
- 4-(4)-② 学会、研究会等発表実績一覧 (後述の資料に記載) ◎共通資料c-③
- 4-(4)-③ 論文等発表実績一覧 (後述の資料に記載) ◎共通資料c-⑤
- 4-(4)-④ 調査研究刊行物一覧 (後述の資料に記載) ◎共通資料c-⑥

### 4-(5) 有形文化財の収集・保管・公衆への観覧にかかる調査・研究

- 4-(5)-① 調査研究テーマ一覧 (後述の資料に記載) ◎共通資料c-②
- 4-(5)-② 学会、研究会等発表実績一覧 (後述の資料に記載) ◎共通資料c-③
- 4-(5)-③ 論文等発表実績一覧 (後述の資料に記載) ◎共通資料c-⑤
- 4-(5)-④ 調査研究刊行物一覧 (後述の資料に記載) ◎共通資料c-⑥
- 4-(5)-⑤ 科学研究費補助金による調査研究 (後述の資料に記載) ◎共通資料c-⑦
- 4-(5)-⑥ 客員研究員一覧 (後述の資料に記載) ◎共通資料c-⑧

## 5 文化財保護に関する国際協力の推進

### 5-(1) 文化財の保護制度や施策の国際動向及び国際協力及び国際共同研究

#### 5-(1)-① 調査研究テーマ一覧

(後述の資料に記載) ◎共通資料c-②

#### 5-(1)-② 国際ワークショップ開催実績一覧

##### 【東京文化財研究所】

	研修・ワークショップ	実施時期	回数	適用
1	東南アジア諸国等文化遺産保存修復協力：タネイ遺跡における建築遺構の実測研修 第1回（通算第3回）「遺跡の発掘」、「出土遺物の保存修復」、「史跡整備」 第2回（通算第4回）「考古遺物の保存修復」	7月22日～8月2日 26年1月17日～24日	2	
2	キルギズ共和国科学アカデミーとの文化遺産保護の分野における協力・ワークショップ	8月27日～9月12日 26年2月10日～2月15日	2	一部受託
3	タジキスタン、ウズベキスタンにおける文化遺産のドキュメンテーションに関するワークショップ： 考古遺跡のドキュメンテーションにかかる技術移転と人材育成「フルブック遺跡」（タジキスタン） 「文化遺産の写真測量」（ウズベキスタン）	11月7日～14日（タジキスタン） 12月1日～3日（ウズベキスタン）	2	一部受託
4	コーカサス：アルメニア共和国歴史博物館との考古青銅遺物の保存修復に関する協力・ワークショップ	6月12日～25日 26年1月	2	一部受託
5	国際研修「紙の保存と修復」（日本国内研修）	8月26日～9月13日	1	
6	国際研修「紙の保存と修復」（メキシコ研修） ICCROM-LATAMプログラムにおけるInternational Course on Paper Conservation in Latin America	10月6日～22日	1	
7	Workshops on Conservation of Japanese Art Objects on Paper and Silk 会場：ベルリン国立博物館連合・アジア美術館（ベルリン・ドイツ）	7月3日～5日 7月8日～12日	1	
8	Workshops on the Conservation and Restoration of Urushi (Lacquer ware) 会場：ケルン市博物館連合・ケルン東洋美術館（ケルン・ドイツ）	11月14～15日、16日 11月19～22日 11月26～29日	1	
9	ブータン王国の伝統的建造物保存に関する拠点交流事業：ワークショップ	10月19日～28日	1	受託
10	「タンロン・ハノイ文化遺産群の保存」ユネスコ日本信託基金事業： ワークショップ	5月15日～18日 9月9日～11日	2	受託
11	ミャンマーの文化遺産保護に関する拠点交流事業：遺物調査研究法に関する研修及び技術移転	26年1月19日～26日	1	受託
12	ミャンマーの文化遺産保護に関する拠点交流事業：第1回木造建造物保存研修	26年2月2日～13日	1	受託
13	ミャンマーの文化遺産保護に関する拠点交流事業：壁画の保存修復に関する研修	26年2月3日～7日	1	受託
14	ミャンマーの文化遺産保護に関する拠点交流事業：考古遺跡の保存管理と考古遺物の記録法に関する研修	26年2月2日～8日	1	受託
15	エジプト国大エジプト博物館保存修復センタープロジェクト（フェーズⅡ）に係る国内支援業務： <現地研修（計7回）> 「第2回染織品研修」 「第3回労働安全衛生研修」 「文化財の診断技術・分析法研修」 「第6回所内移動・梱包研修」 「国外視察研修（含むBUMA8奈良大会）」 「第7回所内移動・梱包研修」 「第2回彩色文化財研修」 <本邦研修（計4回）> 「第4回収蔵品管理研修」 「第3回染織品研修」 「第3回微生物管理研修」 「木材研修」	4月 4～5月 5月 6月 9月 26年2月 26年2月  6月 9月 26年1月～2月 26年2月	11	受託

#### 5-(1)-③ 学会、研究会等発表実績一覧

(後述の資料に記載) ◎共通資料c-③

#### 5-(1)-④ 論文等発表実績一覧

(後述の資料に記載) ◎共通資料c-⑤

### 5-(2) 諸外国における文化財の保存・修復に関する技術移転の推進

#### 5-(2)-① 調査研究テーマ一覧

(後述の資料に記載) ◎共通資料c-②

### 5-(3) 研修、専門家の派遣を通じた諸外国における人材育成、技術移転

5-(3)-① アジア諸国文化財保護担当者などの人材養成に関する研修等実施状況

【東京文化財研究所】

※5-(1)-② 国際ワークショップ開催実績一覧にまとめて記載

【奈良文化財研究所】 4件

	研修課程	研修期間	日数	研修対象	参加者数
1	ACCUの実施する文化遺産の保護に資する研修2013（個人研修）	8月1日～8月26日	26日	キリバス人専門家	2人
2	ACCUの実施する文化遺産の保護に資する研修2013（集団研修）	9月3日～10月3日	31日	アジア太平洋地域の政府機関、大学、研究所などに勤務し、文化遺産の管理、保護、修復に携わっているもの。	16人
3	ACCUの実施する文化遺産の保護に資する「文化遺産ワークショップ」（スリランカで開催）	10月16日～10月28日	13日	アジア太平洋地域の政府機関、大学、研究所などに勤務し、文化遺産の管理、保護、修復に携わっているもの。	15人
4	ACCUの実施する文化遺産の保護に資する研修2013（個人研修）	11月5日～11月28日	24日	バングラデシュ人専門家	3人

5-(4) アジア太平洋地域における無形文化遺産保護に関する基礎的な調査・研究

5-(4)-① 研究交流実績一覧 (後述の資料に記載) ◎共通資料c-①

5-(4)-② 調査研究テーマ一覧 (後述の資料に記載) ◎共通資料c-②

5-(4)-③ 学会、研究会等発表実績一覧 (後述の資料に記載) ◎共通資料c-③

5-(4)-④ シンポジウム開催実績一覧 (後述の資料に記載) ◎共通資料c-④

5-(4)-⑤ 論文等発表実績一覧 (後述の資料に記載) ◎共通資料c-⑤

5-(4)-⑥ 調査研究刊行物一覧 (後述の資料に記載) ◎共通資料c-⑥

5-(4)-⑦ ウェブサイトアクセス件数 (後述の資料に記載) ◎共通資料d

## 6 情報発信機能の強化

### 6-(1) ネットワークのセキュリティの強化及び情報基盤の整備充実

#### 6-(1)-① 文化財関係資料及び図書の受入件数

	東京文化財研究所		奈良文化財研究所	
	25年度受入件数	総件数	25年度受入件数	総件数
図 書	5,876冊	250,830冊	7,799冊	336,492冊

### 6-(2) 研究所の調査・研究成果の発信

#### 6-(2)-① 公開講演会、現地説明会

##### 【東京文化財研究所】

###### 公開講演会 1件 (2日)

○公開講演会「第47回企画情報部 オープンレクチャー「モノノイメージとの対話」

- ・開催日：10月4日（金）
- ・開催場所：東京文化財研究所セミナー室
- ・主催：上野の山文化ゾーン連絡協議会
- ・参加人数：117人
- ・事業内容：美術史研究の成果を一般に公表すること  
「平安仏画の表現—虚空蔵菩薩と千手観音像—」  
「高麗仏画の表現—凝縮された美—」

- ・開催日：10月5日（土）
- ・開催場所：東京文化財研究所セミナー室
- ・主催：上野の山文化ゾーン連絡協議会
- ・参加人数：90人
- ・事業内容：美術史研究の成果を一般に公表すること  
「螺鈿を訪ねて西へ東へ—5000年の世界史を探る—」  
「世界遺産—現状と問題、将来像—」

##### 【奈良文化財研究所】

###### 公開講演会 5件

○公開講演会「飛鳥資料館春期特別展『飛鳥寺2013』記念講演会」

- ・開催日：5月18日
- ・開催場所：飛鳥資料館講堂
- ・主催：奈良文化財研究所飛鳥資料館
- ・参加人数：71人
- ・事業内容：文化財に関する調査・研究に基づく成果について、積極的に公開・提供する。  
「最近の東アジアの研究成果から見た飛鳥寺」

○公開講演会「第112回公開講演会」

- ・開催日：6月29日
- ・開催場所：平城宮跡資料館講堂
- ・主催：奈良文化財研究所
- ・参加人数：250人
- ・事業内容：文化財に関する調査・研究に基づく成果について、積極的に公開・提供する。  
「貨幣とは何か—最古の貨幣をめぐる議論」  
「日本らしさのはじまり」  
「海を越えてきたもの、こなかったもの」

○公開講演会「特別講演会(東京会場)『歴史の証人 木簡を究める』」

- ・開催日：9月22日
- ・開催場所：有楽町朝日ホール
- ・主催：奈良文化財研究所
- ・参加人数：408人
- ・事業内容：文化財に関する調査・研究に基づく成果について、積極的に公開・提供する。  
「木簡を掘る 資料としての木簡、木簡の出土と整理」  
「木簡を探る 木簡が明らかにした歴史の諸相」  
「木簡を読む 木簡の情報を読み取り記録する」  
「木簡を広げる 古代以外の、さまざまな地域の木簡」  
「木簡と文字 データベース、木簡の文字」  
「木簡を伝える 木簡の科学的な分析、保存処理と伝来環境」  
「木簡研究の過去・現在・未来 質疑応答・自由討論」

○公開講演会「第113回公開講演会」

- ・開催日：10月26日
- ・開催場所：平城宮跡資料館講堂
- ・主催：奈良文化財研究所
- ・参加人数：176人
- ・事業内容：文化財に関する調査・研究に基づく成果について、積極的に公開・提供する。  
「富本銭と藤原京—貨幣の発行と都城造営」  
「東日本大震災文化財レスキュー事業における奈文研の取り組み」  
「—靱形埴輪—造形美に隠された世界」

○公開講演会「飛鳥資料館秋期特別展『飛鳥・藤原京への道』記念講演会」

- ・開催日：11月16日
- ・開催場所：飛鳥資料館講堂
- ・主催：奈良文化財研究所飛鳥資料館
- ・参加人数：112人
- ・事業内容：文化財に関する調査・研究に基づく成果について、積極的に公開・提供する。  
「飛鳥へ続く道」

#### 現地説明会 5件

- 現地見学会「飛鳥藤原第177次（甘樫丘東麓遺跡）発掘調査」
  - ・開催日：9月7日
  - ・開催場所：高市郡明日香村大字川原地先（国営飛鳥歴史公園甘樫丘地区内）
  - ・主催：奈良文化財研究所
  - ・参加人数：1,122人
  - ・事業内容：文化財に関する調査・研究に基づく成果について、積極的に公開・提供する。  
発掘調査
- 現地見学会「平城第516次（興福寺西室）発掘調査」
  - ・開催日：9月28日
  - ・開催場所：奈良市登大路町
  - ・主催：奈良文化財研究所
  - ・参加人数：885人
  - ・事業内容：文化財に関する調査・研究に基づく成果について、積極的に公開・提供する。  
発掘調査
- 現地説明会「飛鳥藤原第179次（藤原宮朝堂院朝庭）発掘調査」
  - ・開催日：12月21日
  - ・開催場所：橿原市高殿町
  - ・主催：奈良文化財研究所
  - ・参加人数：337人
  - ・事業内容：文化財に関する調査・研究に基づく成果について、積極的に公開・提供する。  
発掘調査
- 現地見学会「平城519次（薬師寺十字廊）発掘調査」
  - ・開催日：26年2月15日
  - ・開催場所：奈良市西ノ京町
  - ・主催：奈良文化財研究所
  - ・参加人数：350人
  - ・事業内容：文化財に関する調査・研究に基づく成果について、積極的に公開・提供する。  
発掘調査
- 現地説明会「平城第520次（平城宮第一次大極殿院）発掘調査」
  - ・開催日：26年3月8日
  - ・開催場所：奈良市佐紀町
  - ・主催：奈良文化財研究所
  - ・参加人数：715人
  - ・事業内容：文化財に関する調査・研究に基づく成果について、積極的に公開・提供する。  
発掘調査

#### 6-(2)-② シンポジウム開催実績一覧

（後述の資料に記載）◎共通資料c-④

#### 6-(2)-③ 調査研究刊行物一覧

（後述の資料に記載）◎共通資料c-⑥

#### 6-(2)-④ ウェブサイトアクセス件数

（後述の資料に記載）◎共通資料d

### 6-(3) 研究所所管の展示公開施設の充実

6-(3)-① 入館者数推移（入館料別）（過去5ヵ年）  
（後述の資料に記載）◎共通資料a-①

6-(3)-② 入館者数推移（展覧会別）（過去5ヵ年）  
（後述の資料に記載）◎共通資料a-②

6-(3)-③ 入場料収入  
（後述の資料に記載）◎共通資料a-③

6-(3)-④ 平常展・特別展・海外展  
（後述の資料に記載）◎共通資料a-④

### 6-(4) 文化庁が行う平城宮跡、飛鳥・藤原宮跡等の公開・活用への協力

6-(4)-① ボランティア受入れ実績  
（後述の資料に記載）◎共通資料b

## 7 地方公共団体への協力等による文化財保護の質的向上

### 7-① 国・地方公共団体等に対する専門的・技術的な協力・助言

平成26年3月31日現在

計	東京文化財研究所	奈良文化財研究所
839件	465件	374件

#### 【東京文化財研究所】 465件

	プロジェクト名称	件数
1	文化財の収集、保存、展示に関する指導助言	25件
2	無形文化遺産に関する助言	9件
3	文化財の修復及び整備に関する調査・助言	44件
4	文化財の虫菌害に関する調査・助言	33件
5	文化財の材質・構造に関する調査・助言	13件
6	美術館・博物館等の環境に関する調査・助言	341件

#### 【奈良文化財研究所】 374件

	プロジェクト名称	件数
1	地方公共団体等が行う史跡の整備、復原事業等に関する技術的助言	345件
2	地方公共団体が行う平城京域発掘調査への援助・助言	7件
3	地方公共団体が行う飛鳥・藤原地区の発掘調査への援助・助言	10件
4	東日本大震災の復旧・復興事業に伴う埋蔵文化財発掘調査に対する地方公共団体等への支援・協力	12件

(参考) その他、文化庁の要請を受け、機構本部に福島県内被災文化財等救援事務局を設置し、福島県文化財レスキュー事業として、2施設を対象に、機構職員を現地派遣した。(のべ75人日)

### 7-② 専門指導者層を対象とした研修等実施状況及び研究参加者等に対するアンケート結果

平成26年3月31日現在

計	東京文化財研究所	奈良文化財研究所
12件	3件	9件

#### 【東京文化財研究所】 3件

	研修課程	研修期間	日数	研修対象	研修内容	参加者数	満足度
1	博物館・美術館等の保存担当学芸員研修	7月8日～7月19日	9日	博物館・美術館等の文化財の保存担当者	文化財の保存科学の基礎と実践上の諸問題についての講義と実習	30人	97%
2	第18回資料保存地域研修	12月11日～12日	2日	博物館・美術館等の文化施設に勤務する者	文化財の保存環境に関する基礎的な知識について、それぞれの地域に出向いて講義を行う (会場：山梨県立博物館)	41人	82%
3	第19回資料保存地域研修	26年2月6日～7日	2日	博物館・美術館等の文化施設に勤務する者	文化財の保存環境に関する基礎的な知識について、それぞれの地域に出向いて講義を行う (会場：アイネス(大分県消費生活・男女共同参画プラザ))	83人	86%

#### 【奈良文化財研究所】 9件

	研修課程	研修期間	日数	研修対象	研修内容	参加者数	満足度
1	建築遺構調査課程	6月10日～6月14日	5日	地域の中核となる地方公共団体の文化財担当職員若しくはこれに準ずる者	発掘調査にかかる建築遺構や出土建築部材に関して必要な、上部構造の専門的知識や発掘方法などについての研修	10人	100%
2	中近世城郭調査整備課程	6月17日～6月21日	5日	地域の中核となる地方公共団体の文化財担当職員若しくはこれに準ずる者	中近世城郭の調査研究と整備に関して必要な専門的知識の研修	25人	100%
3	建造物保存活用基礎課程	6月24日～6月28日	5日	地域の中核となる地方公共団体の文化財担当職員若しくはこれに準ずる者	文化財建造物の保護行政をおこなうための、文化財建造物に関する基礎、および文化財建造物の保存・活用に関する基礎の習得を目指す研修	16人	100%
4	報告書作成課程	7月11日～7月19日	7日	地域の中核となる地方公共団体の文化財担当職員若しくはこれに準ずる者	見やすく読みやすい報告書の作り方と、図録・学術誌編集の基礎に関する研修	27人	100%
5	災害痕跡調査課程	9月9日～9月13日	5日	地域の中核となる地方公共団体の文化財担当職員若しくはこれに準ずる者	地震、洪水、火山などの災害痕跡を理解するための専門的知識と調査方法を取得することを目的とする研修	12人	100%
6	三次元計測課程	9月30日～10月4日	5日	地域の中核となる地方公共団体の文化財担当職員若しくはこれに準ずる者	三次元計測の利用に関して必要な専門的知識と技術の研修	8人	100%
7	保存科学基礎Ⅰ(金属製遺物)課程	10月8日～10月17日	8日	地域の中核となる地方公共団体の文化財担当職員若しくはこれに準ずる者	金属製遺物の材質および劣化状態に応じた保存処理法の策定、仕様書の作成をおこなうことができるよう、金属製遺物の材質、劣化状態および保存処理に関する基礎知識を習得することを目的とする研修	11人	100%
8	保存科学基礎Ⅱ(木製遺物)課程	10月17日～10月25日	7日	地域の中核となる地方公共団体の文化財担当職員若しくはこれに準ずる者	木製遺物の樹種、木取りおよび劣化状態に応じた保存処理法の策定、仕様書の作	15人	100%

	研修課程	研修期間	日数	研修対象	研修内容	参加者数	満足度
				若しくはこれに準ずる者	成をおこなうことができるよう、木製遺物の劣化状態および保存処理に関する基礎知識を取得することを目的とする研修		
9	古代・中近世瓦調査課程	10月28日 ～11月1日	5日	地域の中核となる地方公共団体の文化財担当職員 若しくはこれに準ずる者	古代・中近世遺跡出土瓦の調査研究に関して必要な専門的知識と技術の研修	14人	100%

## Ⅱ 業務運営の効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置

### Ⅱ-1 一般管理費の削減

#### Ⅱ-1-① 施設の有効利用件数

平成26年3月31日現在

##### ○件数

	国立文化財機構計	博物館					文化財研究所			
		計	東京国立博物館	京都国立博物館	奈良国立博物館	九州国立博物館	計	東京文化財研究所	奈良文化財研究所	
合計	総件数	2,436	1,117	676	28	144	269	1,319	177	1,142
	うち有償	643	583	393	25	43	122	60	23	37
	うち無償	1,793	534	283	3	101	147	1,259	154	1,105
茶室	総件数	189	189	109	22	17	41			
	うち有償	103	103	55	22	9	17			
	うち無償	86	86	54	0	8	24			
講堂等 (講堂、会議室、研修室)	総件数	1,807	517	309	4	39	165	1,290	169	1,121
	うち有償	229	191	80	1	10	100	38	15	23
	うち無償	1,578	326	229	3	29	65	1,252	154	1,098
その他 (左記以外の建物、敷地)	総件数	166	137	9	0	81	47	29	8	21
	うち有償	57	35	9	0	24	2	22	8	14
	うち無償	109	102	0	0	57	45	7	0	7
撮影利用	総件数	274	274	249	2	7	16	0	0	0
	うち有償	254	254	249	2	0	3	0	0	0
	うち無償	20	20	0	0	7	13	0	0	0

##### ○有償利用の利用金額

(単位：千円)

	国立文化財機構計	博物館					文化財研究所		
		計	東京国立博物館	京都国立博物館	奈良国立博物館	九州国立博物館	計	東京文化財研究所	奈良文化財研究所
合計	68,965	62,818	58,887	323	2,278	1,330	6,147	2,100	4,047
茶室	4,064	4,064	3,458	254	221	131			
講堂等 (講堂、会議室、研修室)	6,896	6,518	5,105	10	244	1,159	378	200	178
その他 (左記以外の建物、敷地)	19,709	13,940	12,099	0	1,813	28	5,769	1,900	3,869
撮影利用	38,296	38,296	38,225	59	0	12	0	0	0

※アジア太平洋無形文化遺産研究センターは、堺市博物館の施設の一部を使用しているため、外部利用は行っていない。

◎共通資料

a 展示

a-① 来館者数推移 (入館料別)

平成26年3月31日現在

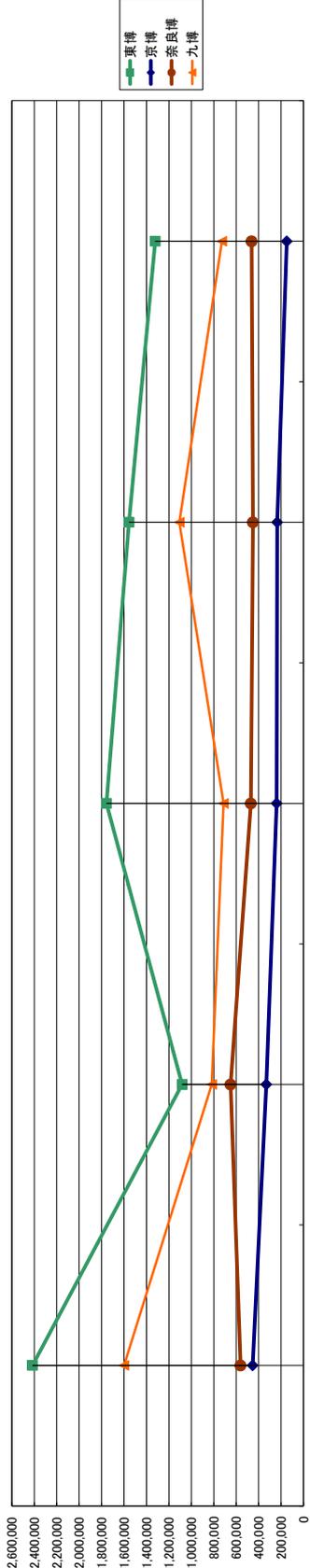
年 度		21	22	23	24	25		
国立文化財機構	平常展	総来館者数	5,156,358	3,392,243	3,356,159	3,520,384	2,818,511	
		計	1,080,509	947,439	913,409	1,109,550	1,011,274	
		有料	一般	320,974	344,070	293,323	355,419	373,417
			大学生	33,061	34,579	27,778	34,218	36,886
			小・中・高生	—	—	—	—	546
		無料	友の会	73,872	67,151	53,383	86,938	89,509
			一般(黒田含む)	49,813	212,611	96,561	74,968	47,371
	小・中・高生		163,663	156,236	173,323	173,386	166,233	
	招待者等	439,126	132,792	269,041	384,621	297,312		
	特別展	計	4,075,849	2,444,804	2,442,750	2,410,834	1,807,237	
		有料	一般	2,885,476	1,459,486	1,585,799	1,535,741	1,132,319
			高・大生	156,452	88,515	89,985	82,665	66,814
			小・中生	69,774	48,563	24,501	30,770	23,243
		無料	友の会	53,074	47,012	40,845	47,758	44,592
小・中生・一般			56,155	198,991	95,130	88,927	99,764	
招待者等			854,918	602,237	606,490	624,973	440,505	
東京国立博物館	平常展	総来館者数	2,416,281	1,082,269	1,756,590	1,555,694	1,322,288	
		計(24年度:黒田含む)	330,536	373,068	324,597	416,430	484,429	
		有料	一般	162,674	196,312	143,017	201,988	250,330
			大学生	20,437	24,140	16,073	22,155	26,117
			小・中・高生	—	—	—	—	—
		無料	友の会	64,816	58,496	44,388	76,333	77,771
			高校生	13,499	17,570	13,861	14,773	18,844
	小・中生		25,890	33,585	33,401	36,660	41,197	
	招待者等	43,220	42,965	60,620	63,381	70,170		
	黒田記念館(無料)	—	—	13,237	1,140	—		
	特別展	計	2,085,745	709,201	1,431,993	1,139,264	837,859	
		有料	一般	1,505,088	424,337	972,328	729,470	561,236
			高・大生	78,355	24,169	52,296	36,874	29,955
			小・中生	—	—	—	—	—
無料		友の会	16,680	9,867	12,072	11,448	9,585	
		小・中生	42,065	15,301	31,888	20,368	14,715	
		招待者等	443,557	235,527	363,409	341,104	222,368	
京都国立博物館	平常展	総来館者数	452,920	331,131	239,767	234,540	148,429	
		計	—	—	—	—	—	
		有料	一般	—	—	—	—	—
			大学生	—	—	—	—	—
			小・中・高生	—	—	—	—	—
		無料	友の会	—	—	—	—	—
			高校生	—	—	—	—	—
	小・中生		—	—	—	—	—	
	招待者等	—	—	—	—	—		
	特別展	計	452,920	331,131	239,767	234,540	148,429	
		有料	一般	276,754	205,194	140,395	124,569	76,358
			高・大生	28,127	18,386	13,912	13,570	10,734
			小・中生	7,297	3,856	2,375	5,022	3,224
		無料	友の会	11,529	10,953	10,719	13,228	9,174
小・中生			1,103	862	3,007	386	1,471	
招待者等			128,110	91,880	69,359	77,765	47,468	
奈良国立博物館	平常展	総来館者数	560,293	649,878	469,463	450,235	461,690	
		計	136,672	71,566	130,839	145,914	122,075	
		有料	一般	53,033	36,436	56,747	56,997	44,307
			大学生	5,391	2,417	4,578	4,754	3,967
			小・中・高生	—	—	—	—	546
		無料	友の会	3,168	2,891	3,765	3,843	2,703
			小・中・高生	38,825	15,293	40,864	48,183	39,249
	招待者等		36,255	14,529	24,885	32,137	31,303	
	特別展	計	423,621	578,312	338,624	304,321	339,615	
		有料	一般	315,128	428,121	243,704	227,929	258,597
			高・大生	15,411	24,411	12,508	12,304	13,756
			小・中生	13,824	19,106	9,380	8,143	7,622
		無料	友の会	11,131	15,358	9,417	10,291	11,206
			小・中生	—	6,107	—	—	3,067
招待者等			68,127	85,209	63,615	45,654	45,367	
九州国立博物館	平常展	総来館者数	1,599,704	818,034	712,594	1,107,036	727,603	
		計	544,661	274,545	358,366	460,525	349,848	
		有料	一般	98,600	105,638	86,974	91,786	75,827
			大学生	6,737	7,560	6,561	6,831	6,571
			小・中・高生	—	—	—	—	—
		無料	友の会	5,888	5,764	5,230	6,762	9,035
			高校生	27,907	35,990	28,625	26,193	26,305
	小・中生		52,658	50,295	51,740	43,351	38,785	
	招待者等	352,871	69,298	179,236	285,602	193,325		
	特別展	計	1,055,043	543,489	354,228	646,511	377,755	
		有料	一般	757,650	343,079	219,615	443,965	224,247
			高・大生	32,892	19,068	10,570	19,108	11,482
			小・中生	48,653	25,601	12,746	17,605	12,397
		無料	友の会	13,734	10,834	8,637	12,791	14,627
小・中生			—	—	—	—	—	
招待者等			202,114	144,907	102,660	153,042	115,002	
黒田記念館	平常展	総来館者数	20,345	18,458	(東京国立博物館平常展に含む)	(東京国立博物館平常展に含む)	(東京国立博物館平常展に含む)	
	平常展	計	20,345	18,458	—	—	—	
	平常展	無料	20,345	18,458	—	—	—	
平城宮跡資料館	平常展	総来館者数	25,127	354,346	132,295	124,515	108,896	
	平常展	無料	25,127	189,338	80,353	64,318	39,502	
	特別展	無料	—	165,008	51,942	60,197	69,394	
藤原宮跡資料室	平常展	総来館者数	4,341	4,815	2,971	9,510	7,869	
	平常展	計	4,341	4,815	2,971	9,510	7,869	
	平常展	無料	4,341	4,815	2,971	9,510	7,869	
飛鳥資料館	平常展	総来館者数	77,347	133,312	42,479	38,854	41,736	
		計	18,827	15,649	16,283	12,853	7,551	
		有料	一般	6,667	5,684	6,585	4,648	2,953
			大学生	496	462	566	478	231
			小・中・高生	4,884	3,503	4,832	4,226	1,853
		無料	招待者等	6,780	6,000	4,300	3,501	2,514
			計	58,520	117,663	26,196	26,001	34,185
	特別展		有料	一般	30,856	58,755	9,757	9,808
		大学生	1,667	2,481	699	809	887	
		無料	小・中・高生	12,987	11,713	8,293	7,976	11,117
	招待者等	13,010	44,714	7,447	7,408	10,300		

※飛鳥資料館特別展有料高校生入場者数は、春期特別展(21,22)及び七夕公開(25)のみ有料(大学生)に含み、それ以外は無料(小・中・高生)に含む。

独立行政法人国立文化財機構 展覧会来館者数(21～25年度)

国立文化財機構 合計	21年度		22年度		23年度		24年度		25年度	
	総計	平常展のみ								
合計	5,156,358	3,392,243	3,382,443	3,356,159	3,520,384	3,520,384	3,520,384	3,520,384	3,520,384	3,520,384
平常展のみ	1,080,509	847,439	847,439	847,439	1,022,869	1,022,869	1,022,869	1,022,869	1,022,869	1,022,869
特別(共催)展計	4,075,849	2,444,804	2,444,804	2,444,804	2,327,515	2,327,515	2,327,515	2,327,515	2,327,515	2,327,515

1) 国立博物館

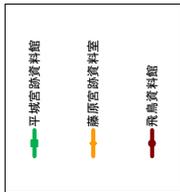
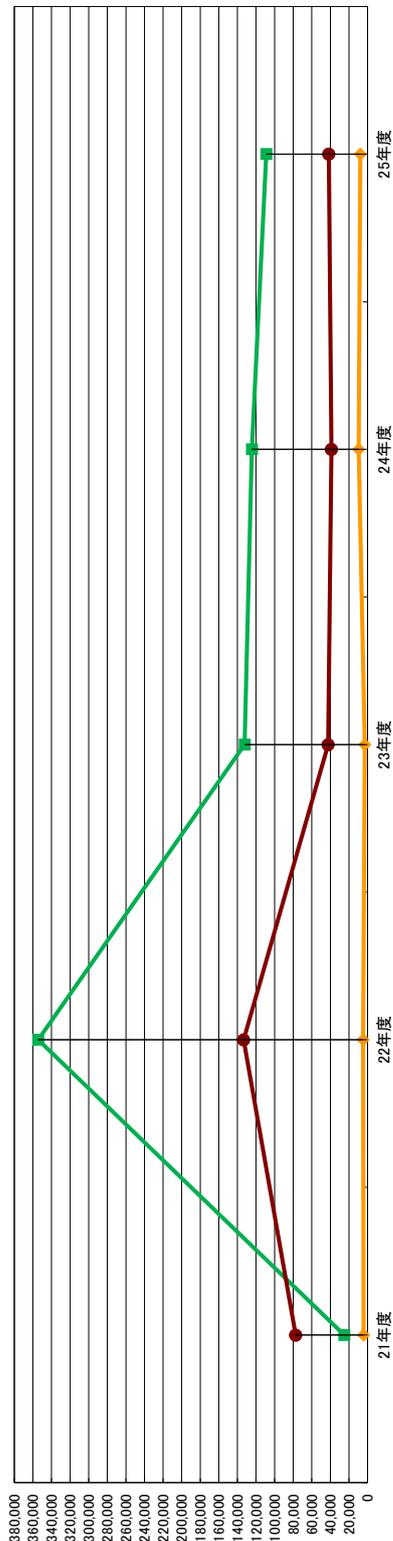


計	21年度		22年度		23年度		24年度		25年度	
	総計	平常展のみ								
東博	5,029,198	2,681,312	2,681,312	2,681,312	3,178,414	3,178,414	3,178,414	3,178,414	3,347,505	3,347,505
京博	1,011,669	719,179	719,179	719,179	813,602	813,602	813,602	813,602	1,022,869	1,022,869
奈良博	4,017,329	2,162,131	2,162,131	2,162,131	2,364,812	2,364,812	2,364,812	2,364,812	2,327,515	2,327,515
九博	2,416,281	1,082,269	1,082,269	1,082,269	1,756,594	1,756,594	1,756,594	1,756,594	1,655,694	1,655,694
東博	330,536	373,068	373,068	373,068	324,597	324,597	324,597	324,597	416,430	416,430
京博	2,085,745	709,201	709,201	709,201	1,431,993	1,431,993	1,431,993	1,431,993	1,139,294	1,139,294
奈良博	115,568	182,470	182,470	182,470	99,088	99,088	99,088	99,088	486,683	486,683
九博	933,895	105,538	105,538	105,538	229,625	229,625	229,625	229,625	118,415	118,415
東博	52,731	232,591	232,591	232,591	550,399	550,399	550,399	550,399	137,646	137,646
京博	14,796	188,402	188,402	188,402	28,780	28,780	28,780	28,780	141,507	141,507
奈良博	447,944	188,022	188,022	188,022	212,150	212,150	212,150	212,150	169,578	169,578
九博	128,285	19,297	19,297	19,297	53,699	53,699	53,699	53,699	152,232	152,232
東博	292,526	37,535	37,535	37,535	13,237	13,237	13,237	13,237	1,140	1,140
京博	452,920	331,131	331,131	331,131	239,767	239,767	239,767	239,767	234,540	234,540
奈良博	452,920	331,131	331,131	331,131	239,767	239,767	239,767	239,767	234,540	234,540
九博	92,144	244,347	244,347	244,347	84,682	84,682	84,682	84,682	101,006	101,006
東博	25,511	21,705	21,705	21,705	35,259	35,259	35,259	35,259	79,218	79,218
京博	88,187	19,297	19,297	19,297	106,536	106,536	106,536	106,536	24,699	24,699
奈良博	247,078	37,535	37,535	37,535	13,237	13,237	13,237	13,237	25,216	25,216
九博	560,293	649,878	649,878	649,878	469,463	469,463	469,463	469,463	450,295	450,295
東博	138,672	71,566	71,566	71,566	130,839	130,839	130,839	130,839	145,914	145,914
京博	423,621	578,312	578,312	578,312	338,624	338,624	338,624	338,624	304,321	304,321
奈良博	93,779	202,166	202,166	202,166	35,679	35,679	35,679	35,679	24,317	24,317
九博	30,548	81,422	81,422	81,422	63,364	63,364	63,364	63,364	41,985	41,985
東博	299,294	294,304	294,304	294,304	239,551	239,551	239,551	239,551	238,019	238,019
京博	1,599,701	818,081	818,081	818,081	712,504	712,504	712,504	712,504	1,107,088	1,107,088
奈良博	5,563	274,245	274,245	274,245	358,266	358,266	358,266	358,266	460,525	460,525
九博	1,055,093	585,493	585,493	585,493	391,228	391,228	391,228	391,228	616,811	616,811
東博	140,917	84,728	84,728	84,728	46,530	46,530	46,530	46,530	110,047	110,047
京博	71,151	24,022	24,022	24,022	18,358	18,358	18,358	18,358	75,151	75,151
奈良博	12,741	53,419	53,419	53,419	23,524	23,524	23,524	23,524	22,652	22,652
九博	130,231	354,111	354,111	354,111	113,280	113,280	113,280	113,280	236,423	236,423

※1 この特別展は、平常展のみであるため、平常展のみを基準として、別添付表に計上している。

独立行政法人国立文化財機構 展覧会別来館者数 (21~25年度)

2) 研究成果公開施設



計	21年度		22年度		23年度		24年度		25年度	
	来館者数	特別(共催)展計								
計	127,180	58,640	228,280	282,671	177,745	99,607	172,879	86,681	158,601	54,922
平城宮跡資料館	58,640	20,345	282,671	18,458	99,607	78,138	86,681	86,198	54,922	103,979
藤原宮跡資料室	20,345	20,345	18,458		78,138		86,198		103,979	
飛鳥資料館	25,127	25,127	35,434	18,458	177,745	177,745	172,879	172,879	158,601	158,601
平城宮跡資料館	25,127	25,127	189,338	165,008	99,607	99,607	86,681	86,681	54,922	54,922
藤原宮跡資料室	20,345	20,345	18,458		78,138		86,198		103,979	
飛鳥資料館	4,341	4,341	4,815	4,815	2,971	2,971	2,971	2,971	7,869	7,869
平城宮跡資料館	18,827	18,827	15,649	11,763	133,312	133,312	126,196	126,196	126,196	126,196
藤原宮跡資料室	58,520	58,520	117,663	117,663	42,479	42,479	42,479	42,479	42,479	42,479
飛鳥資料館	4,242	4,242	100,307	100,307	10,679	10,679	11,425	11,425	11,425	11,425
平城宮跡資料館	3,824	3,824	5,435	5,435	3,047	3,047	5,385	5,385	5,385	5,385
藤原宮跡資料室	11,006	11,006	10,140	10,140	10,454	10,454	5,743	5,743	5,743	5,743
飛鳥資料館	2,448	2,448	1,781	1,781	2,016	2,016	1,537	1,537	1,911	1,911

(23年度より東京国立博物館に含めて記載)

(23年度より東京国立博物館に含めて記載)

(23年度より東京国立博物館に含めて記載)

※1 平常展来館者数に計上  
 ※2 「飛鳥寺2013」と同時開催期間は同展と一体でカウントのため、単独開催期間の来館者数2,648人のみ計上。なお、同時開催期間も含めた全期間の来館者数は10,473人  
 ※3 「日光男体山のかがやき」と同時開催期間は同展と一体でカウントのため、単独開催期間の来館者数2,313人のみ計上。なお、同時開催期間も含めた期間の来館者数は3,359人

## a-③ 入場料収入

(単位：円)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
国立文化財機構 計	1,323,819,776	891,598,757	808,397,161	814,309,524	673,986,101
東京国立博物館	662,347,500	268,900,600	428,268,290	375,602,560	315,141,843
京都国立博物館	111,512,790	93,829,670	71,429,440	67,028,455	39,724,945
奈良国立博物館	267,397,290	355,735,620	213,777,640	207,961,850	225,693,950
九州国立博物館	262,889,871	131,683,367	90,862,831	160,398,639	89,050,933
飛鳥資料館	18,006,130	41,449,500	4,058,960	3,318,020	4,374,430
東京文化財研究所 黒田作品共催展	1,666,195	0	0	0	0

a-④ 平常展・特別展・海外展

【東京国立博物館】

(1) 総合文化展(平常展)

1) 開館期間 4月2日～26年3月30日(306日間) 平常展のみの開館日数 87日間

2) 会場

- ①本館 1階、2階
- ②東洋館 1階、2階、3階、4階、5階
- ③表慶館 休館中
- ④法隆寺宝物館 1階、2階
- ⑤平成館 1階
- ⑥黒田記念館 休館中

3) 陳列品総件数 8,824件(うち国宝139件、重要文化財867件)

- ①本館・平成館企画展示室 4,276件(うち国宝 77件、重要文化財456件)
- ②東洋館 1,932件(うち国宝 0件、重要文化財 53件)
- ③表慶館 0件(うち国宝 0件、重要文化財 0件)
- ④法隆寺宝物館 425件(うち国宝 13件、重要文化財210件)
- ⑤平成館考古展示室 2,191件(うち国宝 49件、重要文化財148件)
- ⑥黒田記念館 0件(うち国宝 0件、重要文化財 0件)

4) 陳列替件数 5,708件 ・ 陳列替回数 延べ332回

5) 入場料金

黒田記念館以外 一般600円、大学生400円  
 黒田記念館 無料

6) 特集陳列 全33件

●国宝 ◎重要文化財 ○重要美術品

場所	テーマ	開催期間	陳列件数(国宝・重文)
本館2階 特別2室	天下人の実像	25年2月13日(火)～4月7日(日)	21(0.0)
<p>&lt;主な作品&gt;書状、○消息</p> <p>日本人に著名な天下人となった武将、織田信長・豊臣秀吉・徳川家康にかかわる肖像画模本や自筆書状、実際の戦いや政治に関して出した古文書等や、所縁のある工芸品を展示し、とかくテレビ時代劇や小説などイメージ先行で語られることが多い三人の実際の姿にアプローチした。肖像画模本はその原本が歴史の教科書に掲載される様なおなじみの作品を選び、自筆書状は家族に宛てたものを中心に私生活の一端を垣間見れる様なものとした。古文書は歴史的な大事件に関わるや支配のあり方を示す内容の物を中心に展示する。本展示を通じて来館者に三武将の具体的なイメージ形成を促すことを最終的な目的とする。本特集陳列に関連して、同時期に本館5・6室「日本美術の流れ 武士の装い—平安～江戸」においても、豊臣秀吉所用の朱塗金蛭巻大小、榊原康政が徳川家康より拝領した南蛮胴具足など安土桃山時代の武器・武具を展示した。</p>			
平成館1階 考古展示室	須恵器の展開	25年3月12日(火)～6月9日(日)	31(1.0)
<p>&lt;主な作品&gt;●蓋坏、裝飾付脚付壺、手持裝飾付脚付壺、角坏、革袋形提瓶</p> <p>5世紀に朝鮮半島から新しい窯業技術が伝えられ、日本列島で須恵器生産が始まった。5世紀から7世紀までの須恵器を展示することで須恵器生産の技術展開を示し、造形的要素の加わった裝飾付須恵器や革袋形須恵器なども展示した。</p>			
平成館1階 企画展示室	東京国立博物館コレクションの保存と修理	25年3月12日(火)～4月21日(日)	15(0.4)
<p>&lt;主な作品&gt;阿彌陀如来像、◎小袖 白練緯地松皮菱竹模様、広寒宮螺鈿合子、◎片口付深鉢形土器</p> <p>東京国立博物館が手がける保存と修理の成果をより分かりやすく紹介するため、平成22年度から24年度までに修理が完了した作品のうち、絵画、書跡、工芸、考古などさまざまな分野、形態、技法の作品を展示し、修理工程および修理過程で得られた情報をパネルなどで掲示して、博物館が担う文化財修理の役割を広く理解していただくことを目指した。</p>			
本館1階 14室	花生	25年3月19日(火)～6月2日(日)	22(0.1)
<p>&lt;主な作品&gt;古銅象耳花生 銘 秋月、竹花生 銘一曲、◎青磁球形花生、古染付高砂手花生</p> <p>陶磁器を中心に、中国・日本のさまざまな花生の器を紹介した。器の種類や形の変遷を追うだけでなく、パネルを用いて、実際に床の間に掛けて花を生けた様子を紹介したり、それぞれの作品の由来や見どころを説明した。</p>			
本館1階 16室	キリシタン関係の遺品 イエズス会の布教と禁制下の信仰	25年3月19日(火)～5月6日(日)	72(0.44)
<p>&lt;主な作品&gt;◎聖母子像、◎キリスト像、◎天正遣欧使節記、◎聖母像(親指のマリア)、◎板踏絵 キリスト像(ピエタ)、◎マリア観音像</p> <p>日本のキリシタン信仰は、天文18年(1549)イエズス会宣教師ザビエルの渡来に始まり、およそ50年ほどの間に西日本を中心に浸透し、最盛期には40万人の信徒を得た。しかし、豊臣秀吉、次いで江戸幕府はその信仰を禁じたため、江戸時代には信徒のごく一部が長崎に潜伏するのみとなった。しかし潜伏したキリシタンは厳しい監視を乗り越えて信仰を守り続けた。この展示では、主に長崎奉行所が信徒から押収した遺品を通して、禁制以前のイエズス会を中心とした布教の状況、禁制下の信仰の一面と日本と西洋の交渉の歴史を示した。</p>			
本館2階 特別1・2室	平成25年新指定国宝・重要文化財	25年4月16日(火)～5月6日(日)	49(2.47)

	<p>&lt;主な作品&gt;●木造不動明王及二童子立像、●醍醐寺文書聖教、◎紙本金地著色四季松図、◎嘉元記、◎北海道船泊遺跡出土品</p> <p>平成25年に新たに指定された国宝3件、重要文化財50件のうち、2件の国宝と47件の重要文化財を展示した。</p>
平成館1階 企画展示室	<p>猿</p> <p>25年5月8日(水)～6月16日(日) 27(0.2)</p> <p>&lt;主な作品&gt;◎十二神将立像 申神、◎埴輪 猿、三猿蒔絵印籠、猿曳図、猿猴(橋本雅邦筆)</p> <p>動物をテーマに国立科学博物館と恩賜上野動物園と当館を1日めぐるイベント「三館動物めぐり」に関連した実施した。猿は日本列島にも生息し、群れで生息する姿、親子の姿、食料採取の姿などの様々な場面から、人間は多岐にわたる猿のイメージを作り出してきた。それはことわざ・絵画・道具などに見られ、古くから日本人の生活に深くかかわっている。本特集陳列では、「道具に描かれた猿」「絵画の中の猿」に焦点を当て、なぜその作品のモチーフとなったか、猿が日本の中でどのような意味をもっているかについて、美術品を通じて解説した。</p>
本館2階 特別1・2室	<p>江戸時代が見た中国絵画</p> <p>25年5月14日(火)～6月16日(日) 48(0.4)</p> <p>&lt;主な作品&gt;◎寒江独釣図 伝馬遠筆、寒江独釣図(模写) 狩野晴川院&lt;養信&gt;模、清書画名人小伝</p> <p>日本人は奈良、平安時代から中国書画を愛好して収集・研究につとめ、その結果日本には、多くの優品が伝世することとなった。室町時代には東山御物や宋元画の権威が確立し、江戸時代にはより新しいテイストを求めて、新来の明清画や元代文人画への渴望が巻き起こった。東洋館のリニューアルオープンを記念して開催する本特集陳列では、館蔵の名品と付属の箱書きや鑑定書、模写や、江戸時代に出版された中国関係の画史、印譜、画学書などを一緒に並べることで、中国絵画が日本でどのように受容されていたのかを考え、あわせて、江戸時代の人々がどのように中国絵画を鑑賞し、理解しようとしていたのかを展示した。</p>
本館1階 14室	<p>日本の仮面 舞楽面と行道面</p> <p>25年6月4日(火)～8月25日(日) 27(0.14)</p> <p>&lt;主な作品&gt;◎舞楽面 地久、◎行道面 菩薩</p> <p>平安時代以降、寺社で行なわれた法会に際して舞楽面、行道面が用いられた。奈良・手向山八幡宮、愛知・熱田神宮、愛知・真清田神社所蔵の舞楽面、高野山天野社伝来の行道面などを展示した。</p>
本館2階 特別1・2室	<p>平成24年度新収品</p> <p>25年6月25日(火)～7月7日(日) 25(0.0)</p> <p>&lt;主な作品&gt;◎葡萄図 没倫紹等筆、孟東野詩 日下部鳴鶴筆、赤壁賦 本阿弥光悦筆、中国史跡写真、詩書屏風「千條弱柳」池大雅筆、無地刷毛目茶碗 銘 冬頭、通俗水滸伝豪傑百八人之壹人・入雲龍公孫勝 歌川国芳筆</p> <p>平成24年度に新たに収蔵品に加わった文化財のうち、25件を公開した。新収品を通じ、文化財の収集という当館の事業の一端をご理解いただくとしたものである。同時期に本館10室「日本美術の流れ 浮世絵と衣装—江戸(浮世絵)」、東洋館8室「中国の絵画」でも平成24年度のご寄贈品を生かした展示を開催した。</p>
本館1階 16室	<p>古文書に親しむ</p> <p>25年7月2日(火)～8月25日(日) 20(1.1)</p> <p>&lt;主な作品&gt;●宝簡集 巻第二、◎申文</p> <p>日本では、古くから書状や文書のやりとりにおいて、書面上での儀礼が重んじられ、差出人と受取人との関係や、その内容などによって、文書の様式、使用する紙、封の仕方にいたるまで、さまざまな決まりがあった。こうした古文書の研究では、その様式をはじめ、形態や機能、相互の文書の関連、伝来の経緯などが主な研究テーマとなっている。本特集陳列では、著名な人物に関わる内容や、各時代の特色を示す典型的な文書を取り上げ、解説もできるだけわかりやすくすることで、古文書に親しんでいただくことを目標とした。</p>
平成館1階 考古展示室	<p>縄文土器に飾られた人物と動物</p> <p>25年7月9日(火)～10月27日(日) 57(0.13)</p> <p>&lt;主な作品&gt;◎人形装飾付異形注口土器、◎人形装飾付壺形土器、顔面把手付深鉢形土器</p> <p>縄文土器に施された人や動物の装飾に注目して、容器としての役割をもつ土器とこれに施された人や動物装飾との関わりについて紹介した。また弥生時代の例も取り上げ、縄文時代との違いを比べ、土器に施された文様や装飾から器に込められた当時の人びとの思いに迫った。なお本特集陳列では、近年豊富な資料が報告されている山梨県北杜市教育委員会から資料を特別に借用し、あわせて展示した。</p>
平成館1階 企画展示室	<p>和様の書—近現代篇—</p> <p>25年7月13日(土)～9月8日(日) 16(0.1)</p> <p>&lt;主な作品&gt;◎手鑑「月台」奥書</p> <p>特別展「和様の書」の開催に合わせた特集陳列。特別展では、平安時代の「和様」の誕生から江戸時代までの作品を展示したが、「和様」は明治時代以降も展開し続け、当館にも関連作品が多数収蔵されているので、普段展示する機会の少ない近現代の書跡を紹介した。</p>
本館2階 特別1室	<p>断簡—掛軸になった絵巻—</p> <p>25年7月17日(水)～8月25日(日) 19(0.8)</p> <p>&lt;主な作品&gt;男衾三郎絵巻断簡、源氏物語絵巻断簡、◎紫式部日記絵巻断簡、○住吉物語絵巻断簡、◎狭衣物語絵巻断簡</p> <p>当館所蔵品を中心とした絵巻物断簡のうち、特に物語絵巻の断簡を、「絵巻物残欠愛惜の譜—二つの物語絵巻断簡—」、「再会する絵巻—男衾三郎絵巻断簡—」、「断簡を見比べる—住吉物語絵巻断簡—」、「絵巻を写す—狭衣物語絵巻断簡—」絵巻が断簡になるとき—紫式部日記絵巻断簡—という5つのテーマから紹介した。</p>
本館2階 特別2室	<p>親と子のギャラリー 日本美術のつくり方IV</p> <p>25年7月17日(水)～8月25日(日) 18(0.1)</p> <p>&lt;主な作品&gt;◎法華経無量義経徳行品(久能寺経)、七宝山水楼閣文香炉 並河靖之作、撫子散双鳥鏡、五月人形 鍾馗</p> <p>美術作品や制作技法に興味を持ってもらうことを目的とした、小学校高学年以上の学生から一般の来館者までを対象とする教育普及的展示である。</p> <p>「技法」を知ることは、作品理解の重要な手がかりとなる。伝統的な日本美術の制作技法は日常では目にする機会も少なく、作品を一見したところでは想像すらつかないものが多い。そこで、専門家の制作した工程見本や技法サンプルを展示し、また画像やイラストを盛り込んだパネル類を掲示した。こうした各種の伝統的技法、およびそれらを駆使して作られた実作品の鑑賞を通し、歴史のなかで培われてきた日本美術の技術と美しさをわかりやすく伝えた。</p>

東洋館4階 8室	市河米庵コレクション・中国書画文房展 25年8月6日(火)～9月23日(月) 61(0.0)
	<主な作品>小山林堂書画文房図録 市河米庵編、墨梅図 陳録筆、竹菊図 睦坦筆、草書五言律詩軸 王建中筆、行書七言絶句軸 酒道人筆、楷書妙法蓮華經 明神宗筆
	東洋館のリニューアルオープンを記念して、市河米庵コレクションを展示した。市河米庵(1779～1858)は「幕末の三筆」と称され、多くの門弟を擁した書家・学者で、学問の一方で書画や骨董を熱心に収集し、その収蔵品は、日本や中国の書画・拓本・古器物・文房具など広範な分野に及んだが、歿後に散佚してしまった。しかし、明治9年(1876)米庵旧蔵の書画・拓本類が、ご令孫の市河三鼎氏によって当館に寄贈され、またご令息の市河三兼氏が再収集された散逸した作品が、明治33年(1900)、東京帝室博物館に寄贈された。これらは当館の中国書画収集の始まりとなる重要なコレクションとなった。当館所蔵の米庵旧蔵品のなかには『小山林堂書画文房図録』所載の作品も多く、江戸時代の文人コレクションの具体的な様相を知る、まさにタイムカプセルのような貴重な資料となっている。これらを一挙に公開することで、米庵コレクションの重要性と独特の世界観を紹介した。
本館1階 14室	運慶・快慶周辺とその後の彫刻 25年8月27日(火)～11月17日(日) 13(0.8)
	<主な作品>◎大日如来坐像(真如苑蔵)、◎大日如来坐像(光得寺蔵)、◎行道面 菩薩
	運慶作の可能性が高い栃木・光得寺と真如苑の大日如来坐像と、運慶の作風に近い仏像、快慶作の東京芸術大学大学美術館の大日如来坐像、兵庫・浄土寺の菩薩面と安阿弥様の阿弥陀如来像のほか定慶など慶派仏師の作品を展示した。
本館2階 特別2室	うつす・つくる・のこす—日本近代における考古資料の記録— 25年9月10日(火)～10月20日(日) 46(0.1)
	<主な作品>貝塚図 長原孝太郎筆、出雲国塩冶村古墳石槨石棺図、群集横穴図 二世五姓田芳柳筆、上古時代男子図、復元模造冠
	明治期から昭和初期にかけて制作(製作)された模造品や絵画などの考古学に関する資料と、そのモデルとなった原品(実物資料:列品・写真)を比較展示し、現代とは異なる、あるいは現代にまで続く、日本の近代における考古資料の受容過程を紹介した。列品の当時の制作目的を検証し、その今日的な学問(考古・美術)の資料としての評価につなげた。また、考古学史および美術史における展望を提示することも目標とした。
平成館1階 企画展示室	清時代の書—碑学派— 25年10月8日(火)～12月1日(日) 23(0.0)
	<主な作品>瘞鶴銘、篆書白氏草堂記六屏、行書七言律詩軸、楷書嬌舞倚床図便面賦軸、篆書八言聯、楷書齊民要術八屏
	清時代の中国では考証学の盛行を背景に、書においても金石資料が目立って、従来の法帖に代わって、青銅器の金文や石刻の書が尊ばれるようになった。清時代の初めに行われていた帖学派に対して、これを碑学派と称している。本特集陳列では、碑学派前期の嘉慶年間(1796～1820)から、後期の道光以後(1821～1912)にかけて活躍した主な書人の代表作を紹介し、碑学派の流れを概観した。台東区立書道博物館、台東区立朝倉彫塑館との連携企画。
本館1階 16室	江戸城 25年10月22日(火)～12月23日(日) 19(0.3)
	<主な作品>江戸城御殿向総図並櫓多門地図、◎江戸城御本丸天守百分ノ壱建地割、◎旧江戸城写真帖
	江戸城に用いられた意匠や、普請の様子、また構造を語る歴史資料を展示し、映像に再現されたように壮大な規模を誇った江戸城の威容の一端を紹介した。
本館2階 特別1室・2室	描かれた風景—憧れの真景・実景への関心— 25年10月29日(火)～12月8日(日) 38(0.6)
	<主な作品>◎陸奥奇勝図巻 池大雅筆、浅間山真景図 池大雅筆、◎兎道朝暉図 青木木米筆、◎公余探勝図巻 巻上 谷文晁筆 江戸
	江戸時代、特に18世紀の日本では、歌枕としての名所だけではなく、今まで絵画化されることのなかった身近な風景が新たに発掘・選択され、描かれるようになった。絵画表現においても、中国への憧憬、西洋絵画の影響による遠近法や陰影法、新しい画材や技法を駆使した作品など、多様な風景表現が生まれた。本特集陳列では、当館所蔵の近世風景画を中心に、版本・浮世絵、さらには中国・朝鮮絵画もあわせて展示することにより、日本のみならず、広く東アジアにおいて起きた風景画の様相を、画家の体験と感動に基づく真景表現による作品を中国・朝鮮絵画との比較を加えて提示する第1部と、実景や新しい画材・表現に対する関心の高まりを示す作品を提示する第2部とで展示した。
平成館1階 考古展示室	本州最西端の弥生文化—響灘と山口・綾羅木郷遺跡— 25年10月29日(火)～26年3月9日(日) 77(0.0)
	<主な作品>土笛、石剣、磨製石鏃、壺、炭化米、アワビおこし、マダイの上顎骨、玉砥石
	北東部九州地方から山口県に面する響灘沿岸は支石墓や大陸製青銅器の主要な分布域の東限で、弥生時代前期末頃に特色ある遺跡が形成されることで知られる。本特集陳列は下関市立考古博物館が所蔵する綾羅木郷遺跡から出土したさまざまな土器・石器・装身具や食料関係遺物をはじめ、信仰関係遺物および日本海側の弥生文化に特徴的な土笛などで、本州最西端の特色ある弥生文化を紹介した。平成25年度考古相互貸借事業として実施した。
本館1階 14室	日本の仮面 能面 是閑と河内 25年11月19日(火)～26年2月16日(日) 27(0.5)
	<主な作品>能面 十六、能面 若男、能面 孫次郎、能面 狸々
	近世の能面作家の3大家系は越前出目家、大野出目家、近江井関家である。このうち近世前期の名手として名高いのが大野出目家初代の是閑(?～1616)と近江井関家四代の河内(?～1645)である。当館が所蔵する2人の作と見られる面28面のうち27面を展示した。
東洋館4階 8室	顔真卿と蔡襄 25年12月3日(火)～26年2月2日(日) 12(0.0)
	<主な作品>楷書自書告身帖、祭姪文稿、楷書謝賜御書詩表巻、万安橋記
	唐の四大家の一人にあげられる顔真卿(709-785)は、伝統的な書法に立脚しながらもその範疇を超え、顔法と称される雄大な書風を創出し、後世に大きな影響を与えた。宋の四大家の一人として知られる蔡襄(1012-1067)は晋唐の書法を継承し、楷書においては顔真卿の影響を強く受けながら格調高い書風を伝えた。唐時代の顔真卿と宋時代の蔡襄を取り上げ、両者の書の魅力をご紹介した。
東洋館地階 13室	憧れの毛織物 カシミヤ・ショールの歴史 25年12月3日(火)～26年3月9日(日) 15(0.0)

	<p>&lt;主な作品&gt;カシミア・ショール 緑地額入り花卉文様綴織、カシミア・ショール 白地花卉文様綴織、カシミア・ショール 赤地果樹孔雀ペイズリー文様綴織刺繍縫合わせ</p> <p>東京国立博物館には20件あまりのカシミア・ショールが所蔵されているが、18世紀末から19世紀にかけてのもので、ヨーロッパ向け輸出用のデザインが大抵である。今回は、平山コレクション（鎌倉・シルクロード研究所）に含まれる17世紀に制作されインド王侯が用いたと考えられる初期カシミア・ショールや、東京国立博物館には所蔵されていない19世紀前半の色鮮やかなデザインをもつ優品をあわせて展示し、カシミア・ショールの歴史とそのデザインの変遷を紹介した。</p>
本館2階 特別1・2室	<p>博物館に初もうで—千年によせて—</p> <p>26年1月2日（木）～1月26日（日）</p> <p>73(3.11)</p> <p>&lt;主な作品&gt;●十六羅漢像（第五尊者）、◎牧馬図屏風 長谷川等伯筆、●素環鏡板付轡 江田船山古墳出土</p> <p>平成26年は干支で甲午（きのえうま）、午年にあたるため、馬を表わした美術工芸品や鞍轡を主体とする馬具の名品を展示した。農耕や運搬、交通など人間の歴史は馬と共にあったといっても過言ではなく、人にとって身近な存在であった馬の姿は、古今東西の美術工芸品の中に見ることができる。当館列品においても馬の造形には名品が多く、馬具の優品も数多く含まれている。午年に因んで、これらを一堂にご覧いただき、人間と馬の深い絆について振り返る機会とした。</p>
平成館1階 企画展示室	<p>日本伝統工芸展60回記念 人間国宝の現在</p> <p>26年1月15日（水）～2月23日（日）</p> <p>54(0.0)</p> <p>&lt;主な作品&gt;無名異練上花文鉢、有職二階織物小桂 小葵二唐花丸文、籃胎蒔醬文箱「双鳥」、銀打込象嵌花器「若芽」</p> <p>日本伝統工芸展60回記念「人間国宝展—生み出された美、伝えゆくわざ—」において物故の人間国宝を紹介することにあわせ、現在日本工芸の最前線で創作活動や後継者養成にご活躍中の56名の方々の作品を紹介した。特別展と本特集陳列をとおして過去から現在、未来へと続く伝統工芸の世界を鑑賞していただくものとした。</p>
本館2階 特別1室	<p>弥生時代の近畿—華麗なる土器と青銅器の展開—</p> <p>26年2月4日（火）～2月14日（金）</p> <p>108(0.4)</p> <p>&lt;主な作品&gt;◎銅鐸 兵庫県豊岡市気比字溝谷出土、細頸壺、水差、線刻絵画付土器残片、打製石剣、中細形銅戈（大阪湾型）</p> <p>大阪府立弥生文化博物館が所蔵する船橋遺跡と池上曾根遺跡出土資料に、当館所蔵資料を加えて展示した。近畿地方の弥生文化に特徴的な櫛描文土器や打製石剣、銅鐸や大阪湾型銅戈と呼ばれる青銅器を紹介し、また「龍」や「建物」が描かれた絵画付土器や「シカ」や「魚」そして「ヒト」などが描かれた絵画銅鐸から当時の人びとの祈りや世界観に迫った。なお本特集陳列は平成25年度考古相互貸借事業として行ったものであるが、豪雪のため展示環境の点検を要することとなったため、3月までの展示予定を2月14日（金）で打ち切り、関連作品の一部は平成館考古展示室において公開した。</p>
東洋館4階 8室	<p>中村不折と高島菊次郎</p> <p>26年2月4日（火）～5月6日（日）</p> <p>20(0.1)</p> <p>&lt;主な作品&gt;石鼓文、泰山刻石—一六五字本—、仏説菩薩藏經卷第一残卷、漢婁壽碑、行書五律北方俚作詩軸</p> <p>大正から昭和にかけて世界的なコレクションを形成した中村不折と高島菊次郎の収集した書の名品を展示し、両人の業績を紹介した。中村不折(1866-1943)は画家として活躍するかたわら書にも造詣が深く、書に関する広範な文化財を収集して、昭和11年(1936)に財団法人・書道博物館を設立した。一方、高島菊次郎(1875-1969)は王子製紙の社長として実業界に身を置きながら、書画の収集に努め、宋元から明清に至る優品を収集し、その収蔵品の多くを当館に寄贈した。</p>
本館1階 14室	<p>おひなさまと雛（ひいな）の世界</p> <p>26年2月18日（火）～3月23日（日）</p> <p>52(0.0)</p> <p>&lt;主な作品&gt;紫檀象牙細工蒔絵雛道具 紫檀製重筆筒、古今雛、立雛（次郎左衛門頭）、女官服雛形</p> <p>三月三日の桃の節句にちなんで毎年恒例となった雛飾りの特集陳列。今回は雛化粧道具や雛楽器などの他、女官服雛形のような服飾雛形も展示し、日本のミニチュアをテーマに展示した。また、例年通り、紙雛、室町雛、古今雛といった江戸時代の雛人形、近代における雛御殿のついた雛人形といった町雛の歴史、大名家や公家に伝わった雛道具などを、赤い毛氈を敷いた華やかな雛壇でお披露目し、日本の人形文化に親しんでいただいた。</p>
平成館1階 企画展示室	<p>東京国立博物館コレクションの保存と修理</p> <p>26年3月4日（火）～3月30日（日）</p> <p>25(0.2)</p> <p>&lt;主な作品&gt;◎登承天万仏閣偈、観音三十三応身図、黄緑地山形文綾幡足、雑色変り鬘花文錦、◎太刀、青磁鳳凰耳花入</p> <p>東京国立博物館が手がける保存と修理の成果をより分かりやすく紹介するため、近年に本格的な修理を終えた絵画、書跡、工芸、考古などさまざまな分野の作品に加え、これまで紹介されることが少なかった応急修理を施された作品も併せて展示した。さまざまな分野、形態、技法の作品を取り上げ、修理工程および修理過程で得られた情報を、パネルなどを用いることにより、博物館が担う文化財修理の役割を広く理解していただくことを目指した。</p>
平成館1階 考古展示室	<p>須恵器の展開—吉備の古墳時代—</p> <p>26年3月11日（火）～6月29日（日）</p> <p>49(0.0)</p> <p>&lt;主な作品&gt;甕 岡山県赤磐市東軽部出土、子持高坏 岡山県岡山市北区下足守 冠山古墳出土、子持装飾付脚付壺 岡山県瀬戸内市長船町小笠山出土、革袋形提瓶 岡山県久米郡美咲町錦織松ヶ峪出土、平瓶 岡山県新見市唐松出土</p> <p>吉備地方は古墳時代における中心的な須恵器生産地のひとつであり、特色ある製品も生産している。馬をはじめとする動物・人物装飾を施した須恵器はその作例のひとつである。本特集陳列では、午年にちなみ、馬の刻文や馬形の装飾を持つ作品を含めた陳列を通じて、吉備地方の須恵器の実体を描出した。あわせて、当該地域の古墳時代研究において、編年上重要な一括資料等を紹介した。上記を組み合わせた通時的な展示によって、当該地域における6世紀を中心とする須恵器の変遷も紹介した。</p>
本館1階 14室	<p>日本の仮面 舞楽面と行道面</p> <p>26年3月25日（火）～6月8日（日）</p> <p>27(0.9)</p> <p>&lt;主な作品&gt;舞楽面 崑崙八仙、舞楽面 貴徳、舞楽面 納曾利、行道面 菩薩、行道面 菩薩</p> <p>平安時代以降、寺社で行なわれた法会に際して舞楽面、行道面が用いられた。本展では奈良・手向山八幡宮、愛知・熱田神宮、愛知・真清田神社所蔵の舞楽面、高野山天野社伝来の行道面などを展示し、古代、中世の芸能の多様性と彫刻的魅力に触れていただいた。</p>

## (2) 特別展・共催展等(海外展・巡回展を含む)

### 展覧会名：国宝 大神社展

- ・会 期 平成25年4月9日（火）～6月2日（日）（49日間）
- ・会 場 平成館特別展示室第1～4室

- ・主 催 東京国立博物館、NHK、NHKプロモーション
- ・特別協力 神社本庁
- ・協 力 千年の森フォーラム
- ・協 賛 あいおいニッセイ同和損保、大日本印刷、トヨタ自動車、三菱商事
- ・作品件数 215件 (うち、国宝77件、重要文化財90件)
- ・来館者数 193,990人 (目標250,000人・達成率77.6%)
- ・入場料金 一般1,500円(1,300円/1,200円)、大学生1,200円(1,000円/900円)、高校生900円(700円/600円)  
中学生以下無料 \* ( )内は前売り/20名以上の団体料金
- ・アンケート結果 満足度72%
- 担当研究員数: 5人

展覧会の内容:

祀りのはじまりから、神社をとりあげて、日本各地に伝来する神宝を一堂に展観した。

- 講演会等: 「神社と日本人」講師: 神社本庁総長・石清水八幡宮宮司 田中恒清、平成館大講堂 4月27日(土)  
 「古神宝の装束と武具」講師: 上席研究員 池田宏、平成館大講堂 5月11日(土)  
 特別講演会「神々のまつり」平成館大講堂 5月17日(金)  
 第1講 「日本の祭りと永遠の未来」講師: 神宮司庁広報室室長、神宮禰宜 河合真如  
 第2講 「神さまをおもてなしして」講師: 神社本庁常務理事、鶴岡八幡宮宮司 吉田茂穂  
 神楽 「宮人の舞」「其駒」鶴岡八幡宮御神楽

**展覧会名: 特別展「和様の書」**

- ・会 期 平成25年7月13日(土)~9月8日(日) (51日間)
- ・会 場 平成館特別展示室第1~4室
- ・主 催 東京国立博物館、読売新聞社、NHK、NHKプロモーション
- ・後 援 文化庁
- ・特別協力 読売書法会
- ・協 賛 光村印刷
- ・協 力 あいおいニッセイ同和損保
- ・作品件数 156件 (うち、国宝51件、重要文化財35件、重要美術品10件)
- ・来館者数 104,577人(目標130,000人・達成率 80.4%)
- ・入場料金 一般1,500円(1,300円/1,200円)、大学生1,200円(1,000円/900円)、高校生900円(700円/600円)  
中学生以下無料 \* ( )内は前売り/20名以上の団体料金
- ・アンケート結果 満足度 72%
- 担当研究員数: 3人

展覧会の内容:

平安から安土桃山時代にかけての和様の書の展開を通じて、書の魅力を紹介した。

- 講演会等: 「和様の書」講師: 副館長 島谷弘幸、平成館大講堂 7月20日(土)  
 「かなから見た和様の書」講師: 読売書法会常任理事・大東文化大学教授 高木厚人、平成館大講堂 8月10日(土)  
 平成25年度連続講座 「和様の書」平成館大講堂 8月2日(金)~8月4日(日)  
 第1講 「世尊寺流の書」講師: 副館長 島谷弘幸  
 第2講 「これからの『和様の書』」講師: 読売書法会常任理事、日展会員、水穂会副会長 土橋靖子  
 第3講 「和様の書と料紙について」講師: 博物館情報課長 高橋裕次  
 第4講 「装丁と修理」講師: 株岡墨光堂 代表取締役 岡泰央  
 第5講 「「和様の書」鑑賞の歴史」講師: 書跡・歴史室アソシエイトフェロー 恵美千鶴子  
 第6講 「信仰と書」講師: 調査研究課長 田良島哲  
 関連講演会 「ユネスコ記憶遺産 御堂関白記と和様の書」講師: 文化庁長官 青柳正規、副館長 島谷弘幸、  
 コーディネーター: 国立文化財機構本部事務局長・東京国立博物館総務部長 栗原祐司、平成館大講堂 8月27日(火)

**展覧会名: 日本テレビ開局60年 特別展「京都—洛中洛外図と障壁画の美」**

- ・会 期 平成25年10月8日(火)~12月1日(日) (48日間)
- ・会 場 平成館特別展示室第1~4室
- ・主 催 東京国立博物館、日本テレビ放送網、読売新聞社
- ・特別協賛 タマホーム
- ・協 賛 光村印刷、日本興亜損保
- ・協 力 全日本空輸、日本貨物航空、日本通運、JR東日本、BS日テレ、シーエス日本、ラジオ日本、J-WAVE、文化放送、テレビ神奈川、楽天トラベル、京都市
- ・技術協力 キヤノン、キヤノンマーケティングジャパン、JVCケンウッド、凸版印刷
- ・作品件数 20件 (うち、国宝1件、重要文化財11件)
- ・来館者数 278,801人(目標250,000人・達成率111.5%)
- ・入場料金 一般1,500円(1,300円/1,200円)、大学生1,200円(1,000円/900円)、高校生900円(700円/600円)  
中学生以下無料 \* ( )内は前売り/20名以上の団体料金
- ・アンケート結果 満足度 72%
- 担当研究員数: 2人

展覧会の内容:

洛中洛外図屏風とともに二条城など京都を象徴する各所の障壁画を展示し、その空間装飾を紹介した。

講演会等：「400年前の京都に遊ぶーForward to the Past (フォワード・トゥ・ザ・パースト)」講師：特別展示室長 松嶋雅人、平成館大講堂 10月19日(土)  
「舟木本洛中洛外図ー浮世絵は京都で生まれた」講師：東京大学文学部教授 佐藤康宏、平成館大講堂 11月3日(日)  
スペシャルトークイベント 細田守 meets「洛中洛外図 舟木本」アニメーション映画監督 細田守が見た家族の肖像今昔  
講師：細田守、特別展示室長 松嶋雅人、平成館大講堂 11月7日(木)

**展覧会名：東洋館リニューアルオープン記念 特別展「上海博物館 中国絵画の至宝」**

- ・会 期 平成25年10月1日(火)～11月24日(日)(48日間)
- ・会 場 東洋館8室
- ・主 催 東京国立博物館、上海博物館、日本経済新聞社、毎日新聞社
- ・協 力 全日本空輸株式会社
- ・作品件数 40件(うち一級文物18件)
- ・来館者数 62,378人(目標45,000人・達成率138.6%)
- ・入場料金 一般600円(500円)、大学生400円(300円) 総合文化展観覧料 \*( )内は20名以上の団体料金
- ・アンケート結果 満足度 91%
- 担当研究員数：2人

展覧会の内容：

中国五代・北宋から明清にいたる中国絵画の流れを、時代と流派を代表する名品によって辿った。

講演会等：「中国絵画史の正統と異端ー上海博物館の名品からー」講師：東洋室研究員 塚本磨充  
「唐寅山水画の視覚形式ー『春游女几山図』を例にー」講師：上海博物館書画部副主任研究員 李維琨、平成館大講堂 10月12日(土)  
「上海展」リレートーク 上海博物館の中国名画、私の見方(1) 講師：東京国立博物館客員研究員 湊信幸、東洋館第8室 10月11日(金)  
「上海展」リレートーク 上海博物館の中国名画、私の見方(2) 講師：実践女子大学教授 宮崎法子、東洋館第8室 10月25日(金)  
「上海展」リレートーク 上海博物館の中国名画、私の見方(3) 講師：東洋室研究員 塚本磨充、東洋館第8室 11月8日(金)  
「上海展」リレートーク 上海博物館の中国名画、私の見方(4) 講師：東京大学東洋文化研究所教授 板倉聖哲、東洋館第8室 11月22日(金)

**展覧会名：「クリーブランド美術館展一名画でたどる日本の美」**

- ・会 期 平成26年1月15日(水)～2月23日(日)(35日間)
- ・会 場 平成館 特別展示室第1・2室
- ・主 催 東京国立博物館、クリーブランド美術館、NHK、NHKプロモーション、朝日新聞社
- ・協 賛 住友ナコ マテリアル ハンドリング、日本写真印刷、ハイスター=エール・マテリアル・ハンドリング
- ・協 力 国際交流基金、全日本空輸、日本貨物航空
- ・作品件数 51件
- ・来館者数 104,865人(目標120,000人・達成率87.4%)
- ・入場料金 一般1,000円(800円)、大学生800円(600円)、高校生600円(400円)\*( )内は20名以上の団体料金  
「人間国宝展ー生み出された美、伝えゆくわざー」との2展共通観覧料金  
一般1,600円(1400円)、大学生1,400円(1200円)、高校生1,000円(800円) 中学生以下無料  
\*( )内は前売り・20名以上の団体料金
- ・アンケート結果 満足度 57%
- 担当研究員数：2人

展覧会の内容：

アメリカ・クリーブランド美術館の日本美術コレクションの粋とともに中国、韓国などの優品を展示した。

講演会等：「日本絵画のABCー物語世界にあそぶー」講師：平常展調整室研究員 土屋貴裕、平成館大講堂 平成26年1月19日(日)  
「笑う美術館館長 名画を語る」講師：秋田県立近代美術館 館長 河野元昭、平成館大講堂 平成26年2月2日(日)

**展覧会名：日本伝統工芸展60回記念「人間国宝展ー生み出された美、伝えゆくわざー」**

- ・会 期 平成26年1月15日(水)～2月23日(日)(35日間)
- ・会 場 平成館 特別展示室第3・4室
- ・主 催 東京国立博物館、文化庁、NHK、NHKプロモーション、朝日新聞社、日本工芸会
- ・協 賛 花王、日本写真印刷
- ・作品件数 145件(うち、国宝6件、重要文化財13件、重要美術品3件)
- ・来館者数 112,960人(目標120,000人・達成率 94.1%)
- ・入場料金 一般1,000円(800円)、大学生800円(600円)、高校生600円(400円)\*( )内は20名以上の団体料金  
「クリーブランド美術館展一名画でたどる日本の美」との2展共通観覧料金  
一般1,600円(1400円)、大学生1,400円(1200円)、高校生1,000円(800円)  
中学生以下無料 \*( )内は前売り・20名以上の団体料金
- ・アンケート結果 満足度 69%
- 担当研究員数：3人

展覧会の内容：

重要無形文化財指定制度施行60周年、「日本伝統工芸展」の第60回を記念し、人間国宝が生み出した伝統工芸の精華を展望した。

講演会等：シンポジウム「日本工芸の21世紀を考える」基調講演 講師：コロンビア大学名誉教授 ドナルド・キーン  
パネルディスカッション パネリスト：大英博物館 アジア部日本セクションキュレーター ニコル・クーリジ・ルーマニエル  
デザイナー・日本民藝館 館長 深澤直人、MOA美術館 副館長 内田篤典、日本工芸会 副理事長 重要無形文化財「蒔絵」保持者

室瀬和美、司会進行：工芸室主任研究員 小山弓弦葉、平成館大講堂 平成26年1月25日（土）

トークイベント「日本の工芸を語る」パネルディスカッション

パネリスト：一般財団法人TAKE ACTION FOUNDATION 代表理事 中田英寿、建築家 隈研吾、茨城県陶芸美術館 館長 金子賢治、

司会進行：学芸研究部長 伊藤嘉章、平成館大講堂 平成26年2月1日（土）

**展覧会名 海外展「青山杉雨のコレクションと書」**

- ・会 期 平成25年4月20日（土）～7月2日（火）（73日間）
- ・会 場 上海博物館（中華人民共和国）第二展厅
- ・主 催 上海博物館、東京国立博物館、読売新聞社
- ・特別協力 謙慎書道会
- ・作品件数 80件
- ・来館者数 364,298人
- 担当研究員数：2人

展覧会の内容：

書壇に一時代を画した書家・青山杉雨の生誕100年を記念して、その足跡を回顧した。

**展覧会名 特別展「支倉常長像と南蛮美術—400年前の日欧交流—」**

- ・会 期 平成26年2月11日（火）～3月23日（日）（36日間）
- ・会 場 本館7室
- ・主 催 東京国立博物館
- ・特別協力 文化庁、イタリア大使館
- ・協 力 仙台市博物館
- ・作品件数 3件（うち重要文化財2件）
- ・来館者数 この特別展は会場が平常展の一部で別途カウントを行っていない。  
参考値：56,342人（開催期間中の平常展来館者数）

担当研究員数：2人

展覧会の内容：

「支倉常長像」（イタリア個人蔵）を特別公開し、「南蛮人渡来図屏風」などと共に展示して400年前の日欧交流の軌跡を示した。

**【京都立博物館】**

**(1) 平常展**

平常展示館建て替え工事に伴い、平常展示休止中。

**(2) 特別展等・共催展等**

**展覧会名：特別展覧会「狩野山楽・山雪」**

- ・会 期 平成25年3月30日～5月12日（39日間）
- ・会 場 明治古都館（特別展示館）全室
- ・主 催 京都国立博物館、毎日新聞社、京都新聞社
- ・作品件数 83件（うち重要文化財13件）
- ・来館者数 90,242人（目標来館者数100,000人・達成率90.24%）
- ・入場料金 一般1,400円、大高生900円、中小生500円
- ・アンケート結果 満足度 95%

講演会：4回 参加者数合計 622人

・関連記念講演会

4月21日（日）山楽・山雪と京狩野  
京都教育大学名誉教授 脇坂 淳氏  
190人参加

・関連土曜講座

4月6日 山雪の受難、そして「雪汀水禽図」の画想  
大阪大学教授 奥平俊六氏  
128人参加

4月13日 山楽・山雪と九条家  
兵庫県立歴史博物館学芸員 五十嵐公一氏  
147人参加

4月27日 京都ミュージアムズフォー連携講座 山雪からのメッセージはじめてこれを画く—  
京都国立博物館連携協力室長 山下善也  
157人参加

広報媒体：ポスター、ちらし、情報誌、ホームページ、新聞、ラジオ、公共放送等

**展覧会名：特別展観「遊び」**

- ・開催期間 平成25年7月13日～8月25日（38日間）
- ・会 場 明治古都館（特別展示館）全室
- ・主 催 京都国立博物館
- ・作品件数 128件（うち国宝1件、重要文化財6件）
- ・来館者数 23,659人（目標来館者数35,000人・達成率67.60%）

- ・入場料金 一般1,000円、大高生700円、中小生無料
- ・アンケート結果 満足度 84%

講演会：4回 参加者数合計 357人

- ・関連土曜講座
  - 7月13日 遊びのコレクションー展覧会のみどころー  
京都国立博物館主任研究員 永島明子  
120人参加
  - 7月20日 京都国立博物館の人形  
京都国立博物館教育室長 山川 暁  
80人参加
  - 7月27日 こんなにおもしろい近世彫刻  
京都国立博物館保存修理指導室長 浅湫 毅  
89人参加

鑑賞会：2回 参加者数合計 68人

- ・関連少年少女博物館くらぶ  
8月6日、9日 小中学生向け鑑賞会「びじゅつで遊ぼう！」

広報媒体：ポスター、ちらし、情報誌、ホームページ、新聞、ラジオ、公共放送等

#### 展覧会名：特別展覧会「魅惑の清朝陶磁」

- ・会 期 平成25年10月12日～12月15日（55日間）
- ・会 場 明治古都館（特別展示館）全室
- ・主 催 京都国立博物館、読売新聞社、読売テレビ
- ・協 力 史跡料亭花月、日本香堂
- ・作品件数 212件（うち国宝0件、重要文化財0件）
- ・来館者数 38,929人（目標来館者数35,000人・達成率111.23%）
- ・入場料金 一般1,300円、大高生900円、中小生400円
- ・アンケート結果 満足度 87%
- 講演会：13回 参加者数合計932人
  - ・社会科教員のための向上講座  
10月22日 講演「魅惑の清朝陶磁展にちなんで」館内実地研修  
京都国立博物館工芸室長 尾野善裕  
30人参加
  - ・関連土曜講座
    - 10月26日 清朝陶磁と江戸時代後期の茶道具  
根津美術館副館長 西田宏子氏  
178人参加
    - 11月9日 煎茶と清朝陶磁  
大阪市立美術館学芸課長 守屋雅史氏  
118人参加
    - 11月30日 出土資料からみた清朝陶磁器の国内需要  
東京大学理蔵文化財調査室准教授 堀内秀樹氏  
88人参加
    - 12月7日 清朝陶磁と日本人  
京都国立博物館工芸室長 尾野善裕  
152人参加
  - ・ギャラリートーク
    - 10月18日 魅惑の中国七宝  
京都国立博物館企画室 末兼俊彦  
32人参加
    - 10月25日 清朝皇帝の愛した蒔絵  
京都国立博物館列品管理室主任研究員 永島明子  
35人参加
    - 11月8日 吉祥の図案  
京都国立博物館列品管理室研究員 呉孟晋  
47人参加
    - 11月15日 坂本龍馬と長崎  
京都国立博物館企画室長 宮川禎一  
45人参加
    - 11月22日 清朝の宮廷衣裳  
京都国立博物館教育室長 山川 暁  
55人参加
    - 11月29日 清朝陶磁の吉祥文様  
京都国立博物館工芸室長 尾野善裕  
59人参加
    - 12月6日 坂本龍馬と下関  
京都国立博物館企画室長 宮川禎一  
50人参加
    - 12月13日 江戸時代の唐物趣味  
京都国立博物館企画室 末兼俊彦

43人参加

広報媒体: ポスター、ちらし、情報誌、ホームページ、新聞、ラジオ、公共放送等

**【奈良国立博物館】**

**(1) 名品展 (平常展)**

①開館日数: 319日(名品展のみの開館日数: 199日)

②陳列件数: 632件

名品展

珠玉の仏像 (なら仏像館) 213件

珠玉の仏教美術 (西新館) 0件

中国古代青銅器 (青銅器館) 237件

特別陳列等

	名称	会期	陳列件数 (うち指定品件数)
特別陳列	おん祭と春日信仰の美術	12月7日~26年1月19日	63件(重要文化財7件)
特別陳列	お水取り	26年2月8日~3月16日	62件(重要文化財16件)
特別展示	正倉院宝庫の瓦	10月26日~11月11日 12月25日~26年1月19日 26年2月8日~3月16日	18件
特集展示	模造にみる飛鳥時代の宝冠	9月20日~	3件※
特集展示	複製にみる頭塔	9月20日~	1件※
特集展示	模造にみる伎楽面	9月20日~	2件※
特集展示	新たに修理された文化財	12月25日~26年1月19日	8件(重要文化財4件)
考古資料相互活用促進事業展示	いにしへの東北 ~豊岡遺跡と平泉~	26年2月8日~3月16日	31件
特別公開	金剛寺 降三世明王坐像	23年10月4日~	1件(重要文化財1件) ※
特別公開	定朝様の丈六阿弥陀像	24年6月26日~	1件※

※「名品展 珠玉の仏像 (なら仏像館)」の陳列件数 (213件) に含む。

③陳列替件数: 130 件

**(2) 特別展・共催展等**

**展覧会名:** 當麻曼荼羅完成1250年記念特別展「當麻寺 一極楽浄土へのあこがれ」

- ・会 期 平成25年4月6日(土)~6月2日(日) (51日間)
- ・会 場 奈良国立博物館 東新館・西新館
- ・主 催 奈良国立博物館、當麻寺、読売新聞社
- ・後 援 文化庁、奈良県、葛城市、NHK奈良放送局、奈良テレビ放送
- ・協 力 葛城市商工会、シーシーエス、JR東海、千房、日本香堂、仏教美術協会
- ・作品件数 159件 (うち国宝7件、重要文化財43件)
- ・来館者数 54,114人 (目標40,000人)
- ・観覧料金 一般1,200円、高校・大学生800円、小・中学生500円
- ・アンケート結果 満足度 79.4%

公開講座: 4回 参加者数合計 481人

當麻寺による出張イベント@奈良博: 4回 参加者数合計 641人

シンポジウム: 1回 参加者数 149人

公開講座

期日	講座名	講師(所属)	参加者数
4月20日(土)	「當麻曼荼羅と中将姫説話の諸相」	日冲敦子(神戸学院大学専任講師)	108人
5月4日(土・祝)	「〈寺史〉のなかの役行者 —當麻寺は役行者の旧跡に建つ」	川崎剛志(就実大学教授)	133人
5月18日(土)	「當麻曼荼羅の信仰史」	北澤菜月(学芸部研究員)	120人
5月25日(土)	「當麻寺の彫像」	岩田茂樹(学芸部長補佐)	120人

當麻寺による出張イベント@奈良博

期日	内容	講師(所属)	参加者数
4月7日(日)	「中将姫と當麻曼荼羅 絵解き拝礼式とともに」 (講話と実演)	松村實昭(當麻寺中之坊院主)	132人
4月14日(日)	「當麻寺聖衆來迎練供養会式と菩薩講」 (講話と実演)	葛本雅崇(當麻寺護念院住職)、菩薩講中	180人
4月29日(月・祝)	「極楽浄土へのあこがれ」(講話)	川中光教(當麻寺奥院住職)	166人
5月3日(金・祝)	「當麻寺の雑学」(講話)	山下真弘(當麻寺西南院住職)	163人

シンポジウム

期日	内容	講師・研究発表者	参加者数
4月27日(土)	学術シンポジウム「綴織當麻曼荼羅」 〈基調講演〉「當麻曼荼羅の不思議」 〈研究発表〉「綴織當麻曼荼羅の図像解釈」 「浄土信仰史上の當麻曼荼羅」	濱田 隆(元奈良国立博物館長) 大西磨希子(仏教大学仏教学部准教授) 稲本泰生(京都大学人文科学研究所准教授)	149人

「綴織當麻曼荼羅の染織技法」  
 「當麻寺における綴織當麻曼荼羅」  
 〈パネルディスカッション〉

田中陽子(宮内庁正倉院事務所保存課整理室主任研究官)  
 北澤菜月(学芸部研究員)  
 上記 5名

広報媒体：ポスター、ちらし、博物館だより、新聞、テレビ番組等

**展覧会名：特別展「みほとけのかたち —仏像に会う—**

- ・会 期 平成25年7月20日(土)～9月16日(月・祝)(52日間)
  - ・会 場 奈良国立博物館 東新館・西新館
  - ・主 催 奈良国立博物館
  - ・後 援 文化庁、奈良県、奈良市、奈良市教育委員会、NHK奈良放送局
  - ・特別協力 読売新聞社
  - ・協 力 JR東海、奈良県ビジターズビューロー、奈良交通、日本香堂、仏教美術協会
  - ・作品件数 91件(うち国宝5件、重要文化財42件)
  - ・来館者数 39,232人(目標50,000人)
  - ・観覧料金 一般1,000円、高校・大学生700円、中学生以下 無料
  - ・アンケート結果 満足度 93%
- 公開講座：2回 参加者数合計 388人

公開講座

期日	講座名	講師(所属)	参加者数
8月 3日(土)	「曼荼羅の見方・考え方」	小峰彌彦(大正大学教授)	194人
9月 7日(土)	「かたちから見た仏像の諸相」	岩井共二(学芸部教育室長)	194人

広報媒体：ポスター、ちらし、博物館だより、新聞、テレビ番組等

**展覧会名：特別展「第65回正倉院展」**

- ・会 期 平成25年10月26日(土)～11月11日(月)(17日間)
  - ・会 場 奈良国立博物館 東新館・西新館
  - ・主 催 奈良国立博物館
  - ・特別協力 読売新聞社
  - ・協 賛 岩谷産業、NTT、キヤノン、京都美術工芸大学、近畿日本鉄道、JR東海、JR西日本、ダイキン工業、大和ハウス工業、白鶴酒造、丸一鋼管
  - ・協 力 NHK奈良放送局、奈良テレビ放送、日本香堂、仏教美術協会、ミネルヴァ書房
  - ・作品件数 66件
  - ・来館者数 246,269人(目標180,000人)
  - ・観覧料金 一般1,000円、高校・大学生700円、小・中学生400円
  - ・アンケート結果 満足度 70%
- 公開講座：4回 参加者数合計 427人  
 シンポジウム：1回 参加者数 192人

公開講座

期日	講座名	講師(所属)	参加者数
10月26日(土)	「聖武朝における歌舞の隆盛と和琴」	荻美津夫(新潟大学人文学部人文学科教授)	112人
11月 2日(土)	「慶長櫃が語る正倉院の歴史」	佐々田悠(宮内庁正倉院事務所保存課整理室員)	93人
11月 3日(日・祝)	「正倉と正倉院宝物—守る・伝える—」	成瀬正和(宮内庁正倉院事務所保存課長)	114人
11月 9日(土)	「香印坐と天平の彩り」	谷口耕生(学芸部保存修理指導室長)	108人

シンポジウム

期日	講座名	講師(所属)	参加者数
10月27日(日)	正倉院学術シンポジウム2013「鑑真和上と正倉院宝物」 〈研究発表〉「鑑真和上坐像について —平成お身代わり像制作で得られた新知見—」 「正倉院宝物の僧衣について」 「唐招提寺金堂と正倉院宝物にみる彩色文様」 「鑑真和上の書状」 〈パネルディスカッション〉	木下成通 (公益財団法人美術院国宝修理所研究部長) 田中陽子 (宮内庁正倉院事務所保存課整理室主任研究官) 大山明彦(奈良教育大学教授) 西山 厚(学芸部長) 上記 4名及び内藤 栄(学芸部長補佐)	192人

広報媒体：ポスター、ちらし、博物館だより、新聞、駅構内看板、テレビ特集番組等

**【九州国立博物館】**

**(1)文化交流展(平常展)**

- ①開館日数：308日(うち平常展のみ開館日数 100日)
- ②陳列替件数：1,157件
- ③陳列総件数：2,750件(うち国宝29件 重要文化財27件)
- ④入場料金：一般420円、大学生130円
- ⑤トピック展示・特別公開：全14件

展示名称	江戸のモダニズム 古武雄～まぼろしの九州のやきもの～		
開催期間	25年3月19日(火)～ 5月26日(日)	開催場所	文化交流展示室 関連展示9・10室
		陳列件数(うち 指定品件数)	65件

内容	佐賀県西部の武雄を中心として、江戸時代に独創的なデザインでその名を馳せた「古武雄」。本展では、今まで十分な評価が与えられてこなかったこの陶器の魅力を広く伝え、九州陶磁史の中でも再検討を提言した。				
展示名称	江戸のサイエンス ー武雄蘭学の軌跡ー				
開催期間	25年4月16日(火)～ 7月7日(日)	開催場所	文化交流展示室 関連展示室11室	陳列件数(うち 指定品件数)	74件(うち重文20件)
内容	佐賀藩武雄鍋島家伝来の西洋科学遺産を一挙公開し、幕末日本の近代化事業に迫った。				
展示名称	国宝 琉球国王尚家関係資料修理完成記念特別公開				
開催期間	25年4月23日(火)～ 6月2日(日)	開催場所	文化交流展示室 第Vテーマ	陳列件数(うち 指定品件数)	7件(うち国宝7件)
内容	毎年度行なっている琉球国王尚家関係資料の修理成果をお披露目する特別公開企画。				
展示名称	視覚革命!異国と出会った江戸絵画ー神戸市立博物館名品展ー				
開催期間	25年7月17日(水)～ 9月23日(月・祝)	開催場所	文化交流展示室 関連展示室11室	陳列件数(うち 指定品件数)	54件(うち重文1件)
内容	神戸市立博物館が誇る名品を通して、創造力あふれる江戸の絵画世界を紹介した。				
展示名称	特別公開 国宝・神戸市桜ヶ丘出土銅鐸				
開催期間	25年7月17日(水)～ 9月29日(日)	開催場所	文化交流展示室 基本展示室	陳列件数(うち 指定品件数)	20件(うち国宝20件)
内容	国宝・神戸市桜ヶ丘出土銅鐸13個と銅戈7本を紹介した。あわせて3Dデジタル計測を行い、新たに発見された紋様についても展示・紹介を行った。				
展示名称	特別公開 国宝「西光寺梵鐘」				
開催期間	25年7月23日(火)～ 12月8日(日)	開催場所	文化交流展示室 基本Ⅲテーマ	陳列件数(うち 指定品件数)	1件(うち国宝1件)
内容	承和6年(839年)に制作された、狐峯山西光寺(福岡市早良区)が所蔵する梵鐘を紹介した。				
展示名称	館蔵名品展ー更紗				
開催期間	25年9月3日(火)～ 10月14日(月・祝)	開催場所	文化交流展示室 関連展示室9室	陳列件数(うち 指定品件数)	33件(うち重文3件)
内容	更紗の多くの人を魅了した鮮やかな茜染めと生き生きとした文様の美を紹介した。				
展示名称	茶の湯を楽しむⅥ 特別編 煎茶の世界				
開催期間	25年10月1日(火)～ 12月1日(日)	開催場所	文化交流展示室 関連展示室11室	陳列件数(うち 指定品件数)	41件
内容	秋の恒例企画、「茶の湯を楽しむ」の第6弾。今年は、さまざまな喫茶文化のなかでもとりわけ九州と縁が深い煎茶に注目し、その世界を紹介した。				
展示名称	山の神々 ー九州の霊峰と神祇信仰ー				
開催期間	25年10月22日(火)～ 12月1日(日)	開催場所	文化交流展示室 関連展示室9室	陳列件数(うち 指定品件数)	15件(うち重文2件)
内容	九州各地の霊山の信仰遺品を紹介することによって、山岳信仰の歴史を振り返る。				
展示名称	特集陳列「江上波夫の眼 ことばとかたち」				
開催期間	25年11月14日(木)～ 26年2月2日(日)	開催場所	文化交流展示室 関連展示室8 室・エントランス	陳列件数(うち 指定品件数)	93件
内容	ユーラシア全域を研究対象とした考古学者江上波夫氏旧蔵コレクションから文字資料や美術品を紹介した。				
展示名称	ロシアが見たアイヌ文化 ロシア科学アカデミー・ピョートル大帝記念人類学民族学博物館のコレクションより				
開催期間	25年12月10日(火)～ 26年2月16日(日)	開催場所	文化交流展示室 関連展示室9・10・11室	陳列件数(うち 指定品件数)	141件
内容	ロシア科学アカデミー人類学民族学博物館の所蔵する、18世紀から20世紀初頭にかけてロシア人によって収集されたアイヌ民族の生活文化を語る資料を紹介した。				
展示名称	発掘された日本列島 2013				
開催期間	26年1月1日(水・祝)～ 2月16日(日)	開催場所	文化交流展示室 関連展示室1・3室	陳列件数(うち 指定品件数)	208件
内容	年間8千件近い発掘調査の中から、全国的に注目された発掘調査の成果を紹介した。				
展示名称	新春特別公開「天神さまの宝もの」				
開催期間	26年1月1日(水)～ 1月26日(日)	開催場所	文化交流展示室 関連展示室	陳列件数(うち 指定品件数)	3件(うち国宝1件)
内容	太宰府天満宮所蔵の名品、中国・唐時代に編纂された百科事典「翰苑」写本や北野天満宮縁起絵巻など3点を紹介した。				
展示名称	館蔵近世絵画名品展				
開催期間	前期: 26年2月25日(火)～4月6日(日)	開催場所	文化交流展示室	陳列件数(うち 指定品件数)	18件(うち重文1件)

	後期：26年4月8日(火)～5月18日(日)	関連展示室 11 室	指定品件数)
内容	17世紀から19世紀の絵画を中心に、当館がこれまで収集してきた作品を紹介した。		

## (2) 特別展・共催展等

### 展覧会名 大ベトナム展

- ・会 期 平成25年4月16日(火)～6月9日(日) (49日間)
- ・会 場 九州国立博物館 特別展示室
- ・主 催 九州国立博物館・福岡県、ベトナム国立歴史博物館、在福岡ベトナム社会主義共和国総領事館、TVQ九州放送、西日本新聞社、日本経済新聞社、九州ベトナム友好協会
- ・作品件数 165件(重要文化財15件)
- ・来館者数 71,192人(目標来館者数30,000人)
- ・入場料金 一般1,300円、高大生1,000円、小中生600円
- ・アンケート結果 満足度82%
- ・講演会等：3回 参加者合計354人
- ・記念講演会

期日	講演会名	所属・講師	参加者
4月21日	特別講演会「日越関係が示す新しい世界史像」 「近現代の日越関係史と今後の展望」	大阪大学教授 桃木至朗 東京大学教授 古田元夫	123人
5月12日	特別講演会「ベトナム・ホイアン日本町を発掘する」 「ベトナムの『元寇』を探る～予備調査の結果からわかること」  「安南文書の世界」 「陶磁器から見た海のシルクロードとベトナム」	昭和女子大学教授 菊池誠一 テキサスA&M大学海事考古学研究所 ランドール・ササキ 博物館科学課保存修復室長 藤田励夫 展示課研究員 遠藤啓介	190人

#### ・講座等

期日	講演会名	所属・講師	参加者
4月26日	解説講座 しっとこ九博！ 「大ベトナム展」(筑紫野市)	前博物館科学課保存修復室長 藤田励夫	41人

#### ・イベント等

期日	イベント名	参加者
4月27日～5月6日	ベトナムグルメ天国	—
5月19日	ライブベトナム	600人
6月1日	ベトナム民族楽器トルンの演奏によるさわやかなひととき	250人

### 展覧会名 中国 王朝の至宝

- ・会 期 平成25年7月9日(火)～9月16日(月・祝) (62日間)
- ・会 場 九州国立博物館 特別展示室
- ・主 催 九州国立博物館・福岡県、中国文物交流中心、NHK福岡放送局、NHKブラネット九州、毎日新聞社、西日本新聞社
- ・特別協力 太宰府天満宮
- ・作品件数 167件(1級文物100件)
- ・来館者数 77,554人(目標来館者数50,000人)
- ・入場料金 一般1,500円、高大生1,000円、小中生600円
- ・アンケート結果 満足度87%
- ・講演会等：9回 参加者合計1,199人
- ・記念講演会

期日	講演会名	所属・講師	参加者
8月3日	特別講演会「皇帝たちの中国—ファースト・エンペラーからラスト・エンペラーまで—」	早稲田大学教授 稲畑耕一郎	280人

#### ・講座等

期日	講演会名	所属・講師	参加者
7月12日	解説講座 しっとこ九博！ 「中国 王朝の至宝 三〇〇〇年にわたる美の興亡、そのダイナミズムを体感する！」(筑紫野市)	企画課特別展室主任研究員 市元壘	60人
7月13日	リレー講座「中国王朝 栄華を極めたのは誰だ」	学芸部長 谷豊信	150人
7月20日	リレー講座「中国 王朝の至宝を10倍楽しく見る方法」	企画課特別展室主任研究員 市元壘	130人
7月28日	地域講演会「中国 王朝の至宝でよみとく3000年」(岡垣町)	企画課特別展室主任研究員 市元壘	294人
8月4日	地域講演会「中国王朝 栄華を極めたのは誰だ」(篠栗町)	学芸部長 谷豊信	135人
8月20日	特別展セミナー 「中国 王朝の至宝」の魅力に迫る—学芸員が語る「歴史」と「文化」—(九州経済調査会)	企画課特別展室主任研究員 市元壘	15人
8月23日	特別展出張講演 「比べて分かる 中国 王朝の至宝」(西日本新聞エリアセンター姪浜)	企画課特別展室主任研究員 市元壘	20人
8月25日	地域講演会「中国王朝 栄華を極めたのは誰だ」(柳川市)	学芸部長 谷豊信	115人

#### ・イベント等

期日	イベント名	参加者
8月10日	こどもイベント「跪射俑(きしゃよう)に変身!!～段ボールで鎧づくり～」	50人

### 展覧会名 尾張徳川家の至宝

- ・会 期 平成25年10月12日(土)～12月8日(日) (50日間)
- ・会 場 九州国立博物館 特別展示室

- ・主催 九州国立博物館・福岡県、西日本新聞社、テレビ西日本、TVQ九州放送、徳川美術館
- ・作品件数 226件(国宝5件、重要文化財12件、重要美術品6件)
- ・来館者数 139,448人(目標来館者数50,000人)
- ・入場料金 一般1,500円、高大生1,000円、小中生600円
- ・アンケート結果 満足度 85%
- ・講演会等: 5回 参加者合計 539人
- ・記念講演会

期日	講演会名	所属・講師	参加者
10月12日	特別講演会「“殿”文化を語る—国宝『源氏物語絵巻』を伝えた系譜」	徳川美術館館長 徳川義崇	260人

・講座等

期日	講演会名	所属・講師	参加者
10月20日	アクロス・文化学び塾 特別展「尾張徳川家の至宝」について	企画課文化交流展室主任研究員 川畑憲子	70人
11月1日	解説講座「御三家筆頭 尾張徳川家の至宝展」 (筑紫野市)	展示課主任研究員 酒井芳司	32人
11月2日	連続講座「殿様の教養—尾張徳川家の名筆と典籍—」 「絵になる源氏物語」	展示課主任研究員 酒井芳司 企画課特別展室研究員 鷲頭桂	102人
11月9日	連続講座「天下人のあかし—信長・秀吉・家康の遺愛品」 「国宝 初音の調度の魅力」	文化財課資料登録室主任研究員 荒木和憲 企画課文化交流展室主任研究員 川畑憲子	75人

・イベント等

期日	イベント名	参加者
11月1日～4日	名古屋めしフェア	—
11月3日	ファッションショー「KIMONO夢物語」～源氏物語絵巻への誘い～	350人

**展覧会名 国宝 大神社展**

- ・会期 平成26年1月15日(水)～3月9日(日) (47日間)
- ・会場 九州国立博物館 特別展示室
- ・主催 九州国立博物館・福岡県、NHK福岡放送局、NHKプラネット九州、西日本新聞社
- ・作品件数 165件(国宝57件、重要文化財65件)
- ・来館者数 89,561人(目標来館者数70,000人)
- ・入場料金 一般1,500円、高大生1,000円、小中生600円
- ・アンケート結果 満足度 87%
- ・講演会等: 8回 参加者合計 1,463人
- ・記念講演会

期日	講演会名	所属・講師	参加者
26年1月26日	特別講演会「鎮守の杜(もり)と日本人」	神社本庁総長・石清水八幡宮宮司 田中恒清	255人

・講座等

期日	講演会名	所属・講師	参加者
26年1月18日	連続講座「国宝 大神社展」の壺 「神像のみかた」 「神話と『古事記』『日本書紀』」	展示課主任研究員 楠井隆志 展示課主任研究員 酒井芳司	256人
26年1月19日	地域講演会「国宝 大神社展」への誘い 「日本人はいかに表現したか。」(久留米市)	展示課主任研究員 楠井隆志	186人
26年1月25日	連続講座「国宝 大神社展」の壺 「古神宝の調度」 「神々のすがた」	企画課文化交流展室主任研究員 川畑憲子 企画課特別展室研究員 森實久美子	80人
26年1月31日	解説講座 しっかりとこ九博! 「国宝 大神社展」	展示課主任研究員 楠井隆志	80人
26年2月2日	地域講演会「国宝 大神社展」への誘い 「天の岩戸と神の島～古代人の他界観」(福津市)	企画課文化交流展室長 河野一隆	234人
26年2月8日	講演会「伊勢神宮と式年遷宮」	神宮禰宜 広報室長	280人
26年2月9日	地域講演会「国宝 大神社展」への誘い 「よみがえった宮地嶽古墳黄金の太刀」(福岡市)	展示課長 赤司善彦	92人

・イベント等

期日	イベント名	参加者
26年1月15日	「国宝 大神社展」神いざなう 歌と舞 (壱岐神楽・高千穂神楽)	500人
26年1月19日	「国宝 大神社展」神いざなう 歌と舞 (白鬚神社の田楽・御嶽神楽)	440人
26年1月22日	「神々と日本伝統文化 狂言と古典落語の世界」	255人
26年2月2日	「国宝 大神社展」神いざなう 歌と舞 (竹の曲・高原神舞)	400人
26年2月28日	「国宝 大神社展」神いざなう 歌と舞 (石清水八幡宮 御神楽)	400人

**(3) 海外展**

- ・展覧会名 文化庁主催海外展「日本文化展」
- ・会期: 平成26年1月16日(木)～3月9日(日) (51日間)
- ・会場: ベトナム国立歴史博物館
- ・主催: 文化庁、九州国立博物館・福岡県、ベトナム国立歴史博物館
- ・陳列品総件数: 69件(うち重文 7件)
- ・来館者数: 約30,000人
- ・入場料金: 40,000ドン(約200円)

・イベント等

期日	イベント名	参加者
26年1月18日	ワークショップ	500人

(参考)

【平城宮跡資料館】

(1) 平常展

開館日数：308日（平常展のみの開館日数：172日） 陳列件数：656件 陳列替回数：1回  
 平常展のみの来館者数：39,502人  
 入場料金：無料

(2) 特別展等・共催展等

展覧会名：春期企画展「発掘速報展 平城2012」

会期：25年3月16日(土)～6月2日(日) (68日間。うち25年度：54日間)  
 会場：平城宮跡資料館 企画展示室  
 主催：奈良文化財研究所  
 陳列件数（うち指定品数）：77件（0件）  
 来館者数：39,179人（うち25年度：34,025人）  
 入場料金：無料  
 アンケート結果：満足度94%（無回答を除く）  
 講演会等：ギャラリートーク7回・参加者数合計109人（うち25年度：6回・93人）  
 クイズ大会3回・参加者数合計66人（うち25年度：2回・36人）

展覧会名：夏期企画展「平城京どうぶつえんー天平びとのアニマルアート」

会期：25年7月13日(土)～9月23日(月・祝) (43日間)  
 会場：平城宮跡資料館 企画展示室  
 主催：奈良文化財研究所  
 陳列件数（うち指定品数）：171件（0件）  
 来館者数：18,616人  
 入場料金：無料  
 講演会等：博士のおもしろどうぶつ講座4回・参加者数合計110人  
 おやこワークショップ2回・参加者数合計81人

展覧会名：秋期特別展「地下の正倉院ー木簡学ことはじめ」

「都城発掘調査部 平城宮・京発掘調査の50年」

会期：25年10月19日(土)～12月1日(日) (39日間)  
 会場：平城宮跡資料館 企画展示室  
 主催：奈良文化財研究所  
 陳列件数（うち指定品数）：106件（63件）  
 来館者数：16,753人  
 入場料金：無料  
 講演会等：ギャラリートーク3回・参加者数合計121人

【藤原宮跡資料室】

(1) 平常展

①開館日数：356日 陳列件数：114件 陳列替回数：1回  
 ②特集陳列等 7件

名称	会期	陳列件数（うち指定品件数）
【特集陳列】 藤原宮東面内濠SD2300の土器（『紀要2012』より研究成果の展示）	24年 5月 7日～25年 7月31日	土器69（土師器35・須恵器34）
藤原宮東面中門・東面大垣の調査（飛鳥藤原168-2次）	24年 5月15日～25年 7月31日	土器3、瓦1
石神遺跡出土の銅製人形	25年 8月 1日～25年10月 9日	銅製人形10
藤原宮朝堂院東第六堂の瓦	25年 8月 1日～25年10月 9日	瓦5
東方官衙北地区（飛鳥藤原175次）	25年 8月 1日～	土器26
奈良文化財研究所飛鳥藤原宮跡発掘調査部40周年記念 「写真でふりかえる発掘調査40年」	25年10月15日～25年12月27日	パネル展示、映像展示
震災復興調査とその支援	26年 1月23日～	パネル展示

入場料金：無料  
 来館者数：7,869人

**【飛鳥資料館】**

**(1) 平常展**

開館日数：316日（平常展のみの開館日数：106日） 陳列件数：350件 陳列替回数：1回  
 ｷﾗｰ公開準備・復旧のため 12月25日～1月31日 第一展示常設は閉鎖、ｷﾗｰ公開中も含み地階特展室で常設展示  
 入場料金：一般260円（170円） 大学生130円（60円） 高校生及び18歳未満は無料  
 ※（ ）は20名以上の団体  
 平常展のみの来館者数：7,551人

**(2) 特別展等・共催展等**

**展覧会名：第3回写真コンテスト「神々の山-大和三山のある風景-」応募作品展**

会 期：25年3月9日（土）～4月14日（日）（32日間。うち25年度：12日間）  
 会 場：飛鳥資料館 特別展示室  
 主 催：奈良文化財研究所  
 応募点数：210点  
 来館者数：3,059人（うち25年度：1,148人）※25年度評価にて実績報告を行う。  
 入場料金：一般260円（170円） 大学生130円（60円） 高校生及び18歳未満は無料  
 ※（ ）は20名以上の団体

**展覧会名：春期特別展「飛鳥寺2013」**

会 期：25年4月26日（金）～6月2日（日）（38日間）  
 会 場：飛鳥資料館 特別展示室  
 主 催：奈良文化財研究所  
 陳列件数（うち指定品数）：200件（0件）  
 来館者数：9,406人  
 入場料金：一般260円（170円） 大学生130円（60円） 高校生及び18歳未満は無料  
 ※（ ）は20名以上の団体  
 講演会：1回 参加者数合計 71人  

期日	講演会名	講師（所属）
5月18日	「最近の東アジアの研究成果から見た飛鳥寺」	佐川正敏（東北学院大学教授）

**展覧会名：ロビーミニ イラスト展 坂田武嗣「風景の記憶」**

会 期：25年5月1日（水）～6月30日（日）（57日間）ただし、春期特別展と同時開催で単独開催は24日間  
 会 場：飛鳥資料館 ロビー  
 主 催：奈良文化財研究所  
 陳列点数：23点  
 来館者数：10,473人（ただし、春期特別展来館者数にカウント、6月3日～6月30日の単独開催期間は2,648人）  
 入場料金：一般260円（170円） 大学生130円（60円） 高校生及び18歳未満は無料  
 ※（ ）は20名以上の団体

**展覧会名：夏期企画展「飛鳥・藤原京を考古科学する」**

会 期：25年8月1日（木）～9月1日（日）（28日間）  
 会 場：飛鳥資料館 特別展示室  
 主 催：奈良文化財研究所  
 陳列件数（うち指定品数）：77件（0件）  
 来館者数：2,633人  
 入場料金：一般260円（170円） 大学生130円（60円） 高校生及び18歳未満は無料  
 ※（ ）は20名以上の団体

**展覧会名：第4回写真コンテスト「飛鳥川の導」応募作品展**

会 期：25年9月7日（土）～10月6日（日）（26日間）  
 会 場：飛鳥資料館 特別展示室  
 主 催：奈良文化財研究所  
 応募点数：162点  
 来館者数：3,359人  
 入場料金：一般260円（170円） 大学生130円（60円） 高校生及び18歳未満は無料  
 ※（ ）は20名以上の団体

**展覧会名：ミニ企画展「日光男体山のかがやき- 山岳信仰奉賽鏡の世界-」**

会 期：25年9月10日（木）～9月16日（日）（7日間）ただし、第4回写真コンテスト展と同時開催  
 会 場：飛鳥資料館 特別展示室  
 主 催：奈良文化財研究所  
 陳列件数（うち指定品数）：178件（154件）  
 来館者数：1,046人（ただし、第4回写真コンテスト展来館者数にカウント）  
 入場料金：一般260円（170円） 大学生130円（60円） 高校生及び18歳未満は無料  
 ※（ ）は20名以上の団体

**展覧会名：秋期特別展「飛鳥・藤原京への道」**

会 期：25年10月18日（金）～12月1日（日）（45日間）  
 会 場：飛鳥資料館 特別展示室  
 主 催：奈良文化財研究所

陳列件数（うち指定品数）：200件（0件）

来館者数：9,132人

入場料金：一般260円（170円） 大学生130円（60円） 高校生及び18歳未満は無料

※（ ）は20名以上の団体

講演会：1回 参加者数合計 112人

期日 講演会名 講師（所属）

11月16日 「飛鳥へ続く道」 近江俊秀（文化庁文化財部記念物課文化財調査官）

**展覧会名：杯特別公開**

会 期：26年1月17日（金）～1月26日（日）（10日間）

会 場：飛鳥資料館 第一展示室

主 催：奈良文化財研究所

陳列件数（うち指定品数）：75点（1件）

来館者数：4,008人

入場料金：一般500円（400円） 高・大学生300円（200円） 中学生以下は無料

※（ ）は20名以上の団体

**展覧会名：冬期企画展「飛鳥の考古学2013」**

会 期：26年2月14日（金）～3月16日（日）（27日間）

会 場：飛鳥資料館 特別展示室

主 催：奈良文化財研究所

陳列件数（うち指定品数）：160点（0件）

来館者数：1,851人

入場料金：一般260円（170円） 大学生130円（60円） 高校生及び18歳未満は無料

※（ ）は20名以上の団体

**b ボランティア受入れ実績**

**1 受入人数**

平成26年3月31日現在

国立文化財機構計	東京国立博物館	京都国立博物館	奈良国立博物館	九州国立博物館	奈良文化財研究所
770人	169人	45人	114人	287人	155人

**2 活動内容**

**【東京国立博物館】 計 169人**

種別 (登録人数)	概要
生涯学習ボランティア (152人)	<p>1) 各種教育普及事業の補助活動の充実を図る</p> <p><b>【教育普及事業の補助】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校向けワークショップ補助 (通年)</li> <li>・ファミリー向けワークショップ補助 (通年)</li> <li>・一般向けワークショップ補助 (通年)</li> <li>・制作工程模型展示鑑賞補助 (通年)</li> <li>・列品解説、各種講演会、イベント事業の実施補助 (通年)</li> <li>・教育普及事業の告知(「本日の博物館」シール貼替え・通年)</li> <li>・東洋館オアシス「アジアの占い体験」実施 (通年)</li> </ul> <p><b>【館内案内】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本館 1階エントランス、2階、20室 (通年実施)</li> <li>・本館特別4室みどりのライオン紹介コーナー、17室 (～平成25年12月22日)</li> <li>・多言語案内・手話の告知バッジによる来館者の案内・誘導 (通年)</li> </ul> <p><b>【資料印刷・作成】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パンフレット「日本美術の流れ」日本語版の印刷 (通年)</li> <li>・点字パンフレットの印刷 (通年)</li> <li>・東洋館オアシススタンプ台紙の印刷 (通年)</li> <li>・たんけんマップの作成・印刷 (通年)</li> </ul> <p><b>【職場体験実施活動補助】</b></p> <p>受入数：23校 生徒数：82人 (中学、高校合計数)</p> <p><b>【障がい者対応】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バリアフリー対応班の発足 (25人)</li> <li>・東京国立博物館紹介パンフレットの点訳版作成 (12冊)</li> <li>・ボランティアによるガイドツアー「たてもの散歩」において手話通訳付ガイドツアー (隔月1回、6回実施)</li> <li>・博物館案内・各ガイドにおける聴覚障がい者対応のためのコミュニケーションボードの使用 (通年)</li> <li>・触知図を使用した館内案内 (通年)</li> <li>・盲学校のためのスクールプログラムの実施補助 (通年)</li> </ul> <p><b>【各種連携事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「留学生の日」(9月21日)内プログラム ボランティアによる茶会、たてもの散歩ツアー、彫刻ガイド、浮世絵ガイド、樹木ツアー、法隆寺宝物館ガイド、考古展示室ガイド、本館ハイライトツアー、英語ガイドの実施、館内案内</li> </ul> <p><b>【ボランティアデー開催】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規ボランティア募集説明会、ボランティアによる活動見学ツアー、各ガイドツアー、お茶会、ワークショップの実施 (12月7・8日)</li> </ul> <p>2) 来館者参加型ガイドツアー等の実施 422回 10,511人 自主企画プログラム (予約ガイド、各種連携事業、留学生の日、ボランティアデーにおける対応を含む。一日複数回実施の場合は、延べ回数)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・樹木ツアー 31回 776人参加</li> <li>・浮世絵ガイド 42回 1,335人</li> <li>・本館ハイライトツアー 56回 2,405人</li> <li>・法隆寺宝物館ガイド 37回 1,017人</li> <li>・考古展示室ガイド 12回 410人</li> <li>・陶磁ガイド 27回 750人</li> <li>・庭園茶室ツアー 24回 466人</li> <li>・お茶会 20回 339人</li> <li>・彫刻ガイド 31回 873人</li> <li>・英語ガイド 27回 752人(留学生の日の定点ガイド含む)</li> <li>・こどもたちのアートスタジオ 9回 178人</li> <li>・たてもの散歩ツアー 33回 828人</li> <li>・近代美術ガイド 4回 169人</li> <li>・東洋館ツアー 1回 90人</li> <li>・基本活動紹介ツアー 67回 73人</li> <li>・たんけんマップ&amp;ハイライトコラボ 1回 50人</li> </ul>
東京芸術大学大学院インターンシップ (17人)	<p>当館研究員と東京芸術大学大学院生が連携し準備、事業を行った。学生の貴重な経験や研究の一助となり、かつ、来館者にとっても展示についての理解を深めるきっかけとなった。</p>

種別 (登録人数)	概要
	<p>【ギャラリートーク(研究発表)班】5名 総合文化展展示作品に関するギャラリートークを展示室で行った。【計29回、949人】 「狛犬の世界—犬?ライオン?ふしぎな守護獣—」6回、210人 「止利派の半跏像—金銅仏鑑賞の楽しみ方—」6回、169人 「秋篠寺『十一面観音菩薩立像』のみかた—より強い救いを求めるかたち—」5回、226人 「甲冑の美術—『黒韋肩妻取威胴丸』—」6回、166人 「『揺銭樹』銭なる樹と大きな羊—古代四川文化の洗練、快活、多様性—」6回、178人</p> <p>【調査研究班】12名 平成25・26年度の2カ年で活動。今年度は学芸研究部調査研究課の協力の下、当館所蔵品「突起装飾坏(TJ-5401)」の調査研究及び工程見本制作を行った。</p>

【生涯学習ボランティアに対する研修の実施】 計29回

- ・新規ボランティア研修 3回
- ・防災訓練 1回
- ・バリアフリー班研修 3回
- ・イベント班研修 1回
- ・ワークショップ班研修 8回
- ・スクールプログラム班研修 5回
- ・各種自主企画グループ研修 8回

【生涯学習ボランティアに対する解説会の実施】(以下の展示等につき実施) 計6回

- ・特別展「国宝 大神社展」1回
- ・特別展「和様の書」1回
- ・特別展「上海博物館 中国絵画の至宝」1回
- ・特別展「京都—洛中洛外図と障壁画の美」1回
- ・特別展「クレーブランド美術館展」1回
- ・特別展「人間国宝展」1回

【京都国立博物館】 計45人

種別 (登録人数)	概要
調査・研究支援ボランティア(25人)	各研究員の指導のもと、調査・研究支援ボランティアが収蔵品調査及び社寺調査の補助を行った。
文化財ソムリエ(13人)	「文化財ソムリエ」として登録している大学生・大学院生のボランティアが、当館研究員によるスクーリングを受けたのち、京都市内の小中学校訪問授業において下記の通り講師をつとめた。 6月5日(朱雀第六小学校)、7月9日(第三錦林小学校)、9月4日(安祥寺中学校)、10月30日(納所小学校)、11月8日(美豆小学校)、11月22日(松ヶ崎小学校)、12月4日(南大内小学校)
京都・らくご博物館学生ボランティア(7人)	年2回当館主催で開催する「京都・らくご博物館」において、京都女子大学落語研究会の有志が運営に協力した。

【奈良国立博物館】 計114人

種別 (登録人数)	概要
世界遺産グループ(41人)	<p>【世界遺産学習】(奈良市教育委員会との連携で、奈良市の公立小学校5年生の受け入れ) ・6月~7月、及び10月~12月にかけて (33校) 2,199名</p> <p>【学校団体内案内】 ・小学生、中学生、高校生(外国人含む) (28校) 2,251名</p> <p>【展示案内】 ・特別展「みほとけのかたち—仏像に会う」の質問対応(7月23日~9月1日) 37日 85名</p> <p>【掃除】 ・スタッフルーム 3回</p>
解説グループ(39人)	<p>【通年の活動】 ・なら仏像館のデスクでの質問対応と解説 310日</p> <p>【展示案内】 ・特別展「當麻寺」の質問対応(4月23日~5月6日) 14日 48名 ・特別展「みほとけのかたち—仏像に会う」の質問対応(7月23日~9月16日) 50日 100名 ・特別陳列「おん祭と春日信仰の美術」の質問対応(12月7日~1月19日) 32日 64名 ・特別陳列「お水取り」質問対応 35日 67名 ・特別陳列「お水取り」ミニツアー解説 14日 40名</p> <p>【その他、予約による解説実施】 42件</p> <p>【掃除】 ・スタッフルーム 3回</p>
サポートグループ(34人)	<p>【教育普及事業の補助】 ・公開講座の受付 13回 ・サンデートークの受付 12回 ・学術シンポジウムの受付 1回 ・親子鑑賞会の受付 1回 ・展示会関連事業受付 4回 ・夏季講座の受付 3回</p> <p>【イベントの補助】 ・親と子のワークショップ「仏さまの絵をかいてみよう!」受付と補助 1回 ・トークセッション「仏像模刻にかける青春群像!」受付と補助 1回 ・奈良トライアングルミュージアムズワークショップ「写仏散華体験」受付と補助 1回</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古展の日フォーラム「古展の魅力を堪能する」受付と補助 1回</li> <li>・奈良市教育委員会連携「仏像を10倍楽しくみる方法を教えます!」受付と補助 1回</li> <li>・ワークショップ「写仏散華体験」受付と補助 1回</li> <li>・ワークショップ「仏像切り絵体験」受付と補助 1回</li> <li>・「文化財保存修理所特別公開」受付と補助 1回</li> <li>・お水取り「講話」と「粥」の会 受付と補助 1回</li> <li>【館及びボランティア室の業務の補助】</li> <li>・夏季講座の配布資料袋詰め作業 1回</li> <li>・正倉院学術シンポジウムの配布資料袋詰め作業 1回</li> <li>・ボランティア対象の各種研修等の受付 23回</li> <li>【掃除】</li> <li>・スタッフルーム 3回</li> <li>・庭園等 4回</li> <li>【交流チームの活動】</li> <li>・親睦会の立案と実施 1回</li> <li>・社寺旧跡の見学会の実施 2回 69名</li> <li>・他施設ボランティアとの交流会 2回</li> <li>【企画チームの活動】</li> <li>・茶室庭園ツアーの立案と実施 6回</li> <li>・仏教美術資料研究センター見学ツアーの立案と実施 2回</li> <li>・総務課来客（アメックス）の見学ツアー 1回</li> <li>【通信誌チームの活動】</li> <li>・ボランティア通信誌「ぶりっじ」発行 6回</li> </ul>
--	---

【ボランティアに対する研修の実施】 計24回

- ・名品展研修 2回
- ・特別展、特別陳列、特集展示の研修 21回
- ・仏教美術資料研究センター 1回

【グループ別の勉強会の実施】計40回

- ・世界遺産グループ 11回
- ・解説グループ 18回
- ・サポートグループ 11回

【各グループ共通】

- ・正倉院展講堂ボランティア解説 17日 92回

【九州国立博物館】 計 287人

種別 (登録人数)	概要
展示解説ボランティア (75人)	文化交流展示室での案内、及びボックスや展示室入口において来館者の質問や案内依頼等に対応。展示案内は予約団体(一般・学校)、当日受付(個人・グループ)に対応。
教育普及ボランティア (39人)	「あじっば」で来館者への対応。参加体験型のものづくり教室などを企画・実施。来館者と展示物を介して交流し、体験を通してアジアの文化を伝える。
館内案内ボランティア (26人)	館内の概要・施設案内(ガイド)およびバックヤードツアーの案内。館内案内は予約団体(一般・学生)、及び当日来館者に対応。バックヤードツアーも毎週火・金曜は予約団体のみ、日曜は当日受付で実施。
外国語案内ボランティア (63人)	英語・韓国語・中国語で、館内のガイド、バックヤードツアーの案内、及び文化交流展示室での展示物解説を行う。
環境ボランティア (29人)	IPM(総合的有害生物管理)活動に関する支援。
イベントボランティア (6人)	お正月、昭和の日、七夕関連のボランティアイベントの企画・立案・実施。
資料整理ボランティア (19人)	郷土人形(土人形)の調書の作成・データ化。あじぎやらでの郷土人形の企画展示。
サポートボランティア (22人)	ボランティア広報紙の作成や他部会のボランティアの活動のサポート。ボランティア同士の横のつながりや、他館ボランティアとの交流の構築。
学生ボランティア (8人)	他部会のボランティアの活動のサポート。各種イベントの企画・立案・実施。

- ・この他、地域の手話ボランティアグループ31人が障がい者対応として、また博物館周辺の環境整備活動グループとして35人が活動。(研修)全体研修 3回、部会別研修 34回、グループ研修 31回  
(対応来館者数)展示解説(8,684人)、館内案内(4,663人)、バックヤードツアー(2,578人)

【奈良文化財研究所】 計155人

種別 (登録人数)	概要
解説ボランティア (155人)	平城京跡資料館、遺構展示館、復原建物等の案内・解説

- ・各種ボランティアに対する学習会等
  - 平城京跡資料館夏期企画展示研修 1回
  - ” 秋期企画展示研修 3回
  - 講演形式専門研修 1回
  - 臨地ガイド研修 1回

## c 調査研究

### c-① 研究交流実績一覧

#### 1) 海外研究者招聘・受入実績（延べ人数）

平成26年3月31日現在

国立文化財機構合計	博物館計	東京国立博物館	京都国立博物館	奈良国立博物館	九州国立博物館
218人	46人	21人	0人	9人	16人
	文化財研究所計	東京文化財研究所		奈良文化財研究所	
	132人	32人		100人	
	アジア太平洋無形文化遺産研究センター	40人			

#### 【東京国立博物館】 21人

	氏名	国名	所属機関・職名	用務	期間
1	陳克倫	中国	上海博物館副館長	上海博物館中国絵画名品展(仮称)にかかる調査のため	6月8日～11日
2	千周鉉	韓国	韓国国立中央博物館学芸研究員	東京国立博物館・韓国国立中央博物館の学術交流および研究推進のため	8月19日～31日
3	孫峰	中国	上海博物館副研究館員	特別展「上海博物館—中国絵画の至宝」展の作品点検・陳列、開会式に出席のため	9月25日～10月2日
4	黄瑛	中国	上海博物館館員	特別展「上海博物館—中国絵画の至宝」展の作品点検・陳列、開会式に出席のため	9月25日～10月2日
5	黄朋	中国	上海博物館副研究館員	特別展「上海博物館—中国絵画の至宝」展の作品点検・陳列、開会式に出席のため	9月25日～10月2日
6	李仲謀	中国	上海博物館副館長	特別展「上海博物館—中国絵画の至宝」展の開会式に出席のため	9月28日～10月1日
7	凌利忠	中国	上海博物館研究館員	特別展「上海博物館—中国絵画の至宝」展の開会式に出席のため	9月28日～10月1日
8	孫慰祖	中国	上海博物館研究館員	特別展「上海博物館—中国絵画の至宝」展の開会式に出席のため	9月28日～10月1日
9	李維琨	中国	上海博物館副主任	特別展「上海博物館—中国絵画の至宝」展の講演会に出席のため	10月11日～15日
10	金靖之	中国	上海博物館館員	特別展「上海博物館—中国絵画の至宝」展の作品展示替えのため	10月27日～30日
11	邵真	中国	上海博物館助理館員	特別展「上海博物館—中国絵画の至宝」展の作品展示替えのため	10月27日～30日
12	葉倩	中国	上海博物館館員	東京国立博物館・上海博物館間の学術調査および研究推進のため	11月6日～12日
13	陳潔	中国	上海博物館館員	東京国立博物館・上海博物館間の学術調査および研究推進のため	11月6日～12日
14	申紹然	韓国	韓国国立中央博物館学芸研究員	東京国立博物館・韓国国立中央博物館の学術交流および研究推進のため	11月18日～12月1日
15	李蘭	中国	上海博物館館員	特別展「上海博物館—中国絵画の至宝」展の作品点検・撤収作業のため	11月23日～28日
16	汪詩琪	中国	上海博物館助理館員	特別展「上海博物館—中国絵画の至宝」展の作品点検・撤収作業のため	11月23日～28日
17	張中興	中国	上海博物館政工師	特別展「上海博物館—中国絵画の至宝」展の作品点検・撤収作業のため	11月23日～28日
18	ニコル・クリージ・ルーマニエル	英国	セインズベリー日本文化研究所所長	特別展「人間国宝展」にかかるシンポジウム「日本工芸の21世紀を考える」に参加等のため	H26. 1. 22～2. 1
19	孫峰	中国	上海博物館 副研究館員	東京国立博物館・上海博物館の学術交流および研究推進のため	H26. 2. 16～3. 1
20	シネード・ヴィルバー	米国	クリーブランド美術館 日本美術担当学芸員	日本・米国間の学術交流および協力関係の推進のため	H26. 1. 11～1. 17
21	アンナラウラ・ヴァルツツ	米国	コーディネーター	支倉展に関する打合せおよび関係施設視察のため	H26. 2. 10～2. 17

#### 【京都国立博物館】 0人

#### 【奈良国立博物館】 延べ 9人

	氏名	国名	所属機関・職名	用務	期間
1	劉玉珍	中国	河南博物院	当館との協定に基づく学術交流	4月15日～5月14日
2	牛愛紅	同上	同上	同上	同上
3	柳廷翰	韓国	慶州博物館	同上	5月8日～6月6日

	氏名	国名	所属機関・職名	用務	期間
4	徐 汝聡	中国	上海博物館	同上	10月28日～11月6日
5	凌 瑞蓉	同上	同上	同上	同上
6	薛 浩冰	同上	同上	同上	同上
7	申 大坤	韓国	慶州博物館	正倉院展視察並びに当館研究員との意見交換のため	10月30日～11月1日
8	朴 志	同上	同上	同上	同上
9	李 眞旼	同上	同上	当館との協定に基づく学術交流	26年2月3日～2月28日

【九州国立博物館】 延べ 16人

	氏名	国名	所属機関・役職	用務	期間	備考
1	アマラー・スリスチャート	タイ	タイ王国文化省芸術局国立博物館事務局 調査研究部長	学術文化交流協定に基づく研究者の交流	6月4日～6月14日	他機関負担
2	ウサー・ヌワンピエンパーク	タイ	タイ王国文化省芸術局調査研究部上席学芸員	学術文化交流協定に基づく研究者の交流	6月4日～6月12日	他機関負担
3	ドゥワンチャイ・ピッチタナロンチャイ	タイ	タイ王国文化省芸術局調査研究部学芸員	学術文化交流協定に基づく研究者の交流	6月4日～6月12日	他機関負担
4	カマラート・ベンチャウム	タイ	タイ王国文化省芸術局振興促進部学芸員	学術文化交流協定に基づく研究者の交流	6月4日～6月12日	他機関負担
5	ティーラサック・ペーンロット	タイ	タイ王国文化省芸術局博物館デザイン室職員	学術文化交流協定に基づく研究者の交流	6月4日～6月12日	他機関負担
6	Mr. SAHAWAT Naenna	タイ	タイ王国文化省 芸術局長	学術文化交流協定に基づく研究者の交流	6月11日～6月14日	他機関負担
7	Mrs. JARUNEE Incherdchai	タイ	タイ王国カンチャナピセーク国立博物館長	学術文化交流協定に基づく研究者の交流	6月11日～6月14日	他機関負担
8	Mrs. KANCHANA Oatyimprai	タイ	タイ王国ロイヤルエレファント国立博物館課長	学術文化交流協定に基づく研究者の交流	6月11日～6月14日	他機関負担
9	Ms. NICHANAN Klangwichai	タイ	タイ王国カンチャナピセーク国立博物館学芸員	学術文化交流協定に基づく研究者の交流	6月11日～6月14日	他機関負担
10	金美京	韓国	国立公州博物館 学芸研究士	学術文化交流協定に基づく研究者の交流	7月29日～8月11日	他機関負担
11	張元子	韓国	国立公州博物館 行政主事	学術文化交流協定に基づく研究者の交流	7月29日～8月4日	他機関負担
12	金聖慶	韓国	国立公州博物館 一般契約職	学術文化交流協定に基づく研究者の交流	7月29日～8月4日	他機関負担
13	オミュル・トゥファン	トルコ	トプカプ宮殿美術館 主任研究員	文化庁招聘事業 平成25年度博物館・美術館相互交流事業	10月7日～10月13日	他機関負担
14	ブー・マイン・ハ	ベトナム	ベトナム国立歴史博物館 副館長	文化庁招聘事業 平成25年度外国人芸術家・文化財専門家招聘事業	10月15日～10月19日	他機関負担
15	グエン・コック・ビン	ベトナム	ベトナム国立歴史博物館 展示部長	学術文化交流協定館との交流 文化庁主催海外展事前協議等	10月15日～10月19日	他機関負担
16	黄栄光	中国	中国科学院自然科学史研究所大学資料編纂所協同研究員	文化財保存交流セミナー	26年2月24日～28日	科研費

※上記には、他機関が招聘し、九州国立博物館を訪問（滞在）したものや、自己負担での外国人研究者の訪問実績は含んでいない。  
 ※上記には、日本国内の機関（大学、研究所等）に所属する外国人研究者の招聘は含んでいない。

【東京文化財研究所】 延べ 32人

	氏名	国名	所属機関・職名	用務	期間
1	Patricia De La Garza Cabrera	メキシコ	国立人類学歴史学研究所・紙保存修復技術者補	ICCROM-LATAMプログラムのための打合せ及び国際研修「紙の保存と修復」参加	6月28日～10月15日
2	Andrea Gabriela Via Rico	ボリビア	コチャバンバ市文化局・紙保存修復技術者補	国際研修「紙の保存と修復」参加	8月25日～9月14日
3	Siti Nur Hayaty Binti Mohd Syahrir	マレーシア	マレーシア国立公文書館・保存修復技術補佐	同上	同上
4	Amanda Diane Gould	カナダ	カナダ文明博物館・紙保存修復技術者	同上	同上
5	Dirk Ferlmann	ドイツ	紙修復工房・代表	同上	同上
6	Emma Louise Margaret Le Cornu	イギリス	キュー王立植物園・絵図事業保存修復技術者	同上	同上
7	John-Haimes Duffy	アラブ首長国連邦	シャルジャ博物館・主任保存修復技術者	同上	同上

	氏名	国名	所属機関・職名	用務	期間
8	Lisa Jeong-Reuss	オーストラリア	オーストラリア国立図書館・維持業務研究室長代行	同上	同上
9	Marisol Zuniga Lau	グアテマラ	ルートヴィヒ・フォン・ミーゼス図書館・保存研究室デジタル化事業責任者	同上	同上
10	Tuija Katriina Toivanen	スイス	チューリッヒ造形美術館・紙保存修復技術者／修復家	同上	同上
11	Victoria Anne Binder	アメリカ	サンフランシスコ美術館・準紙保存修復技術者	同上	同上
12	程博	中国	敦煌研究院保護研究所・研究員	中国壁画の保護に関する日中共同研究	9月22日～10月12日
13	鄭于澤	韓国	東国大学校大学院・教授	文化財の資科學的研究	10月3日～10月7日
14	Kishore Rao	フランス	ユネスコ世界遺産センター・センター長	文化遺産国際協力コンソーシアムシンポジウム「世界遺産の未来—文化遺産の保護と日本の国際協力」での講演	10月24日～10月30日
15	張 曉彤	中国	中国文化遺産研究院・副研究員	日本の文化財保存修復技術及び保護理念に関する調査研究	11月4日～11月23日
16	Marion Kite	イギリス	ビクトリア・アンド・アルバート美術館・家具・テキスタイル・ファッション保存修復部門責任者	研究会「近代テキスタイルの保存と修復」の講演ほか	11月16日～11月24日
17	Chris Paulocik	カナダ	フリーランス	同上	同上
18	Simon Keinar	イギリス	セインズベリー日本藝術研究所・考古学センター長	第37回文化財の保存及び修復に関する国際研究集会の参加及び共同研究打合せ	26年1月7日～1月14日
19	Yukio Lippit	アメリカ	ハーバード大学・准教授	第37回文化財の保存及び修復に関する国際研究集会の参加及び討論	26年1月9日～1月14日
20	崔公鎬	韓国	韓国伝統文化大学校・教授	同上	同上
21	稲葉真以	韓国	光云大学・助教授	同上	同上
22	池村玲子	ドイツ	美術家	同上	同上
23	Melanie Trade	ドイツ	ハイデルベルク大学・教授	同上	同上
24	Kyi Lin	ミャンマー	ミャンマー国立博物館考古局・職員	壁画修復技術の研修	26年2月3日～2月7日
25	Myint Myint Oo	ミャンマー	ミャンマー国立博物館考古局・職員	同上	同上
26	Khin Zaw	ミャンマー	文化省考古・国立博物館局・課長補佐	研究会「ミャンマーにおける文化遺産保護の現状と課題」への参加及び意見交換、関連文化遺産視察	26年2月17日～2月22日
27	Naing Win	ミャンマー	文化省考古・国立博物館局・職員	同上	同上
28	Kyaw Myo Win	ミャンマー	文化省考古・国立博物館局・課長補佐	同上	同上
29	蘇伯民	中国	敦煌研究院保護研究所・所長	研究報告会「敦煌芸術の科学的復原研究—壁画材料の劣化メカニズムの解明によるアプローチ」への参加及び共同研究打合せ	26年2月17日～2月23日
30	王小偉	中国	敦煌研究院保護研究所・副研究員	同上	同上
31	Dorota Roz Mielecka	ポーランド	プロツワフ国立博物館・キュレーター	在外日本古美術品保存修復事業における作品の輸送及びクーリエ	26年2月18日～2月23日
32	Tania Estrada Valadez	メキシコ	国立人類学民族博物館・保存修復技術者	国際研修「紙の保存と修復」準備及び和紙の応用研究	26年3月3日～6月20日

## 【奈良文化財研究所】延べ100人

	氏名	国名	所属機関・職名	用務	期間
1	エリザベス・ムーア	イギリス	ロンドン大学東洋アフリカ研究所・教授	ミャンマー考古学に関する情報交換	4月5日
2	Jesse Latting	アメリカ	ゲティ保存修復研究所	視察	4月10日
3	耿鳳英 他15名	台湾	台南国立芸術大学博物館学研究所	博物館学に関する調査	4月22日
4	Trisha Logan	アメリカ合衆国	コロンビア大学建築・計画・保存大学院 アシスタントディレクター	コロンビア大学との共同研究によるインターンの受入	5月27日～6月7日
5	Tianchi YANG	アメリカ合衆国	コロンビア大学建築・計画・保存大学院生	コロンビア大学との共同研究によるインターンの受入	5月27日～6月7日
6	Jee Eun Ahn	アメリカ合衆国	コロンビア大学建築・計画・保存大学院生	コロンビア大学との共同研究によるインターンの受入	5月27日～6月7日
7	カール・ゲラート	アメリカ合衆国	カリフォルニア大学バークレー校	視察	5月30日
8	Jose L. Contreras Victal	アメリカ合衆国	University of Houston	16th International Graphonomics Society Conference エクスカーション	6月10日
9	Jinsung Wang	アメリカ合衆国	University of Wisconsin-Milwaukee	16th International Graphonomics Society Conference エクスカーション	6月10日

	氏名	国名	所属機関・職名	用務	期間
10	Arend Van Gemmert 他1名	アメリカ合衆国	Louisiana State University	16th International Graphonomics Society Conference エクスカーション	6月10日
11	Eric Anqueh'P 他2名	フランス	INSA Rennes / IRISA	16th International Graphonomics Society Conference エクスカーション	6月10日
12	Antonio Parziale 他2名	イタリア	university of Salerno	16th International Graphonomics Society Conference エクスカーション	6月10日
13	Anna Barnett 他3名	イギリス	Oxford Brooks University	16th International Graphonomics Society Conference エクスカーション	6月10日
14	Jda Bosga 他3名	オランダ	Nymeger University	16th International Graphonomics Society Conference エクスカーション	6月10日
15	Phan Van Truyen 他1名	ベトナム社会主義共和国	TUAT	16th International Graphonomics Society Conference エクスカーション	6月10日
16	Nauyen Tuan Cuong	ベトナム社会主義共和国	Tokyo University of Agriculture and Technology	16th International Graphonomics Society Conference エクスカーション	6月10日
17	Arie Shangs	イスラエル	Tel Aviv University	16th International Graphonomics Society Conference エクスカーション	6月10日
18	Wenjie Cai	中華人民共和国	Kyushu University	16th International Graphonomics Society Conference エクスカーション	6月10日
19	Andreas Dengel 他2名	ドイツ	DFKI	16th International Graphonomics Society Conference エクスカーション	6月10日
20	Nauyen Tuan Cuong	ベトナム社会主義共和国	Tokyo University of Agriculture and Technology	16th International Graphonomics Society Conference エクスカーション	6月10日
21	Rejean Palamondon 他1名	カナダ	Ecole Polytechnique de Montreal	16th International Graphonomics Society Conference エクスカーション	6月10日
22	クロエ・カンボ・ドウ・モントゾン	フランス	フランス世界遺産協会 事務局 局長	世界遺産ロワール渓谷協議会からの視察	7月10日
23	Natan Itonga	キリバス共和国	Ministry of Internal & Social Affairs, Culture and Museum Divisin / Cultural Officer	ユネスコ・アジア文化センターが実施する研究への協力	8月1日～8月26日
24	Tiaontin Enari	キリバス共和国	Ministry of Environment, Land and Agricultural Developments, Land Management Division / Senior Cartographer	ユネスコ・アジア文化センターが実施する研究への協力	8月1日～8月26日
25	Anna puntigam	ドイツ	ベルリン応用科学大学 学生	金属遺物の保存修復について研修	8月1日～11月25日
26	金美京	大韓民国	公州国立博物館	視察	8月8日
27	エリザベス・ムーア	イギリス	ロンドン大学東洋アフリカ研究所・教授	所内研究会にて講演（ミャンマーの文化遺産）	8月22日
28	Mohammad Mohidul Islam	バングラディッシュ	Department of Archaeology / Custodian	ACCU集団研修-木造建造物の保存と修復	9月3日～10月3日
29	Sangay Kinga	ブータン王国	Ministry of Home and Cultural Affairs, Royal Government of Bhutan / Assistant Architect	ACCU集団研修-木造建造物の保存と修復	9月3日～10月3日
30	Siti Northayatty binit Haji Morni	ブルネイダルサラーム国	Ministry of Culture, Youth and Sport / Scientific officer	ACCU集団研修-木造建造物の保存と修復	9月3日～10月3日
31	Rully Andriadi	インドネシア	Cultural Service Office of Yogyakarta Special Region / Staff of Cultural Heritage Protection	ACCU集団研修-木造建造物の保存と修復	9月3日～10月3日
32	Gulnaz Kulmaganbetova	カザフスタン共和国	Kazarchaeology LLP / Research engineer	ACCU集団研修-木造建造物の保存と修復	9月3日～10月3日
33	Abdykanova Aida Kalydaevna	キルギス共和国	American University of Central Asia / Associate Professor	ACCU集団研修-木造建造物の保存と修復	9月3日～10月3日
34	Thammavong Siviengham Vieng	ラオス人民民主共和国	Vientiane Capital Department of Information Cultural and Tourism / Technical Staff	ACCU集団研修-木造建造物の保存と修復	9月3日～10月3日
35	Ismaiel Nasru	モルディブ共和国	Department of Heritage Ministry of Tourism, Arts and Culture / Assistant Research Officer	ACCU集団研修-木造建造物の保存と修復	9月3日～10月3日
36	Titiml Stevens R.	マーシャル諸島共和国	Ministry of Internal Affairs / Historian	ACCU集団研修-木造建造物の保存と修復	9月3日～10月3日
37	Enkh-Amgalan Ariunnyam	モンゴル国	Ministry of Construction and Urban Development / Officer in charge of Urban redevelopment	ACCU集団研修-木造建造物の保存と修復	9月3日～10月3日
38	Blyss Wagstaff	ニュージーランド	New Zealand Historic Plaes Trust / Heritage Advisor	ACCU集団研修-木造建造物の保存と修復	9月3日～10月3日
39	Muhammad Imran Zahid	パキスタン	Directorate General of Archaeology / Sub-Divisional Officer Archaeology Jhelum	ACCU集団研修-木造建造物の保存と修復	9月3日～10月3日

	氏名	国名	所属機関・職名	用務	期間
40	Crisanto B. Lustre II	フィリピン	National Historical Commission of the Philippines / Architect II/Restoration Architect	ACCU集団研修-木造建造物の保存と修復	9月3日～10月3日
41	Singappulige Nayana Dharshani Hewa	スリランカ	Ministry of National Heritage / Assistant Secretary	ACCU集団研修-木造建造物の保存と修復	9月3日～10月3日
42	Thanaphattarapornchai Montri	タイ	The 12th Reginal Office of Fine Arts Department aaanakorn Ratchasima / Archaeologist (Professional level)	ACCU集団研修-木造建造物の保存と修復	9月3日～10月3日
43	Do Thi Thu Van	ベトナム社会主義共和国	Viet Nam Institute of Architecture, Urban and rural planning-Ministry of Construction / Manager	ACCU集団研修-木造建造物の保存と修復	9月3日～10月3日
44	Emam Abd El-Allah	エジプト	大エジプト博物館保存修復センター 無機物修復研究室長	文化財保存修復関連機関への視察研修	9月9日
45	Mahmoud Anis	エジプト	大エジプト博物館保存修復センター 無機物修復研究室員	文化財保存修復関連機関への視察研修	9月9日
46	Anwer Rashed	エジプト	大エジプト博物館保存修復センター 無機物修復研究室員	文化財保存修復関連機関への視察研修	9月9日
47	カール・ゲラート	アメリカ合衆国	カリフォルニア大学バークレー校	国際交流基金による研究受入	9月17日～9月16日
48	Yahaya Ahmad	マレーシア	マラヤ大学	視察	10月28日
49	Helena Aman Hashim	マレーシア	マラヤ大学	視察	10月28日
50	Khandokar Mahfuz Alam	バングラディッシュ	Ministry of Cultural Affairs, Department of Archaeology / Assistant Architect	ACCU個人研修	11月5日～11月28日
51	Md. Ataur Rahman	バングラディッシュ	Ministry of Cultural Affairs, Department of Archaeology / Regional Director	ACCU個人研修	11月5日～11月28日
52	Mohammad Golam Fardaush	バングラディッシュ	Ministry of Cultural Affairs, Department of Archaeology / Field Officer	ACCU個人研修	11月5日～11月28日
53	梁 華綸	台湾	台湾国立文化部文化資産局古物遺址組 組長	視察	11月8日
54	李 明俊	台湾	台湾国立文化部文化市民局	視察	11月8日
55	薛 銀樹	台湾	台湾中日経済文化代表處	視察	11月8日
56	クリスチャン・クリスチャンセン	スウェーデン	ヨーテボリ大学 教授	視察	11月13日
57	柴 曉明	中華人民共和国	中国文化遺産研究院 副院長	日本における大型遺跡の保存活用に関する研究調査	11月21日～11月22日
58	杜 曉帆	中華人民共和国	中国文化遺産研究院文物研究所 副所長	日本における大型遺跡の保存活用に関する研究調査	11月21日～11月22日
59	余 建立	中華人民共和国	中国文化遺産研究院 館員	日本における大型遺跡の保存活用に関する研究調査	11月21日～11月22日
60	于 冰	中華人民共和国	中国文化遺産研究院 研究員	日本における大型遺跡の保存活用に関する研究調査	11月21日～11月22日
61	趙 夏	中華人民共和国	中国文化遺産研究院 副研究員	日本における大型遺跡の保存活用に関する研究調査	11月21日～11月22日
62	蘇 楊	中華人民共和国	國務院発展研究中心社会发展研究部 研究室主任	日本における大型遺跡の保存活用に関する研究調査	11月21日～11月22日
63	Damian Evans	オーストラリア	Director, University of Sydney Robert Christie Research Center, Siem Reap, Cambodia	アンコール遺跡研究に関する講演会	12月14日
64	Martin Polkinghorne	オーストラリア	Australian Research Council Postdoctoral Fellow	アンコール遺跡研究に関する講演会	12月14日
65	水鳥真美	英国	セインズベリー日本芸術研究所 所長	視察	26年1月8日
66	サイモン・ケイナー	英国	セインズベリー日本芸術研究所 副所長	視察	26年1月8日
67	ウェルナー・シュタインハウス	英国	セインズベリー日本芸術研究所 研究員	視察	26年1月8日
68	Nguyen Quang THUAN	ベトナム社会主義共和国	ベトナム社会科学院副院長	「タンロン皇城遺跡保存に関する協力事業」による、日本における遺構展示の事例研究のため	5月24日～5月31日
69	Lu'u Thi Anh TUYET	ベトナム社会主義共和国	ベトナム社会科学院国際協力部 副部長	「タンロン皇城遺跡保存に関する協力事業」による、日本における遺構展示の事例研究のため	5月24日～5月31日

	氏名	国名	所属機関・職名	用務	期間
70	Nguyen Giang HAI	ベトナム社会主義共和国	ベトナム社会科学院国際協力部部長	「タンロン皇城遺跡保存に関する協力事業」による、日本における遺構展示の事例研究のため	5月24日～5月31日
71	Bui Duy TRI	ベトナム社会主義共和国	ベトナム社会科学院帝都研究センター長	「タンロン皇城遺跡保存に関する協力事業」による、日本における遺構展示の事例研究のため	5月24日～5月31日
72	Quach Van ACH	ベトナム社会主義共和国	ベトナム社会科学院国際協力部副部長	「タンロン皇城遺跡保存に関する協力事業」による、日本における遺構展示の事例研究のため	5月24日～5月31日
73	Tong Trung TIN	ベトナム社会主義共和国	ベトナム社会科学院考古研究所長	「タンロン皇城遺跡保存に関する協力事業」による、日本における遺構展示の事例研究のため	5月24日～5月31日
74	Nguyen Van ANH	ベトナム社会主義共和国	ベトナム社会科学院帝都研究センター建造物装飾調査部長	「タンロン皇城遺跡保存に関する協力事業」による、日本における遺構展示の事例研究のため	5月24日～5月31日
75	Le Thi Minh TRA	ベトナム社会主義共和国	ベトナム社会科学院帝都研究センター国際協力室研究員	「タンロン皇城遺跡保存に関する協力事業」による、日本における遺構展示の事例研究のため	5月24日～5月31日
76	南浩鉉	大韓民国	国立慶州文化財研究所	古代文化関連遺跡の共同研究	8月1日～9月27日
77	Tran Van Chu	ベトナム社会主義共和国	Rector Vietnam Forestry University	ベトナム林業大学との拠点交流事業	8月24日～9月1日
78	Le Xuan Phuong	ベトナム社会主義共和国	Senior Lecture Vice-Head of Science Technology and International Divisin Vietnam Forestry University	ベトナム林業大学との拠点交流事業	8月24日～9月1日
79	Do Thi Ngoc Bich	ベトナム社会主義共和国	Lecture Director of Testing Center for Forest Products Vietnam Forestry University	ベトナム林業大学との拠点交流事業	8月24日～9月1日
80	李恩碩	大韓民国	韓国文化財庁 学芸研究士	「日韓古代文化の形成と発展過程」に関する共同研究	9月9日～9月15日
81	韓志仙	大韓民国	韓国国立文化財研究所 学芸研究士	「日韓古代文化の形成と発展過程」に関する共同研究	9月14日～9月20日
82	Rufino Mauricio	ミクロネシア連邦	ミクロネシア教育大臣	文化庁平成25年度外国人芸術家・文化財専門家招へい事業	10月12日～10月20日
83	孫新民	中華人民共和国	河南省文物考古研究員 研究館員	「河南省鞏義市黄治・白河当三彩窯跡の考古学研究と調査」共同研究	11月18日～11月27日
84	白宜鄭	中華人民共和国	河南省文物考古研究員 研究館員	「河南省鞏義市黄治・白河当三彩窯跡の考古学研究と調査」共同研究	11月18日～11月27日
85	李勝利	中華人民共和国	河南省文物考古研究員 館員	「河南省鞏義市黄治・白河当三彩窯跡の考古学研究と調査」共同研究	11月18日～11月27日
86	邢穎	中華人民共和国	河南省文物考古研究員 館員	「河南省鞏義市黄治・白河当三彩窯跡の考古学研究と調査」共同研究	11月18日～11月27日
87	梁法偉	中華人民共和国	河南省文物考古研究員 館員	「河南省鞏義市黄治・白河当三彩窯跡の考古学研究と調査」共同研究	11月18日～11月27日
88	沈陽	中華人民共和国	中国文化遺産研究院 総工程師弁公室 副総工程師	「建築文化遺産保存国際学術会議」出席	11月12日～11月16日
89	削東	中華人民共和国	中国文化遺産研究院 文物保護工程・規画所 副研究館員	「建築文化遺産保存国際学術会議」出席	11月12日～11月16日
90	党志剛	中華人民共和国	中国文化遺産研究院 科研・総合業務処 館員	「建築文化遺産保存国際学術会議」出席	11月12日～11月16日
91	崔柄培	大韓民国	韓国国立文化財研究所	「建築文化遺産保存国際学術会議」出席	11月12日～11月16日
92	池成真	大韓民国	韓国国立文化財研究所	「建築文化遺産保存国際学術会議」出席	11月12日～11月16日
93	朴贊珉	大韓民国	韓国国立文化財研究所	「建築文化遺産保存国際学術会議」出席	11月12日～11月16日
94	Feng Wang	中華人民共和国	南京林業大学 大学院生	「中国漢代の木槨・木棺材を用いた年輪年代学の確立と用材選択の意義」共同研究	26年1月26日～2月15日
95	U Ko Ko Aung	ミャンマー	文化省 考古博物館部 副部長	ミャンマーの文化遺産保護に関する拠点交流事業	26年2月2日～2月8日
96	U Kyaw Nyi Htet	ミャンマー	文化省 考古フィールドスクール (ピイ) 助教	ミャンマーの文化遺産保護に関する拠点交流事業	26年2月2日～2月8日
97	U Maung Maung Nan New	ミャンマー	文化省 考古フィールドスクール (ピイ) 副手	ミャンマーの文化遺産保護に関する拠点交流事業	26年2月2日～2月8日
98	Nguyen Duc Thanh	ベトナム社会主義共和国	Wood Processing Departmenr Forest Industries Reasch Institute Vietnamese Academy of Forest Sciences 研究員	ベトナム出土木製品保存に関する拠点交流事業	26年2月17日～3月1日
99	権宅章	大韓民国	国立羅州文化財研究所 学芸研究士	日韓共同研究	26年3月3日～3月7日
100	Nhoem Sophorn	カンボジア国	王立芸術大学卒業生	共同研究	26年3月15日～3月21日

【アジア太平洋無形文化遺産研究センター】延べ40人

※用務先が海外である場合を含む。また国内研究者を海外に派遣したものの延べ6名を含む(用務欄に用務先を記載)

	氏名	国名	所属機関・職名	用務	期間
1	Abhimanyu Singh	中華人民共和国	ユネスコ北京事務所長	「無形文化遺産保護条約採択10周年記念シンポジウム」でのパネリスト出席 文化庁受託	8月2日～8月4日 (8月3日開催)

	氏名	国名	所属機関・職名	用務	期間
2	Ritu Sethi	インド共和国	クラフト リバイバル トラスト (NGO) 代表	「無形文化遺産保護条約採択10周年記念シンポジウム」でのパネリスト出席 京都の有形無形文化財の視察及び打ち合わせ 文化庁受託	8月2日～8月4日 (8月3日開催)
3	Buppha Devi Norodom	カンボジア王国	王女	「無形文化遺産保護条約採択10周年記念シンポジウム」でのパネリスト出席 文化庁受託	8月2日～8月4日 (8月3日開催)
4	小塩 さとみ	日本	宮城教育大学教授	「無形文化遺産と博物館に関する研修会」への講師派遣 用務先：タイ (スリン) 文部科学省補助金	8月5日～8月10日 (8月6日～18日開催)
5	Timothy Curtis	タイ王国	ユネスコバンコク事務所文化ユニット・チーフ	「IRCI第2回運営理事会」出席 文化庁受託	10月20日～22日 (10月21日開催)
6	Bing Liang	中華人民共和国	文化部対外文化連絡局国際処長	「IRCI第2回運営理事会」出席 文化庁受託	10月20日～22日 (10月21日開催)
7	Sang-bum Nam	大韓民国	文化財庁国際協力課長補佐	「IRCI第2回運営理事会」出席 文化庁受託	10月20日～22日 (10月21日開催)
8	Cecilia Maria Belo de Assis	東ティモール民主共和国	観光省芸術文化局長	「東ティモール無形文化遺産専門家向けスタディツアー」参加 ユネスコ受託	10月21日～27日 (10月22日～26日開催)
9	Irene Gonçalves dos Reis	東ティモール民主共和国	観光省文化遺産部研究広報課長	「東ティモール無形文化遺産専門家向けスタディツアー」参加 ユネスコ受託	10月21日～27日 (10月22日～26日開催)
10	Diamantina Mendonça de Araújo	東ティモール民主共和国	観光省文化遺産部テクニカルアシスタントプロフェッショナル	「東ティモール無形文化遺産専門家向けスタディツアー」参加 ユネスコ受託	10月21日～27日 (10月22日～26日開催)
11	Elsio Emiliano do Carmo	東ティモール民主共和国	観光省文化遺産部テクニカルプロフェッショナル	「東ティモール無形文化遺産専門家向けスタディツアー」参加 ユネスコ受託	10月21日～27日 (10月22日～26日開催)
12	Paulo da Costa Maher	東ティモール民主共和国	観光省文化遺産部技術補助管理員	「東ティモール無形文化遺産専門家向けスタディツアー」参加 ユネスコ受託	10月21日～27日 (10月22日～26日開催)
13	Maria Julieta da Costa	東ティモール民主共和国	オエクシ県文化課長	「東ティモール無形文化遺産専門家向けスタディツアー」参加 ユネスコ受託	10月21日～27日 (10月22日～26日開催)
14	Rui Amaral Suri Seran	東ティモール民主共和国	コバリマ県文化課長	「東ティモール無形文化遺産専門家向けスタディツアー」参加 ユネスコ受託	10月21日～27日 (10月22日～26日開催)
15	Celestino da Silva Mendes Sarmento	東ティモール民主共和国	マヌファヒ県文化課長	「東ティモール無形文化遺産専門家向けスタディツアー」参加 ユネスコ受託	10月21日～27日 (10月22日～26日開催)
16	Nuno Vasco da Silva Miranda de Oliveira	東ティモール民主共和国	観光省芸術文化局文化遺産行政管理アドバイザー	「東ティモール無形文化遺産専門家向けスタディツアー」参加 ユネスコ受託	10月21日～27日 (10月22日～26日開催)
17	長岡 正哲	インドネシア共和国	ユネスコジャカルタ事務所文化事業企画専門官	「東ティモール無形文化遺産専門家向けスタディツアー」参加 ユネスコ受託	10月21日～27日 (10月22日～26日開催)
18	Metje Postma	オランダ王国	ライデン大学講師	無形文化遺産の記録と活用に関するワークショップへの参加 文化庁受託	26年2月2日～7日 (2月4日～6日開催)
19	Chindanai Jowalu	タイ王国	バケリャウ演者	無形文化遺産の記録と活用に関するワークショップへの参加 文化庁受託	26年2月2日～7日 (2月4日～6日開催)
20	Kapila Venu	インド共和国	クーディヤッタム演者	無形文化遺産の記録と活用に関するワークショップへの参加 文化庁受託	26年2月3日～7日 (2月4日～6日開催)
21	Celestino da Silva Mendes Sarmento	東ティモール民主共和国	マヌファヒ県文化課長	無形文化遺産の記録と活用に関するワークショップへの参加 文化庁受託	26年2月2日～8日 (2月4日～6日開催)
22	Huong Thi My Doan	ベトナム社会主義共和国	観光文化省文化芸術研究院研究者	無形文化遺産の記録と活用に関するワークショップへの参加及び金沢市内無形文化遺産関連施設視察 文部科学省補助金	26年2月2日～9日 (2月4日～6日開催)
23	Tam Dang Nguyen	ベトナム社会主義共和国	バクニン省ドンホー工芸継承者	無形文化遺産の記録と活用に関するワークショップへの参加及び金沢市内無形文化遺産関連施設視察 文部科学省補助金	26年2月2日～9日 (2月4日～6日開催)
24	Phong Van Nguyen	ベトナム社会主義共和国	バクニン省観光文化局長	無形文化遺産の記録と活用に関するワークショップへの参加及び金沢市内無形文化遺産関連施設視察 文部科学省補助金	26年2月2日～9日 (2月4日～6日開催)

	氏名	国名	所属機関・職名	用務	期間
25	Steven Jos Van Uytsel	日本	九州大学法学研究院准教授	「大メコン圏における無形遺産に関する法制度研究」現地調査 用務先：ラオス（ビエンチャン） 文部科学省補助金	26年1月19日～1月25日
26	Branislav Hazucha	日本	北海道大学法学研究科准教授	「大メコン圏における無形遺産に関する法制度研究」現地調査 用務先：ラオス（ビエンチャン） 文部科学省補助金	26年1月19日～1月24日
27	羽賀 由利子	日本	金沢大学人間社会研究域法学系准教授	「大メコン圏における無形遺産に関する法制度研究」現地調査 用務先：ラオス（ビエンチャン） 文部科学省補助金	26年1月19日～1月25日
28	Steven Jos Van Uytsel	日本	九州大学法学研究院准教授	「大メコン圏における無形遺産に関する法制度研究」現地調査 用務先：カンボジア（プノンペン） 文部科学省補助金	26年2月11日～18日
29	羽賀 由利子	日本	金沢大学人間社会研究域法学系准教授	「大メコン圏における無形遺産に関する法制度研究」現地調査 用務先：カンボジア（プノンペン） 文部科学省補助金	26年2月11日～17日
30	Gejin Chao	中華人民共和国	Director, Professor, Institute of Ethnic Literature, Chinese Academy of Social Sciences	国際専門家会合「アジア太平洋地域における無形文化遺産保護に関する調査研究の把握と検討」出席 用務先：タイ（バンコク） 文化庁受託	26年2月18日～21日 (2月19日～20日開催)
31	Maryam Memat Tavousi	イラン・イスラム共和国	Assistant Professor at the Research Center of ICHHT	国際専門家会合「アジア太平洋地域における無形文化遺産保護に関する調査研究の把握と検討」出席 用務先：タイ（バンコク） 文化庁受託	26年2月18日～21日 (2月19日～20日開催)
32	Hien Thi Nguyen	ベトナム社会主義共和国	Director for the Center of Cultural Heritage Data	国際専門家会合「アジア太平洋地域における無形文化遺産保護に関する調査研究の把握と検討」出席 用務先：タイ（バンコク） 文化庁受託	26年2月18日～21日 (2月19日～20日開催)
33	Evfrat Mambekov	カザフスタン共和国	Assistant Professor, Kazakh National Academy named after Zhurgenov	国際専門家会合「アジア太平洋地域における無形文化遺産保護に関する調査研究の把握と検討」出席 用務先：タイ（バンコク） 文化庁受託	26年2月18日～21日 (2月19日～20日開催)
34	Janet Elizabeth Blake	イラン・イスラム共和国	Assistant Professor of International Law, University of Shahid Beheshti	国際専門家会合「アジア太平洋地域における無形文化遺産保護に関する調査研究の把握と検討」出席 用務先：タイ（バンコク） 文化庁受託	26年2月17日～21日 (2月19日～20日開催)
35	Hanafi bin Hussin	マレーシア	Lecturer, Department of Southeast Asian Studies, University of Malaya	国際専門家会合「アジア太平洋地域における無形文化遺産保護に関する調査研究の把握と検討」出席 用務先：タイ（バンコク） 文化庁受託	26年2月18日～21日 (2月19日～20日開催)
36	Sipiriano Nemani Ranuku	フィジー共和国	Principal Policy and Conventions Officer, Department of National Heritage, Culture and Arts	国際専門家会合「アジア太平洋地域における無形文化遺産保護に関する調査研究の把握と検討」出席 用務先：タイ（バンコク） 文化庁受託	26年2月10日～23日 (2月19日～20日開催)
37	Noriko Aikawa-Faure	フランス共和国	アジア太平洋無形文化遺産研究センター助言組織構成員	国際専門家会合「アジア太平洋地域における無形文化遺産保護に関する調査研究の把握と検討」出席 用務先：タイ（バンコク） 文化庁受託	26年2月17日～21日 (2月19日～20日開催)
38	Weonmo Park	大韓民国	Chief, International Information and Networking Centre for Intangible Cultural Heritage in the Asia and Pacific Region	国際専門家会合「アジア太平洋地域における無形文化遺産保護に関する調査研究の把握と検討」出席 用務先：タイ（バンコク） 文化庁受託	26年2月18日～21日 (2月19日～20日開催)
39	Lian Kheng Koh	シンガポール	Emeritus Professor of the Law Faculty, National University of Singapore	「大メコン圏における無形遺産に関する法制度研究」報告会 文部科学省補助金	26年2月25日～2月28日
40	Irene Calboli	シンガポール	Visiting Professor of the Law Faculty, National University of Singapore	「大メコン圏における無形遺産に関する法制度研究」報告会 文部科学省補助金	26年2月25日～2月28日

## 2) 他機関の共同研究への参画実績

科学研究費補助金の研究分担者等として参画（延べ人数）

平成26年3月31日現在

国立文化財機構合計	博物館計	東京国立博物館	京都国立博物館	奈良国立博物館	九州国立博物館
111人	62人	29人	11人	10人	12人
	文化財研究所計	東京文化財研究所		奈良文化財研究所	
	49人	21人		28人	
	アジア太平洋無形文化遺産研究センター	0人			

### 【東京国立博物館】延べ 29人

	機関名	研究課題	研究代表者名	分担者名
1	法政大学	在欧日本仏教美術の基礎的調査・研究とデータベース化による日本仏教美術の情報発信	クライナー・ヨーゼフ	副館長 島谷弘幸
2	大正大学	仁寿舍利塔の信仰と荘厳に関する総合的調査研究	文学部教授 加島勝	学芸企画部長 松本伸之
3	東京藝術大学	日本とドイツの美術解剖学教育の発展と展開（科学研究費補助金）	大学院助教 宮永美知代	企画課デザイン室長 木下史青
4	九州国立博物館	タイにおける異文化の受容と変容	主任研究員 原田あゆみ	博物館教育課長 小泉恵英
5	東京芸術大学	文化財管理における美術品用語辞典の作成	河内晋平	博物館情報課情報管理室長 村田良二
6	金沢美術工芸大学	日本における「美術」概念の再構築—語彙と理論にまたがる総合的研究	美術工芸学部 山崎 剛	学芸研究部長 伊藤嘉章
7	国立歴史民俗博物館	武装具の集積現象と古墳時代中期社会の特質（科学研究費 基盤研究（B））	研究部准教授 上野祥史	列品管理課主任研究員 古谷 毅、他6名
8	奈良県立橿原考古学研究所	三次元計測を応用した青銅器製作技術からみた三角縁神獣鏡の総合的研究（科学研究費 基盤研究（B））	調査課総括研究員 水野敏典	列品管理課主任研究員 古谷 毅、他3名
9	島根大学	山陰地方における既掘考古資料の再検討と歴史文化遺産の持続的活用（法文学部山陰研究プロジェクト）	文学部准教授 岩本崇	列品管理課主任研究員 古谷 毅
10	九州国立博物館	三次元デジタル計測技術を活用した中国古代青銅器の製作技法の研究（科学研究費 基盤研究（B））	学芸部長 谷豊信	列品管理課平常展調整室主任研究員 川村佳男
11	京都大学人文科学研究所	中国典籍日本古写本の研究（科学研究費 基盤研究（A））	高田時雄	調査研究課長 田良島哲
12	実践女子大学	描いた女性たちに関する研究 - 桃山時代から明治・大正期まで	仲町啓子	調査研究課絵画・彫刻室長 田沢裕實
13	実践女子大学	描いた女性たちに関する研究 - 桃山時代から明治・大正期まで -	仲町啓子	調査研究課絵画・彫刻室主任研究員 山下善也
14	九州大学	南宋絵画史における仏画の位相—都と地域、中国と周縁—	井手誠之輔	調査研究課東洋室 塚本鷹充
15	奈良県立橿原考古学研究所附属博物館	藤ノ木古墳出土品からみた考古系博物館における展示・公開に関する総合的研究	学芸課長 今尾文昭	調査研究課考古室 品川欣也
16	岩手大学	考古資料の三次元計測とそのデータを基にした展開図作成に関する共同研究	工学部教授 今野晃市	調査研究課考古室 品川欣也
17	島根大学	長野県諏訪市曾根採集黒曜石製石器の蛍光X線分析による産地同定	法文学部准教授 及川穰	調査研究課考古室 品川欣也
18	奈良県立橿原考古学研究所附属博物館	三次元形状計測装置を用いた奈良・飛鳥時代の墓誌等の測定とその比較検討および展示に関する共同研究（平成25年度）	学芸課長 今尾文昭	調査研究課考古室 品川欣也
19	奈良県立橿原考古学研究所附属博物館	三次元形状計測装置を用いた奈良・飛鳥時代の墓誌等の測定とその比較検討および展示に関する共同研究（平成25年度）	学芸課長 今尾文昭	調査研究課考古室 井出浩正
20	立教大学	古代イスラエルの墓制と他界観に関する総合的研究	月本昭男	調査研究課考古室 橋本英将
21	国立歴史民俗博物館	学際的研究による漆文化史の新構築	教授 日高薫	調査研究課工芸室長 竹内奈美子
22	木更津市郷土博物館 金のすず、国立歴史民俗博物館	金鈴塚古墳研究（仏教関連資料担当）	稲葉昭智、上野祥史	調査研究課工芸室 三田覚之
23	大正大学	仁寿舍利塔の信仰と荘厳に関する総合的調査研究	文学部教授 加島勝	保存修復課環境保存室長 和田浩
24	成城大学	東アジアにおける木彫像の樹種と用材観に関する調査研究	教授 岩佐光晴	保存修復課環境保存室長 和田浩
25	森林総合研究所	木彫像の樹種識別技術の高度化	主任研究員 安部久	保存修復課環境保存室長 和田浩
26	人間文化研究機構 国立民族学博物館	有形文化資源の共同利用を推進するための資料管理基盤形成	教授 園田 直子	保存修復課主任研究員 荒木臣紀
27	島根大学	長野県諏訪市曾根採集黒曜石製石器の蛍光X線分析による産地同定	法文学部准教授 及川穰	保存修復課主任研究員 荒木臣紀
28	九州国立博物館	三次元データに基づく文化財研究と新展示手法の開発 —興福寺 国宝阿修羅像を中心に—	博物館科学課長 今津節生	楠井 隆史、鳥越 俊行、博物館教育課教育講座室長 丸山士郎、調査研究課東洋室長 浅見龍介、保存修復課長 神庭信幸、保存修復課環境保存室長 和田浩、岩佐 光晴
29	国立民族学博物館	有形文化資源の共同利用を推進するための資料管理基盤形成	教授 園田直子	保存修復課主任研究員 荒木 臣紀、保存修復課環境保存室環境保存室長 和田 浩

【京都国立博物館】 延べ11人

	機関名	研究課題	研究代表者名	分担者名
1	成城大学	金剛寺所蔵典籍の集約的調査と研究－聖教の形成と伝播把握を基軸として	元教授 後藤昭雄	学芸部 上席研究員 赤尾栄慶
2	北海道大学	漢字文化圏における典籍の集積、国際伝播及びその伝承に関する実証的研究	名誉教授 石塚晴通	学芸部 上席研究員 赤尾栄慶
3	東京国立博物館	東アジアの書道史における料紙と書風に関する調査研究	副館長 島谷弘幸	学芸部 上席研究員 赤尾栄慶
4	東京国立博物館	東アジアの書道史における料紙と書風に関する調査研究	副館長 島谷弘幸	学芸部 企画室主任研究員 羽田聡
5	大阪大谷大学	根来寺聖教の基礎的研究－智積院聖教を中心に－	教授 宇都宮啓吾	学芸部 上席研究員 赤尾栄慶
6	大阪大谷大学	根来寺聖教の基礎的研究－智積院聖教を中心に－	教授 宇都宮啓吾	学芸部 企画室主任研究員 羽田聡
7	九州国立博物館	タイにおける異文化の受容と変容－13世紀から18世紀の対外交易品を中心として－	学芸部文化財課主任研究員 原田あゆみ	学芸部 企画室研究員 末兼俊彦
8	日本女子大学	蠟管等初期録音資料群の音源保存、音声復元、内容分析、情報共有に関する横断的研究	教授 清水康行	学芸部長 村上 隆
9	法政大学	在欧日本仏教美術の基礎的調査・研究とデータベース化による日本仏教美術の情報発信	客席所員 クライナー・ヨーゼフ	学芸部 上席研究員 赤尾栄慶
10	大阪大学	5～9世紀東アジアの金銅仏に関する日韓共同研究	教授 藤岡 稔	学芸部 保存修理指導室長 浅秋毅
11	国際日本文化研究センター	海賊史観から交易を検討する：国際法と密貿易－海賊商品流通の学術的・文明的的研究	教授 稲賀繁美	学芸部 列品管理室研究員 呉孟晋

【奈良国立博物館】 延べ10人

	機関名	研究課題	研究代表者名	分担者名
1	福山市立大学	「ESD」にアプローチする「地域・世界遺産教育」の創造	教授 田淵 五十生	学芸部長 西山 厚
2	福山市立大学	「ESD」にアプローチする「地域・世界遺産教育」の創造	教授 田淵 五十生	学芸部 教育室長 吉澤 悟
3	九州大学	南宋絵画史における仏画の位相－都と地域、中国と周縁－	教授 井手 誠之輔	学芸部 保存修理指導室長 谷口 耕生
4	東京文化財研究所	近江の古代中世彫像の基礎的調査・研究－基礎データと画像貯蓄のために－	文化形成研究室長 津田徹英	学芸部 美術室長 岩田 茂樹
5	京都国立博物館	多数尊より構成される仏教尊像に関する調査研究－図像の典拠と分担製作の視点から－	保存修理指導室長 浅秋 毅	学芸部 美術室長 岩田 茂樹
6	京都国立博物館	多数尊より構成される仏教尊像に関する調査研究－図像の典拠と分担製作の視点から－	保存修理指導室長 浅秋 毅	学芸部 美術室研究員 山口 隆介
7	大阪市立大学	東大寺史の総合的再構成－『東大寺要録』を中心に－	名誉教授 米原永遠男	学芸部 美術室研究員 山口 隆介
8	大阪大学	5～9世紀東アジアの金銅仏に関する日韓共同研究	教授 藤岡 稔	学芸部 美術室長 岩田 茂樹
9	種智院大学	東インド新発掘の仏教遺跡と出土遺品に関する研究	講師 頼富 本宏	学芸部 工芸考古室長 内藤 栄
10	京都大学	東アジア仏教美術における聖地表象の諸様態	准教授 稲本 泰生	学芸部 保存修理指導室長 谷口 耕生

【九州国立博物館】 延べ 12件

	機関名	研究課題	研究代表者名	分担者名
1	奈良県立橿原考古学研究所附属博物館	藤ノ木古墳出土品からみた考古系博物館における展示・公開に関する総合的研究(科学研究費助成事業 基盤研究(A))	学芸課長 今尾文昭	博物館 科学課長 今津節生
2	京都大学	木製文化財の非破壊材質評価とデジタルアーカイブ作成	生存圏研究所教授 杉山涼司	博物館 科学課長 今津節生
3	明治大学	茨城県ひたなか市虎塚壁画古墳の保存に関する総合的研究(科学研究費助成事業 基盤研究(B))	文学部専任教授 矢島國雄	学芸部 特任研究員 本田光子
4	桃山学院大学	東南アジア史における絶対年代と相対年代の統合に関する研究：7-10世紀を中心に(科学研究費助成事業 基盤研究(B))	国際教養学部教授 深見純生	企画課 特別展室主任研究員 原田あゆみ
5	岡山大学	副葬品の構造・材質・色彩からみた古墳葬送空間の再現的研究(科学研究費助成事業 基盤研究(B))	社会文化科学研究科教授 松木武彦	博物館 科学課長 今津節生 文化財課資料登録室主任研究員 鳥越俊行
6	東京国立博物館	極薄青銅器の製作技術解明-中国金属工芸史を再構築するための基盤研究-(科学研究費助成事業 基盤研究(B))	学芸研究部 列品管理課 平常展室研究員 川村佳男	学芸部長 谷豊信
7	高岡法科大学	近世文書料紙の形態・紙質に関する系譜論的研究(科学研究費助成事業 基盤研究(B))	法学部 准教授 本多俊彦	博物館 科学課 保存修復室長 藤田 励夫
8	北九州市立自然史・歴史博物館	考古学からみた中世鋳物師の総合的研究	歴史課長 松井和幸	文化財課 資料登録室主任研究員 鳥越俊行
9	東京大学史料編纂所	宗家史料の目録化(東京大学史料編纂所共同利用・共同研究拠点事業特定共同研究)	教授 鶴田啓	文化財課 資料登録室主任研究員 荒木和憲
10	東京国立博物館	塚廻古墳出土漆棺残片研究会	保存修復課長 神庭信幸	企画課 特別展室主任研究員 市元壘
11	日本博物館協会	「博物館における青少年教育」 ドイツにおける博物館教育	日本博物館協会会長 銭谷眞美	交流課 主任研究員 池内一誠
12	こどもひかりプロジェクト	ミュージアムが提供する体験プログラムを通じての東日本大震災被災児童への支援	清水文美(兵庫県立人と自然の博物館run♪run♪plaza)	交流課 主任研究員 池内一誠 交流課 土屋和美 交流課 徳永あずさ

【東京文化財研究所】延べ21人

	機関名	研究課題	研究代表者名	分担者名
1	筑波大学	中近東・北アフリカにおけるビザンティン建築遺産の記録、保存、公開に関する研究	筑波大学芸術系 教授 日高 健一郎	東京文化財研究所 副所長 石崎 武志
2	弘前大学	中近世北方交易と蝦夷地の内国化に関する研究	弘前大学人文学部 教授 関根 達人	保存修復科学センター 伝統技術研究室長 北野 信彦
3	東北大学	生身と霊験—宗教的意味を踏まえた仏像の基礎的調査研究	東北大学文学研究科 名誉教授 有賀 祥隆	企画情報部 文化形成研究室長 津田 徹英
4	東京藝術大学	迎賓館赤坂離宮天井絵画修復事業に関わる損傷と劣化原因の解明	東京藝術大学大学院美術研究科 教授 木島 隆康	企画情報部 副部長 山梨 絵美子
5	東京大学	観世文庫所蔵能楽関係資料のデジタル・アーカイブを活用した新しい能楽史の構築	東京大学大学院総合文化研究科 教授 松岡 心平	無形文化遺産部 無形文化財研究室長 高桑 いづみ
6	明治大学	茨城県ひたちなか市虎塚古墳の保存に関する総合的研究	明治大学文学部 教授 矢島 國雄	保存修復科学センター 主任研究員 犬塚 将英
7	大谷大学	新出土仏教遺物と文献史料の統合による13～17世紀北アジアの再構築	大谷大学文学部 教授 松川 節	企画情報部 情報システム研究室長 二神 葉子
8	東京国立博物館	中世聖徳太子絵伝の図様展開に関する調査研究	東京国立博物館学芸企画部企画課 主任研究員 沖松 健次郎	企画情報部 主任研究員 小林 達朗
9	金沢文庫	中世都市鎌倉を中心とする宗教的ネットワークの研究	金沢文庫学芸課 課長 西岡 芳文	企画情報部 文化形成研究室長 津田 徹英
10	東京大学	文化遺産としてのマイクロフィルム保存に関する基礎研究：実態調査からの実証的分析	東京大学大学院経済学研究科 講師 小島 浩之	保存修復科学センター 保存科学研究室長 佐野 千絵
11	早稲田大学	享保以降義太夫浄瑠璃作品のデジタル・アーカイブ化に向けての研究	早稲田大学演劇博物館 名誉教授 鳥越 文蔵	無形文化遺産部 音声・映像記録研究室長 飯島 満
12	九州大学	未解読楽譜のデータベース化に関する総合的研究	九州大学芸術工学研究院 准教授 矢向 正人	無形文化遺産部 無形文化財研究室長 高桑 いづみ
13	鹿児島大学	住吉派の事例にみる古典受容の在り方の解明—画像パターンの分析を中心に—	鹿児島大学教育学部 教授 下原 美保	文化遺産国際協力センター 主任研究員 江村 知子
14	大阪大学	5～9世紀東アジアの金銅仏に関する日韓共同研究	大阪大学文学研究科 教授 藤岡 穰	企画情報部 研究員 皿井 舞
15	奈良文化財研究所	アンコール遺跡群を事例とした考古情報資源共有化に関する研究	奈良文化財研究所企画調整部 国際遺跡研究室長 森本 晋	文化遺産国際協力センター センター長 川野邊 渉
16	桃山学院大学	東南アジア史における絶対年代と相対年代の統合に関する研究：7-10世紀を中心に	桃山学院大学国際教養学部 教授 深見 純生	文化遺産国際協力センター アソシエイトフェロー 佐藤 桂
17	国士舘大学	ユーラシア古代遊牧社会形成の比較考古学	国士舘大学イラク古代文化研究所 教授 大沼 克彦	文化遺産国際協力センター アソシエイトフェロー 久米 正吾
18	京都工芸繊維大学	蛍光寿命測定のための文化財材料への応用に関する基礎研究	京都工芸繊維大学美術工芸資料館 研究員 佐々木 良子	保存修復科学センター 主任研究員 吉田 直人
19	茨城大学	内生細菌を利用した糸状菌形質転移体作出技術の開発	茨城大学農学部 教授 太田 寛行	保存修復科学センター 研究員 佐藤 嘉則
20	茨城大学	糸状菌エンドファイトー内生バクテリア間相互作用の解明とその利用	茨城大学農学部 教授 成澤 才彦	保存修復科学センター 研究員 佐藤 嘉則
21	金沢美術工芸大学	日本における「美術」概念の再構築—語彙と理論にまたがる総合的研究	金沢美術工芸大学美術工芸学部 教授 山崎 剛	企画情報部 副部長 山梨 絵美子

【奈良文化財研究所】延べ28人

○科学研究費補助金 延べ23人

	機関名	研究課題	代表者名	分担者名
1	東京大学	日本目録学の確立と古典学研究支援ツールの拡充 —天皇家・公家文庫を中心に—	教授 田島 公	都城発掘調査部主任研究員 馬場 基
2	奈良大学	東アジア木簡学の確立	教授 角谷 常子	都城発掘調査部史料研究室長 渡邊 晃宏
3	東京大学	ポーンデジタル画像管理システムの確立に基づく歴史史料情報の高度化と構造転換の研究	教授 山家 浩樹	都城発掘調査部主任研究員 馬場 基
4	東京大学	正倉院文書の多元的解析支援と広領域研究資源化	准教授 山口 英男	都城発掘調査部史料研究室長 渡邊 晃宏
5	東京大学	ポーンデジタル画像管理システムの確立に基づく歴史史料情報の高度化と構造転換の研究	教授 山家 浩樹	都城発掘調査部主任研究員 馬場 基
6	立命館大学	古代中世東アジアの関所と交通政策	教授 鷹取 祐司	都城発掘調査部主任研究員 馬場 基
7	鳴門教育大学	年輪年代学の総合的研究—文化財科学における応用的展開をめざして—	教授 米延 仁志	埋蔵文化財センター年代学研究 室 研究員 星野 安治

	機関名	研究課題	代表者名	分担者名
8	東京大学	植物・土器・人骨の研究を中心とした日本列島農耕文化複合の形成に関する基礎的研究	教授 設楽 博己	都城発掘調査部考古第一研究室 研究員 庄田 慎矢
9	京都工芸繊維大学	近代日本の博覧会における建築展示に関する研究	教授 石田 潤一郎	都城発掘調査部遺構研究室 研究員 松下 迪生
10	山梨県立博物館	日韓内陸地域における雑穀農耕の起源に関する科学的研究	学芸課長 中山 誠二	都城発掘調査部考古第一研究室 研究員 庄田 慎矢
11	神戸女子大学	能・狂言面の創出と派生に関する学際的研究	教授 大谷 節子	埋蔵文化財センター保存修復科学 研究室長 高妻 洋成
12	京都大学	淀川流域における古墳群形成過程の再検討	教授 上原 真人	都城発掘調査部考古第一研究室 研究員 諫早 直人
13	東京文化財研究所	西スマトラ州パダン歴史地区における文化遺産復興に関する総合的研究	所長 亀井 伸雄	企画調整部国際遺跡研究室特別 研究員 (AF) 田代 亜紀子
14	九州国立博物館	三次元デジタル計測技術を活用した中国古代青銅器の製作技法の研究	学芸部長 谷 豊信	企画調整部展示企画室 研究員 丹羽 崇史
15	大阪市立大学	東大寺史の再構成-『東大寺要録』を中心に-	特任教授 栄原 永遠男	文化遺産部歴史研究室長 吉川 聡
16	慶應義塾大学	本州最北部における更新世人類集団の学際的調査・研究	教授 佐藤 孝雄	都城発掘調査部主任研究員 渡辺 丈彦
17	歴史民俗博物館	武装具の集積現象と古墳時代中期社会の特質	准教授 上野 祥史	都城発掘調査部考古第三研究室 研究員 川畑 純
18	歴史民俗博物館	武装具の集積現象と古墳時代中期社会の特質	准教授 上野 祥史	都城発掘調査部考古第一研究室 研究員 諫早 直人
19	東北大学	年輪幅・年輪同位体比・DNAマーカーを用いた新たな木材産地推定法の検討	助教 大山 幹成	埋蔵文化財センター年代学研究 室 研究員 星野 安治
20	関西外国語大学	ミクロネシアにおける巨石文化の成立と社会複雑化のプロセスを探る考古学的研究	教授 片岡 修	企画調整部国際遺跡研究室 研究員 石村 智
21	歴史民俗博物館	愛知県保美貝塚出土資料による考古学・人類学のコラボレーションモデルの構築と展開	准教授 山田 康弘	埋蔵文化財センター環境考古学 研究室研究員 山崎 健
22	大阪市立大学	密林に覆われた古代水利都市アンコール遺跡群の実像解明・保全・修復研究	准教授 原口 強	企画調整部長 杉山 洋
23	奈良産業大学	正倉院文書による日本語表記成立過程の解明	准教授 桑原 祐子	都城発掘調査部歴史研究室長 渡辺 晃宏

○学術研究助成基金助成金 延べ5人

	機関名	研究課題	代表者名	分担者名
1	新潟県立看護大学	韓国出土古人骨への自然人類学的総合アプローチ	准教授 藤田 尚	都城発掘調査部考古第一研究室 研究員 庄田 慎矢
2	関西外国語大学	ミクロネシアにおける巨石文化の成立と社会複雑化のプロセスを探る考古学的研究	教授 片岡 修	企画調整部国際遺跡研究室 研究員 石村 智
3	歴史民俗博物館	愛知県保美貝塚出土資料による考古学・人類学のコラボレーションモデルの構築と展開	准教授 山田 康弘	埋蔵文化財センター客員研究員 茂原 信生
4	北海道大学	ヘリテージツーリズムによる地域の文化遺産マネジメントに関する研究	特任助教 池ノ上 真一	企画調整部国際遺跡研究室特別 研究員 (AF) 田代 亜紀子
5	立命館大学	異宗教の相剋により生じた社会現象の比較的研究-古代仏教説話に見る伝統と革新	教授 本郷 真紹	都城発掘調査部主任研究員 山本 崇

【アジア太平洋無形文化遺産研究センター】延べ0人

### 3) 研究者海外派遣実績（延べ人数）

平成26年3月31日現在

国立文化財機構合計	博物館計	東京国立博物館	京都国立博物館	奈良国立博物館	九州国立博物館
474人	155人	41人	19人	8人	87人
	文化財研究所計	東京文化財研究所		奈良文化財研究所	
	301人	157人		144人	
	アジア太平洋無形文化遺産研究センター				
	18人				

#### 【東京国立博物館】延べ 41人(科学研究費補助金、その他助成金及び先方負担を除く)

(参考：科学研究費補助金、その他助成金及び先方負担を含む合計人数は71人)

#### ○海外交流展経費・招へい共通事業費 26人

	氏名	用務先	期間	用務	備考
1	富田 淳	台湾	4月9日～11日	特別展「台北故宮博物院精華展(仮称)」作品交渉のため	海外交流展経費
2	木下 史青	スペイン	4月15日～19日	ブラド美術館開催「THE INVITED WORK. JAPAN-SPAIN YEAR」にかかる打ち合わせのため	海外交流展経費
3	土屋 裕子	スペイン	4月15日～19日	ブラド美術館開催「THE INVITED WORK. JAPAN-SPAIN YEAR」にかかる打ち合わせのため	海外交流展経費
4	鬼頭 智美	英国	4月16日～23日	国際展覧会オーガナイザー会議出席のため	招へい共通事業費
5	伊藤 信二	米国	9月18日～23日	クリーブランド美術館開催準備に伴う作品調査のため	海外交流展経費
6	土屋 貴裕	米国	9月18日～23日	クリーブランド美術館開催準備に伴う作品調査のため	海外交流展経費
7	井上 洋一	ベトナム	10月7日～12日	第4回ANMA定期大会に参加のため	海外交流展経費
8	鬼頭 智美	ベトナム	10月7日～12日	第4回ANMA定期大会に参加のため	海外交流展経費
9	楊 鋭	中国	10月15日～17日	「台北国立故宮博物院」展にかかる調印式に出席のため	海外交流展経費
10	田良島 哲	中国	10月16日～17日	「台北国立故宮博物院」展にかかる調印式に出席のため	海外交流展経費
11	井出 浩正	韓国	11月4日～17日	東京国立博物館・韓国国立中央博物館の学術交流のため	海外交流展経費
12	白井 克也	韓国	11月4日～15日	国際シンポジウム(第15回ワークショップ「近代美術」)に参加のため(韓国)	海外交流展経費
13	金井 裕子	韓国	11月22日～30日	東京国立博物館・韓国国立中央博物館の学術交流のため	招へい共通事業費
14	島谷 弘幸	中国	12月3日～5日	特別展「上海博物館 中国絵画の至宝」展にかかる出品御礼および作品返却のため	海外交流展経費
15	松嶋 雅人	米国	26年2月9日～17日	海外展事前調査、クリーブランド美術館開催「伝統の再創造—東京国立博物館所蔵 日本の近代美術」展の開会式出席のため	海外交流展経費
16	齊藤 孝正	韓国	26年2月11日～14日	日中韓共催展の作品調査および協議のため	海外交流展経費
17	横山 梓	韓国	26年2月11日～14日	日中韓共催展の作品調査および協議のため	海外交流展経費
18	島谷 弘幸	米国	26年2月12日～17日	クリーブランド美術館開催「伝統の再創造—東京国立博物館所蔵 日本の近代美術」展の開会式出席のため	海外交流展経費
19	鬼頭 智美	米国	26年2月12日～17日	クリーブランド美術館開催「伝統の再創造—東京国立博物館所蔵 日本の近代美術」展の開会式出席のため	海外交流展経費
20	橋本 英将	ドイツ・オーストリア	26年2月15日～23日	平成館考古展示室改修に向けたドイツ等視察のため	海外交流展経費
21	品川 欣也	ドイツ・オーストリア	26年2月15日～23日	平成館考古展示室改修に向けたドイツ等視察のため	海外交流展経費
22	楊 鋭	中国	26年3月1日～8日	中国甘肅省出土品の調査のため	海外交流展経費
23	井出 浩正	中国	26年3月1日～8日	中国甘肅省出土品の調査のため	海外交流展経費
24	川村 佳男	中国	26年3月1日～8日	中国甘肅省出土品の調査のため	海外交流展経費
25	鬼頭 智美	中国	26年3月10日～14日	東京国立博物館・上海博物館の学術交流のため	招へい共通事業費
26	横山 梓	中国	26年3月12日～20日	東京国立博物館・上海博物館の学術交流のため	招へい共通事業費

#### ○職員旅費(その他)：延べ15人

	氏名	用務先	期間	用務	備考
1	島谷 弘幸	台湾	4月9日～11日	特別展「台北故宮博物院精華展(仮称)」作品交渉のため	総務課運営費
2	楊 鋭	中国	4月18日～21日	上海博物館における「青山杉雨の眼と書」展の準備ならびに館長随行のため	館長裁量経費
3	島谷 弘幸	ブラジル	8月10日～19日	第23回 ICOM国際会議出席のため	館長裁量経費
4	神庭 信幸	ブラジル	8月10日～19日	第23回 ICOM国際会議出席のため	館長裁量経費
5	和田 浩	韓国	9月4日～10日	国際学術シンポジウム(東アジア文化遺産の保存について)出席、情報収集・交換、講演のため	研究奨励費
6	富田 淳	中国	9月10日～10月15日	特別展「上海博物館 中国絵画の至宝」展にかかる作品調査のため	宋元絵画名品展
7	塚本 磨充	中国	9月10日～10月15日	特別展「上海博物館 中国絵画の至宝」展にかかる作品調査のため	宋元絵画名品展
8	富田 淳	中国	9月24日～25日	特別展「上海博物館 中国絵画の至宝」展にかかる作品借用のため	宋元絵画名品展
9	沖松健次郎	中国	9月24日～26日	特別展「上海博物館 中国絵画の至宝」展にかかる作品借用のため	宋元絵画名品展
10	島谷 弘幸	ベトナム	10月7日～12日	第4回ANMA定期大会に参加のため	館長裁量経費

	氏名	用務先	期間	用務	備考
11	富田 淳	中国	12月2日～8日	特別展「上海博物館 中国絵画の至宝」展にかかる作品返却のため	宋元絵画名品展
12	塚本 鷹充	中国	12月2日～8日	特別展「上海博物館 中国絵画の至宝」展にかかる作品返却のため	宋元絵画名品展
13	荒木 臣紀	ドイツ・英国	12月15日～20日	大型CTの検品作業及び大英博物館修理施設視察のため	研究奨励費
14	小泉 恵英	スリランカ	26年2月16日～27日	国際交流基金助成金「スリランカ北部ジャフナにおける内戦後の博物館および文化遺産の現状調査」	国際交流基金
15	小泉 恵英	イタリア	26年3月25日～30日	支倉展にかかる作品返却のため	支倉展経費

○科学研究費補助金：延べ28人

	氏名	用務先	期間	用務	備考
1	古谷 毅	韓国	6月14日～18日	平成25年度科学研究費補助金（基盤研究（C）） 家形植輪の群構成と階層性からみた東アジアにおける古墳葬送儀礼に関する基礎的研究にかかる調査・研究会のため	科学研究費補助金
2	浅見 龍介	韓国	7月12日～17日	平成25年度科学研究費補助金（基盤研究（A）） 5～9世紀東アジアの金銅仏に関する日韓共同研究にかかる韓国調査のため	科学研究費補助金
3	伊藤 信二	米国	8月9日～16日	平成25年度科学研究費補助金（基盤研究（A）） 中世聖徳太子絵伝の図様展開に関する調査研究の調査のため	科学研究費補助金
4	高木 結美	米国	8月9日～16日	平成25年度科学研究費補助金（基盤研究（B）） 東アジアにおける繡仏の基礎的研究の調査のため	科学研究費補助金
5	塚本 鷹充	米国	8月9日～16日	平成25年度科学研究費補助金（基盤研究（B）） 東アジアにおける繡仏の基礎的研究の調査のため	科学研究費補助金
6	土屋 貴裕	米国	8月9日～16日	平成25年度科学研究費補助金（若手研究（A）） 絵巻の〈伝来〉をめぐる総合的研究の調査のため	科学研究費補助金
7	沖松 健次郎	米国	8月12日～16日	平成25年度科学研究費補助金（基盤研究（A）） 中世聖徳太子絵伝の図様展開に関する調査研究の調査のため	科学研究費補助金
8	遠藤 楽子	スイス	10月13日～18日	平成25年度科学研究費補助金（基盤研究（B）） ウィーン万国博覧会関係資料等調査	科学研究費補助金
9	島谷 弘幸	フランス・ドイツ	10月21日～26日	「現代日本の書代表作家パリ展（SH02）」開催に伴う派遣	科学研究費補助金
10	丸山 士郎	中国	10月28日～31日	平成25年度科学研究費補助金（基盤研究（B）） 光学的調査に基づく高雄曼荼羅の発展的研究のため	科学研究費補助金
11	和田 浩	中国	10月28日～31日	平成25年度科学研究費補助金（基盤研究（B）） 光学的調査に基づく高雄曼荼羅の発展的研究のため	科学研究費補助金
12	川岸 瀬里	韓国	12月20日～23日	平成25年度科学研究費補助金（若手研究（B）） 聴覚障害を持つ児童・生徒のための鑑賞プログラムの構築にかかる調査のため	科学研究費補助金
13	小山 弓弦葉	米国	12月28日～26年1月8日	平成25年度科学研究費補助金（若手研究（A）） 近現代における古日本染織の移動とコレクション形成に関する基礎的研究のため	科学研究費補助金
14	佐々木 佳美	米国	12月28日～26年1月8日	平成25年度科学研究費補助金（若手研究（A）） 近現代における古日本染織の移動とコレクション形成に関する基礎的研究のため	科学研究費補助金
15	高木 結美	フランス	26年2月3日～9日	平成25年度科学研究費補助金（若手研究（A）） 近現代における古日本染織の移動とコレクション形成に関する基礎的研究	科学研究費補助金
16	小山弓弦葉	フランス	26年2月3日～9日	平成25年度科学研究費補助金（若手研究（A）） 近現代における古日本染織の移動とコレクション形成に関する基礎的研究	科学研究費補助金
17	佐々木佳美	フランス	26年2月3日～9日	平成25年度科学研究費補助金（若手研究（B）） 「近世武家女性の衣生活に関する基礎的研究」の調査のため	科学研究費補助金
18	塚本 鷹充	米国	26年2月11日～20日	College Art Association学会参加、プリンストン大学美術館調査のため	科学研究費補助金
19	白井 克也	ドイツ・オーストリア	26年2月15日～23日	平成25年度科学研究費補助金（基盤研究（B）） 博物館における国際的な資料流通を素材とした明治期の文化交流史に関する基礎的研究	科学研究費補助金
20	丸山 士郎	韓国	26年2月18日～20日	平成25年度科学研究費補助金（基盤研究（B）） 光学的調査に基づく高雄曼荼羅の発展的研究	科学研究費補助金
21	沖松健次郎	韓国	26年2月18日～20日	平成25年度科学研究費補助金（基盤研究（B）） 光学的調査に基づく高雄曼荼羅の発展的研究	科学研究費補助金
22	伊藤 信二	韓国	26年2月19日～21日	平成25年度科学研究費補助金（基盤研究（B）） 光学的調査に基づく高雄曼荼羅の発展的研究	科学研究費補助金
23	遠藤 楽子	オーストリア	26年2月19日～23日	平成25年度科学研究費補助金（基盤研究（B）） 博物館における国際的な資料流通を素材とした明治期の文化交流史に関する基礎的研究	科学研究費補助金
24	和田 浩	韓国	26年2月22日～23日	平成25年度科学研究費補助金（基盤研究（B）） 光学的調査に基づく高雄曼荼羅の発展的研究	科学研究費補助金
25	島谷 弘幸	米国	26年2月24日～3月1日	イェール大学講演会並びに島谷科研メトロポリタン美術館調査	科学研究費補助金
26	島谷 弘幸	中国	26年3月10日～12日	平成25年度科学研究費補助金（基盤研究（A）） 「東アジアの書道史における料紙と書風に関する総合的研究」にかかる調査のため	科学研究費補助金
27	富田 淳	中国	26年3月10日～12日	平成25年度科学研究費補助金（基盤研究（A）） 「東アジアの書道史における料紙と書風に関する総合的研究」にかかる調査のため	科学研究費補助金

	氏名	用務先	期間	用務	備考
28	鈴木希帆	スウェーデン	26年3月12日～17日	平成25年度科学研究費補助金（研究活動スタート支援） 視覚表現とコレクションの形成に見る縄文土器の美的受容に関する研究のため	科学研究費補助金

○その他助成金：延べ2人

	氏名	用務先	期間	用務	備考
1	木下 史青	ドイツ	11月20日～24日	本館1階展示室改修工事（施設整備費）にかかる展示ケースガラス等検査のため	施設整備費補助金
2	白井 克也	ドイツ	11月19日～24日	本館1階展示室改修工事（施設整備費）にかかる展示ケースガラス等検査のため	施設整備費補助金

【京都国立博物館】延べ19人

	氏名	用務先	期間	用務	備考
1	呉 孟晋	アメリカ合衆国	5月16日～22日	「狩野山楽・山雪展」出品作品の返却	毎日新聞社
2	呉 孟晋	台湾	5月27日～6月1日	国際シンポジウム参加、作品調査	仏光大学
3	呉 孟晋	台湾	7月20日～23日	作品・資料調査	関西中国書画コレクション研究会
4	赤尾 栄慶	中国	8月30日～9月8日	西域出土文献の調査と史跡調査	科研費
5	浅秋 毅	韓国	9月9日～12日	彫刻作品の調査	科研費
6	永島 明子	オランダ、スペイン	9月23～30日	漆器調査（アムステルダム国立美術館）、南蛮漆器展（スペイン国立工芸美術館）見学	科研費
7	鬼原 俊枝	イギリス	10月13日～19日	収蔵品貸与に係るクーリエとして随伴、設営に従事	ヴィクトリア&アルバート博物館
8	山川 暁	中国	10月25日～29日	国際シンポジウムMaritime Silk Road: Cross Culture Exchange and Legacy in Asiaに発表者として参加	China National Silk Museum
9	村上 隆	フランス	11月1日～8日	日本文化財保存修復センター構想策定に係る海外実態調査	京都府
10	末兼 俊彦	タイ	11月5日～11日	科研費(基盤B)「タイにおける異文化の受容と変容」(研究代表者：九博・原田あゆみ)に係る現地調査	科研費
11	永島 明子	イギリス、フランス	11月24日～12月11日	漆器の調査	科研費
12	呉 孟晋	イギリス	12月3日～8日	出陳作品の展示替えおよびシンポジウム参加・発表	ヴィクトリア&アルバート博物館
13	呉 孟晋	中国	12月10日～15日	シンポジウム参加・発表	嶺南画派紀年館
14	呉 孟晋	台湾	26年1月17日～19日	ワークショップ「陳澄波專題研究」・專題講座で発表	台南市政府文化局
15	呉 孟晋	イギリス	26年1月20日～24日	出陳作品の撤収・運搬	ヴィクトリア&アルバート博物館
16	浅秋 毅	韓国	26年1月25日～28日	彫刻作品および仏教遺跡調査	科研費
17	赤尾 栄慶	イギリス	26年1月30日～2月8日	中国及び日本の仏教関係の写本・版本の調査研究	科研費
18	浅秋 毅	韓国	26年2月8日～11日	金銅仏の調査	科研費
19	村上 隆	スリランカ・フランス	26年2月17日～3月1日	「クールジャパン 日本人の智慧」inスリランカ、パリに参加	「クールジャパン 日本人の智慧」実行委員会

【奈良国立博物館】延べ8人

	氏名	用務先	期間	用務	備考
1	谷口 耕生	中国	7月24日～8月18日	中国河南博物院との協定に基づく学術交流	中国河南博物院
2	岩戸 晶子	同上	7月24日～8月22日	同上	同上
3	永井 洋之	同上	8月5日～8月14日	中国上海博物館との協定に基づく学術交流	中国上海博物館
4	岩井 共二	韓国	12月11日～26年1月10日	韓国国立慶州博物館との協定に基づく学術交流	韓国国立慶州博物館

・その他の調査等のための海外渡航実績

	氏名	用務先	期間	用務	備考
5	清水 功	韓国	9月15日～9月17日	国立慶州博物館からの招聘による学術交流と特別展開幕式への列席	韓国国立慶州博物館
6	岩戸 晶子	同上	同上	同上	同上
7	岩田 茂樹	同上	26年1月25日～28日	科研費による遠願寺址・浄恵寺址他（韓国）の調査	遠願寺址・浄恵寺址（韓国）
8	山口 隆介	同上	同上	同上	同上

【九州国立博物館】延べ 87人

	氏名	用務先	期間	用務	備考
1	原田あゆみ	タイ	4月22日～26日	タイ王国文化省芸術局との学術文化交流事業に係る会議、保存修復事業に係る会議、東南アジア美術・災害文化財調査	職員旅費
2	小泉恵英	タイ	4月22日～26日	タイ王国文化省芸術局との学術文化交流事業に係る会議、保存修復事業に係る会議、東南アジア美術・災害文化財調査	職員旅費
3	藤田励夫	タイ	4月22日～26日	タイ王国文化省芸術局との学術文化交流事業に係る会議、保存修復事業に係る会議、東南アジア美術・災害文化財調査	職員旅費
4	志賀智史	タイ	4月23日～26日	タイ王国文化省芸術局との学術文化交流事業に係る会議、保存修復事業に係る会議、東南アジア美術・災害文化財調査	職員旅費
5	今津節生	トルコ	5月11日～18日	WOAM2013 (The 12th ICOM-CC Wet Organic Archaeological Materials) 出席	科学研究費

	氏名	用務先	期間	用務	備考
6	市元壘	台湾	5月13日～15日	特別展「台北 國立故宮博物院-神品至宝-」の開催に係る協議	職員旅費
7	小泉恵英	台湾	5月13日～15日	特別展「台北 國立故宮博物院-神品至宝-」の開催に係る協議	職員旅費
8	三輪嘉六	台湾	5月13日～15日	特別展「台北 國立故宮博物院-神品至宝-」の開催に係る協議	職員旅費
9	川畑憲子	イギリス、フランス	5月27日～6月1日	購入に関わる作品調査	職員旅費
10	藤田励夫	中国	5月28日～6月2日	漢訳大般若経成立に関する調査	科学研究費
11	森寛久美子	中国	5月28日～6月2日	漢訳大般若経成立に関する調査	科学研究費
12	小泉恵英	イギリス	6月2日～7日	特別展「大英博物館展(仮称)」の開催にかかる作品調査、所蔵者との協議	先方負担
13	望月規史	インドネシア	6月12日～17日	特別展「大ベトナム展」借用作品の返却	職員旅費
14	小泉恵英	インドネシア	6月12日～17日	特別展「大ベトナム展」借用作品の返却	職員旅費
15	藤田励夫	ベトナム	6月16日～22日	特別展「大ベトナム展」借用作品の返却、ハノイ展会議出席、文化交流展に関する調査	職員旅費
16	川畑憲子	ベトナム	6月16日～22日	特別展「大ベトナム展」借用作品の返却、ハノイ展会議出席、文化交流展に関する調査	職員旅費
17	原田あゆみ	ベトナム	6月18日～22日	平成25年度文化庁主催海外展「日本文化」展に係る協議	職員旅費
18	岸本 圭	ベトナム	6月19日～22日	平成25年度文化庁主催海外展「日本文化」展に係る協議	県費
19	三輪嘉六	韓国	7月3日～6日	「百済展(仮称)」に係る会議出席	職員旅費
20	赤司善彦	韓国	7月3日～6日	「百済展(仮称)」に係る会議出席	県費
21	畑靖紀	メキシコ	7月20日～28日	特別展「大航海時代の南蛮美術(仮称)」に係る調査	職員旅費
22	鷺頭桂	メキシコ	7月20日～28日	特別展「大航海時代の南蛮美術(仮称)」に係る調査	職員旅費
23	川畑憲子	メキシコ	7月20日～28日	特別展「大航海時代の南蛮美術(仮称)」に係る調査	職員旅費
24	藤田励夫	アメリカ	7月21日～29日	崇永版版本大般若経調査用務	科学研究費
25	小泉恵英	台湾	8月1日～2日	特別展「台北 國立故宮博物院-神品至宝-」に係る会議	職員旅費
26	谷豊信	台湾	8月1日～2日	特別展「台北 國立故宮博物院-神品至宝-」に係る会議	職員旅費
27	三輪嘉六	台湾	8月1日～2日	特別展「台北 國立故宮博物院-神品至宝-」に係る会議	職員旅費
28	三輪嘉六	中国	9月1日～6日	文化財保存修復調査	職員旅費
29	市元壘	中国	9月1日～7日	科学研究費助成事業「契丹壁画墓の集成と公開-唐滅亡後の東アジアにおける国家形成過程の視覚的理解-」に係る調査	科学研究費
30	今津節生	中国、韓国	9月1日～7日	文化財保存修復調査、「2013東アジア文化遺産保存国際シンポジウム」出席	職員旅費、科学研究費
31	臺信祐爾	中国	9月3日～7日	科学研究費助成事業「契丹壁画墓の集成と公開-唐滅亡後の東アジアにおける国家形成過程の視覚的理解-」に係る調査	科学研究費
32	志賀智史	ベトナム	9月3日～7日	ベトナム国立歴史博物館所蔵漆絵の修理に係る調査	職員旅費
33	秋山純子	韓国	9月4日～8日	科学研究費助成事業「赤外線撮影法による彩色材料調査の有効性に関する研究」に係る学会参加及び調査	科学研究費
34	岸本 圭	ベトナム	9月4日～7日	平成25年度文化庁主催海外展「日本文化」展に係る協議	職員旅費
35	池内一誠	ドイツ	9月10日～23日	平成25年度日独青少年指導者セミナー派遣事業「博物館における青少年教育」に係るドイツ派遣事業	その他
36	西島亜木子	アメリカ	9月18日～23日	特別展「クリーブランド美術館展」に係る調査及び協議	職員旅費
37	畑靖紀	アメリカ	9月18日～23日	特別展「クリーブランド美術館展」に係る調査及び協議	職員旅費
38	鷺頭桂	アメリカ	9月18日～23日	特別展「クリーブランド美術館展」に係る調査及び協議	職員旅費
39	臺信祐爾	オーストラリア	9月29日～10月3日	水中遺跡の保存活用に関する調査研究に係る調査及び情報収集	その他
40	赤司善彦	オーストラリア	9月29日～10月3日	水中遺跡の保存活用に関する調査研究に係る調査及び情報収集	その他
41	今津節生	オーストラリア	9月29日～10月6日	水中遺跡の保存活用に関する調査研究に係る調査及び情報収集	その他
42	秋山純子	アメリカ	10月14日～21日	科学研究費助成事業「赤外線撮影法による彩色材料調査の有効性に関する研究」に係る調査	科学研究費
43	森寛久美子	アメリカ	10月14日～21日	科学研究費助成事業「赤外線撮影法による彩色材料調査の有効性に関する研究」に係る調査	科学研究費
44	三輪嘉六	台湾	10月16日～17日	特別展「台北 國立故宮博物院-神品至宝-」の開催調印式出席	職員旅費
45	谷豊信	台湾	10月16日～17日	特別展「台北 國立故宮博物院-神品至宝-」の開催調印式出席	職員旅費
46	川畑憲子	アメリカ	10月28日～11月5日	科学研究費助成事業に関わる漆器調査	科学研究費
47	谷豊信	台湾	11月5日～8日	「南京博物院第二期拡張工事竣工・建院80周年記念式典」出席	先方負担
48	望月規史	タイ	11月5日～11日	科学研究費助成事業「タイにおける異文化の受容と変容-13世紀から18世紀の対外交易品を中心として-」に係る調査及び情報収集	職員旅費
49	原田あゆみ	タイ、ベトナム	11月5日～12日	科学研究費助成事業「タイにおける異文化の受容と変容-13世紀から18世紀の対外交易品を中心として-」に係る情報収集及び学会参加、海外交流展「日タイ修好130周年記念特別展タイ展(仮称)」に係る協議及び調査、平成25年度文化庁主催海外展「日本文化」展調印式出席	職員旅費、科学研究費
50	鷺頭桂	ドイツ、イギリス	11月6日～15日	科学研究費助成事業「赤外線撮影法による彩色材料調査の有効性に関する研究」に係る調査	職員旅費、科学研究費
51	三輪嘉六	タイ、ベトナム	11月8日～12日	(公財)住友財団修復事業に係る協議、平成25年度文化庁主催海外展「日本文化」展調印式出席	職員旅費
52	志賀智史	タイ、ベトナム	11月8日～15日	バンコク国立博物館所蔵「大扉」の保存修理に係る調査及び打合せ、ベトナム国立博物館所蔵漆絵の修理に係る調査及び打合せ	職員旅費
53	岸本 圭	ベトナム	11月9日～12日	平成25年度文化庁主催海外展「日本文化」展に係る協議	職員旅費
54	今津節生	中国	11月9日～17日	西夏文書の保存と環境整備、科学研究費助成事業に係る打合せ	職員旅費、科学研究費
55	市元壘	中国	11月10日～16日	科学研究費助成事業「契丹壁画墓の集成と公開-唐滅亡後の東アジアにおける国家形成過程の視覚的理解-」に係る協議及び調査	科学研究費
56	河野一隆	中国	11月11日～13日	科学研究費助成事業「三次元デジタル計測技術を活用した中国古代青銅	科学研究費

	氏名	用務先	期間	用務	備考
				器の製法技法の研究」に係る調査及び協議	
57	臺信祐爾	中国	11月14日～16日	科学研究費助成事業「契丹壁画墓の集成と公開一唐滅亡後の東アジアにおける国家形成過程の視覚的理解」に係る協議	科学研究費
58	秋山純子	韓国	11月25日～12月7日	学術文化交流協定に基づく研究者交流及び調査	職員旅費、先方負担
59	岸本 圭	韓国	11月25日～12月7日	韓国公州国立博物館との学術文化交流事業の一環での学術情報の交換、交流協力関係の強化を図るための韓国の保存科学の現状の調査	県費
60	原田あゆみ	台湾	11月27日～29日	特別展「国宝 大神社展」に係る作品借用、特別展「台北 國立故宮博物院-神品至宝-」に係る作品調査	先方負担
61	赤司善彦	韓国	12月1日～4日	特別展借用協議	県費
62	畑靖紀	台湾	12月15日～18日	特別展「台北 國立故宮博物院-神品至宝-」に係る作品調査	先方負担
63	丸山猶計	台湾	12月17日～20日	特別展「台北 國立故宮博物院-神品至宝-」に係る作品調査、特別展「華麗なる宮廷文化 近衛家の国宝 京都・陽明文庫展」に係る作品調査	職員旅費、先方負担
64	原田あゆみ	カンボジア	12月24日～30日	科学研究費助成事業「東南アジア史における絶対年代と相対年代の統合に関する研究：7-10世紀を中心に」に係る調査	科学研究費
65	岸本 圭	ベトナム	26年1月6日～19日	平成25年度文化庁主催海外展「日本文化」展に係る展示作業	職員旅費
66	原田あゆみ	ベトナム	26年1月11日～19日	平成25年度文化庁主催海外展「日本文化」展に係る展示作業および開会式への出席	職員旅費
67	秋山純子	ベトナム	26年1月11日～19日	平成25年度文化庁主催海外展「日本文化」展に係る展示作業および開会式への出席	職員旅費
68	望月規史	ベトナム	26年1月11日～24日	平成25年度文化庁主催海外展「日本文化」展に係る展示作業および開会式への出席	職員旅費
69	今津節生	韓国	26年1月13日～17日	水中遺跡の保存活用に関する調査研究に係る調査	その他
70	赤司善彦	韓国	26年1月13日～17日	水中遺跡の保存活用に関する調査研究に係る調査及び情報収集	その他
71	三輪嘉六	ベトナム	26年1月14日～19日	平成25年度文化庁主催海外展「日本文化」展に係る開会式への出席	職員旅費
72	遠藤啓介	台湾	26年1月19日～22日	特別展「台北 國立故宮博物院-神品至宝-」に関する調査	先方負担
73	市元豊	台湾	26年1月19日～24日	特別展「台北 國立故宮博物院-神品至宝-」に関する調査	先方負担
74	川畑憲子	台湾	26年1月19日～24日	特別展「台北 國立故宮博物院-神品至宝-」に関する調査	先方負担
75	渡部史之	ベトナム	26年1月22日～29日	平成25年度文化庁主催海外展「日本文化」展に係る展示・作品点検作業	職員旅費
76	森實久美子	ベトナム	26年1月26日～2月6日	平成25年度文化庁主催海外展「日本文化」展に係る展示・作品点検作業	職員旅費
77	原田あゆみ	タイ	26年1月30日～2月6日	科学研究費助成事業「タイにおける異文化との受容と変容-13世紀から18世紀の対外交物品を中心として-」に係る調査	科学研究費
78	進村真之	ベトナム	26年2月4日～15日	平成25年度文化庁主催海外展「日本文化」展に係る展示・作品点検作業	職員旅費
79	楠井隆志	台湾	26年2月8日～9日	特別展「台北 國立故宮博物院-神品至宝-」に関する調査・表敬	その他
80	赤司善彦	イギリス、オランダ	26年2月10日～17日	水中遺跡の保存活用に関する調査研究に係る調査及び情報収集	その他
81	今津節生	イギリス、オランダ	26年2月10日～17日	水中遺跡の保存活用に関する調査研究に係る調査	その他
82	臺信祐爾	ベトナム	26年2月14日～18日	平成25年度文化庁主催海外展「日本文化」展に係る展示・作品点検作業	職員旅費
83	釜瀬進一郎	ベトナム	26年2月15日～22日	平成25年度文化庁主催海外展「日本文化」展に係る展示・作品点検作業	職員旅費
84	西島亜木子	ベトナム	26年2月20日～28日	平成25年度文化庁主催海外展「日本文化」展に係る展示・作品点検作業	職員旅費
85	鷲頭桂	ベトナム	26年2月26日～3月6日	平成25年度文化庁主催海外展「日本文化」展に係る展示・作品点検作業	職員旅費
86	岸本 圭	ベトナム	26年3月4日～15日	平成25年度文化庁主催海外展「日本文化」展に係る作品点検・梱包作業	職員旅費
87	原田あゆみ	ベトナム	26年3月8日～10日	平成25年度文化庁主催海外展「日本文化」展に係る作品梱包作業	職員旅費

### 【東京文化財研究所】延べ157人

	氏名	用務先	期間	用務	備考
1	安倍雅史	キルギス	8月21日～9月15日	拠点交流事業（キルギス）にかかる人材育成ワークショップ実施	受託経費
2	安倍雅史	ウズベキスタン	11月29日～12月6日	シルクロード世界遺産登録に向けた支援事業にかかるワークショップ実施及び会議	受託経費
3	安倍雅史	キルギス	26年2月7日～2月18日	文化庁拠点交流事業（キルギス）のワークショップ開催	受託経費
4	井内千紗	スリランカ	26年2月16日～2月27日	内戦後の博物館及び文化遺産の現状調査	受託経費
5	石崎武志	ドイツ	4月10日～4月14日	博物館の省エネ化に関する国際ワークショップ出席	他機関負担
6	石崎武志	ベトナム	8月7日～8月10日	タンロン遺跡保存科学調査	受託経費
7	石崎武志	韓国	9月4日～9月8日	東アジア文化遺産保存国際シンポジウム参加	科学研究費
8	石崎武志	トルコ	9月11日～9月19日	ハギア・ソフィアの環境調査	科学研究費
9	石崎武志	ドイツ	12月10日～12月17日	石造文化財劣化調査法に関する研究打合せ	科学研究費
10	犬塚将英	中国	8月31日～9月8日	敦煌壁画に関する日中共同研究	運営費交付金
11	犬塚将英	中国	10月20日～10月24日	壁画芸術及び保護修復技術に関する国際会議出席及び古墳壁画表面における含有水量の非接触測定システムの開発	他機関負担 科学研究費
12	犬塚将英	アルメニア	26年1月13日～1月20日	考古金属資料保存修復ワークショップ実施及び実習	受託経費
13	今石みぎわ	韓国	4月10日～4月15日	国際シンポジウム「Traditional Tug-of War in East Asia」参加	他機関負担 運営費交付金
14	今石みぎわ	韓国	6月16日～6月30日	韓国の無形文化財保護制度調査	他機関負担 運営費交付金
15	江村知子	アメリカ	6月26日～7月2日	日本美術作品調査及び所蔵品管理調査	運営費交付金

	氏名	用務先	期間	用務	備考
16	江村知子	イギリス	11月14日～11月19日	日本美術作品及び所蔵管理体制調査	運営費交付金
17	江村知子	アルメニア、フランス	26年1月14日～1月23日	アルメニア：アルメニア国立美術館所蔵名所絵版画及び関連資料調査 フランス：ギメ東洋美術館所蔵日本絵画作品調査及び研究協議	助成金 運営費交付金
18	江村知子	アメリカ	26年2月9日～2月14日	アメリカの動産文化財保護制度の調査	運営費交付金
19	岡田健	中国	8月27日～9月8日	陝西省の壁画保護に関する日中共同研究及び敦煌壁画保護に関する日中共同研究	運営費交付金
20	岡田健	中国	9月14日～9月18日	宗教遺跡の保存修復に関する国際シンポジウムでの発表	他機関負担 運営費交付金
21	岡田健	中国	10月19日～10月26日	古代壁画の発掘保護に関する日中共同研究	他機関負担 助成金
22	岡田健	中国	26年2月23日～2月28日	中国壁画の保護に関する日中共同研究	運営費交付金
23	加藤雅人	グルジア	5月19日～5月24日	在外日本古美術品保存修復協力事業にかかる調査及び協議	運営費交付金
24	加藤雅人	ドイツ	6月30日～7月15日	在外日本古美術品保存修復協力事業ワークショップ実施	運営費交付金
25	加藤雅人	イギリス	7月23日～7月27日	ワークショップ「Early Chinese Silk Painting」での講演及び検討会参加	他機関負担 運営費交付金
26	加藤雅人	韓国	9月26日～9月28日	シンポジウム「2013 The First Symposium on Conservation of Rare Books and Manuscripts at The Jangseogak Archives」での講演	他機関負担
27	加藤雅人	メキシコ	11月3日～11月18日	イクロム・ラタンプログラム「ラテンアメリカにおける紙の保存に関する国際研修」実施	運営飛行金
28	加藤雅人	韓国	12月12日～12月15日	国際シンポジウム「海外所在の韓国文化財をいかに活用するか」での講演、参加	他機関負担
29	加藤雅人	バーレーン、ドバイ	26年1月23日～1月29日	紙の修復調査	受託経費
30	加藤雅人	スペイン	26年3月17日～3月22日	ワークショップ開催にかかる会議及び視察	運営費交付金
31	亀井伸雄	ドイツ、ポーランド	5月24日～6月4日	ヨーロッパにおける近代文化遺産の現地調査	運営費交付金
32	亀井伸雄	カンボジア	6月15日～6月18日	第37回世界遺産委員会出席	運営費交付金
33	亀井伸雄	イギリス	7月22日～7月29日	セインズベリー日本藝術研究所との協定書調印式及び大英博物館でのワークショップ「Early Chinese Silk Painting」出席	運営費交付金
34	亀井伸雄	インドネシア、ベトナム	9月2日～9月13日	インドネシア：バダン歴史地区建造物及び町並み調査 ベトナム：ユネスコ日本信託基金タンロン遺跡保存事業総括シンポジウム出席	科学研究費 受託経費
35	亀井伸雄	ドイツ、イタリア	11月23日～12月1日	ドイツ：ケルン東洋美術館長表敬訪問 イタリア：ICCROM総会出席	運営費交付金
36	亀井伸雄	ベトナム	12月17日～12月19日	ユネスコ日本信託基金タンロン遺跡保存事業終了ワークショップ出席	他機関負担
37	亀井伸雄	ミャンマー	26年2月2日～2月10日	第1回ミャンマー木造建造物保存研修の実施	受託経費
38	川野邊涉	ドイツ、ポーランド	5月28日～6月4日	壁画の修復技術及び保存活用に関する調査	運営費交付金
39	川野邊涉	ミャンマー	6月9日～6月14日	ミャンマーにおける文化遺産保護にかかる人材育成打合せ及び現地調査	受託経費
40	川野邊涉	カンボジア	6月15日～6月18日	第37回世界遺産委員会出席	運営費交付金
41	川野邊涉	ミャンマー	10月23日～10月29日	煉瓦造遺跡内壁画保存の人材育成研修にむけた現地調査及び漆芸品保存のための技法材料調査	受託経費
42	川野邊涉	メキシコ	11月5日～11月8日	イクロム・ラタンプログラム「ラテンアメリカにおける紙の保存に関する国際研修」実施	運営費交付金
43	川野邊涉	イタリア	11月23日～12月2日	ICCROM理事会及び総会出席	運営費交付金
44	川野邊涉	フランス	26年1月20日～1月24日	情報整理状況調査	科学研究費
45	川野邊涉	フィジー	26年2月26日～3月2日	気候変動により影響を被る可能性の高い文化遺産の現状調査	受託経費
46	川野邊涉	オーストリア、ドイツ	26年3月16日～3月21日	オーストリア：ウィーン応用美術大学とのMoUに基づく調査協力 ドイツ：ドレスデン陶磁器博物館での調査及び協議	運営費交付金
47	川端冴子	ドイツ	11月12日～11月24日	在外日本古美術品保存修復協力事業にかかる漆工芸品修復ワークショップの実施	運営費交付金
48	木川りか	オーストリア、ドイツ	6月3日～6月11日	オーストリア：国際会議「IPM conference vienna 2013」での発表 ドイツ：研究協議	運営費交付金
49	楠京子	グルジア	5月19日～5月24日	在外日本古美術品保存修復協力事業にかかる調査及び協議	運営費交付金
50	楠京子	ミャンマー	6月9日～6月14日	文化遺産保護にかかる現地調査	受託経費
51	楠京子	ドイツ	6月30日～7月15日	在外日本古美術品保存修復協力事業ワークショップ実施	運営費交付金
52	楠京子	ミャンマー	10月23日～10月29日	煉瓦造遺跡内壁画保存の人材育成研修にむけた現地調査及び漆芸品保存のための技法材料調査	受託経費
53	楠京子	メキシコ	11月3日～11月18日	イクロム・ラタンプログラム「ラテンアメリカにおける紙の保存に関する国際研修」実施	運営費交付金
54	楠京子	バーレーン、ドバイ	26年1月23日～1月29日	紙の修復調査	受託経費
55	楠京子	スペイン	26年3月17日～3月22日	ワークショップ開催にかかる会議及び視察	運営費交付金
56	朽津信明	台湾	9月2日～9月5日	伝統的建造物の塩類風化に関する国際シンポジウムでの発表	他機関負担
57	朽津信明	ベルギー	26年3月3日～3月7日	屋外石造文化財の凍結被害及び対策に関する調査	運営費交付金
58	久保田裕道	アゼルバイジャン	11月30日～12月10日	第8回無形遺産の保護に関する政府間委員会出席	運営費交付金

	氏名	用務先	期間	用務	備考
59	久保田裕道	フィジー、キリバス、ツバル	26年2月18日～3月1日	気候変動により影響を被る可能性の高い文化遺産の現状調査	受託経費
60	久米正吾	キルギス	7月2日～7月18日	考古学調査及び研究打合せ	他機関負担
61	久米正吾	アフガニスタン	9月27日～10月6日	ユネスコ・バーミヤーン遺跡保護事業第11次ミッション	受託経費
62	久米正吾	タジキスタン	11月3日～11月19日	ユネスコ・シルクロード世界遺産登録支援事業にかかるワークショップ実施	受託経費
63	久米正吾	イタリア	12月8日～12月13日	第12回バーミヤーン専門家会議出席	受託経費
64	小林公治	アメリカ	5月19日～5月27日	シンポジウム「Asian Lacquer Symposium 2013」での発表及び螺鈿器調査	科学研究費
65	小林公治	スペイン、ポルトガル、オランダ	9月11日～9月24日	海外に所在する螺鈿器の調査	科学研究費
66	小林公治	中国	10月12日～10月19日	螺鈿技術調査及び螺鈿器調査	科学研究費
67	小林公治	台湾	11月22日～11月25日	東アジアの螺鈿調査	科学研究費
68	小林公治	トルコ	26年2月5日～2月19日	トルコ国内螺鈿器及び螺鈿技術の調査	科学研究費
69	境野飛鳥	カンボジア	6月15日～6月28日	第37回世界遺産委員会出席及び調査	運営費交付金
70	境野飛鳥	イタリア、アゼルバイジャン	11月23日～12月11日	イタリア：ICCROM理事会及び総会出席 アゼルバイジャン：第8回無形遺産の保護に関する政府間委員会出席	運営費交付金
71	境野飛鳥	アメリカ	26年1月14日～1月23日	GHQ/SCAPによる文化財保護に関する調査	科学研究費
72	境野飛鳥	アメリカ	26年2月9日～2月14日	アメリカの動産文化財保護制度の調査	運営費交付金
73	境野飛鳥	フィジー	26年2月26日～3月2日	気候変動により影響を被る可能性の高い文化遺産の現状調査	受託経費
74	佐藤桂	ベトナム	5月14日～5月19日	タンロン遺跡に関するGIS研修実施	受託経費
75	佐藤桂	ミャンマー	6月9日～6月14日	文化遺産保護にかかる現地調査	受託経費
76	佐藤桂	ブータン	6月24日～7月3日	伝統的建造物保存に関する現地調査	受託経費
77	佐藤桂	カンボジア	7月23日～8月3日	タネイ遺跡速聴研修実施	運営費交付金
78	佐藤桂	ベトナム	8月7日～8月10日	タンロン遺跡保存科学調査	受託経費
79	佐藤桂	インドネシア、ベトナム	9月2日～9月13日	インドネシア：パダン歴史地区建造物及び町並み調査 ベトナム：ユネスコ日本信託基金タンロン遺跡保存事業第3回GIS研修実施及び総括シンポジウム出席	科学研究費 受託経費
80	佐藤桂	ブータン	10月19日～10月28日	伝統的建造物調査	受託経費
81	佐藤桂	ミャンマー	11月24日～11月30日	文化遺産保護にかかる現地調査	受託経費
82	佐藤桂	カンボジア	12月26日～12月30日	クメール遺跡調査	科学研究費
83	佐藤桂	カンボジア、フランス	26年1月15日～1月25日	カンボジア：タネイ測量研修の実施 フランス：カンボジア遺跡資料収集	科学研究費 運営費交付金
84	佐藤桂	ミャンマー	26年2月2日～2月10日	第1回ミャンマー木造建造物保存研修の実施	受託経費
85	佐藤嘉則	イタリア	10月14日～10月22日	国際会議「ICCROM Forum on Science in Conservation」参加及びアジャンター石窟壁画研究に関する打合せ	他機関負担
86	塩谷純	韓国	6月20日～6月22日	近現代美術に関する交流史的研究及び調査打合せ	運営費交付金
87	城野誠治	ミャンマー	10月23日～10月29日	煉瓦造遺跡内壁画保存の人材育成研修にむけた現地調査及び漆芸品保存のための技法材料調査	受託経費
88	城野誠治	フィジー、キリバス、ツバル	26年2月18日～3月2日	気候変動により影響を被る可能性の高い文化遺産の現状調査	受託経費
89	鈴木環	ブルガリア	5月13日～5月27日	中世組積造教会建築のドキュメンテーション	科学研究費
90	高桑いづみ	韓国	9月12日～9月16日	2013慶州世界伝統管楽器フェスティバルでの研究会、演奏会参加及び研究発表	他機関負担
91	高桑いづみ	韓国	11月20日～11月24日	東亜細亜民俗音楽祝祭第5回東アジア音楽考古学会学位術大会での講演	他機関負担 運営費交付金
92	田中淳	韓国	6月20日～6月22日	国際シンポジウムでの発表	他機関負担
93	田中淳	イギリス	7月22日～7月28日	セインズベリー日本藝術研究所との協定書調印式及び協議	運営費交付金
94	田中淳	台湾	12月5日～12月8日	国際シンポジウムでの発表	他機関負担
95	友田正彦	ベトナム	5月19日～5月25日	タンロン遺跡フランス植民地期建築調査	受託経費
96	友田正彦	ミャンマー	6月9日～6月14日	文化遺産保護にかかる現地調査	受託経費
97	友田正彦	ブータン	6月21日～6月30日	伝統的建造物保存に関する現地調査	受託経費
98	友田正彦	カンボジア	7月19日～7月27日	タネイ遺跡速聴研修実施	運営費交付金
99	友田正彦	ベトナム	8月5日～8月15日	ベトナム北部地域における考古遺物、歴史的建造物等調査	科学研究費
100	友田正彦	インドネシア、ベトナム	9月2日～9月15日	インドネシア：パダン歴史地区建造物及び町並み調査 ベトナム：ユネスコ日本信託基金タンロン遺跡保存事業総括シンポジウム開催及び社会科学院主催タンロン遺跡調査に関するシンポジウム出席	科学研究費 受託経費
101	友田正彦	ブータン	10月19日～10月28日	伝統的建造物調査	受託経費
102	友田正彦	ミャンマー	11月24日～11月30日	文化遺産保護にかかる現地調査	受託経費
103	友田正彦	カンボジア	12月2日～12月6日	アンコール遺跡国際調整委員会及び第3回アンコール遺跡救済政府間会議出席	運営費交付金
104	友田正彦	ベトナム	12月17日～12月19日	ユネスコ日本信託基金タンロン遺跡保存事業終了ワークショップ出席	他機関負担
105	友田正彦	カンボジア	26年1月18日～1月25日	タネイ測量研修の実施	運営費交付金
106	友田正彦	ミャンマー	26年2月7日～2月13日	第1回ミャンマー木造建造物保存研修の実施	受託経費
107	友田正彦	中国	26年2月21日～3月2日	考古遺物等を通じたベトナム木造建築様式の形成過程に関する研究にかかる現地調査	科学研究費

	氏名	用務先	期間	用務	備考
108	中山俊介	ドイツ、ポーランド	5月24日～6月4日	ヨーロッパにおける近代文化遺産の現地調査	運営費交付金
109	中山俊介	イギリス、ドイツ、スイス、フランス	6月18日～7月2日	テキスタイルを中心とする近代文化遺産の保存状態及び修復手法の現地調査及び情報収集	運営費交付金
110	早川典子	ミャンマー	6月9日～6月14日	文化遺産保護にかかる現地調査	受託経費
111	早川典子	ドイツ	11月14日～11月18日	在外日本古美術品保存修復協力事業にかかる漆工芸品修復ワークショップでの講義	運営費交付金
112	早川典子	ベトナム	26年3月3日～3月7日	漆工品の伝統的技法材料の調査	運営費交付金
113	林美木子	オーストリア	6月3日～6月10日	国際会議「IPM conference vienna 2013」での発表	運営費交付金
114	原田玲	ヨルダン	9月7日～9月20日	ペトラ博物館整備計画のための準備調査	他機関負担
115	原田玲	インドネシア	11月23日～11月28日	世界文化フォーラムへの参加	受託経費
116	原田玲	バーレーン、ドバイ	26年1月23日～1月29日	バーレーン：考古遺産の保護状況聞き取り、紙の修復調査 ドバイ：紙の修復調査	受託経費
117	原本知実	ドイツ、ポーランド	5月28日～6月4日	戦後遺産活用の現状調査	科学研究費
118	原本知実	カンボジア	6月15日～6月28日	第37回世界遺産委員会出席	受託経費
119	深井啓	オーストリア、ドイツ	26年3月16日～3月21日	オーストリア：ウィーン応用美術大学とのMoUに基づく調査協力 ドイツ：ドレスデン陶磁器博物館での調査及び協議	運営費交付金
120	藤澤明	タジキスタン	9月18日～10月15日	タジキスタン国立古代博物館が所蔵する壁画断片の保存修復作業	運営費交付金
121	藤澤明	アルメニア	26年1月8日～1月26日	考古金属資料保存修復ワークショップ実施及び今後の打合せ	受託経費
122	藤澤明	ロシア	26年2月3～2月8日	打合せ及び収蔵品の調査	運営費交付金
123	二神葉子	タイ	5月6日～5月11日	ラチャブラディット寺院螺鈿扉の輸送準備及び関連調査	運営費交付金
124	二神葉子	カンボジア	6月15日～6月29日	第37回世界遺産委員会出席	受託経費
125	二神葉子	アゼルバイジャン	11月30日～12月10日	第8回無形遺産の保護に関する政府間委員会出席	運営費交付金
126	邊牟木尚美	アルメニア	6月8日～6月24日	考古金属史料の保存修復人材育成ワークショップ実施	受託経費
127	森井順之	ペルー	8月9日～8月20日	マチュピチュ遺跡遺構の保存修復調査	他機関負担
128	森井順之	韓国	9月3日～9月7日	瑞山磨崖三尊立像に関する日韓共同研究及び2013年東アジア文化遺産保存国際シンポジウムでの発表	運営費交付金
129	森井順之	ドイツ、ベルギー	26年2月28日～3月7日	屋外石造文化財の凍結被害及び対策に関する調査	運営費交付金
130	山内和也	ドイツ	4月16日～4月20日	バーミヤン遺跡保護事業に関する打合せ	他機関負担
131	山内和也	ヨルダン	6月5日～6月12日	ペトラ博物館整備計画にかかる協力準備調査	他機関負担
132	山内和也	キルギス	8月30日～9月14日	拠点交流事業（キルギス）にかかる人材育成ワークショップ実施	運営費交付金
133	山内和也	アフガニスタン	9月27日～10月6日	ユネスコ・バーミヤン遺跡保護事業第11次ミッション	運営費交付金
134	山内和也	中国	10月10日～10月22日	世界遺産評価ミッション参加	他機関負担
135	山内和也	ウズベキスタン	12月1日～12月6日	シルクロード世界遺産登録に向けた支援事業にかかるワークショップ実施及び会議	受託経費
136	山内和也	イタリア	12月8日～12月13日	第12回バーミヤン専門家会議出席	運営費交付金
137	山内和也	ヨルダン、エジプト	26年1月5日～1月10日	ヨルダン：ペトラ博物館整備計画にかかるドラフト説明I エジプト：大エジプト博物館保存修復センタープロジェクトにかかるJCCへの参加	他機関負担
138	山内和也	アルメニア	26年1月14日～1月23日	考古金属資料保存修復ワークショップ実施及び今後の打合せ	運営費交付金
139	山内和也	ロシア	26年2月3日～2月8日	打合せ及び収蔵品の調査	運営費交付金
140	山内和也	キルギス、カザフスタン	26年2月14日～2月17日	キルギス：文化庁拠点交流事業（キルギス）のワークショップ開催 カザフスタン：来年度計画打合せ	運営費交付金
141	山内和也	中国	26年2月23日～2月25日	壁画研究の共同研究に関する打合せ及び壁画展示館、修理室の視察	運営費交付金
142	山下好彦	タイ	5月6日～5月11日	ラチャブラディット寺院螺鈿扉の輸送準備及び関連調査	運営費交付金
143	山下好彦	アメリカ	5月20日～5月26日	シンポジウム「Asian Lacquer Symposium 2013」での発表	運営費交付金
144	山下好彦	ミャンマー	6月9日～6月14日	文化遺産保護にかかる現地調査	受託経費
145	山下好彦	オーストリア	7月2日～7月8日	ワークショップ「The Conservation of East Asian Cabinets in Imperial Residences (1700-1900)」での講師及び参加	他機関負担
146	山下好彦	スペイン	9月1日～9月12日	漆ワークショップの実施及び在外日本古美術品保存修復協力事業に関する調査	他機関負担 運営費交付金
147	山下好彦	オランダ	9月18日～9月22日	新規所蔵品の調査及びミーティング参加	運営費交付金
148	山下好彦	台湾	10月17日～10月19日	シンポジウム「2013 Technology and Application Conference-Artifact Replicas」での講演	運営費交付金
149	山下好彦	ミャンマー	10月23日～11月1日	煉瓦造遺跡内壁画保存の人材育成研修にむけた現地調査及び漆芸品保存のための技法材料調査	受託経費
150	山下好彦	ドイツ	11月11日～12月4日	在外日本古美術品保存修復協力事業にかかる漆工芸品修復ワークショップの実施	運営費交付金
151	山下好彦	ベトナム	26年3月3日～3月8日	ベトナムにおける漆工品の伝統的材料に関わる現地調査	運営費交付金
152	山下好彦	オーストリア、ドイツ	26年3月12日～3月22日	オーストリア：ウィーン応用美術大学とのMoUに基づく調査協力 ドイツ：ドレスデン陶磁器博物館での調査及び協議	他機関負担 運営費交付金
153	山田大樹	タジキスタン	11月3日～11月19日	ユネスコ・シルクロード世界遺産登録支援事業にかかるワークショップ実施	受託経費

	氏名	用務先	期間	用務	備考
154	山田祐子	ドイツ	6月30日～7月15日	在外日本古美術品保存修復協力事業ワークショップ実施	運営費交付金
155	山梨絵美子	韓国	6月20日～6月23日	近現代美術に関する交流史的研究及び調査打合せ	運営費交付金
156	山之上理加	ドイツ	6月30日～7月15日	在外日本古美術品保存修復協力事業ワークショップ実施	運営費交付金
157	綿田稔	イギリス	7月22日～7月28日	セインズベリー日本藝術研究所との協定書調印式及び協議	運営費交付金

## 【奈良文化財研究所】延べ144人

	氏名	用務先	期間	用務	備考
1	児島 大輔	アメリカ合衆国	4月3日～4月13日	ミルウオーキーArt Asia Gallery 及びシカゴ美術館所蔵木彫像等の資料調査のため	科学研究費
2	森先 一貴	ロシア連邦	4月10日～4月13日	ロシア沿海州における遺跡出土資料の調査	科学研究費
3	森本 晋	フランス	4月14日～4月19日	アンコール地域における調査情報の共有に関する協議	運営費交付金
4	杉山 洋	カンボジア王国	4月19日～4月24日	西トップ遺跡の調査研究	運営費交付金
5	佐藤 由似	カンボジア王国	4月19日～5月5日	アンコール文化遺産保護に関する研究協力	運営費交付金
6	佐藤 由似	タイ	5月6日～5月17日	アンコール文化遺産保護に関する研究協力	運営費交付金
7	石田 由紀子	大韓民国	5月13日～6月27日	国立慶州文化財研究所との発掘調査交流に参加するため	運営費交付金・先方負担
8	庄田 慎矢	大韓民国	5月21日～5月23日	釜山大学申敬澈寄贈図書の実態調査のため	運営費交付金
9	佐藤 由似	カンボジア王国	5月27日～8月10日	アンコール文化遺産保護に関する研究協力	運営費交付金
10	加藤 真二	中華人民共和国	6月1日～6月8日	科学研究費による儀征市博物館所蔵漢墓木材の年輪調査	科学研究費
11	杉山 洋	カンボジア王国	6月4日～6月9日	西トップ遺跡の調査研究	運営費交付金
12	玉田 芳英	大韓民国	6月12日～6月14日	日韓共同研究および発掘調査交流に関する打ち合わせ	運営費交付金
13	清野 孝之	大韓民国	6月12日～6月14日	日韓共同研究および発掘調査交流に関する打ち合わせ	運営費交付金
14	松村 恵司	大韓民国	6月12日～6月14日	日韓共同研究および発掘調査交流に関する打ち合わせ	運営費交付金
15	諫早 直人	大韓民国	6月12日～6月16日	日韓共同研究および発掘調査交流に関する打ち合わせ、国立中央博物館における匈奴墓出土馬具に関する調査助言	運営費交付金・先方負担
16	杉山 洋	カンボジア王国	6月14日～6月30日	西トップ遺跡の調査研究、世界遺産委員会への参加	運営費交付金
17	森本 晋	カンボジア王国	6月15日～6月30日	第37回世界遺産委員会出席	運営費交付金
18	菊地 淑人	カンボジア王国	6月15日～6月30日	第37回世界遺産委員会出席	運営費交付金
19	石村 智	カンボジア王国	6月17日～6月24日	西トップ遺跡の調査研究	運営費交付金
20	丹羽 崇史	中華人民共和国	6月19日～6月22日	河南省文物考古研究所との共同研究に関する協議	運営費交付金
21	玉田 芳英	中華人民共和国	6月19日～6月22日	河南省文物考古研究所との共同研究に関する協議	運営費交付金
22	加藤 真二	中華人民共和国	6月28日～7月2日	科学研究費による中国細石刀文化の基礎的研究のための資料調査・学会発表	科学研究費
23	庄田 慎矢	大韓民国	7月6日～7月15日	日韓共同研究及び科学研究補遺とかかわる調査研究のため	運営費交付金・先方負担・科学研究費
24	杉山 洋	カンボジア王国	7月17日～7月18日	西トップ事業	運営費交付金
25	石村 智	ミャンマー	7月19日～7月24日	受託 平成25年度ミャンマーの文化遺産保護に関する拠点交流事業の考古分野における協議と調査	運営費交付金
26	森本 晋	ミャンマー	7月19日～7月28日	受託 平成25年度ミャンマーの文化遺産保護に関する拠点交流事業の考古分野における協議と調査	運営費交付金
27	杉山 洋	ミャンマー	7月19日～8月2日	受託 平成25年度ミャンマーの文化遺産保護に関する拠点交流事業の考古分野における協議と調査	運営費交付金
28	脇谷 草一郎	カンボジア王国	7月29日～8月2日	西トップ遺跡修復事業における保存科学調査	運営費交付金
29	田村 朋美	カンボジア王国	7月29日～8月2日	西トップ遺跡修復事業における保存科学調査	運営費交付金
30	高妻 洋成	カンボジア王国	7月29日～8月2日	西トップ遺跡修復事業における保存科学調査	運営費交付金
31	脇谷 草一郎	ベトナム社会主義共和国	8月7日～8月10日	タンロン皇城遺跡保存にかかる現地調査に参加	東京文化財研究所
32	杉山 洋	カンボジア王国	8月9日～8月21日	科研による西トップ遺跡における発掘調査	科学研究費（大阪市立大学 原口）
33	諫早 直人	イギリス	8月14日～8月23日	科学研究費補助金「ゴースランドの古墳研究の総合的検証と古墳文化に対する国際的理解への活用」にかかわる調査	先方負担
34	川畑 純	中華人民共和国	8月14日～8月25日	洛陽宮城出土瓦の調査および関連遺跡・遺物の調査	運営費交付金
35	今井 晃樹	中華人民共和国	8月14日～8月25日	洛陽宮城出土瓦の調査および関連遺跡・遺物の調査	運営費交付金
36	森先 一貴	中華人民共和国	8月14日～8月25日	洛陽宮城出土瓦の調査および関連遺跡・遺物の調査	運営費交付金
37	栗山 雅夫	中華人民共和国	8月14日～8月25日	洛陽宮城出土瓦の調査および関連遺跡・遺物の調査	運営費交付金
38	小田 裕樹	大韓民国	8月18日～8月22日	東アジアにおける食器構成と食事作法の変化に関する比較研究の一環として、扶余地域出土土器の調査	科学研究費
39	石村 智	カンボジア王国	8月26日～9月6日	西トップ遺跡の調査研究	運営費交付金
40	森本 晋	フランス	9月1日～9月14日	CIPA2013（文化遺産記録国際委員会）出席ならびにデータベースに関する調査	運営費交付金

	氏名	用務先	期間	用務	備考
41	田代 亜紀子	インドネシア	9月2日～9月14日	科研(B)「西スマトラ州パダン歴史地区における文化遺産復興に関する総合的研究」社会調査	科学研究費
42	佐藤 由似	カンボジア王国	9月2日～9月27日	アンコール文化遺産保護に関する研究協力	運営費交付金
43	高妻 洋成	大韓民国	9月4日～9月7日	2013東アジア文化遺産保存国際シンポジウムに出席	運営費交付金
44	田村 朋美	大韓民国	9月4日～9月8日	2013東アジア文化遺産保存国際シンポジウムに出席、発表	科学研究費
45	杉山 洋	カンボジア王国	9月8日～9月9日	西トップ遺跡の調査研究	文化財保護振興財団
46	高妻 洋成	ベトナム社会主義共和国	9月10日～9月12日	タンロン皇城i遺跡保存に係る現地調査	東京文化財研究所
47	杉山 洋	ベトナム社会主義共和国	9月10日～9月15日	タンロン皇城シンポジウムへの出席	ユネスコ委託事業
48	恵谷 浩子	フランス共和国	9月11日～9月19日	文化的景観に関する諸外国との比較研究(現地調査/フランス)	運営費交付金
49	今井 晃樹	ベトナム社会主義共和国	9月12日～9月15日	文化庁受託拠点交流事業調査および講演	拠点交流事業
50	小野 健吉	トルコ	9月13日～9月16日	庭園等現地調査	京都大学研究経費
51	菊地 淑人	アメリカ合衆国	9月15日～9月20日	コロンビア大学との研究協力および交流	運営費交付金
52	中島 義晴	アメリカ合衆国	9月15日～9月20日	コロンビア大学との研究協力および交流	運営費交付金
53	海野 聡	アメリカ合衆国	9月15日～9月20日	コロンビア大学との研究協力および交流	運営費交付金
54	小野 健吉	キルギス共和国	9月18日～9月12日	拠点交流事業ワークショップ(講師)	拠点交流事業費(東文研)
55	諫早 直人	中華人民共和国	9月21日～9月24日	渤海、遼金代都城の踏査および関連遺跡・遺物の調査	運営費交付金
56	今井 晃樹	中華人民共和国	9月21日～9月29日	渤海、遼金代都城の踏査および関連遺跡・遺物の調査	運営費交付金
57	和田 一之輔	中華人民共和国	9月21日～9月29日	渤海、遼金代都城の踏査および関連遺跡・遺物の調査	運営費交付金
58	小澤 毅	中華人民共和国	9月21日～9月29日	渤海、遼金代都城の踏査および関連遺跡・遺物の調査	運営費交付金
59	荒田 敬介	中華人民共和国	9月21日～9月29日	渤海、遼金代都城の踏査および関連遺跡・遺物の調査	運営費交付金
60	栗山 雅夫	中華人民共和国	9月21日～9月29日	渤海、遼金代都城の踏査および関連遺跡・遺物の調査	運営費交付金
61	小田 裕樹	中華人民共和国	9月24日～9月29日	河南省・四川省における唐三彩と関連資料の現地調査	運営費交付金
62	丹羽 崇史	中華人民共和国	9月24日～9月29日	河南省・四川省における唐三彩と関連資料の現地調査	運営費交付金
63	難波 洋三	中華人民共和国	9月24日～9月29日	河南省・四川省における唐三彩と関連資料の現地調査	運営費交付金
64	森先 一貴	ロシア連邦	9月25日～10月2日	ロシア連邦サハリン州スラブナヤ遺跡の調査	科学研究費 東京大学 大貫静夫
65	菊地 淑人	大韓民国	10月11日～10月17日	国際会議出席及び名勝地調査等	科学研究費 (平澤)
66	恵谷 浩子	大韓民国	10月11日～10月17日	国際会議出席及び名勝地調査等	科学研究費 (平澤)
67	平澤 毅	大韓民国	10月11日～10月20日	国際会議出席及び名勝地調査等	科学研究費 (平澤)
68	佐藤 由似	カンボジア王国	10月14日～11月1日	アンコール文化遺産保護に関する研究協力	運営費交付金
69	林 良彦	スリランカ民主社会主義共和国	10月16日～10月28日	ACCU主催文化遺産ワークショップ2013-スリランカ民主社会主義共和国・キャンディにおける現地研修-の講師	先方負担 (ACCU)
70	桑田 訓也	大韓民国	10月17日～10月20日	第7回 新羅學国際學術大會への参加	先方負担 (新羅文化遺産研究院)
71	杉山 洋	カンボジア王国	10月23日～10月31日	西トップ遺跡の調査研究	朝日文化財団
72	井上 幸	大韓民国	10月25日～10月27日	学会発表のため	科学研究費
73	大林 潤	カンボジア王国	10月27日～10月31日	西トップ遺跡の調査と修復	運営費交付金
74	海野 聡	カンボジア王国	10月27日～10月31日	西トップ遺跡の調査と修復	運営費交付金
75	成田 聖	カンボジア王国	10月27日～10月31日	西トップ遺跡の調査と修復	運営費交付金
76	丹羽 崇史	中華人民共和国	10月30日～11月4日	中国古陶器年会への参加	運営費交付金
77	小田 裕樹	大韓民国	11月8日～11月9日	日韓古代文化の形成と発展過程に関する共同研究中間盛夏発表会への出席、発表のため	運営費交付金
78	清野 孝之	大韓民国	11月8日～11月9日	日韓古代文化の形成と発展過程に関する共同研究中間盛夏発表会への出席、発表のため	運営費交付金
79	廣瀬 覚	大韓民国	11月8日～11月9日	日韓古代文化の形成と発展過程に関する共同研究中間盛夏発表会への出席、発表のため	運営費交付金
80	諫早 直人	大韓民国	11月8日～11月9日	日韓古代文化の形成と発展過程に関する共同研究中間盛夏発表会への出席、発表のため	運営費交付金
81	馬場 基	大韓民国	11月8日～11月9日	日韓古代文化の形成と発展過程に関する共同研究中間盛夏発表会への出席、発表のため	運営費交付金
82	加藤 真二	中華人民共和国	11月16日～11月24日	科学研究費による中国細石刃文化の基礎的研究のための資料調査・霊井遺跡出土石器報告書の原稿納品	科学研究費
83	吉川 聡	インドネシア	11月18日～11月22日	インドネシア文字文化財に関する国際シンポジウムでの講演	先方負担 (東京外国語大学)
84	佐藤 由似	カンボジア王国	11月18日～12月12日	アンコール遺跡群西トップ遺跡建築装飾群の研究と復元	運営費交付金
85	田代 亜紀子	インドネシア	11月19日～11月26日	科研(B)「西スマトラ州パダン歴史地区における文化遺産復興に関する総合的研究」社会調査	科学研究費
86	杉山 洋	カンボジア王国	11月20日～11月30日	西トップ遺跡の調査研究	科学研究費(原口)

	氏名	用務先	期間	用務	備考
87	小池 伸彦	中華人民共和国	11月23日～11月30日	遼寧省文物考古研究所との国際共同研究「遼西地域における都城の研究」(平成25・26年度共同研究・研究計画の協議、金嶺寺遺跡他出土瓦・金属製品等の調査)	運営費交付金
88	川畑 純	中華人民共和国	11月23日～11月30日	遼寧省文物考古研究所との国際共同研究「遼西地域における都城の研究」(平成25・26年度共同研究・研究計画の協議、金嶺寺遺跡他出土瓦・金属製品等の調査)	運営費交付金
89	諫早 直人	中華人民共和国	11月23日～11月30日	遼寧省文物考古研究所との国際共同研究「遼西地域における都城の研究」(平成25・26年度共同研究・研究計画の協議、金嶺寺遺跡他出土瓦・金属製品等の調査)	運営費交付金
90	栗山 雅夫	中華人民共和国	11月23日～11月30日	遼寧省文物考古研究所との国際共同研究「遼西地域における都城の研究」(平成25・26年度共同研究・研究計画の協議、金嶺寺遺跡他出土瓦・金属製品等の調査)	運営費交付金
91	田村 朋美	大韓民国	11月28日～12月3日	日中韓共同研究「三国時代の国家の成長と物質文化」2014年度国際シンポジウムに出席、発表及び金海国立博物館所蔵ガラス製遺物の調査	先方負担(韓国中央研究院)・科学研究費
92	森本 晋	ウズベキスタン	11月29日～12月6日	文化財データベースに関するユネスコ主催ワークショップで講義	東京文化財研究所
93	石村 智	カンボジア王国	12月1日～12月6日	アンコール遺跡国際調整委員から出席及び西トップ遺跡の調査研究	西トップ寄付金
94	田代 亜紀子	イタリア	12月8日～12月15日	バーミヤン専門家会議出席・西アジア文化遺産調査	運営費交付金
95	森本 晋	イタリア	12月8日～12月15日	バーミヤン専門家会議出席・西アジア文化遺産調査	運営費交付金
96	中川 あや	大韓民国	12月10日～12月13日	大韓民国における都城遺跡展示の手法の調査研究	受託
97	渡邊 淳子	大韓民国	12月10日～12月13日	大韓民国における都城遺跡展示の手法の調査研究	受託
98	高妻 洋成	中華人民共和国	12月10日～12月14日	2013出土木漆器保護国際学術検討会	木漆器保護国家文物局重点科研基地
99	杉山 洋	カンボジア王国	12月11日～12月14日	西トップ遺跡の調査研究	寄付金
100	諫早 直人	大韓民国	12月15日～12月20日	日韓共同研究「日本列島における金工生産と新羅」に基づく調査研究	運営費交付金・先方負担(韓国国立文化財研究所)
101	青木 敬	大韓民国	12月17日～12月19日	蓮山洞古墳群関連国際学術会議での発表のため	先方負担(釜山大学校博物館)
102	佐藤 由似	カンボジア王国	12月18日～1月4日	アンコール遺跡群西トップ遺跡南祠堂と北祠堂の調査修復	助成金 朝日新聞文化財団
103	森先 一貴	ロシア連邦	12月21日～12月25日	ロシア連邦サハリン州スラブナヤ5遺跡の調査	科学研究費 東京大学 大貫静夫
104	杉山 洋	カンボジア王国	12月25日～12月31日	西トップ遺跡の調査研究	助成金
105	丹羽 崇史	中華人民共和国	12月27日～1月4日	隋州葉家山西周墓地国際学術検討会への参加	先方負担
106	井上 幸	中華人民共和国	12月28日～12月31日	資料収集	科学研究費 (井上)
107	森本 晋	カンボジア王国	26年1月12日～1月18日	アンコールデータベース調査	科学研究費(森本)・受託
108	石村 智	カンボジア王国	26年1月12日～1月18日	アンコールデータベース調査	科学研究費(森本)・受託
109	田村 朋美	カンボジア王国	26年1月13日～1月18日	the 20th Congress of the Indo-Pacific Prehistory Association に出席、研究発表	科学研究費 (田村朋美)
110	田代 亜紀子	ベトナム社会主義共和国	26年1月14日～1月19日	文化庁受託事業ベトナム出土木材に関する調査・研修	運営費交付金
111	高妻 洋成	ベトナム社会主義共和国	26年1月14日～1月19日	文化庁受託事業ベトナム出土木材に関する調査・研修	運営費交付金
112	脇谷 草一郎	ベトナム社会主義共和国	26年1月14日～1月19日	文化庁受託事業ベトナム出土木材に関する調査・研修	運営費交付金
113	廣瀬 覚	ベトナム社会主義共和国	26年1月14日～1月19日	文化庁受託事業ベトナム出土木材に関する調査・研修	運営費交付金
114	森本 晋	ミャンマー	26年1月19日～1月26日	拠点交流事業ワークショップ開催のため	科学研究費(森本)・受託
115	石村 智	ミャンマー	26年1月19日～1月26日	受託平成25年度ミャンマーの文化遺産保護に関する拠点交流事業の考古分野におけるワークショップでの講義	科学研究費(森本)・受託
116	小田 裕樹	ミャンマー	26年1月19日～1月26日	受託平成25年度ミャンマーの文化遺産保護に関する拠点交流事業の考古分野におけるワークショップでの講義	受託
117	杉山 洋	ミャンマー	26年1月19日～1月24日	シュリクケトラ遺跡の調査	委託
118	杉山 洋	カンボジア王国	26年1月25日～1月30日	西トップ遺跡の調査と修復	科学研究費(森本晋)
119	石村 智	サモア	26年1月30日～2月11日	平成25年度文化庁博物館・美術館相互交流事業によるサモア国立博物館改修にかかる助言	文化庁
120	杉山 洋	カンボジア王国	26年2月14日～2月18日	カンボジアにおける中世都城の調査研究	奈良女子大学研究費
121	加藤 真二	中華人民共和国	26年2月17日～2月23日	科学研究費による中国細石刃文化の基礎的研究のため資料収集	科学研究費
122	芝 康次郎	中華人民共和国	26年2月17日～2月23日	科学研究費による中国細石刃文化の基礎的研究のため資料収集	科学研究費
123	玉田 芳英	連合王国	26年2月17日～2月24日	京大大学院講義のための資料調査	京都大学研究経費
124	平澤 毅	大韓民国	26年2月18日～2月21日	韓国の世界文化遺産登録資産に関する調査研究事業関係調査等	筑波大学による文化庁受託経費

	氏名	用務先	期間	用務	備考
125	石村 智	キリバス	26年2月18日～2月22日	平成25年度文化庁専門家派遣事業による、温暖化により危機に瀕する文化遺産の調査	文化庁
126	石村 智	フィジー	26年2月23日～2月24日	平成25年度文化庁専門家派遣事業による、温暖化により危機に瀕する文化遺産の調査	文化庁
127	杉山 洋	カンボジア王国	26年2月23日～2月28日	カンボジア・ブレアピヒア遺跡の調査	科学研究費（名城大学溝口）
128	石村 智	ツバル	26年2月25日～3月2日	平成25年度文化庁専門家派遣事業による、温暖化により危機に瀕する文化遺産の調査	文化庁
129	平澤 毅	台湾	26年3月8日～3月11日	台湾の名勝地に関する現地調査等	科学研究費（平澤）
130	前川 歩	台湾	26年3月8日～3月11日	台湾の名勝地に関する現地調査等	科学研究費（平澤）
131	杉山 洋	カンボジア王国	26年3月8日～3月13日	カンボジア・西トップ遺跡の調査	科学研究費（大阪市立大学原口）
132	今居 晃樹	中華人民共和国	26年3月10日～3月14日	第一次大極殿院復元研究に関する資料の調査	受託 大極殿事業
133	森川 実	中華人民共和国	26年3月10日～3月14日	第一次大極殿院復元研究に関する資料の調査	受託 大極殿事業
134	川畑 純	中華人民共和国	26年3月18日～3月25日	遼寧省文物考古研究所との国際共同研究「遼西地域における都城の研究」（平成25・26年度共同研究・研究計画の協議、金嶺寺遺跡他出土瓦・金属製品等の調査）	運営費交付金
135	小池 伸彦	中華人民共和国	26年3月18日～3月25日	遼寧省文物考古研究所との国際共同研究「遼西地域における都城の研究」（平成25・26年度共同研究・研究計画の協議、金嶺寺遺跡他出土瓦・金属製品等の調査）	運営費交付金
136	廣瀬 覚	中華人民共和国	26年3月18日～3月25日	遼寧省文物考古研究所との国際共同研究「遼西地域における都城の研究」（平成25・26年度共同研究・研究計画の協議、金嶺寺遺跡他出土瓦・金属製品等の調査）	運営費交付金
137	栗山 雅夫	中華人民共和国	26年3月18日～3月25日	遼寧省文物考古研究所との国際共同研究「遼西地域における都城の研究」（平成25・26年度共同研究・研究計画の協議、金嶺寺遺跡他出土瓦・金属製品等の調査）	運営費交付金
138	平澤 毅	大韓民国	26年3月21日～3月23日	韓国の名勝地に関する現地調査	科学研究費（平澤）
139	森先 一貴	大韓民国	3月21日～3月23日	日韓古代文化の形成と発展過程に関する共同研究に係る調査	運営費交付金
140	若杉 智宏	大韓民国	3月21日～3月23日	日韓古代文化の形成と発展過程に関する共同研究に係る調査	運営費交付金
141	諫早 直人	大韓民国	3月21日～3月23日	日韓古代文化の形成と発展過程に関する共同研究に係る調査	運営費交付金
142	荒田 敬介	大韓民国	3月21日～3月23日	日韓古代文化の形成と発展過程に関する共同研究に係る調査	運営費交付金
143	小野 健吉	ベトナム社会主義共和国	26年3月21日～3月27日	世界遺産に登録されたベトナムの遺跡等の調査	京都大学経費
144	田村 朋美	イタリア	3月29日～4月4日	日伊文化財協力事業への出席	文化庁

【アジア太平洋無形文化遺産研究センター】延べ18人

	氏名	用務先	期間	用務	備考
1	荒田 明夫	中華人民共和国（成都）	6月13日～18日	ユネスコ条約締結10周年記念国際会議及び中国C2センター（GRIHAP）の第2回運営理事会出席	文化庁受託経費
2	荒田 明夫	ブルガリア（ソソポル）	7月23日～28日	無形文化遺産分野C2センター第1回総会出席	文化庁受託経費
3	荒田 明夫	大韓民国（大田）	9月29日～10月1日	韓国C2センター（IHCAP）の第3回運営理事会出席	文化庁受託経費
4	荒田明夫	アゼルバイジャン（バクー）	11月30日～12月10日	第8回無形文化遺産部政府間委員会出席	文化庁受託経費
5	大貫美佐子	タイ王国（バンコク）・ベトナム社会主義共和国（ハノイ・バクニン）	4月21日～26日	ユネスコ・バンコク事務所との打ち合わせ ハノイにおいてVICASとの打ち合わせ バクニン省にてプランニング調査	文部科学省補助金
6	井内 千紗	タイ王国（バンコク）	4月21日～25日	ユネスコ・バンコク事務所との打ち合わせ	文部科学省補助金
7	大貫美佐子	タイ王国（バンコク）	6月2日～6日	ユネスコ・バンコク事務所との打ち合わせ	文部科学省補助金
8	井内 千紗	タイ王国（バンコク）	6月2日～6日	ユネスコ・バンコク事務所との打ち合わせ	文部科学省補助金
9	大貫美佐子	タイ王国（バンコク）	7月8日～12日	ユネスコ・バンコク事務所との打ち合わせ	文化庁受託経費
10	井内 千紗	タイ王国（バンコク）	7月9日～13日	ユネスコ・バンコク事務所との打ち合わせ	文化庁受託経費
11	辻 修次	カンボジア王国（プノンベン）・ラオス人民民主共和国（ヴィエンチャン）	26年1月12日～17日	「大メコン圏における無形遺産に関する法制度研究」実施に係る研究協力者との打ち合わせ	文部科学省補助金
12	荒田 明夫	タイ王国（バンコク）	26年2月18日～22日	国際専門家会合「アジア太平洋地域における無形文化遺産保護に関する調査研究の把握と検討」出席	文化庁受託経費
13	児玉 茂昭	タイ王国（バンコク）	26年2月17日～22日	国際専門家会合「アジア太平洋地域における無形文化遺産保護に関する調査研究の把握と検討」出席	文化庁受託経費
14	辻 修次	タイ王国（バンコク）	26年2月18日～22日	国際専門家会合「アジア太平洋地域における無形文化遺産保護に関する調査研究の把握と検討」出席	文化庁受託経費

	氏名	用務先	期間	用務	備考
15	辻 修次	ラオス人民民主共和国（ヴィエンチャン）	26年2月23日～26日	「大メコン圏における無形遺産に関する法制度研究」実施に係るラオス政府との協議	文部科学省補助金
16	荒田 明夫	ラオス人民民主共和国（ヴィエンチャン）	26年2月23日～26日	「大メコン圏における無形遺産に関する法制度研究」実施に係るラオス政府との協議	文部科学省補助金
17	辻 修次	ラオス人民民主共和国（ヴィエンチャン）	26年3月23日～27日	ラオスにおける学術研究体制に関する情報収集	文化庁受託経費
18	児玉 茂昭	タイ王国（スリン県）	26年3月27日～30日	国際専門家会合「アジア太平洋地域における無形文化遺産保護に関する調査研究」に係るシリンドロン文化人類学研究センターとの協議	文化庁受託経費

c-② 調査研究テーマ一覧

平成26年3月31日現在

国立文化財機構合計	博物館計	東京国立博物館	京都国立博物館	奈良国立博物館	九州国立博物館
198件	138件	67件	15件	17件	39件
	文化財研究所計	東京文化財研究所	奈良文化財研究所	共同研究(東京・奈良文化財研究所)	
	59件	26件	33件	0件	
	アジア太平洋無形文化遺産研究センター	1件			

【東京国立博物館】 計67件

○有形文化財の収集・保存・管理・展示・教育活動等にかかる調査・研究

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者(役職・名前)
1	収蔵品・寄託品及び関連品に関する調査研究	学芸研究部	調査研究課長 田良島哲
2	特別調査法隆寺献納宝物(第35次)「金工品」	学芸研究部	調査研究課絵画・彫刻室長 田沢裕賀
3	特別調査「書跡」第1回	学芸研究部	調査研究課長 田良島哲
4	特別調査「工芸」第5回	学芸研究部	調査研究課工芸室長 竹内奈美子
5	特別調査「彫刻」第3回	学芸研究部	調査研究課東洋室長 浅見龍介
6	特別調査 屏風の箔地についての光学的調査研究	学芸研究部	調査研究課絵画・彫刻室長 田沢裕賀
7	油彩画の材料・技法に関する共同調査	学芸研究部	保存修復課長 神庭信幸
8	漆塗籠棺残片の保存に関する共同研究	学芸研究部	保存修復課長 神庭信幸
9	東京国立博物館所蔵仏教絵画の高精細画像による共同調査	学芸研究部	調査研究課絵画・彫刻室長 田沢裕賀
10	板谷家を中心とした江戸幕府御用絵師に関する総合的研究(科学研究費補助金)	学芸研究部	調査研究課絵画・彫刻室長 田沢裕賀
11	中世聖徳太子絵伝の画像展開に関する調査研究(科学研究費補助金)	学芸研究部	保存修復課保存修復室主任研究員 沖松健次郎
12	光学的調査に基づく高雄曼荼羅の研究(科学研究費補助金)	学芸研究部	学芸企画部長 松本伸之
13	古筆切紙背の史料学的研究(学術研究助成基金助成金)	学芸研究部	調査研究課長 田良島哲
14	家形埴輪の群構成と階層性からみた東アジアにおける古墳葬送儀礼に関する基礎的研究(学術研究助成基金助成金)	学芸研究部	列品管理課主任研究員 古谷毅
15	絵巻の〈伝来〉をめぐる総合的研究(科学研究費補助金)	学芸研究部	列品管理課平常展調整室研究員 土屋貴裕
16	刀装具一派後藤家の鑑定 極帳(鑑定控)の整理に基づく鑑定の様相と価値付けの考察(科学研究費補助金・学術研究助成基金助成金)	学芸研究部	保存修復課保存修復室研究員 酒井元樹
17	近現代における古日本染織の移動とコレクション形成に関する基礎的研究(科学研究費補助金)	学芸研究部	調査研究課工芸室主任研究員 小山弓弦葉
18	寄贈品に見る草創期の博物館におけるコレクション形成と美術品の移動に関する研究(学術研究助成基金助成金)	学芸研究部	列品管理課アソシエイトフェロー三輪紫都香
19	武家女性の衣生活に関する基礎的研究(学術研究助成基金助成金)	学芸研究部	列品管理課アソシエイトフェロー佐々木佳美
20	縄文時代における浅鉢形土器の研究(学術研究助成基金助成金)	学芸研究部	調査研究課考古室研究員 井出浩正
21	創立150年へ向けた館史編纂のための基礎的な資料整理と調査研究	学芸研究部	調査研究課長 田良島哲
22	東日本大震災による被災文化財の保存修復と文化財の防災に関する研究	学芸研究部	保存修復課長 神庭信幸
23	博物館における国際的な資料流通を素材とした明治期の文化交流史に関する基礎的研究(科学研究費補助金・学術研究助成基金助成金)	学芸研究部	列品管理課平常展調整室長 白井克也
24	中世から近代における日本絵画の受容環境の復元的考察(科学研究費補助金・学術研究助成基金助成金)	学芸研究部	学芸企画部企画課特別展室長 松嶋雅人
25	模写資料における書の受容・鑑賞に関する基礎的研究(学術研究助成基金助成金)	学芸研究部	調査研究課アソシエイトフェロー恵美千鶴子
26	江戸幕府による自然史科学の萌芽と御用絵師の役割に関する研究(学術研究助成基金助成金)	学芸研究部	列品管理課特別観覧室小野真由美
27	神像表現における物語性の研究(学術研究助成基金助成金)	学芸研究部	学芸企画部博物館教育課講座室長 丸山士郎
28	視覚表現とコレクションの形成に見る縄文土器の美術的受容に関する(科学研究費補助金)	学芸研究部	列品管理課登録室アソシエイトフェロー 鈴木希帆
29	日本における「美術」概念の再構築—語彙と理論にまたがる総合的研究(科学研究費補助金)	学芸研究部	部長 伊藤嘉章
30	描いた女性たちに関する研究—桃山時代から明治・大正期まで(科学研究費補助金)	学芸研究部	調査研究課絵画・彫刻室長 田沢裕賀
31	武装具の集積現象と古墳時代中期社会の特質(科学研究費補助金・学術研究助成基金助成金)	学芸研究部	列品管理課主任研究員 古谷毅
32	三次元計測を応用した青銅器製作技術からみた三角縁神獣鏡の総合的研究(科学研究費補助金・学術研究助成基金助成金)	学芸研究部	列品管理課主任研究員 古谷毅
33	木彫像の樹種識別技術の高度化(科学研究費補助金)	学芸研究部	保存修復課環境保存室長 和田浩
34	在欧日本仏教美術の基礎的調査・研究とデータベース化による日本仏教美術の情報発信(科学研究費補助金)	学芸研究部	副館長 島谷弘幸
35	館蔵の漢籍・洋書に関する基礎的研究	学芸研究部	学芸企画部博物館情報課長 高橋裕次
36	東洋民族資料に関する調査研究	学芸研究部	列品管理課平常展調整室主任研究員 川村佳男
37	東アジアの書道史における料紙と書風に関する総合的研究(科学研究費補助金)	学芸研究部	副館長 島谷弘幸
38	東アジアにおける繻仏の基礎的研究(科学研究費補助金・学術研究助成基金助成金)	学芸研究部	学芸企画部博物館教育課教育普及室長 伊藤信二
39	極薄青銅器の製作技術解明—中国金属工芸史を再構築するための基盤研究(科学研究費補助金・学術研究助成基金助成金)	学芸研究部	列品管理課平常展調整室主任研究員 川村佳男
40	仁寿舍利塔の信仰と荘厳に関する総合的調査研究(科学研究費補助金)	学芸研究部	保存修復課環境保存室長 和田浩
41	中国典籍日本古写本の研究(科学研究費補助金)	学芸研究部	調査研究課長 田良島哲
42	5~9世紀東アジアの金銅仏に関する日韓共同研究(科学研究費補助金)	学芸研究部	調査研究課東洋室長 浅見龍介
43	東アジアにおける木彫像の樹種と用材観に関する調査研究(科学研究費補助金)	学芸研究部	調査研究課東洋室長 浅見龍介
44	古代イスラエルの墓制と他界観に関する総合的研究(科学研究費補助金)	学芸研究部	調査研究課考古室研究員 橋本英将
45	南宋絵画史における仏画の位相—都と地域、中国と周縁—(科学研究費補助金)	学芸研究部	学芸研究部調査研究課東洋室研究員 塚本磨充
46	海外展「青山杉雨のコレクションと書」に関する調査研究	学芸企画部	学芸研究部列品管理課長 富田 淳
47	特別展「和様の書」に関する調査研究	学芸企画部	博物館情報課長 高橋 裕次
48	特別展「上海博物館 中国絵画の至宝」に関する調査研究	学芸企画部	学芸研究部列品管理課長 富田 淳
49	特別展「京都—洛中洛外図と障壁画の美」に関する調査研究	学芸企画部	企画課特別展室長 松嶋雅人

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者（役職・名前）
50	特別展「クリーブランド美術館展—名画でたどる日本の美—」に関する調査研究	学芸企画部	企画課特別展室長 松嶋雅人
51	海外展「伝統の再創造：日本の近代美術」に関する調査研究	学芸企画部	企画課特別展室長 松嶋雅人
52	特別展「人間国宝展—生み出された美、伝えゆくわざ—」に関する調査研究	学芸企画部	学芸研究部調査研究課工芸室主任研究員 小山弓弦葉
53	特別展「支倉常長像と南蛮美術—400年前の日欧交流—」に関する調査研究	学芸企画部	学芸研究部列品管理課平常展調整室研究員 土屋貴裕
54	特別展「栄西と建仁寺」に関する調査研究	学芸企画部	学芸研究部調査研究課絵画・彫刻室長 田沢裕賀
55	特別展「キトラ古墳壁画」に関する調査研究	学芸企画部	上席研究員 齊藤孝正
56	特別展「台北 国立故宮博物院—神品至宝—」に関する調査研究	学芸企画部	学芸研究部列品管理課長 富田 淳
57	特別展「日本国宝展」に関する調査研究	学芸企画部	博物館教育課教育普及室 伊藤信二
58	特別展「みちのく仏像」に関する調査研究	学芸企画部	博物館教育課教育講座室長 丸山 士郎
59	博物館の環境保存に関する研究	学芸研究部	保存修復課長 神庭信幸
60	博物館環境デザインに関する調査研究	学芸企画部	企画課デザイン室長 木下史青
61	博物館教育に関する調査研究	学芸企画部	博物館教育課長 小泉恵英
62	博物館資料・業務の情報処理に関する調査研究	学芸企画部	博物館情報課情報管理室長 村田良二
63	凸版印刷と共同で、ミュージアムシアターでの公開に向けた研究を引き続き実施する	学芸企画部	企画課長 井上洋一 学芸研究部調査研究課長 田島良哲
64	聴力障がいを持つ児童・生徒のための鑑賞プログラムの構築に関する調査研究(学術研究助成基金助成金)	学芸企画部	博物館教育課教育普及室アソシエイトフェロ ー 川岸瀬里
65	藤ノ木古墳出土品からみた考古系博物館における展示・公開に関する総合的研究(科学研究費補助金)	学芸企画部	学芸研究部調査研究課考古室研究員 品川欣也
66	日本とドイツの美術解剖学教育の発展と展開(科学研究費補助金)	学芸企画部	企画課デザイン室長 木下史青
67	文化財管理における美術用語辞典の作成(科学研究費補助金)	学芸企画部	博物館情報課情報管理室長 村田良二

## 【京都国立博物館】 計15件

○有形文化財の収集・保存・管理・展示・教育活動等にかかる調査・研究

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者（役職・名前）
1	訓点資料としての典籍に関する調査研究	学芸部	上席研究員 赤尾栄慶
2	彫刻に関する調査研究(科学研究費補助金・学術研究助成基金助成金)	学芸部	保存修理指導室長 浅湫 毅
3	出土・伝世古陶磁に関する調査研究	学芸部	工芸室長 尾野善裕
4	特別展観「遊び」に関する調査研究	学芸部	列品管理室主任研究員 永島明子
5	特別展覧会「魅惑の清朝陶磁」に関する調査研究(学術研究助成基金助成金)	学芸部	工芸室長 尾野善裕
6	特別展覧会「南山城の古寺巡礼」に関する調査研究	学芸部	企画室長 宮川禎一
7	収蔵品・寄託品及び関連品に関する調査研究	学芸部	部長 村上隆
8	近畿地区（特に京都）社寺文化財の調査研究(科学研究費補助金)	学芸部	企画室長 宮川禎一
9	近世絵画に関する調査研究	学芸部	前連携協力室長 山下善也
10	漆工芸に関する調査研究(科学研究費補助金)	学芸部	列品管理室主任研究員 永島明子
11	修復文化財に関する資料収集及び調査研究	学芸部	保存修理指導室長 浅湫 毅
12	文化財の保存・修復に関する調査研究	学芸部	学芸部長 村上隆
13	文化財情報に関する調査研究	学芸部	上席研究員 赤尾栄慶
14	新平常展示館の新装開館に向けた、同館における新たな教育ツールの開発のための調査研究	学芸部	教育室研究員 水谷亜紀
15	高精細デジタル複製を使用した文化財鑑賞教育についての調査研究	学芸部	教育室研究員 水谷亜紀

## 【奈良国立博物館】 計17件

○有形文化財の収集・保存・管理・展示・教育活動等にかかる調査・研究

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者（役職・名前）
1	館蔵品・寄託品等の基礎的・総合的調査を進め、展示内容の充実と適切な収集につなげる。	学芸部	部長 西山 厚
2	館蔵品・寄託品研究の基礎となる文化財調査を積極的に実施する。	学芸部	部長 西山 厚
3	平安時代の大般若経を総合的に調査し、歴史資料としての資源化を進める。(学術研究助成基金助成金)	学芸部	企画室長 野尻忠
4	中国・韓国などアジア諸国の文化財に関する調査研究	学芸部	部長 西山 厚
5	日本とアジア諸国の文化交流に関する調査研究	学芸部	部長 西山 厚
6	特別展「武家のみやこ 鎌倉の仏像 —迫真とエキゾチシズム—」に関する調査研究	学芸部	美術室長 岩田 茂樹 情報サービス室員 山口 隆介
7	特別陳列「お水取り」に関する調査研究	学芸部	教育室員 斎木 涼子
8	特別陳列「おん祭と春日信仰の美術」に関する調査研究	学芸部	情報サービス室長 吉澤 悟
9	當麻曼荼羅完成1250年記念特別展「當麻寺—極楽浄土へのあこがれ—」に関する調査研究	学芸部	美術室員 北澤 菜月
10	特別展「みほとけのかたち—仏像に会う—」に関する調査研究	学芸部	教育室長 岩井 共二
11	特別展「正倉院展」に関する調査研究	学芸部	工芸考古室室長 内藤 栄
12	緞織當麻曼荼羅（當麻寺蔵）、信貴山縁起絵巻（朝護孫子寺蔵）の調査など、東京文化財研究所と共同で仏教美術の光学的調査研究を実施し、作品の材料・技術等の解明に寄与する。	学芸部	部長 西山 厚
13	収蔵庫・展示室・ケース内部等における環境の、文化財に与える影響などに関する調査研究を持続的に実施し、収蔵品の保存環境の向上を図る。	学芸部	保存修理指導室長 谷口 耕生
14	館蔵品・寄託品等の調査研究を文化財修理の観点から実施し、文化財の活用及び後世への継承に資する。	学芸部	保存修理指導室長 谷口 耕生
15	館蔵品・寄託品等の調査研究を保存科学の観点から実施し、貴重な文化財の後世への継承に資する。	学芸部	保存修理指導室長 谷口 耕生
16	歴史、伝統文化の教育普及に資するための調査研究を行い、その成果を児童・生徒を対象として行う「世界遺産学習」等に反映させる。	学芸部	部長 西山 厚
17	文化財アーカイブズの形成に関する理論的・実践的研究を行い、その成果をデジタル画像の作成・各種データベースの構築（収蔵品・画像・図書）・各種情報資源の公開推進に反映させる。(学術研究助成基金助成金)	学芸部	資料室長 宮崎 幹子

【九州国立博物館】 計 39件

○有形文化財の収集・保存・管理・展示・教育活動等にかかる調査・研究

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者 (役職・名前)
1	X線CTスキャナによる青銅器・彫刻・漆工などの構造技法解析	博物館科学課	博物館科学課長 今津節生
2	平成20年度特別展「工芸のいま 伝統と創造」に関連した九州・沖縄の伝統工芸作家への継続的かつ発展的な調査研究	学芸部	学芸部長 谷豊信
3	日本中世の工芸、特に茶道具に関する調査研究	展示課	展示調整室研究員 遠藤啓介
4	中世大般若經の史料学構築に向けての基礎的研究 (学術研究助成基金助成金)	博物館科学課	保存修復室長 藤田励夫
5	九州南島の先史時代の資料に関する調査研究	展示課	展示課長 赤司善彦
6	和泉市久保惣記念美術館の収蔵品の調査研究	博物館科学課	博物館科学課長 今津節生
7	収蔵品・寄託品及び関連品に関する調査研究	学芸部	学芸部長 谷豊信
8	西光寺梵鐘の総合調査	文化財課	アソシエイトフェロー 望月規史
9	朝鮮半島、三国時代の考古・美術に関する調査研究	展示課	展示課長 赤司善彦
10	九州における対外交流文化財の保存と活用に向けた研究基盤の創設 (科学研究費補助金)	博物館科学課	博物館科学課長 今津節生
11	武雄市図書館・歴史資料館所蔵の鍋島家資料の調査研究	文化財課	資料登録室主任研究員 荒木和憲
12	神戸市立博物館所蔵の江戸時代の対外交渉に関連する作品の調査研究	企画課	特別展室研究員 鷲頭桂
13	中国・山東省荷澤出土の螺鈿箱 (高麗経箱) に関する調査研究 (学術研究助成基金助成金)	企画課	文化交流展室主任研究員 川畑恵子
14	タイにおける異文化の受容と変容ー13世紀から18世紀の対外交易品を中心としてー (科学研究費補助金・学術研究助成基金助成金)	企画課	特別展室主任研究員 原田あゆみ
15	ベトナムと我が国との間の文化財を通じた交流についての調査研究	展示課	情報サービス室主任研究員 岸本圭
16	中世～近世初期の対馬宗氏領国に関する基礎的研究 (学術研究助成基金助成金)	文化財課	資料登録室主任研究員 荒木和憲
17	契丹壁画墓の集成と公開ー唐滅亡後の東アジアにおける国家形成過程の視覚的理解ー (科学研究費補助金・学術研究助成基金助成金)	企画課	企画課長 臺信祐爾
18	水中遺跡の保存活用に関する調査研究 (文化庁受託事業)	展示課	展示課長 赤司善彦
19	特別公開「江上波夫の眼 ことばとかたち」に関する調査研究	企画課	企画課長 臺信祐爾
20	日本とアジア諸国との文化交流に関する調査研究	企画課	企画課長 臺信祐爾
21	特別展「中国 王朝の至宝」に関する調査研究	企画課	特別展室主任研究員 市元壘
22	特別展「尾張徳川家の至宝」に関する調査研究	展示課	展示調整室主任研究員 酒井芳司
23	特別展「国宝 大神社展」に関する調査研究	展示課	展示調整室主任研究員 楠井隆志
24	特別展「華麗なる宮廷文化 近しい近衛家の国宝展」に関する調査研究	展示課	展示調整室主任研究員 酒井芳司
25	特別展「クリーブランド美術館展ー名画でたどる日本の美」に関する調査研究	企画課	特別展室研究員 鷲頭桂
26	特別展「台北 國立故宮博物院ー神品至宝ー」展に関する調査研究	文化財課	資料管理室主任研究員 畑靖紀
27	文化財の材質・構造等に関する共同研究	博物館科学課	博物館科学課長 今津節生
28	博物館における文化財保存修復に関する研究	博物館科学課	保存修復室主任研究員 志賀智史
29	博物館危機管理としての市民協同型IPMシステム構築に向けての基礎研究	学芸部	特任研究員 本田光子
30	東アジアの文化財修復用手漉き和紙の調査研究 (UNESCOとの共同)	博物館科学課	前保存修復室長 藤田励夫
31	赤外線撮影法による彩色材料調査の有効性に関する研究 (学術研究助成基金助成金)	博物館科学課	環境保全室研究員 秋山純子
32	三次元データに基づく文化財研究と新展示手法の開発ー興福寺 国宝阿修羅像を中心にー (科学研究費補助金・学術研究助成基金助成金)	博物館科学課	博物館科学課長 今津節生
33	三次元デジタル継続技術を活用した中国古代青銅器の製作技法の研究 (科学研究費補助金・学術研究助成基金助成金)	学芸部	学芸部長 谷豊信
34	石棺に塗布された赤色顔料についての基礎的研究 (学術研究助成基金助成金)	博物館科学課	保存修復室主任研究員 志賀智史
35	NHKと協同で高精細画像を活用したシアター4000での映像公開に向けた研究	展示課	展示課長 赤司善彦
36	特別展のテーマに則した、解説パネル、冊子、ワークショップ等、観覧者の理解促進のための教育普及プログラムの調査研究	企画課	企画課長 臺信祐爾
37	学校教育との連携を図りながら、学校貸出キット「きゅうばっく」の研究・開発	交流課	教育普及室主任研究員 釜瀬進一郎
38	平成27年度に迎える開館10周年における一定程度のリニューアルを見据えた、現在の展示施設、展示環境や展示方法の課題や展望についての検討	展示課	展示課長 赤司善彦
39	高等学校所蔵考古資料の調査研究	企画課	特別展室主任研究員 市元壘

【東京文化財研究所】 計26件

○文化財に関する基礎的・体系的な調査・研究の推進 (7件)

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者 (役職・名前)
1	文化財の研究情報の公開・活用のための総合的研究	企画情報部	文化財アーカイブズ研究室長 綿田 稔
2	文化財の資料学的研究	企画情報部	文化形成研究室長 津田徹英
3	近現代美術に関する交流史的研究	企画情報部	近・現代視覚芸術研究室長 塩谷 純
4	美術の表現・技法・材料に関する多角的研究	企画情報部	広領域研究室長 小林公治
5	無形文化財の保存・活用に関する調査研究	無形文化遺産部	副所長 (無形文化遺産部長兼務) 石崎武志
6	無形民俗文化財の保存・活用に関する調査研究	無形文化遺産部	副所長 (無形文化遺産部長兼務) 石崎武志
7	無形文化遺産分野の国際研究交流事業	無形文化遺産部	副所長 (無形文化遺産部長兼務) 石崎武志

○文化財の研究に関する調査手法の研究・開発の推進 (1件)

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者 (役職・名前)
1	文化財デジタル画像形成に関する調査研究	企画情報部	広領域研究室長 小林公治

○科学技術の活用等による文化財の保存科学や修復技術に関する中核的な支援拠点として、先端的調査研究等の推進 (10件)

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者 (役職・名前)
1	文化財のカビ被害予防と対策のシステム化についての研究	保存修復科学センター	生物科学研究室長 木川りか
2	文化財の保存環境の研究	保存修復科学センター	保存科学研究室長 佐野千絵
3	文化財の材質及び劣化調査法に関する研究	保存修復科学センター	分析化学研究室長 早川泰弘
4	周辺環境が文化財に及ぼす影響評価とその対策に関する研究	保存修復科学センター	修復材料研究室長 朽津信明
5	文化財の防災計画に関する研究	保存修復科学センター	修復材料研究室長 朽津信明
6	文化財の放射線対策に関する研究	保存修復科学センター	副所長 石崎 武志

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者（役職・名前）
7	文化財における伝統技術及び材料に関する調査研究	保存修復科学センター	伝統技術研究室長 北野信彦
8	文化財修復材料の適用に関する調査研究	保存修復科学センター	修復材料研究室長 朽津信明
9	近代の文化遺産の保存修復に関する研究	保存修復科学センター	近代文化遺産研究室長 中山俊介
10	文化庁が行う高松塚古墳・キトラ古墳の壁画の調査及び保存・活用に関する技術的協力	保存修復科学センター	保存修復科学センター長 岡田 健

○保存・修復事業を実施するために必要な研究基盤の整備（1件）

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者（役職・名前）
1	文化財保護に関する国際情報の収集・研究・発信	文化遺産国際協力センター	主任研究員 江村知子

○諸外国における文化財の保存・修復に関する技術移転の推進（7件）

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者（役職・名前）
1	中国の文化遺産の保存修復のための共同研究	保存修復科学センター 文化遺産国際協力センター	保存修復科学センター長 岡田 健 地域環境研究室長 山内和也
2	韓国および日本の石造文化財を対象に保存修復のための共同研究	保存修復科学センター	修復材料研究室長 朽津信明
3	東南アジア諸国等文化遺産保存修復協力	文化遺産国際協力センター	保存計画研究室長 友田正彦
4	西アジア諸国等文化遺産保存修復協力事業	文化遺産国際協力センター	地域環境研究室長 山内和也
5	ユーラシア壁画の調査研究と保存修復	保存修復科学センター 文化遺産国際協力センター	保存修復科学センター長 岡田 健 地域環境研究室長 山内和也
6	国際研修「紙の保存と修復」	文化遺産国際協力センター	文化遺産国際協力センター長 川野邊 渉
7	在外日本古美術保存修復協力事業	文化遺産国際協力センター	文化遺産国際協力センター長 川野邊 渉

【奈良文化財研究所】計33件

○文化財に関する基礎的・体系的な調査・研究の推進（20件）

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者（役職・名前）
1	近畿を中心とする古寺社等所蔵の歴史資料等に関する調査研究	文化遺産部	歴史研究室長 吉川聡
2	我が国の建造物及び伝統的建造物群に関する調査・研究	文化遺産部	文化遺産部長 林良彦
3	我が国の記念物に関する調査・研究（遺跡等整備）	文化遺産部	文化遺産部長 林良彦
4	我が国の記念物に関する調査・研究（庭園）	文化遺産部	文化遺産部長 林良彦
5	我が国の記念物に関する調査・研究（国際研究交流）	文化遺産部	文化遺産部長 林良彦
6	平城宮跡第一次大極殿院の発掘調査	都城発掘調査部 平城地区	副所長 小野健吉
7	平城京左京二条二坊十五坪の発掘調査	都城発掘調査部 平城地区	副所長 小野健吉
8	平城京右京一条二坊四坪の発掘調査	都城発掘調査部 平城地区	副所長 小野健吉
9	古代官衙、集落遺跡等に関する研究集会の実施、報告書の刊行	都城発掘調査部 平城地区	副所長 小野健吉
10	古代瓦に関する研究集会の実施、報告書の刊行	都城発掘調査部 平城地区	副所長 小野健吉
11	藤原宮跡の発掘調査	都城発掘調査部 飛鳥・藤原地区	都城発掘調査副部長 玉田芳英
12	飛鳥地域発掘調査	都城発掘調査部 飛鳥・藤原地区	都城発掘調査副部長 玉田芳英
13	平城宮・京跡の出土遺物と検出遺構の調査研究等	都城発掘調査部 平城地区	副所長 小野健吉
14	飛鳥・藤原京跡出土遺物・遺構に関する調査研究等	都城発掘調査部 飛鳥・藤原地区	都城発掘調査副部長 玉田芳英
15	東アジアにおける工芸技術及び飛鳥時代の建築遺物等の研究	飛鳥資料館	飛鳥資料館学芸室長 石橋茂登
16	アジアにおける古代都城遺跡、生産遺跡、墓制及び陶磁器に関する中国、韓国との共同研究及びカザフスタンへの研究協力	都城発掘調査部 平城地区	副所長 小野健吉
17	文化的景観及びその保存・活用に関する調査研究	文化遺産部	景観研究室長 平澤毅
18	遺跡データベースの作成と公開	埋蔵文化財センター	遺跡・調査技術研究室長 小澤毅
19	出土遺物の材質構造調査、鉄製品及び木製品の埋蔵環境調査	埋蔵文化財センター	保存修復科学研究室長 高妻洋成
20	遺構の安定化方法を検討するための基礎データを収集	埋蔵文化財センター	保存修復科学研究室長 高妻洋成

○文化財に関する新たな調査手法の研究・開発の推進（3件）

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者（役職・名前）
1	文化財の測量・探査等に関する研究	埋蔵文化財センター	遺跡・調査技術研究室長 小澤毅
2	年輪年代学研究	埋蔵文化財センター	埋蔵文化財センター長 難波洋三
3	動植物遺存体による環境考古学的研究	埋蔵文化財センター	埋蔵文化財センター長 難波洋三

○文化財の保存科学や修復技術に関する中心的な支援拠点として先端的調査研究等の推進（1件）

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者（役職・名前）
1	ミリ波イメージングにかかる基礎実験及び装置の改良等	埋蔵文化財センター	保存修復科学研究室長 高妻洋成

○国・地方公共団体の要請に応じた保存措置等のために必要な実践的な調査・研究の実施（7件）

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者（役職・名前）
1	文化庁が行う高松塚古墳・キトラ古墳の壁画の調査及び保存・活用に関する技術的協力	都城発掘調査部 飛鳥・藤原地区	都城発掘調査副部長 玉田芳英
2	国土交通省が行う国営飛鳥歴史公園キトラ古墳周辺地区公園予定地の調査及び保存・活用に関する技術的協力	都城発掘調査部 飛鳥・藤原地区	都城発掘調査副部長 玉田芳英
3	農林水産省が行う大和紀伊平野土地改良事業大和平野県営飛鳥工区2号幹線の調査及び保存活用に関する技術的協力	都城発掘調査部 飛鳥・藤原地区	都城発掘調査副部長 玉田芳英
4	文化庁・国土交通省が行う平城宮跡の復原・整備への協力	都城発掘調査部 平城地区	副所長 小野健吉
5	国土交通省が行う国営飛鳥歴史公園キトラ古墳周辺地区公園予定地内の体験学習館の建設への協力	飛鳥資料館	飛鳥資料館学芸室長 石橋茂登
6	国土交通省が行う平城宮跡展示館（仮称）の建設への協力	企画調整部	企画調整部長 杉山洋
7	東日本大震災の復旧・復興事業に伴う埋蔵文化財発掘調査に対する地方公共団体等への支援・協力	都城発掘調査部 飛鳥・藤原地区	都城発掘調査副部長 玉田芳英

○諸外国における文化財の保存・修復に関する技術移転の推進 (2件)

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者 (役職・名前)
1	カンボジア・アンコールワット遺跡群の西トップ遺跡、ベトナム・タンロン皇城遺跡の建築史的、考古学的、保存科学的調査	企画調整部	企画調整部長 杉山洋
2	ユネスコアジア文化センター等が実施する研修への協力	企画調整部	国際遺跡研究室長 森本 晋

【東京文化財研究所と奈良文化財研究所との共同研究】計0件

【アジア太平洋無形文化遺産研究センター】計1件

○アジア太平洋地域における無形文化遺産保護に関する基礎的な調査・研究 (1件)

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者 (役職・名前)
1	アジア太平洋地域における無形文化遺産保護に関する基礎的な調査・研究の推進	アジア太平洋無形文化遺産研究センター	所長 荒田明夫

(参考) 受託研究一覧

合計	東京文化財研究所	奈良文化財研究所	アジア太平洋無形文化遺産研究センター
67 件	24 件	41 件	2 件

【東京文化財研究所】計24件

	調査研究テーマ名	担当部課
1	水没した日本画の修復方法に関する調査研究 (受託)	保存修復科学センター
2	文化財 (美術工芸品) 等緊急保全活動・現況調査事業 (受託)	保存修復科学センター
3	絵金屏風の保存修理に関する調査研究 (受託)	保存修復科学センター
4	松平定信<細写 物語歌書『源氏物語』>の収蔵箱の保存に関する調査研究 (受託)	保存修復科学センター
5	国宝高松塚古墳壁画恒久保存対策に関する調査等業務 (受託)	保存修復科学センター
6	特別史跡キトラ古墳保存対策等調査 (受託)	保存修復科学センター
7	装飾古墳の保存に関する調査研究事業 (受託)	保存修復科学センター
8	関西大学博物館及び考古学研究室保管奈良県高市郡明日香村牽牛子塚古墳出土夾紵棺一括の修理 (受託)	保存修復科学センター
9	小石川後楽園得仁堂収蔵物の保存修復科学的な調査委託 (受託)	保存修復科学センター
10	文化遺産国際協力コンソーシアム事業 (受託)	文化遺産国際協力センター
11	第37回世界遺産委員会における審議資産概要一覧表の作成 (受託)	文化遺産国際協力センター
12	第37回世界遺産委員会審議調査研究事業 (受託)	文化遺産国際協力センター
13	第38回世界遺産委員会における審議資産概要一覧表の作成 (受託)	文化遺産国際協力センター
14	ラチャプラディット寺院螺鈿扉修復計画策定のための調査研究 (受託)	文化遺産国際協力センター
15	文化遺産国際協力拠点交流事業 (ブータン) (受託)	文化遺産国際協力センター
16	「タンロン・ハノイ文化遺産群の保存」ユネスコ日本信託基金事業 (受託)	文化遺産国際協力センター
17	文化遺産保護国際協力拠点交流事業 (ミャンマー) (受託)	文化遺産国際協力センター
18	文化遺産国際協力拠点交流事業 (アルメニア及びコーカサス諸国等) (受託)	文化遺産国際協力センター
19	文化遺産国際協力拠点交流事業 (キルギス及び中央アジア諸国等) (受託)	文化遺産国際協力センター
20	文化遺産保護国際貢献事業 (専門家交流) 「ツバル・キリバス・フィジーの文化遺産保護に関する技術的調査」 (受託)	文化遺産国際協力センター
21	ユネスコ・日本文化遺産保存信託基金 シルクロード世界遺産登録に向けた支援事業 (ウズベキスタン) (受託)	文化遺産国際協力センター
22	ユネスコ・日本文化遺産保存信託基金 シルクロード世界遺産登録に向けた支援事業 (タジキスタン) (受託)	文化遺産国際協力センター
23	ユネスコ・日本文化遺産保存信託基金 パーミヤン遺跡保存事業 (受託)	文化遺産国際協力センター
24	エジプト国大エジプト博物館保存修復センタープロジェクト (フェーズⅡ) に係る国内支援業務 (受託)	文化遺産国際協力センター

【奈良文化財研究所】計41件

	調査研究テーマ名	担当部課
1	平成25年度文化遺産国際協力拠点交流事業 (ミャンマーの文化遺産保護に関する拠点交流事業・考古分野) (受託)	企画調整部
2	平城宮跡展示館詳覧ゾーン展示内容調査業務 (受託)	企画調整部
3	比叡山延暦寺建造物の普及・啓発に関する業務 (受託)	文化遺産部
4	兵庫県近代和風建築総合調査 (受託)	文化遺産部
5	平成25年度平出地区伝統的建造物群保存対策調査 (受託)	文化遺産部
6	長谷川家建造物・庭園現況調査業務委託 (受託)	文化遺産部
7	京都岡崎の文化的景観保存計画策定調査 (受託)	文化遺産部
8	相川地区文化的景観保存計画策定調査 (受託)	文化遺産部
9	平成25年度長良川流域の文化的景観における普及啓発事業支援業務委託 (受託)	文化遺産部
10	西大寺旧境内 (薬師金堂西方) の発掘調査 (受託)	都城発掘調査部 平城地区
11	興福寺西室跡の発掘調査 (受託)	都城発掘調査部 平城地区
12	薬師寺十字廊跡の発掘調査 (受託)	都城発掘調査部 平城地区
13	西大寺旧境内 (弥勒金堂東方) の発掘調査 (受託)	都城発掘調査部 平城地区
14	平城宮跡歴史公園および朱雀大路緑地等の発掘調査 (受託)	都城発掘調査部 平城地区
15	第一次大極殿院建造物復原整備にかかる調査 (受託)	都城発掘調査部 平城地区
16	朱雀大路緑地の発掘調査 (受託)	都城発掘調査部 平城地区
17	法華寺旧境内の発掘調査 (受託)	都城発掘調査部 平城地区
18	海龍王寺の発掘調査 (受託)	都城発掘調査部 平城地区
19	藤原宮跡 (法花寺水路改修) 発掘調査 (受託)	都城発掘調査部 飛鳥・藤原地区
20	鳥取県鳥取市良田平田遺跡他2遺跡出土文字資料の保存処理等の総合的研究 (受託)	都城発掘調査部 飛鳥・藤原地区
21	特別史跡キトラ古墳保存・活用等調査業務 (受託)	都城発掘調査部 飛鳥・藤原地区
22	国宝高松塚古墳壁画恒久保存対策に関する研究等業務 (受託)	都城発掘調査部 飛鳥・藤原地区
23	装飾古墳の保存に関する調査研究事業 - 考古学的見地にもとづく調査研究 - (受託)	都城発掘調査部 飛鳥・藤原地区
24	甘樫丘地区遺跡発掘調査業務 (受託)	都城発掘調査部 飛鳥・藤原地区
25	キトラ古墳周辺地区檜隈寺跡周辺遺跡発掘調査業務 (受託)	都城発掘調査部 飛鳥・藤原地区
26	大和紀伊平野農業水利事業に係る埋蔵文化財発掘調査 (受託)	都城発掘調査部 飛鳥・藤原地区
27	本薬師寺跡、藤原京跡 (右京八条三坊) 発掘調査 (受託)	都城発掘調査部 飛鳥・藤原地区

28	元町石仏が彫刻された凝灰岩の不飽和水分移動特性に関する研究(受託)	埋蔵文化財センター
29	国史跡田熊石畑遺跡墓域整備に伴う環境調査(受託)	埋蔵文化財センター
30	建中寺における文化財建造物の彩色塗装材料の調査研究(受託)	埋蔵文化財センター
31	史跡ガランドヤ古墳1号墳における熱・水分同時移動解析に関する研究(受託)	埋蔵文化財センター
32	ネットワーク型遺跡調査システムの開発(受託)	埋蔵文化財センター
33	鬼ノ岩屋古墳総合的探査委託業務(受託)	埋蔵文化財センター
34	宝城坊本堂の年輪年代調査(受託)	埋蔵文化財センター
35	国宝薬師寺東塔木材年代測定業務(第1回)(受託)	埋蔵文化財センター
36	平成25年度小竹貝塚出土動物遺存体同定調査業務(受託)	埋蔵文化財センター
37	陸前高田市堂の前貝塚出土の動物遺存体の分析委託業務(受託)	埋蔵文化財センター
38	陸前高田市立博物館所蔵骨角器抜本修復業務(受託)	埋蔵文化財センター
39	東名遺跡出土動物遺存体調査(受託)	埋蔵文化財センター
40	大阪府安満宮山古墳出土品保存修理事業(受託)	埋蔵文化財センター
41	平成25年度文化遺産国際協力拠点交流事業 ベトナム・出土木製品保存に関する拠点交流事業(受託)	埋蔵文化財センター

### アジア太平洋無形文化遺産研究センター】計2件

	調査研究テーマ名	担当部課
1	平成25年度 無形文化遺産保護パートナーシッププログラム(受託)	アジア太平洋無形文化遺産研究センター
2	東ティモール無形文化遺産専門家向けスタディツアー(受託)	アジア太平洋無形文化遺産研究センター

c-③ 学会、研究会等発表実績一覧

平成26年3月31日現在

国立文化財機構合計	博物館計	東京国立博物館	京都国立博物館	奈良国立博物館	九州国立博物館
270件	142件	76件	10件	21件	35件
	文化財研究所計	東京文化財研究所	奈良文化財研究所	共同研究（東京・奈良文化財研究所）	
	127件	56件	71件	0件	
	アジア太平洋無形文化遺産研究センター	1件			

【東京国立博物館】76 件

○有形文化財の収集・保存・管理・展示・教育活動等にかかる調査・研究

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
1	収蔵品・寄託品及び関連品に関する調査研究	「中国文明の謎」	学芸企画部長 松本伸之	4月27日	名古屋市博物館
2	同上	「謎の青銅器 - 銅鐸に迫る - 」	企画課長 井上洋一	8月17日	「国宝・神戸市桜ヶ丘出土銅鐸」記念講演会（九州国立博物館）
3	同上	「大岩山銅鐸と銅鐸研究のあゆみ」	企画課長 井上洋一	10月6日	第70回銅鐸研究会（野洲市歴史民俗博物館）
4	同上	特別展「京都一洛中洛外図と障壁画の美」- 400年前の京都観光ナビゲート	企画課特別展室長 松嶋雅人	10月23日	朝日カルチャーセンター 朝日JTB・交流文化塾・新宿教室
5	同上	日本の美術品国家補償制度の改定と現状について (Updates on Japanese Government Indemnity Program and the current status)	企画課国際交流室長 鬼頭智美	4月19日	国際展覧会オーガナイザー会議 (International Exhibition Organizers)
6	同上	国宝 大神社展	上席研究員 池田 宏	4月16日	全国神社総代会
7	同上	「和歌と美術をもっとよく知る∞のコトバ」	列品管理課平常展調整室 土屋貴裕	4月29日	島根県立石見美術館特別展「和歌と美術」関連トークショー
8	同上	「四天王寺所蔵六幅本聖徳太子絵伝をめぐる諸問題」	列品管理課平常展調整室 土屋貴裕	5月28日	東京文化財研究所企画情報部研究会
9	同上	「嘉元本聖徳太子絵伝を絵解く」	列品管理課平常展調整室 土屋貴裕	11月4日	斑鳩町いかるがホール「法隆寺の聖徳太子絵伝を絵解く」
10	同上	東京国立博物館所蔵の《群集横穴図》と《埴輪 短甲の武人》について	列品管理課登録室アソシエイトフェロー 鈴木希帆	12月1日	根岸友山・武香顕彰会
11	同上	日朝の墨戯の交わり	調査研究課絵画・彫刻室主任研究員 山下善也	11月9日	高麗美術館「朝鮮通信使と京都」展講演
12	同上	伝雪舟「富士三保清見寺図」の波及	調査研究課絵画・彫刻室主任研究員 山下善也	11月23日	雪舟研究会公開講座基調講演（山口県立美術館）
13	同上	描かれた富士山	調査研究課絵画・彫刻室主任研究員 山下善也	12月7日	横浜市民ギャラリーあざみ野 あざみ野カレッジ講演
14	同上	「矢代幸雄とシックマン—20 世紀における中国絵画観の変容」	調査研究課東洋室 塚本 磨充	6月13日	「美術と宝物の相関性についての比較美術史的研究」分科ワークショップ（東京大学）
15	同上	「江戸時代的中國書畫收藏」	調査研究課東洋室 塚本 磨充	6月25日	台湾師範大学藝術史研究所講演会（台湾師範大学）
16	同上	「中国絵画史における「人格」と「かたち」—呉彬「山陰道上図巻」と価値評価の構造」	調査研究課東洋室 塚本 磨充	26年1月11日	第37回文化財の保存及び修復に関する国際研究集会「かたち」再考—開かれた語りのために—（東京文化財研究所）
17	同上	Remodeling Chinese Paintings in Edo Japan: Chan Yue's Arhats and Their Restructuring as Triptychs	調査研究課東洋室 塚本 磨充	26年2月14日	College Art Association 102nd Annual Conference, Chicago
18	同上	縄文土器に飾られた人物と動物	調査研究課考古室 井出 浩正	11月7日	韓国国立中央博物館学術交流発表会
19	同上	「三次元形状計測を用いた同範銅鐸の検討」	奈良県立橿原考古学研究所 奥山誠義、水野敏典、奈良県立橿原考古学研究所附属博物館 北井利幸、調査研究課考古室 品川 欣也、（公財）辰馬考古資料館 青木政幸、神戸市立博物館 橋詰清孝	7月6～7日	『日本文化財科学会第 30 回大会要旨集』弘前大学（日本文化財科学会）、250・251頁
20	同上	忠清南道 公州 水村里古墳群出土金銅製装身具についての韓日製作技術の比較	列品管理課主任研究員 古谷 毅	9月27日	韓国・忠南歴史文化研究院・公州水村里遺跡発掘10周年記念 国際学術シンポジウム
21	同上	奈良県三輪山祭祀遺跡群と古墳時代の神マツリ	列品管理課主任研究員 古谷 毅	11月10日	奈良県立橿原考古学研究所・平成25年秋季特別展 研究講座
22	同上	家形埴輪研究史と研究成果および課題 -機能と性格-	列品管理課主任研究員 古谷 毅	6月15日	韓国・嶺南文化財研究院・韓日家形土器埴輪の比較と歴史的意義（韓日家形土器・埴輪(하니와) 共同研究会）
23	同上	南九州における古墳文化の特質	列品管理課主任研究員 古谷 毅	26年1月23日	明治大学大学院文学研究科 「複眼的日本古代学研究所の人材育成」

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
					ログラム」 南西日本プログラム 特別講義
24	同上	大型古墳と中小古墳 一再整理から見た七観 古墳の意義一	列品管理課主任研究員 古谷 毅	26年2月2日	(大阪府)堺市 第4回百舌鳥古墳 群講演会「巨大古墳あらかわの一履 中天皇陵古墳を考える一」
25	同上	日本原始・古代の武器と馬具	列品管理課主任研究員 古谷 毅	26年2月22日	(千葉県)千葉市埋蔵文化財調査セ ンター 平成25年度 千葉市遺跡 発表会 特別講演
26	同上	特別展『人間国宝展』の見どころ	企画課特別展室 横山梓	26年1月17日	青梅市文化センター (NHK講演 会)
27	同上	特別展『人間国宝展』の見どころ	企画課特別展室 横山梓	26年1月22日	東京国立博物館 (花王特別内覧会)
28	同上	異なる文化を受け入れる	博物館教育課長 小泉恵 英	26年2月13日	日本通運2013年度美術品営業研修
29	同上	「描かれた女性の姿」	調査研究課絵画・彫刻室長 田沢裕賀	4月21日	大和文華館「人物画名品展」特別 講演会
30	同上	「Dos Biombos Japoneses de la Escuela Rimpa」	調査研究課絵画・彫刻室長 田沢裕賀	6月12日	スペイン・ブラド美術館 特別展 講演会
31	同上	「文化財としての絵画」	調査研究課絵画・彫刻室長 田沢裕賀	10月26日	新宿区立新宿歴史博物館歴史講座
32	同上	The popularity of sarasa for Thai market in Japan During the 17 <sup>th</sup> and 18 <sup>th</sup> century	調査研究課工芸室主任研 究員 小山弓弦葉	11月8日	“Textiles and Dress at the Thai Court and Beyond” ( Queen Sirikit Museum of Textiles)
33	同上	特別展『人間国宝展』の魅力	調査研究課工芸室主任研 究員 小山弓弦葉	12月11日	板橋区立文化会館 (NHK講演会)
34	同上	染織作家に見る『人間国宝展』の魅力	調査研究課工芸室主任研 究員 小山弓弦葉	26年1月24日	東京国立博物館、(雑誌「美しい キモノ」主催)
35	同上	特別展『人間国宝展』シンポジウム「伝統工 芸の21世紀を考える」	調査研究課工芸室主任研 究員 小山弓弦葉	26年1月25日	東京国立博物館
36	同上	特別展『人間国宝展』の魅力	調査研究課工芸室主任研 究員 小山弓弦葉	26年1月30日	五日市地域交流センター (NHK 講演会)
37	同上	博物館資料の臨床保存学	保存修復課長 神庭信幸	26年2月21日	平成25年度保存科学研究集会 「文化財の収蔵・展示環境」
38	東日本大震災による 被災文化財の保存修 復と文化財の防災に 関する研究	被災文化財等救援活動における人材養成一 『陸前高田学校』(文化財保存修復専門家養 成実践セミナー・レベルⅡ)一	保存修復課長 神庭信幸、 保存修復課環境保存室長 和田浩、保存修復課主任研 究員 荒木臣紀、保存修復 課保存修復室アシエイト フェロー 鈴木晴彦、保 存修復課保存修復室長 土屋裕子、本陸前高田市立 博物館長 本多文人、陸前 高田市立博物館副主幹 熊谷賢、岩手県立博物館学 芸第二課長 赤沼英男	7月20日	文化財保存修復学会第35回大会
39	同上	陸前高田市立博物館における一時保管環境 の改善過程	保存修復課環境保存室長 和田浩、保存修復課長 神 庭信幸、陸前高田市立博物 館長 本多文人、陸前高田 市立博物館副主幹 熊谷 賢、岩手県立博物館学芸 第二課長 赤沼英男	7月20日	文化財保存修復学会第35回大会
40	同上	津波で被災した資料の一時保管環境の改善 過程	保存修復課環境保存室長 和田浩、保存修復課長 神 庭信幸、陸前高田市立博物 館長 本多文人、陸前高田 市立博物館副主幹 熊谷 賢、岩手県立博物館学芸 第二課長 赤沼英男	9月5日	2013東アジア文化遺産保存シンポ ジウム
41	同上	被災文化財等救援活動における保存修理一 東京国立博物館修理室での油彩画等保存修 理活動一	保存修復課保存修復室長 土屋裕子、保存修復課長 神庭信幸、保存修復課保存 修復室アシエイトフェ ロー 鈴木晴彦、米倉乙世 平河智恵、保存修復課保存 修復室有期雇用職員 小 川絢子、保存修復課保存修 復室有期雇用職員 三浦 知佳、東京芸術大学 池上 久美、東洋画修復技術者 宋亨蘭	7月20日	文化財保存修復学会第35回大会
42	同上	特別展示場の湿度環境安定化を目指した運 用方法の考案	保存修復課主任研究員 荒木臣紀、保存修復課環境 保存室長 和田浩、保存修 復課長 神庭信幸	7月20日	文化財保存修復学会第35回大会
43	同上	文化財の断層撮影に適した大型エックス線 CTスキャナーの開発	保存修復課主任研究員 荒木臣紀、保存修復課環境 保存室長 和田浩、保存修 復課長 神庭信幸	9月4日～7日	2013東アジア文化遺産保存シンポ ジウム
44	同上	名物裂を用いた表装裂の復元に関する共同	保存修復課保存修復室ア	7月21日	文化財保存修復学会第35回大会

	研究テーマ	発表テーマ	発表者(職名・名前)	実施日	学会等名
		研究	ソシエイトフェロー 鈴木晴彦、米倉乙世、平河智恵、保存修復課長 神庭信幸、特任研究員 澤田むつ代、調査研究課工芸室主任研究員 小山弓弦葉、調査員 小笠原小枝、国宝修理装こう師連盟 岡興造、坂田雅之、加藤章男、半田昌規、大菅直、沖本明子、廣瀬織物有限会社 廣瀬賢治、株式会社鳥原商店 鳥原雄治		
45	同上	花車図屏風(東京国立博物館蔵)の修理事例～修理におけるクリーニング効果に着目して～	保存修復室アソシエイトフェロー 平河智恵、鈴木晴彦、米倉乙世、保存修復課長 神庭信幸、保存修復課保存修復室長 土屋裕子、国宝修理装こう師連盟 沖本明子	7月21日	文化財保存修復学会第35回大会
46	同上	作品に安全な展示方法の新案②- ミニアチュール展示の工夫を例として-	保存修復課保存修復室アソシエイトフェロー 米倉乙世、鈴木晴彦、平河智恵、保存修復課長 神庭信幸、保存修復課保存修復室長 土屋裕子、バレリー・リー(東洋画修復技術者)	7月20日	文化財保存修復学会第35回大会
47	同上	被災文化財等救援事業における資料保存処置トリアージの重要性	保存修復課保存修復室アソシエイトフェロー 鈴木晴彦、保存修復課長 神庭信幸、保存修復課環境保存室長 和田浩	7月20日	文化財保存修復学会第35回大会
48	同上	Stabilization Treatment of Cultural Asset Damaged by Tsunami on March 11 <sup>th</sup> , 2011	保存修復課長 神庭信幸、赤沼秀男、熊谷賢、保存修復課環境保存室長 和田浩、保存修復課主任研究員 荒木臣紀、保存修復課保存修復室アソシエイトフェロー 鈴木晴彦、保存修復課保存修復室長 土屋裕子	12月6日	1995年の阪神淡路大震災から続く、自然災害が引き起こす文化財被害への対応
49	同上	岩手県陸前高田市立博物館と共に歩んだ33カ月	保存修復課長 神庭信幸	26年2月28日	君津地方公立博物館協議会第2回研修会
50	同上	東京国立博物館の取り組みと課題	保存修復課長 神庭信幸	26年3月7日	日本博物館協会研究協議会 東日本大震災から3年～復興への道のりを検証する～
51	博物館の環境保存に関する研究	博物館における包括的保存システムの構築に関する研究(V)	保存修復課長 神庭信幸、保存修復課環境保存室長 和田浩、保存修復課主任研究員 荒木臣紀、保存修復課保存修復室長 土屋裕子、佐藤香子	7月20日	文化財保存修復学会第35回大会
52	同上	低酸素環境維持機能をもつミイラ展示用ケースの開発	保存修復課長 神庭信幸、保存修復課環境保存室長 和田浩、企画課デザイン室主任研究員 矢野賀一、吉川辰巳、久保知、佐藤孝典	7月20日	文化財保存修復学会第35回大会
53	同上	低酸素環境維持機能をもつミイラ展示用ケースの開発	保存修復課長 神庭信幸、保存修復課環境保存室長 和田浩、企画課デザイン室主任研究員 矢野賀一、吉川辰巳、久保知、佐藤孝典	9月6日	2013東アジア文化遺産保存シンポジウム
54	同上	東京国立博物館所蔵コプト裂一プレッシャーマウント法等による安全な固定・保管・公開	保存修復課保存修復室長 土屋裕子、保存修復課長 神庭信幸、保存修復課保存修復室アソシエイトフェロー 米倉乙世、調査研究課工芸室主任研究員 小山弓弦葉、東京文化財研究所 石井美恵、染織品修理技術者 山崎真紀子、(株)テラ 星肖江	7月20日	文化財保存修復学会第35回大会
55	博物館環境デザインに関する調査研究	講座 工作坊『特展的展示設計』『展示と照明II』(ワークショップ《展示と照明》)	企画課デザイン室長 木下史青	5月27～29日	國立臺南藝術大學 博物館學與古物維護研究所(会場・國立自然科學博物館、國立臺灣美術館)
56	同上	レクチャーシリーズ「エコロジー空間」2013「茶室のエコロジー」『茶室と光』	企画課デザイン室長 木下史青	6月6日	総合地球環境学研究所「メガシティが地球環境に及ぼすインパクト」プロジェクト(会場・京都精華大学)

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
57	同上	『展示構成と会場デザイン』	企画課デザイン室長 木下史青	9月11日	文化庁 第8回指定文化財(美術工芸品)企画・展示セミナー(会場・九州国立博物館研修室)
58	同上	展示論講座 ～博物館の展示～ 『展示と照明』	企画課デザイン室長 木下史青	9月13日	日本展示学会(会場・東京国立博物館 黒田記念館セミナー室)
59	同上	魅力ある博物館への誘いー展示デザインの妙ー 『魅力ある展示ーアイデア・実践ー』	企画課デザイン室長 木下史青	11月5日	青森県博物館等協議会平成25年度青森県博物館大会(会場・青森県立郷土館小ホール)
60	同上	美術館・博物館において必要な展示照明とは	企画課デザイン室長 木下史青	26年3月13日	応用色彩光学勉強会(会場・東芝ライテック川崎事務所 川崎スマートコミュニティセンター)
61	博物館教育に関する調査研究	東京国立博物館の生涯学習ボランティアについて	ボランティア室長 鈴木みどり	7月4日	文化庁「第二回企画展示セミナー」
62	同上	東京国立博物館におけるボランティア制度の現状と課題	ボランティア室長 鈴木みどり	26年1月16日	平成25年度研究協議会「博物館とボランティアの新しい地平」(日本博物館協会)
63	博物館資料・業務の情報処理に関する調査研究	Digitization and Database in Tokyo National Museum	博物館情報課情報管理室長 村田良二	10月22日	The 2nd Yeongwol International Museum Forum (Korea)
64	東アジアの書道史における料紙と書風に関する総合的研究	「日本の書法」	副館長 島谷弘幸	4月20日	上海博物館
65	同上	「書の普遍性と時代による進展」	副館長 島谷弘幸	5月6日	君津地方書道協会
66	同上	「博物館の現状と課題・書の魅力と見方」	副館長 島谷弘幸	7月29日	一般社団法人ディレクトフォー
67	同上	「陽明文庫所蔵の宸翰について」	副館長 島谷弘幸	9月21日	陽明文庫講座
68	同上	「東京国立博物館の歴史と書の魅力」	副館長 島谷弘幸	11月13日	国際医療福祉大学 総合講座(市民開放授業)
69	同上	「浦上玉堂の書」	副館長 島谷弘幸	11月16日	シンポジウム浦上玉堂(浦上家史編集委員会主催)
70	同上	「茶の湯と書」	副館長 島谷弘幸	11月24日	畠山記念館 特別展「書之美」関連講演会
71	同上	「『和様の書』鑑賞の手引き」	調査研究課書跡・歴史室アソシエイトフェロー 恵美千鶴子	7月22日	NHK主催文化講演会
72	同上	「古筆にみる伝統と創造ー平安時代の世尊寺家」	副館長 島谷弘幸	26年1月25日	大東文化大学
73	同上	「日本文化と屏風の鑑賞」	副館長 島谷弘幸	26年2月25日	Yale University Art Gallery' s exhibition
74	在欧日本仏教美術の基礎的調査・研究とデータベース化による日本仏教美術の情報発信	「展覧会による日本美術の情報発信」	副館長 島谷弘幸	26年2月8日	第6回21世紀ミュージアム・サミット
75	極薄青銅器の製作技術解明ー中国金属工芸史を再構築するための基盤研究ー	漢代青銅器の工人集団類別ー温酒尊を例にしてー	列品管理課平常展調整室主任研究員 川村佳男	12月14日～15日	日本中国考古学会
76	視覚表現とコレクションの形成に見る縄文土器の美術的受容に関する研究(科研費)	トークセッション「線を遊ぶ、語るー縄文から現代までー」	列品管理課登録室アソシエイトフェロー 鈴木希帆	11月23日	信州大学人文学部芸術コミュニケーション分野、茅野市美術館 主催

## 【京都国立博物館】10件

○有形文化財の収集・保存・管理・展示・教育活動等にかかる調査・研究

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
1	出土・伝世古陶磁に関する調査研究	京都から見た〈山茶碗〉編年	工芸室長 尾野善裕	7月13日	東海土器研究会 プレシンポジウム
2	出土・伝世古陶磁に関する調査研究	京都から見た〈山茶碗〉編年～空白の14・15世紀をめぐって～	工芸室長 尾野善裕	11月2日	第2回東海土器研究会
3	特別展覧会「魅惑の清朝陶磁」に関する調査研究	清朝陶磁と日本人	工芸室長 尾野善裕	26年1月18日	長崎歴史文化博物館講演会
4	收藏品・寄託品及び関連品に関する調査研究	人形と京都	教育室長 山川 暁	4月27日	日本家政学会 関西支部講演会
5	收藏品・寄託品及び関連品に関する調査研究	宋元時期仏教交流中の絲綢伝播	教育室長 山川 暁	10月26日	海上絲綢之路ー亜洲の跨文化交流和文化遺産検討会
6	近世絵画に関する調査研究	王済遠的油画、水彩画和水墨画ー有関中国近現代油画家の創作意識ー	列品管理室研究員 吳 孟晋	5月28日	万象更新ー現代性、視覚文化与二十世紀中国ー 國際學術研討会(台湾・仏光大学歴史学系)
7	近世絵画に関する調査研究	Yuan Jiang' s Screen and its Function in Eighteenth-century Yangzhou	列品管理室研究員 吳 孟晋	12月6日	The Making of Chinese Painting: 700 to the present (Victoria and Albert Museum, London)
8	近世絵画に関する調査研究	従須磨收藏看嶺南画派画現実生活的表現ー以容大塊所画的作品为中心ー	列品管理室研究員 吳 孟晋	12月12日	国画復活運動与広東中国国画國際學術研討会(中国・嶺南画派紀念館)

	研究テーマ	発表テーマ	発表者(職名・名前)	実施日	学会等名
9	近世絵画に関する調査研究	陳澄波与一九二〇年代日本の油画	列品管理室研究員 吳孟晋	26年1月18日	陳澄波專題研究2014工作坊(台湾・台南市政府文化局)
10	近世絵画に関する調査研究	筆墨による代理戦争—日中戦争における中国の絵画—	列品管理室研究員 吳孟晋	26年2月18日	科学研究会「社会主義と戦争のメモリースケープ」(科学研究費基盤B「社会主義文化における戦争のメモリースケープ研究—旧ソ連・中国・ベトナム」、会場: 亜細亜大学)

【奈良国立博物館】 21件

○有形文化財の収集・保存・管理・展示・教育活動等にかかる調査・研究

	研究テーマ	発表テーマ	発表者(職名・名前)	実施日	学会等名
1	正倉院宝物や奈良の出土遺物・伝世品・伝統工芸・芸能など、当該地域に密着した文化財に関する調査研究を実施し、展覧会等に反映させる	當麻寺の彫像	学芸部長補佐 岩田茂樹	5月25日	奈良国立博物館公開講座
2	同上	明王像の諸相と魅力	同上	9月22日	奈良学セミナー(於:奈良市中部公民館)
3	歴史学・考古学・美術史学などの人文諸学の見地から館藏品・寄託品等の調査研究を行い、その成果を積極的に公表する	重源—大仏再興にこめた祈り	学芸部長補佐 内藤 栄	7月18日	エル・おおさか歴史セミナー『救済に携わるすばらしい僧侶たち』(於:エル・おおさか)
4	同上	観尊—菩薩と呼ばれた聖	同上	8月30日	エル・おおさか歴史セミナー『救済に携わるすばらしい僧侶たち』(於:エル・おおさか)
5	同上	光明皇后の想いを感じる正倉院展	同上	9月7日	奈良女子大学社会連携センター地域公開講座(於:奈良女子大学)
6	正倉院宝物や奈良の出土遺物・伝世品・伝統工芸・芸能など、当該地域に密着した文化財に関する調査研究を実施し、展覧会等に反映させる	小学生と鑑賞する正倉院展	同上	9月24日	奈良市教育委員会学校教育課 教育事業(於:奈良市教育センター)
7	同上	正倉院宝物の鑑賞入門	同上	10月5日	正倉院展の楽しみ方〜まほろばの集いIN福岡(於:よみうりプラザ)
8	同上	正倉院学術シンポジウムパネルディスカッション	同上	10月27日	正倉院学術シンポジウム「鑑真和上と正倉院宝物」(於:奈良県新公会堂)
9	歴史学・考古学・美術史学などの人文諸学の見地から館藏品・寄託品等の調査研究を行い、その成果を積極的に公表する	実範と金亀舍利塔	同上	11月24日	第十二回ザ・グレートブッダ・シンポジウム「中世東大寺の華嚴世界—戒律・禪・浄土—」(於:東大寺総合文化センター)
10	同上	正倉院宝物と百済文化	同上	11月30日	第二回国際シンポジウム「高麗時代 蒲柳雜樹水禽文螺鈿描金香箱」研究(於:韓国国立中央博物館)
11	正倉院宝物や奈良の出土遺物・伝世品・伝統工芸・芸能など、当該地域に密着した文化財に関する調査研究を実施し、展覧会等に反映させる	第4回 茶室・八窓庵をのぞいてみませんか	情報サービス室長 吉澤 悟	10月21日	奈良国立博物館サンデートーク
12	歴史学・考古学・美術史学などの人文諸学の見地から館藏品・寄託品等の調査研究を行い、その成果を積極的に公表する	飛鳥仏の源流をたどる	教育室長 岩井共二	4月21日	奈良国立博物館サンデートーク
13	同上	仏像を10倍楽しく見る方法を教えます 第二幕 仏像はどうしてこんな姿をしているの?	同上	8月10日	奈良国立博物館ワークショップ
14	正倉院宝物や奈良の出土遺物・伝世品・伝統工芸・芸能など、当該地域に密着した文化財に関する調査研究を実施し、展覧会等に反映させる	仏像に会う—展覧会案内—	同上	8月22日	夏季講座「仏教美術へのいざない」(於:奈良県文化ホール)
15	同上	形から見た仏像の諸相	同上	9月7日	奈良国立博物館公開講座

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
16	歴史学・考古学・美術史学などの人文諸学の見地から館藏品・寄託品等の調査研究を行い、その成果を積極的に公表する	ハコ、いろいろ	主任研究員 清水 健	7月21日	奈良国立博物館サンデートーク
17	正倉院宝物や奈良の出土遺物・伝世品・伝統工芸・芸能など、当該地域に密着した文化財に関する調査研究を実施し、展覧会等に反映させる	読売新聞・正倉院展前授業	同上	11月1日	奈良育英中学校
18	歴史学・考古学・美術史学などの人文諸学の見地から館藏品・寄託品等の調査研究を行い、その成果を積極的に公表する	怨霊とタタリの歴史学	研究員 斎木涼子	11月17日	奈良国立博物館サンデートーク
19	同上	真言密教と天皇―摂関期から院政期へ―	同上	11月30日	日本史研究会
20	歴史学・考古学・美術史学などの人文諸学の見地から館藏品・寄託品等の調査研究を行い、その成果を積極的に公表する	国宝 子島曼茶羅の銀泥表現	研究員 原 瑛莉子	9月14日	美術史学会
21	同上	附属品	同上	12月15日	奈良国立博物館サンデートーク

## 【九州国立博物館】 35件

○有形文化財の収集・保存・管理・展示・教育活動等にかかる調査・研究

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
1	特別展「大ベトナム展」に関する調査研究	「安南文書の世界」	博物館科学課保存修復室長 藤田 励夫	5月12日	特別展「大ベトナム展」特別講演会
2	高等学校所蔵考古資料の調査研究	高等学校の考古資料が抱える諸問題	企画課特別展室主任研究員 市元 壘	5月22日	福岡県高等学校歴史研究会報告
3	蘭学関係資料の調査研究	「江戸のサイエンス」展の楽しみ方ー武雄蘭学資料の魅力にせまるー	文化財課研究員 荒木和憲	6月15日	トピック展示「江戸のサイエンスー武雄蘭学の軌跡」ミュージアム講座
4	文化財の材質・構造等に関する共同研究	X線CTを活用した勝負砂古墳出土有機質製品の調査	博物館科学課長 今津節生	7月6日	日本文化財科学会
5	特別展「中国 王朝の至宝」に関する調査研究	「中国 王朝の至宝 三〇〇〇年にわたる美の興亡、そのダイナミズムを体感する！」	企画課特別展室主任研究員 市元 壘	7月12日	特別展「中国 王朝の至宝」解説講座（筑紫野市）
6	特別展「中国 王朝の至宝」に関する調査研究	「中国王朝 栄華を極めたのは誰だ」	学芸部長 谷豊信	7月13日	特別展「中国 王朝の至宝」リレー講座
7	特別展「中国 王朝の至宝」に関する調査研究	「中国 王朝の至宝を10倍楽しく見る方法」	企画課特別展室主任研究員 市元 壘	7月20日	特別展「中国 王朝の至宝」関連リレー講座
8	文化財の保存環境に関する調査研究	博物館での飲食を伴う場所におけるIPM活動について	博物館科学課研究員 秋山 純子	7月20日	文化財保存修復学会 第35回大会（東北大学）
9	文化財の材質・構造に関する調査研究	赤外線撮影法による彩色材料調査の有効性に関する研究1	博物館科学課研究員 秋山 純子	7月21日	文化財保存修復学会 第35回大会（東北大学）
10	文化財の保存環境に関する調査研究	ミュージアムIPMの実践と課題	学芸部特任研究員 本田光子	7月20日	文化財保存修復学会 第35回大会（東北大学）
11	文化財の保存環境に関する調査研究	市民ボランティアによる文化財IPMの発信について	学芸部特任研究員 本田光子	7月21日	文化財保存修復学会 第35回大会（東北大学）
12	特別展「中国 王朝の至宝」に関する調査研究	「中国 王朝の至宝でよみとく3000年」	企画課特別展室主任研究員 市元 壘	7月28日	特別展「中国 王朝の至宝」地域講演会（岡垣町）
13	特別展「中国 王朝の至宝」に関する調査研究	「中国王朝 栄華を極めたのは誰だ」	学芸部長 谷豊信	8月4日	特別展「中国 王朝の至宝」地域講演会（篠栗町）
14	特別展「中国 王朝の至宝」に関する調査研究	「中国 王朝の至宝」の魅力に迫るー学芸員が語る「歴史」と「文化」ー	企画課特別展室主任研究員 市元 壘	8月20日	特別展「中国 王朝の至宝」特別展セミナー（九州経済調査会）
15	特別展「中国 王朝の至宝」に関する調査研究	「比べて分かる 中国 王朝の至宝」	企画課特別展室主任研究員 市元 壘	8月23日	特別展「中国 王朝の至宝」特別出張講演（西日本新聞エリアセンター姪浜）
16	特別展「中国 王朝の至宝」に関する調査研究	「中国王朝 栄華を極めたのは誰だ」	学芸部長 谷豊信	8月25日	特別展「中国 王朝の至宝」地域講演会（柳川市）
17	X線CTスキャナによる青銅器・彫刻・漆工などの構造技法解析	X線CT（3D-CT）を用いた文化財の状態調査	博物館科学課長 今津節生	9月4日	東アジア文化遺産学会

	研究テーマ	発表テーマ	発表者(職名・名前)	実施日	学会等名
18	海外展「日本文化展」に関する調査研究	「ベトナム・ハノイにおける文化庁海外展について」	展示課主任研究員 岸本圭	10月5日	国際シンポジウム「ベトナムに恋して」
19	日本書道史における三蹟の研究	「太宰府ゆかりの和様の書」	文化財課資料登録室主任研究員 丸山猶計	10月19日	大宰府学講座(太宰府市)
20	特別展「尾張徳川家の至宝」に関する調査研究	特別展「尾張徳川家の至宝」について	企画課文化交流展室主任研究員 川畑憲子	10月20日	特別展「尾張徳川家の至宝」アクロス・文化学び塾
21	特別展「尾張徳川家の至宝」に関する調査研究	「御三家筆頭 尾張徳川家の至宝展」	展示課展示調整室主任研究員 酒井芳司	11月1日	特別展「尾張徳川家の至宝」解説講座(筑紫野市)
22	特別展「尾張徳川家の至宝」に関する調査研究	「殿様の教養—尾張徳川家の名筆と典籍—」	展示課展示調整室主任研究員 酒井芳司	11月2日	特別展「尾張徳川家の至宝」連続講座
23	特別展「尾張徳川家の至宝」に関する調査研究	「絵になる源氏物語」	企画課特別展室研究員 鷲頭桂	11月2日	特別展「尾張徳川家の至宝」連続講座
24	特別展「尾張徳川家の至宝」に関する調査研究	「天下人のあかし—信長・秀吉・家康の遺愛品」	文化財課資料登録室主任研究員 荒木和憲	11月9日	特別展「尾張徳川家の至宝」連続講座
25	特別展「尾張徳川家の至宝」に関する調査研究	「国宝 初音の調度の魅力」	企画課文化交流展室主任研究員 川畑憲子	11月9日	特別展「尾張徳川家の至宝」連続講座
26	特別公開「江上波夫の眼 ことばとかたち」に関する研究	江上波夫旧蔵作品紹介	企画課長 臺信祐爾	11月28日	第2回ふるさとセミナー(春日市奴国の丘歴史資料館)
27	朝鮮半島、三国時代の考古・美術に関する調査研究	「九州の中の百済及び渡来人の文化」	展示課長 赤司善彦	12月5日	駐福岡韓国総領事館主催「九州の中の韓国文化」
28	特別展「国宝 大神社展」に関する調査研究	「神像のみかた」	展示課主任研究員 楠井隆志	26年1月18日	特別展「国宝 大神社展」連続講座「国宝 大神社展」の壺
29	特別展「国宝 大神社展」に関する調査研究	「神話と『古事記』『日本書紀』」	展示課主任研究員 酒井芳司	26年1月18日	特別展「国宝 大神社展」連続講座「国宝 大神社展」の壺
30	特別展「国宝 大神社展」に関する調査研究	「日本人はいかに表現したか。」	展示課主任研究員 楠井隆志	26年1月19日	特別展「国宝 大神社展」地域講演会「国宝 大神社展」への誘い(久留米市)
31	特別展「国宝 大神社展」に関する調査研究	「古神宝の調度」	企画課文化交流展室主任研究員 川畑憲子	26年1月25日	特別展「国宝 大神社展」連続講座「国宝 大神社展」の壺
32	特別展「国宝 大神社展」に関する調査研究	「神々のすがた」	企画課特別展室研究員 森貫久美子	26年1月25日	特別展「国宝 大神社展」連続講座「国宝 大神社展」の壺
33	特別展「国宝 大神社展」に関する調査研究	「天の岩戸と神の島—古代人の世界観」	企画課文化交流展室長 河野一隆	26年2月2日	特別展「国宝 大神社展」地域講演会「国宝 大神社展」への誘い(福津市)
34	特別展「国宝 大神社展」に関する調査研究	「よみがえった宮地嶽古墳黄金の太刀」	展示課長 赤司善彦	26年2月9日	特別展「国宝 大神社展」地域講演会「国宝 大神社展」への誘い(福岡市)
35	特別展「国宝 大神社展」に関する調査研究	「よみがえった宮地嶽古墳黄金の太刀」	展示課長 赤司善彦	26年3月2日	特別展「国宝 大神社展」イベント「宮地嶽黄金伝説」(福岡市)

【東京文化財研究所】計56件

○文化財に関する基礎的・体系的な調査・研究の推進(21件)

	研究テーマ	発表テーマ	発表者(職名・名前)	実施日	学会等名
1	文化財の資料学的研究	華族たちの写真同人誌『華影』と黒田清輝宛小川一真書簡	企画情報部長 田中 淳	4月30日	企画情報部研究会
2	同上	平安後期の飛天光背の展開をめぐる—滋賀・浄厳院像、同・西教寺像の実査を踏まえて—	企画情報部文化形成研究室長 津田徹英	11月16日	美術史学会東部例会
3	近現代美術に関する交流史的研究	モダニズムのなかの文人画—画家中川一政の「文人」像	企画情報部長 田中 淳	6月21日	第48回国際学術シンポジウム「美術文化から見る韓日」 東國大学校日本学研究所
4	同上	時代を拓いた人—黒田清輝に迫る	企画情報部副部長 山梨絵美子	7月13日	長野県信濃美術館
5	同上	徳川慶喜の油絵を読む—幕府開成所と近代洋画	企画情報部副部長 山梨絵美子	11月16日	静岡市美術館
6	同上	移動する画家たち—1920年代の日本の岩手県の画家たち	企画情報部長 田中淳	12月6~7日	国際学術研討会「異郷與家郷 東亜美術史的伏流與激蕩 1920-40」 国立台湾大学芸術史研究所
7	美術の表現・技法・材料に関する多角的な研究	東京国立博物館蔵国宝本・千手観音像の表現	企画情報部主任研究員 小林 達朗	7月30日	2013年度第4回企画情報部研究会
8	同上	平安仏画の表現—虚空蔵菩薩と千手観音像—	企画情報部主任研究員 小林 達朗	10月4日	第47回オープンレクチャー「モノ／イメージとの対話」
9	同上	螺鈿を訪ねて西へ東へ—5000年の世界史を探る—	企画情報部広領域研究室長 小林 公治	10月5日	第47回オープンレクチャー「モノ／イメージとの対話」
10	同上	美しい術—国宝千手観音像の場合	企画情報部主任研究員 小林 達朗	26年1月11日	第37回文化財の保存及び修復に関する国際研究集会発表

研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名	
11	無形文化財の保存・活用に関する調査研究	世阿弥作《四季祝言》《敷島》の復元	無形文化遺産部無形文化財研究室長 高桑いづみ	5月26日	能楽学会第12回大会
12	同上	「上げ歌」形成試論	同上	7月14日	楽劇学会第21回大会
13	同上	実践としての謡—音楽としてのおもしろさはどこにあるのか	同上	11月27日	京都市立芸術大学伝音講座
14	同上	くり返すということ	同上	26年1月10日	第37回文化財の保存及び修復に関する国際研究集会発表
15	同上	東京文化財研究所蔵「特殊再生装置を要する音盤」	無形文化遺産部音声・映像記録研究室長 飯島 満	10月8日	第8回公開学術講座
16	同上	染織技術を守るということ—文化財保護という立場から—	無形文化遺産部研究員 菊池理予	12月13日	大妻女子大学創成工房
17	同上	無形文化遺産情報ネットワークの活動報告	無形文化遺産部研究員 今石みぎわ	6月11日	連携研究会：文化遺産の復興に向けたミュージアムの活用のための基礎的研究—大学共同利用機関の視点から 国立民族学博物館
18	同上	アイヌと本州以南の祭祀具—イナウと削りかけ	同上	7月4日	特別講義もう一つの日本と出会う：アイヌ文化 東京造形大学
19	同上	無形文化遺産情報ネットワーク	無形文化遺産部主任研究員 久保田裕道	26年1月14日	総合研究会
20	無形文化遺産保護に関する研究交流・情報収集	現存する一節切—正倉院から17世紀初頭まで	無形文化遺産部無形文化財研究室長 高桑いづみ	9月14日	韓日国際管楽器フェスティバル
21	同上	日本における出土鼓胴と古製の鼓胴について	同上	11月23日	第五回東亜細亜国際音楽考古学学会

### ○文化財の研究に関する調査手法の研究・開発の推進（1件）

研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名	
1	文化財デジタル画像形成に関する調査研究	人物の細部表現から見た「群れとしてのかたち」	文化遺産国際協力センター主任研究員 江村知子	26年1月11日	第37回文化財の保存及び修復に関する国際研究集会発表

### ○科学技術の活用等による文化財の保存科学や修復技術に関する中核的な支援拠点として、先端的調査研究等の推進（23件）

研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名	
1	文化財のカビ被害予防と対策のシステム化についての研究	津波被災した紙質文化財等から分離した微生物の諸性質	保存修復科学センター生物科学研究室長 木川りか、研究員 佐藤嘉則	7月20日～21日	文化財保存修復学会第35回大会
2	同上	キトラ古墳石室における微生物制御：石室から分離された微生物の紫外線（UV）耐性試験結果について	保存修復科学センター生物科学研究室長 木川りか、研究員 佐藤嘉則	同上	同上
3	文化財の保存環境の研究	展示ケース内有機酸量の季節変化と吸着シートによる対策の事例	保存修復科学センター保存科学研究室長 佐野千絵、客員研究員 呂 俊民、研究補佐員 古田嶋智子	同上	同上
4	同上	文化財展示収蔵施設に用いられる内装材料の空気質への影響 その3—コーキング材からの放散ガス	同上	同上	同上
5	同上	展示ケース内の有機酸濃度の解析	同上	同上	同上
6	文化財の材質及び劣化調査法に関する研究	ハンドヘルド蛍光X線分析装置によるウズベキスタン国立歴史博物館所蔵資料の材料調査	保存修復科学センター分析科学研究室長 早川泰弘	7月6日～7日	日本文化財科学会第30回大会
7	同上	国宝平等院鳳凰堂内西面扉絵日想観の下地層について	保存修復科学センター分析科学研究室長 早川泰弘	7月20日～21日	文化財保存修復学会第35回大会
8	周辺環境が文化財に及ぼす影響評価とその対策に関する研究	臼杵市・下藤キリシタン墓地における遺構の凍結防止策	保存修復科学センター修復材料研究室長 朽津信明、主任研究員 森井順之	同上	同上
9	同上	中世石造物に見られる彩色顔料の特徴について	保存修復科学センター修復材料研究室長 朽津信明	7月6日～7日	日本文化財科学会第30回大会
10	同上	磨崖和霊石地蔵の修復	保存修復科学センター修復材料研究室長 朽津信明、主任研究員 森井順之	9月5日～6日	第3回東アジア文化遺産保存国際シンポジウム
11	同上	大分・臼杵磨崖仏における次期保存修理に向けた調査研究—磨崖仏の劣化とその対策—	保存修復科学センター主任研究員 森井順之	26年2月4日	地盤遺産シンポジウム
12	文化財の防災計画に関する研究	石巻文化センター被災文化財一時保管場所の温湿度環境について	保存修復科学センター長 岡田 健、主任研究員 犬塚将英、主任研究員 森井順之	7月20日～21日	文化財保存修復学会第35回大会
13	文化財における伝統技術及び材料に関する調査研究	桃山文化期における輸入漆の調達と使用に関する調査（Ⅲ）	保存修復科学センター伝統技術研究室長 北野信彦	7月6日～7日	日本文化財科学会第30回大会
14	同上	桃山文化期欄間彩色の保存と資料活用に関する基礎的調査	保存修復科学センター伝統技術研究室長 北野信彦、主任研究員 吉田直人	7月20日～21日	文化財保存修復学会第35回大会
15	文化財修復材料の適用に関する調査研究	Structural Characterization of MaFunori Extracted from Red Seaweed through NMR Spectroscopy	保存修復科学センター主任研究員 早川典子	5月17日	NMR研究会 東京工業大学

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
16	同上	老化を利用した小麦デンプン糊の接着力調整に関する研究	保存修復科学センター主任 研究員 早川典子	7月20日～21日	文化財保存修復学会第35回大会
17	同上	絵画修理に用いる膠に関する考察	保存修復科学センター主任 研究員 早川典子	7月20日～21日	文化財保存修復学会第35回大会
18	同上	壁画修復処置に用いる接着材料への酵素の影響	保存修復科学センター主任 研究員 早川典子、研究員 佐藤嘉則、客員研究員 大 河原典子、生物科学研究室 長 木川りか、文化遺産国 際協力センター長 川野邊 渉	7月20日～21日	文化財保存修復学会第35回大会
19	同上	剥落止めに用いる膠の処理方法について	保存修復科学センター主任 研究員 早川典子	7月20日～21日	文化財保存修復学会第35回大会
20	同上	絹本文化財の修復材料としての劣化絹の研究 - 電子線照射と紫外線照射の併用-	文化遺産国際協力センター アソシエイトフェロー 山 田祐子、保存修復科学セン ター主任研究員 早川典 子、文化遺産国際協力セン ター長 川野邊渉	7月20日～21日	文化財保存修復学会第35回大会
21	同上	Characterization of Fukuro-Funori and Ma-Funori through NMR spectroscopy	保存修復科学センター主任 研究員 早川典子	9月11日	高分子討論会 金沢大学
22	近代の文化遺産に関する調査研究	近代木製家具の修復技法及び材料に関する調査研究	保存修復科学センター近代 文化遺産研究室長 中山俊 介	7月20日～21日	文化財保存修復学会第35回大会
23	同上	近代テキスタイルの保存と修復	保存修復科学センター近代 文化遺産研究室長 中山俊 介	11月22日	近代的スタイルの保存と修復に関して の研究会

○保存・修復事業を実施するために必要な研究基盤の整備（4件）

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
1	文化遺産保護に関する国際情報の収集・研究・発信	世界遺産－現状と問題、将来像	企画情報部情報システム研 究室長 二神葉子	10月5日	東京文化財研究所第47回オープン レクチャー
2	同上	アメリカの動産文化財保護制度	文化遺産国際協力センター アソシエイトフェロー 境 野飛鳥	26年2月4日	東京文化財研究所第4回総合研究 会
3	同上	文化財の国際情報の活用－日本美術作品を中心に	文化遺産国際協力センター 主任研究員 江村知子	26年2月4日	東京文化財研究所第4回総合研究 会
4	同上	ユネスコ無形文化遺産保護条約第8回政府間委員会	企画情報部情報システム研 究室長 二神葉子	26年3月7日	第14回文化遺産国際協力コンソー シアム研究会「文化遺産保護の国 際動向」

○諸外国における文化財の保存・修復に関する技術移転の推進（7件）

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
1	中国の文化遺産の保存修復のための共同研究	朱が使用された壁画彩色の劣化－敦煌莫高窟第285窟の天井に描かれた雲気文の保存状態－	保存修復科学センター客員 研究員 高林弘実、主任研 究員 犬塚将英、客員研 究員 渡辺真樹子、センター 長 岡田健	7月20日～21日	文化財保存修復学会第35回大会
2	同上	敦煌莫高窟第285窟壁画の保存状態Ⅲ－天井壁画における劣化の定量的解析－	保存修復科学センター客員 研究員 高林弘実、客員研 究員 渡辺真樹子、主任研 究員 犬塚将英、客員研 究員 津村宏臣、センター長 岡田健	同上	同上
3	同上	敦煌莫高窟第285窟北天井に描かれた禪定比丘像の彩色技法	企画情報部主任研究員 皿 井舞	7月6日	日本文化財科学会第30回大会
4	同上	敦煌莫高窟第285窟壁画の劣化に及ぼす太陽光の影響	保存修復科学センター 岡 田健、客員研究員 渡辺真 樹子	8月30日	2013日本建築学会大会
5	ユーラシア壁画の調査研究と保存修復	タジキスタン国立古代博物館におけるフルブック遺跡出土壁画断片の保存修復－壁画断片群の状態と安定化のための処置－	文化遺産国際協力センター 客員研究員 杉原朱美、地 域環境研究室長 山内和也	7月20日～21日	文化財保存修復学会第35回大会
6	在外日本古美術品保存修復協力事業	Pressurizing and supporting techniques for damaged lacquer objects	文化遺産国際協力センター 長 川野邊渉、任期付研 究員 山下好彦	5月20日～26日	Asian Lacquer Symposium 2013、 バッファロー州立大学
7	同上	裏打ち紙除去に使用した酵素の除去確認方法について	文化遺産国際協力センター アソシエイトフェロー 楠 京子、アソシエイトフェ ロー 山田祐子、主任研究員 加藤雅人	7月20日～21日	文化財保存修復学会第35回大会

## 【奈良文化財研究所】計71件

### ○文化財に関する基礎的・体系的な調査・研究の推進（45件）

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
1	近畿を中心とする古 寺社等所蔵の歴史資 料等に関する調査研 究	日本における古文書の調査と文化財指定	歴史研究室長 吉川聡	11月21日	「インドネシア・西スマトラ州パダ ンにおける歴史的記録文書等の保 存修復のための拠点交流事業」主 催のジャカルタでのシンポジウム
2	我が国の建造物及び 伝統的建造物群に関 する調査・研究	日本における木造建造物の類型と調査	文化遺産部長 林良彦	10月21日	ユネスコアジア文化センター主催 のスリランカキャンディーにおけ る木造文化遺産保存セミナー
3	我が国の建造物及び 伝統的建造物群に関 する調査・研究	日本における集落町並み保存の制度と実務	文化遺産部長 林良彦	11月13日	日・中・韓建築文化遺産保存国際 学術会議
4	我が国の建造物及び 伝統的建造物群に関 する調査・研究	日本における集落町並みの調査と研究	都城発掘調査部アソシエ トフェロー 松下迪生	11月13日	日・中・韓建築文化遺産保存国際 学術会議
5	我が国の記念物に関 する調査・研究（庭園）	近代奈良の庭園 一近年の調査報告から	文化遺産部主任研究員 中 島義晴	10月12日	大乗院庭園文化館 庭園研究講座
6	我が国の記念物に関 する調査・研究（国際 研究交流）	Research on Large Diameter and Long Logs Used to Maintain Important Cultural Buildings in Japan	都城発掘調査部研究員 海 野聡	9月17日	Inquiry HP (Columbia University, U. S. A.)
7	我が国の記念物に関 する調査・研究（国際 研究交流）	Matsuri in Japan' s Historic Districts: Using Traditional Festivals as a Driver in Local Communities	文化遺産部アソシエイトフ ェロー 菊地淑人	9月17日	Inquiry HP (Columbia University (U. S. A.))
8	古代瓦に関する研究 集会の実施、報告書の 刊行	平城宮の6225-6663型式軒瓦	都城発掘調査部研究員 石 田由紀子	26年2月8日	第14回古代瓦研究会シンポジウム
9	アジアにおける古代 都城遺跡、生産遺跡、 墓制及び陶磁器に関 する中国、韓国との共 同研究及びカザフス タンへの研究協力	東アジア文字文化研究の深化を目指して	都城発掘調査部主任研究員 馬場 基	11月8日	日韓古代文化の形成と発展過程に 関する共同研究中間成果発表会
10	アジアにおける古代 都城遺跡、生産遺跡、 墓制及び陶磁器に関 する中国、韓国との共 同研究及びカザフス タンへの研究協力	新羅における初期金工品の生産と流通に関 する一試論	都城発掘調査部研究員 諫 早直人	11月8日	日韓古代文化の形成と発展過程に 関する共同研究中間成果発表会
11	アジアにおける古代 都城遺跡、生産遺跡、 墓制及び陶磁器に関 する中国、韓国との共 同研究及びカザフス タンへの研究協力	古代日韓における有蓋台付椀の製作と展開 について	都城発掘調査部研究員 小 田裕樹	11月9日	日韓古代文化の形成と発展過程に 関する共同研究中間成果発表会
12	アジアにおける古代 都城遺跡、生産遺跡、 墓制及び陶磁器に関 する中国、韓国との共 同研究及びカザフス タンへの研究協力	日韓壁画古墳および王陵級古墳の比較研究	都城発掘調査部研究員 廣 瀬 寛	11月9日	日韓古代文化の形成と発展過程に 関する共同研究中間成果発表会
13	アジアにおける古代 都城遺跡、生産遺跡、 墓制及び陶磁器に関 する中国、韓国との共 同研究及びカザフス タンへの研究協力	食器と調理器具にもとづく韓日古代都城に おける飲食文化の復元研究	都城発掘調査部研究員 庄 田慎矢 ※大韓民国国立文化財研究 所学芸研究士 韓志仙との 共同発表。口頭発表は韓志 仙が行った。	11月9日	日韓古代文化の形成と発展過程に 関する共同研究中間成果発表会
14	アジアにおける古代 都城遺跡、生産遺跡、 墓制及び陶磁器に関 する中国、韓国との共 同研究及びカザフス タンへの研究協力	河南省鞏義窯の考古発掘の主要成果	河南省文物考古研究院 前 所長 孫 新民	11月19日	河南省文物考古研究院講演会
15	アジアにおける古代 都城遺跡、生産遺跡、 墓制及び陶磁器に関 する中国、韓国との共 同研究及びカザフス タンへの研究協力	浙川県龍山崗仰韶時代城址の考古発見	河南省文物考古研究院 館 員 梁 法偉	11月19日	河南省文物考古研究院講演会
16	アジアにおける古代 都城遺跡、生産遺跡、 墓制及び陶磁器に関 する中国、韓国との共 同研究及びカザフス タンへの研究協力	東アジア文字文化研究の深化を目指して	都城発掘調査部主任研究員 馬場 基	11月8日	日韓古代文化の形成と発展過程に 関する共同研究中間成果発表会

	研究テーマ	発表テーマ	発表者(職名・名前)	実施日	学会等名
17	アジアにおける古代都城遺跡、生産遺跡、墓制及び陶磁器に関する中国、韓国との共同研究及びカザフスタンへの研究協力	新羅における初期金工品の生産と流通に関する一試論	都城発掘調査部研究員 諫早直人	11月8日	日韓古代文化の形成と発展過程に関する共同研究中間成果発表会
18	アジアにおける古代都城遺跡、生産遺跡、墓制及び陶磁器に関する中国、韓国との共同研究及びカザフスタンへの研究協力	古代日韓における有蓋台付椀の製作と展開について	都城発掘調査部研究員 小田裕樹	11月9日	日韓古代文化の形成と発展過程に関する共同研究中間成果発表会
19	アジアにおける古代都城遺跡、生産遺跡、墓制及び陶磁器に関する中国、韓国との共同研究及びカザフスタンへの研究協力	日韓壁画古墳および王陵級古墳の比較研究	都城発掘調査部研究員 廣瀬 覚	11月9日	日韓古代文化の形成と発展過程に関する共同研究中間成果発表会
20	アジアにおける古代都城遺跡、生産遺跡、墓制及び陶磁器に関する中国、韓国との共同研究及びカザフスタンへの研究協力	食器と調理器具にもとづく韓日古代都城における飲食文化の復元研究	都城発掘調査部研究員 庄田慎矢 ※大韓民国国立文化財研究所学芸研究士 韓志仙との共同発表。口頭発表は韓志仙が行った。	11月9日	日韓古代文化の形成と発展過程に関する共同研究中間成果発表会
21	アジアにおける古代都城遺跡、生産遺跡、墓制及び陶磁器に関する中国、韓国との共同研究及びカザフスタンへの研究協力	日本古墳の墳丘築造技術とその系統	都城発掘調査部研究員 青木 敬	12月18日	国際学術シンポジウム連山洞古墳群の意義と評価
22	文化的景観及びその保存・活用に関する調査研究	文化的資産としての名勝地	景観研究室長 平澤毅	5月16日	京都造園懇談会
23	文化的景観及びその保存・活用に関する調査研究	佐渡相川の文化的景観 その価値とこれからを見つめて	文化遺産部研究員 恵谷浩子	6月30日	第2回世界遺産連続講座 金を中心とする佐渡鉱山の遺産群
24	文化的景観及びその保存・活用に関する調査研究	Organic Interrelations and Inherited Systems on Cultural Landscapes in Japan	文化遺産部研究員 恵谷浩子	9月13日	Conference Balancing untouched nature with local cultures
25	文化的景観及びその保存・活用に関する調査研究	京都岡崎の文化的景観×重要文化的景観	文化遺産部研究員 恵谷浩子	9月27日	第1回白川を創る会ワークショップ
26	文化的景観及びその保存・活用に関する調査研究	文化的資産としての名勝—東アジアに固有な遺産類型の包括的な研究と保護に向けて—	景観研究室長 平澤毅	10月18日	韓国傳統造景學會秋季学術論文発表会
27	文化的景観及びその保存・活用に関する調査研究	名勝としてのジオパーク	景観研究室長 平澤毅	11月2日	山陰海岸ジオパークのマネジメント ～海と山の景勝地を結ぶ～ (第30回全国都市緑化ととりフェア記念フォーラム)
28	文化的景観及びその保存・活用に関する調査研究	文化的景観の「受け継ぎ方」 - 文化的景観の可能性と限界	文化遺産部アソシエイトフェロー 菊地淑人	12月11日	佐渡市世界遺産推進課 課内勉強会
29	文化的景観及びその保存・活用に関する調査研究	遺跡・文化的景観における「計画」について	景観研究室長 平澤毅	26年1月24日	平成25年度遺跡整備・景観共同研究集会「～計画は何のために策定し、どのように実施するのか?～」
30	文化的景観及びその保存・活用に関する調査研究	文化的景観における建築保全	文化遺産部研究員 恵谷浩子	26年3月16日	京都市文化財マネージャースキルアップ講座
31	遺跡データベースの作成と公開	若草伽藍について	遺跡・調査技術研究室長 小澤毅、平田政彦、甲斐弓子	7月26日	第63回法隆寺夏季大学
32	遺跡データベースの作成と公開	大極殿の移築はどのようにしてわかったのか	遺跡・調査技術研究室長 小澤毅	11月17日	放送大学奈良学習センター公開シンポジウム
33	遺跡データベースの作成と公開	ぐんが建物を復元する①発掘された建物跡から	客員研究員 山中敏史	26年3月1日	藤枝市ぐんが古代史講座
34	遺跡データベースの作成と公開	ぐんが建物を復元する②復元された志太ぐんが	客員研究員 山中敏史	26年3月8日	藤枝市ぐんが古代史講座
35	出土遺物の材質構造調査、鉄製品及び木製品の埋蔵環境調査	日本出土インド・パシフィックビーズの化学組成の時期変化に関する研究	埋蔵文化財センター研究員 田村朋美	7月6-7日	日本文化財科学会
36	出土遺物の材質構造調査、鉄製品及び木製品の埋蔵環境調査	塩化鉄(Ⅱ)が付着した鉄製遺物の大気腐食に及ぼす湿度の影響	保存修復科学研究室長 高妻洋成、埋蔵文化財センター研究員 脇谷草一郎	7月6-7日	日本文化財科学会

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
37	出土遺物の材質構造調査、鉄製品及び木製品の埋蔵環境調査	高松塚古墳壁画の材料調査－蛍光×線元素分析法による下地漆喰に関する調査(5)－	保存修復科学研究室長 高妻洋成、都城発掘調査部主任研究員 降幡順子、埋蔵文化財センター研究員 脇谷草一郎、田村朋美、埋蔵文化財センター特別研究員 辻本与志一、埋蔵文化財センターアソシエイトフェロー 赤田昌倫	7月6-7日	日本文化財科学会
38	出土遺物の材質構造調査、鉄製品及び木製品の埋蔵環境調査	平城宮出土土器付着物の材料分析	保存修復科学研究室長 高妻洋成、埋蔵文化財センターアソシエイトフェロー 赤田昌倫	7月6-7日	日本文化財科学会
39	出土遺物の材質構造調査、鉄製品及び木製品の埋蔵環境調査	キトラ古墳壁画の材料調査2－玄武像の可視分光分析－	保存修復科学研究室長 高妻洋成、都城発掘調査部主任研究員 降幡順子、埋蔵文化財センター研究員 脇谷草一郎、田村朋美、埋蔵文化財センター特別研究員 辻本与志一、埋蔵文化財センターアソシエイトフェロー 赤田昌倫	7月6-7日	日本文化財科学会
40	出土遺物の材質構造調査、鉄製品及び木製品の埋蔵環境調査	海洋堆積物における埋蔵環境の鉛直変化が鉄製遺物の腐食に及ぼす影響	保存修復科学研究室長 高妻洋成	7月6-7日	日本文化財科学会
41	出土遺物の材質構造調査、鉄製品及び木製品の埋蔵環境調査	田熊石畑遺跡における青銅器埋蔵環境の変遷に関する研究	保存修復科学研究室長 高妻洋成、埋蔵文化財センター研究員 脇谷草一郎	7月6-7日	日本文化財科学会
42	出土遺物の材質構造調査、鉄製品及び木製品の埋蔵環境調査	韓国と日本において出土した鑄造ガラス玉の考古科学的考察	埋蔵文化財センター研究員 田村朋美	9月5-6日	3rd International Symposium on Conservation of Cultural Heritage in East Asia
43	遺構の安定化方法を検討するための基礎データを収集	平城宮跡遺構展示館における露出展示遺構の劣化に関する研究	埋蔵文化財センター研究員 脇谷草一郎	6月15-16日	日本建築学会近畿支部
44	遺構の安定化方法を検討するための基礎データを収集	平城宮跡遺構展示館における露出展示遺構の劣化に関する研究	埋蔵文化財センター研究員 脇谷草一郎	8月30-9月1日	日本建築学会
45	遺構の安定化方法を検討するための基礎データを収集	ハノイ、タンロン皇城遺跡の土遺構の保存に関する調査研究	埋蔵文化財センター研究員 脇谷草一郎	12月21日	土壌水分ワークショップ

### ○文化財の研究に関する調査手法の研究・開発の推進（17件）

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
1	文化財の測量・探査等に関する研究	震災復興に伴う遺跡調査への計測技術の利用にむけて	埋蔵文化財センター主任研究員 金田明大	4月17日	日本測量協会イブニングセミナー
2	文化財の測量・探査等に関する研究	アレイ式探査機による遺跡探査迅速化の試行	埋蔵文化財センター主任研究員 金田明大	7月7日	日本文化財科学会
3	年輪年代学研究	下北半島産ブナ標準年輪曲線を用いた夏気温復元の可能性	埋蔵文化財センター研究員 星野安治、米延仁志、安江恒、野掘嘉裕、客員研究員 光谷拓実	5月23日	日本地球惑星連合2013年大会
4	年輪年代学研究	秋田県森吉家ノ前A遺跡出土材を用いた年輪考古学的研究	埋蔵文化財センター研究員 星野安治、大山幹成、米延仁志	5月23日	日本地球惑星連合2013年大会
5	年輪年代学研究	深見池年輪堆積物のクロスデーティング	埋蔵文化財センター研究員 星野安治	11月10日	深見の池調査研究発表会
6	動植物遺存体による環境考古学的研究	Horse Sacrifice in Pre-Qin Age, China	客員研究員 菊地大樹	4月3-7日	Society for American Archaeology 78th Annual Meeting
7	動植物遺存体による環境考古学的研究	Domesticating sacrifice	客員研究員 丸山真史、客員研究員 菊地大樹	4月3-7日	Society for American Archaeology 78th Annual Meeting
8	動植物遺存体による環境考古学的研究	自然科学分析を実施する際に現場では何が求められているのか	埋蔵文化財センター研究員 山崎健	6月29日	近江貝塚研究会第236回例会
9	動植物遺存体による環境考古学的研究	生業研究からみた晩期前半の社会	埋蔵文化財センター研究員 山崎健	7月20日	東海縄文研究会シンポジウム「東海地方における縄文時代前期前半の社会」
10	動植物遺存体による環境考古学的研究	東日本大震災の復興事業に伴う発掘調査に対する支援の現状報告	埋蔵文化財センター研究員 山崎健	11月16-17日	日本動物考古学会第1回大会
11	動植物遺存体による環境考古学的研究	中世大友府内遺跡出土の動物遺存体	客員研究員 松井章、客員研究員 丸山真史ほか	11月16-17日	日本動物考古学会第1回大会
12	動植物遺存体による環境考古学的研究	大坂城下町跡における双六の駒の製作	客員研究員 丸山真史	11月16-17日	日本動物考古学会第1回大会
13	動植物遺存体による環境考古学的研究	3Dレーザースキャンによる動物考古学の新手法	客員研究員 菊地大樹、客員研究員 松井章ほか	11月16-17日	日本動物考古学会第1回大会
14	動植物遺存体による環境考古学的研究	復興事業に伴う発掘調査で出土した動物遺存体の概要	京都大学大学院 松崎哲也、客員研究員 丸山真史、埋蔵文化財センター研究員 山崎健	11月16-17日	日本動物考古学会第1回大会

	研究テーマ	発表テーマ	発表者(職名・名前)	実施日	学会等名
15	動植物遺存体による環境考古学的研究	動物考古学における現生標本の管理と公開	埋蔵文化財センター研究員 山崎健、 客員研究員 松井章	11月30日	第28回日本植生史学会大会
16	動植物遺存体による環境考古学的研究	中国西周王朝における馬飼養管理の実態	客員研究員 菊地大樹ほか	12月2-3日	日本ウマ科学会第26回学術集会
17	動植物遺存体による環境考古学的研究	古墳時代に飼育されたウマ	客員研究員 丸山真史	12月21日	古代学研究会2013年度拡大例会シンポジウム「古墳時代中期の馬生産と鉄生産」

○科学技術の活用等による文化財の保存科学や修復技術に関する中核的な支援拠点として、先端的調査研究等の推進(3件)

	研究テーマ	発表テーマ	発表者(職名・名前)	実施日	学会等名
1	ミリ波イメージングにかかる基礎実験及び装置の改良等	Application of Terahertz Wave Imaging Technique to Structural Survey of a Historical Painting on Silk	保存修復科学研究室長 高妻洋成	4月22-24日	Asia-Pacific Microwave Photonics Conference 2013
2	ミリ波イメージングにかかる基礎実験及び装置の改良等	テラヘルツ波および核磁気共鳴法による壁画の構造調査	保存修復科学研究室長 高妻洋成	7月20-21日	文化財保存修復学会
3	ミリ波イメージングにかかる基礎実験及び装置の改良等	文化財の材料調査へのテラヘルツ波イメージングの応用	保存修復科学研究室長 高妻洋成	9月5-6日	3rd International Symposium on Conservation of Cultural Heritage in East Asia

○国・地方公共団体の要請に応じた保存措置等のために必要な実践的な調査・研究の実施(3件)

	研究テーマ	発表テーマ	発表者(職名・名前)	実施日	学会等名
1	文化庁が行う高松塚古墳・キトラ古墳の壁画の調査及び保存・活用に関する技術的協力	高松塚古墳壁画の材料調査-蛍光X線分析法による下地漆喰に関する調査(5)-	保存修復科学研究室長 高妻洋成、都城発掘調査部主任研究員 降幡順子、埋蔵文化財センター研究員 脇谷草一郎・田村朋美、埋蔵文化財センター特別研究員 辻本与志一、埋蔵文化財センターアソシエイトフェロー 赤田昌倫、早川泰弘・肥塚隆保・吉田直人・朽津信明・早川典子・江村知子・佐野千絵・岡田健・三浦定俊・宇田川滋正・建石徹	7月7日	日本文化財科学会第30回大会
2	文化庁が行う高松塚古墳・キトラ古墳の壁画の調査及び保存・活用に関する技術的協力	キトラ古墳壁画の材料調査2-玄武像の可視分光分析調査-	保存修復科学研究室長 高妻洋成、都城発掘調査部主任研究員 降幡順子、埋蔵文化財センター研究員 脇谷草一郎・田村朋美、埋蔵文化財センター特別研究員 辻本与志一、埋蔵文化財センターアソシエイトフェロー 赤田昌倫、吉田直人・岡田健・朽津信明・江村知子・早川典子・宇田川滋正・建石徹	7月7日	日本文化財科学会第30回大会
3	文化庁が行う高松塚古墳・キトラ古墳の壁画の調査及び保存・活用に関する技術的協力	テラヘルツ波および核磁気共鳴法による壁画の構造調査	保存修復科学研究室長 高妻洋成 福永香・W. Zia・T. Meldrum・B. Blumich	7月21日	文化財保存修復学会第35回大会

○諸外国における文化財の保存・修復に関する技術移転の推進(2件)

	研究テーマ	発表テーマ	発表者(職名・名前)	実施日	学会等名
1	カンボジア・アンコールワット遺跡群の西トップ寺院遺跡、ベトナム・タンロン皇城遺跡の建築史的、考古学的、保存科学的調査	Progressive report of the conservation for Prasat Top West (Monument 486), Angkor (2013)	企画調整部研究員 石村智	12月3日	アンコール遺跡群国際調整会議(IOC-Angkor)第22回技術委員会
2	カンボジア・アンコールワット遺跡群の西トップ寺院遺跡、ベトナム・タンロン皇城遺跡の建築史的、考古学的、保存科学的調査	Archaeological research at Western Prasat Top, Angkor	企画調整部長 杉山洋、 企画調整部研究員 石村智	平成26年1月14日	The 20 <sup>th</sup> Congress of Indo-Pacific Prehistory Association

○情報資料の収集・整備及び調査研究成果の発信（1件）

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
1	文化財に関するデータベースの充実	遺構情報モデルにおける不確かな時間属性の取り扱いについて	文化財情報研究室長 森本晋 他、所外6名	10月27日	日本地理情報システム学会第22会 研究発表大会

【アジア太平洋無形文化遺産研究センター】計1件

○アジア太平洋地域における無形文化遺産保護に関する基礎的な調査・研究（1件）

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
1	アジア太平洋地域における無形文化遺産保護に関する基礎的な調査・研究	無形文化遺産の復興とコミュニティの活性化の事例について	副所長・大貫美佐子	7月6日	International Expert Meeting on Intangible Cultural Heritage and Economy

c-④ シンポジウム開催実績一覧

平成26年3月31日現在

国立文化財機構合計	博物館計	東京国立博物館	京都国立博物館	奈良国立博物館	九州国立博物館
10件	8件	1件	2件	2件	3件
	文化財研究所計	東京文化財研究所		奈良文化財研究所	
	1件	1件		0件	
	アジア太平洋無形文化遺産研究センター				
	1件				

【東京国立博物館】

○特別展人間国宝展シンポジウム『日本工芸の21世紀を考える』

開催日 26年1月25日  
 開催場所 東京国立博物館  
 主催 東京国立博物館、文化庁、NHK、NHKプロモーション、朝日新聞社、日本工芸会  
 参加人数 336人  
 事業内容 国宝・重要文化財などの古典的な工芸と、現代の人間国宝の作品を見ながら、今後日本の工芸が歩むべき未来について語るシンポジウムを開催。

【京都国立博物館】

○特別シンポジウム『京博がやってきた』

開催日 10月12日  
 開催場所 有楽町朝日ホール  
 主催 京都国立博物館、  
 参加人数 560人  
 事業内容 平成26年に新平常展示館「平成知新館」がオープンを迎えるのに先立ち、京都国立博物館の活動や魅力を紹介するシンポジウムを開催。これまでの京都国立博物館の活動を振り返るとともに、各研究員による研究紹介や、文化大使の井浦新氏も参加する対談を行った。

○特別シンポジウム『京博が新しくなります』

開催日 26年1月25日  
 開催場所 京都テルサホール  
 主催 京都国立博物館  
 後援 朝日新聞社  
 参加人数 435人  
 事業内容 平成26年に新平常展示館「平成知新館」がオープンを迎えるのに先立ち、京都国立博物館の活動や魅力を紹介するシンポジウムを開催。これまでの京都国立博物館の活動を振り返るとともに、各研究員による研究紹介や、文化大使の井浦新氏も参加する対談を行った。

【奈良国立博物館】

○當麻曼荼羅完成1250年記念特別展「當麻寺—極楽浄土へのあこがれ—」関連イベント 学術シンポジウム「綴織當麻曼荼羅」

開催日 4月27日  
 開催場所 奈良国立博物館 講堂  
 主催 奈良国立博物館、読売新聞社  
 参加人数 149名  
 事業内容 當麻曼荼羅完成1250年記念特別展「當麻寺—極楽浄土へのあこがれ—」の開催と30年ぶりに公開される綴織當麻曼荼羅を記念し、4名の講師を迎え、パネルディスカッションを行い、日本における極楽浄土イメージの根本となった綴織當麻曼荼羅について議論を深めた。

○正倉院学術シンポジウム2013「鑑真和上と正倉院宝物」

開催日 10月27日  
 開催場所 奈良県新公会堂 レセプションホール  
 主催 奈良国立博物館  
 後援 読売新聞社  
 参加人数 192名  
 事業内容 鑑真和上示寂1250年を記念して、鑑真和上と正倉院宝物との関連について理解を深めることを目的とし、4名の講師による講演と、パネルディスカッションをおこなった。

【九州国立博物館】

○国際シンポジウム「ベトナムに恋して」

開催日 10月5日  
 開催場所 ミュージアムホール  
 主催 九州国立博物館  
 後援 在福岡ベトナム社会主義共和国総領事館、九州ベトナム友好協会、九州国立博物館振興財団、福岡県教育委員会、太宰府市、太宰府市教育委員会、九州文化財国際交流基金、  
 参加者数 207人  
 事業内容 在福岡ベトナム社会主義共和国総領事館ゲン・ヴェト・ドク副領事、国際交流基金ベトナム日本文化交流センター稲見和己所長、当館研究員による講演会とトークセッション、留学生パフォーマンス、スペシャルライブを実施した。

○公開シンポジウム「市民と共に ミュージアムIPM」

開催日 10月12日  
 開催場所 一橋大学 一橋講堂  
 主催 市民と共に ミュージアムIPM実行委員会（九州国立博物館、九州・山口ミュージアム連携事業実行委員会、福岡県教育委員会、大野城市教育委員会、春日市教育委員会、太宰府市教育委員会、筑紫野市教育委員会、那珂川町教育委員会）、九州国立博物館  
 連携協力機関 公益財団法人太宰府顕彰会、愛知県美術館、大分県立歴史博物館、九州歴史資料館、熊本市現代美術館、高知県立美術館、長崎歴史文化博物館、福岡県立美術館、福岡市美術館、太宰府市文化ふれあい館、筑紫野市歴史博物館、奴国の丘歴史資料館、九州産業大学美術館、九州大学総合研究博物館、久留米大学比較文化研究所、西南学院大学博物館、田川市石炭・歴史博物館、NPO法人ミュージアムIPMサポートセンター  
 後援 九州文化財国際交流基金、公益財団法人文化財虫菌害研究所、一般社団法人文化財保存修復学会、一般社団法人国宝修理装こう師連盟、一般社団法人ミュージアム支援者協会、NPO法人文化財保存支援機構  
 参加者数 116人  
 事業内容 第1部 基調講演：ミュージアムとIPM、第2部 基調報告：ミュージアムIPMと市民活動、第3部 事例報告：ミュージアムIPMの導入と成果 が行われた。

○公開シンポジウム 第34回日本山岳修験学会 太宰府・宝満山学術大会「太宰府をめぐる山々と海彼」（トピック展示「山の神々」関連）

開催日 10月26日  
 開催場所 ミュージアムホール  
 主催 九州国立博物館  
 参加者数 267人  
 事業内容 「東アジアの中の大宰府をめぐる山岳信仰」、「〈海彼〉を望む女神たち一日韓の山岳宗教と女神信仰」、「背振山系と肥前霊山の諸相」、「山の神仏と海—北部九州と造形遺品に見る—」、「首羅山・油山と東アジア」の講演が行われた。

## 【東京文化財研究所】

○国際シンポジウム 第37回 文化財の保存と修復に関する国際研究集会「「かたち」再考—開かれた語りのために—」

- ・開催日 26年1月10～12日
- ・開催場所 東京文化財研究所セミナー室
- ・主催 東京文化財研究所
- ・参加人数 260人
- ・事業内容 本国際研究集会では、人々の営みのなかで生み出される「かたち」をテーマとし、美術史学、考古学、建築史、芸能史など、「かたち」をあつかう諸分野の方法論を集めて討議することを試みた。海外の研究者と積極的な研究交流を行った。

## 【奈良文化財研究所】

該当なし

## 【アジア太平洋無形文化遺産研究センター】

○「無形文化遺産保護条約採択10周年記念シンポジウム」

- ・開催日 25年8月3日
- ・開催場所 ホテル・アゴーラリージェンシー堺
- ・主催 アジア太平洋無形文化遺産研究センター、文化庁、堺市
- ・後援 外務省、日本ユネスコ国内委員会
- ・協力 独立行政法人日本芸術文化振興会国立文楽劇場
- ・参加人数 291人
- ・事業内容 2003年のユネスコ総会で「無形文化遺産の保護に関する条約（無形遺産保護条約）」が採択されてから10周年となることを記念し、広く一般の方に、条約に関心を持ってもらうとともに、その意義を理解いただくためにシンポジウムを開催した。本シンポジウムでは、第一部において二本の基調講演とパネルディスカッションを行い、第二部では日本とカンボジアの無形文化遺産の公演を行った。また、大阪府や堺に関わりの深い文化遺産を紹介する展示コーナーも設けた。

c-⑤ 論文等発表実績一覧

平成 26 年 3 月 31 日現在

国立文化財機構合計	博物館計	東京国立博物館	京都国立博物館	奈良国立博物館	九州国立博物館
343 件	207 件	134 件	30 件	22 件	21 件
	文化財研究所計	東京文化財研究所	奈良文化財研究所	共同研究（東京・奈良文化財研究所）	
	135 件	28 件	107 件	0 件	
	アジア太平洋無形文化遺産研究センター	1 件			

【東京国立博物館】134件

○有形文化財の収集・保存・管理・展示・教育活動等にかかる調査・研究

	研究テーマ	発表者 (職名・名前)	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	レフ エリ ー 有無
1	収蔵品・寄託品及び関連品に関する調査研究	学芸企画部長 松本伸之	「世界に一つだけの東洋館-東京国立博物館東洋館リニューアルをめぐって」	『歴史と地理』 No.666	山川出版社	8月	無
2	同上	企画課長 井上洋一	「祀りのはじまり」	『国宝 大神社展』	NHK・NHK プロモーション	4月9日	無
3	同上	企画課特別展室長 松嶋雅人	紀様亭筆 鹿図	『國華』 1411号	國華社	5月20日	無
4	同上	同上	総論 日本の絵は、時空を超える	「京都-洛中洛外図と障壁画の美」展図録	東京国立博物館	10月8日	無
5	同上	同上	特論 舟木本に秘められたドラマと時の流れ	同上	同上	同上	無
6	同上	同上	総論 日本絵画の奥義	「クリーブランド美術館展—名画でたどる日本の美—」展図録	東京国立博物館	26年1月15日	無
7	同上	同上	渡辺華山と写真鏡	同上	同上	同上	無
8	同上	同上	Japan's Dream of Modern Art	Remaking Tradition: Modern Art of Japan from the Tokyo National Museum	Yale University Press	26年2月16日	無
9	同上	企画課特別展室 横山梓	東京国立博物館「特集陳列 人間国宝の現在」作家インタビュー(吉田美統)	「陶説」第 729 号	公益社団法人日本陶磁協会	12月	無
10	同上	同上	東京国立博物館「特集陳列 人間国宝の現在」作家インタビュー(井上萬二、原清、中島宏)	「陶説」第 730 号	同上	26年1月	無
11	同上	同上	東京国立博物館「特集陳列 人間国宝の現在」作家インタビュー(鈴木藏、加藤孝造)	「陶説」第 731 号	同上	26年2月	無
12	同上	企画課特別展室 横山梓(共訳)	Oka Yoshiko 「The Kyoto-ware Potter Ninsei and chanoyu」	「第 2 回 お茶三昧:茶の湯と茶文化に関するサンフランシスコ国際カンファレンス」報告書	サンフランシスコ州立大学	26年3月	無
13	同上	企画課出版企画室長 勝木言一郎	「仙界」「桃源郷」「浄土」および東アジア作品解説「銀製方鏡」ほか 14 項目	『古代の楽園-神話、来世、桃源郷...』	古代オリエント博物館	10月5日	無
14	同上	同上	玄奘が見た高昌、亀茲、于闐 - 唐代の都人が憧れた西域壁画の源流をたずねる-	『遣唐使は見た! -憧れの国際都市 長安-』	横浜ユーラシア文化館	11月30日	無
15	同上	同上	楽の音が聴こえるシルクロードの美術	『東洋美術をめぐる旅 東京国立博物館 東洋館』	平凡社	12月25日	無
16	同上	同上	クチャ音楽の伝播	同上	同上	同上	無
17	同上	同上	大谷探検隊ものがたり-中央アジア探検に燃えた僧侶	同上	同上	同上	無
18	同上	同上	「寺観壁画」ほか 22 項目	『中国文化史大事典』	大修館書店	5月10日	無
19	同上	同上	《表紙解説》二菩薩立像	『MUSEUM』 646 号	東京国立博物館	10月15日	無
20	同上	同上	敦煌の美術	『pen』 352 号	阪急コミュニケーションズ	26年1月15日	無
21	同上	企画課出版企画室 遠藤 奏子	《館史研究》グラスゴー博物館との物品交換事業について-資料と寄贈品にみる博物館草創期の国際交流の諸相-	『MUSEUM』 647	東京国立博物館・中央公論事業出版	12月15日	有
22	同上	企画課国際交流室長 鬼頭智美	国際展覧会オーガナイザー(IEO)会議について	『博物館研究』 9月号「国際動向」	公益財団法人日本博物館協会	8月25日	無
23	同上	博物館教育課長 小泉恵英	ガンダーラ美術にみるカーシャバ三兄弟の帰仏	てら ゆき めぐれ 大橋一章博士古稀記念美術史論集	中央公論美術出版	4月28日	無
24	同上	同上	中央アジアの美術 先史~クシャナ朝	アジアの芸術史 造形篇 II 朝鮮半島・西アジア・中央アジア・インド	藝術学舎	10月1日	無
25	同上	同上	ガンダーラの仏教美術 仏像の成立と展開	同上	同上	同上	無
26	同上	同上	西域美術 シルクロードの美術と仏教遺跡	同上	同上	同上	無
27	同上	広報室長 小林 牧	東京国立博物館の SNS	ZENBI(全国美術館会議機関誌)	全国美術館会議	26年1月号	無

	研究テーマ	発表者 (職名・名前)	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	レフ エ リ ー 有 無
28	同上	上席研究員 池田 宏	神社の宝物と神道の美術	『国宝 大神社展』	NHK・NHK プロモーション	4月9日	無
29	同上	同上	国宝 黒韋矢筈札丸の修理	『春日』 第90号	春日大社	8月1日	無
30	同上	同上	頭形兜鉢、牛伏寺の刀剣	『牛伏寺誌』	牛伏寺誌刊行会	12月15日	無
31	同上	列品管理課長 富田淳	徽宗皇帝の宣和装と7つの璽印	『上海博物館 中国絵画の至宝』図録	東京国立博物館	10月	無
32	同上	同上	乾隆帝の題詩-銭選の《浮玉山居図巻》-	同上	同上	同上	無
33	同上	同上	清朝における王冕《墨梅図》の伝来	同上	同上	同上	無
34	同上	同上	康熙帝を欺いた? 男-高士奇の『江村書画目』-	同上	同上	同上	無
35	同上	同上	中村不折旧蔵《養鶴銘》の伝来について	『清時代の書-碑学派-』図録	東京国立博物館・公益財団法人台東区芸術文化財団	10月	無
36	同上	同上	青山杉雨の生涯	『MUSEUM 博物館之友』「日本書道之美、漢顔和風」	上海博物館編、鳳凰出版伝媒股份有限公司	5月	無
37	同上	列品管理課主任研究員 古谷 毅	江田船山古墳の出土品と百済	ビジュアル版 楽しくわかる韓国の歴史VOL.2 百済の美を求めて	キネマ旬報社	6月28日	無
38	同上	同上	忠清南道 公州 水村里古墳群出土金洞製装身具についての韓日製作技術の比較	公州 水村里遺跡発掘 10周年記念 国際学術シンポジウム 発表要旨集	韓国・忠南歴史文化研究院	9月25日	無
39	同上	列品管理課主任研究員 古谷 毅、(奈良県立橿原考古学研究所・水野敏典、同奥山誠義)	三次元計測による三角縁神獣鏡『同範鏡』の立体的差違の研究	『日本考古学協会 第79回総会 研究発表 要旨』	日本考古学協会	5月25日	無
40	同上	列品管理課主任研究員 古谷 毅	家形埴輪研究史と研究成果および課題 -機能と性格-	韓日家形土器・埴輪の比較と歴史的意義(韓日家形土器・埴輪(하니와) 共同研究会)要旨集	韓国・嶺南文化財研究院・東京国立博物館科学研究費(基盤 C)研究会	6月15日	無
41	同上	同上	大型古墳と中小古墳 -再整理から見た七観古墳の意義-	第4回百舌鳥古墳群講演会「巨大古墳あらわる-履中天皇陵古墳を考える-」発表要旨集	大阪府・堺市	2月2日	無
42	同上	列品管理課主任研究員 古谷 毅	日本原始・古代の武器と馬具	平成25年度 千葉市遺跡発表会 要旨	千葉市教育委員会 埋蔵文化財調査センター	26年2月22日	無
43	同上	列品管理課貸与特別観覧室主任研究員 小野真由美	近衛家と典薬頭・錦小路頼庸-その日記にみえる絵事について-	『MUSEUM』646	東京国立博物館、中央公論事業出版	10月	有
44	同上	列品管理課平常展調整室長 白井克也	The Toyokan's New Galleries of Korean Art	Oriental Art	Oriental Art Magazine Ltd	6月	無
45	同上	列品管理課平常展調整室主任研究員 川村佳男	'CULTURE OF HAN AND PRE-HAN DYNASTIES': Remembering the First Exhibition of Chinese Archaeology in Japan	ORIENTATIONS, vol. 44, no. 5	Oriental Art Magazine Ltd,	6月	無
46	同上	同上	「犧尊」	『國華』第1418号	國華社	12月	無
47	同上	同上	「中国の青銅器」	『東京国立博物館 東洋館 東洋美術をめぐる旅』	平凡社	12月	無
48	同上	同上	「玉器」ほか13項目	『中国文化史大事典』	大修館書店	5月	無
49	同上	同上	東周から漢時代にかけての黒陶着色技法	『中華文明の考古学』	同成社	26年3月	無
50	同上	列品管理課平常展調整室 土屋貴裕 (共著)	『『国宝帖』を読む』	『岡倉天心 近代美術の師(別冊太陽209)』	平凡社	7月25日	無
51	同上	列品管理課平常展調整室 土屋貴裕	「約束された救済の情景-二河白道図-」	「クリーブランド美術館展-名画でたどる日本の美-」展図録	東京国立博物館	26年1月15日	無
52	同上	同上	「鶯の紅葉のなぞ-深江蘆舟の「鶯の細道図」-」	同上	同上	同上	無
53	同上	同上	『支倉常長像と南蛮美術』	東京国立博物館特別展リーフレット	東京国立博物館	26年2月11日	無
54	同上	同上	「聖徳太子絵伝(四幅本)と法隆寺」	『法隆寺 献納宝物特別調査概報 34 聖徳太子絵伝(四幅本)2』	東京国立博物館	26年3月31日	無
55	同上	列品管理課平常展調整室 土屋貴裕 (綿田稔他と共著)	国立ギメ東洋美術館蔵 大政威徳天縁起絵巻-詞書公刊ならびに影印-(上)(中)(下)	『美術研究』410, 411, 412号	東京文化財研究所	9月、26年2月、3月	無
56	同上	調査研究課絵画・彫刻室長 田沢裕賀	栄西と建仁寺	『うえの』659号	上野のれん会	26年3月1日	無
57	同上	調査研究課絵画・彫刻室長 田沢裕賀	栄西と建仁寺の品々	特別展「栄西と建仁寺」図録	読売新聞社・NHK・NHK プロモーション	26年3月25日	無
58	同上	同上	海北友松の伝記と作風-建仁寺の友松筆障壁画の位置付け	同上	同上	同上	無

	研究テーマ	発表者 (職名・名前)	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	レフエ リー有 無
59	同上	同上	正伝院に伝来した二つの肖像画をめぐって	同上	同上	同上	無
60	同上	調査研究課絵画・彫刻室主任 研究員 山下善也	海を渡った海北友松の墨龍図	『特別展 朝鮮通信使と京都「誠信の交わり」への道—松雲大師と雨森芳洲—』図録	高麗美術館	10月19日	無
61	同上	同上	富士三保松原図の図様伝播—狩野派を中心に—	島尾新 彬子女王 亀田和子編『写しの力 創造と継承のマトリクス』	思文閣出版	12月20日	無
62	同上	同上	華麗なる二条城の障壁画	『新発見! 日本の歴史』29号	朝日新聞出版	26年1月26日	無
63	同上	同上	正伝院障壁画(狩野山楽筆)を復元する	特別展『栄西と建仁寺』	東京国立博物館	26年3月25日	無
64	同上	調査研究課絵画・彫刻室 本田光子	俵屋の扇絵—旧原本本「扇面散屏風」を見る—	聚美7号	青月社	4月1日	無
65	同上	同上	《作品紹介》土佐光起筆「源氏物語図屏風」について	MUSEUM 645号	東京国立博物館	8月15日	有
66	同上	調査研究課工芸室長 竹内奈美子	彫嵌の系譜	『彫嵌 美しき匠の技』	ギャラリー柳柳堂	10月8日	無
67	同上	同上	朱漆輪花盤	『國華』1421号	國華社	26年3月20日	無
68	同上	調査研究課工芸室主任 研究員 小山弓弦菜	「日本人と麻」	『中川政七商店』	宝島社	5月	無
69	同上	同上	Woven Riches: Asian Textiles at the Toyokan	ORIENTATIONS, vol. 44, no. 5	Orientations Magazine Ltd.	6月	無
70	同上	同上	「森口華弘が語った『東博伝説』のゆくえ」	『現代の眼 No.602』	東京国立近代美術館	10月	無
71	同上	同上	「日本工芸会 60年のあゆみ」	『美しいキモノ』No.246	(株)ハースト婦人画報社	11月	無
72	同上	同上	「名物裂とインド更紗」	『東京国立博物館 東洋館 東洋美術をめぐるとる旅』	平凡社	12月	無
73	同上	同上	「人間国宝展 一生み出された美、伝えゆくわざ」	『月刊うえの』No. 657 1月号	上野のれんの会	26年1月	無
74	同上	同上	「人間国宝展」への祈り	特別展「人間国宝展 一生み出された美、伝えゆくわざ」図録	東京国立博物館、文化庁、NHK、NHKプロモーション、朝日新聞社、日本工芸会	26年1月	無
75	同上	調査研究課東洋室 塚本磨充	「江戸時代所見之中国繪畫—狩野畫派的摹本製作與中国畫史研究」	『典藏古美術』第248期	典藏雜誌社	4月9日	無
76	同上	同上	「郭熙」ほか25項目	『中国文化史大事典』	大修館書店	5月	無
77	同上	同上	Frictions in Universal Contexts and Individual Values: Chinese Paintings at the Toyokan ” , June 2013, pp. 40-47.	Orientalism, Volume 44, Number 5	Orientalism Magazine	6月	無
78	同上	同上	「中国繪畫の至宝をめぐるとる旅」、 「日本と中国の中国繪畫観の差異—元代文人画の評価をめぐるとる」	『上海博物館 中国繪畫の至宝』図録	東京国立博物館	10月	無
79	同上	同上	「李公麟」ほか32項目	『岩波世界人名大辞典』	岩波書店	12月	無
80	同上	同上	「奇跡の中国繪畫展—特別展「上海博物館中国繪畫の至宝」へのご招待—」	『うえの』2013年10、11月号	上野のれん会	10月	無
81	同上	同上	「クリーブランド美術館の中国繪畫コレクションと日本」	『クリーブランド美術館 名画でたどるとる日本の美』	東京国立博物館	26年1月	無
82	同上	同上	「中国宮廷コレクションと目録—「舍利感應記」から「龍図閣瑞物目録」へ—」	『仏教美術論 第5巻 機能論』	竹林舎	26年2月	無
83	同上	同上	「矢代幸雄とシックマン—20世紀における中国繪畫観の変容」	『BI』Vol.7	東京大学	26年3月	無
84	同上	同上	「栄西の入宋—南宋社会からのまなざし—」	『栄西と建仁寺』	東京国立博物館	26年3月	無
85	同上	企画課長 井上洋一、調査研究課考古室 品川欣也、井出浩正	「縄文土器に飾られた人物と動物」	『縄文土器に飾られた人物と動物』	東京国立博物館	7月9日	無
86	同上	調査研究課考古室 橋本英将	装飾大刀	古墳時代の考古学 4 副葬品の型式と編年	同成社	5月31日	無
87	同上	企画課長 井上洋一、調査研究課考古室 品川欣也、井出浩正	縄文土器に飾られた人物と動物	東京国立博物館特集陳列リーフレット	東京国立博物館	7月9日	無

	研究テーマ	発表者 (職名・名前)	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	レフエ リー有 無
88	同上	保存修復課保存修復室アソシエイトフェロー 鈴木晴彦、米倉乙世、平河智恵、保存修復課長 神庭信幸、特任研究員 澤田むつ代、調査研究課工芸室主任研究員 小山弓弦葉、調査員 小笠原小枝、国宝修理装こう師連盟、岡興造、坂田雅之、加藤章男、半田昌規、大宮直、沖本明子、廣瀬織物有限会社 廣瀬賢治、株式会社鳥原商店 鳥原雄治	名物裂を用いた表装裂の復元に 関する共同研究	文化財保存修復学会第35回 大会研究発表要旨集	文化財保存修復 学会	7月20日	有
89	同上	保存修復課保存修復室長 土屋裕子(次の研究者との 共著 東京藝術大学教授 佐藤一郎、木島隆康、桐野 文良、非常勤講師 作間美 智子(元)、中右恵美子 (元)、金 鐘旭(現)	「小寺健吉(明治44年3月卒業) 自画像 東京藝術大学美術 館 学生制作品-1300」	『東京藝術大学美術学部紀 要』 第51号	東京藝術大学美 術学部	12月	有
90	同上	保存修復課長 神庭信幸 ほか	平成24年度東京国立博物館文化 財修理報告	平成24年度東京国立博物館 文化財修理報告書	東京国立博物館	26年3月31 日	無
91	創立150周年へ 向けた館史編纂 のための基礎的 な資料整理と調 査	調査研究課長 田島良 哲	《資料紹介》森鷗外自筆手稿「上 野公園ノ法律上ノ性質」	『MUSEUM』 645	東京国立博物館	8月	有
92	東日本大震災に よる被災文化財 の保存修復と文 化財の防災に関 する研究	保存修復課環境保存室長 和田浩、保存修復課長 神 庭信幸、陸前高田市立博物 館長 本多文人、陸前高田 市立博物館副主幹 熊谷 賢、岩手県立博物館学芸第 二課長 赤沼英男	陸前高田市立博物館における一 時保管環境の改善過程	文化財保存修復学会第35回 大会研究発表要旨集	文化財保存修復 学会	7月20日	有
93	同上	同上	津波で被災した資料の一時保管 環境の改善過程	2013 東アジア文化遺産保存 シンポジウム要旨集	2013 東アジア文 化遺産保存シン ポジウム事務局	9月5日	有
94	同上	保存修復課長 神庭信幸	岩手県における被災文化財等救 援活動の成果と課題	岩手県立博物館調査研究報 告書第30冊	岩手県立博物館	26年3月3 日	無
95	同上	保存修復課保存修復室アソ シエイトフェロー 鈴木 晴彦、保存修復課長 神 庭信幸、保存修復課環境保 存室長 和田浩	被災文化財等救援事業における 資料保存処置トリアージの重要 性	文化財保存修復学会第35回 大会研究発表要旨集	文化財保存修復 学会	7月20日	有
96	博物館環境デザ インに関する調 査研究	企画課デザイン室長 木 下史青	色を持たない歴史への視点と、僕 のミュージアム巡礼	日本歴史学会編集 「日本歴史」第788号	吉川弘文館	26年1月号	無
97	同上	同上	特集資料 照明デザインの新しい 地平 2章.2項「博物館照明の 秘密」	照明学会誌 第97巻 第10号 2013年10月	照明学会	10月	無
98	同上	同上	東京国立博物館 東洋館の環境・ 展示・照明・情報のデザイン	日本展示学会 展示論講座 ～博物館の展示～ 講義資料 集	日本展示学会	9月11日	無
99	同上	同上	LEDを用いた博物館照明の今後— 東京国立博物館 東洋館の展示リ ニューアル—	照明学会誌 第97巻 第6号 2013年6月	照明学会	6月	無
100	博物館教育に関 する調査研究	博物館教育課教育普及室 任期付研究員 永田香織	社会教育・生涯学習の施設・行政 とボランティア活動	現代の社会教育と生涯学習	九州大学出版会	4月10日	無
101	博物館資料・業務 の情報処理に関 する調査研究	博物館情報課情報管理室 長 村田良二	Digitization and Database in Tokyo National Museum	The 2nd Yeongwol International Museum Forum, Section 04, Museum and Design	The 2nd Yeongwol International Museum Forum (Korea)	10月22日	無
102	同上	調査研究課長 田島良 哲	デジタル時代における博物館コ レクションの表現—歴史的な視 角から	楊曉捷・小松和彦・荒木浩編 『デジタル人文学のすすめ』	勉誠出版	8月	無
103	同上	同上	文化財としての写真原板の保護	平成25年度文化庁「文化関 係資料のアーカイブの構築 に関する調査研究」報告書	日本写真家協会 日本写真保存セ ンター	26年3月	無
104	特別展「和様の 書」に関する調 査研究	同上	王朝貴族の書と信仰—藤原行成 を中心に	特別展図録『和様の書』	読売新聞社・NH K・NHKプロモ ーション	7月	無
105	特別展「日本伝統 工芸展60回記念 「人間国宝」に関 する調査研究	学芸研究部長 伊藤嘉章	東京国立博物館「特集陳列 人間 国宝の現在」作家インタビュー ②前田昭博	『陶説』第729号	日本陶磁協会	12月1日	無
106	同上	同上	東京国立博物館「特集陳列 人間 国宝の現在」作家インタビュー ②前田昭博、⑦伊藤赤水、⑧伊勢 崎淳	『陶説』第731号	日本陶磁協会	2月1日	無

	研究テーマ	発表者 (職名・名前)	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	レフ エリ ー 有無
107	絵巻の〈伝来〉 をめぐる総合的 研究	列品管理課平常展調整室 土屋貴裕	「歌仙絵がうまれたとき」	「和歌と美術」展図録	島根県立石見美術館	4月20日	無
108	同上	同上	「祖師のおもかげ―「華嚴宗祖師 絵伝」元曉絵 試論―」	加須屋誠編『図像解釈学―権 力と他者―(仏教美術論集 4)』	竹林舎	4月25日	無
109	同上	同上	『断簡―掛軸になった絵巻―』	東京国立博物館特集陳列リ ーフレット	東京国立博物館	7月17日	無
110	同上	同上	「失われた絵巻を求めて―絵巻 模本の底力―」	「クリーブランド美術館展 ―名画でたどる日本の美―」 展図録	東京国立博物館	26年1月15 日	無
111	縄文時代にお ける浅鉢形土器の 研究	調査研究課考古室 井出 浩正	縄文時代中期中葉における浅鉢 形土器―阿玉台式土器に伴う浅 鉢の様相―	史観(第168冊)	早稲田大学史学 会	26年3月25 日	有
112	東アジアの書道 史における料紙 と書風に関する 総合的研究	副館長 島谷弘幸	「和様の書の魅力」	『聚美』8号	青月社	6月	無
113	同上	同上	「聖鶴の書―日本人の心と美」	『高木聖鶴作品集』	山陽新聞社	6月	無
114	同上	同上	「和様の書」	『特別展 和様の書』図録	読売新聞社・ NHK・NHK プロモ ーション	7月	無
115	同上	同上	『美しいかなが書ける本』	『美しいかなが書ける本』	権出版社	7月	無
116	同上	同上	『東京国立博物館の名品でたど る 書之美』	『東京国立博物館の名品で たどる 書之美』	毎日新聞社	7月	無
117	同上	同上	「矢萩春恵の世界」	『矢萩春恵「お・ん・な」』	矢萩春恵展実行 委員会	10月	無
118	同上	調査研究課書跡・歴史室ア ソシエイトフェロー 恵 美千鶴子	「和様の書 小野道風『謚号勅 書』」	『BIO CITY』55号	ブックエンド	6月	無
119	同上	同上	「特別展 和様の書」	『うえの』651号	上野のれん会	7月	無
120	同上	同上	「和様の書 藤原行成『陣定文 案』」	『BIO CITY』56号	ブックエンド	10月	無
121	同上	副館長 島谷弘幸	「古筆における伝統と創造」	島谷弘幸編『料紙と書 東ア ジア書道史の世界』	思文閣出版	26年3月	無
122	同上	同上	「下絵装飾と書」	同上	同上	同上	無
123	同上	列品管理課長 富田淳	「中国書法史における料紙加工 紙について」	同上	同上	同上	無
124	同上	博物館情報課長 高橋裕 次	「日本の料紙装飾の技法にお ける受容と発展について」	同上	同上	同上	無
125	同上	調査研究課書跡・歴史室ア ソシエイトフェロー 恵 美千鶴子	「料紙を中心とした『平家納経』 鑑賞の記録」	同上	同上	同上	無
126	同上	同上	「後西天皇と書 『喪乱帖』」	『BIO CITY』57号	ブックエンド	26年1月	無
127	同上	同上	「後西天皇と書『高野切』」	『BIO CITY』58号	ブックエンド	26年3月	無
128	江戸幕府による 自然史科学の萌 芽と御用絵師の 役割に関する研 究	貸与特別観覧室主任研究 員 小野真由美	近衛家と典薬頭・錦小路頼庸―そ の日記にみえる絵事について―	『MUSEUM』646	東京国立博物館、 中央公論事業出 版	10月	有
129	同上	同上	狩野常信筆「草花魚貝虫類写生図 巻」の制作背景―所収写生図の年 代順の動向と被写体の提供者に ついて―	『東京国立博物館紀要』49	東京国立博物館	26年3月	無
130	模写資料にお ける書の受容・鑑 賞に関する基礎 的研究	調査研究課書跡・歴史室ア ソシエイトフェロー 恵 美千鶴子	「日本における王羲之『蘭亭序』 の受容」	『MUSEUM』第643号	東京国立博物館	6月	有
131	同上	同上	「和様の祖『小野道風』受容史」	『聚美』8号	青月社	6月	無
132	同上	同上	「『和様の書』鑑賞の歴史」	『特別展 和様の書』図録	読売新聞社・ NHK・NHK プロモ ーション	7月	無
133	視覚表現とコレ クションの形成 に見る縄文土器 の美術的受容に 関する研究	列品管理課登録室アソ シエイトフェロー 鈴木希 帆	ギメ東洋美術館所蔵の縄文土器 ―フォリー神父蒐集品の調査報 告を兼ねて	武蔵野美術大学研究紀要 第 44号	武蔵野美術大学	26年3月1 日	有
134	在欧日本仏教美 術の基礎的調 査・研究とデー タベース化による 日本仏教美術の 情報発信	副館長 島谷弘幸	「Characteristics of the Japanese Buddhist Art: With a Focus on Calligraphy」	Josef Kreiner etc『Japanese Collections in European Museums, Vol. IV: Buddhist Art』	Bier ' sche Verlagsastalt(B onn, ドイツ)	10月	無

## 【京都国立博物館】30件

○有形文化財の収集・保存・管理・展示・教育活動等にかかる調査・研究

	研究テーマ	発表者 (職名・名前)	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	レフ エリ ー有 無
1	彫刻に関する調査研究	保存修理指導室長 浅湊 毅	夢違観音の伝来について	てら ゆき めぐれ 大橋一章 博士古希記念美術史論文集	中央公論美術出版	4月28日	無
2	同上	同上	理由ありて日蓮宗寺院の尊像となれり	【図説】日蓮聖人と法華の至宝 第四巻 彫刻	同朋舎メディア プラン	11月20日	無
3	同上	同上	日蓮宗寺院における肖像彫刻の重要性	同上	同上	同上	無
4	収蔵品・寄託品及び関連品に関する調査研究	列品管理室主任研究員 永島明子	作品解説	特別展観図録『いとうるわし。日本の美—京都国立博物館名品展—』	香川県立ミュージアム	4月	無
5	同上	同上	ゴータ・フリーデンシュタイン 城美術館蔵画帖—明治政府より エディンバラ公アルフレッドへの 贈答品（共著）	『学叢』35号	京都国立博物館	5月	無
6	同上	同上	18世紀フランスの蒔絵熱—蒔絵 層の剥ぎ取りと高度な模造の実 例集—	同上	同上	同上	無
7	同上	同上	作品解説	Lacas Namban: Huellas de Japón en España (IV Centenario de la Embajada Keichō).	Ministerio de Educación, Cultura y Deporte, Museo Nacional de Artes Decorativas, Fundación Japón, Madrid.	5月	無
8	特別展観「遊び」に関する調査研究	同上	遊びの領分	『遊び』特別展観図録	京都国立博物館	7月13日	無
9	同上	同上	章解説・作品解説・編集	同上	同上	同上	無
10	出土・伝世古陶磁に関する調査研究	工芸室長 尾野善裕	古代尾張における施釉陶器生産 と歴史的背景	新修名古屋市史 資料編 考古 2	名古屋市	4月	無
11	同上	同上	初期仁清の基準作「三島写水指」	いとうるわし。日本の美 京都 国立博物館名品展	香川県立ミュージアム	4月	無
12	同上	同上	京都から見た〈山茶碗〉編年	東海土器研究会プレシンプジウム 資料集「渥美窯編年の問題点」	東海土器研究会	7月13日	無
13	同上	同上	織部焼はいつ流行したのか	特別展：国宝「卯花壇」と桃山の名 陶—志野・黄瀬戸／瀬戸黒・織 部—	三井記念美術館	9月10日	無
14	特別展覧会「魅惑の清朝陶磁」に関する調査研究	同上	清朝陶磁と日本	特別展覧会図録 魅惑の清朝陶 磁	読売新聞社	10月12日	無
15	同上	同上	清朝官窯と近世日本	『図説』第728号	日本陶磁協会	11月1日	無
16	出土・伝世古陶磁に関する調査研究	同上	京都から見た〈山茶碗〉編年～ 空白の14・15世紀をめぐって～	第2回東海土器研究会 渥美窯 編年の再構築	東海土器研究会	11月2日	無
17	近世絵画に関する調査研究	教育室研究員 水谷 亜希	ゴータ・フリーデンシュタイン 城美術館蔵画帖—明治政府より エディンバラ公アルフレッドへの 贈答品（共著）	『学叢』35号	京都国立博物館	5月	無
18	同上	同上	擬人化表現がはたす役割—御伽 草子《弥兵衛鼠》と《玉ものま へ》を中心に—	石川透編『中世の物語と絵画』（中 世文学と隣接諸学第9巻）（分担 執筆）	竹林舎	6月	無
19	新平常展示館の新装開館に向けた、同館における新たな教育ツールの開発のための調査研究	同上	〈こども☆ひかりフェスティバル〉での出会い	『ミュゼ』第104号	アム・プロモーション	7月	無
20	同上	同上	「文化財に親しむ授業」について（企画・執筆）	『文化財に親しむ授業ガイドブ ック』	京都国立博物館	12月	無
21	収蔵品・寄託品及び関連品に関する調査研究	企画室主任研究員 羽田 聡	書道史からみた天皇の書	『歴博』178	国立歴史民俗博 物館	5月	有
22	同上	同上	京都日蓮宗寺院における古文書	『日蓮聖人と法華の至宝 第三 巻 典籍・古文書』	同朋社メディア プラン	5月	無
23	同上	同上	作品解説	同上	同上	同上	無
24	特別展観「遊び」に関する調査研究	同上	作品解説	『特別展観 遊び』図録	京都国立博物館	7月13日	無
25	収蔵品・寄託品及び関連品に関する調査研究	同上	吉田本日本書紀 書誌解題	『国宝 吉田本日本書紀』	勉誠出版	26年2月	無
26	同上	同上	作品解説	『日本美術全集第5巻 王朝絵 巻と貴族のいとなみ』	小学館	26年2月	無

	研究テーマ	発表者 (職名・名前)	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	レフエ リー有 無
27	同上	教育室長 山川 暁	宋元時期仏教交流中の絲綢伝播	『海上絲綢之路—垂洲的跨文化交流和文化遺産検討会 発言提要』	北京大学中国考古研究中心ほか	10月25日	無
28	同上	同上	牛伏寺の法衣	『牛伏寺誌 歴史編』	牛伏寺誌刊行会	12月15日	無
29	同上	同上	作品解説	『新修豊田市史 別編美術工芸』	新修豊田市史編さん委員会	26年3月31日	無
30	同上	同上	刺繍懸装品と京都	『祇園祭山鉾懸装品調査報告書 国内染織品の部』	祇園祭山鉾連合会	26年3月31日	無

【奈良国立博物館】22件

○有形文化財の収集・保存・管理・展示・教育活動等にかかる調査・研究

	研究テーマ	発表者 (職名・名前)	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	レフエ リー有 無
1	南都諸社寺等における文化財調査を積極的に実施して、宗教文化に関する調査研究の成果を蓄積し、展覧会等に反映させる	学芸部長補佐 岩田 茂樹	「當麻寺金堂の弥勒仏像と四天王像について」	『當麻寺—極楽浄土へのあこがれ—』	奈良国立博物館	4月6日	無
2	館藏品・寄託品等の調査研究を文化財修理の観点から実施し、文化財の活用及び後生への継承に資する	同上	キンベル美術館・快慶作木造釈迦如来立像について	『MUSEUM』646号	東京国立博物館	10月15日	有
3	南都諸社寺等における文化財調査を積極的に実施して、宗教文化に関する調査研究の成果を蓄積し、展覧会等に反映させる	同上	海住山寺の彫刻—近年の調査の成果から、平安時代を中心に—	『海住山寺の美術』	海住山寺	10月26日	無
4	歴史学・考古学・美術史学などの人文諸学の見地から館藏品・寄託品等の調査研究を行い、その成果を積極的に公表する	学芸部長補佐 内藤 栄	古密教の法具について	『初期密教 思想・信仰・文化』	春秋社	7月	無
5	同上	同上	當麻寺の工芸	『當麻寺—極楽浄土へのあこがれ』	奈良国立博物館	4月6日	無
6	同上	同上	華籠を持った飛天	『薬師寺』第一七六号	法相宗大本山薬師寺	6月	無
7	正倉院宝物や奈良の出土遺物・伝世品・伝統工芸・芸能など、当該地域に密着した文化財に関する調査研究を実施し、展覧会等に反映させる	同上	白瑠璃碗をめぐって	『Drinking Glass—酒器のある情景』	サントリー美術館	9月	無
8	同上	同上	鳳凰堂と金色堂—雲中供養菩薩の有無をめぐって—	平等院鳳凰堂平成修理完成記念『天上の舞 飛天の美』	サントリー美術館	11月	無
9	館藏品・寄託品等の調査研究を文化財修理の観点から実施し、文化財の活用及び後生への継承に資する	企画室長 野尻 忠	金光明最勝王経(百済豊虫願経)書誌解題	『国宝 西大寺本 金光明最勝王経 天平宝字六年百済豊虫願経』	勉誠出版	9月4日	無
10	同上	同上	計帳手実を読む～但波吉備麻呂、四十年の歩み	『第六十五回正倉院展目録』	奈良国立博物館	10月25日	無
11	同上	同上	万昆嶋主解(天平宝字二年七月二十八日)(紙背 写千卷経所食物用帳断簡)	『正倉院文書研究』	吉川弘文館	11月10日	有
12	歴史学・考古学・美術史学などの人文諸学の見地から館藏品・寄託品等の調査研究を行い、その成果を積極的に公表する	情報サービス室長 吉澤 悟	古代火葬墓の変遷	『事典 墓の考古学』	吉川弘文館	5月30日	無
13	同上	同上	墓塔の成立と変遷	同上	同上	同上	無

	研究テーマ	発表者 (職名・名前)	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	レフェ リー 有無
14	正倉院宝物や奈良の出土遺物・伝世品・伝統工芸・芸能など、当該地域に密着した文化財に関する調査研究を実施し、展覧会等に反映させる	教育室長 岩井 共二	総論 聖なるもののかたちとしての仏像	『みほとけのかたち—仏像に会う—』	奈良国立博物館	7月	無
15	歴史学・考古学・美術史学などの人文諸学の見地から館藏品・寄託品等の調査研究を行い、その成果を積極的に公表する	主任研究員 清水 健	「特別講演 『那智瀧図』に迫る」	『第5回熊野学フォーラム—熊野を描く神品をめぐる—国宝『那智瀧図』の聖性!! 報告書』	新宮市教育委員会	26年3月	無
16	南都諸社寺等における文化財調査を積極的に実施して、宗教文化に関する調査研究の成果を蓄積し、展覧会等に反映させる	同上	『おん祭と春日信仰の美術』展奮戦記	『第878回国指定重要無形民俗文化財 春日若宮おん祭』第29集	一般財団法人春日若宮おん祭保存会	11月	無
17	同上	同上	おん祭と春日信仰の美術 総論	『特別陳列 おん祭と春日信仰の美術』	一般財団法人仏教美術協会	12月	無
18	同上	研究員 斎木 涼子	『称讃浄土経』書写と「中将姫願経」の展開	『當麻寺—極楽浄土へのあこがれ』	奈良国立博物館	4月	無
19	歴史学・考古学・美術史学などの人文諸学の見地から館藏品・寄託品等の調査研究を行い、その成果を積極的に公表する	同上	「平安時代の護国国会」	『年中行事・神事・仏事 生活と文化の歴史学2』	竹林舎	4月	無
20	同上	同上	「中世的天皇像の形成—仏教・神祇と金輪聖王—」	『歴史の理論と教育』一三九	名古屋歴史科学研究会	7月	有
21	同上	同上	「後七日御修法」	『週刊 新発見!日本の歴史』平安時代2	朝日新聞出版	9月	無
22	同上	研究員 原 瑛莉子	「玄奘三蔵法師のすがた—法相曼荼羅・釈迦十六善神像から」	『薬師寺』176号	薬師寺	9月	無

## 【九州国立博物館】 21件

○有形文化財の収集・保存・管理・展示・教育活動等にかかる調査・研究

	研究テーマ	発表者 (職名・名前)	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	レフェ リー 有無
1	特別展「国宝 大神社展」に関する調査研究	展示課主任研究員 酒井芳司	神話と『古事記』『日本書紀』	特別展「国宝 大神社展」図録	NHK NHK プロモーション	4月9日	無
2	ベトナムにおける16~17世紀の海外交易に関する調査研究	前博物館科学課保存修復室長 藤田励夫	外交文書にみる16~17世紀の日越交流	特別展「大ベトナム展」図録(大ベトナム展公式カタログ ベトナム物語)	TVQ九州放送 西日本新聞社	4月16日	無
3	同上	企画課資料管理室主任研究員 原田あゆみ	チャンパー	同上	同上	同上	無
4	日本書道史における墨蹟の研究	文化財課資料登録室主任研究員 丸山猶計	「蘭溪道隆墨蹟「法語・規則」(建長寺蔵)」	『季刊 禅文化』228号	公益財団法人 禅文化研究所	4月25日	無
5	中世日朝交流史に関する研究	文化財課資料登録室主任研究員 荒木和憲	中世対馬・松浦地域の海民の比較	韓日関係史学会・韓日文化交流基金編『朝鮮時代の韓国と日本』	韓国・景仁文化社	4月	無
6	神戸市立博物館所蔵の江戸時代の対外交渉に関連する作品の調査研究	企画課特別展室研究員 鷲頭桂	海をこえる、海がつなぐ、一八世紀日本と異国の絵画	トピック展示「視覚革命!異国と出会った江戸絵画」図録	九州国立博物館	7月17日	無
7	同上	文化財課特別展室主任研究員 畑靖紀	江戸文化の新しい風—黄檗の美術	同上	同上	同上	無
8	中世日朝交流史に関する研究	文化財課資料登録室主任研究員 荒木和憲	対馬宗氏の日朝外交戦術	荒野泰典・石井正敏・村井章介編『地球的世界の成立』(日本の対外関係5)	吉川弘文館	9月	無
9	トピック展「ロシアが見たアイヌ文化」に関する調査研究	展示課長 赤司善彦	アイヌ文様と九州の壁画古墳文様	トピック展示「ロシアが見たアイヌ文化」図録	九州国立博物館	10月11日	無
10	大宰府学研究	展示課主任研究員 酒井芳司	宝満山の歴史	トピック展示「山の神々—九州の霊峰と神祇信仰—」図録	九州国立博物館	10月22日	無
11	九州霊山信仰関連資料の調査	文化財課アソシエイトフェロー 望月規史	霊山への信仰がもたらしたもう一つの実り ~古典文学の世界から	同上	同上	同上	無

	研究テーマ	発表者 (職名・名前)	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	レフェ リー 有無
12	中世日朝交流史に関する研究	文化財課資料登録室主任 研究員 荒木和憲	中世日朝通交貿易の基本構造をめぐって	『朝鮮史研究会論文集』 51	朝鮮史研究会	10月	有
13	特別展「国宝 大神社展」に関する調査研究	展示課主任研究員 楠井 隆志	『国宝大神社展』福岡展へのいざなひ	『月刊若木』第774号	神社本庁	12月1日	無
14	收藏品・寄託品および関連品に関する調査研究	企画課特別展室研究員 鷲頭桂	九州国立博物館の近世絵画コレクション	トピック展示「館蔵近世 絵画名品展」図録	九州国立博物 館	26年 2月25日	無
15	朝鮮半島、三国時代の考古・美術に関する調査研究	企画課文化交流展室長 河野一隆	ダンワラ古墳出土金銀錯嵌龍文鉄鏡の基礎的研究—製作技法と文様構成を中心として—	『東アジア古文化論攷』	中国書店	26年3月21 日	無
16	同上	展示課長 赤司善彦	古代山城の倉庫群の形成について—大野城を中心として—	同上	同上	同上	無
17	ベトナムにおける16～17世紀の海外交易に関する調査研究	前博物館科学課保存修復 室長 藤田励夫	安南日越外交文書集成	「東風西声」九州国立博 物館紀要 第9号	九州国立博物 館	26年3月31 日	無
18	国宝桜ヶ丘銅鐸の総合診断調査と今後の保存活用	展示課主任研究員 進村 真之 交流課教育普及室 土屋 和美 交流課主任研究員 池内 一誠	国宝桜ヶ丘銅鐸を中心とした共同研究および活用への取り組み	同上	同上	同上	無
19	九州における対外交流文化財の保存と活用に向けた研究基盤の創設	展示課長 赤司善彦	加唐島武寧王伝説の調査について	同上	同上	同上	無
20	特別展のテーマに則した、解説パネル、冊子、ワークショップ等、観覧者の理解促進のための教育普及プログラムの調査研究	企画課アソシエイトフェ ロー 西島亜木子 企画課研究補佐員 山下 久美子 企画課研究補佐員 鮫島 由佳	特別展における教育普及解説ツールに関する実践的考察—読まれるパネル 読まれないパネル—	同上	同上	同上	無
21	X線CTスキャナによる青銅器・彫刻・漆工などの構造技法解析	博物館科学課長 今津節 生 文化財課主任研究員 鳥 越俊行 博物館科学課研究補佐員 和田慧	博物館研究におけるX線CT活用の可能性	同上	同上	同上	無

### 【東京文化財研究所】28件

○文化財に関する基礎的・体系的な調査・研究の推進（11件）

	研究テーマ	発表者 (職名・名前)	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	レフェ リー 有無
1	文化財の資料学的研究	企画情報部文化財アーカイ ブズ研究室長 綿田 稔	研究資料 国立ギメ東洋美術館蔵 大政 威徳天縁起絵巻— 解題	『美術研究』410	東京文化財研 究所	9月	無
2	同上	同上	研究資料 国立ギメ東洋美術館蔵 大政 威徳天縁起絵巻— 詞書公刊・影印(上・ 中・下)	『美術研究』410～412	同上	9月～26年 3月	無
3	同上	企画情報部長 田中 淳	研究資料 黒田清輝宛小川一真書簡の 翻刻と黒田清輝の写真観	『美術研究』412号	同上	26年3月	無
4	近現代美術に関する交流史的研究	企画情報部近・現代視覚 芸術研究室長 塩谷 純	歴史を学ぶ・楽しむ—幕末明治期の視覚 表現から	『日本美術全集 第16 巻 幕末から明治時代 前期 激動期の美術』	小学館	12月	無
5	同上	企画情報部長 田中 淳	序論：萬鉄五郎 七変化—「口髭のある 自画像」を中心に	『萬鉄五郎 七変化』展 図録	萬鉄五郎記念 美術館	11月	無
6	美術の表現・技法・材料に関する多角的研究	企画情報部主任研究員 小林達朗	美麗の術—国宝千手観音像の場合	第37回文化財の保存及 び修復に関する国際研 究集会プレ・プリント	東京文化財研 究所	26年1月	無
7	無形文化財の保存・活用に関する調査研究	無形文化遺産部主任研究 員 久保田裕道	日本民俗学の研究動向(2009-2011) 民 俗芸能	『日本民俗学』276	日本民俗学会	26年2月	無
8	同上	同上	被災地における無形伝承の復興と情報 ネットワーク	『共存学2 災害後の 人と文化、ゆらぐ世界』 弘文堂 pp.49-66	弘文堂	26年2月	無
9	同上	無形文化遺産部研究員 菊池理予	染織技法の分業に関する研究(一)	『無形文化遺産研究報 告』第8号 東京文化財 研究所無形文化遺産部	東京文化財研 究所	26年3月	無
10	同上	無形文化遺産部研究員 今石みぎわ	出合いのトポス—描かれた山と人間	『遠野物語 遭遇と鎮 魂』	岩波書店	26年3月	無
11	同上	無形文化遺産部主任研究 員 久保田裕道	鎮魂の解釈をめぐって—タマフリとタ マシズメと—	『宗教民俗研究』23	日本宗教民俗 学会	26年3月	有

○文化財の研究に関する調査手法の研究・開発の推進（0件）

○科学技術の活用等による文化財の保存科学や修復技術に関する中核的な支援拠点として、先端的調査研究等の推進（14件）

	研究テーマ	発表者 (職名・名前)	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載年月日	レフェリー有無
1	文化財のカビ被害予防と対策のシステム化についての研究	保存修復科学センター研究員 佐藤嘉則、生物科学研究室長 木川りか	Microbial deterioration of tsunami-affected paper-based objects: A case study	International Biodeterioration & Biodegradation 88, pp. 142-149	International Biodeterioration & Biodegradation society	26年3月	有
2	同上	保存修復科学センター研究補佐員 小野寺裕子、研究補佐員 古田嶋智子、研究員 佐藤嘉則、生物科学研究室長 木川りか	津波等海水に浸水した紙資料のスクウェルチ・ドライイング法—処理後の塩分残留量の調査結果について—	『保存科学』53	東京文化財研究所	26年3月	有
3	文化財の保存環境の研究	保存修復科学センター保存科学研究室長 佐野千絵、研究補佐員 古田嶋智子、客員研究員 呂俊民	展示ケース内有機酸の低減対策の評価法	同上	同上	同上	有
4	同上	保存修復科学センター客員研究員 呂俊民、研究補佐員 古田嶋智子、保存科学研究室長 佐野千絵	展示ケース内有機酸濃度のギ酸/酢酸比	同上	同上	同上	有
5	文化財の材質及び劣化調査法に関する研究	保存修復科学センター分析科学研究室長 早川泰弘、企画情報部専門職員 城野誠治	蛍光エックス線分析装置による伊藤若冲 菜蟲譜の彩色材料調査	同上	同上	同上	有
6	同上	保存修復科学センター分析科学研究室長 早川泰弘	平等院鳳凰堂の装飾金具および梵鐘の材料調査	鳳翔学叢 10	平等院	同上	無
7	周辺環境が文化財に及ぼす影響評価とその対策に関する研究	保存修復科学センター修復材料研究室長 朽津信明	Deterioration of stone monuments by epiphytes in relation with environmental factors	第36回文化財の保存および修復に関する国際研究集会報告書	東京文化財研究所	26年2月	無
8	同上	保存修復科学センター主任研究員 森井順之	Method for cleaning epiphytes on stone monuments	同上	同上	同上	無
9	同上	保存修復科学センター修復材料研究室長 朽津信明	日本における岩刻画の保存—フゴッペ洞窟の例を中心にして—	日韓共同研究報告書	同上	5月	無
10	同上	保存修復科学センター主任研究員 森井順之	九州装飾古墳の保存環境調査	日韓共同研究報告書	同上	5月	無
11	文化財の防災計画に関する調査研究	保存修復科学センター修復材料研究室長 朽津信明	活動支援班報告	東北地方太平洋沖地震被災文化財等救援委員会平成24年度報告書	同上	5月	無
12	文化財における伝統技術及び材料に関する調査研究	保存修復科学センター伝統技術研究室長 北野信彦	文化財建造物における伝統的な塗装材料と施工上の問題点	塗装工学 第48巻11号	日本塗装技術協会	11月	有
13	同上	同上	仁王胴具足にみられる桃山文化期の一塗装技術	『保存科学』53	東京文化財研究所	26年3月	有
14	同上	同上	桃山文化期における輸入漆の調達と使用に関する調査(Ⅲ)-日本国内の出土漆器における輸入漆塗料の使用事例-	同上	同上	同上	有

○保存・修復事業を実施するために必要な研究基盤の整備（1件）

	研究テーマ	発表者 (職名・名前)	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載年月日	レフェリー有無
1	文化財保護に関する国際情報の収集・研究・発信	文化遺産国際協力センター主任研究員 江村知子	Rinpa Artists and Samurai class	Bulletin of the Detroit Institute of Arts, Vol. 88 nos. 1/4	Detroit Institute of Arts	26年3月	無

○諸外国における文化財の保存・修復に関する技術移転の推進（1件）

	研究テーマ	発表者 (職名・名前)	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載年月日	レフェリー有無
1	ユーラシア壁画の調査研究と保存修復	文化遺産国際協力センター客員研究員 杉原朱美、アソシエイトフェロ— 藤澤明、地域環境研究室長 山内和也	タジキスタン国立古代博物館が所蔵するフルブック都城址出土壁画断片の保存修復	『保存科学』53	東京文化財研究所	26年3月	有

○研究所の研究成果の発信 (1件)

	研究テーマ	発表者 (職名・名前)	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	レフェ リー 有無
1	被災文化財関連 情報に関するデ ータの蓄積・分析 及び情報発信	企画情報部情報システム 研究室長 二神葉子	Rescue Efforts for Cultural Properties Affected by the Great East Japan Earthquake Disasters	東京文化財研究所 WEB	東京文化財研究 所	26年1月	無

【奈良文化財研究所】107件

○文化財に関する基礎的・体系的な調査・研究の推進 (67件)

	研究テーマ	発表者 (職名・名前)	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	レフェ リー 有無
1	近畿を中心とする古寺 社等所蔵の歴史資料等 に関する調査研究	歴史研究室長 吉川聡、 建造物研究室研究員 鈴木智大、遺構研究室研 究員 海野聡、埋蔵文化 財センターアソシエイ トフェロー 赤田昌倫、 児島大輔	内山永久寺の扁額	奈良文化財研究所 紀要 2013	奈良文化財研究 所	6月28日	無
2	我が国の建造物及び伝 統的建造物群に関する 調査・研究	遺構研究室長 箱崎和 久	建築遺跡の整備と問題点	同上	同上	同上	無
3	同上	文化遺産部長 林良彦	旧高梁尋常高等小学校校舎の建築調 査	同上	同上	同上	無
4	同上	都城発掘調査部研究員 海野聡	比叡山延暦寺の近世・近代における伽 藍の新陳代謝	同上	同上	同上	無
5	同上	文化遺産部研究員 鈴 木智大	近代兵庫の公共建築にみる和風意匠 と伝統理解	同上	同上	同上	無
6	同上	都城発掘調査部研究員 番光	松阪市・長谷川家住宅の調査	同上	同上	同上	無
7	同上	都城発掘調査部研究員 大林潤	佐脇家図面の調査	同上	同上	同上	無
8	同上	都城発掘調査部アソシ エイトフェロー 松下 迪生	近代兵庫の和風別荘と邸宅	同上	同上	同上	無
9	同上	文化遺産部長 林良彦	日本における集落町並み保存の制度 と実務	第5回日中韓建築 文化遺産保存国際 学術会議予稿集	奈良文化財研究 所	11月13日	無
10	同上	都城発掘調査部アソシ エイトフェロー 松下 迪生	同上	同上	同上	同上	無
11	我が国の記念物に関す る調査・研究(遺跡等整 備)	景観研究室長 平澤毅	パブリックな存在としての遺跡・遺産	奈良文化財研究所 紀要 2013	奈良文化財研究 所	6月28日	無
12	同上	景観研究室長 平澤毅	日本遺跡学会の10年—設立/大会/ 『遺跡学研究』—	遺跡学研究 第 10号	日本遺跡学会	9月30日	無
13	同上	景観研究室長 平澤毅	遺跡を現在に活かし、未来に伝える —平城宮跡の保存と整備	奈良文化財研究所 創立60周年記念 『遺跡をさぐり、 しらべ、いかす —奈文研60年の 軌跡と展望—』	奈良文化財研究 所	9月30日	無
14	同上	同上	遺跡・遺産の経験と意味	パブリックな存在 としての遺跡・遺 産 —平成24年 度遺跡等マネジ メント研究会(第 2回)報告書—	同上	12月21日	無
15	同上	文化遺産部アソシエイ トフェロー 菊池淑人	パブリックな存在としての遺跡・遺産 と関連条約・憲章・勧告・宣言	同上	同上	同上	無
16	我が国の記念物に関す る調査・研究(庭園)	前・文化遺産部主任研究 員 青木達司	禪宗寺院と庭園	奈良文化財研究所 紀要 2013	奈良文化財研究 所	6月28日	無
17	同上	副所長 小野健吉	シギリヤ遺跡の庭園遺構	同上	同上	6月28日	無
18	同上	客員研究員 マレス・ E・ベルナル	日本庭園史と森蘊の業績—毛越寺庭 園の復元・整備を通して	同上	同上	6月28日	無
19	同上	前・文化遺産部アソシ エイトフェロー 大平和 弘	荒磯模した庭園、荒野のような人工機 ~石材をめぐるこぼれ話~	遺跡学研究 第 10号	日本遺跡学会	9月30日	無
20	同上	文化遺産部主任研究員 中島義晴	平成23・24年度の「庭園の歴史に関 する研究会」における論点	平成25年度庭園 の歴史に関する研 究会 室町時代の	奈良文化財研究 所	11月2日	無

	研究テーマ	発表者 (職名・名前)	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	レフェ リー 有無
				将軍の庭園 資料集			
21	平城京左京二条二坊十五坪の発掘調査	都城発掘調査部主任研究員 神野 恵	法華寺旧境内の調査(平城第514次)	奈文研ニュース No.50	奈良文化財研究所	6月	無
22	興福寺西室の発掘調査	都城発掘調査部研究員 番 光	興福寺西室の調査(平城516次)	奈文研ニュース No.51	同上	12月	無
23	薬師寺十字廊跡の発掘調査	都城発掘調査部研究員 庄田慎矢ほか	薬師寺十字廊の調査(平城519次)	薬師寺 旧境内保存整備に伴う発掘調査概報Ⅱ	薬師寺	26年3月	無
24	古代官衙、集落遺跡等に関する研究集会の実施、報告書の刊行	都城発掘調査部研究員 青木 敬ほか	塩の生産・流通と官衙・集落	奈良文化財研究所 研究報告第12冊 塩の生産・流通と官衙・集落	奈良文化財研究所	12月13日	無
25	同上	都城発掘調査部主任研究員 馬場 基	文献資料からみた古代の塩	同上	同上	同上	無
26	同上	都城発掘調査部主任研究員 神野 恵	都城の製塩土器	同上	同上	同上	無
27	古代瓦に関する研究集会の実施、報告書の刊行	都城発掘調査部主任研究員 渡辺文彦ほか	平城宮の重圏文系軒瓦	古代瓦研究Ⅵ 大官大寺式・興福寺式・湖池式軒瓦の展開一、重圏文系軒瓦の展開一	奈良文化財研究所	12月	無
28	同上	考古第三研究室長 清野孝之	大官大寺の出土軒瓦	同上	同上	同上	無
29	同上	都城発掘調査部主任研究員 今井晃樹	興福寺出土の興福寺式軒瓦	同上	同上	同上	無
30	同上	都城発掘調査部研究員 石田由紀子	平城宮内出土の興福寺式軒瓦	同上	同上	同上	無
31	同上	都城発掘調査部主任研究員 渡辺文彦	平城宮の重圏文系軒瓦	同上	同上	同上	無
32	藤原宮跡の発掘調査	都城発掘調査部研究員 和田一之輔	藤原宮朝堂院朝庭の調査(飛鳥藤原第179次)	奈文研ニュース No.50	奈良文化財研究所	9月	無
33	同上	都城発掘調査部アソシエイトフェロー 南部裕樹	左京三条三坊の調査-第178-7次	奈文研ニュース No.52	同上	26年3月	無
34	飛鳥地域発掘調査	都城発掘調査部研究員 大林潤	甘樫丘東麓遺跡の調査(飛鳥藤原第177次)	奈文研ニュース No.51	同上	12月	無
35	平城宮・京跡の出土遺物と検出遺構の調査研究等	都城発掘調査部研究員 青木 敬	版築と礎	奈良文化財研究所 紀要2013	同上	6月	無
36	同上	客員研究員 深澤芳樹ほか	7, 8世紀の灯明油に関する覚え書き	同上	同上	同上	無
37	同上	考古第一研究室長 小池伸彦	平城宮南東隅(第32次補足調査)出土の鉛等非鉄金属冶金遺構について	同上	同上	同上	無
38	同上	都城発掘調査部研究員 諫早直人	平城宮若犬飼門付近出土の小札甲	同上	同上	同上	無
39	同上	都城発掘調査部研究員 芝 康次郎ほか	平城宮東方官衙地区SK19198の自然科学分析 -第440次	同上	同上	同上	無
40	同上	都城発掘調査部研究員 海野 聡	建築部材を転用した井戸部材の調査 -第486次	同上	同上	同上	無
41	同上	都城発掘調査部アソシエイトフェロー 井上 幸ほか	地下の正倉院展 -木簡学ことはじめ-	平城宮跡資料館秋期特別展「地下の正倉院展-木簡学ことはじめ-」リーフレット	同上	10月	無
42	飛鳥・藤原京跡出土遺物・遺構に関する調査研究等	都城発掘調査部主任研究員 山本崇	近年の木簡調査研究の動向	考古学ジャーナル 649	ニューサイエンス社	12月	無
43	アジアにおける古代都城遺跡、生産遺跡、墓制及び陶磁器に関する中国、韓国との共同研究及びカザフスタンへの研究協力	都城発掘調査部主任研究員 今井晃樹	漢魏洛陽城-北魏宮城西南隅の調査成果-	奈良文化財研究所 紀要2013	奈良文化財研究所	6月28日	無
44	同上	都城発掘調査部主任研究員 今井晃樹	中国社会科学院考古研究所との共同研究	同上	同上	同上	無
45	同上	考古第一研究室長 小池伸彦	同上	同上	同上	同上	無
46	同上	都城発掘調査部主任研究員 森川実	同上	同上	同上	同上	無
47	同上	考古第三研究室長 清野孝之	韓国国立文化財研究所との共同研究	同上	同上	同上	無
48	同上	都城発掘調査部研究員	日本古墳の墳丘築造技術とその系統	蓮山洞古墳群の意	釜山広域市連堤	12月17日	無

	研究テーマ	発表者 (職名・名前)	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	レフェ リー 有無
		青木 敬		義と評価	区・釜山大学校博物館		
49	同上	考古第一研究室長 小池伸彦	遼寧省文物考古研究所との共同研究	奈文研ニュース NO. 52	奈良文化財研究所	26年3月	無
50	同上	考古第三研究室長 清野孝之	日韓共同研究中間成果発表会	同上	同上	同上	無
51	遺跡データベースの作成と公開	遺跡・調査技術研究室長 小澤毅	日本初の計画都市、藤原京の全貌が見えた！	週刊朝日百科『新発見！日本の歴史』10	朝日新聞出版	8月27日	無
52	同上	遺跡・調査技術研究室長 小澤毅	飛鳥から藤原京そして平城京へ	日中韓古代都城文化の潮流—名文研60年都城の発掘と国際共同研究—	奈良文化財研究所	12月10日	無
53	同上	客員研究員 山中敏史	郡衙の正倉院—各地の発掘調査成果から—	平成25年度文化財シンポジウム「北関東における郡衙の正倉」予稿集	太田市	26年2月16日	無
54	遺跡データベースの作成と公開	遺跡・調査技術研究室長 小澤毅	飛鳥の都と古墳の終末	岩波講座日本歴史第2巻	岩波書店	26年3月19日	無
55	文化的景観及びその保存・活用に関する調査研究	文化遺産部研究員 恵谷浩子	人と自然の共同作品	読売新聞	読売新聞社	8月4日	無
56	同上	同上	文化的景観保全のキーストーンとしての古民家再生—京都岡崎の文化的景観を事例として	農村計画学会誌	農村計画学会	9月30日	無
57	同上	文化遺産部アソシエイトフェロー菊地淑人	農業に関する文化的景観保護の脅威と将来像—世界遺産登録地域における国際機関と締約国の認識—	遺跡学研究 第10号	日本遺跡学会	同上	有
58	同上	同上	第37回世界遺産委員会(プノンベン)報告—条約採択50年に向けた新たな一歩—	同上	同上	同上	無
59	同上	同上	探検・奈文研 奈良と世界遺産	読売新聞	読売新聞社	12月8日	無
60	同上	文化遺産部	地域の環境を整える手段としての文化的景観	奈良文化財研究所研究報告第13冊 文化的景観研究集会(第5回)報告書	奈良文化財研究所	26年1月20日	無
61	同上	文化遺産部アソシエイトフェロー菊地淑人	文化財の価値調査から文化資源保護・活用への広がりと将来の模索—京都岡崎における近代の記憶の発掘・継承とその資源化	文化資源学 11	文化資源学会	7月31日	無
62	出土遺物の材質構造調査、鉄製品及び木製品の埋蔵環境調査	埋蔵文化財センター研究員 田村朋美	松ヶ迫矢谷遺跡出土ガラス小玉の考古学的研究	奈良文化財研究所紀要2013	奈良文化財研究所	6月28日	無
63	同上	同上	キトラ古墳出土赤色塗膜片の調査	同上	同上	同上	無
64	同上	都城発掘調査部主任研究員 降幡順子	同位体化学分析を実施するための事前調査—破壊分析における事前調査の有効性—	同上	同上	同上	無
65	同上	保存修復科学研究室長 高妻洋成、埋蔵文化財センターアソシエイトフェロー 赤田昌倫	出土有機質付着物の材料分析	同上	同上	同上	無
66	同上	保存修復科学研究室長 高妻洋成、埋蔵文化財センター研究員 脇谷草一郎、田村朋美、埋蔵文化財センターアソシエイトフェロー 赤田昌倫	法隆寺所蔵古材調査3—金堂古材の塗装分析調査—	同上	同上	同上	無
67	遺構の安定化方法を検討するための基礎データを収集	保存修復科学研究室長 高妻洋成、埋蔵文化財センター研究員 脇谷草一郎	史跡グラウンドや古墳の保存に関する研究—石室保護施設の設置による結露性状変化の検討—	同上	同上	同上	無

○文化財の研究に関する調査手法の研究・開発の推進 (14件)

	研究テーマ	発表者（職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載年月日	レフェリー有無
1	文化財の測量・探査等に関する研究	埋蔵文化財センター主任研究員 金田明大	アレイ式探査機による遺跡探査迅速化の試行	日本文化財科学学会第30回大会研究発表要旨集	日本文化財科学学会	7月7日	無
2	文化財の測量・探査等に関する研究	主埋蔵文化財センター主任研究員 金田明大	掘らずに土の中をみる－遺跡探査の応用と成果－	遺跡をさぐり、しらべ、いかす	クバプロ	9月30日	無
3	年輪年代学研究	埋蔵文化財センターアソシエイトフェロー 児島大輔	福寿寺から大養徳国金光明寺へ－東大寺前身寺院に関する二三の問題－	『てら ゆき めぐれ 大橋一章博士古稀記念美術史論集』	中央公論美術出版	4月28日	無
4	同上	歴史研究室長 吉川聡、都城発掘調査部研究員 鈴木智大、海野聡、埋蔵文化財センターアソシエイトフェロー 赤田昌倫、児島大輔	内山永久寺の扁額	『奈良文化財研究所紀要』2013	奈良文化財研究所	6月28日	無
5	同上	Junko Kitagawa, Toshiyoshi Fujiki, Kazuyoshi Yamada, 埋蔵文化財センター研究員 Yasuharu Hoshino, Hitoshi Yonenobu, Yoshinori Yasuda	Human impact on the Kiso-hinokicypress woodland in Japan: a history of exploitation and regeneration	Vegetation History and Archaeobotany	Springer	12月18日	無
6	動植物遺存体による環境考古学的研究	埋蔵文化財センター研究員 山崎健、東京大学大学院 覚張隆史ほか	同位体化学分析を実施するための事前調査－破壊分析における事前調査の有効性－	奈良文化財研究所紀要2013	奈良文化財研究所	6月28日	無
7	同上	都城発掘調査部研究員 廣瀬寛、埋蔵文化財センター研究員 山崎健ほか	藤原宮朝堂院朝庭の自然科学分析－第169次	同上	同上	同上	無
8	同上	埋蔵文化財センター研究員 山崎健	動物遺存体	雲宮遺跡・長岡京左京六条二坊跡発掘調査報告書	古代学協会	8月31日	無
9	同上	客員研究員 丸山真史	難波宮跡・大坂城跡発掘調査(NW12-4)から出土した動物遺存体	難波宮跡の研究19	大阪文化財研究所	10月	無
10	同上	客員研究員 菊地大樹	馬牲の境界	中華文明の考古学	同成社	26年2月	無
11	同上	埋蔵文化財センター研究員 山崎健、客員研究員 丸山真史、客員研究員 菊地大樹ほか	脊椎動物遺存体	小竹貝塚発掘調査報告	富山県文化振興財団埋蔵文化財調査事務所	26年3月	無
12	同上	同上	鯛の歯が象嵌された藍胎漆器	同上	同上	同上	無
13	同上	客員研究員 丸山真史	膳所城跡遺跡から出土した動物遺存体	膳所城跡遺跡	滋賀県教育委員会・滋賀県文化財保護協会	同上	無
14	同上	埋蔵文化財センター研究員 山崎健ほか	内田貝塚から出土した貝類・魚類・両棲類・爬虫類	内田貝塚(Ⅲ)・若宮遺跡(Ⅶ)	豊橋市教育委員会	同上	無

○科学技術の活用等による文化財の保存科学や修復技術に関する中核的な支援拠点として、先端的調査研究等の推進（3件）

	研究テーマ	発表者（職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載年月日	レフェリー有無
1	ミリ波イメージングにかかる基礎実験及び装置の改良等	保存修復科学研究室長 高妻洋成	Application of Terahertz Wave Imaging Technique to Structural Survey of a Historical Painting on Silk	Proceedings of Asia-Pacific Microwave Photonics Conference 2013	Asia-Pacific Microwave Photonics Conference	25年4月	無
2	同上	同上	テラヘルツ波および核磁気共鳴法による壁画の構造調査	文化財保存修復学会第35回大会研究発表要旨集	文化財保存修復学会	25年6月	無
3	同上	同上	文化財の材料調査へのテラヘルツ波イメージングの応用	3rd International Symposium on Conservation of Cultural Heritage in East Asia	Society of Conservation for Cultural Heritage in East Asia	25年9月	無

○国・地方公共団体の要請に応じた保存措置等のために必要な実践的な調査・研究の実施 (13件)

	研究テーマ	発表者(職名・名前)	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載年月日	レフェリー有無
1	文化庁が行う高松塚古墳・キトラ古墳の壁画の調査及び保存・活用に関する技術的協力	都城発掘調査部研究員 若杉智宏	キトラ古墳の調査	『奈文研ニュース』No. 49	奈良文化財研究所	6月	無
2	同上	都城調査部副部長 玉田芳英	キトラ古墳との30年	『奈文研ニュース』No. 51	同上	12月	無
3	農林水産省が行う大和紀伊平野土地改良事業大和平野県営飛鳥工区2号幹線の調査及び保存活用に関する技術的協力	都城発掘調査部研究員 若杉智宏	藤原京右京七条一坊の調査(飛鳥藤原第178-2次)	同上	同上	同上	無
4	平城宮跡歴史公園および朱雀大路緑地遺跡発掘調査	都城発掘調査部研究員 川畑 純	平城京左京三条一坊一・二坪の調査(平城第515次)	奈文研ニュース No. 50	奈良文化財研究所	6月	無
5	第一次大極殿院建造物復原整備にかかる調査	都城発掘調査部研究員 高橋知奈津	回廊基壇際の地形の検討 - 第一次大極殿院の復原研究 8 -	奈良文化財研究所紀要 2013	奈良文化財研究所	6月	無
6	同上	都城発掘調査部アソシエイトフェロー 井上麻香	南門の基壇高の検討 - 第一次大極殿院の復原研究 9 -	同上	同上	同上	無
7	同上	都城発掘調査部アソシエイトフェロー 中島咲紀	南門の構造形式と屋根形式の検討 - 第一次大極殿院の復原研究 10 -	同上	同上	同上	無
8	同上	都城発掘調査部アソシエイトフェロー 中川二美	瓦割を利用した垂木間隔の推定 - 第一次大極殿院の復原研究 11 -	同上	同上	同上	無
9	朱雀大路緑地等の発掘調査	都城発掘調査部研究員 諫早直人ほか	左京三条一坊一・二坪の調査 - 第488・491・495次	同上	同上	同上	無
10	平城宮跡歴史公園および朱雀大路緑地遺跡発掘調査	都城発掘調査部研究員 川畑 純	平城京左京三条一坊一・二坪	大和を掘る 31	橿原考古学研究所附属博物館	7月13日	無
11	第一次大極殿院建造物復原整備にかかる調査	都城発掘調査部アソシエイトフェロー 井上麻香ほか	第一次大極殿院の復原検討	『第一次大極殿院復原検討会記録7』、『同8』	内部資料	26年3月	無
12	文化庁・国土交通省が行う平城宮跡の復原・整備への協力	遺構研究室長 箱崎和久	平城宮跡の整備	奈良文化財研究所概要 2013	奈良文化財研究所	7月31日	無
13	同上	都城調査部副部長 玉田芳英	キトラ古墳との30年	『奈文研ニュース』No. 51	同上	12月	無

○諸外国における文化財の保存・修復に関する技術移転の推進 (1件)

	研究テーマ	発表者(職名・名前)	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載年月日	レフェリー有無
1	カンボジア・アンコールワット遺跡群の西トップ寺院遺跡、ベトナム・タンロン皇城遺跡の建築史的、考古学的、保存科学的調査	企画調整部長 杉山洋、企画調整部研究補佐員 佐藤由以	西トップ遺跡の調査と修復	奈良文化財研究所紀要 2013	奈良文化財研究所	6月28日	無

○平城宮跡資料館、藤原宮跡資料室、飛鳥資料館における調査・研究成果 (9件)

	研究テーマ	発表者(職名・名前)	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載年月日	レフェリー有無
1	平城宮跡資料館における展示公開	企画展示室長 加藤真二、企画調整部研究員 中川あや、企画調整部アソシエイトフェロー 渡邊淳子	夏期企画展「平城京どうぶつえん」	『平城京どうぶつえん』リーフレット	奈良文化財研究所	25年7月13日	無
2	同上	同上	同上	『平城京どうぶつえん』図録	同上	同上	無
3	同上	都城発掘調査部研究員 山本祥隆、企画展示室長 加藤真二、企画調整部研究員 中川あや、企画調整部アソシエイトフェロー 渡邊淳子	秋期特別展「地下の正倉院展 - 木簡学ことはじめ」	『地下の正倉院展 - 木簡学ことはじめ』リーフレット	同上	25年10月19日	無
4	飛鳥資料館における展示公開	飛鳥資料館館長 松村恵司、学芸室長 石橋茂登、飛鳥資料館研究	春期特別展「飛鳥寺2013」	飛鳥資料館図録第58冊『飛鳥寺2013』	飛鳥資料館	4月26日	無

	研究テーマ	発表者（職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載年月日	レフェリー有無
		員 丹羽崇史、前・飛鳥資料館任期付研究員 成田聖					
5	同上	飛鳥資料館館長 松村恵司、学芸室長 石橋茂登、飛鳥資料館研究員 丹羽崇史、前・飛鳥資料館任期付研究員 成田聖ほか8名	夏期企画展「飛鳥・藤原を考古科学する」	飛鳥資料館カタログ第28冊『飛鳥・藤原を考古科学する』	同上	8月1日	無
6	同上	飛鳥資料館館長 松村恵司、学芸室長 石橋茂登、飛鳥資料館研究員 丹羽崇史、前・飛鳥資料館任期付研究員 成田聖ほか7名	秋期特別展「飛鳥・藤原京への道」	飛鳥資料館図録第59冊『飛鳥・藤原京への道』	同上	10月18日	無
7	同上	飛鳥資料館館長 松村恵司、学芸室長 石橋茂登、飛鳥資料館研究員 丹羽崇史、前・飛鳥資料館任期付研究員 成田聖ほか8名	冬期企画展「飛鳥の考古学2013」	飛鳥資料館カタログ第30冊『飛鳥の考古学2013』	同上	26年2月14日	無
8	同上	飛鳥資料館館長 松村恵司、学芸室長 石橋茂登、飛鳥資料館研究員 丹羽崇史、前・飛鳥資料館任期付研究員 成田聖	第4回写真コンテスト「飛鳥川の導」	飛鳥資料館写真集	同上	26年3月	無
9	藤原宮跡資料室における展示公開	都城調査部副部長 玉田芳英	飛鳥・藤原40年の春秋	奈文研ニュース No. 50	奈良文化財研究所	9月	無

○地方公共団体への協力等による文化財保護の質的向上（0件）

**【東京文化財研究所と奈良文化財研究所との共同研究】0件**

**【アジア太平洋無形文化遺産研究センター】1件**

	研究テーマ	発表者（職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載年月日	レフェリー有無
1	アジア太平洋地域における無形文化遺産保護に関する基礎的な調査・研究の推進	副所長 大貫美佐子	Proceedings and Analysis of Discussion	2013 Study Tour Report : Toward Safeguarding the Intangible Cultural Heritage for the Promotion of Cultural Identity and Community Resilience in Timor-Leste	アジア太平洋無形文化遺産研究センター	26年3月	無

c-⑥ 調査研究刊行物一覧

平成26年3月31日現在

【東京国立博物館】

○調査研究刊行物

刊行物名	発行部数	配布先
「MUSEUM」643～648号	各1,900	美術館・博物館・大学・研究所等 2,760件 (各460件×6)
「東京国立博物館紀要」49号	700	美術館・博物館・大学・研究所等 340件
「東京国立博物館文化財修理報告」XIV	700	美術館・博物館・大学・研究所等 365件
「法隆寺献納宝物特別調査概報」XXIXIV 聖徳太子絵伝(四幅本)2	600	美術館・博物館・大学・研究所等 180件
「東京国立博物館図版目録 中世古文書篇」	800	美術館・博物館・大学・研究所等 164件

○展覧会図録等

刊行物名	発行部数	配布先
特別展 『国宝 大神社展』	—	美術館・博物館・大学等 111件
『和様の書』	—	美術館・博物館・大学等 111件
『東洋館リニューアルオープン記念 上海博物館 中国絵画の至宝』	—	美術館・博物館・大学等 111件
『上海博物館 中国絵画の至宝 一釈文・印章編—』	—	美術館・博物館・大学等 111件
『京都—洛中洛外図と障壁画の美』	—	美術館・博物館・大学等 111件
『クレーブランド美術館名品展—名画でたどる日本の美』	—	美術館・博物館・大学等 111件
『日本伝統工芸展60回記念 人間国宝展 生みだされた美、伝えゆくわざ』	—	美術館・博物館・大学等 111件
『開山・栄西禅師八〇〇年遠忌 栄西と建仁寺』	—	美術館・博物館・大学等 111件
特別展印刷物(リーフレット) 「支倉常長像と南蛮美術 400年前の日欧交流」	30,000	
特集陳列図録 『描かれた風景—憧れの真景・実景への関心—』	2,000	
特集陳列印刷物(リーフレット) 「古文書に親しむ」	5,000	
「縄文土器に飾られた人物と動物」	7,000	
「断簡 掛軸になった絵巻」	4,000	
「東京国立博物館コレクションの保存と修理」	8,000	
その他 東京国立博物館編『東洋美術をめぐる旅 東京国立博物館 東洋館』(平凡社コロナブックス)	—	
東京国立博物館監修『井浦新の美術探検 東京国立博物館の巻』(東京美術)	—	

【京都国立博物館】

○調査研究刊行物

刊行物名	発行部数	配布先
研究紀要「学叢」第35号	820	美術館・博物館・大学等
文化財保存修理所 修理報告書10	450	美術館・博物館・図書館・大学・研究機関・教育委員会等
文化財保存修理所 修理報告書11	450	美術館・博物館・図書館・大学・研究機関・教育委員会等
重要文化財旧帝国京都博物館建築資料調査報告書	400	美術館・博物館・大学等

○展覧会図録

刊行物名	発行部数	配布先
特別展観「遊び」	3,500	美術館・博物館・大学等
特別展覧会「魅惑の清朝陶磁」	—	美術館・博物館・大学等

【奈良国立博物館】

○調査研究刊行物

刊行物名	発行部数	配布先
奈良国立博物館研究紀要「鹿園雑集」第14号	700	美術館・博物館・大学・研究機関等

○展覧会図録

刊行物名	発行部数	配布先
特別展 當麻曼荼羅完成1250年記念特別展「當麻寺—極楽浄土へのあこがれ—」	6,500	美術館・博物館・大学・研究機関等
特別展「みほとけのかたち—仏像に会う—」	10,000	美術館・博物館・大学・研究機関等
第65回正倉院展	4,500	美術館・博物館・大学・研究機関等
The 65th Annual Exhibiton of Shoso-in Treasures	3,000	美術館・博物館・大学・研究機関等
特別陳列 特別陳列「おん祭と春日信仰の美術」	1,800	美術館・博物館・大学・研究機関等
その他 なら仏像館 名品図録2013	4,000	美術館・博物館・大学・研究機関等

【九州国立博物館】

○調査研究刊行物

刊行物名	発行部数	配布先
九州国立博物館紀要「東風西声」第9号	1,020	美術館・博物館・大学・研究機関等
「市民と共に ミュージアムIPM」事業報告書(研修編)2012[増刷]	500	美術館・博物館・大学・研究機関等
「市民と共に ミュージアムIPM」事業報告書(報告会・施設見学調査編)2012[増刷]	500	美術館・博物館・大学・研究機関等
「市民と共に ミュージアムIPM」事業報告書(研修編)2013	1,000	美術館・博物館・大学・研究機関等

「市民と共に ミュージアムIPM」事業報告書（報告会・施設見学調査編）2013	1,000	美術館・博物館・大学・研究機関等
「市民と共に ミュージアムIPM」事業報告書（シンポジウム編）2013	1,000	美術館・博物館・大学・研究機関等
「第5回東アジア紙文化財保存修理シンポジウム」報告書	1,500	美術館・博物館・大学・研究機関等

## ○展覧会図録

		発行部数	配布先
特別展	「大ベトナム展 公式カタログ ベトナム物語」	1,464	美術館・博物館・大学・研究機関等
	「中国 王朝の至宝」	—	美術館・博物館・大学・研究機関等
	「徳川美術館展 尾張徳川家の至宝」	—	美術館・博物館・大学・研究機関等
	「国宝 大神社展」	—	美術館・博物館・大学・研究機関等
海外展	「日本文化展」	—	美術館・博物館・大学・研究機関等
トピック展示	「江戸のサイエンス 一武雄蘭学の軌跡—」	1,650	美術館・博物館・大学・研究機関等
	「視覚革命！異国と出会った江戸絵画」	1,900	美術館・博物館・大学・研究機関等
	「山の神々 九州の霊峰と神祇信仰—」	1,800	美術館・博物館・大学・研究機関等
	「ロシアが見たアイヌ文化」	1,400	美術館・博物館・大学・研究機関等
	「発掘された日本列島2013」	—	美術館・博物館・大学・研究機関等
	「館蔵 近世絵画名品展」	1,500	美術館・博物館・大学・研究機関等

## 【東京文化財研究所】

### ○調査研究刊行物

刊行物名	発行部数	配布先
『東京文化財研究所年報』2012年度版	800	博物館・美術館・大学・研究機関等
『東京文化財研究所概要』2013年度版	3,500	博物館・美術館・大学・研究機関等
『東文研ニュース』53、54号	53号 1,000 54号 2,500	博物館・美術館・大学・研究機関等
『東文研ニュースダイジェスト』（英語版）第13号	3,500	博物館・美術館・大学・研究機関等
『平成24年版 日本美術年鑑』	600	博物館・美術館・大学・研究機関等
『美術研究』410号～412号	各400	博物館・美術館・大学・研究機関等
『無形文化遺産研究報告』第8号	600	博物館・美術館・大学・研究機関等
第8回無形民俗文化財研究協議会報告書	600	博物館・美術館・大学・研究機関等
保存科学 53号	650	博物館・美術館・大学・研究機関等
伊藤若冲「菜蟲譜」光学的調査報告書	300	博物館・美術館・大学・研究機関等
平等院鳳凰堂西面扉絵「日想観図」光学的調査報告書	400	博物館・美術館・大学・研究機関等
日韓共同研究報告書2013	100	関係機関等
東南アジア諸国等文化遺産保存修復協力 平成25年度成果報告書	30	関係機関等
Study on the Biodeterioration of Stone Monuments in Angkor- Results of the Joint Research Project at Ta Nei Temple - (英語)	50	関係機関等
『文化財における伝統技術及び材料に関する調査研究報告書2013年度』	300	関係機関等
『御料車の保存と修復及び活用』	500	関係機関等
国際資料室蔵書目録	100	関係機関等
『Conservation of the Mural Paintings of the Bamiyan Buddhist Caves』	120	関係機関等
『Structure, Design and Technique of the Bamiyan Buddhist Caves』	250	関係機関等
『Architectural Survey of the Bamiyan Buddhist Caves』	250	関係機関等
『アジャンター壁画の保存修復に関する調査研究』	250	関係機関等
『Scientific Examinations of the Paintings of Ajanta Cave 2』	250	関係機関等
『アルメニア歴史博物館所蔵考古金属資料の保存修復と自然科学的調査 2011・2012年度』	60	関係機関等
第37回文化財の保存及び修復に関する国際研究集会「「かたち」再考—開かれた語りのために」（予稿集）	400	関係機関等
コーカサスに渡った日本美術作品-アルメニア国立美術館所蔵『名区小景』調査報告書	300	関係機関等
『第36回文化財の保存及び修復に関する国際研究集会「文化財の微生物劣化とその対策—屋外・屋内環境、及び被災文化財の微生物劣化とその調査・対策に関する最近のトピック—」 Microbial Biodeterioration of Cultural Property:Recent Topics on the Investigation of and Countermeasures for Biodeterioration of Outdoor / Indoor Properties and Disaster-affected Cultural Objects プロシーディング	700	参加者、大学、研究機関、博物館・美術館等
インドネシア法/各国の文化財保護法令シリーズ	300	関係機関等
装飾古墳の保存に関する調査研究事業報告書	100	関係機関等
『平成24年度協力相手国調査 フィリピン調査報告書 日本語』	300	関係機関等
『ブルーシールドと文化財緊急活動- 国内委員会の役割 研究会報告書』	190	関係機関等
世界遺産シンポジウム 世界遺産の未来—文化遺産の保護と日本の国際協力 シンポジウム報告書	500	関係機関等
文化遺産国際協力事業紹介 2013年度	2500	関係機関等
文化遺産国際協力事業紹介 2013年度 英語	2500	関係機関等
海外の文化遺産の保護に係る国際的な協力の推進に関する基本的な方針	3000	関係機関等
平成25年度文化庁委託 第37回世界遺産委員会審議調査研究事業報告書	300	関係機関等
『ユネスコ日本信託基金事業「タンロン・ハノイ文化遺産群の保存」成果報告書』（越日英語）	300	関係機関等
『Architectural Drawings of the Buildings from French Colonial Period in the World Heritage Site "Central Sector of the Imperial Citadel of Thang Long - Hanoi"』	70	関係機関等

## 【奈良文化財研究所】

### ○調査研究刊行物

刊行物名	発行部数	配布先
奈良文化財研究所概要2013	2,700	大学、研究機関、図書館等
奈良文化財研究所紀要2013	3,000	大学、研究機関、図書館等

刊行物名	発行部数	配布先
奈良文研ニュースNo.49～52	各3,000	大学、研究機関等
埋蔵文化財ニュースNo.154～157	154 : 2,500 155 : 2,500 156 : 2,500 157 : 2,200	教育委員会、図書館、博物館等
奈良文化財研究所創立六〇周年記念講演『遺跡をさぐり、しらべ、いかすー奈良文研六〇年の軌跡と展望』講演録	200	関係機関、協力機関等
奈良文化財研究所創立六〇周年記念日中韓国際講演会『日中韓古代都城文化の潮流ー奈良文研六〇年都城の発掘と国際共同研究』講演録	200	関係機関、協力機関等
『飛鳥寺2013』飛鳥資料館図録第58冊	1,800	関係機関、協力機関等
『飛鳥・藤原京への道』飛鳥資料館図録第59冊	1,600	関係機関、協力機関等
『飛鳥・藤原京を考古学する』飛鳥資料館カタログ第28冊	1,600	関係機関、協力機関等
『日光二荒山神社中宮祠宝物館蔵鏡』飛鳥資料館研究図録第17冊	550	関係機関、協力機関等
『キトラ古墳壁画発見三〇周年記念 白虎・玄武・朱雀・青龍』飛鳥資料館カタログ第29冊	2,000	関係機関、協力機関等
『飛鳥の考古学2013』飛鳥資料館カタログ第30冊	1,600	関係機関、協力機関等
『平城京どうぶつえん』リーフレット	5,000	館内観覧者
『平城京どうぶつえん』図録	2,500	館内観覧者
『地下の正倉院展ー木簡学ことはじめ』リーフレット	8,500	館内観覧者
『唐招提寺授戒帳』	600	大学、研究機関等
『大宮家文書調査報告書』奈良文化財研究所史料第80冊	600	大学、研究機関等
『第5回日中韓建築文化遺産保存国際学術会議予稿集』	300	大学、研究機関等
『国宝・重要文化財建造物写真乾板目録 VI』	500	大学、研究機関、教育委員会、図書館等
『重要文化財建造物現状変更説明1931～1949』	500	大学、研究機関、教育委員会、図書館等
『日韓古代文化の形成と発展過程に関する共同研究』	150	関係機関、協力機関等
『パブリックな存在としての遺跡・遺産』平成24年度遺跡等マネジメント研究会(第2回)報告書	1,000	大学、研究機関、教育委員会、図書館等
『室町時代の将軍の庭園』平成25年度庭園の歴史に関する研究会報告書	300	大学、研究機関等
『文化的景観研究会(第5回)報告書 文化的景観のつかい方』	1,000	大学、研究機関等
『8世紀の瓦づくりⅢー平城宮式肆瓦の展開1 6225-6663系』第14回シンポジウム予稿集	300	関係者・協力者等
『古代瓦研究VI 一 大宮大寺式・興福寺式・鴻巣館式肆瓦の展開一、一 重慶文系肆瓦の展開一』	850	関係機関・協力機関等
『長舎と官衙の建物配置』第17回 古代官衙・集落研究会研究報告資料	250	関係者・協力者等
『奈良文化財研究所研究報告第12冊 塩の生産・流通と官衙・集落』	600	関係機関・協力機関等
『第一次大極殿院復原検討会記録』7 (内部資料)	200	関係機関・協力機関等
『第一次大極殿院復原検討会記録』8 (内部資料)	200	関係機関・協力機関等
『西トップ遺跡調査修復中間報告南祠堂解体編』	500	関係機関・協力機関等
『Annual Report on the Research and Restoration Work of the Western Prasat Top Dismantling Process of the Southern Sanctuary』	300	関係機関・協力機関等
『第一次大極殿院復原検討会記録』8 (内部資料)	200	関係機関・協力機関等

## 【アジア太平洋無形文化遺産研究センター】

### ○調査研究刊行物

刊行物名	発行部数	配布先
2013 Study Tour Report : Toward Safeguarding the Intangible Cultural Heritage for the Promotion of Cultural Identity and Community Resilience in Timor-Leste	200	ユネスコ関係、会合出席者、研究協力依頼機関等

c-⑦ 科学研究費助成事業による調査研究

平成26年3月31日現在

件数	国立文化財機構計	博物館					文化財研究所			アジア太平洋 無形文化遺産 研究センター
		計	東京国立 博物館	京都国立 博物館	奈良国立 博物館	九州国立 博物館	計	東京文化 財研究所	奈良文化 財研究所	
合計	95	38	22	4	2	10	57	20	37	0
科学研究費補助金のみ	26	11	8	2	0	1	15	5	10	0
学術研究助成基金助成金のみ	50	17	9	1	2	5	33	12	21	0
科学研究費補助金と学術研究助成基金助成金の両方からの交付を受けた調査研究	19	10	5	1	0	4	9	3	6	0

※平成22年度までの科学研究費補助金事業は、平成23年度より「科学研究費補助金」と「学術研究助成基金助成金」による科学研究費助成事業として取り扱うこととなった。

※各施設に所属する研究員が研究代表者として交付された研究課題のみ記載している。（特別研究員奨励費、奨励研究を除く）

【東京国立博物館】

1) 科学研究費補助金のみ 8件

	研究テーマ	名前	役職	研究種目	交付決定額(千円)
1	東アジアの書道史における料紙と書風に関する総合的研究	島谷 弘幸	副館長	基盤研究(A)	6,370
2	板谷家を中心とした江戸幕府御用絵師に関する総合的研究	田沢 裕賀	学芸研究部調査研究課絵画・彫刻室長	基盤研究(A)	3,770
3	中世聖徳太子絵伝の図様展開に関する調査研究	沖松 健次郎	学芸研究部保存修復課保存修復室主任研究員	基盤研究(A)	5,460
4	光学的調査に基づく高雄曼荼羅の発展的研究	松本 伸之	学芸企画部長	基盤研究(B)	4,160
5	占領期の教育政策における国立博物館の役割に関する調査研究	神辺 知加	学芸企画部博物館教育課教育講座室主任研究員	基盤研究(C)	※ 0
6	近現代における古日本染織の移動とコレクション形成に関する基礎的研究	小山 弓弦葉	学芸研究部調査研究課工芸室主任研究員	若手研究(A)	2,600
7	絵巻の〈伝来〉をめぐる総合的研究	土屋 貴裕	学芸研究部列品管理課平常展調整室研究員	若手研究(A)	4,420
8	視覚表現とコレクションの形成に見る縄文土器の美術的受容に関する研究	鈴木 希帆	学芸研究部列品管理課登録室アソシエイトフェロー	研究活動スタート支援	1,430

※ 研究員の育休等により、平成24年度より中断している。平成26年度再開予定である。

2) 学術研究助成基金助成金のみ 9件

	研究テーマ	名前	役職	研究種目	当年度の交付決定額(採択時)(千円)	全研究期間での交付決定額(千円)〈研究期間〉
1	古筆切紙背の史料学的研究	田良島 哲	学芸研究部調査研究課長	基盤研究(C)	1,170	5,070 〈平成23～25年度〉
2	家形埴輪の群構成と階層性からみた東アジアにおける古墳葬送儀礼に関する基礎的研究	古谷 毅	学芸研究部列品管理課主任研究員	基盤研究(C)	1,820	※2 4,680 〈当初：平成23～25年度〉 〈変更後：平成23～26年度〉
3	寄贈品に見る草創期の博物館におけるコレクション形成と美術品の移動	三輪紫都香 (河上紫都香)	学芸研究部列品管理課登録室アソシエイトフェロー	若手研究(B)	520	1,170 〈平成24～25年度〉
4	武家女性の衣生活に関する基礎的研究—染織史研究に資する歴史資料の開拓を基に—	佐々木佳美	学芸研究部列品管理課登録室アソシエイトフェロー	若手研究(B)	1,040	※1 3,120 〈当初：平成24～26年度〉 2,340 〈変更後：平成24～25年度〉
5	浅鉢形土器の型式学的検討を通じた縄文社会構造の研究	井出 浩正	学芸研究部調査研究課考古室研究員	若手研究(B)	650	※2 2,340 〈当初：平成24～25年度〉 〈変更後：平成24～26年度〉
6	神像表現における物語性の研究	丸山 士郎	学芸企画部博物館教育課教育講座室長	基盤研究(C)	1,820	4,810 〈平成25～28年度〉
7	模写資料における書の受容・鑑賞に関する基礎的研究	恵美 千鶴子	学芸研究部調査研究課書跡・歴史室アソシエイトフェロー	基盤研究(C)	1,820	4,550 〈平成25～27年度〉
8	江戸幕府による自然史科学の萌芽と御用絵師の役割に関する研究	小野 真由美	学芸研究部列品管理課貸与特別観覧室主任研究員	基盤研究(C)	2,080	4,290 〈平成25～27年度〉
9	聴力障害を持つ児童・生徒のための鑑賞プログラムの構築	川岸 瀬里	学芸企画部博物館教育課教育講座室アソシエイトフェロー	若手研究(B)	1,040	4,160 〈平成25～27年度〉

※1 当初の予定では平成24年～26年度の研究期間であったが、研究員の異動に伴い平成25年度末で廃止となった。

※2 補助事業の延長により、当初の研究期間に変更があったものである。

3) 科学研究費補助金と学術研究助成基金助成金の両方からの交付を受けた調査研究 5件

	研究テーマ	名前	役職	研究種目	科学研究費補助金	学術研究助成基金助成金	
					交付決定額 (千円)	当年度の交付決定額 (採択時) (千円)	全研究期間での交付決定額 (千円) (研究期間)
1	刀装具一派後藤家の鑑定 極帳(鑑定控)の整理に基づく鑑定の様相と価値付けの考察	酒井 元樹	学芸研究部保存修復課保存修復室研究員	若手研究(A)	130	1,430	6,500 (平成24~27年度)
2	中世から近代における日本絵画の受容環境の復元的考察	松嶋 雅人	学芸企画部企画課特別展室長	基盤研究(B)	4,940	6,500	6,500 (平成25~27年度)
3	東アジアにおける繡仏の基礎的研究	伊藤 信二	学芸企画部博物館教育課教育普及室長	基盤研究(B)	2,340	3,770	6,500 (平成25~28年度)
4	極薄青銅器の製作技術解明-中国金属工芸史を再構築するための基盤研究-	川村 佳男	学芸研究部列品管理課平常展調整室主任研究員	基盤研究(B)	1,820	2,860	6,500 (平成25~27年度)
5	博物館における国際的な資料流通を素材とした明治期の文化交流史に関する基礎的研究	白井 克也	学芸研究部列品管理課平常展調整室長	基盤研究(B)	2,210	3,510	6,500 (平成25~27年度)

【京都国立博物館】

1) 科学研究費補助金のみ 2件

	研究テーマ	名前	役職	研究種目	交付決定額(千円)
1	南山城地域の仏教文化と歴史に関する総合的研究	佐々木 丞平	館長	基盤研究(B)	6,370
2	内外伝世品の調査ならびに比較に基づく京都製蒔絵の歴史的研究	永島 明子	学芸部列品管理室主任研究員	若手研究(A)	1,690

2) 学術研究助成基金助成金のみ 1件

	研究テーマ	名前	役職	研究種目	当年度の交付決定額 (採択時) (千円)	全研究期間での交付決定額 (千円) (研究期間)
1	「鎖国」下の日本における清朝陶磁の受容とその影響に関する調査研究	尾野 善裕	学芸部工芸室長	基盤研究(C)	1,040	4,160 (平成23~26年度)

3) 科学研究費補助金と学術研究助成基金助成金の両方からの交付を受けた調査研究 1件

	研究テーマ	名前	役職	研究種目	科学研究費補助金	学術研究助成基金助成金	
					交付決定額 (千円)	当年度の交付決定額 (採択時) (千円)	全研究期間での交付決定額 (千円) (研究期間)
1	多数尊より構成される仏教尊像に関する調査研究-図像的典拠と分担製作の視点から-	浅秋 毅	学芸部保存修理指導室長	基盤研究(B)	2,080	1,560	6,500 (平成24~27年度)

【奈良国立博物館】

1) 科学研究費補助金のみ 0件

2) 学術研究助成基金助成金のみ 2件

	研究テーマ	名前	役職	研究種目	当年度の交付決定額 (採択時) (千円)	全研究期間での交付決定額 (千円) (研究期間)
1	文化財アーカイブズの形成に関する研究-近代文化財修理記録のメタデータ分析を中心に	宮崎 幹子	学芸部資料室長	若手研究(B)	1,300	4,160 (平成23~25年度)
2	平安時代の「大般若波羅蜜多經」遺品の総合的調査と歴史研究資料としての資源化	野尻 忠	学芸部企画室長	基盤研究(C)	2,080	5,070 (平成25~27年度)

3) 科学研究費補助金と学術研究助成基金助成金の両方からの交付を受けた調査研究 0件

**【九州国立博物館】**

**1) 科学研究費補助金のみ 1件**

	研究テーマ	名前	役職	研究種目	交付決定額(千円)
1	九州における対外交流文化財の保存と活用に向けた研究基盤の創設	伊藤 嘉章	学芸部付	基盤研究 (A)	11,570

**2) 学術研究助成基金助成金のみ 5件**

	研究テーマ	名前	役職	研究種目	当年度の交付決定額(採択時)(千円)	全研究期間での交付決定額(千円)〈研究期間〉
1	中世大般若經の史料学構築に向けての基礎的研究	藤田 励夫	学芸部博物館科学課保存修復室長 (H25.8.1転出)	基盤研究 (C)	1,170	5,200 〈平成23～25年度〉
2	赤外線撮影法による彩色材料調査の有効性に関する研究	秋山 純子	学芸部博物館科学課研究員	基盤研究 (C)	910	5,200 〈平成24～26年度〉
3	中国・山東省荷澤出土の螺鈿箱(高麗経箱)に関する調査研究	川畑 憲子	学芸部企画課文化交流展室主任研究員	若手研究 (B)	1,950	4,550 〈平成24～26年度〉
4	石棺に塗布された赤色顔料についての基礎的研究	志賀 智史	学芸部博物館科学課主任研究員	基盤研究 (C)	1,300	5,200 〈平成25～28年度〉
5	中世～近世初期の対馬宗氏領国に関する基礎的研究	荒木 和憲	学芸部文化財課主任研究員	若手研究 (B)	910	2,730 〈平成25～27年度〉

**3) 科学研究費補助金と学術研究助成基金助成金の両方からの交付を受けた調査研究 4件**

	研究テーマ	名前	役職	研究種目	科学研究費補助金	学術研究助成基金助成金	
					交付決定額(千円)	当年度の交付決定額(採択時)(千円)	全研究期間での交付決定額(千円)〈研究期間〉
1	三次元デジタル計測技術を活用した中国古代青銅器の製作技法の研究	谷 豊信	学芸部長	基盤研究 (B)	2,600	1,950	6,500 〈平成24～26年度〉
2	三次元データに基づく文化財研究と新展示手法の開発ー興福寺 国宝阿修羅像を中心ー	今津 節生	学芸部博物館科学課長	基盤研究 (B)	3,250	1,040	6,500 〈平成24～26年度〉
3	タイにおける異文化の受容と変容ー13世紀から18世紀の対外交物品を中心としてー	原田 あゆみ	学芸部企画課特別展室主任研究員	基盤研究 (B) 海外学術調査	4,290	1,690	6,500 〈平成24～26年度〉
4	契丹壁画墓の集成と公開-唐滅亡後の東アジアにおける国家形成過程の視覚的理解-	臺信 祐爾	学芸部企画課長	基盤研究 (B) 海外学術調査	1,560	2,340	6,500 〈平成25～27年度〉

**【東京文化財研究所】**

**1) 科学研究費補助金のみ 5件**

	研究テーマ	名前	役職	研究種目	交付決定額(千円)
1	文化財修復材料の劣化と文化財に及ぼす影響に関する基礎的研究	早川 典子	保存修復科学センター主任研究員	基盤研究 (B)	1,300
2	敦煌芸術の科学的復原研究ー壁画材料の劣化メカニズムの解明によるアプローチ	岡田 健	保存修復科学センターセンター長	基盤研究 (B)	2,860
3	文化財展示収蔵施設の実状に即したカビ調査技術と制御に関する研究	木川 りか	保存修復科学センター生物科学研究室長	基盤研究 (B)	4,420
4	染織技法の分業化の展開に関する基礎的研究ー技法書・絵画資料・実作品の分析を通して	菊池 理予	無形文化遺産部研究員	若手研究 (B)	1,170
5	寺院造営組織からみた平安前期彫刻の研究	皿井 舞	企画情報部研究員	若手研究 (B)	780

**2) 学術研究助成基金助成金のみ 12件**

	研究テーマ	名前	役職	研究種目	当年度の交付決定額(採択時)(千円)	全研究期間での交付決定額(千円)〈研究期間〉
1	建築文化財における伝統的な塗装彩色材料の再評価と劣化防止に関する研究	北野 信彦	保存修復科学センター伝統技術研究室長	基盤研究 (C)	1,170	5,330 〈平成23～26年度〉
2	政治的危機に瀕する『越境文化遺産』の保護と平和活用ー国際政治・公共政策研究の貢献	原本 知実	文化遺産国際協力センターアソシエイトフェロー	基盤研究 (C)	1,170	※ 5,330 〈当初:平成23～25年度〉 〈変更後:平成23～27年度〉

	研究テーマ	名前	役職	研究種目	当年度の交付決定額 (採択時) (千円)	全研究期間での 交付決定額 (千円) (研究期間)
3	インド・アジャンター石窟壁画消失メカニズムの解明に向けた微生物生態学的調査	佐藤 嘉則	保存修復科学センター 研究員	基盤研究 (C)	1,300	5,200 (平成24~26年度)
4	中世・近世日本絵画における白色顔料の利用に関する科学的調査研究	早川 泰弘	保存修復科学センター 分析科学研究室長	基盤研究 (C)	1,560	5,070 (平成24~26年度)
5	螺鈿のアジア史—技術史と交流史を中心に—	小林 公治	企画情報部 広領域研究室長	基盤研究 (C)	1,430	5,070 (平成24~26年度)
6	古墳壁画表面における含水量の非接触測定システムの開発	犬塚 将英	保存修復科学センター 主任研究員	挑戦的萌芽研究	1,300	3,510 (平成24~25年度)
7	自然共生型博物館における野外由来微生物の浮遊真菌濃度予測に関する研究	間瀬 創	保存修復科学センター 客員研究員	若手研究 (B)	2,080	4,420 (平成24~26年度)
8	文化財保護法の成立過程に関する研究—日本における文化財概念と史跡名勝天然記念物—	境野 飛鳥	文化遺産国際協力センター アソシエイトフェロー	若手研究 (B)	1,300	4,160 (平成24~26年度)
9	絵画修復と絵画制作に使用される膠の物性に関する基礎的研究	楠 京子	文化遺産国際協力センター アソシエイトフェロー	若手研究 (B)	650	2,210 (平成24~26年度)
10	黒海周辺地域における中世組積造建築遺産の系譜と保存継承に関する研究	鈴木 環	文化遺産国際協力センター 特別研究員	若手研究 (B)	1,430	3,510 (平成24~26年度)
11	GISを用いた古代クメール都市発展史の復原的研究	佐藤 桂	文化遺産国際協力センター アソシエイトフェロー	若手研究 (B)	1,430	4,550 (平成24~26年度)
12	古代メソポタミアの葬送儀礼に関する多角的な研究	久米 正吾	文化遺産国際協力センター アソシエイトフェロー	若手研究 (B)	910	2,210 (平成25~26年度)

※ 研究員の育休等による中断があったため、復帰後の研究期間を延長したものである。

### 3) 科学研究費補助金と学術研究助成基金助成金の両方からの交付を受けた調査研究 3件

	研究テーマ	名前	役職	研究種目	科学研究費補助金	学術研究助成基金助成金	
					交付決定額 (千円)	当年度の交付決定額 (採択時) (千円)	全研究期間での 交付決定額 (千円) (研究期間)
1	近江の古代中世彫像の基礎的調査・研究—基礎データと画像蓄積のために—	津田 徹英	企画情報部 文化形成研究室長	基盤研究 (B)	3,900	2,340	6,500 (平成24~26年度)
2	西スマトラ州パダン歴史地区における文化遺産復興に関する総合的研究	亀井 伸雄	東京文化財研究所 所長	基盤研究 (B) 海外学術調査	4,290	2,080	6,500 (平成24~26年度)
3	考古遺物等を通じたベトナム木造建築様式の形成過程に関する研究	友田 正彦	文化遺産国際協力センター 保存計画研究室長	基盤研究 (B) 海外学術調査	1,950	2,990	6,800 (平成25~27年度)

### 【奈良文化財研究所】

#### 1) 科学研究費補助金のみ 10件

	研究テーマ	名前	役職	研究種目	交付決定額(千円)
1	木簡など出土文字資料の資源化のための機能的情報集約と知の結集	渡邊 晃宏	都城発掘調査部史料研究室長	基盤研究 (S)	32,500
2	東アジアにおける家畜の伝播とその展開に関する動物考古学的研究	松井 章	埋蔵文化財センター長	基盤研究 (A)	8,580
3	マルチチャンネル機器を利用した高速遺跡探査技術の開発	金田 明大	埋蔵文化財センター主任研究員	基盤研究 (A)	10,270
4	アンコール遺跡群を事例とした考古情報資源共有化に関する研究	森本 晋	企画調整部国際遺跡研究室長	基盤研究 (A)	9,100
5	南都における廃仏毀釈後の資料動態に関する調査研究	吉川 聡	文化遺産部歴史研究室長	基盤研究 (B)	3,900
6	中国細石刃文化の基礎的研究—河南省靈井遺跡石器群の分析を中心として—	加藤 真二	企画調整部展示企画室長	基盤研究 (B) 海外学術調査	2,990
7	古代律令国家の官衙と寺院の占地に関する比較研究	小澤 毅	埋蔵文化財センター遺跡・調査技術研究室長	基盤研究 (C)	1,040
8	東北アジアにおける金属器の拡散と在地社会の変化に関する考古学的研究	庄田 慎矢	都城発掘調査部考古第一研究室研究員	若手研究 (A)	1,300
9	奈良時代の中央と地方における建築技術の研究	海野 聡	都城発掘調査部遺構研究室研究員	若手研究 (B)	650
10	近世における石材生産と運搬に関する広領域史的情報の資源化と実証的研究	高田 祐一	研究支援推進部連携推進課アソシエイトフェロー	研究活動スタート支援	1,040

#### 2) 学術研究助成基金助成金のみ 21件

	研究テーマ	名前	役職	研究種目	当年度の交付決定額 (採択時) (千円)	全研究期間での 交付決定額 (千円) (研究期間)
1	中国における木質文化財の用材観	伊東 隆夫	埋蔵文化財センター客員 研究員	基盤研究 (C)	780	5,200 (平成23～25年度)
2	木彫仏像を中心とした日本彫刻史研究 における年代決定法の調査・研究	児島 大輔	埋蔵文化財センター年代 学研究室特別研究員 (AF)	若手研究 (B)	650	4,420 (平成23～26年度)
3	GT-Map等時空間解析システムを利用し た木簡等出土文字資料分析の基礎的研 究	馬場 基	都城発掘調査部主任研究 員	若手研究 (B)	650	2,340 (平成23～25年度)
4	三次元計測による飛鳥時代の石工技術 の復元的研究	廣瀬 覚	都城発掘調査部考古第一 研究室研究員	若手研究 (B)	910	3,770 (平成23～26年度)
5	古代における骨角製品の動物考古学的 研究	丸山 真史	埋蔵文化財センター客員 研究員	若手研究 (B)	910	4,290 (平成23～25年度)
6	古代東アジアにおける土木技術系譜の 復元的研究	青木 敬	都城発掘調査部考古第二 研究室研究員	基盤研究 (C)	1,170	5,200 (平成24～27年度)
7	中世日本と東アジアの木造建築におけ る架構システムに関する比較研究	鈴木 智大	都城発掘調査部遺構研究 室研究員	基盤研究 (C)	1,300	5,460 (平成24～27年度)
8	南洋群島の戦争遺跡の保存と活用：特 に水中文化遺産に重点を置いて	石村 智	企画調整部国際遺跡研究 室研究員	若手研究 (B)	1,820	4,550 (平成24～26年度)
9	弥生時代の地域間関係と青銅器の受容	石橋 茂登	都城発掘調査部主任研究 員	若手研究 (B)	780	2,730 (平成24～26年度)
10	甲冑編年の再構築に基づくモノの履歴 と扱いの研究	川畑 純	都城発掘調査部考古第三 研究室研究員	若手研究 (B)	650	2,600 (平成24～27年度)
11	茅葺屋根の多様性とその成立過程に関 する研究	黒坂 貴裕	都城発掘調査部主任研究 員	若手研究 (B)	1,170	3,510 (平成24～26年度)
12	東アジアにおける鉛釉陶器の原料とそ の時間的・地域的特徴に関する研究	降幡 順子	都城発掘調査部主任研究 員	基盤研究 (C)	1,430	4,030 (平成25～27年度)
13	平安時代出土文字資料の動態的歴史分 析～荷札の終焉～にみえる木簡の機 能	山本 崇	都城発掘調査部主任研究 員	基盤研究 (C)	1,560	4,160 (平成25～27年度)
14	日本列島後期更新世洞穴遺跡の立地と 利用に関する考古学的研究	渡辺 丈彦	都城発掘調査部主任研究 員	基盤研究 (C)	1,690	4,940 (平成25～27年度)
15	ツガ年輪による近世以降の建造物の年 代測定および用材産地推定手法の確立	藤井 裕之	埋蔵文化財センター客員 研究員	基盤研究 (C)	1,690	3,120 (平成25～27年度)
16	装飾古墳を安定に保存するための環境 制御法の開発に関する研究	脇谷 草一郎	埋蔵文化財センター保存 修復科学研究室研究員	若手研究 (B)	1,040	2,210 (平成25～27年度)
17	古代東アジアにおける食器構成と食事 作法の変化に関する比較研究	小田 裕樹	都城発掘調査部考古第二 研究室研究員	若手研究 (B)	1,430	3,640 (平成25～28年度)
18	古代日本の宮都、寺院出土磚の基礎的 研究	中川 二美	都城発掘調査部遺構研究 室アソシエイトフェロー	若手研究 (B)	1,430	3,380 (平成25～28年度)
19	中国殷周王朝における馬匹生産体制の 動物考古学的研究	菊地 大樹	埋蔵文化財センター客員 研究員	若手研究 (B)	1,300	4,030 (平成25～28年度)
20	大工道具とその加工痕跡から見た建築 技術史の研究	番 光	都城発掘調査部遺構研究 室研究員	若手研究 (B)	1,040	3,380 (平成25～27年度)
21	重要文化的景観の評価方法と保護手法 における現状と課題	恵谷 浩子	文化遺産部景観研究室 研究員	若手研究 (B)	1,560	3,770 (平成25～28年度)

### 3) 科学研究費補助金と学術研究助成基金助成金の両方からの交付を受けた調査研究 6件

	研究テーマ	名前	役職	研究種目	科学研究費補助金	学術研究助成基金助成金	
					交付決定額 (千円)	当年度の交付決定額 (採択時) (千円)	全研究期間での 交付決定額 (千円) (研究期間)
1	和同開珎の生産と流通 をめぐる総合的研究	松村 恵司	所長	基盤研究 (B)	2,470	1,690	6,500 (平成24～27年度)
2	中国漢代の木槨・木棺材 を用いた年輪年代学の 確立と用材選択の意義	光谷 拓実	埋蔵文化財セ ンター客員研 究員	基盤研究 (B)	2,340	3,640	6,500 (平成25～29年度)
3	弥生時代における青銅 器生産の総合的研究	難波 洋三	埋蔵文化財セ ンター長	基盤研究 (B)	1,560	2,470	6,500 (平成25～29年度)
4	文化財および美術工芸 材料のナノ構造と物 性・機能の解明	北田 正弘	埋蔵文化財セ ンター客員研 究員	基盤研究 (B)	1,560	2,340	6,500 (平成25～27年度)
5	東アジアを中心とした 名勝地の保護に関する 研究	平澤 毅	文化遺産部景 観研究室長	基盤研究 (B)	1,950	3,120	6,500 (平成25～28年度)
6	東アジアにおける「西の ガラス」の流通からみた 古代の物流に関する考 古学的研究	田村 朋美	埋蔵文化財セ ンター保存修 復科学研究室 研究員	若手研究 (A)	910	1,950	6,500 (平成25～28年度)

【アジア太平洋無形文化遺産研究センター】 0件

c-⑧ 客員研究員一覧

平成26年3月31日現在

国立文化財機構合計 113人	博物館計	東京国立博物館	京都国立博物館	奈良国立博物館	九州国立博物館
	36人	26人	5人	5人	0人
	文化財研究所計	東京文化財研究所		奈良文化財研究所	
	77人	45人		32人	
	アジア太平洋無形文化遺産研究センター		0人		

【東京国立博物館】 26人

	氏名(所属)	研究課題
1	松原 茂 (財団法人根津美術館学芸部長)	当館所蔵の絵画に関する研究
2	岩崎 均史 (たばこと塩の博物館主席学芸員)	当館所蔵の大小絵巻に関する研究
3	松田 清 (京都外国語大学教授)	当館所蔵の江戸幕府旧蔵の洋書、シーボルト献納本などの古洋書に関する研究
4	宮永 美知代 (東京藝術大学美術学部助教)	解剖学・美術解剖学および医学関係の館史資料に関する調査研究
5	東野 治之 (奈良大学文学部教授)	法隆寺献納宝物の資料の研究
6	田辺 龍太 (財団法人切手の博物館主任)	当館所蔵の切手に関する調査研究
7	水上 嘉代子 (財団法人遠山記念館学芸員)	当館に所蔵される小袖形を中心とする日本近世染織の調査・研究
8	小笠原 小枝	当館所蔵のインド更紗に関する研究
9	大脇 潔 (近畿大学文芸学部教授)	当館所蔵古瓦の整理および、当館所蔵の藤原宮および藤原京内寺院出土瓦に関する研究
10	金子 浩昌 (日本考古学協会会員)	当館所蔵原始・古代骨角製品に関する研究
11	宮下 佐江子 (古代オリエント博物館学芸部長)	西アジア古代ガラスの研究
12	丸山 清志 (城西国際大学物質文化研究センター研究員・助手)	東洋民族オセアニア採集品の調査研究
13	湊 信幸 (元副館長)	当館所蔵の絵画に関する研究
14	鍋島 稲子 (台東区立書道博物館主任研究員)	中国書跡の調査研究
15	西岡 康宏 (元副館長)	当館所蔵の東洋漆工に関する研究
16	小野 博 (美術刀剣研磨技師)	刀剣コレクションに関する保存状態の評価と保存修理の対策
17	大橋 美織 (静嘉堂文庫美術館学芸員)	当館所蔵の近世絵画に関する研究
18	若杉 準治 (前京都国立博物館)	法隆寺献納宝物を中心とした館蔵中世絵画の研究
19	保坂 裕興 (学習院大学大学院人文科学研究科教授)	館史資料アーカイブズ学的研究
20	田中 淑江 (共立女子大学家政学部准教授)	当館所蔵の江戸時代を中心とする小袖に関する研究
21	佐々木 利和 (北海道大学アイヌ・先住民研究センター特任教授)	アイヌ・琉球民族資料に関する調査研究
22	望月 幹夫 (元東京国立博物館)	当館所蔵の考古資料(原史・有史)に関する調査研究
23	歌田 眞介 (東京藝術大学名誉教授)	東京国立博物館所蔵油彩画の材料・技法および保存状態についての調査・研究
24	松井 敏也 (筑波大学大学院人間総合科学研究科准教授)	考古出土遺物に関する保存科学的な研究
25	稲本 泰生 (京都大学人文科学研究所准教授)	東洋彫刻及び大谷探検隊将来西域美術の調査研究
26	澤田 むつ代 (元東京国立博物館)	法隆寺献納宝物のうち法隆寺裂などの上代切れの保存と修理に関する調査研究

【京都国立博物館】 5人

	氏名(所属)	研究課題
1	井上一稔 (同志社大学文学部教授)	南山城の彫刻に関する調査研究
2	宇都宮啓吾 (大阪大谷大学文学部教授)	訓点資料としての典籍に関する調査研究
3	奥平俊六 (大阪大学大学院文学研究科教授)	京狩野に関する調査研究
4	狩野博幸 (同志社大学文化情報学部教授)	近世絵画に関する調査研究
5	後藤 真 (花園大学文学部講師)	文化財情報に関する調査研究

【奈良国立博物館】 5人

	氏名(所属)	研究課題
1	井出誠之輔 (九州大学大学院人文科学研究科教授)	仏教絵画の調査及び整理
2	木村法光 (元宮内庁正倉院事務所保存課長)	漆工品の調査及び研究
3	清水 昭博 (帝塚山大学文学部准教授)	飛鳥・奈良時代の仏教考古、斑鳩地区出土瓦の調査及び整理
4	根立研介 (京都大学大学院文学研究科教授)	仏教彫刻の調査と整理
5	板倉聖哲 (東京大学東洋文化研究所教授)	中国・朝鮮絵画の調査及び整理

【九州国立博物館】 0人

【東京文化財研究所】 45人

	氏名(所属)	研究課題
1	吉田千鶴子 (東京藝術大学非常勤講師)	近代美術資料群の調査・研究
2	三上 豊 (和光大学表現学部教授)	現代美術に関する調査研究
3	中村佳史 (国立情報学研究所研究員)	デジタル資料学の調査研究
4	丸川雄三 (国立民族学博物館准教授)	近代美術に関する調査研究
5	中野照男 (大東文化大学非常勤講師)	美術の表現・技法・材料に関する多角的な研究
6	津村宏臣 (同志社大学文化情報学部文化情報学科准教授)	東京文化財研究所アーカイブズ構築に関する調査研究
7	吉崎真弓 (国立情報学研究所特任研究員)	文化財情報の発信に関する調査研究
8	近松鴻二 (国士館大学非常勤講師ほか)	黒田清輝宛書簡ならびに記事珠等の明治期文書資料に基づく調査研究
9	永井美和子 (早稲田大学非常勤嘱託(演劇博物館))	無形文化財の記録作成
10	今岡謙太郎 (武蔵野美術大学造形学部教授)	無形文化財の記録作成
11	齋藤裕嗣	無形民俗文化財の調査研究
12	原田一敏 (東京藝術大学大学美術館教授)	無形文化財工芸技術(金工分野)の調査研究

	氏名(所属)	研究課題
13	荒川正明(学習院大学文学部哲学科(美術史専攻)教授)	無形文化財工芸技術(陶芸分野)の調査研究
14	山崎 剛(金沢美術工芸大学准教授)	無形文化財工芸技術(漆工分野)の調査研究
15	俵木 悟(成城大学文学部准教授)	無形民俗文化財の調査研究
16	星野厚子(東京藝術大学助手)	無形文化財(芸能)に関する調査研究
17	大西秀樹(京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター非常勤講師)	音声映像記録に関する調査研究
18	松山直子	アジア太平洋地域における無形文化遺産の保護活動の調査研究
19	三浦定俊(公益財団法人文化財虫害研究所理事長)	X線透過画像調査データ等に関する整理およびアーカイブ業務等
20	藤井義久(京都大学農学部准教授)	文化財の生物劣化対策の研究
21	呂 俊民	文化財の保存環境の研究
22	小峰幸夫(公益財団法人文化財虫害研究所研究員)	文化財の生物劣化対策の研究
23	北原博幸(トータルシステム研究所代表)	環境制御および環境解析に関する研究
24	間瀬 創(三重県立博物館)	文化財保存収蔵環境におけるカビの付着菌、浮遊菌の調査
25	横山晋太郎	近代文化遺産の保存修復に関する調査研究
26	長島宏行(一般財団法人日本航空協会)	近代文化遺産の保存修復に関する調査研究
27	小堀信幸(公益財団法人日本海事科学振興財団船の科学館)	近代文化遺産の保存修復に関する調査・研究
28	本多貴之(明治大学理工学部専任講師)	伝統的修復材料に関する調査研究
29	高林弘実(京都市立芸術大学)	中国壁画の保護に関する調査研究
30	渡邊真樹子(絵画修復家)	中国壁画の保護に関する調査研究
31	酒井清文	伝統的修復材料に関する調査研究
32	堤 一郎(中央大学理工学部非常勤講師)	近代文化遺産の保存修復に関する調査研究
33	谷口陽子(筑波大学准教授)	西アジア諸国等文化遺産保存修復協力事業に関する調査研究
34	松田泰典(JICA大エジプト博物館保存修復センター専門家)	「エジプト国大エジプト博物館保存修復センタープロジェクト」人材育成と技術移転事業
35	山藤正敏(金沢大学国際文化資源学センター客員研究員)	西アジア諸国等文化遺産保存修復協力事業に関する調査研究
36	大河原典子(日本画家)	古墳壁画の修復に関する調査研究
37	有村 誠(金沢大学准教授)	西アジア諸国等文化遺産保存修復協力事業に関する調査研究
38	石井美恵(染織品修復家)	在外日本文化財保存修復協力事業に関する調査研究
39	前川佳文(壁画保存修復士)	古墳壁画の修復に関する調査研究
40	成田朱美(東京藝術大学大学院専門研究員)	西アジア諸国等文化遺産保存修復協力事業に関する調査研究
41	間倉裕生(慶応大学非常勤講師)	キルギス等文化遺産国際協力拠点交流に係る調査研究
42	後藤多聞(公益財団法人平山郁夫シルクロード美術館理事)	文化遺産文化遺産国際協コンソーシアム事業に伴う調査研究
43	邊牟木尚美(ローマ・ゲルマン中央博物館研修員)	西アジア諸国等文化遺産保存修復協力事業に関する調査研究
44	鈴木 環(JICA専門家)	西アジア諸国等文化遺産保存修復協力事業に関する調査研究
45	釘屋奈都子(東京藝術大学大学院専門研究員)	アルメニア及びコーカサス諸国等における文化遺産保護に関する調査研究

### 【奈良文化財研究所】 32人

	氏名(所属)	研究課題
1	小原 嘉記(中京大学国際教養学部准教授)	日本古代・中世の地方支配制度及び中性寺院の研究
2	小浦 久子(大阪大学大学院工学研究科准教授)	都市計画、環境デザインの研究
3	廣田 純一(岩手大学農学部教授)	農業土木学及び農村計画学
4	EDWARDS Walter Drew(元天理大学国際文化学部教授)	考古学、文化人類学の研究
5	巽 淳一郎(京都橋大学文学部教授)	歴史考古学の研究
6	肥塚 隆保(元奈良文化財研究所副所長)	文化財科学、保存修復科学の研究
7	山中 敏史(元奈良文化財研究所文化遺産部長)	遺跡及びその調査技術の研究
8	松井 章(元奈良文化財研究所埋蔵文化財センター長)	動物考古学の研究
9	丸山 真史	動物考古学の研究
10	水野 裕史(熊本大学教育学部講師)	文化財情報学・美術史学の研究
11	小林 謙一(財団法人ユネスコ・アジア文化センター文化遺産保護協力事務所研修事業部長)	遺物及びその調査技術、文化財情報に関する研究
12	Carl Gellert(カリフォルニア大学バークレー校博士後期課程)	日本美術史の研究
13	登谷 伸宏(京都橋大学文学部助教)	日本建築・都市史の研究
14	窪寺 茂(建築装飾技術史研究所)	第一次大極殿院復原のための建築塗装・彩色の研究
15	深澤 芳樹(元奈良文化財研究所副所長)	歴史考古学の研究
16	佐藤 昌憲(元京都工芸繊維大学名誉教授)	文化財科学、分析化学の研究
17	北田 正弘(元(独)物質・材料研究機構特別研究員)	金属材料工学、文化財科学の研究
18	辻本 與志一(株式会社文化財保存)	保存修復科学、精密工学の研究
19	澤田 正昭(国土館大学アジア・日本研究センター客員研究員)	保存修復科学の研究
20	小椋 大輔(京都大学大学院工学研究科准教授)	建築環境工学、保存科学の研究
21	大賀 克彦	古代における玉類の生産と流通についての研究
22	芹原 信生(元京都大学霊長類研究所教授)	自然人類学、動物考古学の研究
23	渡辺 伸行(神戸市立上野児童館長)	日本考古学(弥生時代～古代)及び自然災害と考古学の研究
24	大江 文雄(愛知県環境審議会専門調査委員)	古生物学(魚類系統進化)の研究
25	菊地 大樹(元奈良文化財研究所任期付研究員)	中国考古学、動物考古学の研究
26	光谷 拓実(大学共同利用機関法人人間文化研究機構総合地球環境学研究所研究推進戦略センター特別客員教授)	年輪年代学及び木材解剖学の研究
27	伊東 隆夫(南京林業大学(中国)特別招聘教授)	木材組織学の研究
28	藤井 裕之	年輪年代学の研究
29	西村 康(財団法人ユネスコ・アジア文化センター文化遺産保護協力事務所長)	遺跡探査及び測量の研究
30	西口 和彦(元兵庫県立考古博物館調査専門員)	遺跡探査の研究

	氏名(所属)	研究課題
31	狭川 真一 (財団法人元興寺文化財研究所研究部長)	遺跡及びその調査技術の研究
32	MARES Emmanuel Bernard	国際交流基金外国人研究員

【アジア太平洋無形文化遺産研究センター】 0人

## d ウェブサイトアクセス件数

平成26年3月31日現在

	H21	H22	H23	H24	H25
国立博物館計	—	9,202,862	6,480,930	7,743,323	6,564,190
東京国立博物館	5,687,673	4,971,306	2,772,633	2,982,729	2,898,885
京都国立博物館	— (参考:848,486)	2,077,562 (参考:805,935)	1,835,640	1,837,113	1,562,480
奈良国立博物館	639,030 (参考:2,630,035)	769,293 (参考:3,121,270)	722,249	845,202	893,553
九州国立博物館	1,956,287	1,384,701	1,150,408	2,078,279	1,209,272
文化財研究所計	1,988,486	2,130,786	1,771,695	1,655,762	1,857,638
東京文化財研究所	1,417,203	1,489,091	1,314,541	(*1)1,230,718	1,410,075
奈良文化財研究所	571,283 (参考:1,030,905)	641,695 (参考:4,977,076)	457,154	425,044	447,563
アジア太平洋無形文化遺産研究センター			1,838 (H23.12.16サイト開設)	5,289	5,454
機構本部	293,317	270,913	208,982	260,558	283,412
e国宝	630,399	659,056	1,139,318	1,420,662	1,676,762

※アクセス件数の単位は、ユーザーセッション数である。

※過去の実績においてユーザーセッション数未集計の場合、“—”を記している。その際の括弧内の参考値は、当時の実績評価で使用していた単位でのアクセス件数（京都国立博物館：トップページビュー数、奈良国立博物館・奈良文化財研究所：ページビュー数）である。

\*1 参考値。サーバの入替の際にアクセスログ保存期間の設定に誤りがあり、24年10月～25年2月のアクセスログが消失したことから、年間アクセス件数は不明である。ログが保存されている7ヵ月間のアクセス件数717,919件の月平均を12倍した値を、参考値として記載している。

## e 平成 25 年度平常展・特別展アンケート結果

### <平常展>

東京国立博物館総合文化展	212
奈良国立博物館名品展	213
九州国立博物館文化交流展	214

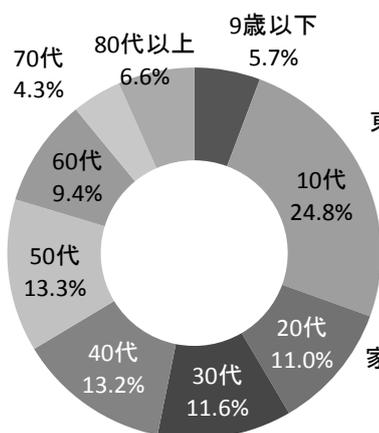
### <特別展>

東京国立博物館	215
特別展「国宝 大神社展」	
特別展「和様の書」	
特別展「京都—洛中洛外図と障壁画の美」	
特別展「上海博物館 中国絵画の至宝」	
特別展「クリーブランド美術館展—名画でたどる日本の美」	
特別展「人間国宝展生み出された美、伝えゆくわざ—」	
特別展「支倉常長像と南蛮美術—400年前の日欧交流—」	
京都国立博物館	222
特別展覧会「狩野山楽・山雪」	
特別展観「遊び」	
特別展覧会「魅惑の清朝陶磁」	
奈良国立博物館	225
特別展「當麻寺—極楽浄土へのあこがれ—」	
特別展「みほとけのかたち—仏像に会う—」	
特別展「第 65 回正倉院展」	
九州国立博物館	228
特別展「大ベトナム展」	
特別展「中国 王朝の至宝」	
特別展「尾張徳川家の至宝」	
特別展「国宝 大神社展」	

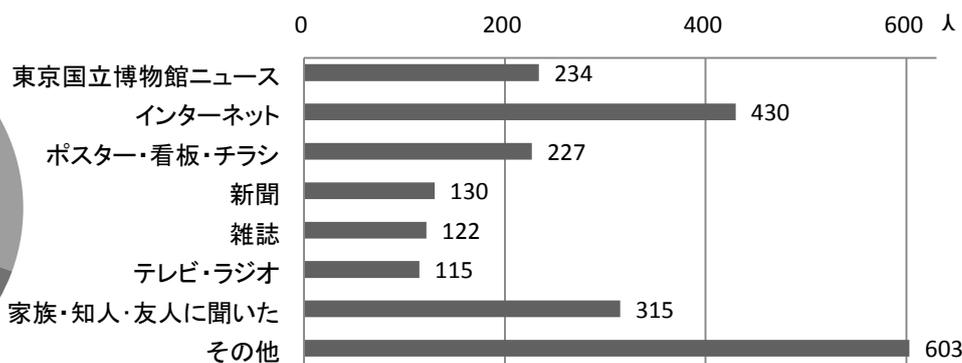
# 平常展（総合文化展） アンケート集計結果

開催期間：平成25年4月1日（月）～平成26年3月31日（月） 開館日数：306日間  
 回答者数：2,990人（うちタッチパネルアンケート2,642人＜88.4%＞）  
 来館者数：484,174人  
 アンケート回収率：0.62%

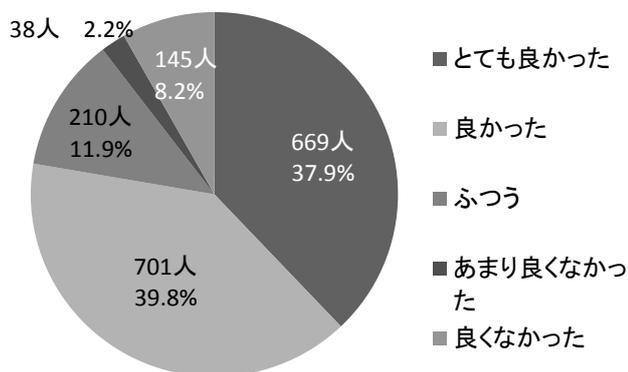
①アンケート回答年齢層



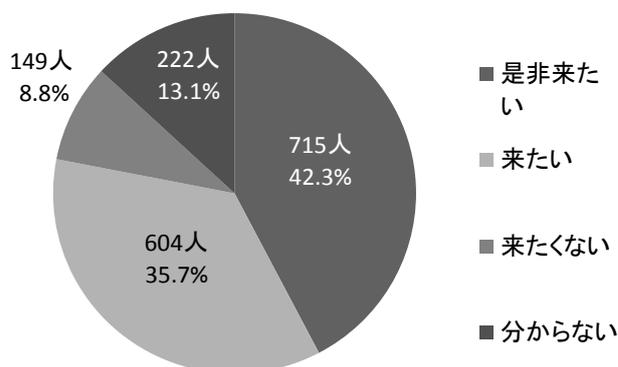
②認知経路（複数回答）



③展示に関する満足度



④再来館率



⑤主な意見・感想

- ・良かった、素晴らしかった。
- ・～の展示が良かった。
- ・イベントが楽しかった。（「博物館に初もうで」、「博物館でお花見を」）
- ・展示の仕方が良くない、見えにくい。
- ・詳しい解説がほしい。
- ・リニューアル工事で不便だった、鑑賞できずに残念。
- ・写真撮影を止めてほしい。

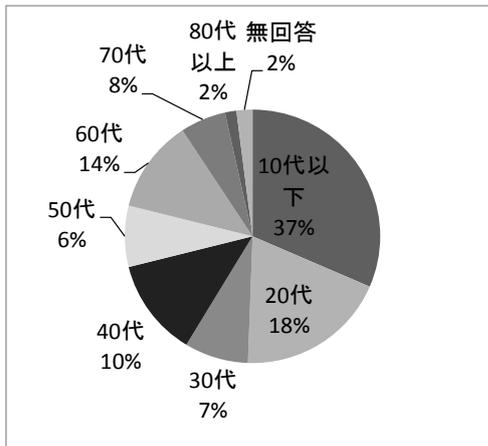
奈良国立博物館

## 平常展（名品展） アンケート集計結果

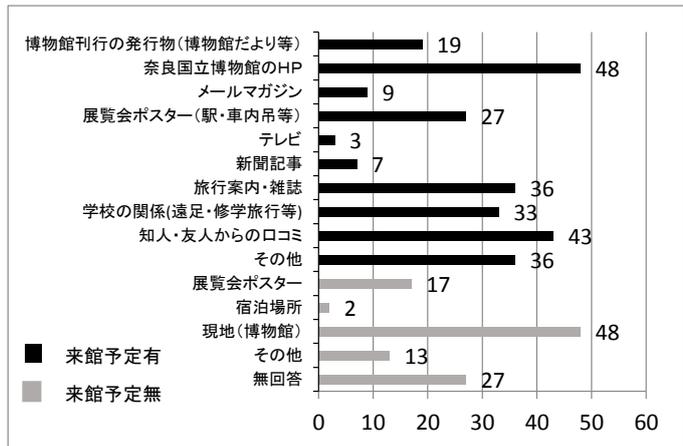
開催期間：平成25年4月1日（月）～平成26年3月31日（月） 開館日数：317日間

回答者数：346人（総来館者数：122,075人 アンケート回収率：0.28%）

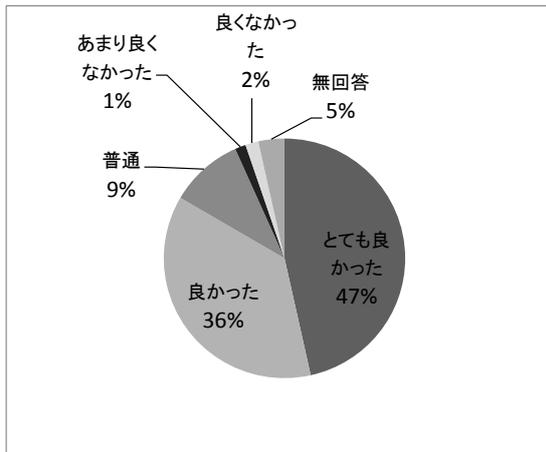
①年齢層



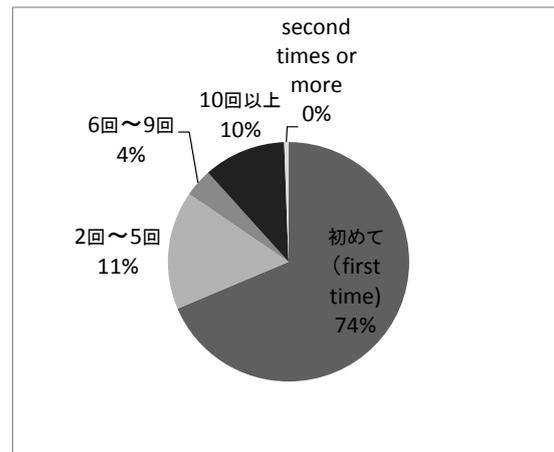
②認知経路（複数回答）



③展示に関する満足度



④再来館率



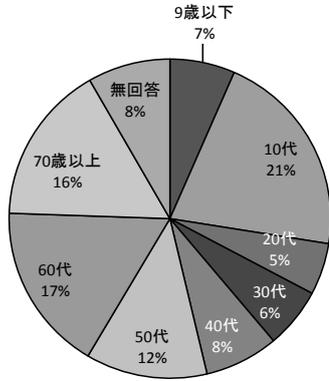
④主な意見・感想

- ・これほどまでに国宝・重文級の仏像を一度に見られるところはない。素晴らしかった。
- ・教科書で見たことのあるものがたくさん見られて感動した。
- ・照明の当て方がすばらしく、仏像の神秘性が増して、仏像が美術品でなく信仰の対象とされていることを感じた。
- ・分類ごとに分けられているので、観覧しやすかった。
- ・ケースなしで、ごく間近で見られる仏像が多く、ありがたい。
- ・英語の解説が丁寧で解りやすく、うれしかった。

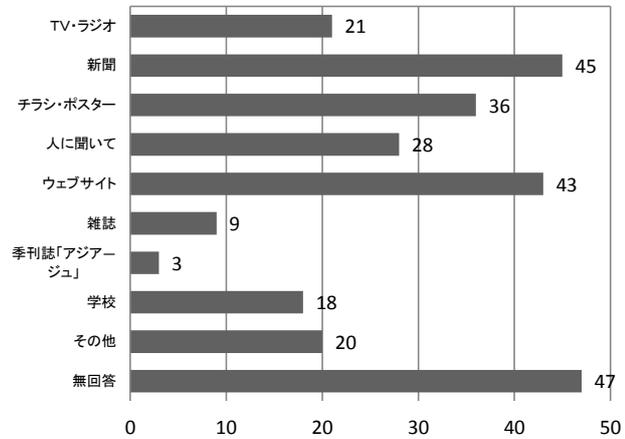
## 文化交流展 アンケート集計結果

開催期間：平成25年4月1日(月)～平成26年3月31日(月) 開館日数：308日間  
 総回答者数：229人（総来館者数：349,848人 アンケート回収率：0.07%）

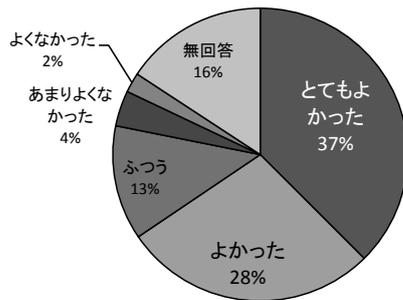
①年齢層



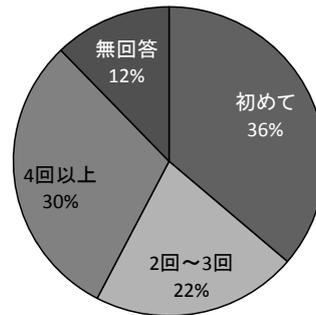
②認知経路(複数回答)



③展示に関する満足度



④再来館率



④主な意見・感想

- ・もっと九州の展示をして欲しい。・順路があった方がよい。・展示物の裏も見たい。
- ・マナーの悪い観覧者を注意してほしい。・展覧会の図録以外に冊子があるといい。
- ・たくさんの展示物(絵・仏像・土器・鏡)を見てとても勉強になりました。・講演会等が良かった。
- ・博物館へのアクセス道が暗い。・休憩所を増やしてほしい。椅子が少ない。・空調がよくなかった。
- ・分かりやすい解説にして欲しい。・解説にふりがなを振ってほしい。
- ・展示物が多く楽しめました。さわったり出来るのも良いと思います。

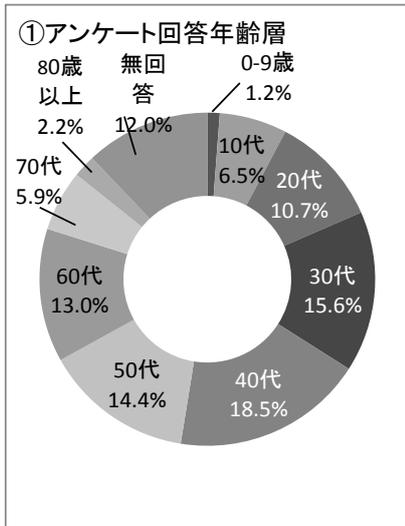
東京国立博物館

# 特別展「国宝 大神社展」 アンケート集計結果

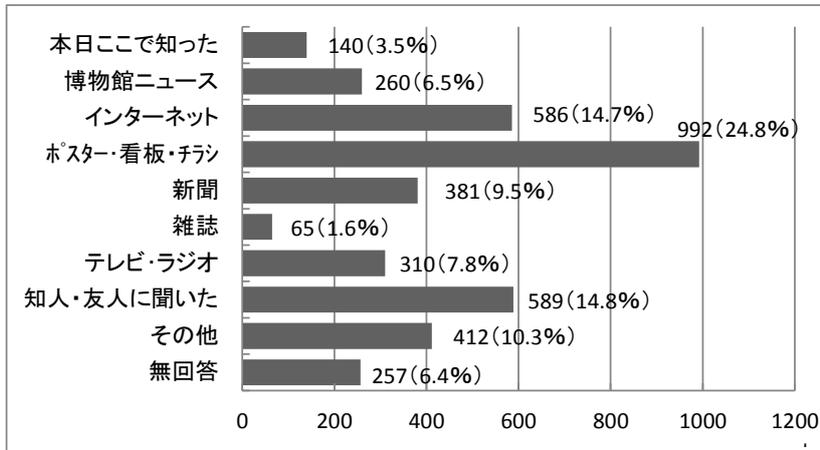
開催期間：平成25年4月9日（火）～ 6月2日（日）（49日間）

回答者数：3,287人（総来館者数：193,990人 アンケート回収率：1.73%）

アンケート内訳：タッチパネル式 2,860人  
アンケート用紙 427人

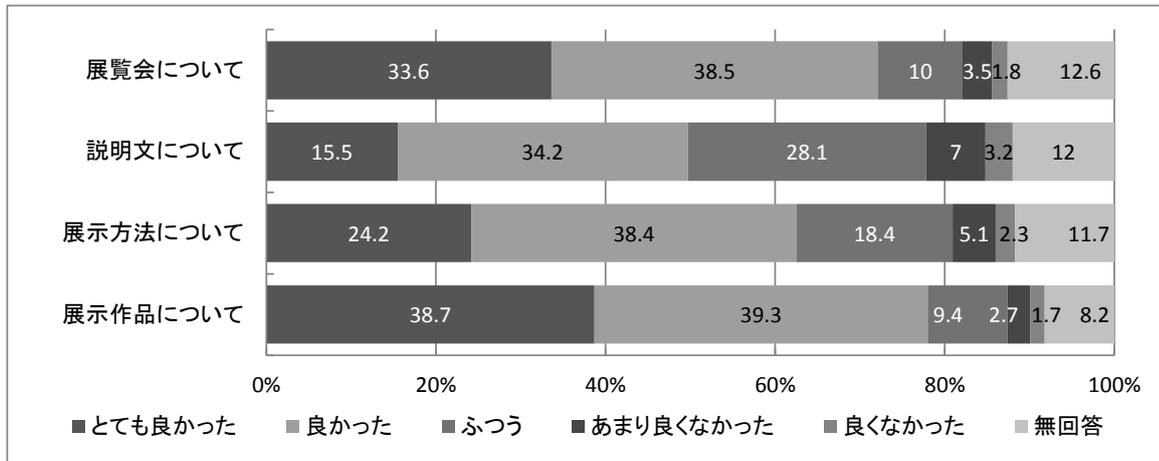


②認知経路(複数回答)



人

③展示に関する満足度



④主な意見・感想

- ・ 国宝など貴重な品が多く、見応えがあった。
- ・ 七支刀・春日新鹿御正体が良かった。
- ・ 日本の信仰の歴史や、神社・神道の勉強になった。
- ・ 会期中に入れ替えはしないでほしい。
- ・ 英文での展覧会カタログの対応をしてほしい。

本展覧会は、伊勢神宮の第62回式年遷宮を機に、神社本庁をはじめ、日本全国の神社の全面的な協力を得て、神社の宝物や日本の神々に関する文化財を総合的にご覧いただく、大変貴重な機会となりました。

今回集められた国宝・重要文化財の数、160件。神像はこれまで秘されてきたものなど約40体がお目見えし、過去最大規模の神道美術展、全国の神社パワー大集結となった本展には、19万人を超えるお客様にご来場いただきました。

展覧会については、72.1%の方々から「とても良かった」「良かった」と好意的な評価をいただいた他、展示作品全般に関しても多くの好評意見が寄せられました。一方で「説明が足りない。展示品の材質・年表・地図などもっと詳しい説明がほしい」「音声ガイド有の案内表示が分かりにくい」といった感想や展示方法等に関する要望・ご意見もいただきました。今後も、お客様からお寄せいただきましたご意見・ご感想を参考に観覧環境のより一層の充実に努めてまいります。

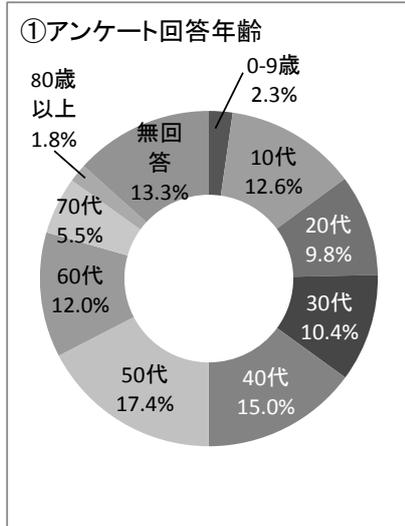
# 特別展「和様の書」 アンケート集計結果

開催期間：平成25年7月13日（土）～ 9月8日（日）（51日間）

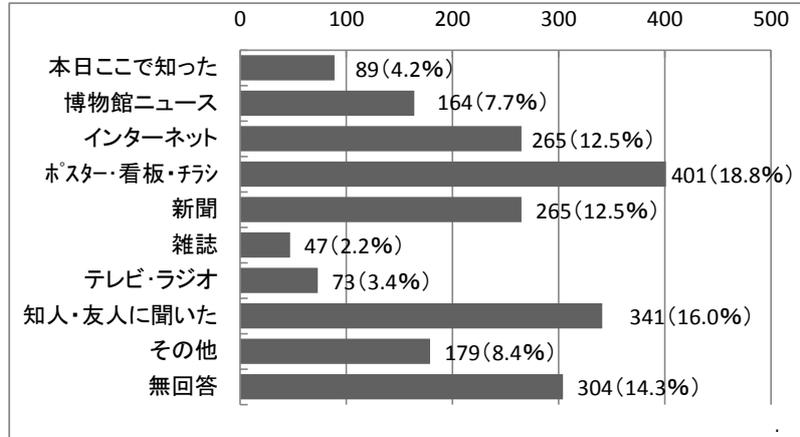
回答者数：1,635人（総来館者数：104,577人 アンケート回収率：1.56%）

アンケート内訳：タッチパネル式 1,395人

アンケート用紙 240人

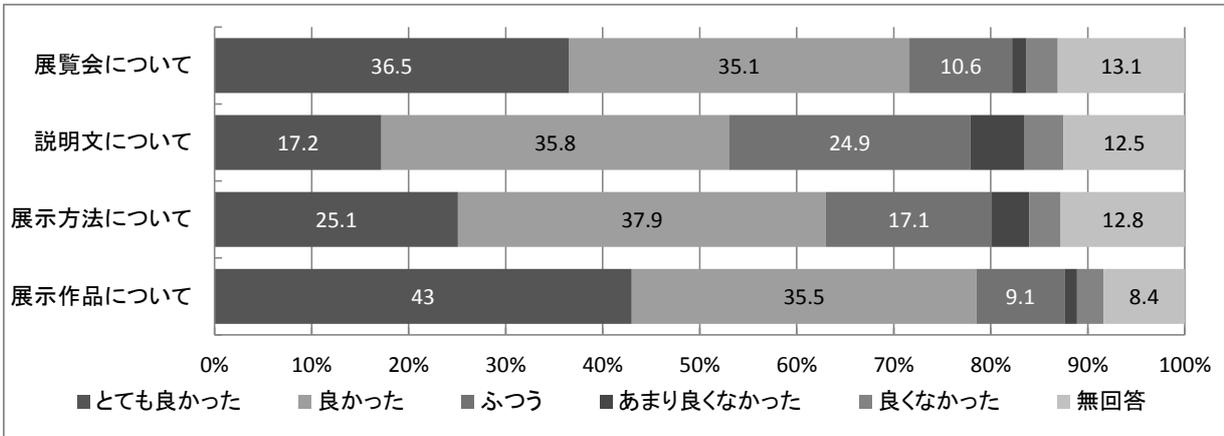


②認知経路(複数回答)



人

③展示に関する満足度



④主な意見・感想

- ・「古今和歌集」や「檜原図屏風」などを見られて嬉しかった。
- ・書の展示はあまりないので、どんどんやってほしい。
- ・ジュニアガイドが分かりやすかった。
- ・展示替が多く、見られない作品があった。
- ・読み仮名や書き下し文がほしい。

注：上記数字は以下の通り

	あまり良くなかった	良くなかった
展覧会	1.5	3.2
説明文	5.6	4.0
展示方法	3.9	3.2
展示作品	1.3	2.7

(%)

本展覧会では、日本の文化の中で独自に発展した日本風の書「和様の書」の展開を通して、書の魅力を広く紹介しました。

三跡(さんせき)をはじめ日本を代表する能書(のうしょ)の作品や四大手鑑など至高の名筆が集まり、日本文化が育んだ文字の美しさや心を感じていただく機会となった本展には、10万人を超えるお客様にご来場いただきました。

展覧会については、71.6%の方々から「とても良かった」「良かった」と好意的な意見をいただいた他、展示作品全般に関しても多くの好評意見が寄せられました。一方で「展示替が多く、見られない作品があった」「読み仮名や書き下し文がほしい」といった感想や展示方法等に関する要望・ご意見をいただきました。

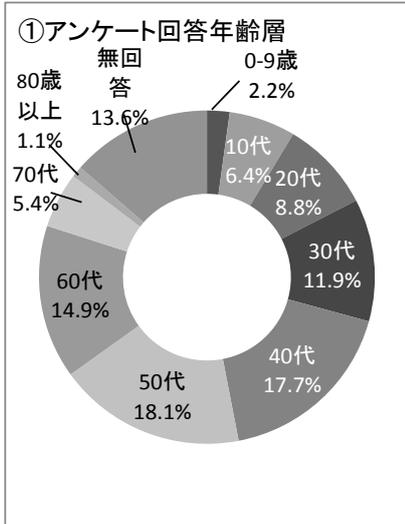
今後も、お客様からお寄せいただきましたご意見・ご感想を参考に観覧環境のより一層の充実に努めてまいります。

東京国立博物館

# 特別展「京都一洛中洛外図と障壁画の美」 アンケート集計結果

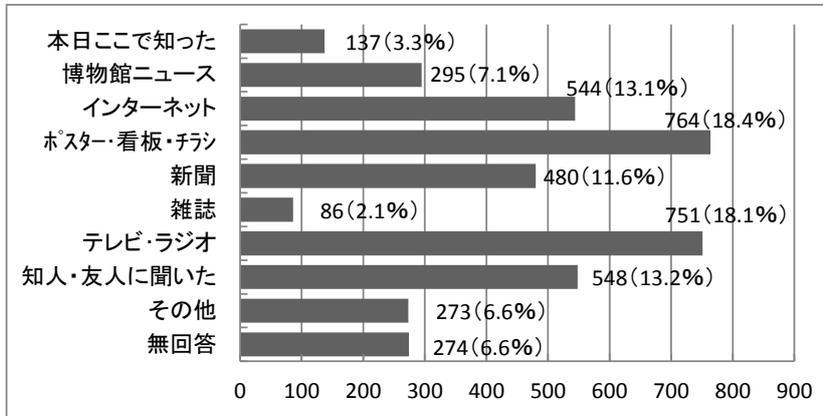
開催期間：平成25年10月8日（火）～ 12月1日（日）（48日間）

回答者数：3,402人（総来館者数：278,801人 アンケート回収率：1.22%）

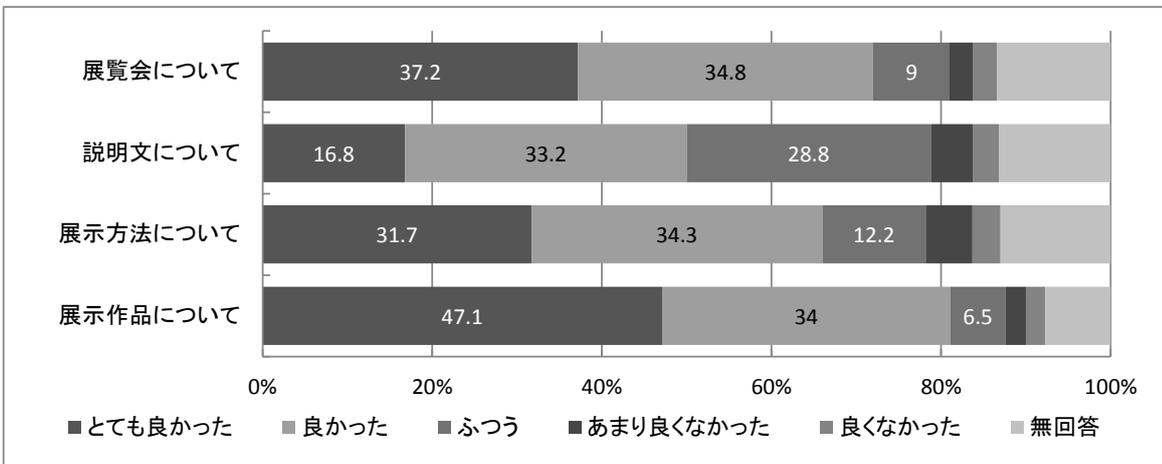


アンケート内訳：タッチパネル式 2,985人  
アンケート用紙 417人

②認知経路（複数回答）



③展示に関する満足度



④主な意見・感想

- ・ 洛中洛外図・松鷹図・龍安寺4K映像がよかった。
- ・ 国宝など貴重な名品が多く、見応えがあった。
- ・ 詳しい説明文・地図などで、理解の助けになった。
- ・ 会期中には入れ替えしないでほしい。
- ・ 混雑時には誘導・入場制限を積極的にしてほしい。

注：上記数字は以下の通り

	あまり良くなかった	良くなかった	無回答
展覧会	2.8	2.8	13.4
説明文	5.0	3.0	13.2
展示方法	5.5	3.8	13.0
展示作品	2.5	2.2	7.7

(%)

本展覧会は、日本テレビ開局60年を記念して、古来より多くの武士や貴族、庶民などに愛された京都を象徴する3つの場所、京都御所、二条城、龍安寺を飾った障壁画を通して、京都ならではの伝統美を体感していただく展覧会となりました。

今回は「上杉本」「舟木本」をはじめとする国宝・重文に指定された『洛中洛外図』7件すべてを紹介しました。また、修復を終えたばかりの障壁画で二条城の空間を再現するなど、大変貴重な機会となった本展には、27万人を超えるお客様にご来場いただきました。

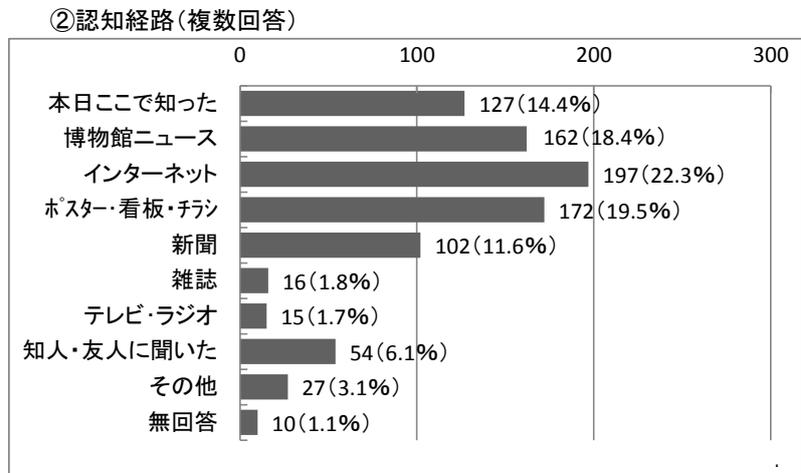
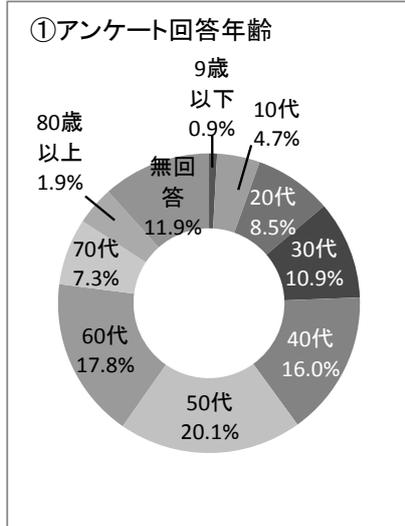
展覧会については、72.0%の方々から「とても良かった」「良かった」と好意的な評価をいただいた他、展示作品全般に関しても多くの好評意見が寄せられました。一方で「説明が足りない」「混雑時には誘導・入場制限を積極的にしてほしい」といった感想や展示方法等に関する要望・ご意見もいただきました。

今後も、お客様からお寄せいただきましたご意見・ご感想を参考に、観覧環境のより一層の充実に努めてまいります。

# 特別展「上海博物館 中国絵画の至宝」 アンケート集計結果

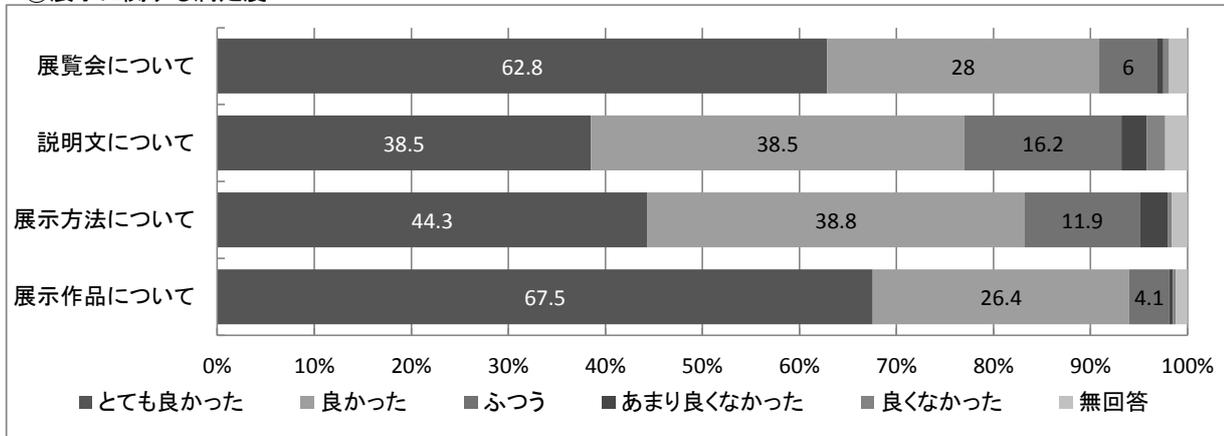
開催期間：平成25年10月1日（火）～ 11月24日（日）（48日間）

回答者数：681人（総来館者数：62,378人 アンケート回収率：1.14%）



人

③展示に関する満足度



④主な意見・感想

- ・「花卉図」や「山陰道上回巻」などが見られて嬉しかった。
- ・解説のコラムが面白かった。良かった。
- ・通常料金で見られたのが嬉しかった。
- ・展示作品の数が少なくて物足りない。
- ・音声ガイドに専門用語が多くて分かりにくかった。

注：上記数字は以下の通り

	あまり良くなかった	良くなかった	無回答
展覧会	0.6	0.6	1.9
説明文	2.6	1.9	2.3
展示方法	2.9	0.4	1.6
展示作品	0.4	0.3	1.2

(%)

本展覧会には中国で最大規模の収蔵を誇る上海博物館より、一級文物を含む名品を一堂に展示し、五代・北宋から明清にいたる中国絵画の流れを辿るまたとない機会となりました。本展には、6万2千人を超えるお客様にご来場いただきました。

展覧会については、90.9%の方々から「とても良かった」「良かった」と好意的な意見をいただいた他、展示作品全般に関しても多くの好意的な意見が寄せられました。一方で「展示作品の数が少なくて物足りない」「音声ガイドに専門用語が多くて分かりにくい」といった感想や展示方法等に関する要望・ご意見をいただきました。

今後も、お客様からお寄せいただきましたご意見・ご感想を参考に観覧環境のより一層の充実に努めてまいります。

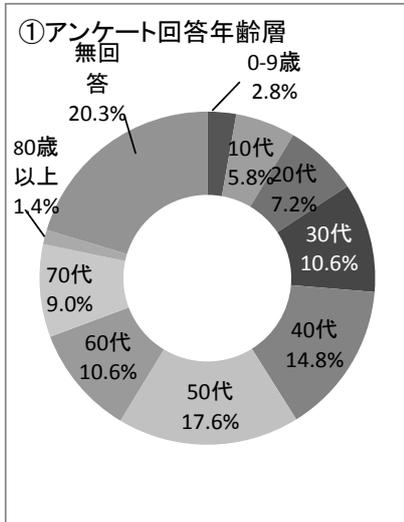
東京国立博物館

# 特別展「クリーブランド美術館展—名画でたどる日本の美」 アンケート集計結果

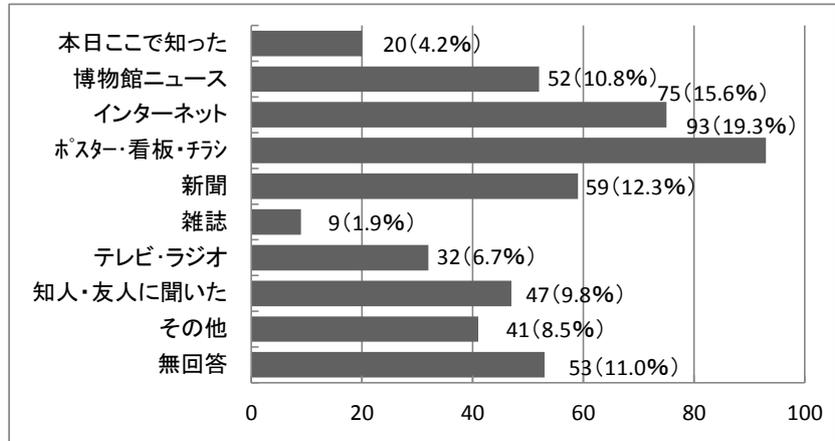
開催期間：平成26年1月15日（水）～ 2月23日（日）（35日間）

回答者数：433人（総来館者数：104,865人 アンケート回収率：0.41%）

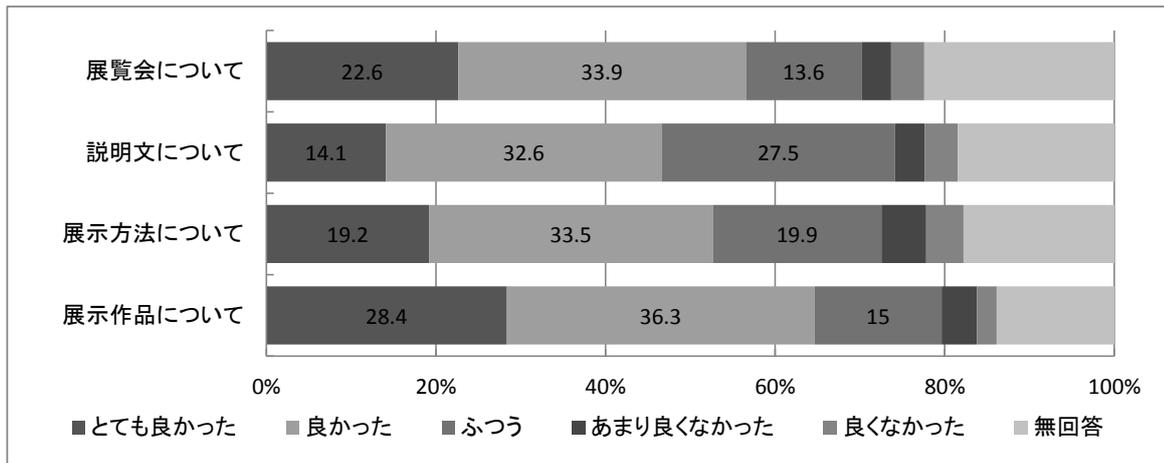
アンケート内訳：タッチパネル式 320人  
アンケート用紙 113人



②認知経路（複数回答）



③展示に関する満足度



注：上記数字は以下の通り

④主な意見・感想

- ・ピカソ、雷神図屏風、地獄太夫図、琴棋書画図屏風がよかった。
- ・海外の目を通して日本絵画に触れ、大変勉強になった。
- ・説明文が分かりやすく、作品の特徴をよく理解できた。
- ・音声ガイドの内容が物足りない。もっと作品解説をしてほしい。
- ・難しい字には振り仮名・現代語訳をつけてほしい。

	あまり良くなかった	良くなかった	無回答
展覧会	3.5	3.9	22.4
説明文	3.5	3.9	18.5
展示方法	5.3	4.4	17.8
展示作品	4.2	2.3	13.9

(%)

本展覧会は、東京国立博物館と東京都美術館とのコラボレーション企画「日本美術の祭典」のひとつとして開催されました（※当館は「人間国宝展」と同時開催）。

全米屈指の規模と質を誇るクリーブランド美術館の日本美術コレクションより、仏画や肖像画、花鳥画、山水画など、平安時代から明治に至る選りすぐりの日本絵画40件余と、中国や西洋絵画の優品を加えた総数約50件をご紹介します大変貴重な機会となり、10万人を超えるお客様にご来場いただきました。

アンケートの結果、56.5%の方々から「とても良かった」「良かった」と好意的な評価をいただいた他、展示作品全般に関しても多くの好評意見が寄せられました。一方で「開館時間を早くしてほしい。夜間開館を増やしてほしい」「通常の半分の広さなら、一回分の料金で二展見せてほしかった」といった感想や展示方法等に関する要望・ご意見もいただきました。

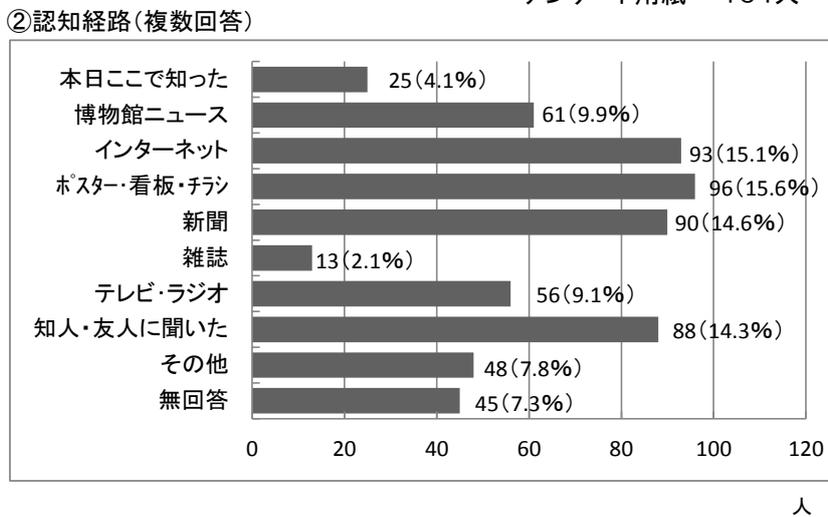
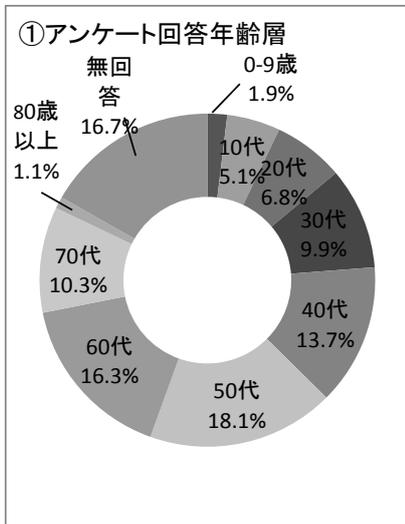
今後も、お客様からお寄せいただきましたご意見・ご感想を参考に、観覧環境のより一層の充実に努めてまいります。

# 特別展「人間国宝展—生み出された美、伝えゆくわざ—」 アンケート集計結果

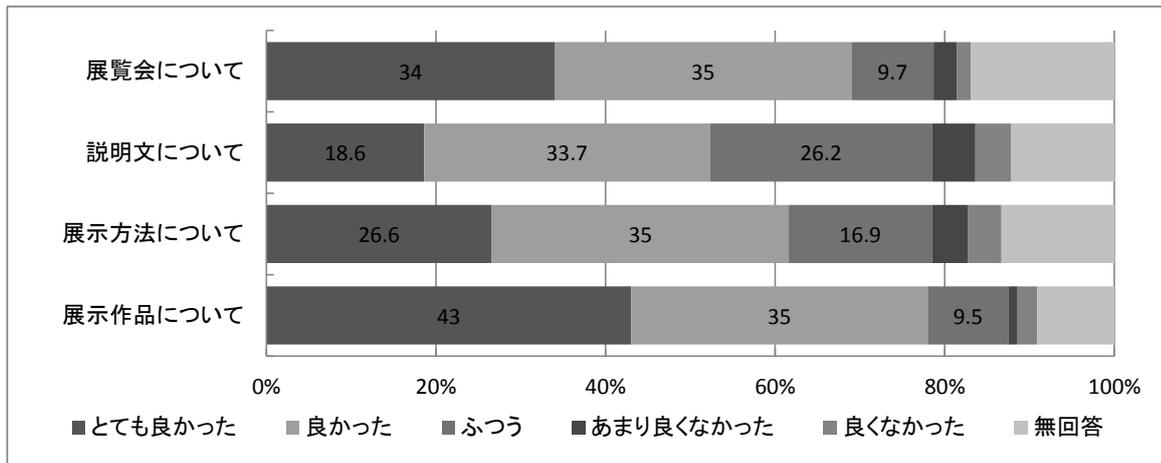
開催期間：平成26年1月15日（水）～ 2月23日（日）（35日間）

回答者数：526人（総来館者数：112,960人 アンケート回収率：0.47%）

アンケート内訳：タッチパネル式 362人  
アンケート用紙 164人



### ③展示に関する満足度



### ④主な意見・感想

- ・ 恒河、抱擁、白釉黒流掛大鉢がよかった。
- ・ 日本の伝統工芸について理解を深められた。勉強になった。
- ・ 解説・構成が入念でよかった。
- ・ ギャラリートークで、人間国宝の方のお話が伺えて嬉しかった。
- ・ 夕方の閉館時間を遅くしてほしい。夜間開館を増やしてほしい。

注：上記数字は以下の通り

	あまり良くなかった	良くなかった	無回答
展覧会	2.7	1.7	16.9
説明文	5.1	4.2	12.2
展示方法	4.2	4.0	13.3
展示作品	1.1	2.3	9.1

(%)

本展覧会は、東京国立博物館と東京都美術館とのコラボレーション企画「日本美術の祭典」のひとつとして開催されました（※当館は「クリーブランド美術館展」と同時開催）。

今回は、国宝・重要文化財など歴史的に評価されてきた古典的な工芸と、現代の人間国宝の作品を一堂に集め、日本が誇る工芸の「わざ」をご覧いただく貴重な機会となりました。また「人間国宝」（重要無形文化財の保持者）たちの日本工芸史に残る作品を紹介した本展には、11万人を超えるお客様にご来場いただきました。

アンケートの結果、69.0%の方々から「とても良かった」「良かった」と好意的な評価をいただいた他、展示作品全般に関しても多くの好評意見が寄せられました。一方で「小休憩できる場所、椅子が少ないと感じた」「作品の素材表記をしてほしかった」といった感想や展示方法等に関する要望・ご意見もいただきました。

今後も、お客様からお寄せいただきましたご意見・ご感想を参考に、観覧環境のより一層の充実に努めてまいります。

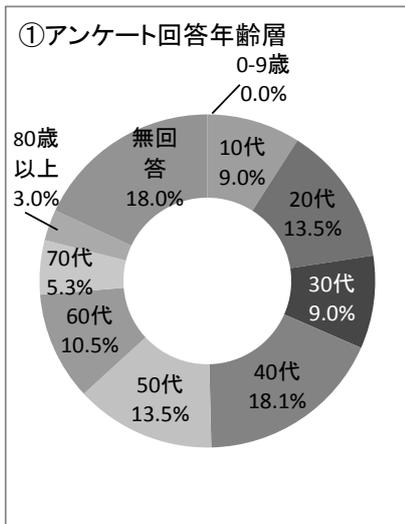
東京国立博物館

# 特別展「支倉常長像と南蛮美術—400年前の日欧交流—」 アンケート集計結果

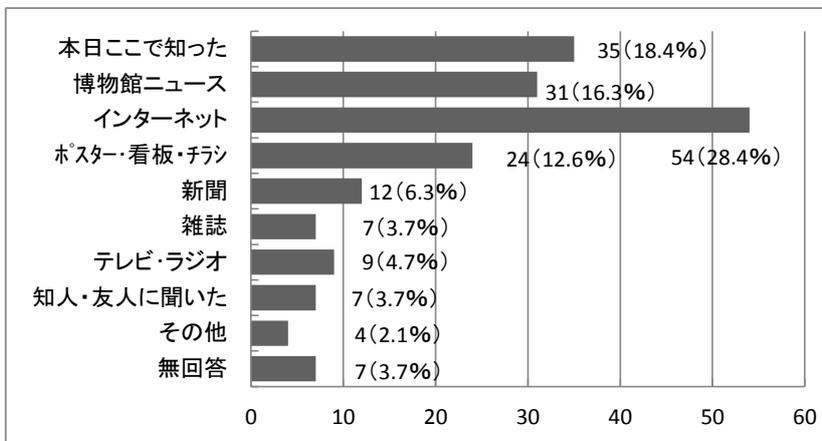
開催期間：平成26年2月11日（火・祝）～ 3月23日（日）（36日間）

回答者数：133人（総来館者数：56,342人 アンケート回収率：0.24%）

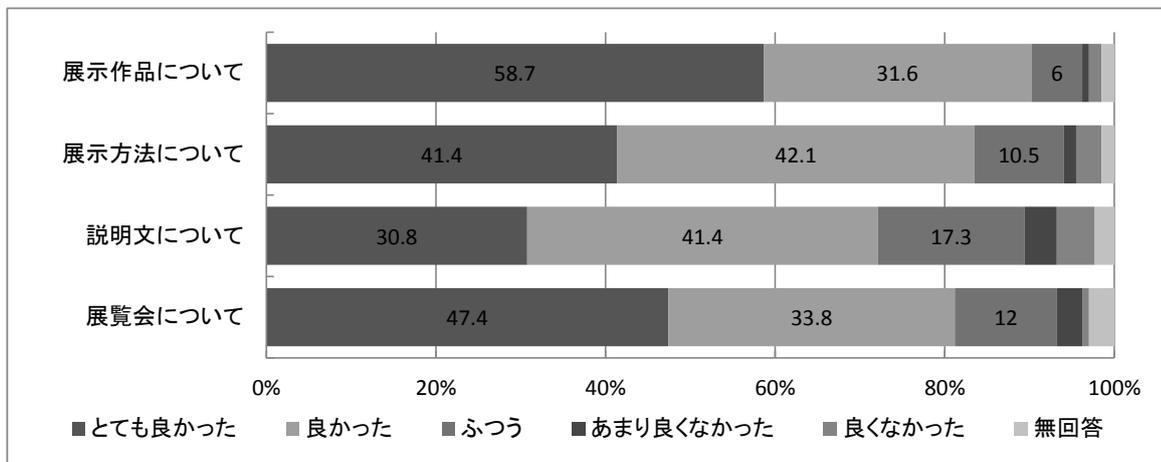
アンケート内訳：アンケート用紙 133人  
※タッチパネル式はなし



②認知経路(複数回答)



③展示に関する満足度



④主な意見・感想

- ・ 本物の「支倉常長像」が見られて感動した。
- ・ リーフレットの内容が充実していてよかった。
- ・ 総合文化展料金のみで特別展が鑑賞できてうれしかった。
- ・ 展示数が少なく残念。もっと関係資料を展示してほしい。

注：上記数字は以下の通り

	あまり良くなかった	良くなかった	無回答
展示作品	0.8	1.5	1.5
展示方法	1.5	3.0	1.5
説明文	3.8	4.5	2.3
展覧会	3.0	0.8	3.0

(%)

本展覧会では、およそ400年前の慶長18年(1613)、仙台藩主伊達政宗の命を受け、「慶長遣欧使節(けいちょうけんおうせつ)」としてヨーロッパに渡航した支倉常長がローマ教皇パウロ5世に謁見するため、ローマに入市した際の姿を描いたとされる肖像画を本館7室にて特別公開しました。400年前の日本とヨーロッパ、それぞれが見た「異国」の姿を留めた美術作品を通じ、日本とヨーロッパの文化交流の歴史を紹介する大変貴重な機会となり、5万人を超えるお客様にご来場いただきました。

アンケートの結果、81.2%の方々から「とても良かった」「良かった」と好意的な評価をいただいた他、展示作品全般に関しても多くの好評意見が寄せられました。一方で「本館改装中なのに、館内の案内掲示が少ない」「展示作品についての解説が乏しい。もっと詳細な説明がほしい」といった感想や展示方法等に関する要望・ご意見もいただきました。

今後も、お客様からお寄せいただきましたご意見・ご感想を参考に、観覧環境のより一層の充実に努めてまいります。

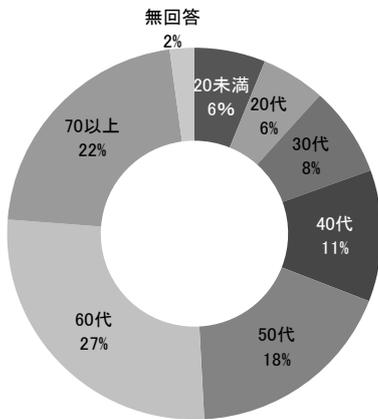
注)本特別展の総入館者数は総合文化展入館者数を使用しています。

## 特別展覧会「狩野山楽・山雪」

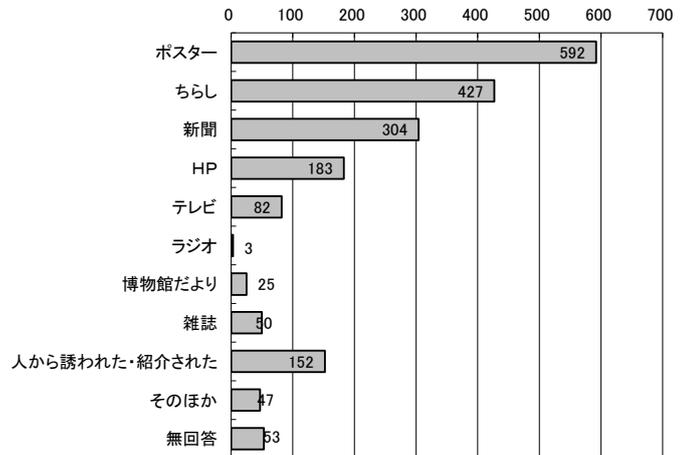
### アンケート集計結果

開催期間：平成25年3月30日（土）～ 5月12日（日）（39日間）  
 回答者数：1,320人（総来館者数 90,242人 アンケート回収率1.5%）

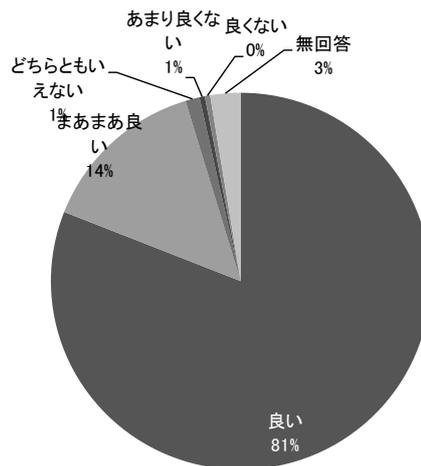
#### ①年齢層



#### ②認知経路(複数回答)



#### ③展示に関する満足度



#### ④主な意見・感想

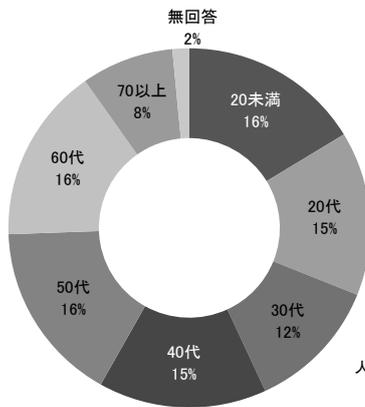
- ・良かった、面白かった、素晴らしかった、感動した。(同様102件)
- ・今後も充実した展覧会を期待している(同様41件)
- ・見ごたえがあった、充実した内容だった(同様32件)
- ・里帰り作品など、貴重な作品を見ることができてよかった(同様15件)

京都国立博物館

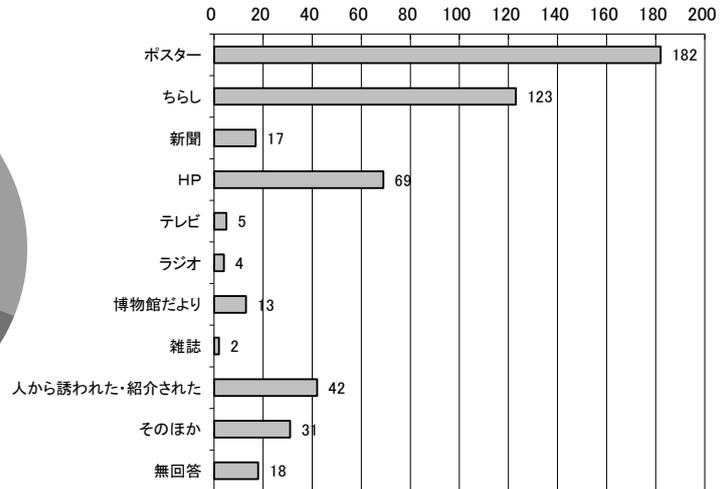
## 特別展観「遊び」 アンケート集計結果

開催期間：平成25年7月13日（土）～ 8月25日（日）（38日間）  
回答者数：399人（総来館者数 23,659人 アンケート回収率 1.7%）

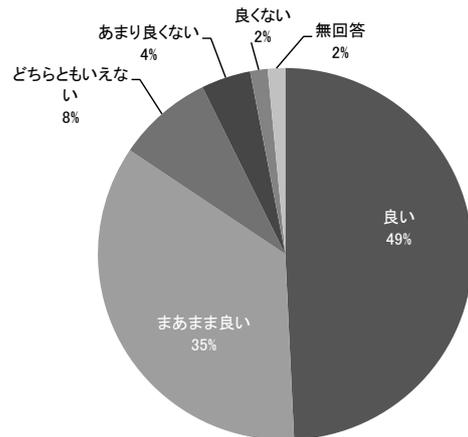
### ①年齢層



### ②認知経路(複数回答)



### ③展示に関する満足度



### ④主な意見・感想

- ・良かった、面白かった、素晴らしかった、感動した。(同様42件)
- ・見ごたえがあった、充実した内容だった。(同様11件)
- ・見やすい、わかりやすい展示だった。(同様9件)
- ・床の装飾が楽しい(同様8件)

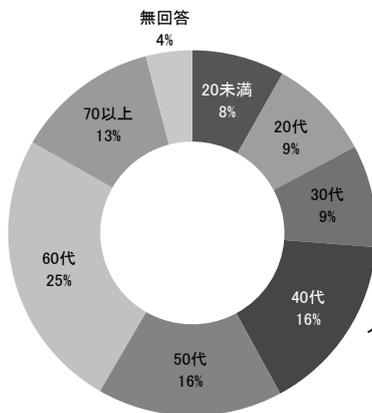
## 特別展覧会「魅惑の清朝陶磁」

### アンケート集計結果

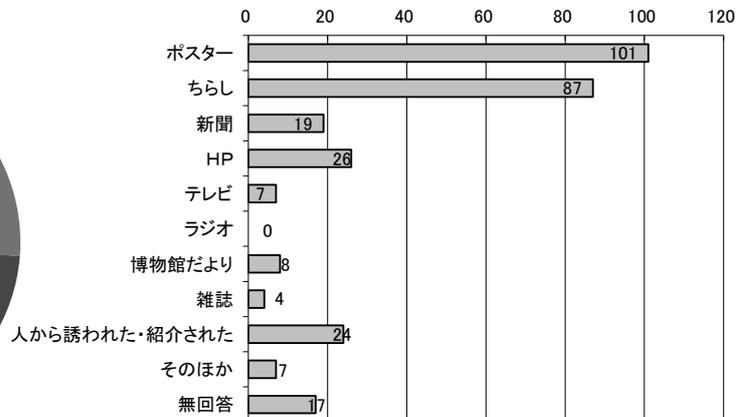
開催期間：平成25年10月12日（土）～ 12月15日（日）（56日間）

回答者数：221人（総来館者数 38,929人 アンケート回収率 0.6%）

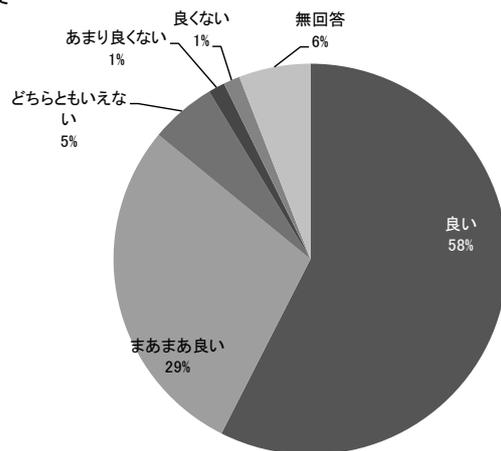
①年齢層



②認知経路(複数回答)



③展示に関する満足度



④主な意見・感想

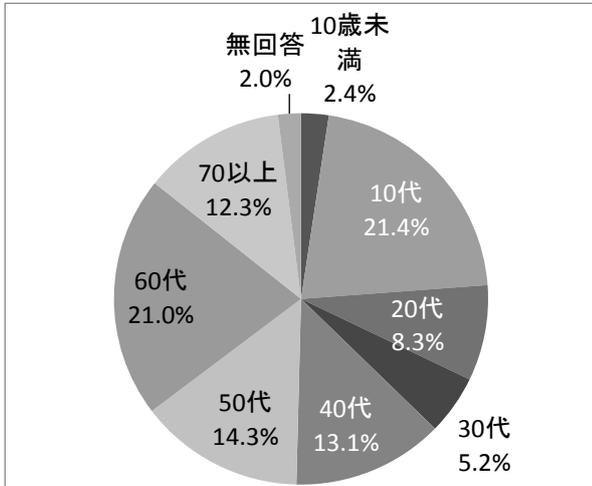
- ・良かった、素晴らしかった、感動した、面白かった(同様20件)
- ・見ごたえがあった、充実した内容だった(同様16件)
- ・比較物が隣に並べてあるなど見やすい、わかりやすい展示だった(同様15件)
- ・テーマ、取り上げ方がいい(同様13件)

# 奈良国立博物館 特別展「當麻寺-極楽浄土へのあこがれ-」

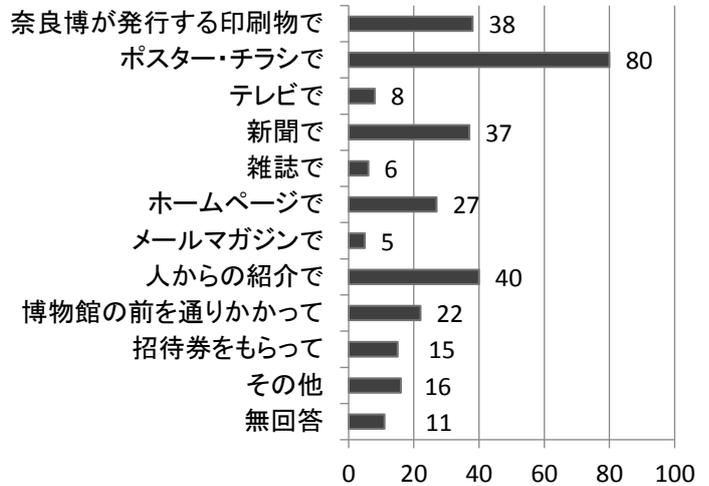
## アンケート集計結果

開催期間:平成25年4月6日～6月2日(51日間)  
 回答者数:252人 総来館者数54,114人 回収率 0.47%

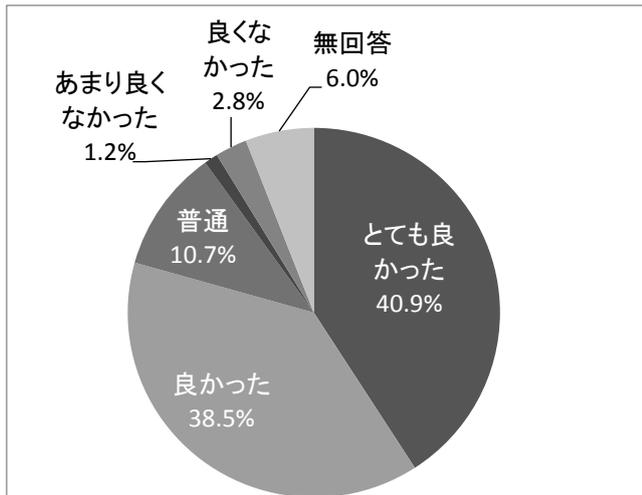
①年齢層



②認知経路(複数回答)



③展示に関する満足度



### ④主な意見・感想

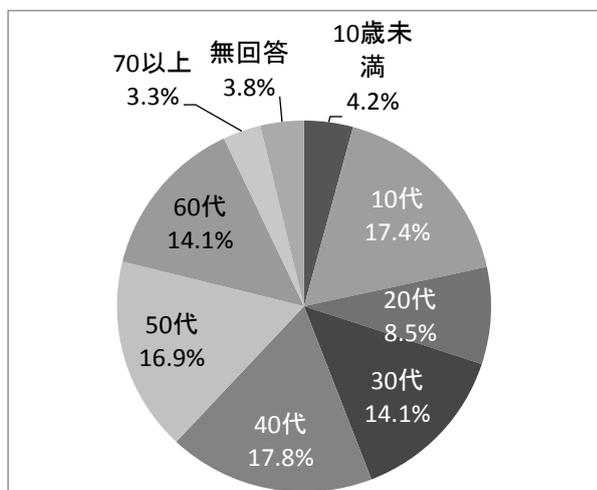
- ・ 當麻寺のこと、中将姫のこと、當麻寺の歴史がよくわかった。訪れたいくなった。
- ・ 當麻寺でも通常見ることのできない當麻曼荼羅や非公開品に感動した。
- ・ 展示品の充実ぶりがすごかった。期待以上の内容の濃さだった。
- ・ パソコン画面で根本曼荼羅と二つの模写曼荼羅を詳細に見比べることができたのがとてもよかった。
- ・ 曼荼羅が同寸大パネルや映像で詳しく説明されていてよく理解できた。
- ・ ゆったりと余裕を持った配置の展示がとても鑑賞しやすかった。
- ・ 展示物に近づいて間近に見られる、またガラスケースを通さず見られる展示方法がよかった。

# 奈良国立博物館 特別展「みほとけのかたち -仏像に会う-」

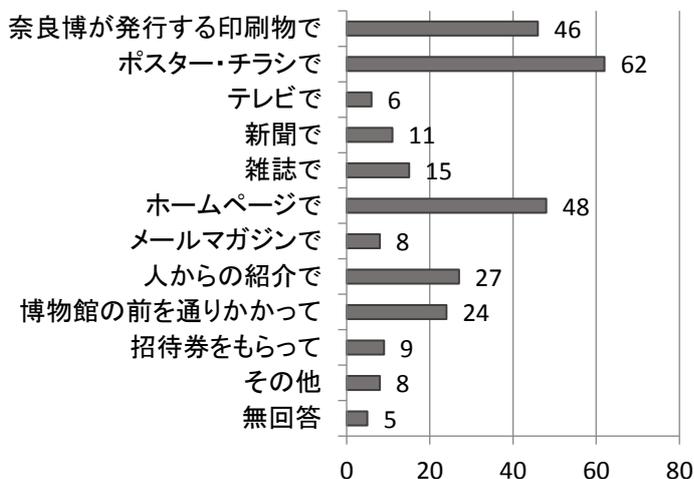
## アンケート集計結果

開催期間：平成25年7月20日～9月16日(52日間)  
 回答者数：213人 総来館者数39,232人 回収率 0.54%

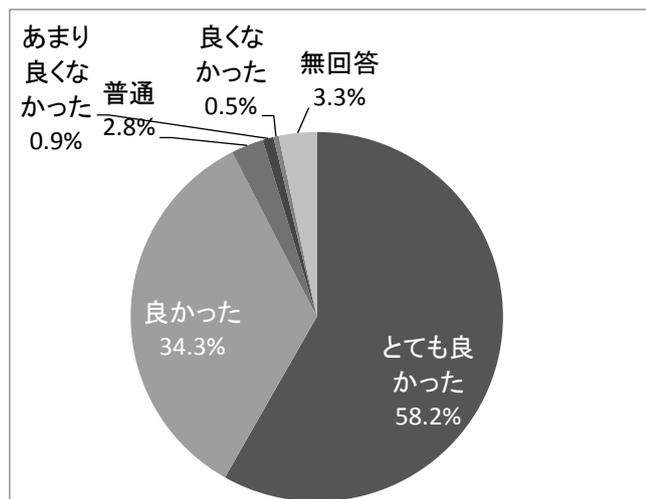
①年齢層



②認知経路(複数回答)



③展示に関する満足度



④主な意見・感想

- ・ ふだんなかなか見ることができない様々な仏像・仏面を一堂に見られた。
- ・ 構成がわかりやすく、テーマごとに仏像を見るポイントが示されていて、仏像に詳しくない人にも注目すべきところがあった。
- ・ 仏像の種類などばかりに注目していたが、ふだんと視点を変えてみる事ができた。
- ・ 初心者にもわかりやすい解説で、別途図示されている説明や映像が効果的だった。
- ・ 直接間近で、仏像の背面や側面も見ることができる展示方法がよかった。
- ・ 照明の当て方がすばらしい。
- ・ 小中学生用のスタンプラリーが楽しかった。

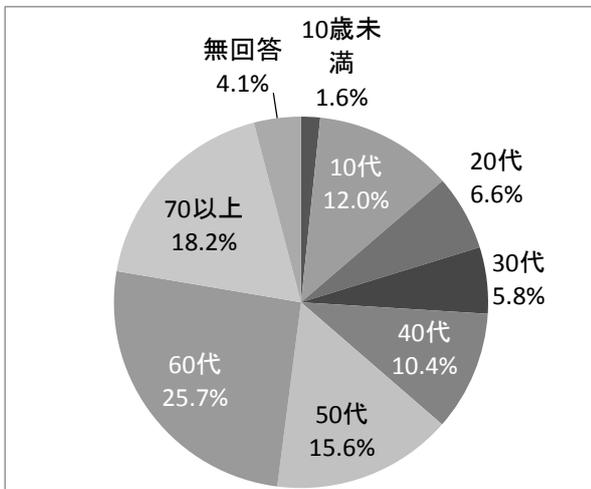
奈良国立博物館

# 特別展「第65回正倉院展」

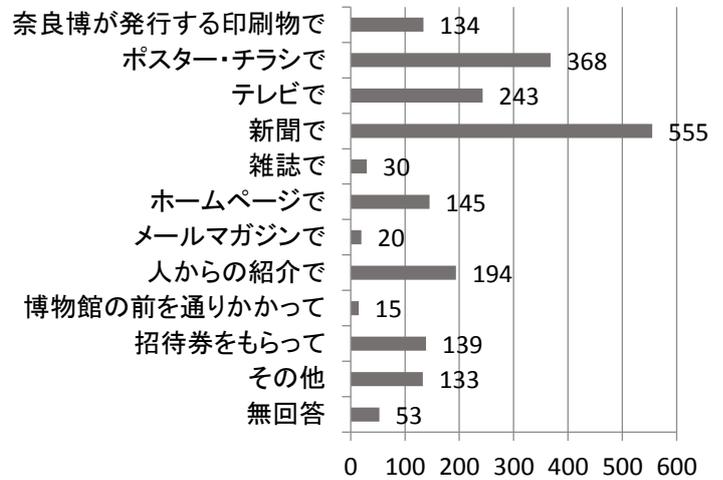
## アンケート集計結果

開催期間:平成25年10月26日～11月11日(17日間)  
 回答者数:1,524人 総来館者数246,269人 回収率 0.62%

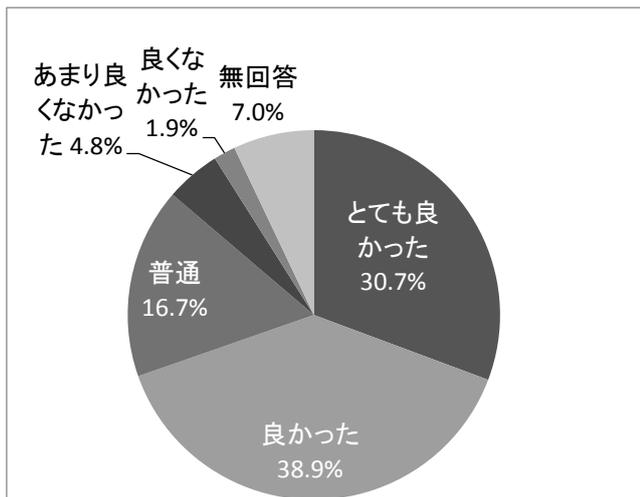
①年齢層



②認知経路(複数回答)



③展示に関する満足度



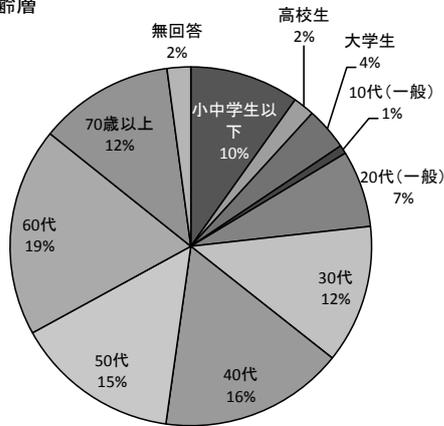
④主な意見・感想

- ・宝物の美しさ、技巧の素晴らしさ、保存状態のよさに感嘆した。
- ・細かい文様、装飾等が拡大写真パネルや拡大鏡でとても確認しやすくなっている。
- ・具体的な使用法を示したり展示楽器の音色を流すなど、イメージが湧くよう工夫されている。
- ・解説が丁寧でわかりやすく、あらゆる方向から読めるように高所に複数掲示されているのがよかった。
- ・人の集まる展示品を前列と後列に分けた選べる観覧方法がよかった。
- ・ボランティア解説で、見るポイントがわかり観覧時の理解が深まった。

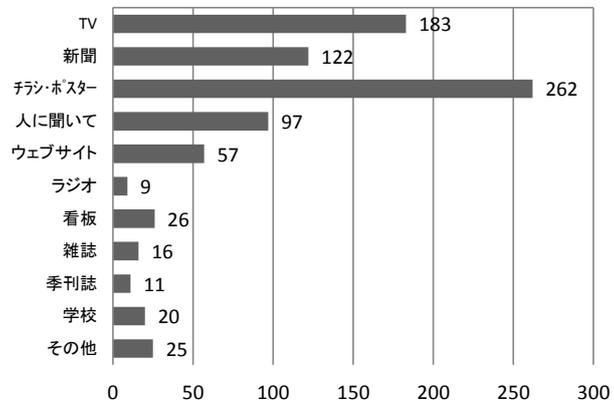
## 特別展「大ベトナム展」 アンケート集計結果

開催期間：平成25年4月16日(火)～6月9日(日) (49日間)  
 総回答者数：521人 (総来館者数：71,192人 アンケート回収率：0.7%)

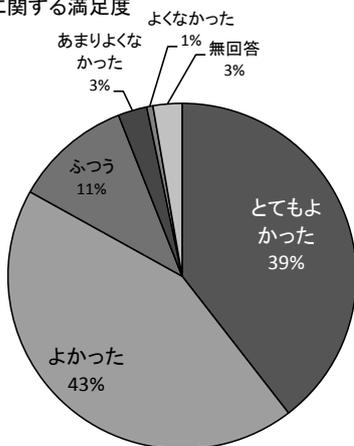
①年齢層



②認知経路(複数回答)



③展示に関する満足度



④主な意見・感想

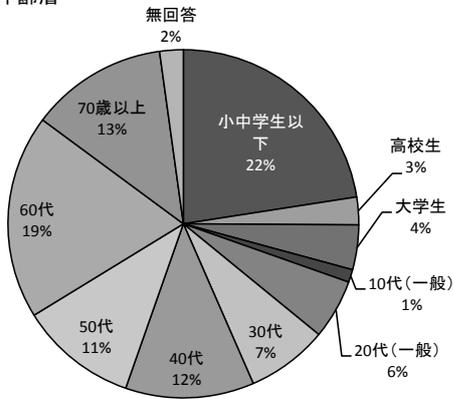
- ・ベトナムが古くから日本とかかわりがあった事に改めて驚きました。・わかりやすくてよかったです。
- ・銅鼓を上から見られるようにしてほしい、写真ではがっかりだった。展示をもっと低くしてほしい。・もう少し展示品が多い方が良い。
- ・少し解説の字が小さくて、読みづらかったです。・年表がなかったのが残念です。・説明をもう少し詳しくしてほしい。
- ・照明が暗くて、見にくいし、疲れる。・図録をもっとコンパクトにしてほしい。
- ・解説パネルが特によかったです。・ベトナム料理がよかったです。・講座、講演会がよかったです。

九州国立博物館

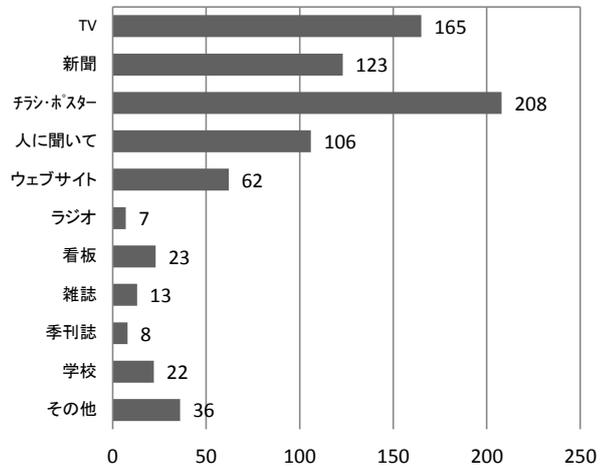
## 特別展「中国 王朝の至宝」 アンケート集計結果

開催期間：平成25年7月9日(火)～9月16日(月・祝) (62日間)  
 総回答者数：506人 (総来館者数：77,554人 アンケート回収率：0.65%)

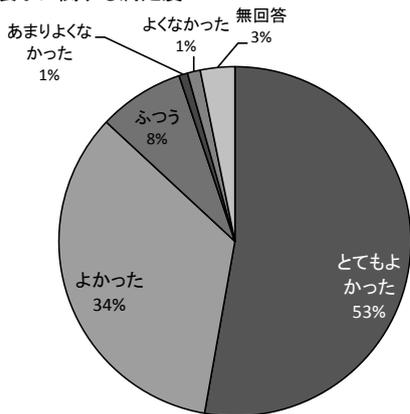
### ①年齢層



### ②認知経路(複数回答)



### ③展示に関する満足度



### ④主な意見・感想

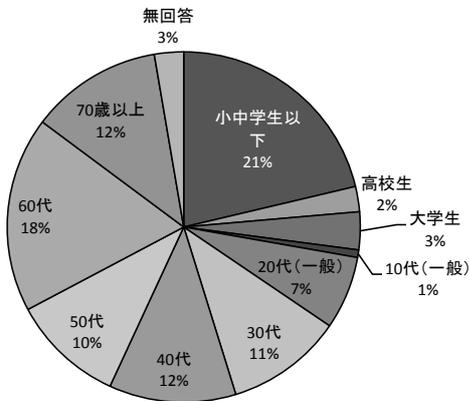
- ・中国の歴史が分かった。・見やすいレイアウトで、映像もあり分かりやすかったです。・音声ガイドでとてもわかり易かった。
- ・順序がわかりにくく、見えにくい展示があった。・陶器類は裏も見られるようにしてほしい。
- ・今回は会場の設定が変わってると思いました。カベで仕切らず、次の会場とのつながりが見えて良かったです。
- ・漢字にフリガナをして欲しい。・耳の聞こえない人のために映像等は字幕をつけてほしい。・中国語での説明があれば良かった。
- ・会場の空調が悪かった。・休憩所が少なく、疲れた。・椅子を増やしてほしい。
- ・「夏休みの朋友」が楽しかった。体験できるコーナーがあり楽しめました。・講演会等が良かった。・説明の文字が大きくてよかった。

## 特別展「尾張徳川家の至宝」 アンケート集計結果

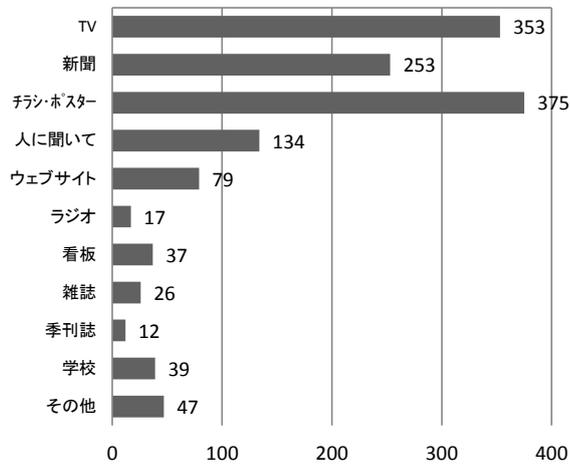
開催期間：平成25年10月12日(土)～12月8日(日) (50日間)

総回答者数：860人 (総来館者数：139,448人 アンケート回収率：0.62%)

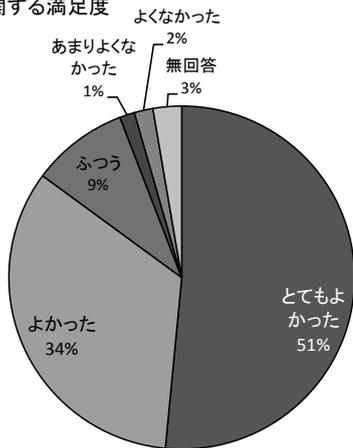
### ①年齢層



### ②認知経路(複数回答)



### ③展示に関する満足度



### ④主な意見・感想

- ・とても充実した展示会で満足いたしました。見応えのある展示会でした。・パネルがわかりやすかったです。
- ・順路がわかりにくい。・刀の銘、羽おりの裏地等は写真、鏡などを使って見せて欲しい。期間が決まっている展示が見れなくて残念だった。
- ・解説の文字が小さい。・もっと詳しい説明や現代語訳をつけてほしい。・子どもにも分かりやすいように、ふり仮名をしてほしい。
- ・とても素晴らしい展示物。金、銀、蒔絵の調度品の現物を見せて頂き感激いたします。・音声ガイドがとても分かり易くてとても良かったです。
- ・音声ガイド利用の人が立ち止まってしまっていて歩きづらかった。・人が多く、スタッフの声かけがうるさかった。
- ・徳川家の宝などについて詳しくなれたので良かった。・日本の歴史が良くわかった。

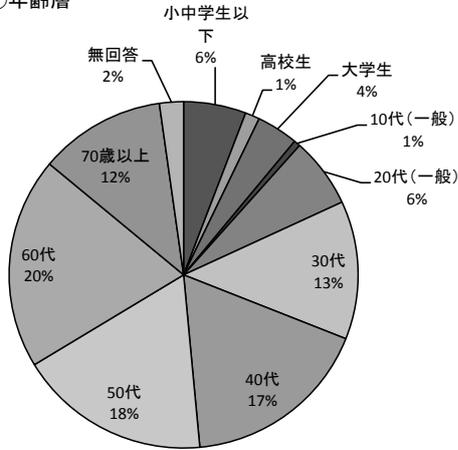
九州国立博物館

## 特別展「国宝 大神社展」 アンケート集計結果

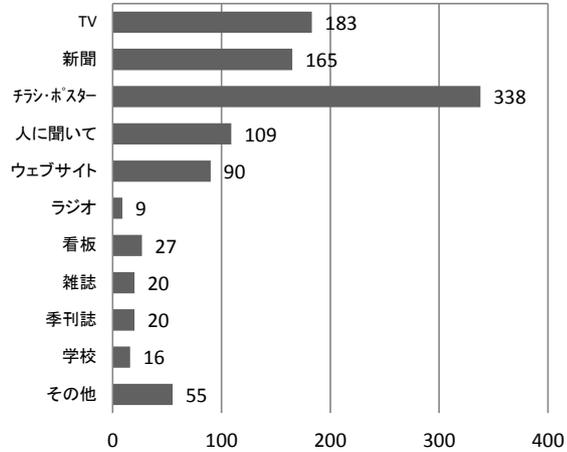
開催期間：平成26年1月15日(水)～3月9日(日) (47日間)

総回答者数：674人 (総来館者数：89,561人 アンケート回収率：0.75%)

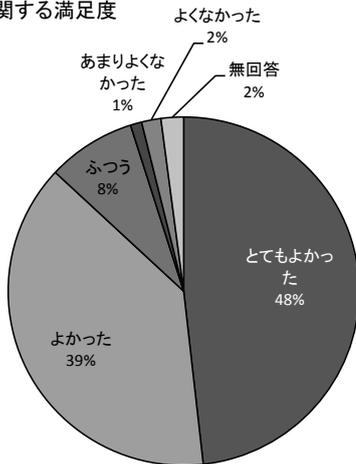
### ①年齢層



### ②認知経路(複数回答)



### ③展示に関する満足度



### ④主な意見・感想

- ・神社に関連した様々な展示が楽しめました。配置や展示の工夫でゆっくり見ることができた。たくさんの神社からの展示素晴らしかったです。
- ・順路をもっとわかりやすく表示してほしい。もう少し神社に関する宝物が見たかった。映像は最初に観たい。
- ・説明の文字をもう少し大きく、手前に置いてほしい。作品の材質等を表示してほしい。
- ・映像説明を増やしてほしい。もう少し詳しい解説がほしい。
- ・おみくじ風まめちしきが、楽しかったです。神楽・講演会等が良かった。神像を背後から鑑賞できたのが良かった。